金

号

层林水産省 告示第

業協同 組合法 (昭和二十二年法律第百三十二号)

農

がその経営の健全性を判断するため

の基準

(平成十八年

農林水産省 告示第二号)

Ø) —

部を次のように改正す

第十一条の二第一

項の規定に基づき、

農業協同組合等

る。

令和六年 月

日

金融庁 長官 栗田 照久

農林水産 大臣 坂本 哲志

次の表により、 改正前欄 に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正 一後欄

に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分のように改め、 改正 前 欄及び改正後欄に対応して掲げるそ

 \mathcal{O} 標記 部 分 連 続する他 の規定と記号により一 括して掲げる規定にあっては、 その 標記 部 分に係る記 載 に

重傍線を付 た規定 (以 下 「対象規定」という。) は、 その標記 部 分が 同 \mathcal{O} Ł \mathcal{O} は当該 対象規定を改一 正

後欄 に掲げるもののように改め、 その標記部分が異なるも のは 改正 前欄に掲げる対象規定を改正 後 欄 に掲げ

る対象規定として移動し、 改正前欄に掲げる対象規定で改正後欄にこれに対応するものを掲げてい ない もの

は、これを削り、改正後欄に掲げる対象規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これ

第五章 信用リスクの内部格付手法第七節 [略]	[第五款~第八款 略]	第四款 簡便手法 (第八十九条—第九十一条の三)	八十八条・第八十八条の二)	第八目 包括的手法における担保付派生商品取引 (第		率の下限 (第八十条―第八十七条)	する海外の取引におけるボラティリティ調整	第七目 レポ形式の取引及び信用取引その他これに類	[第四目~第六目 略]		第三目 削除	[第一目・第二目 略]	第三款 包括的手法	十九条―第六十五条の二)	第二款 適格金融資産担保付取引に共通する事項(第五	第一款 総則 (第五十五条—第五十八条の二)	第六節 信用リスク削減手法	[第三節~第五節 略]	第二節 リスク・ウェイト (第二十六条—第四十八条の二)	第一節 [略]	第四章 信用リスクの標準的手法	[第一章~第三章 略]	目次	改正後
第五章 [同上] 第七節 [同上]	[第五款~第八款 同上]	第四款 簡便手法 (第八十九条—第九十一条)	八十八条)	第八目 包括的手法における担保付派生商品取引 (第	条)	動額推計モデルの使用(第八十条―第八十七	レポ形式の取引に対するエクスポージャー変	第七目 法的に有効な相対ネッティング契約下にある	[第四目~第六目 同上]	—第七十四条)	第三目 自組合推計ボラティリティ調整率 (第七十条	[第一目・第二目 同上]	第三款 [同上]	十九条—第六十五条)	第二款 適格金融資産担保付取引に共通する事項(第五	第一款 総則 (第五十五条—第五十八条)	第六節 [同上]	[第三節~第五節 同上]	第二節 リスク・ウェイト (第二十六条—第四十八条)	第一節 [同上]	第四章 [同上]	[第一章~第三章 同上]	目次	改 正 前

	二款 SA―CVAによるCVAリスク相当額の六条の四の六)	第一款 承認手続		第二節 BA―CVA(第二百四十六条の三―第二百四十二 第三節 簡便的リスク測定方式(第二百四十六条の四)	の三) 第二節 標準的リスク測定方式 (第二百四十六条の三)	第一節 総則(第二百四十六条の二―第二百四十六条の二 第一節 算出方式 (第二百四十六条の二)	CVAリスク 第六章の二		条)	計モデルの使用 (第二百十五条—第二百二十一	海外の取引に対するエクスポージャー変動額推	ポ形式の取引及び信用取引その他これに類する 法の見	第九款 法的に有効な相対ネッティング契約下にあるレ 第九款 株式等エクスポージャーに対する内部モデル手	[第二款~第八款 略] [第二款~第八款	[第五目・第六目 略] [第五目・第六目 [第五目・第六目	第百六十四条・第百六十四条の二) 第百六十四条)	第四目 債務者格付等の格付付与時の評価対象期間(第四目 債務者格	[第一目~第三目 略] [第一目~第三目	第一款 内部格付制度の設計 第一款 [同上]	第四節 最低要件 第四節 [同上]		第九款 その他資産等(第百五十四条—第百五十四条の 第九款 その他資産等	[第一款〜第八款 略] [第一款〜第八款 [第一款〜第八款 [第一款〜第八款 [第一款〜第八款 [第一款〜第八款 [第一款〜第八款 [第一款〜第八款 [第一款〜第八款 [第一	第三節 信用リスク・アセットの額の算出 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	
--	-------------------------------	----------	--	---	--------------------------------	--	--------------	--	----	------------------------	-----------------------	---------------------------	---	----------------------	-------------------------------	--------------------------	-----------------------------------	----------------------	------------------------	-------------------	---------	--------------------------------------	---	--	--

第	第	第	第	第	第 第	-
七	六	五	四	三	二 目	
目	目	目	目	目	目 方	
条の四の二十九)第二百四十六条の四の二十八・第二百四年一、感応度、リスク・ウェイト及び相モディティに係るバケット、リスク・フニ十七)	四十六条の四の二十六・第二百四十六条の四感応度、リスク・ウェイト及び相関(第二百株式に係るバケット、リスク・ファクター、二十三―第二百四十六条の四の二十五)・ウェイト及び相関(第二百四十六条の四の・	ト、リスク・ファクター、感応度、リスの、ウェイト及び相関(第二百四十六条の四の二十二)	バケット、リスク・ファクター、感応度、リストの引相手方のクレジット・スプレッドに係るの二十)の二十)の二十の四十六条の四の十八―第二百四十六条の四一十、感応度、リスク・ウェイト及び相関(第二一、感応度、リスク・ウェイト及び相関(第二十、感応度、リスク・ウェイト及び相関(第二十、感応度、リスク・ウェイト及び相関(第二十)の	係るバケット、リスン条の四の十五―第度、リスク・ウェイ	金利リスクに係るバケット、リスク・ファク六条の四の十四)総則(第二百四十六条の四の七―第二百四十八条	

第六章 第六 第二 第三 第 第 第一 章 兀 第三 第 第 第 第 第 0) 節 兀 節 節 \mathcal{O} 節 款 款 款 兀 三 款 款 款 款 目 目 内 簡 第二百 準 額内十にバ 内六一部 1 中 便 標 十 的 第] 央 +準 三 六 係 ツ 第 部 条 般 モ ケ 法 認 部 体 C *ク* 的方条方式八第二 条 デ ケ 清 百 制 る の的 ツ V \mathcal{O} モ モ 式 八 二デアル 第二 O要 ツ 兀 方式 百 \vdash 算 兀 デ +規ル 百 整 第 基 Α 四十 テステ + = 件 \vdash 機 式の ル \mathcal{O} 定方 兀 + + 備 \mathcal{O} • (第二 六条 + 方 関 百 に に 兀 方 九 式 +IJ 六 百 計 (第二百 式によるマ \mathcal{O} IJ 四条 係 兀 係 + 六 式 六 ス 関 第 兀 測 ハイングラ + るリ - 六条の 連工 る 0) 条 ク ス 0 + \mathcal{O} + 方 要 の相ク 五. 六 四 法 百六 百 、条の クスポ Ź の 三 条 般 兀 件 兀 九 当 兀 及一びの 第二 第二 ク 十三— ++ \mathcal{O} 的 + 額 六大損 +感 兀 六] 第 兀 規 第 六 \mathcal{O} 百 応 八 条] 0) 五. \mathcal{O} 百 定 ケ 条 算 三十 三四十十 四ジ 第二百 度 \mathcal{O} 益 \mathcal{O} 及 ツ 百 \mathcal{O} 百 出 +=-兀 方 +ヤ び \vdash 要 兀 + 兀 方 式 六] 九 の三十 五六 構 因 + +式 条 0) 条 造 兀 IJ 六 第二 六 及 分 取 + ス 第二 条 \bigcirc \mathcal{O} 条 び 析 第二 八 扱 六 兀 ク 百 の計 六 テ \mathcal{O} V \mathcal{O} 条 相 百ス + 兀 九測 第 三 百 0) 当 四ト + の対

第 四 目	第 三 目	第二目	第三款標	第 五 目	第 四 目 目	第 第 二 一 目 目
クに対するマーケット・リスク相当額(第二計券化商品(CTP)に係るデフォルト・リス十一の二) - 二百四十六条の二十一・第二百四十六条の二十八条の二十一・第二百四十六条の二十一・第二百四十六条の二十一・第二百四十六条の二十一・第二百四十六条の二十二の一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	一条化商品(非CTP)に係るデフォルト・条の二十の二―第二百四十六条の二十の二十の二十の二十の二十の二十の二十の二十の二十の二十の二十の二十の二十の	非証券化商品に係るデフォル総則(第二百四十六条の二十ーケット・リスク相当額	『準的方式に係るデフォルト・リスクに対する 二百四十六条の十九の三) エイト及び相関(第二百四十六条の十九―第 ロベチャー・リスクのバケット、リスク・ウ	リスク感応度方式に係るベガ・リスク及びカー)四十六条の十八―第二百四十六条の十八の八一四十六条の十八の八一第二百四十六条の十八の八十万ット、リスク・ウェイト及び相関(第二百一ケット、リスク・ウェイト及び相関(第二百十	リスク感応度方式に係るデルタ・リスクのバー六条の十七―第二百四十六条の十七の六)リスク感応度方式に係る感応度(第二百四十一年)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

第 八 り 一 り 一 り の 二 コ の	六 章 節 章 特 特 条 記	第	第五款	第 第 四 三 款 款	第二条款款	が 四 款 簡
定項目のうち調整項目に算入されない部分等に二) 百四十六条の三十二・第二百四十六条の三十二リレーション・トレーディングに係る特例(第二十一の二)	(第二百四十六条の三十一・第二百四十六順位参照型クレジット・デリバティブに係三十一第二百四十六条の三十の三)	券化エクスポージャーこ系る時列(第二百四十二二百四十六条の二十九の九) - コイーオプション取引(第二百四十六条の二十九―第二十プション取引(第二百四十六条の二十九―第二)	外国為替リスク・カテゴリー(第二百四十六条十六―第二百四十六条の二十六の三)株式リスク・カテゴリー(第二百四十六条の二十五―第二百四十六条の二十五の七)	金利リスク・カテゴリー(第二百四十六条の二第二百四十六条の二十四)	百四十六条の二十三) 準的方式に係る残余リスク・アドオン (四十六条の二十三)

る 例 第二 占 兀 十六条の三十三)

附第 七 章

則

定 義

第 該 条 各 号に \mathcal{O} 定 告 \emptyset 示 3 に ところ お 1 て、 に ょ 次 る \mathcal{O} 各 号 に 掲 げ る 用 語 \mathcal{O} 意 義 は

条 規 ただ 関 Ł 特 部 のを除 定貸 定 又 係 証 なは し、 に す 券 全 化 る 付 あ 一部を る二 規定 事 債 特 取 業 定 引 権 貸 以 す 用 第 向 三 け 付 上 原資 る 不 動 債 者 \mathcal{O} Α 工 にエ D 産 ク 権 産 関 ス 移 ク に С 保る信 第 ス 連 ポ 転 向 する性 ポ け 工 1 + ジ ク] エ ジ ク ス ヤ 六 用 ス 質 ポ 条 t IJ を 1 ポ ス 1 \mathcal{O} ク ジ 有に 第 を ジ t 兀 第 す階 る層 ヤ 1 + 優 項 取 化 先 及 に び 引 劣 条 に L 該 第 規 を 後 第 当 兀 いそ 定 構 う。 す + 項 す \mathcal{O} 造 る \mathcal{O}

0) = 5 兀 略

Ŧī. **証** 適 券 格 化 引 当 工 ク 金 ス ポ 内 部 ジ 格 ヤ 付] 手 に係 法 を るも 適 用 のを す る 除 工 ク ス ポ \mathcal{O}] うち ジ ヤ

期 百 二 +損 失 兀 条第 額を · う。 算 出 項 す カ る ら ŧ 第 \mathcal{O} 項 12 まで及び 対 L 7 計 第 上 さ 八 ħ 項 7 \mathcal{O} 規 V) 定によ る 次 13 掲 り

ŧ

 \mathcal{O}

を

い

個 别 貸 倒 引

コハロイげる 部 分 直 接 償

定 海 外 債 権 引当 勘 定 又 は れ 相 す る

n 分 され る 百二 信 用リ た + 般 ス Ŧī. ク • 条の 貸 倒 アセッ 規 引 当 定 により . の 内 額 に対 部格 応 付 す 手 るも 法 12 より のとし 算 て 出 さ

> 附第 則七 章 同 上

義

第 条 定 同 上

た 関 部 だ 又は 係 証 に 券 あ 全 化 る二以 部 特 取 定 を 引 貸 第三 付 上 原 者 債 \mathcal{O} 資 権に 工 産 移 に ク に 該 転 ス 係 当 ポ す る Ś す] 信 る 性 ジ 用 質を有いれる ŧ IJ 0) ス を除 ク す 階 を Ś 層 優 取 化 先 L 引 劣 後 を いそ構 うの造 \mathcal{O}

σ = 5 兀 同 上

五一 対 部 金 係 るも 証 格 及 応 適 す 付 び 券 格 る 手部の化 引 分産除 法 ŧ 当 0 12 金 カ く 。 لح ょ 接 ス L ŋ 償 ポ 内 て 算 却 1 部 区 に 出 額 ジ 格 分さ さ 並 対 t 付] れ び L 手 に て る れ 及 法 た 信 第 計 び を 用 百 上株 適 リスク・ 二十五々 で 般 式 用 貸 等 す 倒 る 工 引 ク 条 11 工 当 ア 0) る ス ク 金 セ 規 個ポ ス を ツ 定別] ポ 1 トに貸 ジ · う。 \mathcal{O} よ倒 ヤ ジ 額り 引] t に内当に

六 P セ 標 ツ \vdash 的 \mathcal{O} 手 額 を 算 第 出 兀 する手 章 · に 定 法をいう。 めるところ より、 信 用 IJ ス ク •

5

七

 \mathcal{O}

略

株式 等 工 クスポ 1 ジ ヤ] 次に 掲 げ つるも \mathcal{O} を う。

株 式 又 人は次に 掲 げ る 性 質 0 全てを有 するも

(1) (3) 略

略

口

発行体 性 質 \mathcal{O} 1 \mathcal{O} ず 債 務 れ を構 か を 有 成 す する金 うる も 融 商 品 で あ 0 て、 次 に 掲 げ

略

(2) (1) る こと、 品 品 \mathcal{O} \mathcal{O} 発 行体に 発行 発 行 又 は に に より ょ 発 ょ 行り体債 る 債 が 務 務 定 伤の支払に充当するか一定数のイ及び口例を支払うことが冬 数 0 イ ・若しく は 条件 ることが 口 口 に に 掲 とさ 掲 げ げ で る れ る きる 金 7 金 融 11 商 る 商

(3)き あ 数 商 ること。 ること、 0 品 発 イ及び 行 カゝ 0 発 つ、 体に 行 口 ょ 又 他 に により債 0 る は に 揭 条件が同じ場 不 発 げる金融 行 特 体 務を支払うことが 定 一の裁 数 \mathcal{O} 量 商 1 ーでその 湯合は債i 品の額 若 L < 支払方法 務 に は 連 額 条 口 動 0 件 に 変 ことされ す 掲 るも 動 げ を 選 が る て 択 \mathcal{O} 金 で で定お融

(4)

九 に お いて 準 的 手法 内 部 格 採 付 用 手 組 法 を 使 信 用 用 IJ な スク・ 11 組 合 ア を セ 11 ツ う。 \vdash \mathcal{O} 額 \mathcal{O} 計

> う。 ろによ 標 準 り、 的 手 法 信 用 IJ 第 +ス ク 九 条 ア か 5 セ ット 第 百 十三条までに 0) 額 を算出 す る 定 手 め るとこ 法 を

「七~七 0 三 同 上

同 上

式 又 は 次に 掲 げ る 全 7 0 性 質を 有する ŧ

(1)(3) 同 上

同 上

る 発行 1 ず n 体 \mathcal{O} カュ \mathcal{O} 債 性 務を構 質 を有 成 する す る f 金 融 商 品 で あ 0 て、 次 に

掲

げ

(2) (1)同 上

発 と又は発行 発行により、 行 発行体に に より 債 体 よる一 が一 務の支払に充当することが 債務 定 を支 定 数 数 払うことが \mathcal{O} \mathcal{O} 1 1 · 及 び 又は 口 口 に に 条件とさ 掲 掲 げ げ る金 できること。 る れ 金 融 て 融 商 1 商 品 る 品

こと かの イ つ、 及 発 発行 行に 又は び 口に掲げる金 他 体 発行 より \mathcal{O} に 条件が一 よる 債務 体 0) 不 裁 同 を支払うことが条 特 融 ľ 定 量 場合 一で当 商 数 品 \mathcal{O} 該 は \mathcal{O} 1 額に連 支払 債務 又は 方 額 口 件 法 動 に \mathcal{O} 変動が とさ を選 掲 げ 択 れ る できる 0) て 金 であ お 定 融 ø 9 ` 数 商 る \mathcal{O} 品

(3)

(4)同 上

同 Ŀ

九 にお いて標準 的 手法 的 採 手 用 法 組 を 合 使 用 信 す 用 る IJ 組 ス ク・ 合 を T セ ツ 1 \mathcal{O} 額 0 計 算

+ 同 上

十八の二 十一の六 [十三~十八 の算出 より、 当額の 者のうち、 ス イ又は口に定める の四 の 五 の 三 ポモデル 九 用する組合を ク相当 により、 ク に 件 簡易 お 内 内 標準的手法 マ、 算出に を満たす債 部格付手 において内部モ ア 部 V **%的方式** 簡易的 標準的・ 標準的 内 部 て] 方式を使用する組 額を算出 適 セ 内 格 -ケット 簡易的 次 格 ケット ット 金 部 付 略 \mathcal{O} プ お 七 融 モ 手 口 採用 法 採 1 方 11 方 デ 機デ 方 ** \ \mathcal{O} 法 もの 文は う。 式採 テクショ 式 ・リスク相当額を算出する方式をいう。 式 する方式をいう。 関 務 採 用 • て第二 ル 方 ル 額 式 リス 組 方式採用組 者 用 組 独 方 を 格 を 第六 用 算 組 合 口 0 合 デ 第六章の四 自 式 五. いう。 付 合 に 4 ク 組 百四十六条の 0) 出 章に定めるところに ル ンモデル 掲げ 相当 方式を を付 ン 提 章 第九十七 を 合 合をいう。 する手法 第六 7 使用 第五] \mathcal{O} 額 与 マー る 供 ケット 兀 合 章 第三節 を用 第四 L 組 者 する組 を 使 0 章 一第四 条各 用 た 算 ケット・ をいう。 7 兀 合 出 ŧ プロ 第二 + \mathcal{O} 節 せ 11 号に 合を ず、 する方式を 節 IJ に に 区 0) ケ て スク相 マー 分に応 定め 定めるところに 承 に テクショ ツ 節 リスク相当 ょ 規 掲 標 認 に定 \vdash . う。 だげるも ケッ り、 定 るところ 準 を じ、 受け す 当 的 IJ め いう。 S 方式 ス るとこ 額 1 信 \mathcal{O} 提 最 当 0) て ク 用 算 低 該 供 に を額 内 相 IJ IJ + -[号を加 う。 十三~ 一号を加 号を加える。 号を加える。 る手法 十九・二十 相 뭉 号 定めるところにより、 当 を を 額 先 加 加 内 える。 をいう。 十八 える。 0 進 え Ż 部 る。 る。 計 的 格 算 計 付 同 同 に 測 手 上 上 法 お 手 法 て 採 第 先 用 信 百 進 組 用リスク・ 的 合 兀 計 条 測 オ か \sim 5 手 アセ 第二百二十 法 レ を使] ットの シ 用す ナ る ル 額 を算出 条まで 組 合 IJ を ス

合に て 定 款 あ は 8 めっては第六十五条派に定める計算手は 第六 る 適 十 算 金 兀 手 融 法 資 条 各号 を 産 11 担 条に・ う。 法に 伝をいう。 と掲げるもの 定 以 簡 足めるものをいう。いう。以下同じ。) 下同 手 0) U し。) を用 を、 包 括 兀 的い を 手 る 六 用 法 場 節 合 合同に 第 1 る 兀 場 節あ款

原 資 産 次 に 掲 げ る 11 ずれかに該 当 す る 資 産 を 1

0 者 資 が 産 証 譲 券 渡 化 型 目 証 的 券 導 化 管 取 引に 体 に 譲渡 お V する資産 てオリジ ネ タ そ 0

他

口 略

+二の二~二 +九

渡 由 すことが 権 \mathcal{O} \mathcal{O} 決 債 発 済 生 務 \mathcal{O} 認 者 に た \Diamond 基 \emptyset \mathcal{O} 5 づ 債 \mathcal{O} く支払 参 れ 務 る 照 で 債 決 債 務 済を行う場合に 額 務 を総称し \mathcal{O} 算 定 九 に + て 用 五. 11 1 条 5 決 第 済 れ 号 0) る た債 に \otimes 務 規 及 定 に 引び す き原 る

ティ 無を ブに 信 判 用 |断す 事 0 い由 る て 判 ため 第九 断 \mathcal{O} に +た -五条第 用 \emptyset の参照 いることが 一号に規 債 務 できる債 定す ク レ るジッ 務を 由 1 0) 11 う。 発 デ 生 IJ

[三十二~三十五 略

三十六 ージャー ソ ブリン向け をいう。 エ ク ス ポ ジ ヤ] 次 に 掲 げ る 工 ク ス

イ 〜 1

向 際 工 欧 州安定 決 済 銀 メ 力 ヤ = 玉 ズ 際 Δ 通 貨基 及 び 欧 金 州 欧 金 州 融 中 安 定 央 ファ 銀 行 IJ 欧 テ 州 イ 連

け

ク

ス

]

金 融 機 関 等 向 け 工 ク ス ポ ジ Y 1 次 に 掲 げ る 工

> あ款 0 って て 定 に 定 は \otimes 第六 は \otimes る 適 は第六十五条に切める計算手法をい 第六十 計 格 + 算 兀 手 融 条 法 資 を 担ける。 掲 いう。 掲 げ げ る るも £ 以 簡 以の 下 便 を、 下 \mathcal{O} 同 手 を 同 じ じ。) いう。 包 括) を 的 兀 を 用 手 用 法い 第 V) 同 る る 場 節 場 節 合 第 第に四 合 三あ款

一 十 二 同 上

者が 資 証 産 券 譲 化 渡 目 型 的 証 導 券 管 化 体 取 引に に 譲 渡 お す V る 7 資 オ IJ ジ ネ タ そ 0 他

同 上

一 十 二 の 二 <u>~</u> 十

すことが 権 由 の債 の発生 決 務 済 認 に 者 0 から 基 ため づく支 れ 務 \mathcal{O} る債 で決 参 払 務 済 同 額 債 研を行う場 の算定に を 務 上 総 称し 第 九 て 合 用 + に V 五 ら条 決 済 第 れ のた債 債号に \otimes 及 掲 に 引び げ き原 る 渡 倩

三十一 有無を バ ティ ・ブにつ 判 信 断 用 するた 事 V 由 て 判 んめに用 第九十 断 \mathcal{O} た 五. \aleph 1 条第 の参 ることが 照 号 債 に できる債 務 掲 げる事 レ 務 ジ を 由 ツ \mathcal{O} 1 う。 発 デ IJ

「三十二~三十五 同

上

三十六 同 上

イく 同 上

イ 同 向 体 国 け 際 工 欧 決 クスポ 州安定メカ 済 銀] 玉 際 ズ 通 ム 貨 及 基 び 金 欧 州 欧 金 融 中 安 央 定 銀 フ 行 ア IJ 州

同 上

三十 七 同 上

ク

t を い Š

わいで れに あ外 お て 0 玉 7 て 中 当 央 金 融 該 政 機 公 府 共 以 関 に 部外 対 門の する 公 が 共 設 エ 立部 ク さ門 ス れ向 ポ たけ 国工 ジ 内 ク t に ス 1 おポ とし け 1 ジ る て 取 t 扱 扱

工 地 社 ク 숲 カ 国 ス 6 開 際 ポ 開 \mathcal{O} 発] 助 ブ 発 ジ 言 口 銀 ヤ を ジ 行] 行 エ クト 複 う (前 機 数 号 関 に 0 1 対 をいう。 玉 に L に 掲 7 ょ げ 資 0 る 以 金供 7 \$ \$ 下 創 \mathcal{O} 同 給 設 ľ を 又 さ 除 は れ 専 に対す 菛 経 的 済 な見 及 び

げ

るも

0)

を除

<

ホ

己 す人銀のを一引ウ か 社 務 る 資 を 諸 \mathcal{O} 行 他 い 種 業 エ う。 規 子 持 者 ず 本 1 表 \mathcal{O} 金 う。 会 等 則 株 主 + ヤ 当 融 該 規 社 会 た 以商金 五 略 び を 法 則 昭 社 る 玉 所 下 品融 適 条 財 営 同取商用 要 和 を \mathcal{O} 人 \mathcal{O} に ال うち と 除く。 業 引業 務 諸 者 自 が 品 す お 頭別法第二-9ることとさい 十 い う。 作 を 己 所 V 11 資 成 に 八 表 又 を て 行う者 う。 年 本 す 第 等 は 及 第三 大蔵 であ 事務 á び経 0 0 +第 用 <u>二</u> 十 計 種 以 連 経営管理会は十八条第一章 って、 八条 省 所 れ 下 算 結 金 語 兀 を有 を 令 同 財 融 7 条 第 ľ. 務 第 様 行 商 V \mathcal{O} 0 諸 品 三 五 式 当 す る 規 取 項 十 及 該 る \mathcal{T} 表 第 定 引に 九び 項に に に 法 法 (国 準 11 に 業 号作成 る者 規 対 基 人 人 ず 種 ょ す づ 者 定 成 及 内 る 規 金 ŋ 金銀 るエ き合 を含 する に 外 又 以 方 び 定 IJ は 下 法 当 玉 す 本 商 行 ス ーに み、 子 又店の る ク 算 該 品 ク スれ自 会財関法 は そ者 第 取

> イ 同 上

口

外

玉

 \mathcal{O}

中

央

外

 \mathcal{O}

エ

ク

ス

]

ジ

1

て 1 で 玉 に あ お 0 際 る 開 て、 7 発 銀 当 金 行に 該 政 融 機 公府 対 関 共 以 す 向 部 け 門 る 工 工 が ク ク 設 共 ス立部 ス ポ さ門 ポ れ向 1 ジ ジ たけ 玉 ヤ ヤ 1 内 と に 前 L おポ け 号 て 扱 る 1 わ取ャ 12 れ扱

ホ 上

r. 業 同 を財 融 条 省 語 除 業 取 取 < . 令 行 務 商 第 所 を 引扱 第 様 法 \equiv 諸 品 三 又 行 V は 及 び 取項 五式 表 第 + う を で 事 引 に 十 及 者 VI に 五同 あ 務 る 基 業 規 九び 経 +対 \emptyset 条 及 いって、 が所を有、 号。 営管理 す 者 づ 者 定する子 作 八 5 び D び き合 を含 -成方法 条第 れた第 る お 以 エ 1 れ 下 ク み、 算 当 す 会 7 に 、会か社 「財 ス 自 に 該 る 社 項 れ 金 淮 法人 己資 関 法 ポ に (国 に種 融 ず 務 つ、 準 を す 人 規 金 機 諸表等 る いう。 ジ ず 本 る 0) 内 関 定融 外 子会社 当該 る 及 銀 に ヤ 規 す 商向 行又は針 玉 び る品 外 則 け <u></u>の 規 \mathcal{O} 所 玉 法 第 取 (昭 エ 則 者 その 要 引 \mathcal{O} 人 ク (財 うち が作 を 自 銀 種 業 者 لح 和 ス 三十務諸 者 己 行 他 11 を 金 ポ う。 に 資 成 持 \mathcal{O} 融 · う。 う。 す 株 第 八 表 主 金 商 ジ 年 る 等 会 た 以 融 計 種第大の社 連 る 取 商 結 金八蔵用を 営 同 引 品

号 \mathcal{O} 細 分 を 加 え る。

1

+

五.

条

 \mathcal{O}

に

お

1

7

第

+

兀

条

0)

規

定

に

ょ

ŋ

IJ

ス

同 法 る 険 じ。 業 険 法 第 社 1 対 + を 成 す 六 V 七 う。 る 項 年 法 エ に 用 クス 規 以 律 す 定 下 第 ることとさ ポ す 同 百 っる保 じ。 五. ジ 号) Ů t 険] 及 第二 持 び 株 7 会 保 条 V 社 険 第 る 保 を 持 い株項険 · う。 会 に 숲 社 規 以 定 下 同す

対 する 業 七 法 \mathcal{O} エ 人 クスポ 等 大規 向 け 模 工 ジ 規 ク 制 ヤ ス] ポ 金 を 1 融 71 機 ジ 関等 . う。 t] 向 0) うち け 工 ク 次に ス ポ 掲 1 げ ジ ヤ る 者 に

(1) V 7 大 同 規 模規 制 金 融 機 関 次 に 掲 げ る 者 を 1 う。 口 (2)に お

5 社 玉 \mathcal{O} \mathcal{O} 短 期 十 二 連 に 者 期 保 規 K 結貸 準 険 制 保 若 保 ず 第 険 険 業 金 相 借 る 持 < 業 者 融 当 者 対 外 項株は 機 E す 照 玉 숲 ۲ を 保 関 る 表 規 社 \mathcal{O} れ 11 険 · う。 一若し 者 額 0 定 5 業 金 でする最 以 資 をいう。 12 法 融 産の 上である者 < 準 第 機 ず 若 は 関 部 る 終 金 条 し に計 くは 指 融 外 以 第 保 国 定親 商 下 + 険 第一 品の 上 同 八 숲 会社 $\overset{\text{\tiny Γ}}{\circ}$ 取 者 項 社 L た額 引 又 種 に 若 法 は 金 規 で 第 銀 が L 定 千 あ < 行 す 五. 商 は 0 + 品 る は 持 て 合 七株取少 衆それ条会引額短

る ず 非 る 種 \mathcal{O} 規 外 制 金 玉 金 融 \mathcal{O} す 者 機 る を含 関 事 関 そ 業を主たる事 む \mathcal{O} 金 他 融 \mathcal{O} で 金 あ 融 業とし つ シ 険 て、 業 ス テ そ \mathcal{O} Δ 次 7 営 に に 他 掲 影 む 響 げ 者 れ を る 5 者 及 ぼ以れ 類 す 外 に す

口

規

金

機

関

金

融

保

険

業

そ

 \mathcal{O}

他

 \mathcal{O}

12

(2)

同

る

業

を 制

主

た 融

にる事業

لح

L

営

む

に

準

ず

玉 属

 \mathcal{O}

を含

であ

0

て、

次に て 業、

掲

げ 者

る者

外

 \mathcal{O}

b

金

る融

機

そ

他

 \mathcal{O}

金

融

ス

テ

 Δ

に

影

響

を及

ぼ 以 れ

す

لح

認

8 \mathcal{O} る

れ

三十七 の 二 同 上

同 上

(1)+ = ル 結 及 に る る L 条 社 成 び < に 貸 準 保 外 第 規 一第三項 相 借 ず 国 は 険 第 十 年 制 当す 持 対照 Ź \mathcal{O} 第一 う + 法 金 外 株 者 項 律 融 以 表の資 会社 る 条 国に 又 種 に 機 第 規 第 金 0) は 規 額 百 関 者 同 以 兀 定 若 銀 融 定 五. U する 上 産 行 す 号 項 を L 商 金 、る少額 くは金 で に 品 \mathcal{O} 7 持 融 取引業 う。 最終 株 あ 部 第 な 若 機 る に 会 関 1 条 者 計 て 以 指 融 社 短 < 下この 商品同 者若 上し 期保 同 定 第 保 は r C ° 親 険 小 会社 条第 会社 た 取 L 険 項 額 号、 引法第 額 < 業 短 であ 者 若 はこ が + 規 期 しく 千 六 を 保 第 定 保 億 0 五. 五. 項 険 れい す 険 てそ はこ う。 +合 業 条 に 6 業 第 衆 七 規 法 準 玉 \mathcal{O} れ 条 定 連 項 6 \mathcal{O} す ず 若 同 平

と認 を 認 除 め られる者と高)をいう。 11 相 関 関 係 を有 L な と 認 め 6 れ る

- (2) (1)大規模規制な「略」 金融 六 機 関 イ (1) に 掲 げ る 者 を除く。

三十七 居住用一 不 動 産 七 \mathcal{O} 向 け 工 クスポ 略] ジ ヤ] 次に

スポー で管理されて け \mathcal{O} ジャー 1 ず れ で カュ るも であ 構成されるプー のをいう。 0 て、 同 様 0) ル に属し、 IJ ス ク 特 性を有る 当 該 ブー する 掲 げ ル る貸 単 エ 位 ク

1 不 動 産を 所 有 当 該不動 産 に 居 住 す る 個 人 向 け 0 貸

付 け 次に 掲 げ る 要件 \mathcal{O} 全 て たす貸付

個

向

けで

あること。

(3)(2) (1)関 次に 連 資 金使 費 用 掲 途 げ に る 限 が 定さ 要 住宅 件 れて \mathcal{O} 0) 建 1 ず V 設 ること。 れ か 取 に 得 該当す 増 改 築そ ること。 0) 他 0 住

(ii) (i) 賃貸に供 賃貸に供 する目 する目的 的である場合に で ないこと。 は、 返 済 が 専 5

金

一使途

 \mathcal{O}

目

的

で

あ

る住

宅

か

5

0

賃料

そ

0

他

0

収

入に

(4)改 一依 の債し 0 供 節 賃料 す あ に 9 て る 規 務 他 目的 定 者 \mathcal{O} E す な 住 か 対 他 宅 る ある場合に 関 信 す 0 るエ 収入に依存し 用 連 資 費用 IJ 使 ク ス ス 途 ク は 限 ポ が 削 定 住 減 ジ さ 7 返 宅 手 V れ ヤ 済 \mathcal{O} 法 るも 建 が を 専 設 適 \mathcal{O} 0 用 5 る 額 を除 当 ŧ 取 す 該 得 第 る \mathcal{O} 住 前 兀 増 \mathcal{O} 章

> いう。) لح 高 関 関 係 を有 L な لح 認めら

- 大 [同 上
- (2) (1)関 金 融 機関

七金 の融 六 機

し、当該不動産に民 三十八 三十七の三~三十七 (2) 大規模規制会 をいう。 れるプー 同 様 0 ル IJ に属 に属し、当なっスク特性な 屋に居住す 該 を す け る個 有 プ 工 個人向同上」 する ル 工 単 クスポ けの貸 位 1 で管理 ジ ヤ 付 1] され ジ け ヤ で不] て あ動 で 0 産 構 る を も成 所 のさか有

相 1 れ る者を除く。

円 下 で あ ること。

三十 単 す っるも プー 位 九 同 で 様 \mathcal{O} 管 ル 適 \mathcal{O} 理 に IJ ささ 属 ス IJ ク れす 特 て る ル お 工 性 ピ ク ン ŋ を グ 型 ス 有 ポ す カゝ ーリテ у́ つ、] ジ ク | ス ル ヤ 次] に ポ 掲 で 向 け げ あ ジ 工 る 0 クス て、 ヤ 性] 質 ポ 当 で \mathcal{O} 全て] 該 構 プー 成 ヤ を さ ルれ

1 5 ホ

合の区 向 1 九 、 う。 の 二 けル 一分に 工 向 クス け } . 応 エ ラン ポ ク じ ス ジ ポ ザ 当 該 ヤ 1 ク 1 1 ジ タ ヤ 1 又の 5 は] に ノち、 口 対 に 適 す 定 次 格 る 0 \otimes IJ 適 イボ る 格 要 又 ル IJ 件は ピ ボ を 口 ン ル 満 に グ ピ 型リ 掲 た げ グ す る テ 型 £ Ì の場 IJ

当 済 発 b クレ 生 業 商 該 が過 クレ 履 す を 品 去 十二月 る債 行さ 営 若 ジ ジ む L ツ れ 務 者 < ツ 1 \mathcal{T} に に か 1 は わ 係 11 5 権 力 ること。 る た 有 利 力] り、 エ 償 を 1 K ク で 購 ド \mathcal{O} 遅滞 役 ス 入 を 利 ポ 提 務 L 用 なく、] \mathcal{O} 示 に ジ 提 又 L 係 ヤ 供 て、 は る] を 定 特 工 に \Diamond 受 定 特 ク 5 限 け 定 ス \mathcal{O} る。 ること れ 役 \mathcal{O} ポ た 務 販 1 時 \mathcal{O} 売 ジ \mathcal{O} 12 期 提 業 7 場 に ょ 供 者 1 合 返 ŋ のか

口 \mathcal{O} 残 1 高 に 掲 が げ 零 で る あ 場 ること。 合 以 外 (T) 場 合 過 去 + 月 に わ た ŋ 債 務

四四 + 5 兀 + 略

ポ 定 通 ヤ 7 当 フ う 対 エ うち、 ラ、 ク 該 す \vdash 事 る 業 信 環 発 • ファ か 用 境 電 インフラ、 供与の 5 ノイン \mathcal{O} ナ 収 うち、 益 ス に 限 通 化 定利 信 学 事 払 1 プ 業 ラ 11 法 フラ か 及 人 なっ、 び ト 向 そ 返 け 済 信 \mathcal{O} 鉱 用 \mathcal{O} 他山 ク 供原の 事 ス

> + す 単 る っ る も 位 プ 同 九] で 様 \mathcal{O} 管 ル \mathcal{O} 適 理 を に IJ ささ 属 ス IJ 1 . う。 ボ れ す ク 特 て る お 工性 り、 ク を ス グ 有 ポ す か ź IJ つ、 ジ テ 工] ヤ ク 次] ス ル に 掲 でポ向 げ あ Ì け る全 ジ 工 0 クス て、 ヤ て 0 ポ 当 で 性 該 構 質 プ 成 t] を さ 有ルれ

イ〜〜 朩 同上

号を加える。

兀 + 5 兀 同 上

兀 + 業 資 ポ を 定 三 主 \mathcal{O} ジ 事 通 ヤ プ 業に L 1 1 口 て ジ ン \mathcal{O} 当 対 フ う エ する ラ、 該 ク 事 業 信 環 発 用 電 カゝ 境 フ 供 ア 1 5 ラン 与 \mathcal{O} ン 1 収 \mathcal{O} フ ナ ラ、 ١<u>,</u> う 益 ち、 に ス 通 限 化 定 利 信 学 事 プ 払 イ 業 ラ 法 ン人 フ 当 及 ラ 該 び ト 向 そ 事 返 け 済 \mathcal{O} 鉱エ \mathcal{O} 他山ク 原 事ス 有 \mathcal{O}

を産与 及の び 当 件 て 該を る 有 通 形 \mathcal{O} 資 7 を 産 信 か用 ら供 \mathcal{O} 与 収を 益行 に 0 0 た 者 てが 相当 当 該 程 事 業 度 \mathcal{O} \mathcal{O} 有 支 配 形 権資

四 四

品通該たのポ十十 を カュ じ 上 上 11 \Diamond] 五、四 、 う。 らて 場 \mathcal{O} 場 の信商 短 商 ヤ コ 収用品 期 品 モ 供の 益 \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} 与 売 う イ に 信 支 つを 却 用 払 ちテ 代 い行 供 潍 イ て 与 0 金 備 原 相たに 0) 金 油 フ いうち、在庫で 者が 限定 当 ア 程 金 イ 当該 度 属 \mathcal{O} 利 又 支配 上場 か 払 は 穀 つ、 売 V 物 商 及 掛 権 そ 事 を 品信び 債 \mathcal{O} 有及用 権 返 法 び供済 人 て 当 与 資 \mathcal{O} 商 向 い該 \mathcal{O} 原 金 品 け 条 上 調 る 資 取 を 場 件 ŧ 達 引 ク の商を当の所 ス

+設 £ 兀 \mathcal{O} 定 を さ れ適 11 格不動力 で 産 あ担 っ保 事 次 業 に 用 掲 不 げ 動 産 る 性 又 質は 居 \mathcal{O} 全 住 て 用 を 不 有 動 す 産 る に

四

+

六

5

Ŧī.

十三

イ Ś

五 + 五. 5

] に 掲 ヤ げ 適] る性 格 購五 に よ質入十つの事九 全て て 法 構 成 を人 さ 有 等 すっる購 れ た 分 入タス 散 度 業ポ \mathcal{O} 高 法 11 人ジ 等 プ t] 向 け ル ブ を 工 ク 1 う。 ス ポ次

5 六十

っ る も 直 接 才 リジ を は ネ タ] 次 に 掲 げ る 事 項 \mathcal{O} 1 ず れ カュ カン に 該 当

又

間

接

に

証

券

化

取

引

0)

原

資

産

 \mathcal{O}

組

成

12

か

わ

0

該の形 11 る 有 ŧ 形 産 \mathcal{O} 資 を を 産 通 担 V カュ じ う。 5 ての の信目 収 用 的 益 供 与 す に を 0 る い行 Ł て 0 0 相た で 当 者 程が 度 当 7 0) 該 支 有 配 形 権 資 産信 有及用 び供 て 当 与

四 四 + + 兀 同 上

にて該た のポ つ信商 上 8 1 五. い用品 \mathcal{O} 場 ジ て 供の 短 商 ヤコ 相 与 売 期 1 品 モ を却 当 デ \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} 程行代信 支 う イ 度 0 金 用 払 テ のたに 供 準 イ 支者限 与 備 原 配 が定 \bigcirc 金 フ 油 権 うち 当 Ļ ア を 該 在 金 イ 有 商 庫 属 か ナ · つ、利 、 払 品 L 又 払い て 及 は 穀 ス び信ル 1 売 物 るも 掛 そ事 該供び 債 の業 商品 \mathcal{O} 与 返 権 他 法 を \mathcal{O} 済 \mathcal{O} \mathcal{O} 人 1 か 条 資 商向 \mathcal{O} う。 ら件 原 け 0 を 資 調 取 収 通 を 達 引 ク 益 U 当の所ス

+六 5

五. 一 十 四 の設 を 定 11 さ うれ適 た格五十 担 不 十 保 動 三 で産 あ担同 っ保上 事 次 業 に 用 掲 不 げ 動 る性 産 又 は 質 を 居 全 住 て 用 有 不 動 す る産 に

7 同 上

十五 5 上

六 五 ジ に ヤー 掲 げ 適 る性 12 格 よって構 成 さ 有 人 れ 等 す る向 た 購 分 け 散 入 工 事 度 ク 業法 \mathcal{O} 高 11 人] プ 等 ジ] 向 t ル け を 工 ク う。 ス ポ 次

1 十一同七上 上

六 同 上

大 元 元 同 上

イ 直 接 又 は 間 接 に 証 券 化 取 引 \mathcal{O} 原 資 産 \mathcal{O} 組 成 に 関 わ

十の八信 ろにより、 ろにより 動 お す け 体となる部署 算出におい て、 正 変動 部 かするリ の人 価 取 て の七 *の* クをい の 六 C V の 五 の 三 の 二 対するリ 能 る C 用 値 取 引 市 九 11 をい 評価 引相 る場 5 V 兀 IJ 公 及 場 С · Aを使 七十 正 び 対 A ス 変 ス V 、 う。 、 う。 ヘッジ ク С て第 S C S С ク 価 額 動 個 В 手 信 Α 合 ス V \mathcal{O} て 般 別 又 VΑ Α V Α を 値 と 方 IJ 七 用 に C V ク IJ は A 用 取 商 市 Α Α 変 評 \mathcal{O} ょ ス 取 取 する IJ 動 う。 価 引 デ IJ り ク 品 場 で ス 百 C С 信 引 ノスク ス ス IJ 引 兀 V V に С \mathcal{O} は ク れ 額 相 用 そ ハク相当 ク 相 組 価 ス 捕 6 若 + Α A A 係 لح 手 IJ 0 V ク しくは 方の信 - 六条の るも ただし 格 ク 捉 に 合 採 0) スクを勘 レ 市 他 Α をいう。 用組 第六章の にできな 場 第七 当 差 ジ が 類する役割 これ 第六章の二第二 (派 □額を算 変動 額 のを除く 市 に 額 ツ を算 条の をい 用リ 外 兀 場 お 合 当 に 生 1 案しな 該リ す K 部 類 1 け 第 商 · う。 出 出 スク る る C V + C 二第三節 お す 特 品 ス 「 する IJ する手 項 V ス る け 定 共 を 兀 取 ブ ス \mathcal{O} A を **\ 海 る \mathcal{O} 通 有 A 第 ク 以 引 レ ・場合に 勘案する場合 ク 共 IJ 手 銘 す \sim 承 節 を 外 ツ \mathcal{O} 下 並 ッ 項 ジ に 認 ス 法 を る 法 K 通 柄 要 に に 計 同 \mathcal{O} び どいう。 ľ \mathcal{O} 明 を ク を 定 取 そ に 素 測 に う。 相 いう。 取 規 受 め 要 関 お 引 \mathcal{O} 確 す 0 V 引の かけ 当 るとこ Ź るとこ け 素 定 化 ポ 他 連 価 て 額 \mathcal{O} す 格 さ す 組 が る 2 形 \mathcal{O} る 変 れ主る S 合 変 に 公い 式 指 価 \mathcal{O} 七 号 号 号 号 号 号 る場 おけ 引[+ 六 用 を加 IJ + を 加 八 を を を を 合に 加 加 加 加 る 0 ス 九 る える。 える。 V V える。 える。 が 公 ク С (同 え え る。 る。 て、 に 七 変 正 V 上 お 動 け + 価 係 Α す 七 る公正 取 IJ 値 る 引相で んるリ ス 評 指 ク 同 価 標 スクを 上 額 手 \mathcal{O} 価 と 方 市 値 取引相 0) 場 レ 評価額 信 変 ジ う 用 動 ツ 手 IJ \vdash に 方 ス ょ 0 か C ク の ス シをす 差 信 ブ 額 用 勘 V を ジリス 案 Α ツ 1 し F う。 ク な派 そ を V 生 \mathcal{O} 勘 以 場 他 商

下

同す

合品の

取信

	_
	を比較することにより、内部モデル方式に用いるモデルの
[号を加える。]	八十七 損益要因分析テスト リスク理論損益と仮想損益と
	保有する外国通貨建てのポジションをいう。
	有している組合が、その自己資本比率の低下を防ぐ目的で
[号を加える。]	八十六 構造為替ポジション 自己資本を自国通貨建てで保
	業戦略を実行するものをいう。
	カウントの集合をいう。)であって、明確に定められた事
	る観測単位をいう。)のグループ(複数のブッキング・ア
	トレーディング・アカウント(トレーディング業務におけ
	トレーディング戦略を実施するトレーダーのグループ又は
	通じた収益の獲得又は市場での地位の確立を目的として、
[号を加える。]	八十五 トレーディング・デスク リスクの取得及び管理を
[七十九~八十四 同上]	[七十九~八十四 略]
	う。
[号を加える。]	七十八の十 理事 法第三十条第一項に規定する理事をい
	ッジ効果を発揮するポジションをいう。
	・デリバティブを含む。)及び当該ポジションに対してへ
	る債権であるポジション(単一の債務者に係るクレジット
	って、全ての裏付資産又は参照資産等が単一の債務者に係
	エクスポージャーを参照するデリバティブを除く。)であ
)又は特定順位参照型クレジット・デリバティブ(証券化
	性のある市場を有する証券化取引(再証券化取引を除く。
	人又は資産をいう。以下同じ。)について売買双方の流動
	は参照資産等(第三十二号において指定している複数の法
[号を加える。]	七十八の九 コリレーション・トレーディング 裏付資産又
	損失が生ずるリスクをいう。
[号を加える。]	七十八の八 マーケット・リスク 市場価格の変動に伴って

	な損失額の平均値をいう。 想されるバリュー・アット・リスクを上回る全ての潜在的
[号を加える。]	二 期待ショート・フォール 一定の確率の範囲内で
	除される評価調整を除く。)をいう。
	ハが別金規定されてハる平西調整及び自己資本の額か
	ただし、コミッション、フィー、自己資本比率計算上の取
	の外貨建ポジション及びコモディティポジションを含む。
	損益(日中取引、新規及び変更取引並びにバンキング勘定
[号を加える。]	九十一 実損益 日次の損益計算プロセスで計算した実際の
	益をいう。
	ーディング・デスクのリスク管理モデルにより計算した損
[号を加える。]	九十 リスク理論損益 損益要因分析テストにおいて、トレ
	際に使用するモデルをいう。
	要因分析テストにおいて用いるリスク理論損益を計算した
[号を加える。]	八十九 トレーディング・デスクのリスク管理モデル 損益
	のと整合的に扱うものであること。
	ロ 時間価値の影響について、リスク理論損益におけるも
	ること。
	イ 日次で更新される評価調整を可能な限り含むものであ
	を満たして計算したものをいう。
	れる評価調整を除く。)であって、次に掲げる要件の全て
	途規定されている評価調整並びに自己資本の額から控除さ
	引、新規及び変更取引、自己資本比率計算上の取扱いが別
	よって生ずる日次の損益(コミッション、フィー、日中取
	日の終業時に保有していたポジションを再評価することに
[号を加える。]	八十八 仮想損益 当日の終業時の市場データを用いて、前
	頑

	って、特定のオペレーショナル・リスク損失に関する情報
[号を加える。]	損失データベース 内部損失データの集合物でをいっ
[号を加える。]	青内のおおり
[号を加える。]	スパここつご 生ぎら 貫えと オペレーショナル・リスト
	をいう。 法的リスクを含み、戦略リスク及び風評リスクを除く。)
	しないこと又は外生的な事象により損失が生ずるリスク(員の活動若しくはシステムが不適切であり、若しくは機能
[号を加える。]	オペレーショナル・リスク 組合の業務の過程、役
[号を加える。]	JTD デっ
	動による商品の価値の変化額の推計値をいう。
[号を加える。]	百五 感応度 商品に関連するリスク・ファクターの微小な
	回る追加の潜在的な損失額をいう。
	品のリスク・ファクターの変動によるデルタ・リスクを上
[号を加える。]	百四 カーベチャー・リスク オプション性を有する金融商
	いう。
	デリバティブの価値の変化額から生ずる潜在的な損失額を
	されたボラティリティをいう。以下同じ。)の変動による
	ィ(市場において観測されるオプション価格をもとに算出
[号を加える。]	百三 ベガ・リスク 原資産のインプライド・ボラティリテ
	品の価値の変化額の線形推計値をいう。
[号を加える。]	百二 デルタ・リスク リスク・ファクターの変動による商
	と判定されたリスク・ファクターをいう。
	クターのモデル化可能性テストの結果、モデル化が不可能
[号を加える。]	百一 モデル化不可能なリスク・ファクター リスク・ファ

(単体自己資本比率の計算方法)

第 に \mathcal{O} 条 ょ 章 ŋ に 得ら お 法 11 第 れ て る比 単 条 率 体 \mathcal{O} に 自 1己資 0 第 て、 本 項 第 比率」とい 四 パ 号に] セ 規 ント以上とする。 う。 定する基準 は、 次 の 以 算 下こ 式

己資本の額(コア資本に係る基礎項目の額

- コア資本に係る調整項目の額)

Ⅲ \mathbb{H} \mathcal{V} 7 A 4 Ç 79 額の ·計額 +1 [4 Ç

得た \subseteq スク 絡 +
4
% 盐 Щ. 額の合 7 . У 計額をハパーセント ナル・リスク 抽当 い 深 額の合 \subset

額をハパーセントで除して得た額

7 1 ケ ツ \vdash IJ ス ク 相 当 額 不 算 入 \mathcal{O} 特 例

第二条 係る額」という。 条 セント 0 で除して得 0) 算式に 組 合 は 7 た額 次に掲 を算入し ケ ット 以 げ 下 る条件の な リス ママ いことが ク 相 1 全てを ケ 当 ツ で 1 額 きる。 • \mathcal{O} 満 たす IJ 合 ス 計 ク 額 場 合に 相 を 当 八 額パは

1 及 出 (び売: 円 に 基 直 準 相 近 未 日 満 当 付 \mathcal{O} す で 商 期 品債 末か あ という。 る 額 り、 ら自 未 券 満 勘 カュ 1己資 定 で つ、 の合 あ ま る 直 で 本 こと。 近 計 \mathcal{O} 比 間 率 \mathcal{O} 額 期 に 0) \mathcal{O} うち 算出 お 末 . の け 最も る商 総 を 行う日 資 大き 産 밆 \mathcal{O} 有 + \ \ 価 パ 額 以 証] が 券 下 勘 セ 千 定 算

ス IJ 兀 直 近 下 六 \mathcal{O} 力 \mathcal{O} 同 全 条 テ 期 の 二 体 ゴ 末 IJ カュ 0) ネッ +] 5 のうち 七 算 \mathcal{O} ト・ポ 全 出 体 基 最 \mathcal{O} 準 ŧ ネ · 日 ま 規定する外国 ジ 大きい シ ット \exists で • \mathcal{O} 額 0) ポ 間 ヘハに ジ 額 に を 為 シ お 替 \exists け お . う。 IJ ン る 0 ス 外 `「最 同 ク 額 玉 条 為 大 を 第二 力 替 額除テ IJ

(単体自己資本比率の計算方法

第二条 [同上]

 \square П Y 鶭 資本に ₩ 9 鰫 ダる О Ц 調 A |整項 資 Ш 9 庥 額 Ø 葉 礎項 Ш の額

4 して得た額 \mathbb{H} , / · IJ \subseteq \mathcal{V} 7 スク • Y 盐 4 账 Ý 額の合計額をハパーセントで トの額の $\Box \triangleright$ 計額 + 4 % 7

信司除

条を加える。

合計 とい け の手 け 口 彐 ンの額が る商 · 億 円 満 算 出 け + 算 額 <u>۱</u> ける次に パー であ 才 信 外 出 最 を 直 額 直 . う。 \sim 大八近近の 玉 で 未満であ 品 用リスク・ 基 基 \mathcal{O} 金準日が期間-セントに知 レー が、 除 十 額為 ること。 為 有 準 掲げ 期期末末 替] 替 価 日 て] IJ シ 千 IJ セ 証 が 得 3 り、 ント セン ス る 億 ス 券 期 \mathcal{O} 千億 (信用リス) ク • ア た ナ 円 ク 末 相 勘 額 末 Rの合計額の の合計額の の合計額の であ で 額 ル 当 \vdash セ か 定 で 円 」する額・ パリスク・ に つ、 • 除して得た額 力 ツ 及 あ 未満 IJ る場合に 相 テ 1 び る ハスク相 場合 当 ゴ \mathcal{O} 当 売 ショナル で かり、かっ 分には、 「する額 未満 該算 付 リー \mathcal{O} あ アセ に +商 ŋ, であ は、 当 パ 出 品 \mathcal{O} 全体 基準 . У ッ未 全 1 額 債 カュ 券 いること。 当 1 満 体 セ 当 \mathcal{O} かで ント の該 0) 当 日 勘 ス \mathcal{O} 合 該 額あ ネ算 ク ネ 計 該 に定 算 次 に掲 算 出 ること。 ット ッ 額 に お 相 \mathcal{O} 出 を 相 出 1 基 け 合 基 当 八 当 基 準 る 額 げ 計 準 す 準ポ ポ る パ 日 額 \mathcal{O} 総 日

がに

お

合

計

額

 \mathcal{O}

資

産

ジ

シぉ

に

日 る

額 に

第 兀 自 条 1己資本 同 Ŀ 0)

第 は四

第

二条

の算のの質

の式

合に

お

1

て、

ア

資

本に

係

る

基

礎

項

目

 \mathcal{O}

額

次

に

掲

げ

額

計額とする。

自 条

己

資

本

 \mathcal{O}

額

Ŧī.

直 彐

近

 \mathcal{O}

0

IJ

ス

ク

相

当 算

に 基

る

額 に

を

算

入してい

ないこと。

額出

係 準

日

お

V

て第二条の算式

にマ

]

ケット

ジ

シ

セ

次 掲 げ る 合

イ セ 基 保 同 用 Ü ーづく ツ 12 険 ヤ 第 貸 IJ ス + 百二 \vdash 当 規 法 倒 般 般 ク 積 定 に \mathcal{O} 該 引 貸 Ŧī. 貸 昭昭 \mathcal{O} でする農・ +合 <u>\(\frac{1}{2} \)</u> 当 倒 倒 係 額 額 計 六 金 0 \mathcal{O} 引 ア 引 る 和 金 及 当 条 合 に 限 信 額 兀 セ 規 び 第 計 が い水 十 金 ツ 定 用 金 相 第二 う。 る。 及び 八 IJ 額 産 に \vdash 互. 号に 業 年 ス \mathcal{O} ょ 内 援助 同 内 協 法 条 第 証 額 ŋ 部 号イ 十二条 掲 部 \mathcal{O} 同 律 券 に 標 格 積 部格付手法におり 算式 げる 準的 付 ア 組 第五十三号) 化 対 立 に 応 セ 合に 工 手 金 お 第一 クス 額 ツ す 法 手 (農 1 及び る 1 係 法 採 7 採 る相 £ け 項ポ に \mathcal{O} 用 水 同 用 る 第 額 証 産 \mathcal{O} ょ 組 じ。 第六 組信 互. 兀 \mathcal{O} 券 業 ジ لح り 合 合計 協 合 用 援 号 算 化 ヤ +工 に IJ の助 同 1] て 出 お ク ス 額 取 組 に 区 さ 額 あ に とする ス ク 条 0 決 合 お 係 分 \mathcal{O} 7 て 第二 ポ さ 合 \Diamond 貯 V る る は はア 計 に 金 れ

略

あ

7

は

該

乗じ

7

得た額とする。

1

一 二 五

パ

セ

ント

· を 乗

じ

て得

た

額

を

上

口

る

場

合

ク

信 用 IJ ス ク T セ ツ 1 \mathcal{O} 額 \mathcal{O} 合 計

2 第 七 略

項 当 \mathcal{O} 該 規 各号 定 に に カ 定 カ \emptyset るも ず のについては 各 号 掲 信 げ 用 IJ 場 ス 合 ク \mathcal{O} X T 分 12 セ

0 額 を 算 出 す るこ とを要

条 算 13 ケッ 1 IJ ス ク 相 当 額 に 係 る額 を

0

他

資

産

第

百

五.

同 上

じ。 組 信 \otimes 第 貯 た 用 11 百 て同じ。 合にあ 用 に 金 リスク 同 同 保 十 五 7 リスク・アセ 項保に険 基 般 号 般 上 0) は づく 貸 貸 イ 額 · 及び 0 規 法 倒 倒 条 0 ては、 当 積 定する農 0 ア (昭 引 引 五. 合計額 0 <u>\frac{1}{2}</u> 当 該 第 セ 規 パ 当 額 乗 金 金 和 ツ 定 Ì 十 金 及 ット じ 第 を 兀 \vdash 12 に セ び 当 百 水 限 条 十 \mathcal{O} ょ 内 相 得た額とする。 う。 る。 \vdash \mathcal{O} 第 産 八 額 ŋ 該 部 互. +額 合 兀 業 年 に 標 格 を 援 協同 法律 六条 第十二 対応 \mathcal{O} 準 乗 計 項 第 付 助 合 的 Ü 額が第二条 カュ 九 手 積 第二 第 て得た額 計 5 条 組 す 手 法 立 え も 第六 五十三号) 条 額 第 合 法 金 号に 四 第 に 用 內 項 (農 項 係 ょ \mathcal{O} 組 項 掲 0 ま ŋ を 部 か る 水 合 でに 相 L に 上 げ 格 算 産 第 5 算 Ś 第 付 式 互 兀 て 出 口 第 業 お 六 協 額 手 お 援 区 さ る に 六 場 +お 項 助 同 分 11 イ 7 す採 け て ま 取 組 る に は る用 同 で決条合 おれ信

口 同 上

2 5 5 同 上

信 用 IJ ス ク • ア セ ツ 1 \mathcal{O} 額 \mathcal{O} 合

計

七 条 同 上

2|第 用 IJ 前 ス 個 項 ク 別 \mathcal{O} 貸 規 倒 ア 定 引 セ に 当 ツ カン 金 1 カン \mathcal{O} わ 額 を 算 出 次 す に ること 掲 げ る を ŧ 要 \mathcal{O} L に な 0 7 は 以そ 信

+ (内 兀 条第 部 格 付 項 手 に 法 規 採 定 用 す 組 っる資 合 に あ 産 って う。

し な 11 場 合 次 に 定 8 る Ł \mathcal{O}

を 算 個 12 対 出 别 L す 号 貸 る場 倒 に 計 規 引 当 上 合 定 さ 12 す 金 れ あ る 7 内 信 V 7 用 部 るも は IJ 格 ス 付 0 ク 次 手 K に 法 限 掲 T 採 る。 用 げ セ るエ ツ 組 1 合 ク \mathcal{O} が ス 額 第 ポ \mathcal{O} 百 合 + ジ 計 六 t 額

(2) (1) 株 式 等 工 ク ス ポー ジャ

額 第 五. 0 章第三 算 出 方 節第 法 が 規 九 教に 定 さ れて おお 1 \ \ て るそ 信 用 0 IJ 他 ス 資 ク 産 等 T セ ツ \vdash

債の 務保 証見 返 勘 定

ハロ 際 期 L 限付 生 7 組 商 劣後 品 合 取 が 債 引 劣 後 務 に 保 係 \mathcal{O} 証 取 資 を 入 産行 れ につ 0 7 V 11 て る 場 取 合 入 先 \mathcal{O} 当 \mathcal{O} 資 該 劣後 金調 保 達 証 に

ホニ 取 等 引に 有 派 価 係る未収 と 証 V 券 う。 コ モ 及び デ そ テ \mathcal{O} イ 対 又 価の は 外 受渡し 玉 通 貨 又は 以 決 下 済を 有 行 価 う 証

目 う 資 うち、 等、 自己保 額 とされ 無 第 兀 形 有 普 条 固定資 第一 通 出 産 項 資 \mathcal{O} 等 \mathcal{O} 0 額 規定によりコ 繰 に 延 対 相 税金資産 象 資 当 本調 す る 達手段 ア 資 及び 部 分 前 本 に 払 保る調 年 対 金費 象 普 整 用 通 項 出 \mathcal{O}

 \vdash れ た 第の 兀 額 条 第 相 当 Ŧī. 項 の も す る 規 部 定 分 に ょ ŋ 繰 延 税 金負 債 \mathcal{O} 額 と 相 殺さ

第二 第 五 条 号に 条第 延 0 税 算式 掲 金 げ 項 資 る 産 \mathcal{O} 規 額 定によ 0 算 時 ット 差 出 0 ŋ 異 対 同 12 象に 条第 係 IJ るも スク相当 含まれ 五. 項 \mathcal{O} 第 に な 限 額に係る額を算 号 カュ る。 又 た 部 は 第六 \mathcal{O} う 分 項

入する場

合

前

号

に

定

8

る

ŧ

0

及

び

第七

条

0

か

6

第

下 同 じ に 対 L 7 計 さ れ 7 11 る Ł 0) に 限

債 務 証 見 返 勘

して 限 組 合 付 が 劣 劣後 後 債 保 務 証の定 を行る行 つれ 7 に いっ るい 場 7 合 取 \mathcal{O} 入 当 先 該 \mathcal{O} 劣 資 後 金 保 調 証 達 に

際

派 生 商 品 取 引 に 係 産

五四 等」 に 保る未 有 とい 価 証 v う。 収 券、 金 コ 及 モ び デ そ 1 \mathcal{O} テ イ 対 価 又 は \mathcal{O} 受 外 渡 玉 L 通 又 貨 は 以 決 済 下 を 行 有 う 価 取 証

引券

とされ 等 、 自己保 第 四 無 た条 形 んもののに 有 占 定資 普 \mathcal{O} 通 の産 出 に 規 資 相当、 等、 定 繰 に 延 ょ 税 対 る ŋ 金 象 コ 部 資 資 ア 産 本 資 及 調 本に び 達 前 手 払段 係 る 年 調 金対 整 費 象 項用普 目の通 う出 \mathcal{O} 額ち資

七 た 額 第 四 に 相 条 当 第 す 五 る 項 部 の額 規 定 に よす り 繰 延 分 税 金 負 債 \mathcal{O} 額 لح 相 殺 さ

八 号 五. 条第 繰延 掲 げ +税 る 項 金 資 額 0 の算 規 産 定 $\widehat{}$ 出 に 0 ょ 時 対 り 差 象 同 異 に 条 に 含ま 第 係 五. る れ 項 Ł 第三号 な \mathcal{O} かった に 限 文は る。 部 分 第 六 \mathcal{O} 項 う 第 ち

n

[条を加える。]	ーディング目的」という。)のいずれかに該当する商品は、第七条の四 商品の保有の目的が次に掲げる目的(以下「トレ(トレーディング勘定への分類基準等)
[条を加える。]	勘定に分類するものとする。 の五に定めるところにより、その保有する商品をいずれかのの五に定めるところにより、その保有する商品を公第七条第七条の三 組合は、その保有する商品を分類するためにトレ(トレーディング勘定及びバンキング勘定の設置)
[条を加える。]	第七条の二 第二条の算式においてマーケット・リスク相当額 第七条の二 第二条の算式においてマーケット・リスク相当額 の合計額とする。ただし、現金預け金、貯金及びコール資金 の合計額とする。ただし、現金預け金、貯金及びコール資金 レーディングとして管理及び評価をしているものについては が象に含めることができる。
3 同上	3 [略] 品(証券化取引を目的として保有している資産、第七条の四の七第一項に規定するCVAリスク相当額の算出に反映さの七第一項、第二百四十六条の三の四又は第二百四十六条の三の三の第三項第四号に掲げるもの及び第二百四十六条の三の三の元に対象の対象に対象として保有している資産、第七条のの五までの規定によりトレーティンク勘定に分類された商の五までの規定によりトレーティンク勘定に分類された商

レ 短 期 デ 間 イ \mathcal{O} 再 売 勘 却 定 目 に 的 分 類 す るも のとす

目 相 場 そ \mathcal{O} 他 \mathcal{O} 指 標 に 係 る 短 期 \mathcal{O} 価 格 変 動 カ 6

 \mathcal{O}

利

益

 \mathcal{O}

獲

市 場 号 間 \mathcal{O} 裁 定 取 引 に ょ 1 る 利 益 か \mathcal{O} 獲 得 目 的

ト L 7 レ 商 保 品 ずるリ デ 有 有 イ L 価 ン 7 証 ス グ ク 1 券 勘 る 勘 \mathcal{O} 定商 定 \sim ツ に 品 及 ジ 分 \mathcal{O} び うち、 類す 売 目 付 的 るものとする。 商 次 品品 に 債 掲 券勘 げるも 定 0 \mathcal{O} 資 以 産又は 外 0) Ł 負 \mathcal{O} 債 は

2

]

兀

前

三

に

掲

げ

る

目

的

 \mathcal{O}

ず

れ

で

保

有

L

て

1

る

商

品

か

6

直 証 非 上 接 券 又に化 場 株 保 \mathcal{O} 有 た 式 す 8 \mathcal{O} 裏 動 付 資 産 産 に する予 定 \mathcal{O}

商

る

が を 法同い合の る場 適 判 人 U. 売 上 及 個 切 が び 断 \mathcal{O} 人 \smile ンに ŧ で す 卸 合 組 高 な る 対 \mathcal{O} 売 がに 合 は 当 を に 業 す 五. 中 あ が る 当 場 を 該 堅 + 0 同 出信 合 た 営 億 て 事 中 れ 用 0 円 は \mathcal{O} 業 小 不 に に む て当 は、 グ 法 供 含 場 未 企 与 合 連ル \emptyset 満 人 業 ることが 当 該 そ \mathcal{O} 結] が 該 事の t 事 プ 連 \mathcal{O} 事業法の 他の売に 結 業 を 上 属 財 法 法 当い 高 す で 人 務 人 , う。 きる。 人の売 該 る 諸 \mathcal{O} 事 以 ₽ 表 う ち、 総 上業た下 を \mathcal{O} 高法だ 次 資 と 作 章 産 を 成 当 人 \mathcal{O} L に が 用 \mathcal{O} 号 て 該 五い 事当に 管 て お 事 + る 業 該 お 理 業 11 1 とこと 億 規 事 て 11 L る 法 円 模業で 可 人

六 五

前

に ド

商

品

 \mathcal{O}

ず

れ

を

原 掲

資

産 る

لح ŧ

す

派 除

生

商

品

フ

ア

 \mathcal{O}

資

次

項 11

第二

一号に カゝ

げ

 \mathcal{O}

を る

取

引

又

は 号

フ

ア 掲

F る

3 七 商 品 商 前 有 各 号 価 に 証 券 掲 げ 勘 定 る 及 商 び 品 売 \mathcal{O} 付 IJ ス 商 ク 品 を 債 券 ッジ 勘 定 \mathcal{O} す る目 資 産 又は 的 で 保 負 債

有

す

L 7 保 フ ア デ 有 イ L ン ケ K ツ て \vdash グ 11 0) 勘 る 出 定 商 メ イ に 品 資 クに 分類 で 次 な 12 係 す 11 掲 る る 商 掲げる要 業務 もの 品 のうち、 のため とする。 件 \mathcal{O} 次 に 11 に ず 保 掲 有 れ げ す か るも る に 商 該 0) 当 品 は す

るもの

に

限

る。

い独 章 接 ル ること。 保 <u>\(\frac{1}{2} \) \(\frac{1}{2} \)</u> 1 当 次章 し 有 該 個個 た第三 アファン す 及び るも 々 \mathcal{O} 者 第 \mathcal{O} 工 ド 六 12 لح ク \mathcal{O} より 章 同 ス 構 \mathcal{O} 様ポ 成 兀 検証された十 に Ì 銘 に 把ジ 柄 おいて同じ。 握 ヤ に す 1 0 ることを に 1 関 て、 分な す る 組 f情報をE いう。 情 合 が 報が、 で に き、 取 以 つル 下こ 得 11 ツ か て ク L つ、 て \mathcal{O} 直

口 ŋ ス ク 組 相 カュ 合 ~、 当 が 額 当 当 に 関 該 該 す フ フ る ア ア 情 ン ン K 報 K を \mathcal{O} \mathcal{O} 取 運 市 得 用 場 L 基 価 準 て 額 及 11 を ること。 \mathcal{U} 日 7 次] で ケ 入 手 ツ L て IJ お

五四 三 上 場 株 式

1 V] デ 1 ン グ 業 務 に 係 る レ ポ 形 式 0 取 引

彐

4 除 し でする て 商 保 オプシ 品 有し ŧ 有 0) 価 \mathcal{O} う とす てい 証 ち、 券 る。 る商 次に 勘 定 品 及 掲 げるも で び な売 付 11 商商 0) 品品 は、 債 前 \vdash 券 勘 レ 項 各 定 デ 号 \mathcal{O} イ に資 掲 産 グ げ 又 勘 る は ŧ 定 負 に 債 \mathcal{O} 分を

ま れ コ る商 IJ V] 品 彐 ン 1 V デ イ ン グ 0) ポ 1 1 フ オ IJ オ

に

含

2 第 6 5 七 商 値 上 V る ことに لح で 行 イ て 品 条 組 組 げ 商 口 日 公 が グ 保 品 合 デ 合 引 ジ 別 る 政 以 \mathcal{O} オ 信 受け 1 目 は、 は、] できる。 庁 グ 有 外 丰 次 正 手 へ 有 五. 1 \mathcal{O} ポ 用 関 ッジ ッジ 勘 バ 段 に 的 価 \mathcal{O} で 価 • 商 ジ IJ し 届け て 計 グ l 業 1 لح ポ 品 ス 定 証 商 グ 値 以 前 1 商 条勘 っ て 法 に 勘 務 外 品 ジ 3 ク 11 券 品 測 評 V ^ 対 又 対] 定 ッジとな 象 は 又 出 \mathcal{O} 分 る 勘 はの 定 価 を か て 利 類 商 定 規 が デ に 令 売 ら لح 彐 \mathcal{O} は た 目 複 \sim 評 却 場 的 す 品 及 バ 定 \mathcal{O} 求 イ分 に 生 用 ン 数 な い株 な 水められている*イング勘定に分類することがで に別段の定め、対すること及び るこ さ ン ず と 合 で 並 び に 分 価 る 0) る ず 式 Ź キ 売 ょ 損 0 な に 保 び 類 れ 口 商 口 れ IJ ととされ れ勘 て 限 有 に 付 ン ŋ 基 益 商 る ン 0 品 ン カュ ス けるも 商品 定に グ・ クを り、 前 グ 1 準 を 品い 商 グ て を \mathcal{O} ,勘定に 認 るポ 品 組 構 条 レ 11 るポ バ 第] 識 がび ポ ポ 債 \bigcirc 合 成 有 ものす す ジ 0) る 三 券 で シ ジ せ ジ す ン デ な 商 す きる。 に 商 項 勘 る シ ジ る 丰 分 V 品 \exists シ に シ る イ にる ŧ 類 シ ょ £ 限 \exists 1 \exists \exists 商 ン 0 品 \mathcal{O} 定 \mathcal{O} グ 彐 り、 す グ 1 規 \mathcal{O} \mathcal{O} 0 商 IJ 1 ン り ン 品 \mathcal{O} とする。 う 資 る い品 に 勘 7 定 勘 ス が 0) いては、 は、 に ち、 クを 定 産 ŧ 定 当 ポ ネ j \mathcal{O} 対 存 う ジシ に ょ 又 \mathcal{O} に 該 ツ 在 ち がち、 とする。 り は て、 \vdash 分 あ 分 商 せ 卜 ^ ず、 ツ 1 負 類 類 レ 公 品 彐 6 次 債 ジ に] す 正 会 を ン シ す カゝ V

価 計

トす

がッ

ョ 個

掲

[条を加える。

る

3

 \mathcal{O}

規

定

に

カュ

カコ

わ

6

ず、

次

12

掲

げ

る

場

合

 \mathcal{O}

11

ず

れ

カ

に

該

るじデ

1 2

	ンキング 勘
	レト V 春 レ え ー
	よ 九
[条を加える。]	第七条の七 組合は、次に掲げる行為(以下この条から第七条(勘定間の振替の制限)
	て提出することができるように整備するものとする。
	査を一年に一回以上実施し、その結果を行政庁の求めに応じる。終合の内音監査音署に、第一項の商品の分類に係る内音監
	A こう日子にこうに、 5・頁) 頁 コント頁に、 513れたかどうかの検証をする体制を整備するものとする。
	管理部署」という。)は、前項の商品の分類が適切に実施さ
	リスクの管理に責任を負う部署(以下「マーケット・リスク
	2 組合のフロント・オフィス部門から独立したマーケット・
	にその遵守態勢を確立するものとする。
	囲を定めるための方針及び手続に係る文書を作成するととも
[条を加える。]	第七条の六 組合は、トレーディング勘定に分類する商品の範
	(商品分類に係る方針等)
	- U + U + U + U + U + U + U + U + U + U
	に掲げる条件を満たす場合
	簡易的方式採用組
	算入しない場合
	-
	する。
	当する組合は、全ての商品をバンキング勘定に分類するもの

2 前移 項 替 \mathcal{O} 規 えること。

を 満 すな 場 合に、 はかか カュ 勘 わ 定間 5 ず、 \mathcal{O} 振 組 合は、 替 を行うこと 次に 掲 が げ できる。 る 要件 \mathcal{O} 全

7

当 該 勘 定 間 \mathcal{O} 振 替 に 0 11 て 理 事 \mathcal{O} 承認 を受けて 1 るこ

当 該 勘 定 間 \mathcal{O} 振 替 に 0 1 て 内 部 監 査 が 行 わ れ て 1 るこ

当 該 勘 定 間 \mathcal{O} 振 替 に 0 11 て 開 示すること。

3

行 あ 政 5 組 分庁に か 合 じ は め、 提 出 前 す そ項 Ź \mathcal{O} \mathcal{O} £ 旨 規 \mathcal{O} 及 定 لح に び する 次 ょ に ŋ 掲 勘 げ 定 間 る 事 \mathcal{O} 振替を記 項 を 記 行 載 ごう場 L た 届 合 に 出 書は を

当 するとき 勘 項 定 第間一の \mathcal{O} は、 号 振 か 替 そ ら を \mathcal{O} 第 行 旨 う を 号 商 つまでに掲げるの種類 品 げ **当** る 商該 品商 の品 いが ず第 れ七 か条 にの 該四

前 定 項 各 間 \mathcal{O} 号 に 替 掲 を げ 行う る 要 商 件 品 の含 全てを満れ 保 有 \mathcal{O} た 目 的 L \mathcal{O} て 変 1 更 る に 旨 係 \mathcal{O} 説 説 明

る

明

そ \mathcal{O} 他 参 振 考 とな る べ き 事 項の

条 を加 える。

替 に 係 る 所 要 自 己 資 本 \mathcal{O} 額 \mathcal{O} 計 上

勘

定

 \mathcal{O}

七 定 自 条 間 0 己 \mathcal{O} 八間 \mathcal{O} 資 に 振 本 替 の組振 算す を 額 合 行 が は 減 0 た 少 勘 L 日 定 た 以 間 後 لح \mathcal{O} き振替 \mathcal{O} 算 出 を そ行 基 \mathcal{O} 準 0 た 場 減 日 に 少 分と 合 お け る 同 お 所 額 11 要 を 当 自 己該所

本

る

£

 \mathcal{O}

لح

す

رِ م

2 は 組 が 合 行 でき 政は額に 庁 る が勘加 承 定 間 認 \mathcal{O} L た 振 場 替 合 を に 行った商 限 り、 前 品 項 が \mathcal{O} 満 期 規 を 定 迎 を 適 え 用た 場 L

な合

いに

言目 アスタド 木代 アスプラ 野女 一つ

引者 て 引の を満 で (第 信 あ 用 たす ポ 九 る IJ ジ +ス 適 格 ク ッジ 条 彐 ブ ン ジ を 取 各 口 卜 号 テ V クシ 完全に 引 及] び を デ 11 第 3 イ · う。 相 九 殺 + 提 勘 して 以 五. 供 者 下 条 定 各号 11 同 との に ること。 U お に間い て、 掲 で を げ 外 行 る部 組 11 条 合 ツ 件 が 内のジ 第 部全取

株式 IJ ス 次 に 掲 げ る 要件の 全てを満 たす ŧ \mathcal{O} で あ る

 \mathcal{O} そ \vdash \sim ッジとし 内 \mathcal{O} 口 V 外 部 テ 1 部 取 ク デ 引 シ 1 ッジ て \mathcal{O} ン 彐 認 ポ グ 識 取 ジ 勘 提 さ ションを完全に 引 定 供 が に 者との て お V バ 1 ること。 ンキン て、 間 で 組 外 グ 相 合 部 殺 勘 が してい 第三者 定 0) 株 ること。 取 式 で 引を IJ あ ス る ク 行 適

に 計 \mathcal{O} 彐 . 定 め ンを完・ 測 第 取 前 引相 対 項 項 るところ 象 第 は \mathcal{O} 手 全 IJ 方 号 に لح 相の 次 ス ク 殺 \mathcal{O} \mathcal{O} 外 各 移 ょ 複 す 部 る。 号に 数 る 転 場 ッ 合 ジ に \mathcal{O} 取 掲 お に取れ げ け 引 以引にお る場合 る に は ょ 7 ŋ] 当 構 \mathcal{O} ケ 該 1 外部 て、 ツ 成 区 ١ すること 分に 内 \sim 応じ、 IJ ツ 部 ス ジ 取 ク が 取 引 相 当 で 引 \mathcal{O} き を 当 該 ポ る。 各 額 複 号の 数

3

2

勘 定に 第 お 項 各号に け る内 部 定 取 \emptyset 引 る 要 及 び 件 を満 外 部 へ ッ た す ジ 場 取 合 引 を 卜 含 む] Ł デ \mathcal{O} イ とす グ

定に バ 第 勘 が ン 生 丰 お 定 項 じ け に 各 グ た る お 号 場 勘 け に 合 定 部 る 定 に 取 外 \otimes 引を お 部 る 該 要 含 ツ ポ て 件 を満 ジ オ ま ジ ショ 1 な 取 たさ バ 11 引] Ł を を含むも 含 な ヘッジとなっ \mathcal{O} とする みい、世 場 卜 合 0 レ とする。 1 1 たポジ デ V イ デ イ

条の十二 内部取引による、一般金利リスクの内部取引)

第

七 ることが げ 条 る要 勘 \mathcal{O} 定 できる。 \mathcal{O} 0 全 内 般 て 部 を 金 満 利 た IJ す ス ょ 場 ク る 合 \mathcal{O} バ ンキン IJ に 限 ス り、 ク グ 移 勘 \sim 転 に定 ツ ジ つか 効 5 11 果を て 1 は V] 反 映次デ す に 1

さ が 内 作 部 れ . 成 さ てい 取 引に れ る旨 て ょ **\ 及 ŋ る び バ こと。 当 ン 該 丰 ン 般 グ 勘 金 利 定 IJ \mathcal{O} ス ク 般 \mathcal{O} 金 発 利 生 IJ 源ス に ク 係が る 文 ツ

ス ク 内 ケ 0 部 ツ لح \vdash う 取 • ち、 \mathcal{O} 引 間 IJ は で ス 他 ク 内 \mathcal{O} わ 相 部 \vdash 当 れ V 取 ること。] 額 引 を デ 担 計測、 . 当 デ イ ン グ す ス ,るデス. ク デ <u>}</u> ス ク ク V を カゝ] 6 デ う。 独 イ <u>\</u> 以 し グ て 下 同マデ

2 うことが シ 内 \exists 部 ン 取 に で 引 、きる。 対する 担 当 デ 外 ス行 部 ク は、 ツ ジ バ ンキ 取 引 を ン 第三者 グ 勘 定 と と 0 \mathcal{O} 間 内 で 部 直 取 引 接 にの 行ポ

3

取 全のレ 1 ポ 引 第 て、 相 デ は] 項 デ イ デ イ 内 さ \exists 内 \mathcal{O} ン イ IJ 部 れるときに グ 部 ン グ・デ グ・ IJ 取 に 取 ス 引担 ク ょ デ 引 移 り ス 担 デ スクが保有する内部取引のポジシ 相 第三 当 ク 当 ス 転 「デス ځ 限 ク デ に 額 者 ス を ŋ 行 お ク \mathcal{O} لح う ク 通 V 及 て、 計 行うことが 0) が じ 内 測対象 般 外 た び 内 内 部 金 部 第 部 利 取 三 部 取引担 に 者 ツ IJ 引 取 含む ジ で ス 担 と 引 き \mathcal{O} ク 当 \mathcal{O} 担 . 当 デ ŧ る。 に ポ デ 間 当 0 ジ 係 デ ス \mathcal{O} とする。 ス シ る ク 外 ス ク 0) 彐 内 以 ク 部 彐 以 外 以 場 部 外 と ツ 合 取の 外 は ジの に完引 1

条を加える。

3 2 第 七 部 部組 七 は 測 る 相 イ ジ С 要 取 С 条 対 ン 内 当 条 合 \vdash 取 引 象 VO V 第三 件 グ 部 額 \mathcal{O} ツ V デ \mathcal{O} ぶに含 を満 • 引 に 1] Α С + A 取 \mathcal{O} イ + よるト ^ V 兀 IJ 者 デ デ 引 計 ツ **(**以 たす ツ IJ کے む \vdash A リ ス イ ス 担 測 グ ŧ 下 ジ 取ン ク 第 ク ス 当 範 場 ع 取ス に ク 0 进 デ IJ 七 引グ デ V と 内] 引 ク 条 相 す • 合 ス お \mathcal{O} ス に ス ケ 、るデス に す 部 デ \mathcal{O} 当 12 間 ク 含 ク ク け ツ うる。 限 لح С イ と 係 + る 額 \mathcal{O} む 間 1 相 ク V る 内 t 当 V ン カュ 内 のレ ŋ 内 \mathcal{O} グ . う。 第三 Α 5 部 計 1 が 部 部 \mathcal{O} 内 IJ 額 前 測デ 保 لح 部 ス 取 取 取 \mathcal{O} \sim 7 こする。 取引は が相当年 者 ツ デス 引引は担 対 イ 計 条 引 有] 象に ジ する 及 と ま ン ケ は 測 ク と C 取 びの で グ ツ 当 対 引 含 勘 内 前 デ 象 $C \sim \mathcal{O}$ 1 額 ッツ لح V 規 む 定部 • ス 条 \mathcal{O} 7 な Αジ لح V 定 Ł の取 IJ 第ク] 計 IJ \mathcal{O} 以 る 取に 商引 ス ケ 測 1 Α う。 項 外 内 デ ス引 と ク 対 カゝ 品の ツ す 象部 ス ク カゝ と ポ 相 各 \mathcal{O} \vdash る。 ク に 以 同 ジ 当 取 わ 号 で \vdash にとおの IJ 引 係 6 様 シ に あ 下 額 V る ず ス る に 彐 \mathcal{O} 掲 1 項けへ内外 7 ン 計げデ ク 1

条

を 加

える。

条 を加 える。

2

外

Α

ジ ょ

取

引

0)

ち、

適

C

ジ

取

引

又 百

兀

六

 \mathcal{O}

兀

0 定 う

第一

を条

六 V

条

 \mathcal{O}

三 ツ

 \mathcal{O}

に

規

とする適 十三 以下こ

格 格

В

Α

С

V ツ

Α

ツ

ジ

С

V は 兀 部 8]

ツ 百

ジ

る取十

11 う。

 \mathcal{O}

ケ章項

及 に Α V

章

11 格

T S

該額同A取

スに

び規

次 定

す

る

も引

に Α 第 +С

該 \sim

当

す

対

に

含

ま

な

t

 \mathcal{O} 0

と ** \

適

格]

C

V

Α

ツ

ジ

取 ク お 適

引 相

に

いの

に

て

は

7

ツ

1

IJ

当

に る

定 7

るところ

に

ょる。

ケ

ツ

}

IJ

ス

ク

相

当

額

 \mathcal{O}

計

測

対

象

は、

次

項及

び

第

3 相 に かス 当 応 6 ク 内 ケ L じ、 額 構 \mathcal{O} ツ 部 な を ポ 成 \mathbf{C} 計 当 さ ジ V Ł 測 該 れ シ IJ 各 するも な 彐 ス ツ け 号 ン 0 ジ に 及 相 れ 0 定 び ば 取 当 て とする めるところに な 1 引 は 5, レ は \mathcal{O} ず、] 計 六 デ 測章 互. 1 次 V 対 \mathcal{O} に \mathcal{O} ン 象 兀 より グ に 完 各 に 号・だデ 含 全 定 に む 8 7 ŧ] 掲 ス 相 るところ ク ケ げ \mathcal{O} とす する る場 0 ツ 1 ポ ジ C 12 合 シ IJ V ょ \mathcal{O} 3 ス X Α ŋ ク 分 ン デ 7

測 相 な 対を象相 当 • 内 V ヨ額の計 場 部 殺 C 合 含 す V ま \mathcal{O} ること 測 Α С ポジ ヘッジ な 対 V 11 象 A デス ŧ に と ションは、 に より、 なるポジショ 取引が \mathcal{O} とする。 クの 適格 7 ポジション いずれ] ケ С ツ ン V とし、 Ł \vdash A 及] IJ ツ び ジ ス 双 ケ \vdash ク 方 ツ 取 レ \vdash 相 \mathcal{O} 引] ポ 当 に ジリシス ジ デ 額 該 イ 当 \mathcal{O} 計 彐 ク

測 \mathcal{O} る 対 兀 場 内部 象 に 合 に 定 $C \ \mathcal{K}$ 含 \otimes \vdash V む る V Α とこ ŧ] ヘッ \mathcal{O} デ ろ と イ ジ こする。 に 取 引が ょ グ ŋ 滴格 デ 7 ハスク] ケ С ツ \mathcal{O} V 1 ポ Α ジ IJ シ ツ ス 彐 ジ ク ン 取 相 は引 当 12 額 第六 該 当 \mathcal{O} 計 章す

4

進

的

方

式

に

係

る

要

件

に

定

8

るカ

]

べ

チ

t

1

IJ

ス

ク、

デ

 \mathcal{O} な フ る オ 者 測 完 کے グ ポ ル 全 勘 ジ 1 \mathcal{O} シ ョ に 間 定 • に V) 相 IJ で ンに スク 殺 て 行 お 勘 す う 案 る 外 て 係 又 す 場 は 部 る ること 合 残 С 組 ツ 合 余 に V 限 ジ が Α IJ が 取 第 IJ ス り 引 クに できる。 ス 者 ク 7 が 当 \mathcal{O} 対] で する ケ 該 あ 内 部 ツ 内 る 取 資 部 \vdash プ 取 口 引本 テ 賦 IJ 引 は ス \mathcal{O} ク 課 ク ポ シ \mathcal{O} 卜 相 ジ 彐 V 対 Ì 当 象 シ 額 ョ提デ لح

は V A 条の十 デスクとト 第 項各号に定める要件を満たす場] ディング・デスクとの 間 0 内 合 部 に 取 は

5

手 五. 段 + とし 条 第一 て利 項 用 に す 規 ること 定 す る が 派 で 生 、きる。 商 品 取 引 \mathcal{O} 与 信 相 当 額 0 \sim ツ

七 め、その旨を記 条 がの十 キ ・ング 五. 勘定 **|** 載した届出書を行政庁に提出するものとする。 レー とト ディ レ ング] デ 勘定を設ける組 1 ン · グ 勘 定 \mathcal{O} 境 界に 合は、 係 る届 あ 6 かじ 出

条

を

加

え

る。

2 前 項の届出書に は、 次に 掲げる事 項 を記 載 L た書類を添 付

るものとする。 第七条 0 五. 第二 項 \mathcal{O}

規

定

に

ょ

ŋ

バ

ンキ

ン

グ

勘

定

に

分

類

第七 条 九 第 項 \mathcal{O} 方

る

商

品

3 る \mathcal{O} 内 げ 組 る事 容 合 は、 項 記 第の に 載 に変更が 項 た \mathcal{O} 変 あ 届出書に 更 0 届 たときは、 出 書 記載 を 行 す 政庁に提 遅滞 ベ き事 なく、 項 出 又 す その は るも 前 旨 項 及びそ 0) لح

本 フ 口 ア \mathcal{O} 算 出 方

第九 **一** の \mathcal{O} 出 ら当 額 条 た所 母 セン を 的 に 該 控 な 組 \vdash 加 除 承 要 手 合は、 える 自 認 を 法 乗じて を 己 次 受け 資 Ł ょ 額 0 \mathcal{O} 本 ŋ に 各号のい 得た額 た \mathcal{O} 算 計 出 額 算 を L 五. 方 上 が た ず に所要自 法 承 口 れ 乗じて得た額 認を受けた計 るとき かに ょ ŋ \Box 該当 は 資 算 出 本 する場合で 当 \mathcal{O} を第二 額に七 該 算方法によ た 乗じて 所 要 一条の 自 十二・五 あ 得た額 \exists って、 資本 り算 算式

部格

付

手法採用

組合

内

部

格

付

手

法

(先

進

的

内

部

格

付

手

法

採

用

組

合

に

あ

っては

内 資 本の 部 格 下 付 限 手 法 又 は 先 進 的 計 測 手 法 \mathcal{O} 使 用 開 始 12 伴 う 所 要

自

己

は、 九 け ア に \emptyset 11 + = -る率を て、 条 れ セ ば 当 なら 1 該 信 内 調 五. 乗 乗 用 部 を乗 リス な整 Ü ľ 格 て得 て得 \ \ \ 額 付 じ ク 手 て得 たたに と 法 **\ 額 額 係 採 . う。 た額 が カュ る 用 5 新 旧 組 新 所 所 合 第三 を第二 要 要 所 は 要 自 自 自 項 己 己 次 条 に 己 資 資 0 本の 本の お 資 各 0 本 算 いて 뭉 式 \mathcal{O} 額 額 に 額 を 0) 信 に 掲 を控 上回 分 母 当 げ 用 該 る 12 IJ 除 る 各 期 場 加 ス 号 L 間 ク ・ た 合 え に に な 額に定お

- 39 -

三 二 第内 部 七 デ ル 方 式 採 用 組 合

次 章 五. に + お て 第 期 項 待 \mathcal{O} 工 ク 承 ス 認 ポ を 受 ジ け ヤ た 1 標 方 潍 式 的 採 手 用 法 組 採 合 用 組 合

2 各 合に 7 自 礎 進 は、 7 ŋ け 己 礎 的 的 お 手 項 得 算 的 は た 資 内 内 法 \mathcal{O} 掲 た 出 計 本 げ 7 部 基 部 内 規 \mathcal{O} 額 当 使 算 \mathcal{O} 同 格 礎 格 部 定 る た 方 該 額 期 付的 付 格 用 に 乗じ 第 所 法 12 間 内 手 手 付 を か に 当 要 に 法 部 法 開 手 か 条 自 採 法 ょ 該 お \mathcal{O} 格 始 わ カ 己資 得 0 ら 二 採 り 各 付 用 使 6 算式 算 た 号 T 用 手 組 用 た ず 本 額 出 に 年 を 法 合 組 日 とし \mathcal{O} (T) 開 採 合とし か 定 標 内 を ら当該 分 額 用 た 経 先 8 準 始 部 分母に を控 て 進 る 過 組 所 的 L 格 合とし た て 要 率 す \mathcal{O} 的 付 な 引 加 除 承 自 手 る 承 0 を 内 手 え 認 L 己 乗 法 日 認 承 部 法 る た を 資 じ て 認 採 に ま 以 を 格 受け £ 受 を 額に十二・ 本 で \mathcal{O} 付 用 7 ょ 下 \mathcal{O} け 受 \mathcal{O} 得 り \mathcal{O} 承 手 組 とす た 額 算 間 \mathcal{O} 認 た け た 法 合 を受け 出 は 場 た 計 を 章 は 額 採 る。 合に 上 及 算 が 日 用 五. 後に 方 び 内 口 承 た 次 組 を法 る 認 所 \mathcal{O} 次 て あ 合 部 3 2

3 前 뭉 項 に \mathcal{O} 掲 げ 準 る 的 期 間 手 を 経 過 ょ L た 算 日 出 以 L 後 た 所 年 要 間 自 己 資 + 本 額 セ

内

格

付

手

法

 \mathcal{O}

使

用

を

開

始

L

た

日

以

後

年

間

九

+

日

以

後

年

間

パ

]

セ

ト部

匹 計 第 第 す 該 各号に定める 場 項 第 合 号 お 1 分 12 て 母 掲 手法により 0 げ 額 次 る額 各 号 算出] き当 掲 セ L げ 該 た る IJ 手 額 を 法 0 ス 乗 合 ľ 12 計 0) ょ 区 1) 額 得 算 か 分

> 後 項 先 各 進 年 号 的 間及 び部 九 格 十 四 付 パ 項 手] に法 セ お ンい次 T 同 及 じ び 第 兀 の項 使 並 用び をに 開 第 + 始 し八 た条 日 第 以一

- 以 後 内 部 年 格 間付 丰 法 八 法 + 0 パ使 用 セ を ン 開 1 始 L た 日 カコ ら 年 を 経 過 た 日
- て、 一のペを上当 算 V控 回 該 先 式] 除 る 各 進 オ 場 号 的 のシ L 的分ョ た 合 に レ 計 計母ナ 額 に 定 1 測 には、 にル に \Diamond シ 丰 + = . る 手 加 • 3 法え IJ 当 率ナ 採 のな ス 該 を ル 用 使け ク 五 乗 乗 • 組 を 用れ相 じ じ IJ 合 をば 乗 ス 当 て 7 は な ク 額 じ 得 得 て に 5 調 た た 次 しな整 得額額 係 \mathcal{O} たい。 額たかが る 各 額 6 新 旧 号 と 新 所 所 に (新次所 11 要 要 掲 う。 項 要 自 自 げ に 自 己 己 る お 己 資 資 期 資 を V 本 本 間 第 7 本 \mathcal{O} \mathcal{O} に \mathcal{O} 額 額 お 条オ額を
- 先 セ 先 進 進 ン \vdash 的 計 測 測 丰 法 使 用 を 開 開 始 始 L た 日 日 カコ 以 後 5 年 年 を 間 過 九 +た パ
- 条 トか 調 9 前 整 項 額 前 及 項 \mathcal{O} 分 規 び \mathcal{O} オ 規 定 \sim 定 に 加レに か八] 該 か十の 当 な わ \exists す 5 ず、 る ナ 場 ル 組 合 合 5 IJ に が な ス は 第 いク 相 信 項 当 用 \mathcal{O} IJ 額 規 ス 調 定 整 ク に 額 該 ア セ
- 4 開 ヤに 第 第 お 兀 第 \mathcal{O} 始 条 条 算 に の項式 係 て る 算 \mathcal{O} \mathcal{O} 日 式 \mathcal{O} 部 信 項 の信 母 各 直 分 用 以 に IJ 号 分 用 前 母 ス に IJ 掲 え \mathcal{O} ク \mathcal{O} ス 用 に ク 部 げ 額 に け て 分 係 る に 額 八係 れ る る ば \mathcal{O} パ 0 部 な 手 V 分 そ] 旧 て れ セ 所 法 \mathcal{O} ント う は ぞ 要 基 内 5 れ 自 部 にを 礎 証 己 的 格 券 9 乗 資 化 き じ 内 付 本 部 手 エ 計 7 \mathcal{O} 得 格 法 ク 算 額 付 \mathcal{O} ス す た لح 使 ポ る 額 手 用 法 及は 採 を ジ合 75

出した額を控除した額をいう。

ľ ところ С 海 外 額 節 ジ \mathcal{O} 0 う Α 用 12 IJ 取 算 定 t IJ 引 V 出 8 1 ス ス ょ \mathcal{O} ポ る ク ク り 与 形 あ 係 以 及 12 派 与 信 式 生 る び 係 下 信 相 \mathcal{O} 商 部 第 る 相 当 品 中 部 取 は 分 当 額 引 S 取 以 央 百 分 額 \mathcal{O} 及 引 外 清 兀 Α \mathcal{O} を 算 び う 及 0 算 + 算 出 信 部 び 機 5 C六 出 に 用 С 長 条 分 関 証 す あ 期 取 R 関 券 \mathcal{O} ること 0 引そ 決 標 五. 化 連 て 第 済 準 工 各 工 は \mathcal{O} 期 Ŧī. 的 ク 号 ク を 包 他こ + 間 ス 手 ス に 括 取 法 ポ 掲 ポ う。 的 条に れ 引 1 げ 1 手 第 に \mathcal{O} ジ ジ る 法) 類 以 定 兀 与 t 工 ヤ す 下 信 章 8 ク Ì る る 同 相第 ス

方 係 百 7 第 る 信 1 部 用 七 同 章 分 IJ を算 条 章 12 ス 12 第 定 ク 全 出 規 \emptyset 12 T す 定 節 る 係 \mathcal{O} ることを す 第 る 裏 る 部 付 ろ 証 款 分 資 券 第 に \mathcal{O} 産 化 兀 ょ う \mathcal{O} . う。 目 ŋ 5 エ プ ク に 判 証 以 ス 定 定 券 ル 下 ポ \otimes さ 化 を 同] るとこ れ 工 $\mathbf{\Omega}$ ľ ジ た ク ヤ 手 ス ろ] 1 ポ 法 を \mathcal{O} に ル 1 除 IJ 内 لح ジ ょ < ス り 部 4 t ク な 第 評] 価 L に 5

出 信 章 適 用 用 \mathcal{O} IJ <u>ー</u>に ス た ク 丰 定 に 法め 係 るところ 部 分 0 うち 12 ょ ŋ C С V V Α IJ Α IJ ス ス ク ク に 相 係 当 る 部 額 0 分 算

兀 これ ジ 信 的 商 条 t 用 手 は 品 \mathcal{O} IJ 類 S 取 六 に ス す 引 第 係 ク 及 る に 海 項 C CK 部 係 外 C 長 に 分 る 0 期 R お 部 取 決 V 第 分 引 済 7 六 \mathcal{O} 0 ポ 期 準 章 う 与 形 間 用 5 \mathcal{O} 信 式 取 す 中 る 相 0 引 央 当 取 第 定 清 \mathcal{O} 引 額 与 兀 8 算 0 及 信 章 機 る 算 び 相 第 手 関 当 兀 出 信 法 関 用 額節 に 連 あ 取 12 第 \mathcal{O} エ 引そ 算 定 ク 7 ス 出 8 百 る ポ \mathcal{O} に 兀

6

第二 し、 た額 と とポて 用用 額 を す 4 同組組 ۲ 除 る ľ, を 뭉 な ジ 合 合 ۸ < ° 計 11 イ れ ヤ に に L う。 $\overline{}$ 及 1 算 ら あ あ 7 方 び ط \mathcal{O} に 0 0 第 法 に 口 部 7 7 係 六 に に 0 分 る は は 章 より き 掲 以 部信標 に 当 げ 外 分用準 潍 定 る 該 算 \mathcal{O} に IJ 的的 \Diamond 計 額出 部 ス手 0 手 る 11 ク 法 法 算 L 分 とこ に に 相 た 方 7 を を 法 互 額 0 は係含 い ろ 援 \mathcal{O} 1 組 に るむ に よ助 合 て 合 部 ょ 計 ŋ 積 は を 分第 ŋ 算 現 <u>\f</u> 額 標 O +進 判 在 出 金 カュ 潍 う八的 定 5 5 用 的 条 内 L \mathcal{O} さ 第 た 額 11 丰 証 第 部 れ 額 に 兀 7 法券四格 た を相 条 1 採化項付 手 用 控 当 第 る エに手 す 法 組 クお法 除 手 る項法と 合 スい採

に援出部む用 部き じ本 分に 助 11 計 7 \mathcal{O} 第二 ょ L 分 積た に 得 額 り て 算 算 す た 項 1 額 0 十 11 0 11 た لح 金 \mathcal{O} 八 1 る 額 \mathcal{O} は、 ては 7 条 手 L \mathcal{O} 合 場 及 計 法 合 た 額 は 第 てド 才 額現 に 額 に 五. 先 第 第 \sim 相か在項 第 進 お四 V 当 ら用 に 的い条 条 て、 す 除 第い お百 計 第 \mathcal{O} シ る 兀 7 兀 測 算 11 彐 た 額 条 + 手 オ 項式ナ 1 額 \sim 各 を 第 八 法 のル る 同 U. を 除 手 条 \mathcal{O} V号 分 < V 項 法 に 使] に 母 IJ う。 第二 用 لح 規 シ 掲 のス す لح 定 を 彐 げ 額 ク に 号 る ナ る にに す 開 に る 計 始ル 額 八係 0 当 基 き 掲 パ 算 L \mathcal{O} る 当 げ 方 た IJ 該 礎 そ] 旧 法 該 る 部 的 日 ス れ セ 所 額に ク ぞ 計 分 手 \mathcal{O} ン 要 算 ょ 以 法 直にれ 1 自 り 方 相 外 を 前係 に を 己 法互算の含にる つ乗資

第 \mathcal{O} たる 額 第 相 各 の項 う。 分及出 互. 号 母 び 第 掲 \mathcal{O} 積 げ 額 立. る に項を の控 八 \mathcal{O} \mathcal{O} パ] 額 合 新 所 に 計 セ 要 相 額 当 か 1 自 す 5 を 己 乗じ 資 る 同 額 条第 本 を除 て \mathcal{O} 得 額 項 た 第 額 لح は、 及 号 を び 控 に 第 第 掲 しげ条条

Ŧī. 方 式 算 出] 内 準 ケ に 中的方式 部 ツ お 干 \vdash V デ 7 ル IJ 内 方 ス 部 式 クに モ デ 用 . 係 ル 組 る部 方式 合が 分 を 7] 適 標 ケ 用 準 ツ す 的 1 る 方 部 式 IJ 分に 又は ス あっ 簡 相 易的 て

規定する標準 オペ レ] ショナ 的計 ル 測 手法 リス ク に 係 る 部 分 第 百 兀 +

4 所 セントを乗じて得た額及び 第 要自 控 合 項及び第二項の 除 計 L 己資本の 額 から た 額を 同 額」 条第 ļ, خ و とは、 「承認を受けた計算方 項 第 第四条第二項 第二条の 号 イ · 及び 算式 口 第 0 に 分母 法 掲 げ 号 ょ る 0 額 に 額 ŋ に掲げる に八八 算出 0) 合

連 結自 己 資 本 比 率 \mathcal{O} 計算 方 法

+ に \mathcal{O} 章にお 条 より得ら 法 ** \ 第十一条 て「連って れる比率 結 の 二 自己資 に つい 第一 って、 項第二号に規定する基準 本 比率」という。)は、 四 パ] セント以上とする。 次の算式 (以下こ

₩. П 資本の額 О Ц Y 資本に係る 葉 礎項目の額

П Y 資本に 係る調整項目の額

 \mathbb{H} \mathcal{V} V Y 4 Ç トの額の合計額+ 1 ĺ T $_{\mathcal{A}}^{\mathcal{A}}$ ৻৽

得た額+オペレーショナル・リスク 額の合計額を八パー 相当額の合

 \subseteq

 \mathcal{V}

V

盐

Щ.

4

· (′ ア

で終

額をハパー 4, ァ で終 して得た額

1 ケッ 1 IJ スク 相 当 額 不 ・算入のは 特 例

第 は 条 第十条 の <u>-</u> 0 算式 組 合 に は、 7 次に] ケ ツ 掲 1 ...げる条件の全てを満たす場 IJ スク相当 額 に係 る 額 合 を に

> 連 結自 己 資本比 率 0) 計算方法

第 十 条 同 上

 \square П Y 資 資本に 本の額 ダる О Ц A 整項目 資 ₩ 17 の額 庥 \mathcal{O} 葉 礎項目 の額

綵 Ш Ⅲ ナル・リ \mathbb{H} して得た \subseteq \mathcal{V} V スク • Y 盐 4 账 ঙ 額の合計額をハパーセントで トの額の合計額+オペ てーツ

条 を加える。

L 直 な 末 5 出

未最 ス Ì が も大 ク • 満 直 セ であり、 ンチ 近 定近 \vdash 力 億 及の \mathcal{O} テ 期 に円び期 額 ゴ 末 相未売 IJ か 付か す 5 で 商 \mathcal{O} 算 る あ お 全 出 額 ŋ に 11 体 基 未 券 て 掲 \mathcal{O} 準満か勘 準 げる額 ネット . 日 ま 「最大額」という。 で つ、 定 日 あ のま ること。 で 直合 で \mathcal{O} \mathcal{O} 近 計の 合計 ポジ 間に の額間 期のに シ 額 お 末うお 彐 のちけ \mathcal{O} け +る 総 最る パがの 外 資 も商] 額 玉 產大品

き

十い価

パ額証

有

 \mathcal{O}

ロイに 相 当 直直 す る) 期 期 額 った 京末の信 たかつ、 かっ、 ペ用 あ次 いること。 IJ ・ーショ・ た れ ア セ ヤ セ ツ \vdash \mathcal{O} 額

セチの

億 う

ト円ち

為

替

•

IJ

ス

ク

相

当

額

 \mathcal{O}

合

計

算 額 出最 を 一未品基大八近近 準額パのの 日 が 期 末 で で 除レ あ る L 場 て 得 合 に は 当 該 算 出

. 億 円 る商

満

で 価

り、

カゝ

つ、

該

出

基 債

準

日 勘

け 合 基

る

産

に定

おの

あ証

有

券

勘

定

及

び

付

品

券

計 準

日

お

額 総

資がに

当 売

算 商

け の千け 彐 る +パ で るの 外 出 あ 次 額 国 基 準セ ること 為 に が 日ンがト 掲 替 げチリ る億ス 期に 末相 円ク 額 当 未 で \mathcal{O} す 満カ あ 合 る 計 でテ る 額あゴ場 額 り り し し 合 未 \mathcal{O} 満 に + パかのは で つ、全体 あ] ること 当 セ 当の該 ン 該 ネ 算 \vdash 算 ツ 出 に 相 出卜基 当 基 準 す 準ポ日 日ジに る 額にシお

才 信 用 IJ] ス 彐 T ナ ル セ ツ IJ 1 ス \mathcal{O} ク 相 当

額

 \mathcal{O}

合

計

額

を

八

パ

]

セ

除

7

得

た

彐 0) 玉 為 IJ ス ク 力 テ ゴ IJ] \mathcal{O} 全 体 \mathcal{O} ネ ット ポ ジ シ

五. IJ ス 直 ク 近 相 \mathcal{O} 当 算 額 出 に 基 係 準 る 日 額 に を お 算 V 入して 7 第 + 1 条 ない \mathcal{O} 算 式 に 7] ケ ツ 1

自 己 資 本 \mathcal{O} 額

第 額 は、 条 次に 第 + 掲 げ 条 る \mathcal{O} 額 算 式 \mathcal{O} 合 に 計 お 額とする。 1 て、 コ ア 資 本 に 係 る 基 礎 項 目 0

略

次に掲 げ る 額 \mathcal{O} 合 計 額

イ ツ · 二 五 トの 当該 は、 に係 般 当 合計 貸倒 る 六 額 条 該 信 パ \mathcal{O} 合計] 乗じて得 第二 用 額 引 IJ セントを乗じて得た額を上回る場合 が 当 第十 ス 額 号 金 ク・アセットの 内 に 0 た額とする。 掲げる 条の 額 部 及 格 算 び 付 額 式 相 手 及び にお 互. 法 援 額の 採 証 け 助 用 券化 る信 積 組 合計額とする。 <u>\frac{1}{2}</u> 合 工 用 金 12 ク IJ 0) あ スク ス 額 0 ポ 0) て に] 合 は、 しに あ ジ ア 計 ヤ 第 セ

略

て

2 5 略

後 非 支 配 株 主 持 分 0) 額 及 び 調 整 項 目 \mathcal{O} 額 \mathcal{O} 算 出方 法

支 配 金 \mathcal{O} 0) 基 融 株 六に 準 機 主 若 関 持 前 しく 条第 定 又 分 は 0 8 る は 額 バ 自] は 項 己 ゼ 第 れ と類 三号に 資 ル 特 銀 定 本 規 似 行 連 是結子法 \mathcal{O} 監督委員 掲 制 基準 げ 比 率 る コア資 · を含 人等 **金** 会の 融 連 む 定 商 本 に 第 品 \otimes 結 る自 子 係 取 + 引 法 る 己 調 五. 法 人 資 等 条 整 第 本の 第 兀 後 う + 比 非

> 自 己資 本 0 額

第

+

条

同

上

兀 同 上 同 上

イ 百 て ツ 当 \vdash \vdash 得た額とする。 を 十六条第二号 \mathcal{O} 該 般 合計 乗じて得た額を上回る場合にあっては、 額 貸倒 \mathcal{O} 合 額 引 計 が 当 額 第 金 に 介 + \mathcal{O} 掲 条 額 部 げ \mathcal{O} 及 格 る額とする。) に一・二五 算 び 付 式 相 手 に 互. 法 援 お 採 け 助 用 る 積 組 信立 合 用 金 に IJ 0) あ ス 額 当 ク 0) て 該 • 合 は、] 乗 ア 計 セ

口 同 上

2 5 同 上

調

整

後

支

株

分

 \mathcal{O}

額

及

び

調

整

目

0

額

0

算

出

方

支 配 十三条 六 率 ち 条 \mathcal{O} 金 基 融 株 0) 準若 六 機 主 に 関 持 非 前 又 定 L 分 条 < は \mathcal{O} め 第 配 る バ 額 は 自] 項 主 は 第 己 れ ゼ 持 ح 資 特 ル 号 本 類 銀 定 似 行 連 規 に 制 監 結 \mathcal{O} 掲 基 督 子 比 げ 率 準 法 委 る 人等 を 員 コ **金** 含 会 ア 項 資 む。 融 \mathcal{O} 連 本 定 商 12 品 \otimes 結 第 る自 子法 取 係 + る 引 人等 己 調 五. 法 条 資 整 第 本 及 兀 の後 法 十 比 う び

のな 該 で 定 定 額 目 お 予 す 非 額 あ す 連 \mathcal{O} る 得 本 支 額 \mathcal{O} が 約 る 結 る 第 額 7 親 た 配 項 零 に に 組 子 同 権 額 額 係 株 コ に を 又 合 法 法 を 条特 じ て 下は 以 る 主 T お \mathcal{O} 人 いの定 人 同 基 資 等 等 う_。 下 持 V 回非 連 算 連 0 て る 結 を 礎 分本 支 \mathcal{O} 式 結 額 相に 同 場 配 貸 親 非 項 11 以に 子 う。 目 当 係 ľ 合 株 借 法 下 お 法 支 \mathcal{O} コ に す \mathcal{O} る 主 け 対 人 人 配 適 第 等 る 照 額 ア 第 あ 持 \mathcal{O} る 株 用 百 資 で 三 0) 0 分 表 項 コ \mathcal{O} 主 を 六 うちは 除 本 者 として計 信 に ア 単 持 受 \mathcal{O} + <u>.</u>持 純 用 資 け に お 体 分 分次 八 係 て 資 事 V 本 相 る コ 条 に 零 得 る 割 産 業 T に ア 者 当 第 とす た割 基 掲 合 上 \mathcal{O} 命 同 係 資 コ を 二項 さ げ 部 U. 磯 項 特 礎 令 る 本 T う。 るれに に 合 る 第 基 資 に を 目 定 額 る 株 + 礎 係 本 お 連 部 式 \mathcal{O} \mathcal{O} 条 \mathcal{O} 項 る に 11 う。 額 結 11 を 分 引 第 う 目 基 係 下 て を ず \mathcal{O} 5 子 11 \mathcal{O} 礎 る 同 . う。 ħ 単 法 額 権 項 当 額 項 \mathcal{O} じ を 体 人 カコ に 該 目 に 磔 項 等 以 当 新 コ 少 規特 相の 項 に

2 \(\)
12 略

(比例連結)

第

+

五.

2 庁 方 き 法 前 に 届 は 項 ょ \mathcal{O} け 1) 規 出 そ 連 定 た \mathcal{O} 場 算 合 出 \mathcal{O} ょ を 方 範 ŋ 除 法 囲 金 に き \mathcal{O} 融 使 含 業 用 8 務 を 7 n を 中 連 を 営 継 断 結 む 続 す 自 関 る旨 己 連 て 資 法 用 を本人 あ比等 V る 5 率 を ŧ かを比 U 算 例 \mathcal{O} と め出連 す 行 L 結 る 政たの

> う。 額 結 い を る 純 八事い本 コ 相 る 第 を 子 ず 1 部 資 条 業 て に ア 当 者 百 . う。 法れ 産 第 命 同 係 資 単 分 コ を を じ。 体 カュ \mathcal{O} 令 本 T \mathcal{O} る +う。 乗じ 等 少 以 額 部 項 第 基 に 資 コ 九 ア な (当 \mathcal{O} 下 に + 礎 係 本 に 条 この て得 資 非い 新 お 条 \mathcal{O} 項 る に 以 第 該 支 本 額 う 株 1 第 目 基 係 下 額 た に 配 に 項 予 5 項 て \mathcal{O} 磔 る が 額 係 株 コに 同 当 額 約 項 項 基 \mathcal{O} 零を る基 ア じ。 以 主 お 権 に 該 に 目 項 資 下 持 1 規 特 相 又 \mathcal{O} 項 に 下 \mathcal{O} 礎 分 本 7 は 定 定 当 額 目 お 1 口 額 で 項 相 に 同 非 す 連 す \mathcal{O} 11 に [る場 じ。 第二 目 当 係 る 結 る 支 あ 額 7 お する。 コ 配 る \mathcal{O} る 親 子 額 同 11 合 第三 額 ア 株 組 法 法 を 条 特 じ て に 資 0) で 主 合 人 人 いの 定 同 あ . う。 うち 者 持 等 除 本 等 算 連 \mathcal{O} 0 連 に持 分 を \mathcal{O} 式 結 \mathcal{O} L て とし 次 結 て 係 分 親 以 に 子 非 1 は う。 割 K 得 る 法 貸 法 下 お 支 基 合 掲 て た 借 人 け 配 人 割 げ لح 計 等 礎 対 第 \mathcal{O} る 株用 合 特 す 照 項 る 上 百 項 コ \mathcal{O} 主を る。) を目 額 さ 六 T 単 持 定 表 信 に いの連 \mathcal{O} れの 十用お資体分け

[一・二 同上]

2 5 12 同 上

十五条 [同上]

比

例

連

第

2 庁 لح 方 き 法 前 は に 項 け ょ \mathcal{O} そ り 出 規 た 0) 連 定 場 算 結 に 合 出の ょ を 方 範 ŋ 除 法 囲 金 き、 \mathcal{O} に 使 含 業 用 8 務 を T れ を 中 を 連 営 継 断 結 む 続 す 自 関 る 己連 旨 7 資 法 用 を本人 等 1 あ 比 率 を な 6 を け 比 か 算 例 れ じ ば 8 出連 な 行 し結 5 政たの

信 用 IJ ス ク • ア セ ツ 1 0 額 0 合 額

2 第 + 六 条

項 当 \mathcal{O} 規 該 各号 定 12 か 定 か \otimes わ るも 6 ず \mathcal{O} に 次 つい \mathcal{O} 各 ては 号 に 掲 げ 信 用 る IJ 場 ス 合 ク 0 区 分に T セ

第 十条 0 算 式 に マ] ケ ット IJ ス ク 相 当 額 に 係 る 額 を 算

0

額

を

算

出

す

ることを要しない。

入しな 11 場 合 次に 定 \otimes る \mathcal{O}

(2) (1) 1 を 条 第 に 算 個 対 出 別 L 貸 す 号 る場 7 倒 計 規 引 当 上 合 定 さ す 金 れ あ る 内 7 信 V 7 用 部 るも は IJ 格 ス 付 ク \mathcal{O} 次 手 に に 法 限 掲 ア 採 る。 げ セ 用 る ツ 組 工 卜 合 ク \mathcal{O} が ス 額 第 ポ \mathcal{O} 百 合 十六 ジ 計 ヤ 額

株 式 等 ク ス ポ

額 第 0 五. 算 章 第 出 方 法が 節 第 規 九款 定 さ に れ お V て るそ 信 用 IJ 他 ス 資 ク 産 T セ ツ \vdash

ニハロ 債の 務 保 証 見 返 勘 定

派 生 商 品 取 引 に 係 る 資 産

係 有 る 価 未 証 券等 収 及 び そ 0 対 価 \mathcal{O} 受 渡 L 又 は 決 済 を 行 う 取 引

七

ホ 資 資 規 額 自 定 産 に 己 無 相 に 保 及 より 形 当 び 有 固 す 退 普 定 る コ 職 通 ア 資 給付に 資 部 出 産 資 本に 等 \mathcal{O} 係 れ 係る調整 る資産 対 h 象 相 資 のうち 本 差額 項 調 目 達 を \mathcal{O} 手 含 額 第 段 む とされ + 対 条 象 第一 たも 普 延税 二項 通 出

第 れ た +額 に 相 第 当 五. す 項 る 0) 部 規 分 定 ょ ŋ 繰 延 税 金 負 債 \mathcal{O} 額

延 税 金 資 産 時 差 異 E 係 る Ł \mathcal{O} に 限 る。 0) うち

> 信 用 IJ ス ク T セ 1 \mathcal{O} 額 \mathcal{O} 合

条 同 上

2 は、 前 信用 項 \mathcal{O} リス 規 定 ク に • カコ ア か セ わ ツ 5 \vdash ず、 \mathcal{O} 額 次 を \mathcal{O} 算 各 出 号に す ること 掲 げ る を ŧ 要 \mathcal{O} Ī に は、 な 2 いいい 7

0 他 個 別貸倒 資 産に 対 引 L 当 て 金 計 **(**内 上 さ 部 れ 格 て 付 11 手 る 法 ŧ 採 \mathcal{O} 用 組合 に 限 る。 にあ て

0

そ

債務保 証 見 返 勘 係 定

派 生 商 品 取 引 に る 資

几 係る未 有 価 証 有 金 券 等 及 び そ \mathcal{O} 対 価 産 \mathcal{O} 受 渡 L 又 は 決 済 を 行 う 取 引

五. 相 定 資 に 当する 自己保 産 ょ 及 ŋ び 形 コ 部 退 古 職給 ア 定 分 資 資 通 本 付 産 出 に に (n) 資 係 係 等、 る る れ 調 資 W 対 整 相 産 象 当 項 \mathcal{O} 資 う 目 差 本 うち、 年調達手 で \mathcal{O} 額とされ 第 + = む段、 たも 条 対 第 象 繰 普 \mathcal{O} の項 延 通 額の税出 に規金資

れ た額 十二条 に 相 当 第 す Ŧī. る 項 部の 定 に ょ ŋ 繰 延 税 金 負 債 \mathcal{O} 額 لح 相 殺

三条 号 延 に 第 税 掲 金 資 げ る 項産 額 \mathcal{O} 規 0 定時分規 算 出 に 差 異 \mathcal{O} ょ 対 ŋ に 象 同 係 に 条 る 含 第 ŧ ま 六の 八項第三号のに限る。) れ な カゝ つ た 又は 部 \mathcal{O} 第 う 七ち 項 第

か 0 に 分類するもの と す

<u>}</u> V] デ 1 グ 勘 定 \mathcal{O} 分 類 基 準

類 目 気するも 的 \mathcal{O} 条 11 0 ず 兀 とす れ かに 商 うる。 品 該 \mathcal{O} 当 保 す 有 る \mathcal{O} 商 目 品 的 的は、トレーディ的が次に掲げるよ \vdash イ グ] 勘 デ 定 1 に 分

短 期 そ間の のの 目 的

得 目 相場 的 他再 の 売 指 却 標 に 係 る 短 期 \mathcal{O} 価 格 変 動 カゝ 6 0) 利 益 \mathcal{O}

獲

四 三 場 裁 定 取 引 に ょ る 得 目 的

ゴずるリ 前市 \equiv 号 間 スにの ク 掲 のげ る ツ 目 ジ 的 目 \mathcal{O} 的 V ず利 れ益 かの で獲 保 有 L 7 1 る 商 品 か 5

L 1 7 商 品品 保 レ 有 有 デ L 価 イン 証 \mathcal{T} 券 1 グ る 勘 勘 商 定 品 及 定 0) に び う 分 売 ち、 類 付 す 商 るもの 次に 品 債 掲 券 がげるも とする。 勘 定 \mathcal{O} \mathcal{O} 資 以 産 外 又 のは Ł 負 の債 はと

2

非 上 株 式

証 券 \mathcal{O} ため \mathcal{O} 裏 付資 産 に しする予 定 \mathcal{O} 商

直 接 保 有す る 不 動 産

個 人 ン又に化場 ドは へ 中 の堅 出中 小 企業 に 頃第二号に掲げるものに対する信用供与

六 五 四 三 ファ 前 各 号 12 掲 げ る 商資 品 次 \mathcal{O} い項 ず ħ カュ を原資 産 とする派 \mathcal{O} を 除 生 商 品

取 引 又 は フ ア ド

3 七 商 る 商 品 前 有 各 号 価 に 証 掲 券 げ 勘 定 る 及 商 U 品 な売 \mathcal{O} い付 IJ ス 商 クを 品 債 ^ 券 ッジす 勘 定 \mathcal{O} る目 資 産 又 的 は で 負 保 の債 有

保

て

1

る

商

品

で

商

品

 \mathcal{O}

うち

次

に

掲

げ

る

Ł

はと

グ 条

を加える。

1 勘 定 分 類 す るも لح す

ア F ツ 0 メ 出 1 資 クに 次 に 係 掲 る げ 業 る務 要 \mathcal{O} 件 た \otimes \mathcal{O} いに ず 保 有 n カ す る に 商 該

> 当 品

す

るも 分 ル がな情] 当 が 報 で 限 フ き、 アン を 取 得 かド つ、 L \mathcal{O} て 構 11 独 成 、るこ 立 銘 L 柄 た第 に 2 VI 者 て、 に ょ 組 り 合 検 が 証 さル ħ ツ たク 十 ス

上 ŋ ス 場 ク 組 株相か合 つが、 式 当 額 に 当 当 関 該 該 す フ フ アン る ア シ 情 ド 報 ド をの \mathcal{O} 取 運 市 得 用 場 L 基 価 て 準 額 11 及 を ること。 Ţ 日 7 次] で入 ケ ツ 手 1 L て IJ お

五四三 ト V] ョデ イ ン グ 業 務 に 係 る V ポ 形 式 \mathcal{O} 取

引

除 分 類 て 商 保 品 有 有 b \mathcal{O} 価 し てい う \mathcal{O} 証 ひとする。次に探り 券 る 勘 商 定 品 及 で \mathcal{U} な売 げ る V 付 ŧ 商 商 の品品 は、 (前 債 券 項各 勘 \vdash V定 号 の デに資 イ、 掲 産 ング げ 又 る は 勘 £ 負 定の債 にをと

4

オプ

シ

信 れ コ る商 IJ 用 IJ レ 品] ス ショ ク 又 のは ン 式 1 IJ V ス 1 ク デ を イ 有 ン グ す る \mathcal{O} 商 ポ 品] \mathcal{O} 1 う フ ち オ IJ 次に 才 に 掲 含

でする

别 \mathcal{O} ッジジシ 商 ポ 対 彐 又 は 象 لح \exists ン 数 ない株 ず と \mathcal{O} る な 商 口 れ 0 品 ン か 7 グ \mathcal{O} 組 構 11 る 合ポ成 ポ せ ジ ジ に シ シ ょ \exists 彐 り ン が ネ 存 ツ 在 \vdash せ ず、 シ ョ 個

Ź

ポ

を

す

る

t

丰 ツ ジ 対 て 利 と 用 な る n 口 る ン 商 グ 品 ポ \mathcal{O} ジ 彐 シ \exists ン \vdash に 対 ポ L て、 シ 彐

が ツ

]] ッジと な 0 て 品い るポ 彐

三 引 受け 業 務 カュ 5 生 ず る 商

5 ることに関し 組 ディ 合 は、 グ 商 て法・ 勘 品 定 を に 令 売 却 分 に す 類することができる。 別 る 段 こと及 \mathcal{O} 定めが、 な商 11 品 限の り、 IJ ス 当 ク を 該 商 ッジ 品 を トす

6 値 上 一で公正 . を 日 組 合は、 次 で 価 計 値 \vdash 評 測 レ 価 が デ 求 評 イ 価 \emptyset グ b 損 勘 益れ 定に を ているものに 認識するものとする。 分類する 商 0 いては、 品 のうち、 公 正 会

キ ブ 定 \mathcal{O} 分 類 基準

2 第 る 商 六 品品 条 以 \mathcal{O} 外 五. \mathcal{O} 商前勘 品 条 はの 規定によりトレー バンキング勘定に ディ 分類 するもの グ 勘定 とする。 分 類 す

ことができる。 8 イ デ 行 イ て 商 グ 目 保 品品 政 ン グ 庁に 有 有 的勘 L 価 届け 以定外に て 証 券 1 の分 る 勘 出 た 目 類 商 定 品並 場 的 す 及び売付 合 で ることとされ 保 に び 限 有 に b, するもの 前条第三項 商品債券勘定 バ る商品 ンキン \mathcal{O} グ 規 \mathcal{O} いの ては、 Š 勘 資産又は 定 うち、 に 定に ょ ŋ 分 あ \vdash 負債 1 類 5 レ カュー レー す じデ る

3 とする。 す 前 る組 条の 規 合 は、 定に 全 カュ て カュ わ \mathcal{O} らず、 商 品 を 次に掲 バ ンキ ン げ · グ 勘· る場 定 合 に \mathcal{O} 分類 1 ず す れ る か ŧ に \mathcal{O} 該

係 る額 第十 を 算 条 入 \mathcal{O} な \mathcal{O} 11 規 場 定 合 に ょ ŋ 7] ケ ツ \vdash IJ ス ク 相 当 額 に

簡易 号 に 的 方式 掲 げ る条 採 用 件 組 を 合 満 で た あって、 す 場合 + 条 0) 第 号 及

> 条 を加 え る。

三 当該勘定間の振替について開示すること。 。 当該勘定間の振替について内部監査が行われていること	。 。 一 当該勘定間の振替について理事の承認を受けていることを満たす場合には、勘定間の振替を行うことができる。	項の規定にかかわらず、組合は、次に掲げる要件の全し替えること。	二 バンキング勘定に分類した商品をトレーディング勘定に移し替えること。 ー トレーディング勘定に分類した商品をバンキング勘定に	はならない。 一次ではおいて「勘定間の振替」という。)を行った条の九までにおいて「勘定間の振替」という。)を行った。	第十六条の七 組合は、欠こ掲げる行為(以下この条から第十(勘定間の振替の制限)	て提出することができるように整備するものとする。	組合の内部監査部署は、第一項の商品の分類に係る内とする。	が適切に実施されたかどうかの検証をする体制を整備するも2 組合のマーケット・リスク管理部署は、前項の商品の分類	もにその遵守態勢を確立するものとする。範囲を定めるための方針及び手続に係る文書を作成するとと	六 組合は、トレーディング勘定に分類類に係る方針等)
				; ;	「条を加える。」					[条を加える。]

	例 当 引
	の要件 一 勘定間の振替に係る制限の内容及び当該制限に係る変更項その他必要な事項を定めた方針を策定するものとする。
[条を加える。	六条の九 組合は、勘定間の振替について、次に勘定間の振替に係る方針等)
	できる。
	行政庁が承認した場合に限り、前項の規定を適用しな
	2 組合は、勘定間の振替を行った商品が満期を迎えた場合に □資本の額に加算するものとする。
	勘定間の振替を行った日以後
	所要自己資本の額が減少したときは、その減少分と同額を当
[条を加える。	第十六条の八 組合は、勘定間の振替を行った場合において、
	(勘定間の振替に係る所要自己資本の額の計上)
	四 その他参考となるべき事項
	勘定間の振替を行う商品
	掲げる要件の全てを満たしている旨の説
	該当するときは、その旨を含む。)
	四第三項第一号から第三号までに掲げる商品のいずれかに
	一 勘定間の振替を行う商品の種類(当該商品が第十六条の
	行政庁に提出するものとする。
	あらかじめ、その旨及び次に掲げる事項を記載した届出書を
	3 組合は、前項の規定により勘定間の振替を行う場合には、

2 2 が 定 0) 当 + 兀 \otimes 引を行 め 信 内 できる。 て 額 グ 者である適 六 るところ IJ 内 六 組 のる要件 ノスク移 株式リ は、 グ 勘 部の勘定 信用リス 条 用 条 部 合 勘 IJ プロ 取 1 定 \mathcal{O} \mathcal{O} は り移転について 取引によるバス 記測対象に含む ス 引 部 次 定 + \sim +間 V ク及 取 を満たす 0 による。 0) \mathcal{O} テ] ス 前の 格 各 ク \mathcal{O} 取 引 ク IJ デ 内 ク 内 項 振 ノス カ 取 び 信 内 シ 号 扱 \mathcal{O} 替 イ 部 ブ 株 方に ポ 3 口 に用 部 次 取 卜 リス 取式 ンキング勘定からト ン 場 掲 て ま 移 引 グ に 引 テ 針 係 レ な転 合 リスクの 提 げ 引 ク は、 に シ 勘 掲 \mathcal{O}] を る 彐 ハク及び シ いにもつ 開 供 ポ るリスクの に 定 げ デ に ょ () 者との間で よるバ ジ 彐 ン る イ 限 次条から第十六 る 年 示 しのとする。 ショ を完全に 要 ン ン ŋ \vdash に方 株式 提供 ノジュースタのリフスクのリフルションの対象に応じ、アンダーのリファー 件 グ 内 法 レ て、 ンを完全に 勘] \mathcal{O} ^ 口 ッジ効果 で デ 以 全 一てを 相外 組 イ 上 見 殺 部] ン 合 レ グサ 直 ヘッジ 1 が 満 条 ケ てい 第三 たす ット すも て、 を \mathcal{O} デ 勘 相 で 反 +外 イ 定 殺 ること。 取者 当 ク のとす Ł L 部 組 映 5 ン カコ 引を行 合が第三 ーま で て \vdash グ IJ 5 \mathcal{O} あ で 勘 ス バ で 1 V るこ ź。 に ン る] 定 ク あ 相キ 適 る デ 定へ 条 条 を加える。 を 加 え る。

口 \mathcal{O} そ ッジ \mathcal{O} ツ 7 ジ 識 取 さ 引 に取れが 7 ** \ ること。 ンキ グ 勘 定 株 式 IJ ス ク

3 2 に 計 0) 彐 測 取ン 前 対象 を 引 項 項 相 完 第 は、 \mathcal{O} 手 全 IJ 方 号 に لح 次 ス 相 ク \mathcal{O} \mathcal{O} 殺 ょ 各 移 複 す 部 る。 号に 転 数 る に の場合 ッジ 掲 お げ け 引 引に る場合 る に は により構み 7 当] お 該 \mathcal{O} ケ 11 ット 外部 成 て、 区 すること 分に 内 \sim 応じ、 IJ ツ 部 スク相 ジ取 こができ 取引 当 引を \mathcal{O} 該各 当 ポ る。 額 複 号 数シ

勘定における内部の一の第一項各号に定めるところによ 定 部 取め る 引 及 要 び 件 を満 外 部 ヘッジ た す 場 取 合 引 を F 含 V む ŧ デ 0) イ ح す

定に · グ 勘 第 お定項 け に 各 るけにおけに 定 部 る定 取 外 \otimes お引 部 る を ヘッ 要 含 件 ま ジ を な取満 バい 引 た ŧ を さ 含 な \mathcal{O} とする。 み、場 場 卜 合 レ] \vdash - ディン レ 1 デ

彐 バ ン が 丰 生 じ ン た グ 場 勘 合 に 当 該 1 てオ ポ ジ ショ] 1 ンを含むも ヘッジとな のとする。 ったポ

レ 映次デ 条 を加える。

般 金 利 IJ ス ク 0) 内 取 部 取 引

第

六

 \mathcal{O}

+

グ 条

勘

定へ

 \mathcal{O}

金

一利リ

スク

のリスク移

ツ

一内

般 部

引

に

ょ

るが

ンキング

転 勘

に定

いら

1

9 カュ

て

は、

することが 掲 ż 内 げる要件の 作 れ 部 取成て 取 さい 引 できる。 によ る旨 全て 及 ŋ 11 バ び を 満 ンキ 当 該 た ン す 場合に 般 グ 勘 金 利リ 定 限 \mathcal{O} り、 ス ク 般 \mathcal{O} 金 \sim 発 利 ジ 生 IJ 源 ス 効 果を ク に 係が る \sim 反 文 ツ

内 引 は 内 部 取引担当デス クと \mathcal{O} 間 で 行 わ れ ること

が

れ

て

ること。

2

ことが シ 内 彐 部 ン 取 で に 引 、きる。 対 担 ける デ 外 ス ク 部 は、 ツ ジ バ 取 ン 丰 引 を ン 第三 グ 勘 者 定 کے لح のの 間 内 部 で 直 取 引 接 にの 行ポ

3 全のレ取 お 卜 に ポ V Ì 引 レ 第 相殺 ジシ ディ は、 て、]] デ デ 項 1 さ 彐 イ 内 ン 内 イ 0) ン れ IJ 部 ン グ 部 ン グ・ IJ グ・デスク 取 に 取 るときに • ス ク スク より 引 引 デ スク 担 担 デ 移 第三 相 当 当 ス 転 لح 当 デ デ 限 ク に が保 者 額 スク ŋ 行 ス を お う 一 0) لح ク 通 1 有する内 計 及 行うことが \mathcal{O} が ľ て、 過対象 外 般 た 内 び 内 部 金 部 第 内 部 利 \sim 取 三 部 部取 取引担 に ツ IJ 引 者 取 でジ 含む ス 担 と 引 引 ク 当 の担 \mathcal{O} る。 ŧ 当デ ポに デ 間 当 ポジ のとする。 ジ 係 ス \mathcal{O} デ ۲ ス シ る ク 外 ス シ ク 0) ョ内 以 部 ク \exists 以 場 外 ン 部 以 と 外 合 取の ツ 外 は、 のに完引 \vdash ジの

相 六 当 1 条 ケ 額デ \mathcal{O} ツ \mathcal{O} 1 + 1 測 グ IJ 範 7 ス 井 デ 1 ク に ス ケ 含 ク 相 ツ \vdash 間 当 む ŧ \mathcal{O} 額 IJ \mathcal{O} 内 \mathcal{O} とする。 計 部 ス 測 ク 取 対象と 引相 は、 当 額 な \mathcal{O} 7 る] 計 内 測 ケ 部 ツ 対 取 \vdash 象 引 で あ IJ ス る

ク

2 測 る イ 要 内 象に 件 グ 部 • を 取 含 満 デ 引 む た ス 担計 す ク ŧ 当 場 ع \mathcal{O} デ لح 合 \mathcal{O} ス す 間 ク に る。 لح 限 \mathcal{O} ŋ 内 内 部 部 取 取 7 引 引 1 ケ は 担 . 当 デ ツ \vdash 前 ス • 条 IJ 第 ク ス 一以 ク 項外 相 各 \mathcal{O} 当 号 1 に 額 V \mathcal{O} 掲 1 計げデ

3 は \vdash 第 1 者 デ IJ لح イ 取 ス ク グ 引 相 す 当 る デ 額 1 ス ク \mathcal{O} レ 計 1 が 測 デ 保 対象に イ 有 ン す グ る 含 勘 内 む 定 部 Ł \mathcal{O} 取 \mathcal{O} 商引 と 品 \mathcal{O} す と ポ る 同 ジ 様 シ に 彐

7

条 を 加 え る。

C V IJ ス ク お け る 内 部 取 引

る] 外 条 ケ \mathcal{O} ット С + V 兀 Α IJ 第 ツ ス + ク ジ 六 相 取 条 当 引 \mathcal{O} 額及十 びか 0) 計内ら 部前 測 条まで 対 С V 象 は、 Α \mathcal{O} \sim 次 ツ 規 ジ 定 項 及取に 引か び

第

項け

にか

おわ

b

に

定

80

るところに

る

2 リの に 「する ス に 含 ま ク 部 0 相 11 ŧ な C 当 て V 11 \mathcal{O} A 額 は ŧ に Α 第 \mathcal{O} \mathcal{O} 0 計 六 لح ツ 1 章 て ジ 測 L 対 は 取 \mathcal{O} 象 兀 引 適 7 はに] に 格 0 ケッ 含 定 С う ち、 む \Diamond V Ł } るところ A のとす ^ 適 ツ IJ 格 ジ ス С Ś に 取 ク V ょ 引 相 Α ŋ に 当 7 該 額 ツ Ì 当 \mathcal{O} ジ ケ L 計 取 ツ な 引 測 1 11 対 に も象該

相 にかス 当 応 5 ク 内 じ、 額 構 \mathcal{O} 部 ポジ C V を 成 計 当 さ 測 該 れシ 各 す な 彐 \sim ツ る け ン 号 ジ Ł に れ及 \mathcal{O} 定 ばび 取 لح \otimes な 1 引 しする るところ 5 レ ず、] デ 互 1 いに 次 に ン \mathcal{O} グ 完 ょ 各 号にデ 全に ŋ 7 1 掲 ス 相 ク ケ げ 殺 る す ツ \mathcal{O} \vdash 場ポ る ジ 合 С IJ シ V \mathcal{O} ス区 彐 Α ク 分

内

部

С

V

Α

ツ

ジ

取

引

が

適

格

С

V

Α

ツ

ジ

取

引

12

該

当

3

当 な 相 額 デ 象 11 に ス 場 殺 \mathcal{O} ク 含 す 計 合 ま 測の る こと な 対 ポ С 象 ジ V に ŧ と シ Α \mathcal{O} ょ な 彐 デ とする。 ŋ ス る ン ポはクの 7 ジ 0)] シいポ 彐 ず ケ ジ れ ツ ン シ لح 1 Ł \exists ン し、 7 及 Ì IJ ス 双ケ び ク 方 ツ 1 相 \mathcal{O} \vdash 当 ポ 額 ジ IJ デ シス イ \mathcal{O} ク \exists 計 ン 相 測 グ

兀 場 内 に 部 定 С \Diamond V 1 1 ツ ろ ジ イ 取 引 ょ グ ŋ が デ 7 適 ス 格] ク ケ С ツ \mathcal{O} V 1 ポ Α ジ IJ シ ツ ス ョジ ク 取 相 は引 当 に 額 第 該 六 当 \mathcal{O} 計章す

方 に 含 式 係 0 る لح 要 す 件 ر ک に 定 \Diamond る 力 ベ チ ヤ] IJ ス ク、 デ

4

条 を 加 える。

2 3 5 る。 じめ、 ンを完 る。 掲げ はは、 供 \mathcal{O} \mathcal{O} イ な 資 るも 内 者 る オ 組 す 前 C 計 第十六条の五笠 る事 条の 第十 ン ジ لح ポ 本 容 合 第 五 第 V 測 グ 項 ル 手 キ は、 その旨を記 十六 勘 ジ のとする。 0) に 全 \mathcal{O} 1 を A 項 + ショ 六 段 +口 届 デ お に 間 定 記 · グ 勘 · 条 第 条の 相殺す として利 ア に変更が 条 五. スクとト に 第 出 V で IJ 載 書に て勘 行う ンに \mathcal{O} お ス 0 算 出· + ク 定とト 項 九 \vdash た 第二 る場 案することができる。 又 \mathcal{O} 第 載 レ 項 外 て 係 は 変 方法 あ] 用 に は 届 第 部 る 更届 L レ 出書に 規定 合に た レ することができる。 次に デ] 組合 0 項 項 С 残 ッジ たときは、 \mathcal{O} 届 イ 項各号に定め 0) デ V 余 出 ディ 方 規 掲 出 ン す イング・デスクと 限 が Α リスクに 書 記載すべ、 グ勘定 ? 第三者 る派 り、 定により げる事 書を行政 取 IJ を 引が ン ス 行 グ 生商 ク 7 政庁 勘定 を設ける 遅滞なく、 項 1 当 で \mathcal{O} 対 内部取り き事 分庁に る要 を記 品品 該 あ バ ケ に提 0 ン 内 る 取 ツ 境 項 キ 提 る 載 引 件 \vdash 部 プ 界に 出 又 出 組 ン \mathcal{O} を \mathcal{O} 取 口 引本 L す その グ た するも 合 は賦 は 与 満 間 IJ 引 テ るも 係る 勘 書 前 は 信 た 0 ス 0) ク 課 旨 項 定 類 す ク シ 相 内 ポ \mathcal{O} 1 各号に を添 あ 届 0 に 0 当 場 相 ジ 3 V 対 部 らか کے 出 لح 象と 当] 合 シ 分 額 取 す す 付 \mathcal{O} に 引 額 彐 提デ 条 内 を加える。 部 格 付 手 法 又 は 先 進 的 計 測 手 法 0 使 用 開 始 に 伴 う 所 要 自

条 準 的 組 な 手 は 法 次 ょ 0 ŋ 各 算 뭉 出 0 た ず 所 れ 要 か 自 己 該 資 当 本 す 0 る 額 場 合 七 で + = -あ

式 0 0 か 分 額 5 母 当 た を に 控 該 所 要 1 加 除 承 えるも 自 認を受けた計 乗じ 己資 た 額 本の額 7 \mathcal{O} に とす + = . 得た額 Ź を上 算方 五 が承認を受けた 回 法により るときは U 7 得 算 た 出 当 計算方法 額 た を 該乗じて 第 所 要 自 12 条 1己資 得 ょ 0 算 ŋ

- 内部格付手法採用組合
- 二 内部モデル方式採用組合

三 期待エクスポージャー方式採用組合

2 を 出は 格 Ŀ が L 付 た 五. 方 口 承 次 手 項 を 認 所 \mathcal{O} 法 法 る \mathcal{O} を受け 乗 場 要 各 規 0 に 号に じて 自 合に 使 定 己 1) 用 12 得 た 資 掲 を 算 は か 開か た 計 本 げ 出 額 る 当 \mathcal{O} 始 わ 算 方 期 を た 該 額 5 L 乗じ に 間 た ず 第 所 法 要 に 当 12 日 + 自 ょ 該 お 条 7 から二年を経 内 各 得 ŋ 部 0 己 て、 号に 算 格 算 資 た 式 額 付 本 出 定 標 \mathcal{O} か 手 \mathcal{O} L , 5 た 準 法 額 \otimes 分 母 当 所 る 的 過 採 を 率 に 控 該 要 な す 用 自 手 加 除 承 を る 組 乗じ 認 己 法 日 えるも 合 を受け 資 に ま た は 7 ょ 本 額 で り算 のと 12 内 得 \mathcal{O} \mathcal{O} +た 額 た 間部

内 \vdash 部 格 付 手 法 \mathcal{O} 使 用 を 開 始 た 日 以 後 年 間 九 +

卜前 号 12 掲 げ る 期 間 を 経 過 た 日 以 後 年 間 + セ

3

3 は 項 第 + 0 条 0 淮 算 的 式 な 0 手 分 法 母 0 額 12 八 出] た セ 所 ン 要 1 自 を 乗じ 資 本 得 額 た

]資本の下限]

け ア 額 に 定お +には、 れ セ に め 11 八 十 二 • ット る率 ば 条 なら 調 該 を 信 内 五を乗 な 整 乗 用 乗じて 部 額」 ľ IJ 格 て ス 付 とい ľ 得 得 ク 手 て得た た額 に た 法 · う。 額係 採 カュ が る 用 額 5 新旧 組 (第三 新所 を 所 所 合 第十 要 要 は 自 自 要自己資 一項にお 条 己 己 次 . の 資 資 \mathcal{O} 算式 本 各 本 本 \mathcal{O} \mathcal{O} 号 て 「信 \mathcal{O} 0 額 に 額 を上 分 母 額 12 掲 を 当 げ 用 に 控 回該 る IJ る 加 除 期 ス え 場 間 L 号 ク た合にに

- セ ン 内 部 格 付 手 法 \mathcal{O} 使 用 を 開 始 L た 日 以 後 年 間 九 +パ
- 以 後 内 部 年 格 間 付 手 八 + \mathcal{O} 使 用 セ を 開 始 L た 日 か ら 年 を 経 過 L た

日

- 2 て、 \mathcal{O} \sim を 上 当 算 レ 控 口 該 先 各号に オペレ 除 「 る 場 式] 進 的 シ ョ \mathcal{O} L 分 た 合 計 母ナ 額 に 定] 測 には、 にル に 8 シ 手 る率 +=-加 • 彐 法 当 ナ え IJ 採 な ス 該 を ル 用 け ク 五. 乗 乗 • 組 れ 相 を じ じ IJ 合 ば 乗 て て ス 当 は ľ な 得 得 ク 額 て に ら た 調 た 次 な整 得 額 額 係 \mathcal{O} い。 額」 たから新 る 各 旧 号 と 新 所 所 に 次 要 7 所 要 掲 う。 要 自 自 項 げ に 自 己 己 る おお 資 己 資 期 を 1 資 本 本 間 第 て 本 のに + \mathcal{O} 額 \neg 額お 才 額
- セ 先 進 ン 的 計 測 手 法 \mathcal{O} 使 用 を 開 始 し た 日 以 後 年 間 九 +パ
- 日 以 先 後 進 的 年 計 間 測 手 八 法 か十 \mathcal{O} 使 1 用 セン を 開 始 L た 日 カン 5 年 を 経 過 L

た

トか つ、 調 前 項 額 前 \mathcal{O} 項 及 規 \mathcal{O} 75 規 定 オ たにか 定 に V 該 当 わ す 5 彐 ず、 る ナ 場合 ル 組 合 IJ に が ス は 第 ク 相 信 項 当 用 0) IJ 額 規 ス 調 定 ク に 額 該 ア 当 セ 第 +

応じ 出 を 計 +算 額 当 す を 第 該 る 場 控 除 項 号 合 に に 第 た 兀 定 お 額 号 8 V る て イ に 手 う 掲 法 次 12 0 げ 各 ょ る 額 ŋ 号 算 に に 掲 出 1 げ き L 当 る た IJ 該 額 ス 手 \mathcal{O} ク 法 合 0 12 計 ょ 額 区 り カュ 分

条

分

母

え

け

ば

な

5

た

L

を

V

る部 て れ 商 的 V 分以 に は 手 品 用 法) 類 S IJ 取 IJ 外 す 引 ス Α ス 0 ク る 及 ク び 部 及 海 \mathbf{C} に С 長 び 外 分 係 R 期 中 \mathcal{O} る 決 標 央 部 取 準 清算機 引 済 分 的 期 \mathcal{O} ポ 0 うち 間 与 形 手 法 関 信 式 取 関 引 証 相 \mathcal{O} 第 当 取 0 連 券 与 兀 額 引 化 工 信 章 ク 及 \mathcal{O} 工 び 算 相 第 ス ク 信 当 兀 ポ 出 ス 用 節 に 額] ポ あ取 0 に ジ Ì 引 算 定 0 ヤ ジ そ て 8 出 1 ヤ る に \mathcal{O} に は 係 包 他 あ 派

方式 第六 る 信 を除 部 用 章 分 IJ に ス 定 全 ク め 12 7 るところに \mathcal{O} 係 る 裏 付 部 分 資 \mathcal{O} 産 より う \mathcal{O} 5 プ 判 証 定され 券 化 を 工 $\tilde{\mathbf{v}}$ Aプ た ク 手 ス] 法 ポ ル Ì (内 لح ジ 4 部 t な 評 価 L

出 信用リ 章 適 用 の二に した手 ス クに 定 め 係 るところ る 部 分 \mathcal{O} うち 13 より C С V V Α IJ Α IJ ス ス ク ク 相 係 当 る 額 部 分 算

兀

生 ジ 信 的 ħ 商 条 t 用 手法 12 は 品 1 \mathcal{O} IJ · 類 に S 取 六 ス す 係 引 第 ク Α る 及 る に 項 部 海 C び 係 外 C 長 る に 分 0 期 R お 部 取 決 V 第 分 引 済 7 六 0) 0 ポ 期 準 章 う 与 間 É 形 用 \mathcal{O} 信 中 式 取 す ·央清 に 引 相 \mathcal{O} る 当 取 \mathcal{O} 第 定 引 与 兀 額 8 算 0 及 信 章 る 機 算 び 第 手 相 関 出 信 当 兀 法 関 に 用 額 節 連 あ 取 \mathcal{O} 第 工 引 ク 0 算 定 そ 出 ス 百 \mathcal{O} ポ は に る 兀

五. ケ ツ 1 IJ ス ク í 係 る 部 分 標 進 的 方 式 又 は 簡 易 的

6

第

項

及

第二

項

新

所

要

本

額

لح

は、

 \mathcal{O}

算

0)

分

母 び

 \mathcal{O}

額

に

八 0

パ

1

セ

1 自

を 己

乗 資

ľ

7 0

得

た

額

及

び

第 第

+ +

4 り 積合てに組 る を ジ 合 第 第 算 立 計 は ょ 合 部 開 ヤ に + 第 \mathcal{O} 額現か在 り判 金 を] お 出 分 始 の項 標 \mathcal{O} \mathcal{O} L に 11 て、 た 額 ら用 定 う 準 た 係 第 算 \mathcal{O} \mathcal{O} 同 さ 5 額 に V 的 日 式 る を控 てい れた手 条 相 手 証 \mathcal{O} 部 信 項 \mathcal{O} 信 第一 当 法 直 券 分 用 各 用 る手 除 す 採 化 前 以 IJ 号 母 IJ 加 る 項 法 用 L 外 ス 工 \mathcal{O} ス に .Z と た 第 クス 額 組 法 ク 用 \mathcal{O} 額 合とみ に 額 を 兀 と し 部 に げ 11 ٠ ک を 除 号 す ポ て 分 八 れ 係 る 係 < る 1 11 に る 額 パ イ 11 る 計 う。 及 れな ジ た 0 部 \mathcal{O} 旧 \smile 算 ヤ び 5 L 手 そ セ 11 分 所 ント 方 のて Ì 法 に 口 7 \mathcal{O} れ 要 法に 第六章 う 0 に 部 に とし、 は ぞ 自 き当 5 分以 係 掲 れ を 己 げ ょ る 部 証 乗 に 資 該 る ŋ 外 に 部 信 格 券 じ 本 0 算 0 額 定 計 分 用 付 化 き て \mathcal{O} 出 部 \otimes IJ 得 算 に 手 工 計 額 方 相 L 分 る 0 ス 法 ク に لح た ク ス لح 法 互. す 額 ム 接額のいろは係 に援 使 ポ る 及は 用

5 除 す 5 用 に る じ 本 2 る 同 1 用 部 き て 第二 \mathcal{O} て いて 分に 計 得 額 条 額 ا ح 第 算 額 を 1 た 項 る 0 す 額 を 除 **\ \mathcal{O} た手 ١, は、 < る 項 手 及 「オ ては 第三 場 び 法 法 合 第 と 第 \sim 号 す لح 先 に + +レ に 進 に る お 条] 0 計 的 条 き 掲 11 \mathcal{O} シ て 当 げ 算 当 計 第 算 3 該 式 ナ 該 る 方 測 額 法 部 手 \mathcal{O} ル 項 計 オ 各 \sim • 算 に 分 法 分 レ 号 方 相 ょ 以 \mathcal{O} 母 IJ り 外] 12 法 互. 使 \mathcal{O} ス ショ 算 用 に 援 \mathcal{O} 掲 額 ク ĺΞ 部 げ ょ 助 出 を に 開 ナ る八 り 積 L 分 係 に ル 額 算 <u>\(\) \(\) \(\) \(\)</u> た 始 パ る] 出 金 額 0 L • \mathcal{O} 旧 IJ そ L \mathcal{O} \mathcal{O} 11 た セ 所 合 て 日 ス た 額 ン 要 ク 1 は 額 \mathcal{O} 自 直に 現 れ を 相額 当か在前係 に乗

方式 はの 算 内 標 出 準 に 部 的 お モ 方式) V デル方式 7 内 部 採用 モ デ ル 組 合が 方 式 を 7 1 適 ケット・ 用 す る 部 IJ 分 スク に あ 相 当 0 て 額

規定する標準的計 オペ レ 1 ショ ナ ル 測手法 IJ ス ク íz 係 る部 分 第二百 兀

4 る額 計 た所要自己資本の額」 額 セントを乗じて得た額及び第十二条第二項 第 を控 0 合計 項及び第二項の 除 額から同 た額を いう。 条第 とは、 承認を受け 項 第四号イ及び 第十条の算式 た計算方 の分母 口 に 第 法 掲 に 뭉 げ 0 ょ 額に八 る額 ŋ に掲げ 算 出 \mathcal{O} 合

> しげ条 した額をいう。ける額(相互援助積立条第二項各号に掲げる 立る額 \mathcal{O} 額合 12 計 相 額 当か ヨする額を除るいら同条第一項 項第三 を控に

除掲

第 2 れ お 合て い 計 Ł 十 合 を行うも 同 併 0) ヤ 九 体 九 てリス 略 第六章 5 用 額 問 さ 評 制 内 次] 準 連 条 額 準 条 とは、 - に係 価 した 題 れ が 部 的 る場合に 的 \mathcal{O} グ 節に 整備されて 手 が て ク グ 者 に \mathcal{O} 丰 ルー 分析 一の三に ク • 生 が 11 係 信 0 法 ス 略 る 準 法 おい 次 連結 ること。 る情 じ 用 とする。 ポ 評 \mathcal{O} 1 標 的 採 に プに属する会社による資金援助、 た場 は、 を 分 ウ プに デ 価 準 手 用 掲 て 定め 財 報 用 析 で 的 ジ 法 エ 組 げ 合の返 属す 「デ を 1 若] ヤ 同 務 V 1 採 あ 手 合 る ること。 しく 1 るところに て 節 諸 ト又は与信 適 つ 法採用組 用 に て、 るもの 額 デ ユ 0) 信 に係る 表 時 組 お イリジ 冷能力 規定により算 \mathcal{O}] を作 に把 用 は第三者によ ける信 合 合計額を IJ 次に掲げる要 \mathcal{O} ディリジェンス分析」という。 とし 合は、 信 ス 信 成 握 ヨ用リス する クを評 エンス) 相当額 より への影響 L 用 用 て管 て IJ IJ いう。 算 債 ス 11 た ス 出 ク る分析 理 価 務 出 \mathcal{O} ク ク る \emptyset こその 件の 者 した額とする。 算出方法が 場 • L す \mathcal{O} L ただ るた ア た 中 T ア て 合 必 又 セ 他 又 又 全てを満たす は セ 11 要 セ し、 ット れら は 央 る は な め ツ \mathcal{O} 工 ツ 場合 ح 清 第 グ 債 ク \vdash \vdash \mathcal{O} 体 0 スポ 0) 算 定 六 ル 務 制 必れ \mathcal{O} \mathcal{O} 額 会社 に 者 要 5 機 め 節 額 額 が おを な 1 関 を 6 プ 整 にの 0 2 第 兀 条 +合 (標 ットの 関 条 を 九 計 連エクス の 五 5 加 同 第 額 準 条 六章 える。 三 上 的 額 各 手 号に 同 の三に定め 法 同 ポ 上 採用 上 掲 1 ジ げ 組 るエ t 合] るところに に ク お とい スポ け る信 . う。] より 用 ジリス に係る信 算 ク・ 出 以以 L 下 た第一 ア 用 リスク セ 央清算 ツ 百 \vdash 兀 \mathcal{O} ア 機 + 額

セ関

0

はか b 当 0 該 が が 当 評 該 価 債 さ 務 れて 者 0 いること。 評 価 に お 1 7 必 要 で あ ると

き

定 で 工 クス きるように、 ポ ヤ 内 部方針、 に 応じ た適 評 価 切 プロ なリ セス、 ス ク システム ウ 工 1 及 1 び を 内 判

部

統

制

が整

正備 され

て

** \

ること。

五. 及 債 庁 債 務 務 び 0 求め 年 者 者 又 又 は に 口 は 以上 応じて エ 工 クスポ ク \mathcal{O} ス ポ 提 頻 食で] 出できるよう整備さ] ジャー ジャー 実 施 して 0) 0 評価を信用供 評 いること。 価 \mathcal{O} 結果 れていること。 に 与 0 . О て、 実 行 時

(非依頼格付の使用禁止)

府 り、 付 条 与され 非 依 準 頼格付を たものである場合 的 手 法 採 使用し 用 組 合 な は V は ŧ IJ この 0 ス とする。 ク 限りでない。 ウ エ ただし、 1 1 (T) 判 中 央 定 政 に

(格付等の使用基準の設定)

另二十一条 [略]

2 とを目 たっては、 標準的 的とし 手法採 信用リ ない 用 スク・ア ŧ 組 のとする 合 は セ 前 ツ \vdash 項 に \mathcal{O} 額 規定する基準 を 意図 的 に · を 設 小 さくするこ いける に 当

3 を 開 発 標準的 準 内 機 部 構若 当 手法 理 該 しくは輸 内 採 お 部 用 管 て用い 組 理 出 合 に 信 は、 お 用 て け 機関 ** \ 適 る使 る場 格 \mathcal{O} 格 用方法と整 カント 合には、 付 機関 IJ 0)] 第 格 合 ٠ IJ 付 的 項 又 ス な に は ク・ ŧ 規定する 経 \mathcal{O} スコ 済 とす 協 ア 力

4 [略]

(非依頼格付の使用禁止)

第二十 に付 当たり、 与されたも 条 非 依 準 頼 的 格付 のである場合 手 法 を使 採 用 用 組 合 7 に は、 は は な IJ この 5 ス な ク • 限 V りでない。 ウ ただし、 エ 1 1 中 0 判 央 政 定 府 に

、格付等の使用基準の設定

第二十一条 [同上]

2 とを目 たっては、 標準 的 的 として 手 信用リス 法採 は 用 ならない。 組 ク・ 合 は、 ア セ 前 ツ 項に \vdash 0) 規 額 定す を 意 义 る 基準 的 に 小 を さくす 設 ける るこ 12

を ば を 開 標準 内 発 ならない 機 部 内部 管理 的 構若しくは輸 手 法採用 に 管 理 お に て用 お 組 合は、 出 け る 信用機関 V てい 使 用 適 方法 る場 格 \mathcal{O} 格 カント と整 合、 付 機 合的 第 関 IJ 0 項 な 格 ŧ に規 付 IJ 0 又 ス 定 は に ク・ する基 経 スコ な 済 協 準 ア 力

3

4 [同上]

地 付 及 び 非 現 地 通 貨 7

格 有 に 别 規 付 係 す あ て 格 る が 定 \mathcal{O} を る る 付 場 認 に 用 t エ 工 又 合 80 お ク V ク は \mathcal{O} らい は ス な で ス 債 れ ポ 7 ポ い な 務 条 7 零] 1 ŧ \mathcal{O} \mathcal{O} 11 パ ジ 場 ジ \mathcal{O} 信 規 限 と る] ヤ 合 ヤ 用 定 り £ す 1] セ に 力 に で \mathcal{O} る ン が は لح 格 お に な \vdash 玉 同 付 VI た 限 11 \mathcal{O} 当 て 際 が だ る。 IJ 開 通 当 該 Ĺ ス 発 個 貨 該 ク 銀 別 建 標 潍 と 組 • 行 格 て 進 的 0) 合 的 手 ウ 付 \mathcal{O} 協 0 エ 第 又 工 手 法 調 保 ク 融 1 は 法 採 有 ス 1 + 債 採 用 す 資 ポ を 務 用組 に る 条 者 1 係 適 現 組 合 る 用 第 地 信 ジ 合 は ŧ 用 t す 通 \mathcal{O} る 項 貨 保個 力 \mathcal{O}

数 \mathcal{O} 格 付 が あ る 場 合 \mathcal{O} IJ ス ク • ウ エ イ \vdash

さ あ る T IJ لح る イ 1 ヤ 12 ス IJ き 場 1 < 兀 ク ス は 合で 対 を は に 条 用 応 ク 輸 0 最 ウ あ V す 出 い標 ウェ ŧ エ る る つ 信 て 進 1 小 て、 ŧ ŧ 用 的 さ イ 1 \mathcal{O} 機 \mathcal{O} 適 手 ** \ そ \vdash が とす で 関 格 法 IJ れ 複 を あ \mathcal{O} 格 採 5 数 用 ス る る 力 付 用 ク・ に \mathcal{O} لح 11 機組 対 格 る き \vdash 関 合 ウ 応 付 Ł は IJ のは エ 又 す \mathcal{O} 1 格 イ 当 لح る は そ 付 卜 IJ IJ 該 力 す から 又の ス 最 ス ン る は保 ク・ Ł 1 ク 経 数 有 た 小 IJ べえて二 ウ ス 済 す だ さ] エ コ 協 る Ļ 1 1 T 力 工 IJ IJ 開 最 が ク 番 1 ス ス ク Ł 目 が 発 ス ク に 異以機 ポ 小 • ウ ス さ 小な 上構 1

用 IJ ス ク \mathcal{O} 評 価 \mathcal{O} 対 象 が 異 な る 格 付 \mathcal{O} 取 扱

る る IJ エ \mathcal{O} Ŧī. ス ク 格 条 ク ス 付 ポ に 標 T お 淮 セ け 的 ツ t る 手 1 1 評 法 \mathcal{O} لح 価 採 額 異 \mathcal{O} 用 な 対 組 が ること 過 象 合 が 小 は に 標 に 評 準 次 価 ょ 的 \mathcal{O} さ ŋ 手 各 法 号 れ る 当 採 に 用 掲 お 該 そ 格 組げ n 付 合 る が を \mathcal{O} 場 用 保 合 あ 有 そ る 11

> 地 て 格 付 及 び 非 現 地 通 貨 建 7 格

規 あ لح て格 に 有 る が 定 \mathcal{O} 付 係 す 格 場 認 に エ を る る 付 合 \emptyset お 用 ク \$ 工 又 b ス ク は は 11 V \mathcal{O} れ て ポ で ス 7 債 前 T 零] ポ は な 務 条 のい ジ な Ì パ \mathcal{O} 限 る] 6 場 ジ Y 規 ŋ Ł な セ] 合 t 用 定 で \mathcal{O} ン V)] が 力 に に に な 1 玉 は لح 格 お た 限る。 \mathcal{O} 同付 V 際 だ IJ 開 当 が て Ļ 該 ス 通 当 発 لح ク 銀 個 貨 該 組 • 別 建 標 行 潍 \mathcal{O} 合 ウ 格 7 準 的 協 \mathcal{O} エ 第 付の 的 丰 調 保 工 1 又 手 法 融 有 は ク 資 \vdash +す 採 に を る 債 ス 採 用 条 現 務 ポ 係 適 用 組 用 者 1 る 第 地 組 合 Ł す 通 信 ジ 合 は 項 t 0 る 貨 用 \mathcal{O} で 建 力 1 保個 \mathcal{O}

複 数 格 付 が あ る 場 合 \mathcal{O} IJ ス ク ウ エ イ \vdash

ク • さ ク 小 る あ 若 さ と 1 る L t +ス IJ き 場 ウ 11 < 兀 コ IJ ス は 合 条の エ は 12 ア ク・ 「であ 1 ス 輸 0 最 に 1 い標 ク 出 ₽ 対 ウ を . 0 て、 信 潍 応 工 小 て、 ウ 用 用 的 す 1 さ 機 1 エ 適 手 そ る 11 1 るも 関 1 格 法 Ł IJ れ を \mathcal{O} 格 \vdash 採 \mathcal{O} ス 5 用 0 力 が 付 用 ク • で に とする。 ン 複 機組 あ 対 な 1 数 関合 ウ 応す ると け IJ 0) エ のは れ] 格 格 1 き る ば そ 付 付 1 IJ IJ は なら 又 又の カュ ス ス は は保 当 5 ク • ク な 該最 数え 力 経 有 ン ウ ス 済 す て \vdash エ コ 協 る Ł た IJ T 力 イ 小 工 だ 1 開 番 さ が ク \vdash 目 が 発 ス 1 IJ IJ 最 に 異 以機 ポ ス ス ŧ 小な 上構

信 用 IJ ス ク \mathcal{O} 評 価 \mathcal{O} 対 象 が 異 な る 格 付 \mathcal{O} 取 扱

る すの とリ る 他 工 \mathcal{O} 五 ス ク 格 条 ス ク 付 ポ に 標 ア] お 進 け セ ジ 的 ヤ る ツ 手 1 評 法 1 ٢ \mathcal{O} 価 採 額 異 \mathcal{O} 用 が な 対 組 ること 象 過 合 がは 小 に 標 に 評 潍 次 的 価 ょ \mathcal{O} ŋ 各 さ 手 法 号 れ る 当 採 に お 該 用 掲 そ 格 組 げ 付 合 n る が を \mathcal{O} 場 保 あ 用 合 る 有 11

場合には、当該格付を用いないものとする。

一略

る場 な とき。 ポ 置 1 合 が ŧ (第 で ジ 0) 六六節 を含 あ ヤ れ 付 と異] 0 が て、 に に 担 なる 対 規 保 以 当 L 定 又 下この て取ら とき又はそうし 該 す は 標 る 保 準 信 証 号 れてい 的 用 そ にお 手法 IJ \mathcal{O} ス 他 る信 採 ク \mathcal{O} て) た 措 用 削 信 同 用 組 減 用 じ。 置 IJ 合 手 IJ が ス 0) 法 ス ク 取 を 保 と ク を削 を L 5 有 反 削 する て 映 れ 適 7 減 減 す エ て 格 11 す る ク な る で

(国際決済銀行等向けエクスポージャー)

連合、 - 八条 ク ス 欧 ポ 州 安定メ 玉 ジ 際 ヤ 決] 力 済 0 = 銀 IJ 行、 ズ ム及び スク・ウェイト 玉 際 通貨 欧 州金融 基 金、 は、 は、零パーセントとす安定ファシリティ向 欧州 中 央銀行、 欧 州

となっているも . У ヤ 0] ょ 玉 条 スク・ス る公共 0 所 (特 0 在 中 左 外 す 定 央 玉 る 部 0) 政 0 コアに対応する信用リ のを除 門の定 事 国 定 中 府 業 \emptyset 央 等 \mathcal{O} るも 中 カュ 政 以 央 < 5 義によるものとする。) 外 府 の公共 政 0 0 及 収入の 府に付 とする。 び中央銀 0) IJ 部 スク・ウ 与され 門向け み 近行以外 ただし をもって返済 スク 工 た格付 工 区 クスポ 0 イトは、 分に 向 公共 無格 又 け] は さ 部 付 工 ジャ 一クス 当 れ 力 門 0 ること ント 場 次 該 (当 合に ポ 公 \mathcal{O} 各 IJ 共 該 1

| 適格格付機関の付与する格付の場合

百

]

セ

ントとす

合には、当該格付を用いてはならない

一 [同上]

ない ス る 措 とき。 場 置 ポ 置 合で も の 別格 (第六: ジ を れ ヤ あ 付 含] 節 لح 0 が 異 て、 む に に 担 な 対 規 保 以 るとき 当 L 定 又 下 て取られてい 該 す は 標 る 保 又はそうし 準 信 証 条に 的 用 そ 手法 IJ \mathcal{O} お ス 他 る信 採 ク \mathcal{O} て た措 用 削 信 同 用 組 減 用 ľ 手 置 IJ IJ 合 ス が \mathcal{O} 法 ス クク 取 保 を ク 5 を 有 反 を 削 映 削 す て れ S 減 L 適 减 7 す 工 て 格 す な る ク で

国際決済銀行等向けエクスポージャー)

第二十 共同 向け す る。 工 体 八 クスポ 条 欧 州 玉 安定 際 ジ 決 ヤー メ 済 カニ 銀 0) 行 ズム リスク・ウェイ 玉 際 及 通貨 び 欧 基 州金融 金 は、 欧 安定ファシリ 州 零 中 パ | 央 銀 行、 テ \vdash 欧 1 州

ジャー 国に となっているも 三 **外** 門 条 IJ ょ 第 0 · 条 玉 ス 所 る (特 0 公共 項 中 外 各 央 す 定 玉 ス 部 号 る 0 政 0 コ 0) \mathcal{O} 事 門 玉 中 府 ア 表の を除 業 の定義によるものとする。) 0 央 等 に 中 カュ 政 以 対応する信用リ < らの 左欄に定めるものとする 外 央 府 0) 政 及 公 府に 収 び 0 中央銀 共部 入の IJ 付 スク・ウェ 門 与 み 门向け され **新行以外** をもって返済 スク た格付 工 区 クス 0 1 向 公共 1 ポ 又は は、 け 応じ] さ エ 部 力 当 れ ク 門 ること 該 ス (当 ポ <u>۱</u> 公 IJ 共

号を加える。]

	する信用リスク・ウェ	に対応したり	格にする	当区対	る。た用談	イトを用いるものとすりも一段階以上下位のと評価されるときは、
	を有す	・リリ	· も · 高	態 ・よ	-	用リスク区
	に対応す	態が格付	信用状態	発銀行の	国際開発	ェンス分析の結果、
[項を加える。]	ディリジ	シデュー・	による	採用組合	標準的手法採用組合によるデ	2 前項において、標
(パーセント) 二十 五十	百 五 十	百	十 百	五		リスク・ウェイト
	2 6	5 2	4 2	3 2	1 2 2 2	信用リスク区分
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		 	1 ′			ントとする。
	五十パーの表の左	の場合には、分に応じ、次	付の場に	し、無格!	たるだ信	欄に定めるものとする。エイトは、格付に対応す
第三十一条 [同上] (国際開発銀行向けエクスポージャー)	リスク・ウ	ヤ の リ	ポージ	エクァ	開発銀行向けのカールの	第三十一条 国際開発銀(国際開発銀行向けエ
		_			_	3
	百 五 十	百百	百 百 百	五十	- + - +	(パーセント) リスク・ウェイト
						スク・スコア)
	7	5 6	4	2	0	(カントリー・リ
						信用リスク区分
[号を加える。]			場合	コアの日	スク・ス	二カントリー・リ
	百五十	百	百	五十	<u></u> +	(パーセント)
	5	4	-3	2	1	信月リンク区分
	1 Ø 2	1 Ø 2	1 の 2	の 2	1 Ø 2	言月リスク区分

信用リスク区分	$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	$\frac{2}{2}$	2 3	$\frac{2}{4}$	2 5
リスク・ウェイト	111	ī.	1	i	ī.
(パーセント)	117	∃ †	Ē	ΥШ	至 王 十

ク 1 区 は 用 ょ 11 n な ŧ 上 Ł 位 \mathcal{O} 0 لح 信 する 用 IJ ス ク 区 分 に 応 じ た IJ ス ク ウ

3 アフリ ラム 資銀 ジ 公 社 議 ヤ 前 会開 開] 多 発 力 0 項 数 銀 欧 開 IJ 発 \mathcal{O} 玉 州 ス 銀 行 発 規 沒投資基 間 ク • 銀 行 定 予 投 行、 及 ,防接 資 ウ び カゝ 保 欧 金 エ ア カュ 証 種 州 1 ジ わ 機 \mathcal{O} 北 復 ア \vdash b 関、 欧 興 た は、 ず、 1 投資銀 め 開 ンフラ投資銀 玉 \mathcal{O} 発 零 際 玉 玉 銀 パ 開 際 際 行 行、 ーセ 発 復 金 協 興 力 米 融 ン 会 開 IJ 州 フ \vdash 行 開発 発 ブ ア ア とす 向 開 銀 シ ジ け 行、 ij 発 銀 ア る。 工 銀 行 テ 開 玉 ク 行、 イ 発 欧 ス 際 銀 ポ 欧 1 州 金 行、 州 ス 投 融]

地 方 公 共 寸 体 金 融 機 構 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ

第三十一条の二 [略]

2 又は ヤー 力 項 第三十 0) 1 0) 場 ij IJ 合 条 ス を ク • 各 除 IJ 号 き、 ス ウ \mathcal{O} ク・ス 工 表 地 イ 0 方 1 左欄 コ 公 は、 共: ア に に 日 寸 定めるも 対 体 本 応 玉 金 す 政 融 る 機 府 0) 信 に 構 とする。 用 付 向 IJ 与 け ż ス \mathcal{O} ク れ 工 区 た ク 格 分 ス 付 ポ に

が 玉 0 政 府 関 係 機 関 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ

三十二条 [略]

2 又は 応 力 ヤ 項 第三 1 0) \vdash \mathcal{O} 場 + IJ IJ 合 条 ス を除 ク • 各 IJ 뭉 き、 ウ ス 0 ク・ス エ 表 我 イト 0) が 左 コア 玉 は、 欄 0 に んに対 日 政 定 府 本 \Diamond 関 玉 応 る す 政係 Ł る 府 機 \mathcal{O} 関 信 に とす 付 向 用 IJ け 与 ス さ 0 ク れ 工 ク 区 た 格 分 ス 付ポ

(地方三公社向けエクスポージャー)

弗三十三条 [略]

2 前 項 \mathcal{O} 場 合 を 除 き、 土 地 開 発 公 社 地 方 住 宅 供 給 公 社 及 び

> 2 ラム開 ジ 評 資 ア フリ 銀 ヤ 議 前] 会開 行 多 項 発 力 数 0 \mathcal{O} 欧 銀 開 玉 IJ 発 規 州 間 ス 銀 発 行 定 投 銀 ク 投 行 に 予 資 • 及 行 資 カン 防 基 ウ 保 び カコ 接 金 欧 エ ア 証 わ 種 州 1 ジ 機 6 \mathcal{O} 北 復 ア 関 1 ず 欧 た 興 は、 1 め 投 開 玉 資銀 0) 発 際 零 フラ投資銀 玉 銀 開 パ 際 行、 行、] 発 金 セ 協 開 力 米 融 会 ン 発 IJ 州 \vdash 行 ブ 開発 銀 ア ア とする。 向 開 行 シ ジ け IJ 発 銀 T 工 銀 テ 行 開 ク 行、 際 イ 発 欧 ス 金 ポ 州 欧 1 融 行、 州 ス 投 公

地 方 公 共 寸 体 金 融 機 構 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ

第三十一条の二 [同上]

2 又は 応 1 ジ 前 力 ヤ 項 第] ン \mathcal{O} \vdash 0 場 リス +ij 合 兀 1 を ク • 条 除 IJ 第 き、 ス ウ ク • エ 項 地 各 1 方 ス 1 号 コ 公 は 0 共 ア 表の に 日 寸 対 本 体 左欄に 応す 玉 金 融 政 る信 機 府 定め に 構 用 付 向 る IJ 与 け Ł ス さ \mathcal{O} 0 ク れ 工 た 区 ク す 格 分 ス に付 ポ

我 が 玉 0 政 府 関 係 機 関 向 け 工 ク ス ポ 1

ジ

ヤ

第三十二条 [同上]

2 応 又 1 は ジ 前 力 ヤ 項 第 1 \mathcal{O} 0 場 + IJ IJ 合 兀] ス を ク・ 条 除 IJ 第 き、 ウ ス エ ク 項 我 各 イ が ス 1 뭉 玉 コ は、 0 T \mathcal{O} 表 に 政 日 0) 対 本 府 左 玉 関 応 欄 す 政係 に る 機 府 定 に関 信 8 用 付 向 る 与 け ŧ さ ス \mathcal{O} 0 ħ 工 とす 区 た ク 格 ス 分 に付ポ

(地方三公社向けエクスポージャ-

《三十三条 [同上]

2

前 項 \mathcal{O} 場 合 を 除 き 土 地 開 発 公 社、 地 方 住 宅 供 給 公 社 及 び

にに日 定 対 本 方 め 玉 道 応 るも でする 政 路 府 公 信に社 0) 用り与け とする。 えさの ク れ 工 た ク 区 分に 格 ス 付 ポ 応じ 又 1 は ジ 力 ヤ ント 1 第 \mathcal{O} IJ IJ + ス] 条 ク・ 各 IJ 号 ス ウ 0 ク・ エ 表の 1 ス \vdash 左 コ は、 欄 ア

金 融 機 関 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ

を受け をい 玉 会の定め ク あ 銀 兀 以 う。 区分に応じ る場 行 融 条 Ś 機 下 以 関 金 合 る自己資 銀 自 下 行持 融 向 \mathcal{O} 0 己 この け 機 IJ 条 資 関 工 株 本比率 ス 並 節 ク • ク 会社又は 次 本比率 び に 第 0) ス に お ウ ポ 表 第 規 エ の左 い 条第七号ロに掲げ **刈制金融** 1 の基準又はこれ ジ て + 銀行持株会社に \vdash 同 t 欄に定めるものとする。 七 ľ は 機 条 関 第 当 لح 該 に V 対す 項 バ 格 う。 لح 及] 付 る者を除く。 準ずる外国 類 び る ゼ に 第 似 工 ル 対 12 応す 兀 ク 0 銀 ノスポ 基準 行監 項 に る 信 お \mathcal{O} 0 督 숲 適 委 用 格 ジ V

2	1 331		
前項の規定により三十パーセント	(パーセント)	信用リスク区分	
三十パ	<u>- </u> +	3 1	(
ーセント	三十	3 - 1 3 - 2 3 3 - 4	みつき つえれいかる シェー・
、 五 十	五十	3 — 3	7
パーセン	百	3 - 4	(
ーセント又は百	百五十	ფ—5	•
百			

合に 応 うち ľ は セ 項 ウ お 結 0 次 同 果 次 1 規 項 0 を 0 \mathcal{O} 淀 表 \mathcal{O} 踏 各 IJ K 規 0 は まえた 号 ス ょ 左欄に定めるものとすることが 定により 照する金 ク り \mathcal{O} 第四 + 値 ず ウ 項に規定するデュ とするも れ エ 適用さ 融機関向] 1 か に セ 1 が 該 ン れるリスク・ウ (T) 当 適 1 とする。 Tする け 用 工 さ $\overline{\mathcal{H}}$ クスポー ŧ + れ 0) る \mathcal{O} 工] デ IJ エ ク セ できる。 ジャ リジ ス ス ポ 1 ク 1 工 0 又 こ の 0) 区 ウ は ジ IJ 分 ヤ 百 エ

> に 対 本 方 定 玉 応 道 \otimes す 政 路 るも Ś 府に 公 信 社 0) 用 付 向 とす パリス 与け さ \mathcal{O} [,]る。 ク れ エ た ク 区 格 ス 分 付 ポ に 又 は 応 ジ ľ ヤ 力 1 ン 次 <u>۱</u> \mathcal{O} 条 IJ IJ 第 ス ク • 項 IJ 各 ス ウ 号 ク・ エ 0) 1 表 ス 1 コ 0) は、 左 ア

に日地

金 融 関 向 け エ クス ポ] ジ ヤ]

を格付又はナー イトは、エ 社 項 に に 準 お 匹 条機 ず V る外 て同 はカントリー 金融機 それぞ 金融 玉 じ。)、 の会 格 付 機 関 \mathcal{O} れ 関 社 外国 (第一条第七 : У 一向け が設 場 次の 合に の各号のよ 銀 ンエクスポ 立 行、 は、 され 銀 百パ た 医 表 コ 行 号 ーアに 0] 口 持 1 左欄 の中 ジ に 株 セ 対 t 会 掲 応す 央政 に] 社 げ 定 の リ 及 る とす \otimes る 府 び 者 る 信 に ス 銀 を る。 ŧ 用 付 ク 行 • IJ 与 0 持 ス لح さ ウ 株 ク れ ェ 会 次

適 格 格 付 機 関 0 付 与 す る 格 付 0 場

(パーセント)	信用リスク区分
二十	3 1
五十	3 2
百	3 3
百五十	3 4

力 1 IJ IJ ス ク ス コ ア 0

I Lee		,	2		
期間が三月以内であ	あって、かつ、当該主	する円建てのエクス	前項の規定にかか	リスク・ウェイト	信用リスク区分
る場	工体が	ポ 	わら	11+	О
合のリ	信用	ジャ	ず、	<u>-</u> +	1
合のリスク・ウェイト	供与分	が四	金融機	十 二 十 五 十	2
´• ウ	を受い	円建	機関	百	3
エイ	けた	てで	及び	百	4
トは	日 か	調達	銀行	百	5
1. 	ら満	され	持株	百	6
一十パーセ	関期までの	たもので	公会社に対	百 五 十	7
_		_	\·\]		

トとす

う る。

一	リスク・ウェイト	リスク・ウェイト	
1.1日 1.0 時間	二 十	三十	
ガミごう月引	二 十	五 十	
5 三月人 可つき	五十	百	
之			

機 信 関向 圧 供 け 与を行 エ クスポージャー た 日 カら清 其 ま 7 0 其 間カ 三月 足内 0

を含み、 前号に 向 け 工 クスポ 同 規 一号に掲げ 定す ^ る期間 1 げ ジャ るも が \mathcal{O} 六月以内 (流動 を除く。 性の 0 貿 高 易 1 貿易 取 引 関 に 連 係 る 偶 発 金 債 融 機 務

3 とする。 負担させる措置を除く。) を自己資本比率規制 て講じ得ることをいう。)を勘案してい 法令を含む。 重 は 類する措 大な支障 標準 暗 的 黙の 手 置 が 法採 政 生ずるおそ に基づ (当該金融機 府 用 支援 組 合 き金融機 国 は れ 又は 関 が 第 の株 隣に講 あ 地 る場 域 項 主又は 12 0) 合に ぜら お 信 ない格付を用いるも 用 V れる措 債 お 秩 7 権 格 1 序 金 者 7 付 \mathcal{O} 融機関に対し 置その他これ 法 \mathcal{O} 維 を 持 用 みに損失を 令 に いる場 外 極 国の \emptyset て

4 リジ 信 態 用リ たリスク・ウェ IJ 対 が 第一 リス 応する信用リ ス 格 エ クを 付に ン スク区分より 項 ク ス に 対応す お 有すると評 分 ウ 析 \ \ て、 \mathcal{O} イトを用いるものとする。 スク区分よりも上位の信 る 結 ŧ 果 信 標 は 価 用 準 段階以上 さ IJ 自 的 用 れるときは、 ス 己 手法採用 ク 資 ないものとする。 区 本 下位の 分 比 0 率 組 規 示 合によるデュ 信 当 す 制 用リス 用リ 該 信 金 ただし 格 用 融 スク 付 状 機 態より 関 に 区分に応 区分に応 対応する 1 当該格付 0 信 ŧ 用 デ 高 状

5

金

融

機

関

向

け

工

ク

ス

ポ

]

ジ

ヤ

が

無格

付

0)

場

合

12

は

そ

0)

3 当 \vdash は該 百パーセントとする。 主 二項 体 0 \mathcal{O} 資 規定 本 調 に 達手 か か 段で わ 5 ある場合には、 ず、 項 \mathcal{O} 工 そのリスク・ウ クス ポ] ジ ヤ エ]

イが

- 68 -

資本比 リスク・ウェイ 判定される自己資本比 おいて同じ。)に応じ ジ t 率 規 制 に におけ 金融 トは、 る信用 機 関が 第七項、 率規 無格 IJ 次の表の左欄に定めるものとする。 制金融 ス ク 評 付 第九項及び第十項 \mathcal{O} . 価 の 場 機 合の 関 区 \mathcal{O} 分を グレ 金 ·融機関. <u></u> . う。 ド の規定により 向 区 け . 分 以下この 工 自己 クス

リスク・ウェイト	グレード区分
四十	A
七 十 五	В
百 五 十	C

6 項 各 IJ 表の左欄に定めるものとすることができる。 規 スク・ 前 定により 号 項 0 \mathcal{O} 1 ウ 規 ず エ 定により四十 適 れ イ 用される か 1 に該当 が 適用さ るリ す ハスク・ るも れるエ ーセント又は 0) ウェ 0 クスポ IJ ス ク・ 七 0 + ジ 区 ウ ヤ 五. 分に応じ エ] 1] \mathcal{O} 1 うち セント は 第二 次 前 (T) 項

(パーセント)	リスク・ウェイト
<u> </u>	四 十
五十	七十五

7 とする。 己資本比率規 準 的 手 法採用 制 金 融 組 機関 合は、 0 次に グレー 掲 げ ド区分をAと判定するもの る要件 \mathcal{O} 全て を満たす自

継 済 区分に応じ、 ;状況又は事業環境が悪化した場合におい 続 契約に従って債務を履行する能力を有してお 次のイからタまでに掲げる自己資本比率規 して維 持することが見込ま 当該イからタまでに定める要件を満たしてい れること。 ても当該能力を 制 り 金融機関の か

ること。

- る資 銀 行 どうかを判 次に掲げる基準 -九号) 産 法 等に 第十 第一 断 照 兀 条第十 す 5 条の二の の全てを満たしていること。 るた L 自 め 号の二に規定する国際統 己 資 規定に基づ \mathcal{O} 基 本 準 0 充実 平 き 成 \mathcal{O} + 状 況 銀 年 が 行 金 適 が 当で 融 そ 基準 庁 0 告 あ 保 る 有
- (1) 準び 条に定める最低基準 あるかどうかを判断するための基準 有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当で 第 銀行法第十 + - 四条の 四条の二の規定に基づ 第 項 並びに同 に定める当該 告示第二条の二第一 最低基 第二 き、 条及び第十 銀 準 行がその 一以外 項 及 \mathcal{O} 基 兀 保
- (2)該最低 五条第一項において準に定める最低基準及び て定めるレバレッジに係る健全性を あ 有 同同 るかどうかを判断するため す 銀 伞 る資産等 告 行 法第 基 示第五条第 成三十 項に 準 以 十 外 に照らし自 兀 一年金融庁告示第十一号) 0 条 基準 て準用 一項において準用する場合を含む。 0 同告示第二条第二 0) する場合を含む。) 己資 規 定 本の に基 0) 基準 充 づ 判断 \mathcal{O} 実 き 補 \mathcal{O} 項 完的 第二条第一 するため 状 銀 沢が に定める当 行 (同告示 '指標とし が 適当で そ 0 0 項 基
- 会社 うかを判 らしそれら 掲 銀 ?げる基準の全てを満たしていること。 が 行 第一条第十号の二に規定する国際統 銀 法 公行持株, 第五 断するため \mathcal{O} + · 二 条 自己資本の充実の状 会社及びその子会社 の 二 0) 基準 + 五. (平成十八年金融庁告示第二 の規定 況 0) に 保有 が 基 適当であるかど き する資産等に 基準行 銀 行持 次

口

(1) 基準 等に 株 る 会社 銀行 以 カュ どう 及 照 らしそ 0) び 法第五十二条の二十 が 基問準告 カュ 銀 を 行 判 れ 持 示 第二条の二第一 株 断 会社 す 0 んるため 自 及び 己資 その 本 五. \mathcal{O} 基準 (D) \mathcal{O} 項に 子会 規 充実 第 定 定める当該最低基 社 に \mathcal{O} に基づき、 条に 状況 \mathcal{O} 保 定 が 有 適当で す ん資産 る最 銀 行 低 あ

(2)定めるレバレッジ 株会社 以 定外 め 等に照らしそれらの自己資本の充実 平 銀行法第五十二条の二十 成三 \mathcal{O} る 基集低 が銀行持株会社及びその子会社の保有する資産 + 基 ッジに 準 年 断 及 金 するための基準の補完的 び 融 ほ係る健 同 庁 告 条第二 示 第 全性を判 五. 一項に + 0) 規 号) 定 定 の状況が適当であ \emptyset 断 に するため る当該最低 第 基 づ 条 指標として き 第 銀行持 0) 基 項 基 進 準

(1) いること。 る国 況 が 合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の 第 年金融 十四 信用金庫法第八 際統 : 適当であるかどうかを判断 条の二 庁告 基 示第二十 \mathcal{O} 準 規定に 金 庫 + -九条第 . 基 次に掲げ 号) き 第 項 る基準 するため 信用 に 条第 お 金 11 \mathcal{O} 九 庫 7 号の三に規定す 0) 及 全てを満たして 準 基 び 用 準 信 す II 用 金 うる銀 (平成 庫 行 +状 連

庫法 第 0 連 第 +九条及び第三十一条に定める最低基準並びに 合会がその 状 + · 四 条 九 況が適当で 条の \mathcal{O} 二第 の規定に基 保 あるかどうかを判 一項 有 する資産 及び第三十一条の二第 き 等に照らし 信 断するため 用 金 自 庫 及び 己 資本の 項 信用 0 基準 同告 充 金

金

庫

法

第

八

+

九

条第

項

12

お

V

7

潍

用

す

る

銀

\Diamond る当 該 最低基準 準以外 の基 進

(2)庫 法連 第 二項 判断 む。 る場合を含む。) に定める最低基準及び同 \mathcal{O} 実 補 \mathcal{O} 信 第二条第一項(同告示第五条第 す 状 完的指標として定めるレ 合 + 用 同 っるため 会が 況が 金庫 に 兀 定め 告示 条 適当であるかどうかを判 の <u>-</u> そ 法 る当 第五条第一項におい 0 0 第 基準 保 0 該最低基 有 規 + でする資 沈定に基 九 (平成三十 条第 **準以外** 産 づ バレ 等 き 項 に 一年金融庁告示第十四 に の基準用 0) 照 ッジに係る健全性を 信 お らし 項において準用す 断するため 用 V て準 金 する場合を含 告示第二条第 自 庫 用 己 及 資 び 信 す Ś \mathcal{O} 本 基準 0 用 銀 充 金

(1) こ と 農 農 林 中 · 央 金 庫 次に掲げ る基準の 全てを満 たして ľ

農林中央金 庫 が +農林水産省生 そ 0) 経 営の 健全性を判断するため

基準

(平成

八十八年

告示

第

兀

号)

第二条及び

第

の項 十 及び 基準 四条に定める最低基準並 第十四 条の二第 項に定め びに同い る当該最 告 示第二条の二第 低基準以 外

(2)基準 農 林 0 補 中 完的 央金 指標 庫 がそ として定 0) 経 営 め 0) るレ 健 全 性 レ を 判 ツ ジ 断 に す るため 係る健全 \mathcal{O}

性を

判

断

するための

基

準

伞

-成三十

年

告

準用 二条第二項 合を含む。 示 第四 する場合を含む。 号) 第二条第 (同告示第五条第一項において準用する場 に 定める当該最低基準以外の基準 項)に定める最低基準及び同告示第 (同告示 第五条第 農林水 項に 産省庁 お ٧V

満たしていること。 株式会社商工組合中央金庫 次に掲げる基準の全てを

(1) 満たして 大式・ 定に基づ 株式 会社 き 商 株 工 組 式会社商工 合中 · 央 金 組 庫 合中 法第二 央金庫が + 一条第 そ 項 0

ににに 健全性を判断するため 告 示 第二 め 同 る当 告 号) 示第 該最 第二条及び第十四条に定める最低基 低 条 基準以外 の 二 第 0) 基 準 \mathcal{O} 項 基準 及び 平 一成二十年 経 経 経 第 十四四 条 0 産済 産務 産業 省 信の 二第 準並 項

(2)るレバレッジに係る 経済産業 健全性を判定に基づき、 株 式 会社 断 商 するため 株式会社 工 組 合中 商工 -央金 の基準の補完的指標として 組合中 庫法第二 央 十三 金 庫 がその 条 第 経 項 伞 定め 営の (同 0) 規

める最高 低基準以 第一 項において準用する場合を含む。) に定める当該最 低基準 五 条 年 第 経財金 外の 基 及び同告示第二条第二 項 んにお いて 準用する場合を含む。) 項 同 告示第五条 に定

るものに 定 限 る。) めた当 銀 外国銀行 行持 株会社 限る。 該外国 (1)及び(2)に掲げる基準と類似の基準 (イに規定する国際統 銀行に対する固有の基準 に準ずる外国 を含む。 を 0 満たしていること。 会社 基 準行に準ずる者に に規定する (公表され **个** 「国 が 玉 て 際

と類似の 基 準 行 基準 に 準 ず (各国が定めた当該銀行持株会社に準ず る者 に 限 (る。) 口 (1)及び (2)に掲げる基

に限る。)を含む。)を満たしていること。る外国の会社に対する固有の基準(公表されているもの

カュ っる国内 る資 る基準を満たしていること。 どうかを判 銀限 行 産 法 基準行 第十 等 に 断 照 兀 条の二 5 するため 同告示第二十五条及び第三十七条に定 L 自 己 \mathcal{O} の基準 資本 規 定に基づ 0 第一 充実 条第十号の三に規定 き \mathcal{O} 状 銀行 況 が 適 が 当 そ で \mathcal{O} 保有 あ る

ること。 玉 照らしそれらの自己資本の充実の状況が適当であるかど 会社が銀行持株会社及びその子会社 内基準 銀行法第五十二条の二十五の規定に を判 行 断 するため 同 告 示 第十 \mathcal{O} 基 四 準 条 に 第 条第 定める基準を満たしてい +の保有する資産等に 、基づき、 号 の三に 規定する 銀 行 持

九 況が適当であるかどうかを判断するための基準第 合会がその保有する資産等に照らし 第十四条の二 信用金 号の二に規定する国内基準金 一条に定める基準を満たしていること。 庫法 \mathcal{O} 第 規定に 八 + -九条第 . 基づ き 項 庫 信用金 に な 自己資本の充実の 同 1 告示 庫及び 7 準 第二条及び 用 信用金 する銀 条第 庫 状 連

を判断 協同 協同 条及び第十一条に定める基準を満たしていること。 第一条第二号に規定する信用協同 照らし自 て するため 組 準 組 合及び - 用する 合による金融 己資本の 信 銀行法第十四 基準 用 協 充実の 事業に 同 (平成十 組 合連 . 関 状 条の二の 八年金 沢が 合 する法律第 会が 適当であるかどうか 組合等 融庁告示第二十二 そ 規 定に 保 六 基づき 有する資 条 同告示 第 項

労働

金庫法第九

十四条第一項において準用する銀行法

合会が 況が 第十四 適 当 条 そ で 二 の で \mathcal{O} あ 保 るかどう 有 規 す 定に る資 かを判断するため 産 基づき 等に照ら 労働 L 自 金 己 庫 資 及び労働金 0) 基 本 準 0 充実 平 · 成 十 \mathcal{O} 庫 状 連

定める基準を満たしていること。 第一条第七号ニに規定する組合 第二条及び第十条に

カ 漁業協同組合等がその経営の健全性を判断するための

 \exists 限 該 外国 る。 玉 銀 銀 チに規定する基準と類似 を含む。 行に対する固有の基準 行 (チに規定する)を満たしていること。 玉 内 (公表され 0 基 基準 準 行 (各国が定め に 準 ているものに ず る者 た当 に

基 基 準 準 銀行持株会社に準ずる外国の会社(リに · 行 に 対 **个**各 する固有 を満たし 「 国 が 準ずる者 定 \mathcal{O} \otimes た当 ていること。 基 に限る。) 準 該銀行持 (公表されて リに規定する基 株会社 V るものに限る。 準ずる外国 規 坐準と類 定する 似の 0 国

要な情報が公表されていること、又は当該情 採 て . 号 に 用組合に いることを標準的手法採用組合が確認するため 掲げる要件を当 適切に提供されていること。 該自己資本比率 規制 報 金 が 融 機関 標準的 が

三

ウェイ 資本 合に 項 が 分 第 比 K な 前 五. 率 トを三十 応じ 号 項 項 規 \mathcal{O} \mathcal{O} 1 て 規 制 当 規 カュ %定にか 金 該 らト 定 次 融 各 \mathcal{O} に] 見に定 機 各 ま ょ セントとすることができる。 関に 号に で カュ ŋ Ź わらず、 0) 対 \emptyset 掲 \mathcal{O} V る要件 するエクスポ げ グ ず る自 れ 自 Ì カ 己 を満たすとき 己 ド に 資 資 区 該 本比率 当 本 分 1 す 比 が ジャ るも 率 Α 規 規 と 制金融 1 は 制 判 \mathcal{O} 定さ に 0) 金 リスク・ 融 限 当 機 る。 該自己 機 れ 関 関 る (前 \mathcal{O} 場

ため 式により 五. 係る健全性 に 水の二の 条第 する 照ら 自 5 前 己登 · う。 0 :項第二号イに規定する国際統一基準行 兀 れ ため 基 L 条 る 項に 得 う。 本の 自 比 準 規 \mathcal{O} を判 己資 5 第 定に基づき が \mathcal{O} 率 れる比 お 五. 基 充実 \mathcal{O} が 第 いて読み替えて準用する場合を含む。) 断 準 本 規定に基 条 十四四 Ì 元号に の状況 第 するための基準第二条第一 \mathcal{O} の充実の セント以 率 補 完的 号 第六号において「レバ づ お 及 が適当であるかどうか 銀行がその保有 セ へび第 指 状 き 1 ン 上 標として定めるレ 況 7 卜 であること。 が 銀 + 以 適当 行が 普 匹 上で 条第一 通 で そ 株 あ する資 あるかどうかを判 \mathcal{O} 式 ŋ 等 号 保 項 有 Τ \mathcal{O} 銀 か レ する資 産等に 算式 · を 判 i 行 同 つ、 ッジ 法第 е ッジに 告 に 銀 断 r 比 する 照ら より 0) 示 産 + 1 率」 第 等 比 兀

と 前 い 社 ント以上であり、 て「普通株式等Ti 潍 本 及 第二条第 . の び 項 \mathcal{O} 第 充 そ 実 0) + 子 \mathcal{O} 号 五. 会社 状 \mathcal{O} 口 号 に 況 規 か 0 定 規 が 0 つ、 算式 適当 保 に 定 е す 銀行法第五十二条の二十五の規 有 基 15 する資 る 国 より得られる比 あるかどうか き 比率」という。 際 産 統 銀 等 行持 基 に照らし 準行 株 を判 会社 率 が 十 四 断 そ が 銀 (第七 れら するため 銀 行 法 行 号に 第 0 持 定 1 自 五. +

兀 状況 うか る資 二条 えて 銀 て定 \mathcal{O} 指標として定め 庫 あ 第 第八十九条第 当 有 農林中 ŋ で 1 基 連 行 定に基 す づ る 前 産等に 丽項第二 た セント . を 判 ッジ き 進 準 第 あ る資 が適当で 合会がその 号 8 法 カン 用 第二条第 る 8 第 \mathcal{O} る 比 央 する場合を含む。)の 算 断 づ 項 \mathcal{O} + 産 銀 V カコ き、 に照らし 率」 どう 基準 する 号 金 以 式 行 \mathcal{O} 等 兀 信 上で 持 あるかどうかを判断するた 算 庫 条 に に 用 という。 第 項において準用する銀行法第十四条の二の に 式 るレバレッジに係る健全 保 \mathcal{O} ょ た 信 照 株 ツ カ 金 規定す 会社が 農林 あること。 項 用金庫 に 自己資本の充実 ジ 有する資産等に \otimes 5 り を 庫 より 得 条第 0 \mathcal{O} に 判 L 法 同 中 規定に基づ そ 5 基 係 断 第 得ら 一及び信 銀行 - 央金庫 る国際統 告示第五 れ 準 る れ す 八 が 五 パ 51 第 . る 比 健 号 る れる比率 算式 た \mathcal{O} 持株会社及びその子 及 九 +全 小がその び 率 九 用 性 \otimes 条第 自 の状況 1 条第 により 照ら 条第 金庫 が 己 第 き 基 を 0) セント _ 資 判 基 + + 準金庫 第 連 几 経 し 信 兀 断 準 本 項 項にお判 合会が 得 \Diamond 自 条 営 用 号 が す \mathcal{O} \mathcal{O} に 七 以上であること。 á 第 及 び 適当であるかど 己資 \mathcal{O} 5 \mathcal{O} 金 1 補 充 お 号 健 れ 基 庫い セ た 実 完 にお 第三十 信用金 V 及び 全性 る比率 断 準 本 その保有す 8 的 \mathcal{O} 号 7 , 会 社 て読 するため . の \vdash 準 \mathcal{O} 指 0 状 1 標とし 信用 補 況 算 を 充 用 以 基 み替 完的 式 判 が 実 す 上 庫 準 \mathcal{O} が \mathcal{O} 金 る で 条 第 保 断

えて準用

す

る場合を含む。

)の算式

により

得

られる比

率

基準第二条第

項

同

告示第五条第一 ッジに係る健

項において読み

指 央

標とし

て定め その

る

レ

り

る

比

率

が

+

. 匹

]

ント以

上

で

あ

り \mathcal{O}

カ

林

(金庫 得ら

が れ

経

営の

健

全性

を判 セ

- 断す

る

た

8

基準

 \mathcal{O}

補完

全性を

判断

するた

五パーセント以上であること。

Ŧī. 標として定めるレ て準用する場 金庫がその 第二十三条第 法 号 一準第二条第一] 株式 金 第 外セ 及び ント 庫 セント以上であり、 会社 + が 第十 以 そ 経営の 条第 上 0) 商 一であ 一合を含: 四 経 工 項 項の規定に基づき、 条 営 組 ること。 第 合中 健全性を判断するため バ 0) 項 む。 (同告示 健 0 レッジに係る健全性 号 規 央 全 か 次定に基づ 金庫 0 性 0) つ、 算式 を判 第五条第一 算式により 株式会社商工組 に 断 づ 株 より 式 き す Ś 株式 会社 得ら 項にお 得ら た 株 を判断 会社 0) 8 商 式 基準 会社 れ れ \mathcal{O} 工 る比率 商 . る 比 い 合中央金庫法 基 組 するため の補完的指 Ι. 準 合中 て読み替え 商 率が十 組合中央 第 工 央 が 組 合中 五. 条 金 兀 第 庫

ッジ比率に 比 であり、 本 る者 率の基準又はこれと類似の基準により算出されたレ 式 等 T i 比 国 率 に限 銀 \mathcal{O} か 基準又はこれと類似 行 つ、バ る。 類する比率が五パ е (前 r 1 項] 比率に 第二号 ゼル銀行監督委員会の定めるレバレッジ ーゼル 類する比率が十 イ に 銀行監督] 規 0) ーセント 定する 基準により 委員会の 以上であること。 玉 兀 際 算 統] 出 定 セント された普通 基 める自己資 準 行 以上 準

により算出されたレバ す ント以上であること。 銀行持 会の定めるレ が 12 る 委 十四四 ょ 玉 員 り 際 会 算出さ 株 統 \mathcal{O} 会社 定め] セント 基準行に れ る に た普 自 レッジ比 準 以 己資 ーずる 上で 準ずる者に限る。 通株式等Ti 外国 ッジ比率に類する比率が五パー 本 率の あり 比 率 \mathcal{O} 会社 基準又はこれと類似の基準 0 基準 е 文 前 r はこれ 1 項 第一 ゼ 比 率 ル] 号口 と類 ゼ に 銀行監督委 類する比 ル に 似 銀 0 行 規 基 監 定

七

K 自

算 出 ないこと。 基 準 日 に お 1 7 債 務を履 行 ける 能 力に 疑 義 が 生じ

ること。 区分に応じ、 次のイからト 当 該 までに掲げる自己資本 イからト までに定め る 比 要 率 件 規 を 制 満たして 金 一融機関の

(1) 銀行法 な ること。 す す カュ る資 る国際統 銀 行 どうかを判 産 法 等に 第十 基準 照四 断 す 5 条の二の る 行 L た 自 次に掲げる基準 8 己 資 規定に基づ 0 基 本 0 準 充実 第 き 0) 条 \mathcal{O} 第 状 十号 況 全てを満たし 銀 が 行 適当で の二に が そ 0 規定 保有 ある

条に定める最低基 あ 有する資産等に照らし自己資本の充実の るかどうかを判断 銀行法第十 兀 条の二 準 するための基準 \mathcal{O} 規定に 基 づ 第二条及び第十 き 状況が適当で 銀 行 がその 兀 保

(2)て定 あ 有 る場合を含む。 第二 る する 銀行法第十 8 か 条第一 資産等 るレ どうか バレ 項 を 12 兀 判断 照ら 「 条 の ッジに係る健全性を に定める最低基準 同 告示第五条第一 す L っるため 自 0) 規定に基 己]資本の 0 基 準 づ 充 判断 項に き 0) 実 補 \mathcal{O} 状況 お するため 完的 銀 いて準用す 行 指 が適当で がそ 標 0 0) 基 保

口 会社が銀 銀行法第五十二条の二十五の規定に基づき、 行持株会社及びその子会社の 保有する資産等に 銀行持株

(1) こ と 銀 際統 ゟ゙゙゙゙゙゙゙゚゚ らしそ を 判 れ 断 基 準 す 5 る 0 行 た 自己資 8 次 に \mathcal{O} 掲 基 本の充実 げ 進 る基 第 への状況 条第 準 \mathcal{O} 全 +7 号 が を満 適当 の <u>-</u> たして であるかど 規定 す V١ る

株会社 基準 等に照らしそれらの自己資本の るかどうか 銀 行 法第 が 銀 を判断するための 行 Ŧī. 十二条 持株会社及びその子会 の二十五 の規 基準第二条に定める最低 充実 定 社 0) に 状況 0 基 保 づ が適当であ 有する資産 き 銀 行

(2)定 る 等 株 め か に 会 る ど 照 社 第二条第 銀 どう るレ 行 いらしそ 1法第五 が 銀 カン 項に レ を 行 ツ れ 持 十二条の二十 判 定める最低 ジ 株 断 6 会社 12 す 0) っるため 係る健全性 自 及び 己資 基準 本 そ 五. 0) 基準 0 0 0) 子会 充実 規 を判 \mathcal{O} 定 社 に基づき 断するため \mathcal{O} 補 状況 完 \mathcal{O} 的 保 が 有 指標とし 適当で する資産 0) 銀 基 行 準 あ

(1) の 九 況 が 合会がその保有 第十四条の二の規定に基づき、 全て 号の三に 信用金庫法第八十 : 適当であるかどうかを判断 を 満 たして 規 定 す する資産等に照らし自 る国 V ること。 九条第一項に 際統 基 信用金 するため 準 金 お 庫 1 己 庫及び信用金 7 資本の充実 次に \mathcal{O} 準 基 用 掲げる基 準 す 第 Ś 銀行 条第 庫連 0) 状 潍

庫 法連 第 0 連合会がその 信 九条及び第三十一条に定める最低基準 状 +用 · 四 条 金庫 況が適当であるかどうかを判断する \mathcal{O} 法 二の規定に基 第 保 八 有する資産 + 九 条第 等に照らし き 項 12 信 お 用 V 金 7 自 庫 潍 及び た 己 用]資本 め す 信用 る 0 基 銀 進 充 金

信用金庫法第八十九条第一項において準用する銀

行

(2)

の 薬 補 の 法第 農林中央金庫 項に 判 庫 補 断 連 お す 状 合 + 完 っるため 況 会が V 的 兀 条の二 指 が て 準 標 適 そ とし 用 当で 0) 0) する場合を含む。 基準 一の規 保 次に掲げる基準の 7 あ 有 定め 第二条第 る す 定に基づ る資 カコ る どうか 産 等に き 項 を レ 全てを満たしている 判 照 信 ツ に定める最低基準 らし 同 ジ 断 用 告示第五条第 に す 金 係 る 自 庫 る健 た 及 己 め 資 び 全性 本 信 \mathcal{O} 基 \mathcal{O} 用 を 進 充

- (1) (2)基準 農林中 第二 \mathcal{O} 林 補 中 一条及び 央金 完的 央 金 一庫がそ 庫が 指 標 第十四条に定める最低基準 とし そ \mathcal{O} 0) て定 経 経 営 営 \emptyset \mathcal{O} 0 健全性 るレ 健 全性 を判断 を判断 ッジ に す す るた 係る るた 健 め め 全 0) 0
- ホ 準 第 性 基 ー を 準 株式 会社 項 判 に 断 おいて準用する場合を含む。 商 す 工 組合 中 \mathcal{O} 央金庫 準 第 条第 次に 掲 げ 項 る基 に定める最低基 同 準 告 の全てを 示第

る

た

8

基

五.

条

ていること。

(1) 満 た 株 め健 定に基づき、 る最 全性 株式会社商 低基準にを判断 株式 工. するため 組 合中 会社商工 -央金 の基 組 準 庫 合中 法第 第二条及び 央 金庫 十三 第十四 がその経 第 条に 項 営の 0) 定 規

(2)

を含む 健 定 全性 に 株 基づ 式 を判 会社 項 き ッジ に定め 同 断 商 告示第五条第 す 株式会社 工 っるため 係る健全性を判断 組 る最低基準 合 中 商工 - 央金庫 基 組合中 準 中の補完 生法第二 項において準用する場合 するため 央 的指 金庫 + 標とし がその 条 0) 第 基準第一 経営の 項 定め 0 規

- 限 る。 V 外 ること。 国 銀 行 イ 7 (1)及 に規定する国 び (2)に掲げる基準]際統 لح 基 類似 準行 \mathcal{O} に準ずる者に 基 生 を満 たし
- 三 たし 要な情 1 前号に .採用組合に適切に提供されていること。 ていることを標準的手法採用組合が ・と類似 基準 行 報が公表されていること、 掲げる要件を当該自己資本比 持 · 行 に 株会社 0 基準を満たして 準ずる者に限る。 に 準ずる外国 いること。 0) 会社 又は当 口 率 (1) 該 確認するために必 規 及び 口 に 情 制 報 (2) に掲げ 規 金 定する 融 が 機関 標準 る基 的 が 玉 手 満 際
- 10 | 算出基準日におい| 区 己 分が 資 区 標準 . 分 が 本比 A と 判 中的手法 Bと判定されたも 率 規 定されたも 制 採 金 用 組 融 機合関は、 機 \mathcal{O} (第七項 のを 及 び 次の各号 除く。) 前 \mathcal{O} 項 規定により \mathcal{O} \mathcal{O} のグレ 規 V 定 ず に れ] ょ カュ ド区分をCと り そ に 該当 そ 0 0 グ す る自] ド
- 合場合又は既に債務を履行することができない状態にある場 算出基準日に おい て 債 務 を 履 行 す る 能 力 に 疑 義 が ある
- 準 督 域 自己資 が 委 \mathcal{O} 金融当 当 員 会の 該 自 本 . 己 資 定める 比 局 によ 率 本 規 って 自己資本 制金融 比 率規 定め 制 機 | 関に適 比 5 金融 れて 率 機 \mathcal{O} 関が 基準 用さ な 設立さ 又 れ 場合 八はこれ るバ] れ た国 لح ゼ 類 ル 又は 似 銀 \mathcal{O} 行 地 基 監
- \equiv を当該自己資本比率 自己資 の金融当局によって定められており、かつ、これらの基 委員会の が当該自己資本比率規制金融機関が設立された国又は地 本 比率 定める自己資本比率の基準又はこれ 規 制金融機関 規 制金融 機関が満たしてい に適用される] ない と ゼ 類似 ル 銀 \mathcal{O} 行 基 監

規制 兀 六 Ŧī. ポ IJ ず 督 れ 口 1 過 部 法令に基づ 公 ことを標 5 準 第 機関向 監査 金融 ジャ スク・ ない 去 切に提供されていないとき。 表されて 0 委 自己 る 当該自己 \mathcal{O} が い による重大な疑 五. 第 か 十二月 ジャ 当 て、 財 不 基準 む。 財 員 項、 金 七 場合 0 適正 資 務諸表に 務 人 機] 項 融 該 会 継続企 · を 当 0 関 けエクスポージャーの相手方である自己資本比率 1 ウ 準 \mathcal{O} 本 が 諸 自 0 第 前 き 意見 中的手法 会計 比 表に 以 資本比率規制 おらず、 己 次に掲げる要件の全てに該当 定 が \mathcal{O} 局 エ 六 規 項 内に IJ 該 設 資 \otimes に 率 1 項 0 定 スク・ウェ 業の が 当 <u>\f</u> 及び お 対 監 自 ょ 本 る 規 1 規 によりそのグレ され を用 次 義が表明されていること ける継続企業の 表 該自己資本比率 採用組合が 己資 す 查 自 制 0 比 定によりその かつ、 前提に 明さ る が \mathcal{O} 己 金 率 第 7 義 定 規 資 融 た V, 監 本 れて 查報告 務付け ず 国又は地 る場合 項 金融機関 当該情報が 比 8 制 本 機 関に 関する注記がされていることを れ 率 比 5 12 金 規定す いること。 カゝ 規 は、 確 れ 融 率 に該当 書におい 制金融 られ 12 認するため 機 適 グ 7 \mathcal{O}] 地域の中 規制: お 前 が 用さ 関 基 レ 11 K 提に 標準的 て 所 る 準 け る \mathcal{O} 該 区 して 場 金 グ 金 機 設 又 れ る 1 在 ド 分が る場 るバ する 関 はこ 央 するときは 融 機 合 金 対 7 立 融 レ 区 政 さ V 機 融 分 外部監査 手 に が L (財 ▽ るとき。 合にお A と 関に対い] 府 が て 玉 法 必 満 れ れ 関 機 ド お 12 向け 区 務 採用組合に 要な情 たし 関 外 又 た ゼ B と 判 1 係る第二 向 判 諸 部 分に は 玉 類 ル 定され 表にお する外 人に 似 銀 工 け 監 V 地 て 又 定さ 当該 報が クス 応じ 査 域 は \mathcal{O} 行 工 1 ょ ク 人 0 る れ 地 基

11

いて 貿易 ただ 日 t カン し、 は 条に規 関 5 満 連 期 当 偶 定するリスク・ウェイ 0) ま 発 該 限りで で 債 自 \mathcal{O} 務 己 期 12 資 ない。 係る 間 本 が 比 金 率 年 融 規 機 未 制 満で 関 金 トを 融 向 あ 機 け 下 関 ŋ 工 回らない ク が か 信用 ス 2 ポ 供 1 流 Ł ジャ 与を受けた 動 のとする。 性 高 に **つ**

現 該 地通貨と異なる通貨建 自 己]資本比 率規 制 金融機 て で あること。 関 が 設 <u>\(\frac{1}{2} \)</u> さ れ た 玉 又 は 地 域

と異 ること。 派の 所在 当該自己資本比率規制金融機関が設立され なる拠 す る国 点の勘定に計上されるものであり、 又 は 地 域 \mathcal{O} 現地 通貨と異 なる通貨建 た か 玉 又 てで 当 は 該 地 拠 域

12 合会又は農林中 定 協 前 農業協 ウェイト 成 同 各 八年 項 組 合 \mathcal{O} 同 法 規 等 は、 組律 定に に 合 第 ょ 二十パーセントとする。 百十 央金庫 る カ 同 か 信 項 八号 わ 用 第 らず、 事 に 対するエクスポ 業 号 第二条第 \mathcal{O} 農林 に規定する信用 再 編 中 及 央 び 項 金 強 第 庫 1 化 及び ジャ 農業協 号 に 特定 関 に 規定] す 0 る 同 農 する リス 組 法 水 合 律 産

1 ド • ボ ヘンドゥ 向 ドけ

力

バ

の に 対 であ リスク・ウェ 己 資 つって、 本比率規 次 兀 するエクスポー 0 条の二 付与された個別格付に対応する信 表の 適 イトは、 格資産要件を満たし、 制金力 左欄に定め 融 バ 1 機 当該カバード・ ジ 関 ・夏牛ド・ボンド向けエクスポージュエクスポージュ ヤーを るものとする。 いう。 カュ ボンド 次項に つ、 開 用リ 向けエクスポ 示要件を満た お スク区 て 同 ドジ・ヤ ľ 分 ボ] すも ン(ド自 に 1 ジの 応

条を加える。

2			
個別格付がないカ	(パーセント)	月 リン シ 区	J ス
ルバード	+	1	3 D 2
・ボンド	<u>-1</u>	2	3 Ø 2
「向けエ	<u></u>	— ფ	3 Ø 2
クスポー	五十	4	3 D 2
ージャー	百	5	3 Ø 2
0)			

第一項の「適格資	(パーセント)	(パーセント) 発行体のリスク・ ウェイト
産要	+	十
産要件」とは	十 五	十 三 十 四 十
とは、	11+	一十
次に掲	二十五	五十
だげる要	+五二十二十五三十五五十	七 十 五
件の	五十	百
掲げる要件の全てを満	百	百 五 十
満		

3

たすことをい の資産の毀! る カバ れ 要 以 件の . る現 下この] 金 いず う。 致損に備 っ該カバ. 一又は プー カバ 条において同じ。)に含まれる資産が次に れかを満たすこと。ただし、 短期 ル • えて追 **つ**カ か プールに代替資産 0 流動性の高い資産を 加される当該資産の] ド • ボ ンド \mathcal{O} 、カバ カ 原 バ 資 代 産 1] う。) ・プー わ \mathcal{O} ド 。) 又 に 集 ボ 合 は保ルン掲をいカ有内ドげい

のバ 派] 生 商 ブ 品] 取 引を 内 \mathcal{O} 含 資 8 産 ることを が 毀 損 するリス 妨 げ な ノク・ を ヘッジするた 8

う。 を 担 で 第 7 \mathcal{O} 目 又のの地 定 用に供 あ ファ 有 は 他 方 中 的 中 中 健 ハに 号に それ 保に り、 の債 効 \mathcal{O} 全 公 央 央 シリテ 政 共 政 で 不な お らに か 府等 あ するため 動 審 おいて同 権 寸 行、 府 付 いて同じ。)が めるもの つ、 産 査 以 体 さ により 欧 中 イ、 (居 及 以 金 れて 下この号において「貸出債 州 央銀 び 外 融] 連合、 住施設であり、 υ° 保 保 玉 を \mathcal{O} 0 機 11 ・ト いう。 法 証された貸出債権等であること。 際 全 公共部門に 構 る物 令 開 が 0 欧 要件に 発銀 八 (外国の法令を含む。) に照 我 担保に付されて 州安定 件 ウ・バリュ 十パー ハ及び第四 際 が \mathcal{O} 決 行、 玉 価 済 対する 服する 0) イメカニズ 级行、 カュ 我 セ 値 政 つ、 ント以 で除 が 府 1 国 一十一条 居住 当 貸 関 玉 **(貸** L 該 出 V 権等」という。 係 Δ 際 下であること。 て 得 地 出 る 不 0) 債 機 通 方公共 権、 貸 0 用 関 倩 動 欧 貨 た 出 に供 及び 兀 産 州 基金 権 値 第 社 等 債 を 金 債そ 外 を \mathcal{O} 権 5 居 す 融 い額 等 項し 住 玉 安欧

セント っる貸 0 証 Ш 0) カバー さ Ì うち 債 以 セ れ 下 権 た貸 等 \mathcal{O} 前 ド・ボ \vdash 又 IJ 条 出 を は ス 第 債 当 ク 口 ĸ 権 該 項 5 . の 等 ウ 又 自 発 で 己 工 は 行 あ 資 1 第 時 本 卜

比が項

用 規

さ 定 資 下

れるも により 本比

 \mathcal{O} 三 規

に

対

す

+ 制

]

制

金

融

機

関

に

ょ

ŋ

保

価

格

に

対

す

る割

合

が

+

五.

れらの貸出債

権

0

額

権等であ

ŋ, -動産以

かつ、

口

ン・ト

. ウ •

バ

IJ

ュー

が

.. 六 十 V 用

]

セ債

卜以

であること。

自

己

率

金

融

機

関

目

的

 \mathcal{O}

不

外

 \mathcal{O}

不

動 \mathcal{O}

産

が

担

保に付され

7 0

る貸出

健

全な審査及び

保全

要件に

に服する

居

住

に供

する

٤

ント 貸 0) パ ١ ر 当 出 てるカバ ることを含む。 力 ときは I 債権等] · を 下 該カバード・ボンド] セントを下回らないことを定期的 回らないこと(当該割合を規制する法 ド ー・プー の合計 当該カバード・ ンド発行体がカバード・ 額 ル を \mathcal{O} の残高に対する割合が、 名 、 う。 目 ボンド発行 次項第 額 (カバ ・プー 号 イ ボンドに 体 に開 が、 に お 示 当 ル 「該割合 百十パ に含ま するも 的 対 7 枠組 して ル ル ル み が 百 が 百 、) 0) れ割 で る

前二号 までの期 に掲げる要件が 間において満たされること。 カバー ド ボ ン K \mathcal{O} 組 成 時 カコ 5 満

4 ように る事 第 項の全てを行 一項 整備していることを \mathcal{O} 開 示要件」とは、標準的手法採用 政 庁 の求めに応じて提 いう。 出 することが 組 合 が 次 で に きる 掲 げ

イーカバー・プールの名目額及び当該カバード・カバード・ボンドに係る次に掲げる情報

並 高 がにカ 力 ー・プールの名目額及び当該カバード・ボ] プ ĺ プー ル に ル 含まれる資 に含まれる貸出 産の種 l 債権等 類及び \mathcal{O} 地 数 理 ン F 的 分 \mathcal{O} 布 残

口

発行体に発生し得る金利及び為替リスク当該カバード・ボンドの発行により、カバード・ボンド並びにカバー・プールに含まれる貸出債権等の数

ュリティカバー・プールの構成資産及びカバード・ボンドのマチ

ホ カバー る貸出・ ・プ 金] 割 ルのうち、 九十日 超 又は三月 以 上 延 滞 て

げ 標準的 る 情報 を 手法採用 半 年 に 組 合 口 以 が 上の ? 発行体 頻度で受領していること。 から前号イからホまでに

掲

5 階 区バリ は 区 11 と き 分 る 以 Ì ジ 分 ょ Ł 用 上 は \mathcal{O} F エ ŋ 0 • 1 下 ン 示 項 ない とす ス す ボ Ł 位 当 に 上 信 分 \mathcal{O} 該 ンドに付 る。 ŧ 用 析 位 信 個 のとする。 別 状 て、 \mathcal{O} 用 ただ 結 信 IJ 格 態 用 ス ょ 付 与 標 Ļ IJ ク 区 りも に さ 準 力 ス 当 対 れ 的 バ 一分に応 元応する ク 高 た 該] 区 いリ 個 個 法 分に 别 別 採 格 信 ス じ 格 用 ボ 応じ たリ クを 付に 用リ 付 ン 組 に K 合 たリ 対応 ス ス 有 対 12 \mathcal{O} ク • する ク 応 信 ょ 区 する スク・ 用 る た ウ 分 デ 状 信 エ ょ 評 信 熊 ユ ウ りも 1 価 用 用] が IJ エ IJ \vdash さ 当 1 ス を れ ス 該 デ ク 用 段 ク る 力

6 要件 第 0) 全てを満 項 及び 前 にす債券: 三項 \mathcal{O} 「カ をいう。 バ ド ボ ン 、ド」と は、 次 に 掲 げ

す 部 る 法 ため \mathcal{O} 令 監 外 に中 督 国 に 服して \mathcal{O} 央 法令を含む。)に 政 府、 い ること。 中 央 銀 行 等 基 又は中 づ き、 央 そ 政 \mathcal{O} 府 保 以 有 外 者 \mathcal{O} を 保 公 共 護

次 に れ 法 るも 掲 令 げ **外** \mathcal{O} る 玉 であること。 要 件 \mathcal{O} 法令を含む。 \mathcal{O} 全てを満たす資産に投資することが しに 基づ き、 そ \mathcal{O} 発 行 代 ŋ 求 金 85 を

求 権 当 を補 該 債 参が 塡することが可 有 効に 存 在し 能 であること。 て V) · る間、 れ 12 付 随 す る 請

1

口 ことが 該 債 当 券 該 可 の債 元本 能 券 であ \mathcal{O} 及 発 ること。 び 行 利 者 息 に を 債 優 務 先的 不履 に返 行が生じた 済 す るた 場 め 合 に に 用 は 1 当 る

銀 行 スク・ウ 監督 Ŧī. 種 委 金 工 員 融 1 会 商 \vdash 0 品 種 は、その第 定 取 金 融 引 8 る自 業 商 者 品 向 己 取引業者向 一種 資 け 工 本 金融 ク 比 ス 率 商 ポ \mathcal{O} 品 け 取引業 基 工 ジ 準 ク ヤ 又 ス は 者 ポ が] バ ジ れ 1 と ヤ 類ゼ 似ル \mathcal{O}

> 第 種 金 融 商 品 取 引 業 者 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ

銀 リスク・ウ 行 監 五 督 5委員 エ 第 1 会の 1 種 は、そ 定 金 融 \Diamond る自 商 0) 第 品 己 取引業者 資 種 本比 全融商 向 率 \mathcal{O} 品 け 取引業 基 工 準 ク 又 ス は 者 ポ が 1 バ ジ n] لح t 類 ゼ 似ル \mathcal{O}

ŧ 0 基 とする。 準 \mathcal{O} 適 用 経 を受け 営管 理 る 会社についても、 場合に 限 り、 第三十 同 様とする。 兀 条の規 定 に 従 う

2 とが ポ | る 第 前 で ジ 項 きる。 ヤーの 種 0) 金 規 定 融 商品 リスク・ウェイトは、第三十四条の規定によるこ に カゝ 取 か 引業者及び経 わら ず、 次に掲げ 第三1 1~1 人の全てに該当す

域にお 外 国 \mathcal{O} 法 V て 令 に 同 準 種 類 拠 \mathcal{O} L て 業務を行う者であること。 設 立さ れ、 カュ つ、 本 邦 以 外 \mathcal{O} 玉 又 は

ること。 己資本 設立さ 比 れ た国 率 規 制 又 は 金 地 融 機 域 関に準ず \mathcal{O} 金融当局の定めるところに る者と 認めら れ た者 で ょ あ

保険会社向けエクスポージャー)

第三 定に ジ ジャー 従うものとする。 ヤー」という。)のリスク・ウェイト 五. 条 の 二 (第三十七条第一 保 除会社 一又は保証 項におい 険 持 、エイトは、第一人で「保険会社が 株 会 社に 第三十四 対 する 向 け 工 エ ク 条 ク ハのポ ス ポ

2 きる。 者 及 Ì 次に掲 0) び 保険持 リスク・ウェイト げる要件の全てに 株会社 に準ずる外国 は、 該当する保 第三十四 \mathcal{O} 者に 条 険 0) 規定 対する 会社 に に よること 工 準 ク ず スポ る 外 が] 玉 で ジの

地 外 国 域 に お \mathcal{O} 法 1 令 て に 同 準 種 類 拠 \mathcal{O} L 業務 て 設 立され、 を行う者 カュ であ つ、 ること。 本 邦 以 外 \mathcal{O} 玉 又 は

自 設立さ 己資本 比 れ た国 率規 制 又 は 金 融 地 機 域 関 \mathcal{O} 金融当局の定めるところに に準ずる者と認めら れ た者で ょ あ

> る。 基 準 経 \mathcal{O} 営管理· 適用 だ受け 会社に る 場合 ついても に 限 り、 同 様とする。 前 条の 規 定 に 従うも

0

すの

[項を加える。]

[条を加える。

法 人等 向 け 工 クスポ] ジ ヤ 1

第三十六 クスポ 次 六号及び カ 0 ウェ 信 表 5 V 0 託 1 前 条 左欄 第四 外 ジ イトは、 条ま 基 玉 ヤ 法 金 に に 1 + で 人 をいう。 お 九 定める に 等 事 条第三 当 け 規定するも 向 るこ 該格付に対応す け 者 ŧ 工 以下同じ。)に格付がある場合のリス一項第一号において同じ。)に対するエ ħ 0) ク る 5 とする。 ス 個 12 0 ポ 人そ 相 を] 当 除 ジ \mathcal{O} す る信用リスク区分に応じ、 Y 他 る] 第 四 f れ \mathcal{O} 法 5 項 を に 含み 準 等 次 ず 条 (会社 第四項 うる事 第 するエ +業体 第 七 組

(パーセント) リスク・ウェイト	信用リスク区分
[略]	4 1
[略]	4 - 2
七十五	4 - 3
略」	4 4
略」	4 - 5

2 用 は を用い 分より さ 前 階以上 れ ス 用 ン 項 るも ク 区 るとき ス 1 に 七上 な 分 お V 0 下 分 析 とす 位の 位 は 0 £ て \mathcal{O} のとする。 \mathcal{O} 結 示 る。 信 信 当 す 果 標 信用 準 用リス 該 格 用リス ただし、当該格付に対応する信用 的 債 付 状 務 手 が態より ク ク に対応する信 者 法採用 区 区分に応じ 0 分に 信 も高 用 組 応じ 状 合に 11 態 たリ たリ 用 IJ が よるデ IJ ス 格 ス ク スク・ ス 付 ク・ ク を に ユ で有すると評し対応する信 区] ウェ ウ 分より デ エ リスク イ 1 1 É IJ 1

4 が 0) ク ることができる。 中 売 前 法 堅中 ・ ウ 項 人等 高 \hat{o} エ 小 連 中 向 イトは、 企 け 注結財務 堅中 業等に エク 小企 スポー 百 諸表を作成している場合及 該当する場合には、 パ 一業等」] セント と は、 が とする。 無格 法 人等 付 八十五 ただし、 0 0) 場合に う いち、 び パ その債が 標] は、 当 海的 セ 該 ント そ 法 務者 手 0 法 等 لح IJ

3

ジ

ヤ

]

法 人等 向 け 工 クスポ] ジ ヤー)

七条か を含 三十 ス がある場合のリスク・ウェイトは、 ク 区 れ む。 六 5 に 分に応じ、 5 条 前 準 条ま ず 法 対 . 人 等 る す で 事 る に規 次の表の 向 工 体 け ク 定す エ ス 外 ク ポ るも 左欄に ス 玉 ポ に ジ \mathcal{O} 1 お ヤ 定めるものとする。 当該格付に対応する信 を ジ け 除く。 るこ ヤ を n う。 以 会社 5 下 ただし に 同 相 ľ 組 す 合そ るも に 第 三 十 用 格 0 付 \mathcal{O} 他

(パーセント) リスク・ウェイト	信用リスク区分
同上」	4 1
同上」	4 2
百	4 3
同上」	4 4 4
同上	4 5

2 対応するリス され ウ エ 法 た国 イト 人等 0 は、 向 中 け 百] ク・ 央 工 パ 政 セ ク 1 府の ウ ントとする ス セントとする。 工 ポ イト 格] 付 ジ 又はカントリー が百五十パ t] が 無 ただ 格 付] し、 0 セ • У その 場 ントであ 合、 スク・スコアに 法 そ 人等 \mathcal{O} る場合に IJ が ス 設

項 を 加 え る。

項 を 加 える。

が 場 五 合 て 当 む 用 場 +12 産 該 組 · 億 円 合そ が 法 あ 合 五.十 人等 0 が て \mathcal{O} 未 同 億 他 満 \mathcal{O} は 円 売 \mathcal{O} 0 \mathcal{O} 未満 当 ŧ 連 上 グ 結 高 該 \mathcal{O} ル 0 を 法 \mathcal{O} を用いることが] いう。 人等 売 ものをこれに含めることができる。 ブ 上 に 高。 の事 属するも ただし、 以下この 業規模、 . 適切 当 0 として管 を 該 頃に で 判断するに当 法 な 人等 おいて同じ。 場 が 理 一合に 卸 L して 売業を たっ は 11

7定貸付債権向けエクスポージャー)

いう。 格 付 債 ポ \mathcal{O} ク区分に応じ、 次 務 場 条第一項において「特定貸付債] 業 者に債 -ジャー をリス 合におい に対する法 六条 0) 0 リスク・ウェ ク・ 務 に対して付与された個 者信 て、 前 ウ 人等 前 条第一 当 エ 用 条の 1 力 該 向 格 規 \vdash 特 け 項 イトは、 0) 付 定貸付債 工 定 0) 判定 ークスポ 足にかか があるときは、 表 \mathcal{O} に 当該特定貸付 権 左 用いない 権向け 別格付に わらず、 ージャー 一欄に 向 け 定 工 工 ク \Diamond ものとする。 当 クスポ 対応 次 (以下この条及び スポ るものとする。 該債 債 の各号に する信 権向け ージ 務者信] ジャー ヤ エク 用 ر ا ا 掲 用 IJ げ 0) ス ス る 力

信 与 項 \mathcal{O} か 用 らの を ファ 供 第 収 与 益 行 1 号 収 0) に 0 ううち、 た者 益に限り ナ つい 及 び ス 第 て が 向 相 当 定 兀 利 し、 払い け 当 号 該 エクスポー 程 事 並 び 度 業 及 つ、 グび返 に 0 0 支配 第 有 信 用 兀 形 済 ジ 資産 \mathcal{O} 項 権 供 ヤ 原 に を 与 有して お 0 資 条件 を主として当 V) と て :を通 ププ い 該 う。 るも 有 じ 形資 口 て ジ 0) エ 産 信 該 ク 第 カュ 用 事

境

1

ンフラ、

通

信

インフラその

他

 \mathcal{O}

特

定の事業に対する

発電プラント、

化

学プラント、

鉱

山事

業、

交通インフラ、

た 船 8 0 航 信 空機 用 供 与 衛 0 星、 うち、 鉄 道、 利 払 車 ・両その **,** \ 及 び 返 他 済 0 0 有 原 形 資産 資 を 主 \mathcal{O} 取 得

0

「条を加える。

ポ項 \mathcal{O} 7 第 収 用 保 当 ジ 益 供 \mathcal{O} ヤ 号 与 に 目 有 1 に 2 を 的 形 お 7) 資 と て て 相 た る カン · う。 「オ 当 者 5 t 程 が \mathcal{O} ブ 当 収 度 で ジ 該 あ 益 \mathcal{O} エ に 支 有 0 クト て、 限 配 形 定 権 資 L を 産 信 フ ア 有 及用 カン 1 び供 つ、 て 当 与 ン 11 該 \mathcal{O} 当 有 ス る 条 該 ŧ 件 向 形 有 資 を け \mathcal{O} 形 工 産 通 資 第三 ク か じ 産 6 ス てを

号に ヤ \mathcal{O} 与 備 金、、] 2 を 売 \mathcal{O} 原 うち V お 行 却 油 لح 7 代 11 0 在 金 て 相 た V 金 庫 属 う。 「コ 当 者 に 利 又 は 程が限払 榖 モ 度 当 定い 売 物 デ 該 L 及 その \mathcal{O} 掛 イ び 支 債 上 か テ 配 場 返 権 他 イ・ファ 権 商 済 \mathcal{O} 0 品 を 資 信 \mathcal{O} 商 有 及 原 用 金 品 してい 供 び 資 調 イ 取 当 を 与 達 ナ 引 該 ン の主 \mathcal{O} 所 上 る 条 と た ス \mathcal{O} 件 ŧ 場 向 L 8 上 け の商 を 7 \mathcal{O} 場 品 当 短 工 通 商 第 該 ク カコ じ 期 品 Ξ ス 5 7 上 \mathcal{O} \mathcal{O} ポ項 \mathcal{O} 信 場 信 支 一第ジニ 収 用 商 用 払 益供品供

2 用 分 る以き 分 ジ Ł に 上 は \mathcal{O} エ 特 な ŋ \mathcal{O} 下 示 係 ン 定 とする。 ŧ す る ス 位 当 貸 上 該信 事 分 ŧ \mathcal{O} 付 の位 信 個 用 業 析 債 と \mathcal{O} 別 用 状 \mathcal{O} の権 た す 信 IJ 格 態 信 結 向 だ 用リ ス 付 ょ 用 果 け ク に ŋ 状 エ ス 区 Ł 態 当 対 当 ク ク 分 応 高 が 該 ス 該 区 12 す 個 特 ポ 11 個 分に る信 間別格 リス 別 定 1 格 貸 ジ 応じたリ た ク 用 付 付 ヤ 付 リ を IJ に 債 1 に ス ス 有 対 権 に 対 ク・ ク す 向 係 応 応 ス 区 る す け す る ク・ لح ウ 分 る エ デ る 工 ょ 評 信 信 ク ユ ウ ŋ 1 用 価 ス 用 エ ŧ さ ポ 1 IJ IJ イ ス を れ ス] デ \vdash ク 用 段 る ク ジ イ は、 区い階 IJ 区 t

定め 0 付 債 に ス 権 掲 ク 1 向 げ け る ウ フ 工 工 エ ア ク ク イトを 1 ス スポー ナ ポ ン 適用するものとす ス ジ ジ 向 ヤ ヤ け エ が 0 ク 無 区 ス 格 分に応じ ポ 付] で Ź。 ジ あ ヤ る 当 場 合 該 各 百

3

テ

イ

ファ

1

ナナン

ス

向

け

工

クスポ

]

ジ

t

百

階 百三 前 \mathcal{O} $\overline{+}$ プ パ 口 1 ジ セ エ ント ク \vdash フ ア イ ナ ン ス 向 け 工 ク ス

ポ

ヤ] 階 百 パ \mathcal{O}] プ セ 口 ン ジ 1 エ クト ファイ ナ ン ス 向 け 工 ク ス ポ

4

イト 用 のうち、 前 を八十パー 段 項 修階の 第 兀 次に掲 | 号の プ ロジェク セントとすることができる。 規 げる要件 定に <u>۱</u> カコ ・ファイナン カコ の全てを満たす わら ず、 標 ス 準 向 的 É け 手 \mathcal{O} 工 法 \mathcal{O} ク 採 リスク・ ス 用 ポ 組] 合 ウ ジ は ヤ

て 0) 履 当該プロジェクト・ファイナンス向 債 行する 務者が、 力を・ そ \mathcal{O} 有 負 、担している金銭 していること。 債 務 け を 工 ク 返 済 ス 計 ポ 画 ジ に 従 t 0

て 景気循 当該標準 いること。 環や事 準 的能 手 業 法 [採用組 環 境 0) 合が、 変化 この影響を受い、前号に規立 け 定 に す < る 能 11 لح 力 に 判 断つ しい

当該プロン 当 該 標 準 制的 アクト 手 法 採 て 用 いること。 組 合 の不 利 益と なる行 為 を 債 務 者 が

Ŧī. 0 係 次 充足 る事 掲 · 業 に \mathcal{O} げ る ため、 ジ におけ 要 件 十 る偶 \mathcal{O} 分な財務上の措置が行わ ず ファ 発 れかを満たすこと。 的 な支出 イナンス の向 対け 応エ 及びス れていること。 運ポ 転 1 資 ジ 本 t 要

(当 に 次 以 該 係る事業 に プロ 掲 げ 0) る 項 \mathcal{O} 工 要件の全てを満たす契約 目 ク 的 ト・ファイナンス向 お たる物及びサー て同じ。 と締結されていること。 ・ビス等 け が 工 ク オ の購入者をい フ ス ポ テ] イ ジ 力 ヤ

(1)カコ つ 十 合 当 債 に 分な 務 お 業 額 弁 て に が 用 済 オ 当 V フテイカ 係 該 5 る 事 れ 費用 業 · る 施 \mathcal{O}] 及 運 設 から び 営 等 に 配 \mathcal{O} 支払、 当 要 金 す わ Ś が れること。 充 運 完 てる 営 了 費 7 安 定 修 1 的繕

口 (2)た 当 ス 合 · を 除 等 性 該 当 \mathcal{O} 能 該 プ ! を 欠 き、 需 口 事 業 ジ 要に エ 支 < に クト 影 払 場 用 響 額 合 11 さ 6 • が 又 フ れ 当 は れ アイ ず、 該事 当 該 る施 減 ナ 業 設 施 ン 額 等 0) 設 のス さ 等 目 が 実 向 れ 的 \mathcal{O} あ な たる け 利 5 用 カュ エ ク 物 が じ ス 及 め 行 えなな 定 ポ び めら 1 サ ジ] 1 場れ ピ

う。 事 け る公正 業 当 に に 係 該 に 係 る事 12 プ る 0 従う 口 報 酬 事 き , 業 の ジ 業 適 ŧ 工 \mathcal{O} 率 正 規制(収入が) 収ク \mathcal{O} لح 入に F であること。 判 ・ファイナンス (当 断 0 する利 いて、 該 当 法 該 域 事 オフテイ 益 業 に 率 おけ 等 向 を る規 行 け カーとティ 定 さ 工 \emptyset ク 制 れ る ス 当 る 規 ポ 局 法 制] が域 ク・ ジ を 当 に い該お t

ペイ契約

事

· 業 の

目的

たる物及びサー

ピ

ス等の

受

領

 \mathcal{O}

テイ 係 当該 価 さ 有 ふる利 カ として債務者に 無に れ Î 州 プロ て 中 V 払 か 中 央銀 かわら ること。 V ジェクト・ファイナン 央 及 行、 政 び 府、 ず、 返 欧 済 支 州 中 払う旨を約する契 定 \mathcal{O} 連合、 央 んめられ 原 八銀行、 資を 欧 主とし た条件に 州安定 玉 ス 際 向 決 て け メ 済 介約を 信 基づき一定額 エ カニ 銀 クス 用 行、 いう。) 力 \mathcal{O} ポ 玉 ム 高 際] が 欧 通 V ジ 州 貨 オ t 締 を 金 基 対 フ 結

12

安

フ

ア

リテ

イ、

玉

際

開

発

銀

行、

我が

玉

地

方

び

中

銀

行

以

外

0

公共

部

門並

び

に

法

人等

前

条 \mathcal{O}

 \mathcal{O}

規 央 供 公

定 政

に府

地

方 方

道 公

路公社、

我が国

0

政 土

分府関 地開

係 発

機

関、

外 地

玉

中

共団体金融機

構、

公

社、

方 0)

住宅

給 共

公 団

- 94 -

ŋ て \mathcal{O} 同 に 八 限 る パ] から セ ント以 該当するオフテ \mathcal{O} 収入に依存していること。 下 0 リスク・ イカ ウェ を イト いう。 が 適 第 用 八 号 さ にれ おる

け 合に 5 係 当 ħ る て プロ おける実効 71 用 が供与に ジェクト ること。 性 関する契約 \mathcal{O} ファイナンス向 あ る債 に、 権 者の 債務不履行 保護に関 け クス す 事 る 由ポ が] 規 焼定が設 とじた ジ t

とが ン 信用 事 す る場 ス 向 予定されていること。 業に損失を生じさ 力 合にお けエクス \mathcal{O} 高 11 オフ 1 て、 ポ テイ 1 せ ジ 当 な 該 ヤ 力 信] 7 1 た 用に が だめの必ず 係 当 る事 該 高いオフテイカ プ 口 ジ エ ク 1 講 カー 契 約 ず フ るこ が を ア 当 解

れ 当 該 む。 ていること。 約 係 上の ファイナン る 事 プ の ロジ 規定に 権利が、 業 \mathcal{O} エクト・ファイナン 運 ス向けエクスポージャー 営に 基づき認められる範囲にお 当該事業に適用される法令 必要となる資産 ス向 及 け び 0) 工 当 クス 債 ** \ 外 該 て 務 国 者 プ ポ 担 保 口 \mathcal{O} \mathcal{O} ジ に 法 有 令する 供 工 t さ

クス 用 債 組合を含む。) 務不履行事由が生じた場合に、 ポ 1 ジャー に係る事業に対する支配権 が当該プロジェ 債権 クト・ファイ 者 (当 を 該 ーナンス 取 標 得 準 で 的 きる 向 手 け法

5 たす段 ロジェ 入約上 ク 項 F を 第三 11 0) を 運営 号及 残存 債 す び る事 第四号 務を負うのに十 業 並 体 が、 び に 次に 前 · 分な 項 \mathcal{O} 掲 正 げ 運 る要 0) 用 ネ 段 件 ツ 階 0 1 全てを とは、 丰 ヤ

プ

ツ

二 長期債務が減少していること。

(短期格付による例外)

とする。 場合には スポ 応 エクスポー する信 又 七 は 者 条 ジャ 法 向 第三十 用 人等 け 金 IJ を含む。 スク ジ 向 ク 兀 ヤー け ス 関 条から 区 工 ポ 向 0) ク 分 1 け リスク・ウェ に ス ジ に 工 前条までの 応じ、 ポ ヤ ク 対して短] 1 ス ジ ポ 次 ヤ 保 1 0 期格付 1 ジ 対規定に 険 1 表 会 トは t (特 \mathcal{O} 社 定貸 左 が 向 カコ 欄 当 付 け 第 かわらず、これ 与され 該 付 に エ 短期 定 債 種 ク 権 ス 8 金 る 格 て 向 ポ 融 ŧ 付 V け 1 商 る 品 ジ エ

[表略]

2 [略]

3 ント Ŧī. 務 者 標準的 + に \mathcal{O}] IJ セ 11 ス 手 ント ク • て、 法 採 ウ 0) 他 用 IJ エ \mathcal{O} 組 スク・ 無 1 合 格 \vdash は 付 が ウェ 0) 適 第 用 エ 1 ク さ 項 \vdash スれの · を 適 ポー る 規 工 定 用 ジ ク に す ヤス ょ る 1 ポ ŋ Ł に 1 百 0 0 ジ Ŧī. と t + す て 1 る 。 ŧ] \mathcal{O} 債 セ 百

4 クス ス が ポ 第 ポ ヤ 当 \mathcal{O} 第] \equiv ジ +匹 該 1 該 項 項 ジ E 当 項 (短 ヤ 兀 金 \mathcal{O} す t 融 お 1 条 \mathcal{O} 規 期] る 1 規 機 0) 及 定 格 ŧ て 定 0) 関 び 規 が リス 付 \mathcal{O} 同 保 12 向 定 適 が <u>ن</u> ° け 険 に か 用 付与されておらず、 ク・ウェイト ょ か 工 会 さ . う。 ク わ \mathcal{O} 社 る れ . る 金 6 ス 向 第 債)を有する場 ず、 け ポ 務 種 者に 工] 融 クスポ ジ 次 金 機 は、 ヤー 0) 融 関 対 各 同条第 商 向 以 て 標] 品 号 一合に け か 外の ジ 取 工 つ、 掲 潍 ヤ 引 ク は、 げ 項 同 短 的] 業 ス 文は 条第 期 る を 者 ポ 当 手 該 法 含 場 工 向 1 ク ジ 合 第 短 採 ts it 期項 ス 用 工 t \mathcal{O} 区項工第ポ組以ク

短期格付による例外

用 ク 格 スポ リス 付 が 七 ク 区 1 付 条 ジ 与 ヤー ż 分に応じ、 前 れ 条 てい \mathcal{O} のリスク・ウェッ 法 次 等 0 向 表の け イト 条 左欄に定め ク \mathcal{O} ス は規 ポ 定 当 1 に 該 か るものとする。 路付に か わ 6 対応 対 ず、 す て 当 る 該 短 工期

同 上 」

2 [同上]

3 い五 ン 務 者に 卜 +パ \mathcal{O} 進 つい リス] 的 セ 手 ント ク・ て、 法 採 0) 他 ウ 用 IJ エ \mathcal{O} 組 ス 無 イ ク・ 格 1 付 が ウ \mathcal{O} 適 第 エ 用 クス 1 さ 項 れの ポ る を 規] 適 工 定 ジ 用 ク に ス t ょ ポ な ŋ け に 1 百 ジ れ 0 五. ば t な て ŧ \mathcal{O} 百 債

項を加える。

クスポ は 百 び パ 第 応]] 匹 ージャ セ 項 ントと判 \mathcal{O} 該] 規 に 定 号に 適 用 定 ょ 定 り三十 す 、る場合、 めるも れ た ルリス パ 0] は、この とする。 ク • セント、 ウ 限 エ ただし、 ŋ 五十 イト でな を 当] 同 該 セ 条 ン 短 第 <u>۱</u> 期 工又項

該 当 短 該 当 第 期 該 金 金 エ + 融 融 ク 兀 機 · 条第 機 ス 関 関 ポ 向 け 向 ジャー エクスポ け エ ク 第二 スポ のリ] ス 項 ジ] 及び ヤー ジ ク • ヤ ウ] 第 \mathcal{O} エ 兀 0 IJ イト 項 ス IJ ス 0 ク 規定 を上 ク • ウ ウ 口 に エ エ る よイ 場 る 1

項 前 号 及 び に 第 掲 兀 げ 項 る \bigcirc 場 規 合 定 以 に 外 ょ \mathcal{O} り 場 判 合 定され 第三 たリ + 兀 ス 条 ク ・ 第 ウ 項 エ 又 1 は 1 第

谪 ポ 格 ージ 中 堅 ヤ 中 小 企 業 等 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ 及 び 個 向 け 工

は適格 のに 二項にお ボー び 掲げる要件 は 0 第 ジャ [個人 V 兀 七 7 節 向 + て 1 は に 標 五. け 0 又 定 準 適 全て は 工 \otimes 的 クスポ 格 個 る 手 セ 中堅中 限 ところ を満たすもの 法 ŋ 向 採 トとす] で け 用 ない。 ジ 工 に 小 組 より ヤ ク 企業等向け 合 ることが ス 1 は ことい ポ 与 (第三項] 信 中 ジ 相 う う 堅 で t エ 当 中 きる。 クスポ 及び 額 小 で 0 企 \mathcal{O} あ 第四 算 業 た IJ り 出を] ただし 等 ス 十二条第 ジャ ク・ 向 行 け ウェ うも 債 工 券 又 ク 2

る ランス取 中 堅 0) (次に掲げるものを除く。) 次号及び同 中 債 務 小 引 企 者 業等 0 中 与 堅 項 信 を 中 相 小 ! 当額 お う。 企 業等 て同 次 を含み、 項 ľ にお (第三 の額 かつ、 V (次節に規定するオフ・ に対するエクスポ + 六 同 第四 条 第 節 兀 及び に定 項 8 個 規 ると] 人に 定 す

(法人等向けエクスポージャーの特例)

第三 ことが クスポ は、 継 続 できる。] 条 的 ジ に ヤ 前 用] 11 に 百 条 ることを条件として、 \mathcal{O} 規 ーセントの 定 に カコ カコ わ リスク・ 6 ず、 す ベ 標 ウ て 準 エ \mathcal{O} 的 イ 法 手 \vdash 人 法 八等, を 採 用 向 用 いけ組 るエ合

そ to を得 の旨 標 準 ない理力的手法に を行 政 庁 採 由 に用 に 届 よ組 ŋ け 合 そ 出 は な \mathcal{O} け 利前 れ 用項 を中規 ば なら 止 定 な をを する 利 場 用 合 す る あ 場 6 合 か 又 U は めや

け を除く。 会等 とす 業等又は個人に対する信用の供与に際し、 イが 適 小企業等又は 額 カュ 口 ころにより くは権利を購入し、 ウ 六 ク 格 た場合には、 項 t を 5 担 \mathcal{O} 各号に -七条に 保に設 債券に る。 中 信 0) ジット・カードを提示して、 レ 区 ス] 控 定するエ 次条から第四 節 エ に ジ 分に 億 1 ポ 債 堅 \mathcal{O} 除 用 ょ に 同 を合計 \vdash 円 ツ 中 務 ŋ 規 1 額 保 号に <u>۱</u> 定して 算出 証協 者 定す 応じ た 額 規定するエクスポージャー 対するエクスポー 保 以 は ジ お 小 第 クスポ 下で 個 証 ヤ 企 に 力 兀 お それらを一 業等 て、 兀 が 当 人 会 対 さ る した与信 L 1 |該各号 の間 等に 十条の二まで、 れたエ + +1 あ \mathcal{O} す 信 た額の〇・二パー F Ś るも ること。 7 五. うち、 二条に ージャーにあって 標準的手法採用組合が複数の中堅中 用 向 前 0 同 号に 又は特定の役務の に け ょ 工 IJ 利 のに Ì に 工 密接不可分な関 ŋ ク ク ス 相 用に係るエク 規定す クスポ スポ 当額 体として一 セ 定 掲 保 ス ク 次 限る。 ジャ ントとすることが げ 証 ポ 削 \otimes \mathcal{O} を 各号に 特定の され る る] を含まない 合 減 Ì 要件 るエ ジャ 第 四 手法 要] ジ 計 セント 件 ジ た t \mathcal{O} 販売業者から商品 を 掲 ヤ ク を 工 を は + 1 スポ (第 債務者とみなす。 満たす 係が 提供の事業を営む げ ス 1 満 ク 適 \mathcal{O} 0 額 を超えないこと。 -又 は 四 当該複数の中 ポ ŧ ージャ る た ス 額 居 条 額 用 カコ を合計 エ あると判 1 す ポ 住 + 0 す 0 を できる。 クスポ 控除 適格 ジ 用 信用 る で 工 1 不動 条の ジ 及 あ 0) ヤ 前 ク] って、 スポ \mathcal{O} 個] ヤ L び L 保 \mathcal{O} 当 第四 IJ 断 \mathcal{O} 1 た 産 た 証 ŧ 向 若 該 堅 額 協 \mathcal{O} ス \mathcal{O}

2

3

?ら有

償で役務

0

提供を受けることに

より発生する債

遅 クスポー 係 前 滞 号に いるエ 第 なく グ 型 ク 該 項 エ 当 ス ジ \mathcal{O} ク 定 ポ ス 8 ヤ 表 5 ポ な \mathcal{O} ジ れ 第 ヤ た 工 過 号 時] 去十二月にわたり t に限 期に ス ポ 規 に る。 返 定するコ 該 ジ 済 が ヤ す 履 る 過去十二月にわ 行 で $\overline{\zeta}$ され あ 債 ツ \mathcal{O} ŋ 務 1 \mathcal{O} て う 0 か 1 残高が零で 5 ること。 1 以 IJ たり、 兀 ボ

4 エクスポ 項各号に] ジ 掲 げ 0 る IJ ス 要件 ク 0 ウ V ず エ 1 れ 1 か は を 満 たさ 百] な セント V 個 人 向 け

己 居 住 用 不 動 産 等 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ

性の V 掲 不動 比 げる当 す 九 要件 率の んる住 条 産等 区 該 の全てを満たすも 宅 前 分に応じ 自 向 \mathcal{O} 条 取得 け 己 居 規 等 住 ク 定 用 スポージャー」という。 に 15 係るエ 同 不 カ 表 動 カン の の 遊産等向 0 わ ク 左 5 スポ 欄 リスク・ウェイトは ず けエ に定めるものとする。] 次 ジャー クスポージャー 0) 各 (以下一自己 であって \mathcal{O} 次 れ 0 カコ 表 適 居 第

一、大に易げる更生の色にと時に上記ュート	リスク・ウェイト	L T V 比 率
. 〇 心.	<u>-</u>	以五下十
, 小崩。	二十五	下 十 十 以 超
) E	= +	下十超六以十
<u> </u>	四十	下十超八以九十
1	五十	以 超 九 下 百 十
	七十	百超

一次に掲げる要件の全てを満たす住宅ローン

中 t 小企] に 係 る 等 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ 及 び 個 人 向 け 工 ク ス ポ

るすべての セントとすることができる。 ジャー又は 九 条 要件を満たすものの 標準 個人向 的 手 け 法 エ 採 ク 用 ス 組 ポ 合] リスク・ウェイトを、 は ジ ヤ中 ーで 小 企 あっ 業 等 て、向は け 七 次に 工 + ク 五 掲 ス パげポ

する 証 11 され おい <u>ー</u>の 下であること。 て同じ。)に対するエクスポージャー 信用リ たエクスポ て同じ。)を合計した額から信用保証協 債務者(中小企業等及び スク削] 減手法を適用する前のものとする。 ジャー の額等を控除 個 人に 限 る。 \mathcal{O} L 額 た額 以 (第六節に 下この 会等により が、 条 次 規 億 に 円保号 定お

等を控除 第四十二条に該 信用 債 一般者に 保 証協 た額 会等により保証 対 する が 当 するも 前 工 クスポ 号 の要件を満 0 を除く。 され 1 ジ た ヤ たす エ 1 ク 0) \mathcal{O} 工 ス 額 額 ク ポ を を スポ 合] 合 ジ 計 1 t L ジ た た ヤの 額 額

ロイ 向 け \mathcal{O} 貸付 け であること。

とは 目 抵 当 権 別 が 荘 設 定 0 他 れ ħ K 類す 住 宅 Ź が t 0 債 を 務 除 者 < に ょ る自 で あ るこ 己 居

資 金 限 使 途 が 住 宅 \mathcal{O} 建 設 取 得 増 改 そ 0 他 \mathcal{O} 住 宅 関 連

用に 定さ れ ス ポ ヤ

個人向 こ 掲 げ け る 要 0 貸付 件 けであること。 を満た す 工

口 ること。 角に限 資金使 定定さ 途 住 れ 宅 7 0) お 建 ŋ 設 当 該 得 住 宅 増 に 改 抵 築そ 当 権 0 が 他 設 \mathcal{O} 定さ 住 宅 れ 関 連

次に掲 賃貸に げる要 供 る 件 目 \mathcal{O} 的で ず な れ か に該当す ること。

(2) (1)使 途 賃貸に 0 目 供 的 す で る る 目 住 的 宅 で あ か る場 5 \mathcal{O} 合に 賃料 は、 そ \mathcal{O} 他 返 \mathcal{O} 済 収 が 専 入 12 6 資 依 存 金

て

V

な

規 関 らの賃料 定 連 \mathcal{O} す 費 る 債 資 用 信 務 金 用 者 使 限 IJ 途が 定さ 他 対 す 住 収入に ħ 削 る 宅の 減 工 いるもの ク 建 依存して 法 ス 設 を ポ 適 1 取 用 ジ 得 返 す t るも 済 る 増 1 が 前 \mathcal{O} 改 \mathcal{O} 専 築 \mathcal{O} 額 を 除く。 当 第 該 他 住 あ 節 \mathcal{O} 宅 住 ŋ

2 رِّ چ 満 己 たさな 居 住 用 V' 場 不 合 動 0 産 IJ ス 向 ク・ け エ ウ エ ス イ ポ 1] は ジ 七 ヤ + 1 が Ŧī. 適 格 セ 性 0 1 要 件

る。

が

億

円

以

下

であ

ること。

3 前 抵 . 当 項 権 0 が 設 適 定さ 格 性 れ 0 要 た 件 物 件 0 は 建 設が完了していること。 掲 る 要 件

> \bigcirc] を えな

2 等又は 合、 等 又前頃 それ 個 個 各 いらを一 人の 人に対する 間 体として一 に密 て 信 接 用 不 可 \mathcal{O} 供与に \mathcal{O} 分 的 債 な 務 関 法 者とみな 際 係 採 し、用 が あ 組 ると 当 合 該が 判 複 複 断 数数 \mathcal{O} \mathcal{O} 7 中中 小 小 11

> た 企

場

業

企

う。 項 0) 中 小 企 業等 とは 次の各号 に 掲 げ る ŧ \mathcal{O} を

3

使用 属 建 する 資 種 設 用 資 する従 本金 する従 を除 本 事業を主たる 金 運輸 < \mathcal{O} \mathcal{O} 業員 業 額 額 業その)に属する 員 又は 又 の数が三 \mathcal{O} は 数 出 出 他 事 が 資 資 0 業として 百 \mathcal{O} 0) 業 日人以下の法人でなの総額が一億円以下 事業を主たる事 百人以 総 種(次号か 額 が三 、営むも 下の法 億 円 . ら第 人で \mathcal{O} 以 業として営むも あ 下 匹 下 あ 0 一号までに つ \mathcal{O} って、 て、法人 法 人 人 及 卸 及 製造 び 売 び 常 げ 常 業 \mathcal{O} 時 る

ス 群 使 資 用 本 . 属 す 金 す る \mathcal{O} 従業員 額又 る 事業を は \mathcal{O} 出 主 数 資 一たる が \mathcal{O} 百 総 入以 額が 事 業 として 五. 下 0 千 - 万円 法 人で 以 あ 下 0 \mathcal{O} て 法 サ 及 ĺ び ビ常

兀 時 使 資 本 用 · 余 す す á 0) 事 従 額 2業員 業を主 文は 出 \mathcal{O} たる 資 が 0 事 五. 総 業として営む 十人以 額 が 五. 下の 千 - 万円 法 Ł 人であ 以 下 0 つ 法 人 及 小 び 売 常

クス だし、 ポ ージ 第一 項 t 第一 に 号に該当する自己居住 0 7) ては、 \mathcal{O} 限りで ない。 旧不動 産 等 向 け

は以 抵当権 下 この限りでない。 であ が る場合におい 第 順 位 あ 7 るこ L کے T V 比率 が百以下であるとき 抵当 権 が 第二 順 位

第三号におい 指標の水準が定められて 定義されており、かつ、当該返済能力を評価するための当該 を評価するために、 ること。 債務者の返済能力が て同じ。) に基づいて適当であると評価されて 当該 適切な審 いるものをいう。 返済能力を測定するため 查基準 債務 第 四 者 十条第三項 0 返 指 済 標が 能

兀 信用 げる要件 供与 0 \mathcal{O} 担 全て 保に付されてい を 満たし 7 いること。 る物件 0 価 値 0 評 価 が 次

ロイに 健全かつ 保守的、 な 算定基準が設けられて 1 ること。

手

債務者の 信用供与に関する 返済能力又は業績に大きく依存するものでな 連の 続から独立していること。

将来に が反映されてい おい て生ずることが ないこと。 見込まれ る物 件 0 価 値 0) 上

朩 ることが いる可 現 在 の物件の 見込ま 能性がある場合に 価値が れ る物 件 信用 \mathcal{O} は 価 供 値 与の 適切 12 比 して な 期 調整 間 過 に 大に が行われてい わ たり 評 継 価され 続 す

を上回るものでないこと。 物 件 \mathcal{O} 市場 価 値を取得できる場合に は 当 該 市 場 価 値

Ŧī. うために 信用供与の期間にわたり継続的に信 必要な情 報 (第三号に規定する 用 債務 IJ スク 者 の監視を行 \mathcal{O} 返済 能力

及び前 に 号 関 に す 規定 る文書 する物件 が 適切に 0 価 作 値 :成され \mathcal{O} 評 価 て に V ること。 関 する情 報 を 含

4 う 第二号 第 項 に 及び 定 め る 前 額 項 で 除 L Τ て 得た割 比 率 合を百 は 分率 で 表した値 に定める をい 額 を

日 時 除 点の 時 位 位 削 及び 以 減手法を適用する前のものとする。 点 一条 \mathcal{O} 下 工 項 エ 0) 同 である場合には、 ク に \mathcal{O} 五. 定め ク 順 ス 担 位 までにおいて同じ。)。 ポ 保に ポ るリ \mathcal{O} けされ 抵当権 ヤ Ź ヤ ク] 設 0 た物件により 定者 額 \mathcal{O} 当該エクスポージャー ウ 額を加い エ (第六節 1 (標準: トを えた額とす ただし、 保全された算 的 に 適 手法採 一用す 以下この条から第 規定する信用 抵当権 る算 る。 用 (T) 出 組 額に先 合 が 基 出 自ら 第二 リス 基 準 進 日

イ ときは当該 を 額を下方修正するものとし、 信用供 こ の 固 有 項 第四 場合において、 0 与 類を上方修正することができるものとする。 事 号に 象により物件価値 実行 掲げる要件を満たす方法により 時 点 イに掲げる場合に該当するときは当 12 おける担保に 口に掲げる場合に該当す \mathcal{O} 永続的 付された物 な減 少 が 7明ら 算 件 出 \mathcal{O} カ L 価 た 値

ロ 増改築により物件価値が上昇する場合

場 合

5

に定めるリスク・ が第二順 向 産 け 等 項 に 前 工 向 クスポ 項 け 規 へに規 位以下であるも 工 定 ク す ウェイトに一・二五を乗じて得た値とする。 定する L ス る ポ ジ 適 ヤ] 格 ジ 1 性 T V に対する標準 ヤ 0] 要 のリスク・ウェ 件 比率が五十以下である場合に のうち 0 全 的手法 当 を 該自 満 た イトは 採用 \Box す 居住 自 組 第 合の抵 用不 居 住 一項 動 用

は · 二 五 を乗じることを要しな

自 己 居 住 用 不 動産 等 向 け 工 ク ス ポ] ジ ヤ] \mathcal{O}

九 条 \mathcal{O} 標 準 的 手 法 1採用 組 合 は、 適 格 性 \mathcal{O} 要 件 0)

満

たす

自

己

居

住

用

不

動

産

等

向

け

工

ク

スポー

ジ

ヤ

]

に

対 全

L

準的 スク・ウェイトを適用することができる。 次 な手 用組 の各号に掲 法 合 により算 が 第九条第三項及び第十八条第三項に げ る場合の 出 L た 所要自己資 区分に応じ、 本 当該各号に 0) ただし、 額を算 規定 内 部 出 「 する 定 す 格 8 る 付手り 場 合 標

は、 に この限 当該 ょ り完 自 ŋ 全 己 に 居 で な 保 住 全さ 用 不 れ 動 て 産 いる場 等 向 け 合 工 ク 三十五 ス ポ]] ヤ セ Ì ント が 抵 当 権

前 より 当 該 項 \mathcal{O} 完 自 規 定 全 己 を に 居 保 適 住 全さ 用 用 す 不 っる 場 れ 動 て 産 場合にお 11 等 可向け 性 な 11 場合 11 エ クスポ て、 七 自 十五 己居] 住 ヤ] 用 セント 不 が 抵 動 . 当 産 等

とす て、 る」とあ が エ ょ 前 抵当権に び ŋ 条 トを判 第二 条第三項 自 第 るのは 己 三 項」 居 項 定す より完全に保全され 住 の規 中 「当該自己居住用不動産 と、 は、 用 「前二項」 んる場 定 不 は、 動 七十五パー 同 一合に 項第二号中 産 等 標 準的 0 向 とあ V け セントとする。 て準 手 工 る クスポ てい 法 L T V 0 用 採用 は る す 等 「第三十. る。] 組 向 と読 比 率 合 ジ け この ヤ が み ク が 九 1 前 替えるも ス 条 場 百 \mathcal{O} の 二 ポ 合 以 IJ 項 Ź 下] に \mathcal{O} であ ク • ジ 第お 規 t 定

3

ス 向

ク

ウ ク

エ

1 ポ

1

け

工

ス

]

ジ

ヤ

]

が

適

格

 \mathcal{O}

要

一件を満たさ

な

11

場

合

 \mathcal{O}

IJ

2

条 を加 える。

7

抵 当 権 付 住 宅 口]

貸

用

不

動

産

向

け

工

ク

ス

ポ

]

ジ

ヤ

四 0) げ L 条 Т 次 る 以 要 V 適 下 件 比 格 率 \mathcal{O} 掲 0 全 六条及び第三十八条の X げ 用 る当 を 分に応じ 満 該 た 産 賃 す 向 貸用 住 け を 同 宅 満 表の 不 \mathcal{O} 動 取 ス 規 左欄に 産 得 ポ 定に 向 等 0 に け \mathcal{O} 定 係 か 工 IJ 8 ク る か るも ス エ わ ク らず、 ポ ス 0 ウ う。 ジ ポ 次

リスク・ウェイト	L T V 比率
三十	以 下 十
三十五	下 六 五 十 十 以 超
四十五	下 十 以 超
六十	下十超八以九十
七 十 五	百 以 十 下 超
百 五	百超

U

 \mathcal{O} 宅関 . 当 権 連 が 資 費 設 金使途が当 用 定さ に限定されて 該住宅の る住 いること 宅 が 建 設、 賃 貸 取 得 供 す 増 る目 改築そ 的 で あ

- 次のい ず れ にも該当 しないこと。
- 1 子業者に 住 宅 建 設 又 対 す る は 宅 地 開 ポ 発 を主たる業 ・ジャー 務 として 行 0 7 V
- 口 資 金 ジ 使 途が 社 宅 等 0 建 設 取 得 又 は 増 改 築 で あ る エ ク
- ること 返 済 7 が 専 (返済 場 な ら当 合を含 ことを標 が 該 専 住 宅 5 当 か 準的 該 5 住宅 \mathcal{O} 賃 手 料 法 カ 採 5 そ 用 0 \mathcal{O} 組 賃 他 料 合 \mathcal{O} が 収 説 入 明 他 ですること 依 存
- 2 用 不 産 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ が 適 格 性 0 件 満 た

て

1

る

工

ク

ス

ポ

ヤ

付住宅口には、当時 途 兀 ントとする。 が] + ンが 当 条 該 口 該 次に] 住宅 住 ン」という。)のリスク・ウェイト 宅 掲 0) げる要件の 口 建 七] 設、 条 ンに係る カコ 取得 5 \mathcal{O} 前 すべてを 又 条までの エクスポージ は 増 改 満たし、 象に限 規 に ヤー 定され かか か は、 つ、 (以 下 三 十 五 その ている場 5 抵 当 金 住 |権 合 使

口

抵当 に 住 目的 抵当権 供 いする目 権が (別 次 が 荘その他これに類するも 設定されている住宅が、 \mathcal{O} のも 1 及 0 び であること。 口 \mathcal{O} 条件を 満たして 0) 債 を除く。 務者に いるこ 。 又 よる自 は 賃 己 貸

セ

- 住 宅 設 りでな 抵当権 宅口 定 金 してい 业融支援] シに が くる場合 第 的 機 構 関 順 その す る で 位 あっ であること。 抵当 他 \mathcal{O} て、 公的機 権 が 担保・ 次順位であ 関 ただし、 余 が 力 第一 が あ るとき 順 ŋ, 独 位 <u>\frac{1}{1}</u> \mathcal{O} 行 か 抵当 政 つ、 法 当 権 人 の該 を住
- ること。 当 該 工 ク ス ポ] ジ t が 抵 当 権 に ょ り 完 全 に 保 全さ

れ

- 当該工 ク ス ポ ジ ヤ 1 が 次 0 イ か 5 ハ ま で に 該 当 L な
- 事 業 住宅 水者に 建 対 設 する 又は 工 宅 クス 地 開 ポー 発 を主 ジャ たる業務 として 行 0 て 11
- カコ ス ポ 金 使 返 冷が専 を設 ヤ 途 が 定 社 5 宅 L た 等 当 該 住 \mathcal{O} 住 宅 建 宅か 設、 0) 賃 5 貸 取 が \mathcal{O} 得 賃料 現に 又 は そ 行 増 \mathcal{O} わ 改 他 れ 築 0 て で 収 お あ 6 る 入 に エ 依 ク

- 3 前二項 場 合 \mathcal{O} 0 適格 リスク・ 性 0) ウェイ 要 女件 1 とは は、 百 次に掲げる要件をいう。 五十パ 1 セントとする。
- は 以 抵当 下であ この限りでない。 権 る場合におい が 第 順 位で あること。 7 LTV 比率 が 百以下であるとき 抵当 権が第二順位
- あると評価されていること。 三 債務者の返済能力が、適切な審査基準に基づいて適当で
- 兀 満 三十九条第三項第四号イからへまでに掲 たしてい 信用供与の担保に付されている物件 ること。 0) げる要件の 価 値 \mathcal{O} 評 価 全 が てを 第
- Ŧī. うた 信用 び \emptyset 前 に関 供与 に 号 必 に する文書が 要な \mathcal{O} 規定 期 情 間に する 報 わた 物件 適切に作成され 第 ŋ \mathcal{O} 号 継 価 続的に信 値 規 定す 評 価 る 用 に 債 IJ ること。 関 務 ス する情 者 ク 0 \mathcal{O} 監視を行 返 報 済 能力 を
- う。 第二号に定める額で除して得た割合を百分率で表した値をい 第一項及び前項の「LTV比率」とは、第一号に定める額を
- 時 び 下 点の \mathcal{O} で 同 第一 ークスポ 担保に 順位 あ 項 る場 エ 0 ク に 抵当 合に ス] 付された物件により保全された算 定めるリスク・ ジャ ポ 権 は ジ 設 \mathcal{O} 定 ヤ 当 者 額を加えた額とする。] 該 エ 0 標準 額 ク ウェイ ス ただし 的 ポ 手 トを 1 法 ジ 採用 ヤ 抵当 適 用する算出] 組 権 合自 出 額 が 基準日 第二 らを 先 基 順 順 位以 時 位 準 点 及 Ħ
- 。この場合において、イに掲げる場合に該当するときは当該を前項第四号に掲げる要件を満たす方法により算出した額. 信用供与の実行時点における担保に付された物件の価値

イき を下 は 当 固 該 方 有 額 修 \mathcal{O} を上 事 正 一するも 象 方 に 修 ょ 正 ŋ 0) とし すること 物 件 価 値 口 が に 0 できる 永続 掲 げ 的 る b 場合に な \mathcal{O} 減 とす 少 該当す が 明 5 ると か な

口 増 改 築 ょ り 物 件 価 値 が す る

合

5 産 位以下であ ポ 向 ウェイ ることを 定 ージャ け す 工 項 Ś ク に \vdash るも 規定す L] ス に 要し に 対 Τ ポ V 0) ・二五を の リ な 比 す る る標準的手法採用組合の 率 適 スク・ が 格 五. 0 性 乗じて得た値とする。 うち、 +0 ウェ 以 要 下 件 イ で 0 \vdash ある場合に 該賃貸用 全てを は 第 満 抵当 たす 項 不 は 動 た 定定め 権が第 産向 賃 だし (貸用 る け 五. IJ 不 前 工 順 ク 項 動

貸 用 不 動 産 向 工 クスポ] ジ ヤ 1 \mathcal{O} 例

号に に が 1 で ょ 第 \vdash たす賃貸 ない ŋ 九 掲 を適用することができる。 条 条第三 だげる場 算出 用 L 項及 た 合 不 標 所 \mathcal{O} 準 動 区 要 び 産的け 自 第十 分に 向 手 け 法 己 応じ、 八条第三項に規 採 資 エクスポージ | 用組合 本の額を算出 。ただし、 当該各号に定め は、 ヤ 内 適 部格 す 定する標] 格 んる場 に性 付 対の るリスク・ 合 手 L 要 法採 準 て、 件 は 的 \mathcal{O} な 用 次 全 の手組 ウ \mathcal{O} 7 ェ 各 限法合

完 当該賃 当 該 全貸 さ 用 れ不 て 動 11 産 る 向 場 け 合 工 クス 六 十パ ポ]] ジ セ ヤ] が 抵 当 権 に ょ

全に保 当該 賃 全さ 貸 用 れ 不 て 動 11 産 な 向 け 場 エ クスポ 合 百 五] ジ 1 ヤ セ が 抵 当 権 に ょ

n

ス 前 ポ 項 0 ジ 流定を適 ヤ が 用 適 す 格 る場合にお 性 \mathcal{O} 要件を 満 11 たさ て、 賃 な (貸 用 場 合 不 動 \mathcal{O} IJ 産 ス 向 ク け 工

2

条 を加 え る。

エ 1 は、 百 五 十] セ ント とする。

3 に 全 ょ 前 当 に 項 判 ŋ 条 保全さ 定する 賃貸 第 該 中 同 賃貸用不動 項第二号中「L 前二項」とあ 用 れ 場 不 の 合 ている」と読 動 規 産 定 産向 つ 向 は 11 け るの て けエクスポージャーが抵 工 標 T V クス 潍 準 は 用 み替えるものとする。 的 比率が百以 「第 四· ポ す 手 る。 法 ジ 採 + この ヤ 用 条の二第一 1 組 下である」とあ 場 合 \mathcal{O} 合に IJ が ス 前 お 項及び 当 ク 権 項 ウ に \mathcal{O} 第同二条 ょ る エ 規 \mathcal{O} 1 定

業 用 不 動 産 関 連 工 クス ポ ジ ヤ

兀 た 定 + ポ 産 に 取 関 カ 得 ジ 連 向 か 定 \mathcal{O} t 工 け わ 第 増 8 IJ \mathcal{O} 改 スポー るものとする。 + 工 築 兀 1 次 条 \mathcal{O} ウ う。 ポ ジャー 及 他] 掲 び イト ジ げ 第 ヤ る要 0 三十 動 あ は] L 産 以 件 Ŧī. Т 関 次 条 V \mathcal{O} 連 \mathcal{O} 下 比 全 カュ 費 表 適 率 7 格 5 事 用 第三十 0 を 掲 性 業 又 X げ 用 は 満 \mathcal{O} 分に応じ る当 不 運 た 件 す 用 八 動 T該事 条ま 産 不 を 全 関 目 動 · 業 用 てを 連 的 産 で 同 \mathcal{O} \mathcal{O} エ

L T V 比 率
六十以下
十以下
八十超

定 用 供 与 0 ること。 目 的 とす る 不 動 産 に 抵 当 権 そ 0 他 \mathcal{O} 担 保 権 が

返 るこ 済 が لح 専 (返 該 済 不動 が 専 5 産 当 か 5 該 0 賃 動 産 料 カ そ 5 0 \mathcal{O} 他 賃 料 収 そ 入 他 依 存 \mathcal{O} 収

動 産 取 事 け 工 クス ジ ヤ

条に 当 該 る法 ジ 取 뭉 カゝ 兀 及 ヤ カュ + は、 1 人等 び 規 不 わ 動
ヌ
等
向 となる場 事 定 5 第二百 条 業向 す ず、 第 る か個け け 5 兀 Ł 人 工 不 合を除 向 クス + 六 工 動 \mathcal{O} \mathcal{O} 条 クスポー を 賃 け 産六業 条向け 条 の 又 除 料 ポ エ \mathcal{O} その他 き < は第三十 取 ジャ 第 ジャー 第二百 百 第三 又 パーパー 1] は 0 七ポ - 七条の 項 収 ジ 運 セントとする。 」という。 ヤーであ 第 兀 入 中 用 条 十六号 十三条 小企 を目 及び に 規定 依 業 的 存 に 0 等 \mathcal{O} L て より て 向 お \mathcal{O} 第三 11 **\ け た 九 IJ 百 て る 工 返 ス 項第 ŧ 済 ク 業 五 不不 ク ス \mathcal{O} が 規 ウ 動 専ポ 対 定 工 産 b

ことが 入に依 ができ 存してい ない 場 ないことを標準的 合 を含む。 手 法 採 用組 合 が 説 明 す

3 2 \mathcal{O} 一項」と !条第三項中「前二項」とあるのは「第四十一条第一項及び第 担保権」 他 とする。 定により事業用不動 な 第四 業用 0) トを判定する場合について準用する。 担 場 + 保 -条第三 合 不 ح 同 権 \mathcal{O} 動 項 IJ 産 第 同 5 ス 項 関 項 一号中 ク 0 連 第二号中 規 百百 産関 ウ 定 ク 抵当 は ス とあ イ 連エクスポー ポ 標 るの 抵当権」 権」とあるのは は 準 ジ 的 ヤ は 百 手 1 八十」 五. 法採 が とあるの + ジャ 適 この場合において、 用 格 1 組 と 性 「抵当権その他 セ 合が 読 は のリスク・ウ \mathcal{O} み替えるも 要 「抵当権そ 前二 件を 項 満

4 得た割合を百 比 率 項 とは 及び 分率で表した値をいう。 前 第 項 号 に お に定める額を第二 V 7 準 用 す のる第四 号 + に 条第三 定める額で 項 \mathcal{O} 除し L Т

時 に \mathcal{O} (標 点のエ 加 ょ 額に先順 が 第二順 えたた ŋ 進 項 的 保 全され クスポージャーの額。ただし、 額とする。 手 に 法採用 位及び 位以下 定め た算 るリスク・ウェイトを 組 である場合には、 同 出 合自らを除く。 順 位 基 準 \mathcal{O} 抵当権その 日 時 点の 当 工 \mathcal{O} 該 抵当 ク 他 適 担 スポ , 保 に \mathcal{O} 工 用 担 権 す スポ る算 1 保 そ 付 の他 ジ され 権 ヤ j 出 \mathcal{O} ジャ] た 設 0 基 定者 物 担 準 0) 件 額 日

掲げる場合に該当するときは当該額を下方修正するものと を満たす方法により算出し 信 用 項に に 供 おい 掲げる場 与 0) 実行 て準 合に · 用 す 時 点 る第四 該当するときは当該額 に おける担 た額。 十条第三項 一保に この場合において 付 第四号に さ れ を上方修 た 物 掲 件 げ \mathcal{O} る要 正 価 値

ることができるものとする。

合 固 価 値 \mathcal{O} 永続的 な減 少 が 7 明ら か な

口 増 改 築 ょ ŋ 物 件 価 値が 上 昇 する場

5

L T V るも トに一・二五 手法採用 要 0) 件 ない。 比 のリス 当 0) 項 率が 該 全て に 組 事 お を乗じて得た値とする。 ク • 業用 合の抵当権その を満たす 1 +て ウェ 以 不 準 下 動 用 産関 である場合に 事業用不動 す \vdash る第四 は、 連エクスポー 他の 第 十条第三 担保権が第二 産 項に定めるリ は、 関連エ ただし ジ 項 クス ヤ 規 五. 前 一順位以下 を乗じること 項に規定する に ポ 定 ス 対する標準 す ク・ウェ Ź 適 であ 1 格 \mathcal{O}

 \mathcal{O} 他 不 動 産 関連 工 クスポージャー)

ことが での 産 ー」という。)のリスク・ウェイト 満たすもの(次項において「その他不動 とするエクスポー \mathcal{O} 建 規定にかか 一条 できる。 設、取得、増改築その他 の 二 わらず、次に掲げる要:第三十四条及び第三十 ジャーであって、 次に掲げる要件の四条及び第三十五条 の不動産 は、 ガーパー・一番を関連エー 関 陸費用 の条 全てを満れたのの の要件の ークスポ 又は運 セントとす た 全 用 す 条ま ジ て を 不 る ヤを 目 動

ヤ向 自己居住用不 ーでな けエ クスポ 1 動 産等 ジ ヤ 1 向 又 けエクスポー へは事 · 業 用 不 ジャ 動 産 関 連 工 賃 貸 ク 用 ス ポ不 動

定され 信 用 供 ていること。 与 0) 目的とす る 不 動 産 に 抵当 権 そ \mathcal{O} 他 \mathcal{O} 担

保

権

が

L T V 比 率 が 六十以下であること。

「条を加える。

権 合 \mathcal{O} 組 リス \mathcal{O} に 合 兀 他第の一 お が + ク・ウ 前 項」 て、 **第三項** 担 項 保 と、 同 権」と読 規 」、同項第一品条第三項中 イトを 定 (第二号を除く。 に よりその 判 み 定する場 替えるものとする。 号 前 中 他 二項」とあるの 「抵当権」とあ 不 合に 動 0) 産 規 関 定 連 7 準 クス 標 る は 用 準 0 第 ポ は る。 的 兀] 手 抵 +ジ 法 \mathcal{O} ヤ採

2

. 定 項 第三号 め る 額 Ď で除 $_{\rm L}^{-}$ L TV比率」とは、第一号に て得 た割合を百分率で表 L 定 た め る 値 を 額 を 11 う第

3

をに \mathcal{O} 権 加 ょ 額 が 点 第 えた 準 に ŋ \mathcal{O} 第 的 保 先 工 項 額 全 手 順 順 ク に され 採 ス لح 法位位 定 す 及以ポ る 用 1 た び 下 るリス ジ 算 組 同 で あ ヤ 出 合 順 p自らを除く。) 順位の抵当権その) の *ク* る 基 場合には、 準 額。 ウェ . 日 時 点の 1 だ 1 のの 当 を 工 ク 担他該抵 適 保 ス のエ 当 用 っ た ス そ ポ に 担 す 付 保 る 1 さ 権 ポ ジ \mathcal{O} 算 t れ \mathcal{O} 他 出 た 設 ジ \mathcal{O} 基 ヤ担準 の物定 額件者 1 保 日

げ 前 信用 を る場 満 口 項 たす に 供 に 合 お 与 掲 きるも げ に 方 V \mathcal{O} 法に る場 該当 実 て 準 行 合に ょ \mathcal{O} す 用 時 るときは当該 り算出する第 とする。 ŋ 点 該当するときは当 に お 四 L け 日十条第三項祭のる担保に付め た額。この 額を下 場 - 方修正 該額 第さ四れ さ 一合に を上 号 た す に 物 一方修 るも 掲 件 るもの げ \mathcal{O} 正 る 価 す とに要 値

占 有 0) 象 に より 物 件 価 値 \mathcal{O} 永 続 的 な 減 少 が 明 5 カゝ な

増改築により物件価値が上昇する場合

(ADC向けエクスポージャー)

動に産用 地の四 又 五 向 - パ け 産 基 \mathcal{O} 供 規 \mathcal{O} + づ 不与 \mathcal{O} 計 工 \mathcal{O} 取 定 クスポ にかかい 0] 使 7 確 得、 取 画 条 用 得 のセ 実 の 三 て 実 割 承 ントとする。ただし、計画 V な 行 \mathcal{O} 合に満 るも 売却 発 わらず、] た 認 日 及び ジャー」という。) \Diamond に 第三十六条、 \mathcal{O} 申 \mathcal{O} \mathcal{O} 又 お 建 信 た は 請を行う予定がない V (当該 物 ない場合を含む。 相 て当 用 人等 供与で 当 建 程度不確 不 該 築の う向け 動 信 ある場合は、 産 用 た 工 供 のリ \mathcal{O} クス め - 六条 所在 実なキャッシュ 与 0) \mathcal{O} 承認が得ら 次条に \mathcal{O} ス 信 ポ 林地及び 地におけ の二及び ク・ 返] 用 . 注 済 原 この ジ 供与であ ウェイ おい ヤ 資 限りで られてい 第四 <u>\f</u> る が 7 木並 • **当** 同 \vdash って、 Ā うち、 フロ 該 様 は な び な D \mathcal{O} 不 С] 動信 V 百 不

[条を加える。

D С 向 け 工 クス ポ] ジャ] 例 外

第

全 兀 トとすることが 要件の てを満たす Α + 条 全て \mathcal{O} 兀 を Α 満たす できる。 D 前 С 条 0 向 ŧ 規定 け \mathcal{O} 工 たにか \mathcal{O} ク スポ IJ ス かの ク・ウェ わらず、 1 ・ジャー イト 次に で あ は、 0 掲 げる て、 百 パ 1 適格性の セ

不 動 信 産であ 用供 与 ること。 0 目的とす る 不 動 産 が 居 住 0 用 に 供 す Ź 目 的 0

信用供

与

 \mathcal{O}

目的

とする

不

. 動

産

に

2

11

法

的

に

有

効

な

事

前 貸 信 \mathcal{O} 契 販 用 売契約 約 供 与 に 基 \mathcal{O} づく 又は賃貸契約 目 的 払込 とする 額 不動 が 契約 が 締 産 結され に係る 金 \mathcal{O} 総 7 事 額 \mathcal{O} 前 ること。 大半 \mathcal{O} 販 売契 に 達 約 L て 又 いは

兀 金 前 を要 号 0) L 払 ないこと。 込額 に つい て、 契 約 が 解 除 さ れ た 場 合 に お 11 7

2

匹

第

項

(第一号及び

第二号ただし書を除く。

 \mathcal{O}

規

[条を加える。

- 111 -

準 ク \mathcal{O} 定 用 ス は す ポ る。] 標 ジ 兀 ヤ 的 + \mathcal{O} 1 場 法 \mathcal{O} 合に 条の IJ 採 ス 用 お 兀 ク 組 いて、 第 合 ウ が 項」と読み替えるも エ 前 同 1 項 条 \vdash 0 第三 を 規 適 定 項 用 に 中 する場 より 前 Α のとする。 合に D 項 رُ ح C 0 向 あ いけ て る エ

L Τ V 比 率 算 出 0 特 例

る。 三項 条第三項に 0) 除 TV比率に カコ ただし、 額を算 及 して カュ び わらず、 条 第 得 \mathcal{O} 出 規定す 五. 内 Ŧī. た する場 代えて、 項並 部 割 標準的 第三 格 合 る び 1 を 百 付 標準 に第四 + 合 手法採用 手法採用組合 は、 第 一 九条第四項 1分率 的 こ の な手法 号に定め 十条第一項、 で 組 表 限りでな 合が第九条第三 した値を 及び により算 は、 る額 第四 第三十九条第 を第二号に 第三項及 用 十条 出 ること た 項 第 及び第 び 匹 所 要自 第 定 項 が 項 \emptyset 五. 0 己 + で る 項 規 き 資 八 額 の第 定

より保 ス 第三十 エ 加 ただ イト 進 ポ えた額とする。 的] 全され し、 -九条第 手 を ジ 法採用 適用 ヤ 抵 当権] た算 す 0) 組 る算 項 又 額 が 出 合自らを除く。) 第二順 に 出 は 基 先 第四十 準 基 順位 一日時 準 位以下 日 及 点の 時 条 び 点の 第 で 同 エ 0 ある場合 順 クスポ 項に定 担 工 位 保 ク 0 ス に 抵当 ポ] 付 \otimes され ジ] る は、 権 ij ジ ヤ 設 当 た ヤ ス 物 定 該] ク \mathcal{O} 額件者 \mathcal{O}

き 出 第 担 一保に は当 兀 た +額 条第三項 付 該 きは され 額を 0) 下 た物 当 場合に 方修 第四号 該 額 件 正 を上方修 \mathcal{O} おい するもの 価 掲 値 て、 げ を 第三十 正 る 1 するこ 要 に 件 掲 を げ 九 لح る場 条 満 口 が に た 第 で 掲 す 合 きるも げ 方 項 る場合に 法 該 第 当 に 兀 0) す ょ 号 る ŋ 又

[条を加える。

合 古 有 0 象 に ょ ŋ 物 件 価 値 \mathcal{O} 永 続 的 な 減 少 が 明 5 カコ な

ロ 増改築により物件価値が上昇する場合

この 用 率 一び項 な わ 手 組 で 号 にに 5 合が ず、 限 法 に 表 第 お 兀 仏により りで 定 L 冗 V +た 標 第 \Diamond +7 準 九 値 な る 準 条 的 算 条第 を 用 額 第 用 出 を す 兀 \mathcal{O} 第二 いることができる。ただ る 項 し 第四 項 第 た 及 用 及 号に 所 び 組 項 び 要自己資 + 第 ダ第三号の-条第三項1 合 第十八条第三項 定める額で除 兀 は、 +第四 本の 条 L T 及び \mathcal{O} + 額 第三項 V を 第 し 条 し、 算 12 兀 て 比 第 出規 得 率 + 内 す 定 部 た に \mathcal{O} 項 る 条 す 格 割 代 規 る え 合 場 付 第 同定 合 標 手 を て 五. 条に は準法百 項第か 的採分第 並

順 出合 あ ヤ ス ク • 第四 自 る 担 基 位 る] 保に 要 準 5 場 1 \mathcal{O} \mathcal{O} を 件 日 ウ に 抵 合 額 + 掲 を付時 除 当 エ に た イト 条第 満 権 は、 げ さ 点 だ た そ る れ し、 場 す 当 た 工 を \mathcal{O} \mathcal{O} クス 方 物 合 抵当 他 該 適 項 担 法 件 用 保 \mathcal{O} エ 又 ポ に 権 該 \mathcal{O} 担 ク す は 当 ょ 価 保 ス る その 第 付 り算 ポ す 値 権 算 され 兀 ヤ を第 るときは \mathcal{O} 他出十 1] 出 ジ た物 設 基 \mathcal{O} した 匹 定 ヤ 準 条 担 額 + 者 件 1 日 保 \mathcal{O} を加えた 当 額 条 によ \mathcal{O} 時 権 第三項 該 標 額 が 点 第 額 ŋ 準 に 第 \mathcal{O} を \mathcal{O} 保的 先 工項 額とする。 下 場 第 全 手 順順 ク に 合に 四 さ 方 法 位位ス 定 号 修 れ 採 及 以ポ 8 正おに 用 び 下 た る すい掲 算組同 でジ

場 合 古 有 0 事 象 に ょ ŋ 物 件 価 値 \mathcal{O} 永続 的 な 減 少 が 眀 5 カコ な

修も

正

す

ることが

で掲

き

るも

の合

لح

しする。

 \mathcal{O}

口

に

げ

る

場

に

該

当す

る

とき

は

当

該

額

を

増改築により物件価値が上昇する場

債 権その 他資本性 証 券 \mathcal{O} 工 クス ポ] ジ

当し 兀 + な次 係るも い条 エから の六 クスポ 第 0 のリス 兀 第二十 1 + ジ 七 ク・ウェイト ヤ 条 七] \mathcal{O} 条 であ 兀 カュ の二ま ら つ 前 て、 は、 条 で ま \mathcal{O} 劣 百 後債権 で 五十 規 \mathcal{O} 定 規 \mathcal{O} い定] \mathcal{O} ず に セ れ 他 カ \vdash 資 に カコ 本 Ł わ す性該 6

滞 工 クス ポ] ジ ヤ

第

貸倒 兀 スク・ウェ 定 + 引当金 -二条 償 ジ ス ヤ に 却 ク カュ で t な 0 が カュ 次 おらず、 \mathcal{O} 額 口 削 11 イト 項 額 テ 0 部 減 及び ず、 合計 分 さ うり は 第 及 七 れ 兀 部 彐 額 条 び て 次 当 項 分 に \mathcal{O} か 該延滞エクスポー ク V 及び 直 5 対 が レ な 各 うち 接償 する個 提 ジ 号 前 V 次 供さ 条まで 部 ツ 条 却 \vdash 掲 分 適 第 \mathcal{O} 別 れ げ 格 額 貸倒 デリ て 保 る事 (第三十九条 金 項 \mathcal{O} 証 融 に 合 引 を 由 ジ な 資 お 計 当 テ 用 が ヤ 1 産 額を 金等 生じ] 部 1 担 7 分に \mathcal{O} ブ て 保 を除 11 額及 た \mathcal{O} を 延 V に う 適用 額 エ 用 る 滞 ょ び エ ク する 個 部 合 ク ス \mathcal{O} \mathcal{T} 分 別 信 ポ 0) 割 ス い \mathcal{O} 第

合 該 区 延 分に 滞 工 応じ ク ス ポ 次] ジ 表 t 0) 下欄 \mathcal{O} 額 に 及 定めるも び 0)

とす

る

倒 直 引当 接 償 却 \mathcal{O} 額 額 \mathcal{O} 合 個 計 別貸 額 倒引 に 対 する 当 金 個 \mathcal{O} 額 別 リス ク

ウ

エ

1

1

接

び 0 分 割 直 合 接 償 却 \mathcal{O} 額 0 合 計 額 を V パ] セント

略

を加 る。

延 滞 工 クス ポ 1 ヤ]

る。 定 几 表 に 7 \mathcal{O} + 支 -二 条 0 カュ ウ 払 七 る カゝ は 条 者 エ が わ カュ 12 6 第二十 ず、 掲げる区分に応じ 6 係 約 該 前 る 定支 が 三月 条ま 七条 百 ク ク 払 五. 以 スポー で ス + か 日 上 ポ 5 0 第 延 꽢 前 滞 ジ 兀 ジ セ 日 条まで 同 ン t を ク 条 表の下欄に定めるものと 起 ス のリス を を 算日 第 ポ 除 なる] 匹 う とし ジ ク 十条を除く。 工 t 以 て ウ ク ス 規 元 同 ポ 定 月 以 金 1 は ジ 従 上 又 ヤ は \mathcal{O} 11 及 延 次 IJ 利

分 引直 当 償 該 却 接 H 償 \mathcal{O} ク 却 額 ス 個別 \mathcal{O} ポ 合 額 貸 計 ジ 倒 額 V ヤ 引 う。 に 当 対 \mathcal{O} する 以 金 額 及 \mathcal{O} · この 額 個 び 及 別 部 条 び 貸 分 部 倒 及 直

同 上

次

お

同

ľ

 \mathcal{O}

額

0

割

パ ス

ク

ウ

1

- 114 -

又 及 施 則 は び 行 す 平 うる事 同 規 金 成 条 れ 則 融 的 由 第 5 機 手 لح 年 匹 が生ずること。 能 金 項 準 採 · う。 ず 再 用 に 規定 再 る債 生 組 生 第 四 \mathcal{O} 合 一委員 す 権 た が る要管 8 条 숲 **第二項** 同 \mathcal{O} 高条第三項に規定, 規 緊 務 則 理 急 者 第 債 措 12 権 置 対 定す に に す 該当 規定 関 以 る す 下 す す 破 ク る るも る ス 法 産 危 更 律 ポ 生 \mathcal{O} 険 再 施 1 لح 債 債 生 行 ジ 法 規 査 権 権

標準 時 設 当 t 定さ 1 点 該 的 \mathcal{O} 債 に 7 貸 れ務 0 手 てい 越 者 7 法 月 採用 額 て、 以 に ない 上 対 ょ 重 当 ŋ す 組 大な経 る当 低 場 該 合 合 限 が、 は零とみなす。) 度 限 座 度額 上貸越 済的損失を伴う売 額 当該 を 超過 につい を通 債 務 す 知 者 ること。 て に は、 っ た 日 を超 対 す 却を行うこと。 0) 約 る 過 した 캪 定 工 (T) ク 日 限 を 日 ス 起 又 度 ポ 算は額

向 た ス け ポ 場 エ 適 合 т. 第 ク 格 ジ は ク 兀 ス 中 ヤ 項 ポ 堅 当 ポ 中 該 に] 規 ジ 定 ヤ 企 ヤ 業等向 に ス 1 より 及 ŧ ポ に び 延 百 個 け 滞 ジ V, t] 向 クスポ 1 前 け ス セ \mathcal{O} 項 ポ 工 各 債 務 卜 ク 1] 号 ス ジ ジ 者 \mathcal{O} に IJ ポ ヤ ヤ に 掲 ス] 対 げ ジ 又 す る は する ヤ る 事 ウ 適 他 由 格 が \mathcal{O} 第 個た 1 生 工

が

適

用

さ

れ

る

0

K

限

る

13

0

V'

7

は

0

限

で

な

2

2

[号を加える。

号を加える。

が具備 といって 法採 第三号に 組 産 t 及 1 て、] IJ 保 合 \mathcal{U} 前 「資産」とあ 的 用 全 が が ス 第 項 内 さ 手 組 同 ク \mathcal{O} 部 抵 . 号中 ! 掲げ + れ 法 規 格 当 ウ 七 7 定 付 権、 対 適 お 用 る運用 エ 条 に 当 内 手 抗 イト から 組 ŋ カ ý, 売掛 部 法 要 格その カコ 女件が具 格 採 か 要件を が前 わ と読 及 び 用 部 付 債権又は 百 条 ら 手法 格 組 他 まで 「当該 ず、 五. 当 み替 付 備 「適格その 合]資産 満たすも + 該 が 採 手 (第四 三月 パ 工 と、 動 法 用 えるものとする。 担 資] ク 採用 とあ 組 産 1保」と 産」 セントと ス 以 担 合 +0) ポ とあ 他資 保 上 る 組 لح 条を に限 とあ 延 合 \mathcal{O} (第百三十 ある あ 滞 ジ は る 産 る 除 る。 なる とあ ヤ る 0) 工 0 \mathcal{O} とあ ク 1 標 0) は は は \mathcal{O} るの 準 ス は るの に 的 0 ク \mathcal{O} ポ 額 当該 動 標準 対抗 より 場 手 条 ス 及 は 産 ポ 法 合 第 定 び は 当 担 要件 部 完 採 的 兀] に に t 保 産 用 動 該 丰 お項 ジ

5 3 4 る。 匹 ス 九 由 規 一十三条 ポ 自 + が 則 ジ 由 消 前 生じた場 が] 日 第 t 項 ŧ さ \exists 滞 しのとす ジャー) 四 居 超 生じた場合には、 ス] れ 項 \mathcal{O} 工 たと ポ を 住 条 エ に ク ークスポ 用 第 用 自 お 延 ス 合に 認 不 1 兀 ジ \exists ポ 滞 8 動 ること て、 項 ヤ 居 1 エ 5 係 に 産] 住 ジ ク れ る 規 ジ 等 標 を 用 ス ヤ 判 が る 定 不 向 潍 ヤ 延 1 ポ 標 できる 場合に 動 定 す 的] 滞 け に 準 の三月 0) に 産 工 手 工 的 ジ 基準 クス 法 等 ク 0 手 ヤ は 向 ス 採 7 法] 以 ポ け ポ لح 用 て再度 第 採 標 لح L 上 1 組] 工 用組 準 L て、 延 ジ ク ジ 合 項 的 て 第 ヤーとして取り 滞 は、 各 ス ヤ 合は、 手 取 ポ] 債 号 法 ŋ 項] に 月 権 金 採用組 扱 ジ 以 当 各 掲 係 に 融 う る 号 げ ヤ 上 該 再 該 に 当 ŧ に 延 生 る 工 合は すす ク 滞 代 法 \mathcal{O} 掲 事 該 る 施 と ス げ 扱 由 え 工 そ 事 ポ

> る。 該 が直 +工 接 ク 五. 償 ス パ 却] ポ \mathcal{O} セ 額 ジ ン 0 \vdash ヤ 合 以 計 \mathcal{O} 上 額 IJ 12 + ス 対 ク・ パ す] る ウ 個 セ エ 別 ン イ \vdash 貸 1 倒 未 は、 満 引 当 百 で あ パ 金] る セ 場 \mathcal{O} 合 額 . ト と は \mathcal{O} 割 す 当 合

として三月以 前 二項 に お 上 V に て、 代 え 標 7 準 九 的 + 手 日超 法 採 を 用 用 組 いることが 合 は、 延 滞 できる。 に 係 る 基

が

3

項 を 加 え る。

る

す

項 を 加 え る。

行

第 トのが 兀 は規 三月 抵 + 定に 以 権 かかわら 上 付 住 延 抵 宅 滞 工 権 ず、 ク 付 ス 住 当 ポ 宅 該 係 口 エ ジ 1 ク ン ス に 1 ポ で 該] 当 あ ジ る場 す ヤ る 合に 工 0 ク IJ はス ス ポ ク •

第

兀

+ ヤ

ウ

エ

イ 条]

ジ

定に 中 等 2 額 及 \mathcal{O} び 前 割 部 項 分直 合 に が 規 定す 接 +償 却 パ る 1 \mathcal{O} 場 額 セ 合 0 に 合 1 お 計 以 1 額 上 て、 で に あ 対 当 する ると 該 エ き 個 ク は 別 ス 貸 ポ 当 倒 該 引 ジ 当 工 t ク 金 等 ス \mathcal{O} ポ \mathcal{O} 額

2

前

条第三

項

か

第

 \pm

項

ま

規

定

は

自

己

用

不

動

産

け

エ

クスポー

て準

一用す

Ź

この

場合におい

7

前

条第三項

及

び

第四 0

項

に係る延滞

クスポ

]

ジ 居

t 住

判

は、 する

第三

九

条 1

第 ヤ

+

九 延

条 滞

の 二

及

び ポ

前

0 ヤ

規 1

定 で

に

か

わ 合

5 に 当

工

ク

ス

ポ

ジ

1

が

工

ク

ス

ジ

あ

ク

口

ン

る

延

滞

工

ク

ス

ポ

]

ジ

当

該

エ

ク

ス

ポ

1

ジ

ヤ

]

の リ

ス

ク・ウ

工

イト 条

は、

百 か る場

]

セ

百

パ

1

セ

ントとする

第五 えるものとす 項 中 項 各号」とあ 第 う る。 項 とあ るの る は 0 「第四十二 は 第四 一条第 十三条第 項 各号」と、 項」 と 読 み替 同 条

[項を削る。]

ジャー 式 及び 株 式 لح 同 等 0) 性 質を有 する Ł \mathcal{O} に 対 す Ź 工 ク ス ポ

る 式及び株式と同等 十七条 ク 掲 第 スポ 機的 げ 四十 る投 な非 第二十七 七 資 ジ 条の t \mathcal{O} 場 X の性質を有するものに対 五の規定によりリス 株 条 分に応じ を除く。 式 から前条までの規 対 する投資 \mathcal{O} 当 □該各号 IJ ス ク ハク・ウ に定 兀 定 ウ 百 するエクスポ に \emptyset エ カコ イ るも] 1 カコ 1 セント トを判 わ は のとする。 いらず 次 定す 0] 各 ジ 株

ス

兀

2 ものをいう。 項の「株式と同等の性質を有するもの」とは 前号に掲げる投資以 投資 二百五十パー 次に掲げる

外

・セント

次に掲げる性質の全てを有するも

償還されないこと。

発行体の 債務を構成するものでないこと。

ハロイ 求 権を付与するも 発行体に対 す る残余 \mathcal{O} あること。 財 産 分配 請 求 権又は 剰 余金 配

は · 条 の 金 T 況 融 算式 機関の が 銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実 適当であ に r 1 資 おけるコ コア 本の額 資本に係る基礎項目 るかどうかを判断する ア 資本に係る基礎 、銀行法第十四 \mathcal{O} 項目 条の二の た 額 8 \mathcal{O} 第 0 額を 基 運準第 規定に基 又 は 第

> ジ ヤ] 0) リス ク • ウェイ 1 は、 五. 十パ] セントとする。

として三月以上に代えて九十日超を用いることができる。 前二項において、標準的手法採用組合は、延滞に係る: 基

3

出 資等 \mathcal{O} エ ク ス ポ 1 ジ ,ヤー)

第十条第七項第三号に ポ 1十七条 ジ ヤ] 第二十 0) IJ スク 七 条か 規定 ウェ 5 する出資その他これに類するエ前条までの規定にかかわらず、 イト は、 百パー セントとする。

組 1 4 資 一号又は 本の $\hat{\mathcal{O}}$ 金 融 額 をいう。 同告示 商 第十 に算入される資本調達 四条第二号の算式 におけるT 手段 と同 様 i e r \mathcal{O} 仕

発行 \mathcal{O} 1 体 ず 0) 債務 れかを有するも を構 成 す る金金 \mathcal{O} 融 商 品 で あ 0 て 次 íz 掲 げ

できること。 発行体が当該 債務 の支払を 無期 限 に 繰 ŋ 延 ること

口 債 発 務の支払に充当することができること。 行体が一定数の前二号に掲げる金融商品 より債務を支払うことが条件とされていること 発行体による一 定数の前二号に掲げ る金 0 融 発行に 商 品品 0 より 発

体 げ の 行 により \mathcal{O} る金融商品 条 発行体によ 件 裁量でその支払方法を選択できること。 が で同じ場 債 務を支払うことが条件とされて る \mathcal{O} の合は債 額に 不特 連動するものであること 定 務 数 額 0 前 変動が 号に 掲 げる金 定数 お 前 融 又 は 商 一号に 品 0

商 品が債 弁済 る場合を除く。 る場合又は債務として 当該金融商品 を要求する選択権を有すること。ただし、当該金融 務と同様の性 の保有者が前二号に掲げる金 質を有するものとして取引されて 扱うことが適当であると認めら 融 商品 に ょ

兀 次に掲げる非上場株式投資のいずれかをいう。ただし、当該非 有同 価 様 証券、 項 済 \mathcal{O} 第 経 額 が 済的効果をもたらす意図の 号の 株式 派生商品取引その か 投機的な非上場株式に対する投資」 らの 収 益に連 他 意図の下に組4 動 ずる 債 務 成 された債 式 保有と 務

3

上場株式投資が長期

的

な関

係

0

構

築に資する場合又は企業再

生を目的とするものである場合は、この限りでない。

場 短 期 的 投 な 売 買 ょ ŋ 譲 渡 益 を 取 得 す ること を 期 待 す る 非

す ること 市 長 に 期 を お 的 想 け 定 る す 相 る非 場 そ K 上 0 以 場 他 株 \mathcal{O} 0 大 指 多 投 標 額 \mathcal{O} 係 譲 渡 価 益 格 は 利 動

重要な出資のエクスポージャー)

に を あ 資」という。 単 . う。 及び る法 単 お あ 11 っては う。 をい け っては 体 本 体 **,** \ · う。 連 以 る自 人等 株主 自 自 株 う。 結自 以 下こ 己 額 用 己 式 0 に 下この 算出 己 資 لح 第十三条第六項第 資 等 が 五. **(**営 を除 己資 十 資 条第 本比 本 同 以 0 五. 条及び 次 等 比 うち 利 議 下 本比率 第 \(\frac{1}{\circ}\) 条及び 五. る 率 率 を Ł \mathcal{O})項及 \mathcal{O}] 場 目 0 額 を 性 項 \mathcal{O} (第二 権 重 セ 次 一合に 第 要な 条 لح 算 質 に 的 以 び 次条に 条に 七 (第十 を 及 L 出 と 百 第百 一号に規 係る出 \vdash 条 下この 日する場 する者 条 び あ て 有 分 出 を お 小に規 っては 算 0 第 するも -条に規 一号に規定す 乗じ 資 五. おい V 5 + に保 百 出 +資 前 7 条及 定 定 を 五. 合 に て得 L 匹 (前 、 て 同 同 第十 にあ でする た する単 超 + る十 定す 限 0 条 じ。 ま り、 える 兀 額 び に 条 た 0) じ。 で Ś 条 لح 第 対 そ 条 0 五. 第 額 ては 0 を算 0 す 百 そ 0 す る \mathcal{O} 体 議 連 を 算 1 É そ を算 規 る 五. る 項 結 他 お \mathcal{O} 式 +第 エ 0) 他 権 定 セ に 自 金 出 己 出 に 規 に 次 兀 ク 他 融 資 金 を 規 己 す て <u>۱</u> スポ 項 Ź 本 お 条 金 機 融 保 カ 定 条 定 す 資 連 比 基 る 関 機 け に \mathcal{O} \mathcal{O} 対 す 融 本 有 か 象出 る 自 お 算 準] る 機 場 比 等 合 率 関 L わ 適 式 額 ジ株関 合 を を 7 己いの 等 用 率 6

墨要な出資のエクスポージャー

第

項 条 条 規 等 に を あ 定 連 11 11 兀 対象 定する いう。 っては う。 単 る法 に の 二 基 を あ \mathcal{O} 1 +算 適 る 自 お 準 1 0 体 以 · う。) ては 連 人等 \mathcal{O} 式 額 出 自 用 己 以 結自己資 下この に 出 主 7 規 資」とい 第 己 が 資 単 0 下この 同 資をい お 第十三条第六項第 資 本 定 五. 資 等 な **(**営 を除 条第 じ け 本 本 比 \mathcal{O} 体 条 及 る自 比 自 適 利 ŧ 率 議 第 、 う。 条及び 本 、 う。) 額 を 用 己 五. 決 \mathcal{O} 比率 二 十 に 十 び 算出す 資 項 目 が 己 権 と (以 下 次条に、 第 本 第 資 (次項 的 に \mathcal{O} Ė 次条に (第 五. うち 二条 比 百 7 本 一号 と 係 算 る ŧ \mathcal{O} 率 す 分 + る から お -を 算 出 出 場 及び に る 0 の条及 0) 額 出資 · 条 に 12 重 一号に規定す おい 合に 1 セ 規 · 規 者 + とし 要 以 ント 前 7 な出 · を超 第百 た 規定す 定 定 に **令** て同 同 条 「する場 下こ び あ するそ す 限 額 7 ľ を んる単 ま ええる 第百 算 ŋ と 資 五. 第 じ。 乗じ で る連結 す 7 出 \mathcal{O} に +合にあ を算 0 匝 る そ 五. は L 条 係 \mathcal{O} 体 る た額 及び そ 規 十四四 第十 条 る十 を 他 自 第 定 次 0 七 \mathcal{O} 算 自 金 出 己 他 権 って <u>ー</u>に 項 条 条 第 五 項 他 出 己 融 す (T) (T) 百 る 資 機 本 保 カ 第 金 す <u>ニ</u>の] お る は 関 比 か 五. 融 本 右 式 + 第 セ 1 号 場 等 合 関 わ 機 比 率 L 規 次 四 7 関 合 を て

十 が IJ 項 五. ス お 1 ŧ ウ セ エ て 同 \vdash L イ じ。 \vdash を 7 は 乗 じ 出 を 千 7 L Ŀ た 得 口 百 た 額 る 五.十 額 と 部 す 分に を رِ چ パ 7 う。 係 セ 次 る 項 ント 第 工 に ク 百 ・とす お ス Ŧī. ポ + 7 る 兀 同 ジ 条 ľ, ヤ 0] 第 に 0

2 略

他 0 金 融 機 関 等 \mathcal{O} 対 象 資 本 等 調 達 手 段 に 係 る 工 ク ス ポ ジ

第

ľ, 項 本 を そ 合 第 除 兀 算 12 項 及 調 \mathcal{O} 率 は 他 - を算 び 他 す に 達 出 他 あ 第 \mathcal{O} 0 五. る 規 単 第 手 す 外 0 を 対 Ś 段 場 百 部 て 出 条 定 体 0 象 融 う。 ス す Ŧī. 場 兀 合 自 又 は す Τ Τ 兀 資 機 る組 +ポ る は L 第 項 本 関 そ 兀 あ 資 項 対 に Α 五. Α 築 に 連 百 条 象 本 \mathcal{O} あ 合 に 条 С С 条 規 結 調 単 五. の三に t 関 普 比 他 0 関 第 に 規 第 て 自己 定 達 て 率 連 通 連 あ 定 は 外 体 す 手 七 兀 でする他 は 項 項 調 第 出 を 部 調 0 資 自 段 る 条 お 達 資 算 Τ 第 達 て に 本 己 は、 単 他 0 か 手段 手段 規 ス 等 出 11 L 十三条 規 資 比 5 ク 条 て を 定 定 す A 0) 率 本 体 第 同じ。 金 前 る 第 を を す に V C す 連 金 比 自 ウ 融 条 該当 場 第 V る 融 V \ 関 結 る 五. 率 算 己 エ 項 機 ま の機 合 匹 投 連 項 11 対 資 出 を 1 に 関 で 機 す 連 に 範 関 算 に 調 項 象 \mathcal{O} 本 す 1 お 0 等 的 る 規 結 あ 達 に 連 資 井 出 比 る う は って を 規 定 自 手 規 結 本 率 に す な É (連 定 非 す 己 段 定 調 る \mathcal{O} 自 を 合 含 同 う。 る に 資 は を す 己 達 算 ま 結 場 以 対 百 る 場 本 第 資 手 出 自 合 か 外 対 象 あ n Ŧī. 11 . う。 比 段 株 + \mathcal{O} 五. 普 対 本 す 以 0 る 己 に か 及 普 率 条 通 象 比 又 る 下 て 者 資 あ わ を 第 出次資 は は を 通 率 場 本 び 同 0 6

> ジ 条 同 の 二 ľ, ヤ] 第 0) に IJ + ス 項 五. ク に パ お ウ 11 セ エ て ン イト 同 \vdash ľ を は、 乗 を ľ 千 上 7 口 得 百 る た 五. 部 額 + 分に を パ 1 1 う。 係 セ る 第 工 ク 百 ス 五. す ポ + る 兀

同上

2

ヤ 他 \mathcal{O} 金 融 機 関 等 \mathcal{O} 対 象 資 本 等 調 達 手 段 12 係 る エ ク ス ポ

兀 資 そ 第 除 出算 項 本 を 合 じ 比 T 兀 等 <_ 及 調 算 に は 出 項 \mathcal{O} 十 率 + 他 る 他 す に び 達 出 他 あ を 七 \mathcal{O} る 規 単 第 す 外 五. 外 を 手 0 条 条 を 対 Ś ク 場 定 体 百 段 部 て 出 第 0 象 融 う。 五. 場 ス 合 す 自 又 Τ は す Τ 兀 資 ポ +は る る 己 合 L に L 第 項 本 関 第 組 兀 そ 資 項 Α あ 対 Α 五. 連 等 に 百 条 ジ C 象 本 \mathcal{O} あ 条 合 に C 規 結 調 単 Ŧī. の 三 t 関 て 普 比 他 0 関 第 に 規 自 定 + 達 + ては 定 1 率 連 は 通 外 連 あ 己 体 す 手 七 兀 に \mathcal{O} 調 部 調 項 第 出 を 資 0 す 自 段 る 条 条 お IJ 達 資 算 第 達 て る Τ に 己資 本 他 \mathcal{O} 単 か 十三条 ス 出 11 手 等 L 手 規 は 他 比 \mathcal{O} 5 ク • 段 て 段 条 を 定 す A \mathcal{O} 率 本 体 第 同じ。 金 前 V る を算 に 第 С を す 連 金 比 自 ウ 融 条 い 場 関 第 7) る 融 該当す 結 Ŧī. 率 己 エ 項 機 機関 ま 合 四 0 項 連 11 対 資 出 を 1 に 関 で に 範 に 連 調 項 象 本 す \mathcal{O} お るも 0 等 規 結 あ 達 に 資 る 井 出 連 う 比 は 1 規 定 自 É 手 規 結 本 率 場 連 す 7 て 定 0 す 段 定 自 調 を 合 含 る 同 う。 百 以 る 資 は 対 を す 己 達 算 ま に に 対 本 第 る 資 H 外 象 11 手 あ 自 合 カン 五. れ . う。 + 比 普 本 段 以 る か 0 五. 対 す 己 に 及 普 率 条 象 比 下 7 者 通 又 る 資 あ わ 诵 を 第 出次資 率 は 同は を

対する投資に ト)とする . 係 る 工 クスポ] ジャ] に あ 0 は 兀 百] セ

2 略

0 他 外 部 Т L A C 関 連 調 達 手 段 係 る 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ

兀 七 条 \mathcal{O} 兀 略

2 る。 スポ 関 第二十 決 等 権 に 0 ジ 係 百 七 るそ 分の 条か + IJ 0 5 他 ス を 前 超え ク 外 条 部 ま る ウ Τ で L 議 0 エ A C 決権 イト 規 定 は 関 を に 保 連 か 調 有 百 か 達 五. わ +手 5 て 段 ず、 パ] に な 関 セ 総 1 なするエ 他 株 . |- \mathcal{O} 主 とす 金 等 ク 融 \mathcal{O} 2

同 上

2

0) 他 外 部 Τ L A С 関 連 調 達 手 段 に 係 る 工 ク ス ポ Ì

ジ

ヤ

(そ

兀

七

条

 \mathcal{O}

兀

同

上

う。) ク・ウェイト 結 他 議 ントを乗じて得た額 合に 第二十 外 関 決 自 て同 等 部 権 あ \mathcal{O} 五. Τ に 資 ľ 係 百 L 七 出 本 るそ 分の 条か Α 比 す 規 は、 は セ \mathbf{C} る 率 定する単 + を上 同 \mathcal{O} 関 5 場 百五十パーセントとする。 条 連 他 を 前 合 第 超える を 0 条ま 口 外 調 + 一る部 いう。 算式 乗 達 部 あ 条 体自 手 Τ で に 分に係 に 段 議 0) L 7 規 己資本 決権 第 百 規 おける自 得 Α は 定 た額 定 係 С 同 す るエクス 五. 関 を に る 条 比 る 十四四 Ŧī. 保 を 連 か 0 率 1己資 連 調 有 か 算 を 結 条] 達 L わ 11 式 自 ポ 0) 本 5 、 う' セ 手 T 己 段い ず、 単 兀 \mathcal{O} お 資 ジ \mathcal{O} 額 体 け 1 \mathcal{O} な うち ヤ 自 本 基 総 11 一第二 五. 算 比 淮 他 自 株 出 率 0 資 額 0 主 項 IJ] 本 を す 資 金 等 連 ス セ

IJ ス ク • ウ エ 1 \vdash \mathcal{O} 4 な し計

第

兀

条

 \mathcal{O}

準 1

的

法 な

採 L

用

組

合

保

有

す

る

ク

ス

ポ

条] 七 ス

第

八

項

及び第百四十二条に

おい

保

出出

資

 \mathcal{O}

性

質を

有するもの

に

限

る。

以

下こ

0)

条、 工

百二

ポ第

لح

う。

0)

リスク・ウェ

1 エ

を イ

直 て

接

に

刊定することが

1

をこ

 \mathcal{O} 判 有

条に規

定

す

る

ij

ク •

ウ 五.

イ

 \mathcal{O}

4 手

計

ところにより

算

出

するも

0

とする。

きないときには、当該リスク・ウ

第 +ところに t 兀 きないときに 1 兀 条] 七 と **第七項** 出 条 により いう。 0) 資 五. 算 0) 及び第百四十二条にお 性質を 出 は、当該リスク・ウ 0 するもの 潍 リスク・ウェ 的 有するも 手 法 、とする。 採 用 \mathcal{O} 組 1 に トを 合 限る。 V は、 イ て 直 1 一接に判 をこ 保 以 保 有 下こ 有 \mathcal{O} す 定 条 工 る することが ク 規定 ス ク ポ 第 ス す 1 百 ポ ジ

2

3

及 当 に が項 び 額 含 各 付 長 0 を ジ 前 号に ま 期 当 信 合 項 け 算 t 項 当 0 れ 計 0 لح 該 相 出 決 \mathcal{O} 掲 合 てい 額」 規 な 済 当 す \mathcal{O} 派 場 派 計 定 生 げ 額 る る 期 合 額」 生 る場 る者 لح を 間 商 付 に **当** 商 あ 準 取 品 産 け お と、 品 合 以 用 引 取 該 る た と 11 取 す 引 外 0 \mathcal{O} 派 \mathcal{O} を な て 同 引 あ る。 て 与 以 \mathcal{O} 生 は 直 る 項 \mathcal{O} 0 信 外 者 商 接 は 資 第 与 て 相 \mathcal{O} を 品 掲 保 産 潍 は、 信 0) 取 派 取 当 等 当 げ 有 的 号 相 場 該 額 生 引 引 る す \mathcal{O} 手 中 当 オ 合 商 相 に 額 る 標 信 法 額 フ・ に 品 第 者 準 手 用 与 に お と 第 的 取 バ 方 IJ 用 信 ラ と 4 読 引 百 手 ス 相 組 す \mathcal{O} 兀 号 な 法 ク 4 五 合 当 替 与 を ス る + に 採 L 額 同 信 乗 取 派 六 掲 用 ア え て 保 項 ľ 引 لح げ る 相 生 条 組 セ 有 中 当 て ŧ \mathcal{O} 商 る ツ 0 あ 第 合 工 \vdash 得 \mathcal{O} 額 与 品 る 額 掲 + を ク 並 た信取 第 を げ 九 当 \mathcal{O} ス لح \mathcal{O} す び額相引 ポ は 除る 条 該 総 3

4 [略]

5

る 卜 エ 合 用 信 1 前 ウ 号 者 に 組 用 1 項 合とみ · を 当 エ 0 IJ お を \mathcal{O} イ て ス 用 場 該 を て、 ク・ア \vdash は げ 該 合 IJ なし 裏付 乗 る て に ス 個 ľ 同 額 保 お ク セ て、 Þ 7 る 項 を け 有 1 ツ \mathcal{O} 用 調 中 除 لح て、 工 ウ 整を 第 卜 資 ク な エ 産 + \mathcal{O} 額 た る ス 同 1 九 総 及 \mathcal{O} 上 行 ポー 資 項 額を \vdash \mathcal{O} 条 で、 び 合 う 産等 \mathcal{O} 合 に 取 第 計 ŧ 第三 ジ 計 算 同 引 額 \mathcal{O} を直 ヤー 額 に を 項 出 節 لح 者 と 0 適 す す を乗 接保 0) が . ئ 規 る 用 Ś 裏 判 す 定 に 有 付 ľ 当 لح 定 同 と る を 当 該 す け 7 L 項 IJ あ 準 た 得た る た 合 第 用 る ス 0 なる 標 IJ 計 7 同 ク・ \mathcal{O} す 準 뭉 値 額 ス 節 る。 は は を ウ 0) 資 ク 中 IJ لح 工 算 当 手 産 額 \mathcal{O} ウ 1 法 該 等 出

2 [同上]

<_ 。 が 項 含 各 当 る に及 額 与 額 付 長 U 0 を ジ 前 号に ま 期 当 信 合 項 け 算 ヤ 項 当 0 決 該 れ 計 \mathcal{O} と 相 出] \mathcal{O} 該 . 掲 合 てい 当 規 な 済 派 額 す \mathcal{O} 場 派 計 定 げ 額 る る 裏 期 生 生 額 る場 る者 لح 間 を 資 付 商 商 当 準 あ 当 取 品 産 け お と、 品 合に 引 取 以 該 る 用 た لح V 取 す 0 引 外 を 0 な 派 \mathcal{O} て、 同 引 あ る。 て 以 0 生 与 は 直 る 項 \mathcal{O} 0 外 者 信 商 接 は 資 標 第 与 て 掲 相 \mathcal{O} を 品 保 産 準 は、 信 \mathcal{O} 当 派 取 取 号中 げ 有 当 等 的 相当 場 引に 該 額 生 引 る す \mathcal{O} 丰 オ 合 商 相 額 る 信 標 法 フ・ 与 額 に 品 手 者 潍 第 用 採 に お 方と لح 取 バラ 第 的 IJ 用 信 読 引 4 手 ス 百 組 相 す 法 \mathcal{O} 4 五. 兀 号 な ク 合 与 る 替 を ス 十 に 採 額 同 え 信 乗 取 派 六 掲 て 用 ア 保 項 る 相 じ 引 生 条 لح げ 組 セ 有 中 当 7 \mathcal{O} 商 あ Ł 0 る 合 ツ 得 \mathbb{F} 額 与 品 る 額 掲 + を カ \mathcal{O} た 信 並 取 第 \mathcal{O} を げ 九 当 \mathcal{O} ス び額相 引 は 総

4 同上

5

採 \vdash に \mathcal{O} エ 当 に 合 用 信 イ 前 ウ 号 は た に 組 者 用 \vdash 項 合とみ · を 当 つ IJ を 用 お \mathcal{O} 当 ス 1 7 掲 V 場 ヘク・ア は、 該 を 1 て、 げ 該 1 合 IJ 乗じ なし る 裏 7 に ス 個 同 付 額 保 お ク セ Þ て、 て る 項 を け 有 11 \mathcal{O} ツ 用 調 中 除 لح て、 工 ウ 整を 第 1 資 なる ク エ + \mathcal{O} 産 額 た ス 同 イ 及 九 総 \mathcal{O} 上 行 資 ポ 項 1 合計 条第 \mathcal{O} び 額 で、 う] 産 0 に 合 取 ŧ 等 ジ 第 計 引 額 同 \mathcal{O} を直 ヤ 二を乗 額 項 出 を 節 に لح] 者 と 0) 適 す 1 す 接保 \mathcal{O} が ٤, L 用 う 規 る る 裏 判 に す 定 じ 有 付 同 当 لح 定 と を 当 る する 項 て 該 け L あ IJ 潍 た 得 と た 合 第 ス る 用 0 た 計 な IJ 同 7 ク \mathcal{O} す 準 る 値 뭉 額 ス 節 は \dot{z}_{\circ} は 資 を ウ 0 ク 中 当 لح 算 IJ エ 額 手 産 ス 1 出 \mathcal{O} 法 該 ゥ

読 取 百 信 す ン 兀 4 引 相 ス 替 \mathcal{O} 五. る + 当 え を 取 与 派 六 額 る 信 乗 引 生 条 لح ŧ 相 じ 商 \mathcal{O} \mathcal{O} あ 当 品 0 7 与 る لح 額 得 取 信 0 す 並 引 た 相 は る び 額 が項 当 12 含 及 額 各 与 ま 長 び 号 信 期 当 当 れ に 相 決 7 該該 掲 済 1 派 派 げ 額 る 期 生 生 る (当 場 間 商 商 者 取 合 品 品 以 該 引 取 取 外 派 \mathcal{O} あ 引引 \mathcal{O} 生 与 以の 者 商 \mathcal{T} 信 外 与 を 品 相 は の信 取 取 当 派 相 引 引 オ 額 生 当 相 に フ 商 額 第 手 品にバ方 لح

6 略

7

て、 え み合 ス る 産 該 額 取 派 六 に な を 等 信 る 信 額 を ジ 前 同 条 L 当 算 Ł U 引 生 掲 \mathcal{O} 用 t 相 項 لح 当 7 \mathcal{O} 商 げ 項 7 該 構 IJ \mathcal{O} 出] 0 あ 中 得 与 品 る 成 構 ス す \mathcal{O} 場 第 る ク • 信 額 す 並 取 第 を る 成 裏 た 合 掲 + \mathcal{O} 引 を 想 付 び 相 に る 額 に に 九 は げ 除 定す 当 が項 に ア 当 及 ょ け お 条 与 る 含 く。 長 額 各 る セ た び と 1 第 額 ま 期 뭉 る 当 裏 な ツ 0 て 信 当 \mathcal{O} れ 決 該 に ŧ \vdash て る 付 相 0) 項 該 合 て 済 \mathcal{O} 派 掲 け \mathcal{O} は 資 標 当 合 派 計 \mathcal{O} V) と 期 げ لح 総 生 産 準 額 生 規 る場 計 額 間 商 る者 な L 等 額 同 的 商 (当 額 定 取 が 品 る 項 \mathcal{O} 手 カュ لح 品 を 合に 引 以 資 取 該 最 \mathcal{O} 信 法 と あ 準 つ、 取 \mathcal{O} 大と 引 外 資 産 用 派 採 引 る 用 与 あ 以 \mathcal{O} 当 産 IJ 生 用 同 \mathcal{O} す \mathcal{O} 信 0 外 者 な を 運 ス 商 該 組 項 は 与 る 7 相 \mathcal{O} を 直 用 品 標 る ク 合 は、 第 信 当 派 取 接 潍 裏 基 取 が 掲 相 額 付 ア 生 引 \mathcal{O} 保 的 淮 保 引 号 げ オ 当 相 に に 場 有 手 け セ 商 有 中 る フ・ 額 لح لح 品 手 合 す 法 基 第 額 ツ エ に バ 読 取 方 与 に る 採 な づ 1 ク ラ 引 لح 百 第 お者 用 る きの ス 信 4 す 組資 当 五 لح \mathcal{O} 四相 総 ポ 11 7

8 略

8

5

同

通 ス 7 ツ チ \mathcal{O} あ る エ ク ス ポ 1 ジ ヤ 1

> ラ لح 読 取 百 信 す ン 4 引 兀 相 替 \mathcal{O} 五. ス る 当 + 取 え 与 を 派 六 額 る 信 乗 引 生 条 لح Ł 相 じ 商の \mathcal{O} あ 当 7 与 品 0 る لح 額 得 取 第 信 \mathcal{O} す 並 引 た 相 は る \mathcal{U} が項 額 当 含 に 及 額 各 与 ま 長 び 뭉 信 期 当 当 れ に 相 決 該 該 掲 当 済 11 派 派 げ 額 期 る 生 生 る (当 間 場 商商 者 取 合 品 品 以 該 に 引 取 取 派 \mathcal{O} あ 引引 \mathcal{O} 与 以 \mathcal{O} 者 商 て 信 外 与 を 品 相 \mathcal{O} 信 は 取 取 当 派 相 引 引 オ 額 当 生 相 に フ 商 額 丰 第 品 にバ方

6 同 上

て、 4 え 与 を ス る + 当 号 合 産 該 額 乗 取 に な る 信 派 六 額 を 等 信 を ジ 前 同 じ 引 生 条 掲 L 当 \mathcal{O} 用 算 ヤ 相 項 10 لح 当 \mathcal{O} 商 げ 項 て 該 構 IJ 7 \mathcal{O} 出] 0 あ 中 成 得 与 品 る 構 ス 額 す \mathcal{O} 場 第 る す 信 額 を ク • 並 取 第 る 裏 た 成 合 上 掲 十九 \mathcal{O} を除 引 想 に び 額 相 に 付 に げ は 当が項 定 ア に 当 及 ょ け お 条 含ま 与与 る でする く。 長 てド 額 各 る セ た と 1 第 額 期 裏 な 当 号 ツ 0 て、 信 当 \mathcal{O} 決 れ に ŧ て 該 1 付 る 該 相 0) 項 合 て 済 \mathcal{O} 資 派 掲 け \mathcal{O} は 標 当 合計 派 計 \mathcal{O} 11 لح 期 げ 生 لح 総 産 準 額 生 規 る場 額 Ļ 間 商 る な 額 同 等 的 定 商 (当 額 者 取 る 項 品 が \mathcal{O} 手 لح 品 を カコ 合 引 取 以 資 該 最 \mathcal{O} 信 と、 法 あ 準 つ、 取 に 大とな \mathcal{O} 引 外 資 産 用 採 派 る 引 用 与 あ 以 \mathcal{O} 築 産 IJ 当 用 生 同 0) \mathcal{O} す 0 信 外 者 を 運 ス 商 該 組 項 は 与 る 7 相 \mathcal{O} を 直 る 用 ク 品 第 標 合 信 当 は 派 取 取 掲 $\sum_{}$ 接 進 裏 基 が 相 額 生 引 引 げ \mathcal{O} 保 的 付 準 ア 保 묽 当 オ 商 相 に 場 有 け に 手 セ 有 中 る 額 フ لح لح 品 法 基 手 合 す ツ 第 額 工 に る バ 方 与 な 1 読 取 に 採 づ ク ラ 引 لح 者 る き 4 百 信 第 お 用 \mathcal{O} ス ン す \mathcal{O} 五. 兀 相 V と組資 総

Ŧī. 兀 ポ ス 不 0 全 け は、 クの 1 リスク・ 動 て 工 5 八 トに を満 クス] ジ 産 ず、 条 第三十八条から 九 ヤ セント 等 の 二 Ì • たす ポ 割以上がヘッジされていないもののリスク・ 向 貸 ウ] け 個個 五を乗じて得た値とする。ただし、当該値 を超えるときは、 工 É ジ 第三 金 人向けのものに限る。) ク イ ヤ \mathcal{O} \mathcal{O} 1 ス] 及 通 が ポ び 貨 八 第四十条の二までに規定するリスク・ 適用さ 第] 同 と 条 ジャー 条 三十八条第 債 第四 5 務 れるも 者 第 百五十パー 又は賃 項 兀 \mathcal{O} \mathcal{O} 収 +のに 規 一入項の 貸用不動 であって、 定 限 に 各 通 る。)、 セントとする。 ょ ŋ に が で 百 産 掲 異 0 その げ 向 な 規 自] 己居 る け る 定 為替 が ウ エ セ 要 個 に ク 住 ン 件 百 人か

[条を加える。

(オ フ・バランス 取 引 0 与 信 額

ランス 匹 経 手方に \mathcal{O} バランス取 !表 済 九 取引に係 \mathcal{O} 効果を 対する 欄 反 準 引を (映した いる想定 信 ·掲 的 1げる掛 用リ 手 行う場合 法 ス 額 元 クに係る与信相当額は、当該 本 目 で トをで 用組 額 あることを要する。以下同じ。 乗じて得た額とする。 (見かけの額ではなく、その取引 は 合 が 当 次 該オフ・ 0) 表 \mathcal{O} 中 欄 ランス取 に 掲 オフ・バ げ 引 る \mathcal{O} 第

パ

]

セ

. | |-

0

種 フ・

類

任意の

期

に

能無

な

コ 件

3 で

ツ 取

1

メ

消 時

可

オ

ラン

ス

取

引

備

オ フ・バ ランス 取 引 0 与 信 額

とを要する。 け リスクに係る与信 て得た額とする。 フ・バランス取引 兀 \mathcal{O} 額 九 では なく、 準 下 一同じ。 的 を行う場 相当額 そ 手 0 法 取引の 採 に次の は、当該取引に 用組 合 経済効果を 合 表 該 が 取引 の上欄に掲げ 次 0) \mathcal{O} 係る想定元本額 表 反 相手方 い映した \mathcal{O} 中 る掛目を に 対する 額 であ 掲 げ (見 るこ 信 る カコ 用

111111111111		
掛目	オフ・バランス取引	
(パーセント)	の種類	旅
零	任意の時期に無	
	条件で取消し可能	
	なコミットメント	
	(第五号に該当す	
	るものを除く。以	

五	四	=	
十	十	+	
を除く。) 当該保証を行うため号に該当するもの履行保証(保証にはの開発債務(第二偶発債務とは、契約四、特定の取引に係	を除く。) 「第一号に規定す	こ 短期かつ流動性 短期かつ流動性の高い貿易関連偶高い貿易関連偶高い貿易関連偶発信用状である船荷により担である船荷により担びある船荷により担ける。 おそ行及び確認により担ける おりが発行及び確認により担い たんしん おりが こう は	(第五号に該当す (第五号に該当す

五. 十	Ξ.	+	
除く。)に該当するものをる偶発債務(前号の取引に係	発債務の高い貿易関連偶の高い貿易関連偶	ントを除く。) 定するコミットメメント (前号に規年以下のコミット	ミットメント に取消し可能なコ に取消し可能なコ の信用状態が悪化 同じ。) 又は相手方
。)、入札保証、品質 「偶発債務とは、契約 当該保証を行うため に行うスタンドバイ に行うスタンドバイ	語、高い貿易関連偶発情 担保された商業信より おるものをいい、組 たるものをいい、組 たるものをいい、組 たるものをいい、組 たるものに適用する。		

	百		
	信用供		五 NIF(Note -ance Facili 又はRUF(F i-ng Underv
to:) 及 性 は () と は 、 を 手 証	に直接 する取 取り又	囲 合 、化 た れ み 内 が 標 で 条 た に で 一 準 き 件 証 お	に Issu (Revoly 内 (Revoly 内) (Revoly D)
び元本補塡信が元本補塡信	直 う と の 接 。 を 貸	券件採合内定発	金を調達する仕組用状の発行を含む NIF又はRUFとは 一定期間一定の枠 で証券を反復的に で証券を反復的に
百			
七	六		五
債 的 ト 務 に 信 メ	に ト 年 規 メ 超 原		*** U.
代替する偶発用供与に直接	定するコント(第一次ののであるコージをののであるコージをののできます。		NIF (Note Issu -ance Facilities) 、 又はRUF (Revolv内 i-ng Underwritin発 g Facilities) み

る信外他くポ間取をいをに条 一待をに長商Cの価 う。 よに方エ れ場 相のこは 形取引用 算 算 係 期 品 R 提 有 当 式 引 出 り 定式ク 出る 取れ信 11 決 取 を 金価 以 与めへ 若 証 のに 額 引に用 の若長て す スし与 済 引 用 下 ること 第ポ 類取取し期派 信 る 信期 若 S 取おを に 11 ょ 同 生 す 引引く決 相 と 又 相 間 て 引 い算係 五. Α る くの ľ て出るるそ若は済商 当 十ジは当取く派 担は貸 に を額ろ レ期品 ヤ期額引は す 与海の L 生. C保有付 お

託契約等をいう。

う。 若長て以す与め、スレ与済引用し期派下る信ろ第ポ、信期若い 算よにCの価 信 下 る信 る 第ポ 期若い 出り 定R提 派 ところ 以 間 同 す与め 供 決 生 相 五. 又 相 L て 金 下 ること <u>ن</u> • く派 لح 商 当 +ジは 当 取 信 る 第 済 に 若証 同 品 を ヤ期 引は 相 S ょ 額 額 生 Ŧī. し券 U. 当さ者ろ一 に長 商 間 を に条一待 十 ポ を を Α くの う算 形 取 引用 よに方エ算係期 品 担は貸 り 式引 出 定式ク 出る 決 取 をい を に 保有付 11 С

託契約等をいう。む。) 及び元本補塡信性格を持つ裏書を含

- 127 -

3 2 る。 す が オ 都 れ ...略 が フ 注 取 5 取 事 取 1 に 引 業 引 に 引 取 項 当 類 性 引 \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} バ \mathcal{O} 0 す 契 \mathcal{O} \mathcal{O} 相 ラ 相 V) 規 ŧ 相 る 相 手 約 手 て 定 ので 手方 注 手 方 経 方 ス \mathcal{O} は に 方 が費 取か 2 締 が さ 引オ用 に 購し買 カュ を あ で 法 そ 信 結 引か 前入く戻 供 ŧ れ信 る 又 受領 5 るときに限る。 用 あ 人 \mathcal{O} 及 わ 与 該 は 条 る 相 各 は 担 る場合に 等 0 供 び 与 同 5 売 件 に 当 号 £ 当 保 バ 有 してい 維持に 申 与 で 信 項ず ラ 代 L 戻 付 \mathcal{O} 価 の額の 請 枠 あること。 \mathcal{O} 相 替 ない 条 をが提 売 証 が 当額 \mathcal{O} 表次 の引出しをするいこと。 スすいず 件却券除算供 は、 行われること。 当たっ のに 取る信れ 付若の < 出で 出しをすると を算 第 掲 当 げ ただ 該 て、 出 号 る オ に要 することを フ・ し、 手 掲 件 数 バ 事 げの き ランス 業者 る 料 全 そ Ł は 7 要 0 た \mathcal{O} を そ 取 る に 満 他 L な限た 引個 0 2 項 を加える。 同 注 $\underbrace{1}$ 上 注 2 件有も 当保のに額 引 額 付 価 \mathcal{O} \mathcal{O} 取お を に 類 取 戻 取 を 売 証 が 提 引 1 算 す 引 引 係 同 除 件 却 券 算 供 に て、 出 る る そ 若 上 **た**く。 付 若の 出 で す 与 お 海 \mathcal{O} L 購 買 さ け 与 る 外 他く 信 く戻 又れ信 るれ場 相 \mathcal{O} \subseteq は 6 は条 は る 担 合 当 相 取れ

兀 限 を 取 標準 引 0 的 相 手 手 法採 方 に 用 ょ る 組 合 信 が有していること。 用 供 与 枠 \mathcal{O} 引 出 L に 係 る全 7 0 権

五. 7 しは、 取引の 価 を標 準 相 号 手方 的手法採用組合が行っていること。 に規定す に ょ る る申 信 用 請 供 0) 与 都 枠 度、 \mathcal{O} 引 当 該相 出しの 手 方 承 認 \mathcal{O} に 信 当 用 力 た 0 0

与 信 相 当 額 0 算 出

第 五. + 条

2 ころに 用いて、 の各 ることができな 品 この場合に 取 前項本 公引につ カレント・エ 号に より 派 文の規 掲 生商品 与信 お げ て、 7 る組 相当額 て、 定に クスポ 取 S 当該 合 引の与信 A カゝ \mathcal{O} を か 標準 ージャー 11 算出することをいう。 С わらず、 ず С 中的手法 れにも該 相 Rを用い 当額を算出することができる。 方 式 標準 採 (第五十三条に定め 用組合は 当し . 的 て与信相当額を算 手 な 法採 11 以下同 場合 全ての派 用 組 に 合 じ。)を あ は、 ると 生商 出 0 す て 次

内 部 モ デル 方式 採 用 組 合

略

S A | C V Α 採 用 組 合

3 5 略

規定 ット 標準的 により デリバ 手法 与 信 採 相当額 ティブにつ 用 組 合 を算出 は、 いてこの 次 することを要しない。 の各号に定 条から第五十三 \emptyset る場合に 一条ま は、 で ク の レ

クショ 標準 百 一的 十二条 ン 提 手 法 供者と 採 又は 用 組 第百 L 合 て前条第 が 十三条の規定を適用する場合 ク ジ ツ 項の表の第六号、 \vdash デリ バ ティブ 第 0 百 ブ 口

> 与 信 相 当 額 0 出

上

第 五. + · 条 同

2 同 上

先進的 計 測 手 法 採 用 組 合

同 上

[号を加える。 同上

3

5

6 同 上

同 上

テ 二条又は第百 クション提供者として前条第 標準 · 的 手 法 採 + 用 三条の規 組 合 が ク 定 を ジ 適用 一項第七号 ツ ۱ • す る場場 デリ バ 第百 ティ 1十条、 ブの 第 ブ 百

7 お 額 出 以 準 を控 外 契 7 的 は 約 た 0 手 法採用 除 与 取 下 ネ す 引 信 るもの 相 テ る 組 額 取 合 とす 引 カコ は は ź 個 この 財 あ セ 別 務 ただし ツ 取 会計 7 節 1 引 は に 法 お 該 け 零を下回 お 的 Š る与 取 引 有 信 認 0 効 る場合は 識さ 集 な 相 同 当 相 れ 額 対 た ネ 0 . 零と С ッテ 算 V 出

[項を削る。]

S A C C R

第

いう。 スポ て、 には 相対ネッティング契約下にある取引の集合に 額を算出する。 五. 手方に対 + 複数のマージン・アグリー] を算出 以下同 ネ ジャ ア ッテ グ するものとする。 して担保 IJ イング・セットごとに、 0 準 ただし、 額 的 が が 手 0) 指定された額 法 } 締 提供を求めることが 結され 採 ネッティン 0) 用 下にあ 組 合 て メント (取引相 が ** \ る取 を超えたときに、 S る場 グ・ 次 Α 引の \mathcal{O} 合 セ 算式 C 集合ごとに、 に ツ できる旨 С は、 1 手方に 限 に R ゆる。 より与 個 法 を 的 用 Þ 係 0) 0 当 に 契 当 に 与 該 信 る 有 る 該約 信 取 エ お 効 相 相 を 引 ク な 当 11 7

与信相当額=1.4× (RC+PFE)

RCは、再構築コスト (以下この条において同じ。)

7 当たっ 準 的 ては 手 法 採 C 用 V 組 A 合 0 は、 影 響 この 1を勘案しな 節 に における 1 もの 与 信 とす 相 当 額 0 算 出

ス Α ク・アセットの 0 前 影響を勘 項 0) 規定に 案することが かかわら 額の 算出 ず、 に できる。 おいて、 標準 的 与. 手 法 信 採 相 用 組 額 合 に 0 は て 信 С 用 IJ

8

(SA - CCR)

第 当 該 引 相 与信 たときに、 集合に限る。) セ が \mathcal{O} に 五. 算式 ット 約 できる の 取 は + 相 手 下 引に ネ 当 項 方に係るエクスポ (法 に 12 額を算出するものとする ジ より与 旨 あ テ お 当該取引相 あ 的 る \mathcal{O} 標 に有 イ 0 取 契 に 準 アグリ 介約を 信相当額を算出す 7 引 て 的 お 同 は 効 に 手 ľ V な相対ネッティング契約下にある取引 個 て、 あ 法 セ] . う。 手方に 別取引を 採 複数の メ ージャ 7 用 が は 以 組 締結され \vdash 下 法 対 当 合 \mathcal{O} 該] マージン・アグリーメント L が 的 下 る。 。 う の額 て \mathcal{O} 取 S に 12 引の 担 有 Α て IJ ただし、ネッティング あ が 並 保 効 V 下同じ。 る取引の集合ごとに 指 集合を び \mathcal{O} な C る場合に 定され 提 相 C 供を求 対 R 条第 **,** \ ネ を)ごとに、 た額を ッ 用 は 五 8 テ い ること そ 個 イン 項 る 及 超 取 び え

与信相当額=1.4× (RC+PFE)

RCは、再構築コスト(以下この条において同じ。

3 2 合 PFEは、将来の潜在的なエクスポージャー いて回じ。 前項の H_{10} / \sharp , の区分に応じ、 $H = H_M \times$ $H_M = H_{10} \times$ 派生商品取引の満期日と 強を受け 账 調整率 該取引の原資 ージン・ Ø |人| |シ ボ 第六節第 のかかか ・ラテ 14 (次号において同じ。) 上す渡こ 41 $Min(N_R, 250) + T_M -$ ア ア イング・ イ $\frac{T_{M}}{10}$ 最も長い営 ・グリ グリ 当 該 $|\Pi|$ IJ 朱 蒸第 産が派生商品取引であり、かつ、当該原資 ととなっている場合には、 テ 舥]] 各号に定める算式を用いて算出する。 イ $\overline{\mathbf{I}}_{\mathbf{M}}$ 調 メ メ セットに含 ント ш ントを締結し 整 業日数。 に規定 算出基準日の間の営 率 を Ŋ ポパ (H)締結し 定める きれる は、 1 標準的ボ てい 7 次 額 V) 取引の残存期 最低保有 の各号に掲げ (以下 ない場 る場合 原資産 邭 業日 謙 この条にお Ш 未避 数 S いかい H 噩 る S ω 場 3 2 PFEは、将来の潜在的なエ 区 NS/#\ いて同じ。 前項の 分に応じ、 Mnsは、NSに含まれる取引の残存期間 H_N/t, 同 <u>_月とする。_____</u>]nは、Hnを算出するために用いた保有期間 河河 期日 第十八項において同 $H_N \times$ \wedge イリティ調整率 リティ調整率又は同款第三目に規定 が派生商品取引であり、かつ、当該原資 同 同 なっている場合には、 上 上 上 \cap 業日数。 ボ 第四章第六節第三款第二 ベシ 算出基準日の間の営業日 $\min\{M_{NS},$ ・ラテ 当 41 該各号に $\overline{\mathbf{z}}$ ただし、 IJ 250} (次号において同じ。 テ 定める算式 地 調 4 クスポージ 整 率は、 原 業日未満 資産 Ш F7 を用 数をいう。) 次の各 である派生商品 4 :規定す かるるる 1 . の項、 Ø 額 て算出する。 産 号に掲 Ś 1年(以下 が受け 烮 組合推計ボラ \cap (次号において 標準的ボラ 0 |長月 第十七項及 NH ٧٧ げ (1 JJ, 上渡す る場場 の原 54 取引の満 の祭に 神神 喇 \mathbb{C}^{+} 1 資 41 合 XIII, 3; 辮

	$\mathrm{H}=\mathrm{H}_{10} imes_{\gamma}$	
1	MP(
i) H	
i	1,70	
ı		
I		
1		
Ţ		
!		
!		
1		
i		
i		
i		
i		
i		
1		
1		
1		
ı		
ı		
Ţ		
1		
ļ		
- 1		

MPORは、次項に規定するリスクのマージン期間(マージン・アグリーメントに基づき取引相手方から担保の提供を受けた時点から当該取引相手方のデフォルトに伴い発生した当該取引相手方との取引に係るマーケット・リスクに対するヘッジが完了する時点までの期間をいう。以下同じ。)

むネッティング・セット 二十営業日 流動性の低い担保又は再構築の困難な派生商品取引を含

[二~五略]

5 \

16

略

は、次の算式を用いて算出する。 17 前項の規定により与信相当額を算出する場合において、RC

 $RC = \max\{\{\sum_{NS \in MA} \max(V_{NS}, 0)\} - \max\{C_{MA}, 0\}, 0\}$

 $C_{MA} = C_{MA,collect} \times (1 - Hc_{MA,collect} - Hfx_{MA,collect})$

 $+\max[\{\sum_{NS\in MA}\min(V_{NS},0)\}-\min\{C_{MA},0\},0]$

 $-C_{MA,post} \times (1 + Hc_{MA,post} + Hfx_{MA,post})$

 $H_N \times \sqrt{\frac{MPOR}{T_N}}$

MPORは、次項に規定するリスクのマージン期間 (マージン・アグリーメントに基づき取引相手方から担保の提供を受けた時点から当該取引相手方のデフォルトに伴い発生した当該取引相手方との取引に係るマーケット・リスクに対するヘッジが完了する時点までの期間をいう。以下同じ。)

ッティング・セット 性 日 \mathcal{O} Þ 低 0 値洗 担保又は より 再構築の 二十営業日 変 動証 拠 困難な派生商品取引を含む 金 0 額が 調 整され かつ、

[5 / 16] [二 / 五] 同上]

17 [同上]

 $RC = \max[\{\sum_{NS \in MA} \max(V_{NS}, 0)\} - \max\{C_{MA}, 0\}, 0]$

 $+\max[\{\sum_{NS\in MA}\min(V_{NS},0)\}-\min\{C_{MA},0\},0]$

 $C_{MA} = C_{MA,collect} \times \left(1 - Hc_{MA,collect} - Hfx_{MA,collect}\right)$

 $-\mathsf{C}_{\mathsf{MA},\mathsf{post}} \times \left(1 + \mathsf{Hc}_{\mathsf{MA},\mathsf{post}} + \mathsf{Hfx}_{\mathsf{MA},\mathsf{post}}\right)$

NS は、ネッティング・セット (以下この項及び次項において同じ。

Aは、マージン・アグリーメント(以下この項及び次項において同じ。)

VNSは、NSに含まれる取引の時価の合計額

Cwaは、MAの下におけるヘアカット調整後のネット担保額

CWA' collect は、WA の下における取引相手方から受け入れた適格金融資産担保の額

Hcwa.collectは、WAの下において、適格金融資産担保を受け 入れる場合において適用するボラティリティ調整率

Htxwa.collect は、MAの下において、適格金融資産担保を受け入れる場合においてエクスポージャーと適格金融資産担保の通貨が異なるときに適用するボラティリティ調整率

CMA,postは、MAの下における取引相手方へ差し入れた担保(取引相手方以外の第三者によって分別管理されており、かつ、取引相手方に係る倒産手続又は外国における倒産手続と同種類の手続に伴う当該担保に対する損失の発生を防ぐために必要な方策が講ぜられているものを除く。)の額

Hcwa,bostは、WAの下において、担保を差し入れる場合において取引相手方に引き渡した資産の種類に応じて適用するボラティリティ調整率

Hfxwa,bostは、MAの下において、担保を差し入れる場合においてエクスポージャーと担保の通貨が異なるときに適用するボラティリティ調整率

MA は、マージン・アグリーメント (以下この項及び次項において同じ。)

Vnsは、NSに含まれる取引の時価の合計額

Cwa は、WA の下におけるヘアカット調整後のネット担縮

CWA',collect は、MAの下における取引相手方から受け入れた適格金融資産担保の額

HcMA,collectは、MAの下において、適格金融資産担保を

入れる場合において適用する

ボラテ

7

71

鵬

Htxwa.collect は、WA の下において、適格金融資産担保をけ入れる場合においてエクスポージャーと適格金融資担保の通貨が異なるときに適用するボラティリティ調

CMA,postは、MAの下における取引相手方へ差し入れた担保(取引相手方以外の第三者によって分別管理されており、かつ、取引相手方に係る倒産手続又は外国における倒産手続と同種類の手続に伴う当該担保に対する損失の発生を防ぐために必要な方策が講ぜられているものを除く。)の額

Hcwa,bost は、WAの下において、担保を差し入れる場合によいて取引相手方に引き渡した資産の種類に応じて適用っるボラティリティ調整率

Htxwa.bost は、WAの下において、担保を差し入れる場合においてエクスポージャーと担保の通貨が異なるときに適用するボラティリティ調整率

涶

18

略

待 ク スポ

方式

2 第 により、 場合に 成する全ての 算出される額とする。 じ。) ごとに、 五 合には、 含まれる担保については適格 げる算式 準 は、 的 第二号に定める洲浴EPEの算出に当たっ 同 手 ネッテ 法採用 号に掲げる涆澇EEtkは第三号に掲げる算式 取引に 与信相当額は第一号に掲げる算式に 0) 算出 イン 組 おける最も長い 合 に要する州営EPEは第二号に掲 ただし、当該ネッティング・セット グ・セット が 期 待 工 金融資産 ク (当 ス ポ、 満期が一年未満 該] ネ 担保に限 ジ ヤー テ イン て、

までの

間

に

同号のΔtkで加重平

· 均 し

た無効EPEを用

1

るも

0

当 該 で

満 る

と期

あ

場

· を 構 より

実効EEt_k=max (実効EEt_{k-1},

EEtkは、将来の時点tkにおける Ç H 額全ての平均(以下 だし、実効EEtoは、 川 41 ァ V (1 スポージャーの算出の対象と 発 # < 卟 まれる 号及び第八項並びに第百三 とする Ž 4 蓝 取引の時価に基 7 「期待エクスポージャー」 **カレント・** 係る取引 零のいずれか大きい額をい $EEt_k)$ 正のエクスポー 相手 J., 044 エクス ななる 十三条第七 方のデ 算 チット 出される ポージャー 4 という。)。 屈 7 (**(**'; におい アドカ 账 ¥ ر ن ه (期待 該交 4

準 的 手法採用組 合 は 前 項第 号 に 掲 げ る 与 信 相 当 額 \mathcal{O}

3

18 同 上

朔 待 工 ク ス ポ

第 五. 十二条 同上

2 同 上

方

式

えを用

11

る

グ

セ

ツト

る。

下

こより、

同

げ

算

式 号 同

に る

同 上

同

Ŀ

EEt_k/は、 大き ななる れた 14 七 7 のブ 紅田 ジャー」 スポージャー チット エクスポージャーの額の平均 される 将来の時点tkにおける 額 フォルトによっ やい という。)。 (当該ネッテ (期待工 徭 퍼 イジト ただし、 て発生する損失 十三条第六項において同 V 了 如 スポージャー 実効EEtolは、 グ・セッ H 内部卡 がなる 一足(以下 一般と 取引の時価 Y! トに係る の算出の対象 ブレに 「期待エ 零のいずれ K アソテ 取引相 推 スポ。 葉 ر پر Н # \cap

3

る。 算出 五. 相手 ス セ ポ た る無效EPEを用いること。 0 デー テム ネッテ に もの アセットの が ス さ 額 び 取引条件 出 才 取引条件 実 数 EPE 又 現 -ジャー を算出 法的に 適時 で現 が 方に関 一 号 期 したポートフォリ 当 れ 在 タベ 備 整 てい 以 待工 をいう。 たって \mathcal{O} に、 イ 備されていること。 在 \mathcal{O} 0) さ 市] ・ング契 関する情 現在 下 場 洲 登EPEの算出に当たっては、 れていること。 計 ることを継 ク するた 有効な相 が \mathcal{O} (想定元本の額、 - ス(期 ノスポ は 額(CV 市 測 デー 期 か は 適切 期 次 場 つ、 0) モ 待 待 号において同じ。 報を 市場デー 約 デ] め タ 次に 工 待 パなスト 網羅的 クスポ を用 ータを用い ル 工 ジ の情報の集合物であって、 対 0 エクスポージャー Aリスク相当額を除く。) オ全体 とデー クスポージャー計 ネッティング契約の 法 ヤーを計 検索できるように 掲 続 的 的 V げる要件の全 レ 及び保守的 タを用い] て算出 に 有 満 ジャ ス期間を含 タベー の無効EPEのうち、 確 効 期、 認 てカレ 測するために構 性 するため] を 参照資 たポ 計 スとの に適切 て 適 に - 方式に 算 測 切 てを満たすも 測 三月に パモデル 反映されること。 体系 | |-む \vdash 出 に 産、 内 モデル」という。 間に、 に、 デ L 確 12 容] 工 た 認 保 的 お 担 フ を 築さ 存さ ク ポ 期 に に 特定 V が大きく 信用 タ オ す 保 含 に適切に 、 て 与 リオ 度以上の 照合 待 構 を ス る 1 額 エクス ポ 成 IJ 用 1 ブ れ れ \mathcal{O} \mathcal{O} 0 ノスク たシ ておれ とす フ プ 取 信 閾 V 全 口 ジ 口 反 引 相 が な て 体 オ セ なるも を [号を加える。 号 一号を 号 用 出 を加える。 を を を に 1 加 加 0) 用 当たって 加える。 7 ええる。 える。 を 用 算 7 出 **\ 算 るものとする。 は、 出 た 実効 ポ た] EPE又 1 フ EPE オリオごとに は 0 適 Ć 切 な ス 所 1 要 現 自 ス 己資 在 期 0 本 間 市 が を含 場 デー 大きく む

タ

ことが る 「され] 市 タ 待 ĺ を計 工 る市 でき ク で 推 ス 測 場デ 観測 計 ポ する場合には、 カコ ĺ さ 期 れる実 タをいう。 ヤ 待 工 直 クス 計 近 際 測 の 取 モ ポ 年 7 次号において同じ。 デ 間 弘引価格: ジ ル 以 ケ ヤー \mathcal{O} 上 ッ パラ 0 <u>۱</u> 計測 市 から メ インプライ] モ デ タ]) を 用] 算 ル タ i を を K て 推 用 ラ 導デ 計 11 11 メ き る す

ス期間を含 に たポー 第一号 ツ 掲 **** げる要 インプライ 卜 0) せ。) 件の 適切 フォリオ 全てを満たす三年 なス 又 は 全体の無効EPEの算 \vdash 適切 データを レ ス期間 なストレ 用 を含 レス期 -間 の いること。 む 市 間 データを用い 出 場 から に当たっては、 デ] 抽 タ 出 するマ (ストレ て 算 次出

た Ŧī. 引 取 号に ファ ス 相 ス 1 引相手方ごとに地 市場でクレ プレ <u>۱</u> 手 フ オ ク お 方 V を有 ット・ ッド IJ ス V 期間 て同じ。) に係る市 ĺ オ が 及び す を ジット・スプレ スプ は、代 拡大する期間 る取引の 代 表 相関による影 するように 表的ポ ツド 集合 格付 - を用い 及び と整 をい ッド 場 1 影響度に 構 で フォリ ることが う。 築さ が合 業 観 親測 測さ 種 的 第五十 基 であること。 に基づき推 オ さ れ (主要 できる。 れ るクレジ 十二条の ない 分 な数 自 な 計 己 IJ 合は ット され ただ \mathcal{O} \mathcal{O} ス 第取ポ

ポ 前号 オ 主要 0) 1 適 ヤ \mathcal{O} フ 切 クス 実効 オ IJ] 7性を評 IJ スク・ファクター 計 ポ 測 オ を 構 モ 価すること。 0 築し、 ヤー ルの調整方法と整合的であること。 算出 の額を計測することにより洲 において用いられる期待 当該ベンチマーク・ポート 対し脆弱なベンチマー ・フォ ク ス

[号を加える。

九 経済資本の額の計算方法が文書化されていること。 と。	景気後退期のボラティリティ又は相関の上昇を勘案すること相関係数を信用リスク・ファクターに含めることにより、合には、マーケット・リスク・ファクターのボラティリティリスクと信用リスクとを合わせてシミュレーションする場	の額の計算に係るモデルについて、マι、αの変化を評価すること。	七 経済資本の額の計算に係るモデルのモデル・リスクにつ立して、十分な能力を有する者により、検証されること。	六 経済資本の額の計算に係るモデルについて、開発から独勘案していること。	る個	五αはエクスポージャーの粒度(エクスポージャーに含ま	四 [略]	[号を削る。]	三 [略]	率的な依存関係の主要な要因を把握していること。 取引又に取引のオートフォリオの市場価値の分布に係る確	マーウポート・プラー 「アート・プラー であって であって である である	一 「略」 αは一・二とするものとする。	推計することができる。ただし、推計した αが一・二を下回中 α (以下この項及ひ次項において単に - α」という。)を	には、第二項第一号の規定にかかわらず、同号に掲げる算標準的手法採用組合は、次に掲げる要件の全てを満たす
[号を加える。]		[号を加える。]	[号を加える。]	[号を加える。]		[号を加える。]	五 [同上]	ること。 四 経済資本の額の計算方法についての文書が作成されてい	三 [同上]	していること。のエクスオーシャーの密の推書によりて主要な要因を批婚	全ての取引相手方	一「司上」	αが一・二を下回るときは、αは一・二とする。	う。以下同じ。)について、次に掲げる要件を満準的手法採用組合は、 α(第二項第一号に規定

5 与 t 1 ヤ ク 取 信 1 引 及] • 般 相 行 び 当 が フ 政 \mathcal{O} 存 第 手 額 庁 額 ア 方 在 ク 方 を 十 が 向 採 す タ \mathcal{O} 増 IJ α 用 号 る 1 信 出 加 ス \mathcal{O} 組 場 に ク 用 す す が 値 合 合 IJ る お る 正 を は Ł ス 1 IJ \mathcal{O} 取 指 クに て ス 相 引 \mathcal{O} 定 次 と 同 ク 関 相 L 0 ِ ن ا 過 す た を を 手 い 度 持 方 と 1 ず な き う。 つこと 0 を n PDと 偏 持 カン 在 第 に 0 が 当 過 五. に 該 あ 度 +ょ 般 該 当 る ŋ 的 す な α 条 工 な る エ \mathcal{O} ク 場 ク \mathcal{O} 市 値 ス ス 場 を 合

兀 大 は な 第 取 複 問 五. 引 数 +相の 手 取 あ 条 方 引 る場 相 \mathcal{O} \mathcal{O} 三 信 手 合 方 第 用 兀 IJ \mathcal{O} ス 号 エ クに に ク ス 規 ポ 定 係] す る る ジ 古 ヤ 七 有 デ \mathcal{O} 特 \mathcal{O} ル 相 検 徴 関 が 証 が あ に 高 る お 1 11 場 場 て 合 重 又

6

ること ょ お 7 ポ 手 さ ŋ V V] 方 れ 当 同 て、 る ジ に 準 は が 場 的 て 該 反 項 t 対 でき す 手 題 11 取 当 第 合 1 る 法 が L る 引 該 に 計 相 マー 採 な 号 担 は測 7 用 1 手 に 保 七 ただ Ł 組 ジ 方 ジ に 第二 デ 規 ン・ ょ 0) に 合 ル 定 し、 لح 担 に は、 す る 項 ア す ア 効果 保 第三号に規 お 取 る グ ネ グ V \mathcal{O} 引 嶣 IJ ツ IJ て当 提 相 を 対 EPEを 1 テ 供 勘 手 メ イ を求 案 該 メ 方 ン 担 \mathcal{O} L 定 \vdash グ 計 8 たEEtk \vdash 保 信 す 12 測す る に ること 用 に セ 基 ょ 基 状 実 ツ づ る方 を づ 熊 る 1 烾 き、 hEE t_k < が 用 効 が に 法 果 担 で 悪 V 期 係 ること \mathcal{O} を を 保 き 化 待 る 使 算 に る L 反 工 取 もた用 出映 ク ょ 引 のとす にに る ス 相

[項 を 加 え る 。]

第ポの

l I

用で

いあ

ポ

5 と 時す にに し 手 ボ さ に る ょ お て ル 1 方 標 こと は 当 ŋ V を ジ 準 れ 7 に る場 て、 反 て 該 同 対 的 V t う 映 取 が す V 項 1 丰 L る で る 法 引 当 第 合 計 以 ·きる。 な に 相 該 採 7 測 7 下] 担 1 用 手 号 は 七 同 Ł 組 ジ 方 デ ジ に 保 ただ ľ ン・ア \mathcal{O} ン に に 第 合 ル 規 は、 担 ょ 定 (期 し、 す ア 保 る 項 に す グ ネ る 効果 グ 取 \mathcal{O} 第 待 る お IJ ツ IJ 提 三号 引 実 工 V テ 供 效EPE て当] 相 を ク イ メ を求 に規 手方 ス 勘 メ ン ポ 案 該 1 グ を 8 1 \mathcal{O} 担 L 定 に 計 たEEtk に る 信 す 保 セ 基 こと 測 基 用 ヤ る に ツ づ す づ 状 実 ょ 1 き る方 が る を 效 担 で が 用 効 計 期 係 悪 法 果 保 き 測 待 る る を る 0 12 化 す 工 取 ŧ 使 算 る ク ょ L 反 引 のた用 出 映 ス

[項を加える。

7

進

的

手

法

採

用

組

合

7

1

ジ

T

IJ

1

づ

る

場

合に

によ

は

第 果

項期

第 待 は

号 ク

に

規

定一

すジ

るヤ

与

信計

相測

当モ

額デ

算に

出反基

に映

保

る

効

を

工

スポ

ーグ

ル

9 10 8 15 11 する過 当た 一満 る 額 五四 5 たす とし 取 郊EPEを計測する場合には、リスクの 勘 お 0 標準 標準 算出に 引相 デ 案して、 準 反 号 V 最低 信 取 準 7 次号に 金 一映す て用 ものとす て、 ル て、 的 程 的 的 引 的 用 以 に 担 掲 手 手 手 に 手 引 極 相 ジ 手 略 いる場へ るように 方との 法採 法 次 特 保 エ お 当 項 げ 法 渡 度 手 法 お 定 クス たっ 担 方 んに規 に 0) 無効EPEを計 採 11 採 採 資 効 掲 て 用 用 用 保 用 産 て 合に て、 果 取 契 合 組 ポ 信 組 担 定 組 組 同 以引の時 る 当 IJ 約 を] 用 保 す 0 合 合 合 合 は、 ľ 該 るリ は、 取 条 は、 ジ IJ 提 モ X は、 は 適 る 引 件 分に 供 モ デ t ス 格 メ 測 カレント・ 担 第 金融 第二項 0 デ 及 価] 期 ク を ス ル す 7 す 保 ル \vdash 要 応じ の変 六項 0 求 ク んる場 び 化] \mathcal{O} 待 る \mathcal{O} 素 資産 め 0 0 削 を 市 ジン・ 分 工 Ł 効 7 契 を勘案するも 期 る 構 化 に規定する方 布 ク 場 減 第 0) 果 約 額を 効果 頻 築 \mathcal{O} が ス 担 待 とす エ を ジン マー 形 動 該 保 号 及 エ ア 正 ポ ク 担 反 態 び 向 各 グ 勘 を ス に 保 ク 規 1 を る 映 IJ 案す 分 ポ 期 号 調 等 ス ジ 信 規 \mathcal{O} ジ 反 す 間 効 整 \mathcal{O} ポ] ン 布 ヤ 映] 用 定 3 果 す 効 る 期 す ジ IJ す 1 定 メ 法 で 1 場 とする。 もの ることを 果 8 る ジ 間 ス 並 を な 計 る t 合に る条 ŧ, ク を 内 ヤ 1 使 1 与 測 1 削 信 に 計 に に 用 可 干 \mathcal{O} を は とす 算出 量 件 基 す お 能デ 減 相 計 L ポ 的 づ る け 7 性ル 手 測 を 7 6 11 項 項 提 取 合 号 引相 を加 に 供 を 標 10 を加える。 は を 準 加 準 える。 手方との 的 え 的 る。 当 手 手 同 該 法 又 法 上 採 担 採 保 取引の時 提 用 用 0 供 組 組 価 合 合 格変 受け は、 は、 は、 価 動 \mathcal{O} る リスクの 前 7 変 を適 担 項] 化 保 ジン・ 切 額を勘案す 規 が 現 定 7 反 す 金 ア 映 S グ ジン 以 す 方 外 IJ るも るものとする。 法 期 資 メ 間 を のとする。 産 内 使 に 用 1 含 により お L け 7

ク 式 ス \mathcal{O} ポ 取] 引 ジ 及 . ヤ | び 信 を 用 同 取 時 引 に そ モ 0 デル化 他 れ すること。 に 類 す á 海 外 0 取 引 0

目 当 を 該 に 用 規 担 定 保 でする ること。 \mathcal{O} 効 果 準 を モ 的 デ ボ ラティリ ル 化 な テ 場 イ 調 合 整 率 第 に 六 よる 節 第 包 括 款 的 第

16 な相 その 合に 対 他 限 準 ネッ これ 的 手 テ 12 派 法 イング契約の効果を勘案することが 生 類 採 す 商 用 る 品 組 海 取 合 外 引 は、 0) 並 取引をその び 次 に 12 レ 掲 ポ げ 形 る 対象とする法 式 条 0) 件 取引 \mathcal{O} 全 及 て で び を ·きる。 的 信 満 に 用 た 有 取 す 引 場 効 12

0 始 過 引 当事 項 終 発 \mathcal{O} 供 相 破 了さ 生 当 第 決 す 手 が 産 定、 を 者 該 る 手 せ 相 뭉 含 現 0 義 続 金若 に 対 特 む 務 開 方 お ネ 別 そ 始 0 ツ 第 清 に L \mathcal{O} \mathcal{O} 債 取引 て < テ \pm 算 他 決 同 +開 権 1 は 0) 定、 又は債 じ。 ング 二条 を 始 証 義 券を引き渡 終了させることが \mathcal{O} 再 務 契約 の三第 命 が生じた場 生 を 務とすることができること。 令その 手 履 下にあ 続 行 + 開 L す義 兀 他 始 な る全て 号 \sum_{i} 0 いこと 務又は れら 及 決 へできる び 定、 0) 他 第 に 及 取 更 方の 類 追 七 引を び 生 事 + 加 す 債 当 由 る 手 担 適 事 条 事 続 務 保 取 者 第 超 を 由開 時

| 17|| 直接清算参加者として間接清算参|| [二〜四 略]

向 け 直 ジ \vdash 接 業 より 清]] 日 げ 算参 とす <u>ا</u> るネ 生 に ずる 0 加 V ること 工 者 て クス 間 テ とし は イ 接 ポ が 清 て できる グ 算] 間 +ジャー 接 セ 加 清 項 ツ 者 算 第 参 1 に . 係 加 \mathcal{O} 対 号 す る IJ 者 \mathcal{O} るト 清 ス 0 定 算 ク 適 \emptyset 取 0) 格 7 次 中 か 、ぎ等 央清 ド か ジ わら を 工 算 行う 期 ク 機 間 ス 関

(承認の基準)

[号を加える。

ことが たす場 とする法 標 準 で 合 的 、きる。 的 に 手 に 限 法 有 り、 採 効 用 な 派 組 相 生 合 は、 商 対 ネ 品 ッティン 取 次 引とレ 0 各 号に グ ポ 契 形 定 約 式 8 \mathcal{O} 0) る 効 取 全 果 引 7 を を 0 そ 勘 条 案 \mathcal{O} 件 す 対 を る 象

に じ 発 \mathcal{O} 提 引 することが 破産手 た場合に、 生 あ 決 供 相 当 いする義 を含 定、 手が る全て 事 者 続 現 む 0 開 できること。 金 0) 別 務 第七十 他 始 取引 その 岩 方 清 方の当事 \mathcal{O} 算 に L 決 を適時 開 他 < 取 八 定、 は 始 引 \mathcal{O} 条第 義 0 証 を 再 者 に 命 務 券 終 生 は、 令その を履 を引 終 了させること 手 項 了 当 続 第 さ 該相 行 き 開 こせ、 渡 他これら 号 始 な す義 対ネッ 0 に いこと 決 お \mathcal{O} 務 が 定、 債 又 テ で て同 及 権 イ 類 更 は き 又 ン 生 び 追 る じ。 は グ る 手 倩 加 事 続 事 債 契 務 担 由 約 が 由 開 超 保 務 生の始過 を

[二~四 同上]

13 号 ことに 五. ポ 向 営 に] け 直 |業日 ジ 1 接 より げ ヤ レ 清 とす るネ]] 算参 ド • に 生 ずる ることが 0 加 V エ テ 者 とし て 間 ク イ は ス 接 できる グ・ ポ 清 て 第 算 間 七 セ ジ 接 項 ヤ 清 ツ 加 第] \vdash 者 算 に 0) に 参 号 係 IJ 対 加 0) ス る す 者 定 ク る 清 0 8 0 算 適 取 7 格 カ 次 中 かわ ジ K ぎ 央 等 清 5 期 工 を 算 間 ク 行 機 ス 同 う

(承認の基準)

第 クスポ 上に 五. 十二条 わ ク 関 たっ て ス ジ す ポ 第 0) 7 カュ る ヤ 五. 体制 内 1 + 部 方 ヤ 行 式 管 条 が 1 政 理 次 \mathcal{O} 計 第 庁 に に 使 測 は お 用 掲 七 項 11 げ を デ \mathcal{O} 期 て運 る基 開始 ル 承 認 待 が 工 用され 準に す 当 を ク る日 ス 該 しようと 適 ポ 承 て 合することが 以 認 おり、 降 に に 先 す 立 お る 1 か لح 0 方 11 て、 て き 式 見 期 は 0 込 内 待 年 使 ェ エ以期用 部

るか

どう

を

審

査す

るものとする

う \mathcal{O} 条に 部 取 クン 署 引 な お 等 る 以以 う。 タ 取 0 下] 引 て 取 同 引 0) が じ。 関 相 条に 手方に テ わ 信 イ る 用 お 信用リ 部 管 IJ 署 対 理 ス 7 する信 か 体 ク ス 期 6 制 ク 独 T 待 \mathcal{O} (派生 <u>\f</u> 用 設 セ 工 IJ 計 ツ ク 及び 7 ス 1 ス 商 設 ポ ク \mathcal{O} 品 置 運 を 額] 取 営に さ ジ 引 う。 ħ 算 7 7 責 出 す 管 任 以 ポ る 理 を 下 形 負 対 部 式

ポ 分 析 IJ 実 待 を行うこと 施 ジ ア ス エ ク ヤ ク ク ス 期 フ ポ 待 ア 額 \mathcal{O} ジ 変 ク タ 期 動 ヤ ス 待 が] ポ 生 0) 管 工 じ 変 理 ク 動 た 場 部 ス 署 ポ 一合に . 関す は ジ 測 適 発 る ヤ 七 切 仮定 生 1 な す ス を上 \mathcal{O} る 15 1 実 差 V 口 異 際 ス・ る 0 IJ 関 工 テ す ス ス

'号 を削 る。

る

する日 合することが 用 五 該 さ 掲 + 取 0 引 を 期 れ 承 げ に 負う部 待 以 て 認 る て 条 が、 おり、 に 降 関 工 基 第 0 クスポー に わ 先 準 Ŧī. 信 署 見込ま おい る <u>\\</u> + に 用 か 部 つ 以 適 行 IJ て、 て 署 条 合 政 スク・ 下 か ジ れ 第 期 す 庁 「期 5 る 内部 カラ 年 以 ヤ る は 独 か アセ] 期 項 待 どう <u>\frac{1}{2}</u> クス 管 上 0) 待 の期 理に関 こにわ L 管 承 ットの 工 待 クスポー て カュ 理 認 ポ ク 工 設 を たっ クス \mathcal{O} Ì ス を 設置され 審 額 す 過 ポ ジ L 査す Ś て内 よう を算 程 ポ ヤ] ジ \mathcal{O} 体 1 ヤ るも て 出する対象とな 設 制 لح 方 部 ヤ ジ Ì 計 が す 管 管 のとす ること。 及 \mathcal{O} 理 計 る] 理 び運営 該 使 に 方 測 部署」と 基準 式 用 お を デ 11 0 に 開 て ル 使 責 始運 が 次用 適

ことを ク・ファクタ \mathcal{O} 期 朔 額と 0 を 待 待 記 変 エ 載 動 う 期 ク ス 待 が ス 生じ ポ た ポ \mathcal{O} 書 ク 少 変 た場 類 ス ジ 変動に な ポ を ヤ くとも t 作 合に 1 関 成 ジ 管 する仮定を上 計 発 理 ヤ 月 測 7 生する実際 部 に モ V \mathcal{O} デ ること。 は 差 口 ル 異に 以 適 上 口 切 関 0 実 るリ い な する 工 施 て ス ク L スク・ファ \vdash 分 ス 将 ポ 来の 析 そ ス を] 0 ジ IJ テ 実 行

ステ デ な 行 づ ル る イ うこと 期 か 工 ン ク グ 待 ス 期 算 (過 エ クスポ を ポ 待 出 さ 1 去 · う。 ク \mathcal{O} ジ れ ス ヤ 期 1 る ジ] 待 期 ポ を 待 0) エ ヤ 1 定 額 ク エ と期 スポ 期 管 ク ヤ 的 理 ス 一部署は ポ 計 待 Ì 実 測 ジ] 工 施 ジ ク ヤ モ デ ス t 谪 ポ ル 方 切 そ \mathcal{O} 0 式 な 0 比 ジ \mathcal{O} 正 バ 実 ヤ 適 ツ 施 用 性 \mathcal{O} 手 結 対 \mathcal{O} 計 検 果 測

[号を削る。]

件の全てを 前 号 0 ス \vdash 満たすこと。 レ ス・テスト 0 実 施 に 当 た 0 は 次に 掲 げ

ること。 ーティ -分な期 信 間にわたって、 用 IJ スクを有する全て 取 引相手方ごとにカウン 0 形 態 0 取 引を 捕 タ 捉 す]

口 ト・スプレ - に起因 金利、 感応度 [する 玉 F. 為 等 替 スポ \mathcal{O} 偏りを特定すること。 株 主要 価] な ジャ 7 モ ーケッ] デ 0 イ 変動に テ ١ • 1 IJ 価 格 ス 及び ク・フ ク 月次 ア ク

分 析 ること。 ポ 複 数 ポジショ 広範 ス] ポ ジ 0) 要素] 囲 ヤ ジ \mathcal{O} ン 市 \mathcal{O} t \mathcal{O} ダ 手仕舞 影響 場 変 1 及び 動 流 動 に (深刻な経済状況 11 性 0 \mathcal{O} の低下並びに 彐 シス・リ 影 て 響を含む。 IJ 三月に ス ス ク クを 7 中 及 口 を想定し 核 び 1 以 的 市 う。 ル な市場 上 場 ド 0 変 力 を評 たエ 頻 動 度 参 0 ク

変動

及び取引相手方の信

用力低

下

-を同時

に考慮し

ス・テストを、三月に一回以上の頻度で分析するこ

済

状況等

化

に

7

影

影響を受

け

る

工

ス

ポ

1

ていること。 証 手 続 及び IJ ス ク 指 標 0 算出 手 続を記 載した書類を 作 成

近の相関をまり、三期待 ス するリスクをいう。) 及び個別誤方向リ ポ 期 が待エ ク グ及び管理を行うための体制を整備していること。 ジ ノスポー を持 ·管理部| 方のPDと一 クス つことによりエクスポー ジ ポ 署 ヤー] ジ より継続的に検証されること。 計 般 ヤ 測モデルの正確性が、] 的 · 管 理 的な市場 部 \mathcal{O} は、一 IJ ス ジ Ź ク ヤー ク \mathcal{O} 般 特 ファ \mathcal{O} 誤 定、 期待 額 方 モ ク が 向 ノタ 増 エ = IJ ス タ加ー ク

朩 位 又 1 口 は は カコ 全て らニまでに 取 引 0) 先 取 引 単 規 先 位 を 定する要素を考 合算し 取 引 先をグ た単 位 ル で 慮] 実 するストレス・ ブ 施 化 す L ること。 た区 分 テ 単

掲げ ス るも ク • フ \mathcal{O} ア を含むも のとすること。 おけ るシ ナリオ は 少なくとも 次

(1) に リオ 過 会去に お 経験した市場環境 \mathcal{O} 悪 化 を 想 定 L た

合 理 的 で 過 度 0) スト レ ス を 反 映 さ せ たシ ナリ 才

(3) (2) シナリオ 限 定 れ る が 損 失の 発 生 \mathcal{O} 可 能 性 が ょ ŋ 高

1 用 力と ス 般 正誤 シ ナ 方 \mathcal{O} IJ 相向 オ 関 IJ を スクを が 作 あ 成 るリ すること。 特 ス 定するため ク フ ア に、 ク タ] 取 を 引 定 相 8 手 た 方 ス 0) 信

リオを特定す すること。 IJ 可 能] 性 が ス・ 高 ス \vdash るためのストレス・テストをいう。 レ ス・ テス 蓋 然性 \vdash が 経 認 営に めら 甚 れるストレ 大 な 影 響 ス・シ を 及 ぼ

度 4 な偏 込まれており、 7 ストレス・ 1 ること。 在又は テ 集 中 ス カ \vdash L つ、 た \mathcal{O} IJ 結 理 ハスク 果が 事 に \mathcal{O} 信 対 用 定 IJ L 期 適 的 ス 切 な報 ク な 0) 対 告に基 管 応が 理 手 講 づ 続 じら き過 に 組

ヌ ること。 \vdash ス・ テ ス 1 0 実 施 手 続 を 記 載 た 文 書 を 作 成

測モ 成 深され 待 デル モ 工 るリ デ ク 及び当 スポ ル スク指 \mathcal{O} 開] 発から 該期待エクスポージャー ジ 標 ヤ (実 管理 独立し (効EPE及び実効EPEの 部 署が 期 待 期 待 計 エ 測 ク スモデル ポー 構 ス 成要素と ポ ジ 1 から ヤ ジ

兀

四 ル及か びその後定期的に、かつ、期待エクスポージャ ら期 0) 独 待 重 立工 要 Ļ ク な ス 後変更、 カュ ポ つ、十 1 ジ ヤ 市場 分な能力を有する者に] 計 構造的 測 こな変化 ル が、 当 又 は 該 ょ より、 ポ モ] デ 計 開 測 \mathcal{O} 発 開 モ 時

0

1

フ

オ

リデ

点 発

て計 下 条 測 され 12 お 条に る指 7 お 標 モ で デ あっ ル 同 検 U てリスク管 証 と V, 正 . う 確 理 性 上 を 重 関 実施すること。 要なも す る 検 0 証 を 以

満たすこと。 七 デル 検 証 0 実 施 に 当 たって は、 次 に 掲 げ る 要 件 0 全 て

五.

口 1 後 定期 的 エ クスポ に 実 施 す] ること。 ヤ 1 計 測 干 デ ル \mathcal{O} 開 発 時 点 及 び そ \mathcal{O}

及化と実 にデルに 及び バッ 固 際の計画 定し により算 切 ク な検 ・テスティング たポジションに基づ 出し 証 測 値との比較をいう。 手 法を用いること。 たリスク指 標 待 く仮 と 工 実 ク チ ス 想 際 に ポ 0 \mathcal{O} お IJ 計 1 いて同じ。 、スク指 ジ 測 値 t لح 標 \mathcal{O} 計 の比測

モデル の文書を作 検 証 \mathcal{O} 成 プ すること。 口 セ ス及び IJ スク指 標 0 計 測 方 法 に

0

備 お デ り、 項 L ル を含むものとする。 \mathcal{O} ていること。この場 か 正 \mathcal{O} つ、当 確 大きな変 性が 該 失わ モ 化 デ れる によ ル が 合におい おそれば って 適 切 期 に 見 が 待 · て、 当 見直される エ クス 該 検 るた ポ] 証 合 は \otimes に 次 \mathcal{O} 検 t に 証] 体 制 さ 撂 計 げ をれ測 整 る 7 モ

期待 であることによりリスクを過 エ クスポージャー 計測 モデ 小 ル に 0 評 用 価 V L る て 前 ** \ 提 な が 1 不 こ適

 \mathcal{O} 第二号 造に照ら ポ 妥当] 1 な検 フ の二に して適 オリ 証 結 才 定 と期 果 切 \emptyset が な る 得ら 手 待 バック・テスティン 法 エ 山でモデ クスポージ れること。 ル を ヤー 検 証 グに加 することに 計 測 モ デ ル 組 よの

クスポ きること。 仮 想 性から 的 なポ] 生 ヤ 1 ľ \vdash 得 フ 計 才 る 測 影 モ IJ 響を適 デ オ ルが、ポー を使用し 切 E 把 た 提して \vdash 検 フ 証 オ に IJ ょ ると り、 オ 0 構期 造 待

[号を加 える。

- 基 潍 期 及 待 び エ 改 ク 善 のポ プ 口 ジ セ ヤ スを・] 計 定めること。 測 モ デ ル に 係 る 正 確 性 \mathcal{O} 評 価
- ホ 定義 モ デル す 検 証 に 用 1 る 代 表的 ポ 1 フ オ IJ オ \mathcal{O} 構 築 方 法

を

- ス ク 指 予測 ること。 標を検 分 布を 証 用 する場 1 る 工 合に ク ス はポ] 複 ジ 数 ヤ \mathcal{O} 統計 計 測 的 モ な デ 分 ル 布 及 をび 用リ
- Š 切 カコ であることに 期 待 ?を検 エ ークスポ 証すること。 よりリ] ジ ヤ ス] クを過 計 測 Ŧ 小 デ ル に 評に 価 用 L 1 て る 11 前 な 提 1 が か 不 ど適
- (1) げ かって、 る要件 用 IMMバッ 7 いること。この 初期設立年を超り -ケット \mathcal{O} ク・テスティング 全てを満たすも える予 ・リスク 場合におい 測期間 0 変動 のとする 0 を可 実施に当 て、 に関 能 当 する過 な コ該デー 限り多く考 た 0 去 て タ 0) は、 は、 デ 1 少 次 なく タ に を 掲
- (2)7 対 ス クの 象とす は、 期 待 予測期! 7 エ クス] ること。 間 ン ポ は最低 期 こ の 間 ジ 雨を含む ヤ 場合において、 · | 計 年間であり、 ものとする。 測モデル 、担保付取引に、ル及びリスク指標 か つ、 典 型 的 なっ標 リい を

定

日

に 幅

を持たせるも

のとする。

- (3)る 手 代 表的 待 法 を 用 ポ いる] 1 フ オリ オを対象にポジシ 3 ン を 占 定 す
- (4)ス · 価 評 指 期 標 工 を検 クス 証 ポ するように ジャ] 計 設計すること。 測 モ デ ル \mathcal{O} 重 要 な 仮 定 とリ
- 時 引 的 古 価 有 検 証 情 す ル 報 ること。 を に ついて、 正 確 に 捕 適切なベンチマ 捉 取 引 が 適] 切 な ク ネ を ッテ お 11

IJ

ヌ

含ま 期 工 ジ 間 ク ス ヤ に れ る わ ポ たっ セ が 玉 て て \vdash 測 \mathcal{O} ヤ 予 さ に 取 想され、 引 割 れ 7 ŋ 0 測 価、 当 1 契 モ 八約期間 デル ること。 7 コ か 5 モ つ、 デ れることを検 \mathcal{O} にわ IJ イ ネ 、スク・ テ ツ たって イ テ 価 ファク 格 証 期 そ す 待 \mathcal{O} タ 他 工 セ ク ツ \vdash ス が 期 ポに長

ヲ 確 性 期 に 待 関 工 す ク る ス 直 ポ 近 1 \mathcal{O} ジ 状 ヤ 況 を 計 考 測 慮して モ デ ĺ 検 及 証するこ び IJ ス ク 指 標 \mathcal{O} 正

ワ 期 待 工 ク ス ポ] ジ ヤ] 計 測 モデ に 用 るパラ メ 1 タ

 \mathcal{O}

更新

頻

度

 \mathcal{O}

適

切

性

を

検

証すること。

六 期 ること。 ク エ 計 期 ス 待 ク 測 待 ポ ス 工 モ エ ポ デ ク ク ス ル ス] ジ ポ ポ \mathcal{O} ヤ ジ] 投 ヤ] 入 デ と] ジ ジ 限 ヤ ヤ 計 度額と]] Ì 測 タの 管理 計 モ デル 測 適切性 部 0) 七 比較に から デル 署が たにより を管 出 基づく分析を含 力され 期 理 待 算 る情 出 ク カュ L ス つ、 た取 報 ポ 当 を 1 引 分 該 ジ の析期

L 用 理 てい IJ 事 ス が ること。 ク 期 \mathcal{O} 待 管理 工 ク 手 ス 続 ポ] (T ジ デ ヤ ル] 検証 に 係 を含む。 る 力 ウ ン に タ 積 1 極 的 1 に テ 関 イ

 \mathcal{O} 用 IJ 期 ス 待 供 ク 与 工 管 ク \mathcal{O} ス 管 理 手 ポ 理 続 1 に ジ 利 密 用 ヤ 接] れ に 計 組 測 4 モ ること。 込 デ ま ル れ 及 7 び お IJ ŋ ス ク カ 指 つ、 標 組 が 合の 通 常

に 策 関 期 ため /を含 する 待 デ 工 \mathcal{O} む ル 内 ク 手 部 0 ス 段 評 \mathcal{O} ポ を 方針 が 価 記 講 ジ \mathcal{O} 載した書類が作成さ じ 基準 ヤ 管 6 理 れ 計測 及 及び てい び当該 手 ること。 デル 続 基準 (期 及 待 に び れ 抵 IJ そ 触 ク ス L ス ク n た ポ 指 5 場 が 標 遵 合 ジ 0 守 ヤ 運 \mathcal{O} 1 さ 対 営

> 号 を 加 える。

五. 的期 待 理 工 事 ークスポ してい 法 第 1 + ること。 · 条 に ヤ] 規 に 定 係 す る信 る 理 用 事 リス を V ク . う 0) 管 理 手 同じ 積

七 が 価 方 が 1 \mathcal{O} 針 期 通 を 期に 待エ与 じ 基 常 計 待 管) た 書 5 \mathcal{O} 測 工 理 及 IJ れ す ク 及 類が び る ス 7 ス ス び 当 ク た ポ ポ 手 該基 ること。 作 管 8] 続 :成され 理 \mathcal{O} ジ 準 期 手 シ ヤ に 続 ス 待 抵 に テ 計 計 工 そ 触 密 A ク 測 測 L を 接 れ ス 七 モ た場 に 含 デ デ 5 ポ 組 が ル む ル 1 み込 遵守 合 \mathcal{O} ジ 0 次 運 期 ヤ 号 ま 対 さ 営 待 12 応策を含 れ に れ 計 エ お 関 る 測 ク た モ す ス 7 め る ポ む。) 同 内 ル 0 手 0 部 ジ を評 段 ヤ

[号を削る。]

[号を削る。]

+ス ク 理 期 \mathcal{O} 待 (期 計 エ 待 測 ク 工 過 ス ク 程 ポ 及] ポ び ジ 1 力 ヤ ジ ウ] ン ター 係るカ 管 理 部 ーテ ウン 署 0 イ タ 運 信用] 用 内 リスク] 容 テ を含 1 0 信 内 用 部 IJ

[号を削る。]

7

則

7

年

に

口

以

0

頻

度

内

部

監

查

が

十一·十二 [略]

び 個別 期 待 誤 工 お向り クスポー スクの ジ ヤ 特] 定、 管 理 モニタリ 部 署 は ン ググ・ 般 及 誤 び 方 管 向 理 IJ を ス ク

こ の を \mathcal{O} 合計 形 外 工 クロ 号に 式 0 クスポージャー ポ し、 \mathcal{O} お ス・プロダクト・ネッティング 用 式 引 取 <u>ー</u>の 引若 又は V 0) す 取 て同じ。) る 債 場 引 くは 及 権 \mathcal{O} 又は 取 をネットで計測す び を一の 信 引 複 は 数の信 用 相 債務とすることにより 手方に 取引その 次 取引相 用 掲 取引 げ 対 他 る す 手 その 方に ることを 要 る $\sum_{}$ (複 派 件 れ 他 に類する 生 対 数 する複 全 商 ے \mathcal{O} 7 71 取 品 れ 異 、 う。 に 引 を 取 な 海 類 相 満 引 数 る ずる 手 取 方 引 た 外 並 の以 のび 下

> ** \ . て原則 期 とし クス て 一 ポ] 年 ジ に ヤ] 回に 以係る る信 \mathcal{O} 頻 用 変で リス 内 ク 部 \mathcal{O} 監 計 測 査 が 過 行 程 わに れつ

ての 計 たって予想され、 ポ] 金利、 測 ・ジャー されていること。 取引の契約期間にわたって、 為 . 計 測 モ か 価 デ つ、ネッテ ル コ のリスク・ モディ テ イン 1 期待 ファ 価 グ・ 格 工 ク セットに そ ク タ 0 スポ] 他 が \mathcal{O} 含まれ 長期] 期 ジ 待 間 ヤ 工] る に ク が全わス

証 合に期: 前号のリスク・ファクター ていること。 待 工 クス ポ] ジ ヤ] 計 に 測 対 して大 モ デ ル きな変 に 及 ぼ す 動 影 が 響 生 を じ 検た

てるため 取引 を に モ 取引固 デ ル 内 有 \mathcal{O} 0) 適 情 切 報を入手していること。 なネッテ イン グ セ ツ 1 に

十二・十二の二 [同上]

各号に掲げる要件を満たしていること。--三 αを独自に推計している場合には、第五十二条第四項

[号を加える。]

割

十 五

次に 掲 げ る法

(1) び 引 が \mathcal{O} 合計額であること。 当該ネッティング契約に含まれる全ての 生じ に 相 含まれる 手方 た場合 者 へ支払う \mathcal{O} る 方 7 に 的 スター・アグリー に お 取件 額 V は、 て 引を終了させ 取引 法 的 相 手方 に 有 から受 ることが メント 効 なネ \mathcal{O} ツ 領 取引の 清 テ できる 算価 イ

ング

及契取由

時 格

価

又

は 事

- (3)(2)ネッテ せ、 が 生じた場合に、他方の当事者 当事 一の債権又は債務とすることができること。 イングの対象となる全ての取引を適時に終了さ ス・プロダクト・ネッティングに係る契約が、 者の一方に取引を終了させることが は、クロス・プロダクト できる 事 由
- 該契約 照 クロ 6 に関係する全ての法令(外国の法令を含む。)にス・プロダクト・ネッティングに係る契約が、当 て有効であることを継続的に 確認しているこ
- 六 節 信 \mathcal{O} 用 規 IJ 定に従うこと。 スク削 減手法の 効 果を反映 する場合に は、 第

(4)

- (5)する全ての文書が クロ ス・プロダクト・ネッティングに係る契約 適切に保存されていること。 に 関 係
- 次に掲げる運用要件

口

- (1)与 信 クロ 相当額 ス・プロダクト・ネッティング が、 通常 0 リスク管理 手 0 続 に 効 別果を勘: 組 4 込 はまれて れ
- (2)流 動 本 取 引相手 性 \mathcal{O} リス 額の計算 ク 方 管 0 理 に 与 反映すること。 に 信 相当額 関する方針に を信 用 お 供 V) 与 て、 \mathcal{O} 管 担 理 保 及 \mathcal{O} び 返 経 還 済

[号を加える。

3 2 第 相対ネッティング契約下にある取引において用いる場合とする。ただし、第二号に掲げる額については、法的に有 五 十六 (カレント 十三条 Ŧī. 第一項のアドオンの額 略 略 掲げる取る 目 次のイ これ 類に応じ、当該 追 十二条第十六項各号に掲げる条件を満たしていること。 対ネッティング契約の効果を勘案している場合には、 合には、 取 注 を クレジット・デリバティブについ 加 第 派 引 乗じ 担保 $\underbrace{1}$ 五. に 生 \mathcal{O} 5、同項各号に4十二条第四円 又 類する海 商 種 引の て得た 略 は エクスポ 品 \mathcal{O} 類 差 口 取 種類及 略 に 入 引 取引の想定元本額に 額 掲 外 れ 並 原 (約の効果を勘案している場合には、第一の取引をその対象とする法的に有効な げ] に 項 \mathcal{O} び 債 ・ジャー び る 掲げる要件を満 は、 の規定により 可 に 務 同表の中欄に掲げる原 額 能 レ 者 ポ形式 (以 下 性 次の各号に掲げる \mathcal{O} 方式 を考慮していること。 種 類 「グ の取引 α 司 ては、 口 たしていること。 表の下 を推計しようとす ス 及び信 0)] 掛 次 ア - 欄に定 セ V \mathcal{O} F ン ずれ 目 債 用取引その 表 才 <u>۱</u> 務者 \mathcal{O} め カコ 上 1 に 効 な とい る \mathcal{O} 欄 \mathcal{O} 掛 種に る 額 3 2 第 十四四 五. (カレント [号を加える。 十三条 ロイ ること。 に に 同 同 は、 取 同 有 上 同 効な相が 注 上 上 引 同 同 1 第五 0) 上 上 種 おネッテーの品取引と エクス 類 同上 十二条第十二項各号に掲げる条件を満たし 同 引とレ 上 ポ 原 イ 債 ジ ポ ン 務 ヤ グ 形 者 契 式 \mathcal{O} 約 方 0 種 和の効果を勘で 取引をそのは 式 類 パ] 掛 案 対 象 セン 目 て とする <u>۱</u> 11 . る場 法 い合的

注 2 良債務 3者とは、 次 に 掲 げ るも 0 を う。

1

2 る主 IJ 五. 社 社 格 条 付 ス のうち第三十四 ク 3 体 準 に の二の基準に照らし 融 経営管理会社 対応 ずる外 機 以 並 外 ウェ 関 上 び 国 する信 で に 銀 適格 第 ある主体をいう。 イトとすることが 玉 行、 \mathcal{O} 条、 会社、 用 格 条 銀 リスク区 付 第 保 行持 機関に 第三十五条 七 険 て 二 十 第一 会社 号 株 会社、 口 により 分 種 に 及 が 認 金 掲 び 銀行 付] 又 げ \Diamond 融 4 保 19年さ は 5 セ 商 る 険 ント 3 れ 第 持 品 持 者 れた 又 て 株 取 株 を 三十 は 0 슾 引 V 숲

注 3) 略

略

決 済 取 引

五.

+

. 四

条

2 次に 引 った場合であって、 0 定め 相 準 手方に対し 的 るところに従うものとする。 手 法 採 用 て有 組 反対取引の 合 価 は 証 一券等の 非 同 決済が 時 引 決 渡 済 行 L 取 われていないとき 又引 に は 資 0 金 て、 \mathcal{O} 支 払 当 を行 該 は、 取

七 条か 取 有 引 価 5 取 0) 証 額 第 引 約 一券等の を信 三十 定 約 決 済 用 人 定 引 額 IJ 条までに規定するリスク・ウェ 日 渡 ス に 0 四営 ク 又は 取 引の ア . 資 金 業日後 セット 相手方の 0 はまでの 支払 0) 額とする。 を 種類に応じ、 期 行 間 0 は た 日 イト 当 カン 第二 該 5 を 非 乗 十同反

> 注 2

> > 同

上

1 同 上

2 社に準 \mathcal{O} は た 11 、 る 主 者 5 IJ 金 $\overline{+}$ 付 ス 及 融 - ずる外 機関 3 体 ク び経 に 五. 条の 以 並 対 玉 上である主体 ウ ェ 応 び 営 銀 する 管理 国の に 基準に照ら 第 行、 . 適 1 会社、 会社 信 トとすること 格 銀 第七 用 格 行 パリス のうち 付 持 をいう。 第 機 L 뭉 株 で 二 十 ク 関 会社 区 第三 12 に 種 分 ょ が 金 掲 ŋ 認 +融 げ が] 付 8 兀 商 る 4 行 -| 与され 5 セ 条 品 者 ント れ 又 取 株 を は 7 引 会

注 3 同 上

同 上

第 五. 余 + 兀 決 済 条 取 引 同上

2

同

上

決済 条か 取引 て得た額 有 価 5 取 \mathcal{O} 証 第 引 約 券 を 三十 \mathcal{O} 定 等 信 約 決 \mathcal{O} 用 九条までに規定するリスク・ウェ 定 済 引 額に、 IJ 日 渡 ス 0 ク • 四 営 又 取 は 引の ア 業 資 セ 日 金 相手方の ット 後 \mathcal{O} ま 支 0 払 で 額とする。 \mathcal{O} を 種類 期 行 間 に はた 応じ、 日 イト 当 カコ 第二 該 5 を 非

+乗

同反

時 七

対

ľ

同

上

- 150 -

3 パ る 認 IJ \Diamond 決 ス セ 5 済 ク 取 n 的 \vdash るとき 引 手 ウ 0 に エ IJ 係 採 イ ス は る 用 1 ク・ウェ 工 組 に 第二十ポ 合 代 は えて、 1 七 1 前 \vdash 条 ジャ 当 項 を 用 カュ 第 該] ら 非 いること 第 号 \mathcal{O} 同 合 時 +計 場 決 八 額 済 が 条 が 12 取 で 引 ま 重 お き で 要 \mathcal{O} て、 に で 全 て 規 な に 定い非 す لح 百 同

5 4

済 す 目 る 取 を 前 引に とき 適 各 用 項 す 係 は 0) る る 場 ŧ 工 当 合 \mathcal{O} ク 該 に とす ス 各 お ポ 項 1 る] に て、 ジ 規 ヤ 定 信 でする] 用 に IJ 同 ス 対 時 L ク 決 • て 済 ア 取 セ 百 引 ツ 1 又 1 は セ \mathcal{O} 非 額 1 同 を 時 算 0 決 出 掛

格 付 使 用

第 る 五. 場 手 る 信 + 法 信 合 用 六 を 用 に IJ 条 適 IJ は ス 用 ス ク 適 標 削 L ク 格 準 な 減 格 的 V T 手 付 手法 Ł セ 法 機 \mathcal{O} ツ \mathcal{O} 関 採 لح 1 利 が する 用 \mathcal{O} 用 エ 組合 額 ク \mathcal{O} ょ ス は、 算 る ポ 出 効 当 1 該 果 ジ に お が t 工 ク 既 11 て ス に に 信 ポ 反 付 映 用 1 与 さ IJ ジ す ス ヤ れ る ク 1 格 て 削 にい付

2 進 元 本 的 \mathcal{O} 手 法 4 採 償 用 還 組 可 合 能 は 性 信 用 を 評 価 IJ ス L た ク 格 削 付 減 を 手 用 法 0 い な 適 V 用 Ł に お \mathcal{O} لح 11

開 示

第 五. 項 るた を 七 開 8 示 に 標 る は 準 的 0 手 林 法 水 採 産 用 組 大 臣 合 及 は び 金 信 融 用 庁 IJ 長 ス 官 ク 削 が 别 減 手 に 定 法 8 を る 適

法 的 有 効 性 \mathcal{O} 確 保

す

3 るリス パ 認 時 1 \otimes 決 セ 5 済 ン ク れ 取 的 ・ ウ \vdash ると 引 丰 0 に エ IJ き 係 採 イ ス は、 る 用 1 ク 工 組 に 第二 ク 合 代 ウ は ス え エ + ポ て、 イ 七] 前 1 条 ジ 当 項 を t 該 か 第 用 1 非 5 1 号 第 \mathcal{O} 同 ることが 合 時 +計 決 九 額 済 条 が 取 に できる。 引 ま 重お \mathcal{O} で 要 て、 全 で 規 7 な 定い非 に す 百 لح 同

同 上

項 を加える。

格 付 使 用

第 る場 減 係 に 五 る信 手 信 + 合 法 用 六 を 用 に IJ 条 には、 適 IJ ス 用 ス ク 適 標 削 L ク 格 準 7 減 格 的 はなら ア 手 付 手 セ 法 機 法 ツ \mathcal{O} 関 採 な \vdash 利 が 用 0 用 工 組合 額 ク \mathcal{O} ょ ス は、 算 ポ る 出 効 当 1 に 果 ジ 該 お が ヤ 工 ク 既 1 て ス に に 信 ポ 反 付 用 映 1 与 さ IJ ジ す ス ヤ れ る ク て 格 削 にい付

2 準 元 本 的 \mathcal{O} 手 法 4 採 \mathcal{O} 償 用 還 組 可 合 は、 能 性 を 信 評 用 価 IJ ス L た ク 削 格 付 減 を 手 用 法 0) 1 適 7 は 用 な に 6 お な

開

第 用 五 す 項 + る を 七示 開 た 条 示 \Diamond に 標 な は 準 け 的 れ 手 ば 林 なら 水 採 産 用 大 組 臣 合 及 は び 金 信 融 用 庁 IJ 長 ス 官 が 削 別 減 12 手 定 法 8 を る

法 的 有 効 性 \mathcal{O} 確 保

第 とも 削 約 五. と に 減 す 係 手 八 ぶる文書 るも 法 当 を \mathcal{O} 該 適 IJ 取引 と は用 ス する。 す ク 取 る 引に 関 ア 場 連 合 セ 関 す に ツ には、 っる全て 係 \vdash する 0 当 額 全て \mathcal{O} 該 \mathcal{O} 法 信 算 の当 律 用 出 に IJ 12 照ら 事 ス お ク削 者 L を 7 て 拘 減 信 有 束 手 用 す 効 法 IJ ると なも \mathcal{O} ス 契 ク

第

2 標準 に 検 証するも 的 手 法採 のとす 用 組 合 は 前 項 に 規 定 す る 法 的 有 効 性 を 継 続

用 IJ ス ク 削 減 手法 か ら 生ずるリスク \sim 0) 措

八

を用 五. + 信用リ いる場合と信 条 適切 0 , スク削 に 対 応 減 用 進 す 手法ス 的 る 手 ため ク削 法採用 を用 減手法 いる場 0) 措 組 置を講 法を用い 一合に ずるも 発 い信 ない場が 生 一し得 0 とする。 こるリス っ合とを ク 削 減 ク 比 手 較 に 法

0 選

る。 を適 て、 用するため 条 適 格 標 金融資 準 的 に 手 産 法 当該各号 担 採 保付 用 組 取引に 合 に定 は つい め 次 る手 \mathcal{O} て 各 法 信 号 用リ を 用 掲 ス 1 げ るも る 削 場 減 0 合 とす 手 法 お

引 採 0 与. 用] 包 V 括 信 る 組 ケ 相当 的 合 資 ツ 手 が 産 \vdash 法 額 IJ 関 す ス ケ る ク ツ 7 オ 相 1 信 当 フ 用 額 IJ IJ 0 ス ス ラ 算 ク ク削 出 相 ス を 当 行 減 取 額 手 引 0 0 て 法 又 算 を 1 は 出 適 る 派 用 標 対 潍 す 象 とな る 的 取 手

取 前 公引に 的手法採用 号 以 用 外 1 るも 場 組 0 合 が 簡 前号以外の全ての 便 て選択した手法 手 法 又 は 包 括 的 適格 手 法 金 0 融 う 資 5 産 担 該

> £ 係 削 \mathcal{O} 五 でな に、 る文書は、 減 + 手 八 け 当 法 該 れ を ば 取 適 IJ 取引に関われる な 引 ス に関 ク な 連 関 場 ア す 係 合 セ る す ツ す る 当 \vdash す 該 0 て 信 額 て 0 用 \mathcal{O} リス 法 \mathcal{O} 算 律に 当事 出 ク に 照ら 者削 お を 減 拘 手 7 て 束 法 信 有 す 0) 用 るとと 契 効 IJ なも 約 ス にク

標準 に 検 証 的 L 手 な 法採 け れ 用 ばなら 組 合 は、 な 前 項 12 規 定 す る 法 的 有 効 性 を 継

2

的

条 を 加 え る。

手 法 選 択

ついて 六十 包 括 的 条 手 信 · 法 の 用 標 IJ 進 ス 的 ク削 ず 手 れ 法 か 減 採 を 手 用 用 法 組 合は、 を 適用 な け ればならない するため 格 金 融 なに、 資 産 簡 担 便 保 手 付 法 取 又 引 はに

価 証 券担 保 等 のリスク・ア セット 0 範 拼

工 価 ットの る場合に限る。 クスポー 証 リスク相 券による 条 0) 額を算出するもの ジ 当額 ヤー 担 標 保 準 ヘマ 0) を 的 及 び 提 信 手] 供する場合 法 取引の 用リスク・ ケット 採 とする。 用 組 相手方 . У 合 ス ア は、 に セ は、 ク に 相当 ット 有 対する信 当 価 の該 証 額 \mathcal{O} 額 有 又 価 \mathcal{O} 算 用リスク・ 出を は 証 貸 券に 付 Ì 又 は 行 ケ 係 0 て ツ る 有 ア

担 保 0 管

たす 六 ス ŧ ク のとす 削 減 手 標準 法とし 的 手 法 て 用 採 **,** \ 用 . る場合 組 合 は、 に は、 適 格 次 金 \mathcal{O} 融 各 資 号 産 \mathcal{O} 担 保 条 件 を を信 満用 第

ること。 権 当 を維持 該標 準 し、 的手 実 法 行 採 す 用 るため 組 合は、 に 必 適 要な 格 金 全 融 て 資 \mathcal{O} 産 措 担 置 保 を に 講 係 ľ る て担

な管理、 定するとともに、 され 適格 0 カュ 管 つ、 ている場合には、当 金融資産 理 当 を 視及び報告に係る方針を含む。) を整備し 該 適 切 適 担 格 に 次に掲 保に係るマー 実行 金融資産担保に係るリスク管理方 するために必 げる項目 |該標 準 ジン・ 0 的手 全ての管理方針 法採用組合は、 要となる体 ア グリー 制 (定 を て 針 追 1 整 **\ 期 を 加 が 的策 備 担締 る

変

気動 リ

ク

及

び

動 保

性リ

、スク 集中

特

定

 \mathcal{O} ス 契

種

類

担 流

 \mathcal{O}

ij

ス

ク

当

約

に

お

1

7

担

保とし

て

授受し

た

有

価

証

券

0

価

格

条を加 える。

担 保 管

六十 IJ ス ク 条 削 減 手 法 準 とし 的 手 て用 法 採 1 用 る 組 場 合 は、 合 に は、 適 格 次 金 \mathcal{O} 融 各 資 号 産 の担 保 条 件 を を信 満用

たさな 当該 け 標準 れば 中的手法! な 5 ない。 採 用 組 合 は 適 格 金 融 資 産 担 保 に

ていること。

を

維持し

実行

す

るため

に必

要

な

す

て

 \mathcal{O}

措

置

を

講

係

る じ担

同 Ŀ

[号を加える。

- 153 -

取 受け 引 相 入 手 れ 方 た 担 差 保 資 L 入 産 れ \mathcal{O} た 再 担 利 保用 0) カコ 5 権 生 利 ずるリ 放 ス

ク

五.

包担 保 \mathcal{O} 相

する場 六 として用 該 一合に 適 格 は、 金融資産 適 V 格 標 な 金 準的手法 融 Ł 担 資 0 保 産 とする 0) 担 採用組 保付 信 用 IJ 取 合 ス 引 は、 ク 0 が 取 れを 顕 引 著 相 信 な 手 用 正 \mathcal{O} IJ \mathcal{O} 信 ス 相 用 ク 関 IJ 削 を ス 有 ク 減

オ フ・ バ ラン ス 取 引 0) 担

して いう。 資産 却 産 信 れ 七 た担保に規 - 三条 0) 代金又は売戻条件付資産 担 Ŧī. 用 (以 保として扱うことができる。 条各号に掲げ 機 事 担 下この 能 保 由 を持 定するこ 資 提 が る場合に限る。 発生 供 産 準 条におい \mathcal{O} 的 資産 取 原 現 手 る たと 因と 金 引 法 に ŧ 若しくは である場 採 て「担保とし 0) き な お 用 いて、 である場 に 0 組) 、買戻条件付資産売却における 座購入に て 合 合に 有 担 1 は 保と 価 有 る 限る。 合に 証 おける購入資 借 価 第 ての 同 券 証 入 兀 資 は 等 券 に + 機能を持つ資産 ょ \mathcal{O} 産 九 が \mathcal{O} これを る 次条各号 効果を提供 貸 条 取 担付 第 産 引 保 に 際 適 項 \mathcal{O} \mathcal{O} 格 提 又 担 相 し 0 · 保 と 供 て 受 は こと す 手 表 金 Ś 第 方 \mathcal{O} に

便 手 法 を 用 1 る場 合 0 適 格 金 融 資 産 担

六 十四四 掲 げ るも \mathcal{O} 簡 とする。 便 手 · 法 を 用 1 る場 合 0 適格 金 融 資 産 担 保 は 次

現 金 及 び 自 組 合 貯 金 組 合 が 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ] に て

> 兀 同

上

担担 保 \mathcal{O} 相 関

する場 と当該 として用 六 十二条 合 適 格 いて 標準的 金融資産担 適 格 は ならな 金 手法採用 融資産 保 0) 担 組 保付 信 合は、これ デ 用 リ 取 ス 引 ク 0 · を信 が 取 顕 引 著 相 用 IJ な 手 ス 正 0) ク \mathcal{O} 信 削 相 用 減 関 IJ 手 を ス

法 有 ク

(オ フ・ ラン ス 取 引 0) 担

が に 担 担 に 六 次条又は お 保 保 保 規 + -三条 け 提 資 定 供の原規 る売 する て扱うことができる。 却 第 取 標 次因とな 六 金 引 代 進 + 金 若 に的 又は 五. L お 手 条に掲 0 < 法 7 てい 、は有 売 て 採 戻 用 八条件付为 げる資産 る 価 有 組 借 証価 合 入資 券 証 は 券の 資 に であ 産 産 ょ 第 る質付 購 兀 る場 買 入 + に 戻 保に 九 条 合 お \mathcal{O} 際 条 け 件 提 第 は る 付 供 7 受入 購 資 に 項 お 第 入 産 資 売 いれ れ 産 却 7 た

第 簡 便 手 法 用 V 場 0 適

を

る

合

格

金

資

六 + 兀 条 同 上

現 金 及 び 自 組 合 貯 金

クレジット は 1 IJ 限 IJ り ス IJ ク で ク 債 な 相 を発 1 当 相 IJ 額 当 行 以 \mathcal{O} 額 して 下 算 同 債 出 算 ل を発 を 行 出 る場合を含む 行 対 7 る V. る場 組 合に ただし、 お

ティ若しくは 建ての債券 が 日本国 適用される国 連 政 府若 又は国 標準的 欧 (州安定メカニズ 際開発銀行の発行 際 \langle 決済 手 は 法で零パ 我 銀 が 行、 玉 0) 1 玉 地 ム、 セントのリスク・ 際 方 する債 公 通 欧 外州金融 貨 共 基 寸 券 金 体 安 が 女定ファ 欧 発 州 行 中 ウ す シリ エ 央 る 銀 1

当するもの イからハまでのいず 適 格格 付 を除く。 機 関 が 格 れかに該当するもの。 付 を付与し ている債券であ ただし、 0 て、 前 号に 次 該 \mathcal{O}

は、 す 3 (1) に より付与された格 るも 及び 掲げる主体 イに 第三十六条第一項の表を準用するもの ホ (1) 0) 掲げる を除 3 又は6-において同じ。)が2-3 0 債 発行する債券に付与され 券 付に対応する信用リスク区分(第 以 以上であるも 10 外 (再証券化 0 債券であっ 工 ク スポ て、 3 た格 適格] とする。 ジ 3 付につい 格 t] 付 3 次号ニ 三十 に 0) 2 該 関

は ハク区分 とする。 た格付については、第三十七条第 3 (第三十 再 次号二22及びホ22におい 機 証 関 券化 - 条に掲 に より付 工 クスポ げる主体の 与され、 ージ た格 ヤ] 発行する . て 同 付 項 に該 U ° の表 に 対応 当 を準用 債 す 券に Ś が す Ś 5 ŧ \mathcal{O} す 付 を 3 る 除 又 も 与さ 用

同

建ての IJ イ トが ティ若しくは 日 本国 適用さ 債 券又は 政 同 府 れ 体 若 は標準的 る 玉 欧州安定メカニズ 玉 くは 際 際開発銀 決 済銀 手法で零パー 我 が ы 行、 玉 行の発行する債 0 玉 地 際 方 ム、 セント 通 公 貨 欧 共 州 基 寸 . の リ 金 体 融 が ス 安 欧 発 定 ク 州 行 ファ 中 す 央 ウ る 銀

兀 同

同 上

ジ \mathcal{O} れた格付については、第三十六条第 ょ とする。 又は ヤーに該当するも り付与された格付に対応する信用リス イ に が · 掲 げ 第三十五 2 | 2 | る 次号及び 債 条に掲げる主体の発行する債券 4 以 0) 第六十 外の債券であっ -3 又 は を除く。 九 6 条 第 以上 10 項 て、 項 再 証 第 0) あ ク区分 適格 号に 化 を 進用 上エクス (第 お に 付 V す 付 機 くる も て + ポ 与 関 同

 \mathcal{O}

く。)以上である短期の債券

五. 撂 る条 格 付 関 が 格 を 付 満 を たす 付 与し É \mathcal{O} て な 1 債 券 で あ 7 次

主体であること。

主体であること。

主体であること。

を持者が第三十四条から第三十五条の二までに掲げる条件の全てを満たすもの

ュ・、各一

(1) 又 は の 区 次の 分に応じ (1) 又は(2) に (2) 定 \emptyset 掲げ る格 適格 付を下 格 る発行者 付機関 口 「 る 格 が当該 が 負 付 0 を 同 7 付 順 与 位 る L 0 同 て 債務 順 1 位 0) 債

(1) 応す 短 期 \mathcal{O} 債 付券 以 外 0 債 3 3 0 信 用 IJ ス ク 区 分に

(2)短 期 の 債 券 5 3 \mathcal{O} 信 用 IJ ス ク 区 分 対 応

朩 (1) 信 (2)に掲 用度を下 標付 準 的 げる債 手 回ると信ずるに 法 採 券の 用 組 区分に応じ 合 が 足る情 該 債 報を有しない 当該 券 0) (1) 信 又は22に定め 用 度 が 次 0 (1)又

対 応す 短 期 る格付 \mathcal{O} 債券 外 0 債 券 3 3 0) 信用リスク区 . 分に

(2)短 期 0 債 券 5 3 0 信 用 IJ ス ク 区 分 に 対 応 す

へ [略]

スク相当額 定する指 指 定国 (平成十九年金融庁告示第五十九号) **金** 定国 及び 商品 基礎 をいう。 取 的 引 IJ 業者 以下同じ。 、スク \mathcal{O} 相当額の 市 · 場 リ の代表的 ス 算 第 出 相 0 基準 条第四十 な 株価 下等を 取 指 引 ...数を · 号 に 定め 先

債券スポージャーに該当するものを除く。) 以上である短期

0

に 掲げるす 適 格 格 付 機 7 関 0) が 条 格 件を 付 を 満 付 たす 与 i É て \mathcal{O} V な 1 債 券 で あ 0 て、 次

五.

ること。 発行者が第三十四条又は第三十五条に掲げる主体で

イ

二 発行者が負っている同順位の債務に対[ロ・ハ 同上]

を

下

回る格付

を付与していないこと。

が、4-3又は5-

-3の信用リスク

区

. 分

に

対

応す

る

格付

付 機

適

格

格

朩 る ク 情報を有しないこと。 区分において4― 準 的 手 法 採用 組 3 又 合 が は 当 5 該 3 債 を 下 0 口 信 ると 用 度 信 が ず 信 っるに 用 IJ 足ス

[同上]

等 取引先リスク相当額 庁 を定 告示第五 指 定国 め る件 \mathcal{O} 4十九号 代 表的 第 (金融商品取引業者の市場リ 及び基礎的 株価 第 指 匹 一号に リスク相当 掲 げ 年 る 指 額 の算 月 定 玉 出の基準 日

する 成 ずる 権 株式 利 を 付 を 3 発 れ行 た す 社 る会社 債 屋をいう。五社の株式 式 等 以 下この 株 式 節 及 に び 株式 お 11 てに 同転

· う。 投資信 であっ 託 その て、 他こ 次 れ に に · 類 す 掲 げる条件 る 商品 0 议 全てを満たすも 下「投資信託 等 لح

略

包 括 的 手 法を用 いる場 合 0 適格金融 資産

第 十五 当 形 条各号に掲げるも 式 額 12 \mathcal{O} 条 0 該当 算 取 包括的 引 出 す で \mathcal{O} る あ 対 象に な 手法を用いる場合の の及び次に掲 \mathcal{O} 7 を な 取 除 引 7 対 象 る に \mathcal{O} げるものとする。 ŧ 資 0 V` 産 適格金融資 7 が 再 は 7 証 券 適 ケ 化 格 産 金融 工 ただし \vdash 担 IJ 保 資 ス 産 ポ ス は 担 ク

前

条

に

掲

げるも

0)

及び

次

0

各号に掲げるもの

とする。

は

0

範

囲を限

定し

次に掲げる条件 \mathcal{O} 全 て を満 た す 投資信 託

1 口 略

適 格 金融資 産 担保 \mathcal{O} 計 算方法 0) 例外)

トに 簡 1 便 ジ + 手法を用い ことができる。 代えて、 掲げる要 五. クスポ] 条 か 二 0) 該 額 工 Ì 件 のう 第二号に規定する第三者の クスポ ないも ジ 標 \mathcal{O} 5 ヤ 全 準 当該 てに 的] \mathcal{O} 手 に とする。この 該当する場合に 適 適 法 ヤ 2採用組 一用され 格 金融資産担 の取引相手方の 合は、 るリ 場合に ス 保に相当 は、 金融機関 ク 適 格 お 金融 包 ウ IJ 括 エ 、スク・ て、 に す 的 資 1 ź 対 工 手 産 部 ク を す ウ 法 担 分に る 工 ス 又 保 適 直 1 ポ はが 用

> 会 社 債をいう。 な株価 \mathcal{O} 株 指 式 数 等 を 以下この節において同じ。) (株式及 、 う。 以 下 び 同じ。 株 式 に 転 換 構 する権 成 する株式 利を 付 を さ 発 行 れ た す 社

. う。 イ 投資信託 口 であって、 同上 そ 0 他これに類する商 次に掲げるす べての 品品 以 下 条件を満たすも 「 投 資信託等」と

第 六十五条 包 括 的手法 包括的 を 用いる場 手 法を用 合の V 適 る場合の 格 金 融 資産 適格金融資産 担 担 保

同

次に 掲げるす 7 0) 条件を満 たす投資信

イ・ 口 同上」

を加 え る。

- 一 第六十四条第一号に該当するものであること。
- げ 别 管理さ る者を除 れている場合を除く。 \mathcal{O} 金 融)において管理されていること(ただし、 機 関 **外** 国銀行 を含み、 第 条第七号 口 に 掲 分
- 2 なるときは、 前 より算出するもの 項 への場 合におい 適 格金融資産担保に相当 て、 とする エ クスポ 1 ジ する部 ヤ لح 分の 担 保 額 0) は 通 次 貨 0) が 算 異

 $* = C \times (1 - Hfx)$

C*は、エクスポージャーと担保の通貨が異なる場合における 適格金融資産担保に相当する部分の額

は、適格金融資産担保の額

ご適 5 Н 算出す 用する \mathcal{V} ポージャーと適格金融資産担保の通 ものとする。 ボアア 41 イリティ調 (汝款 Ĩ1 定め 貨が異 Ø 2

所要自己資本の額の計算)

第六十六条 又は 額」という。) 0 $* = E \times (1 + He)$ 適格金 は ヤー又は適格 額 下 以 同じ。)を用い 信 一融資産 下 用 標 リスク削 準的 信 を、ボ 手法 金 担 用リスク削 保の価 融 ラテ て次 -資 減手 採 $C \times (1 - H_c - H_{fx})$ 産 用 イ 0) 担 格 法 組 リティ 算式により 減手 変動 を適 保 合 は、 \mathcal{O} 額を調 リスクを勘 法 用 調 適用 した 包 整 括 率 算出 後 整 後 的 <u>_</u> _ _ す 工 0 手 す クスポ 案し クス る 工 法 るも クス を てエ め ポ 使 0 ポ |] 用 とす ークスポ ジャー ジャー 値 す ジャ る 5 る 。 を 場

3*は、信用リスク削減手法適用後エクスポージャー額(ただし、零を下回らない値とする。)

弘は、エクスポージャーの額

所要自己資本の額の計算

下 合 格 額 いう。)を、 六十六条 王 ※ 同 又は適格 金融資産担 下 用 $E \times (1 + He)$ 信 リスク を用いて次 標準的 金融資産 ボラテ 用 保の価 IJ 削 ス 減 手 ク削 イリティ 法採用 担 手 格 の算式 -C \times 法を適 保 変動リスクを勘案してエクスポ 減 \mathcal{O} 手法 額 組 調 により (1-Hc-Hfx)を調 用し 整率 合 適用 は、 た後 整 後 (エクスポー 正するた 包 工 出 0 括 クス 工 的 な め ク 手 ポ け ス 法 れ ポ 値 ジャー を ば 使 ヤ なら 用 う。 又は す ヤ 額 る ジ ヤ لح 適 以 \mathcal{O}

E*は、信用リスク削減手法適用後エクスポージャー額(たし、零を下回らない値とする。)

Eは、エクスポージャーの額

NH 渡 定 \mathcal{N} V 貧 中 \mathcal{V} 産の種類 北。 盐 Щ 盤 4 Ñ S [尽 H が第 رة ا \mathcal{O} 越 4 口 から 適 用するボ ないて、 夈 徭 VI 項の 41 取引 レン 表の第 盐 41 # \prec 七 4 中门 鵬 (1) 麩 迌

蔨 裕 資 産担保の

エクスポージャー 適格金 融資産担保に適用す と適格金融資産 ω 出 41 保の \subseteq 涶 41 宣 が異 鵬 翙 7 B

ボ ラテ イ IJ テ 調 整 率

-八条 て、 とする 次 目 に 進 定 的 \Diamond 手 法 る 採 準 用 的 組 ボラテ 合 は、 ボ イ ラテ IJ テ イリ イ 調 整 テ 率 イ 調 を 整 用 率 1 に る

に適 田 ずる ボラ 41 41 イ調整

> He/は、 \mathcal{O} 4 中 資 産の種類に応 1 Н 盐 V 账 K 盤 4 ₹ % 1 **(**'; 7 \mathcal{N} 4 郝 [適用す \Box Zy. Ĩ1 なころ、 Ŋ 十九 爿 VI 桑朱 41 取引 無 . ب ت 盐 屈 41 # 徭 号人 力 鵬 Ĩ, · に規 14 定 渡

Clt, 嵐 裕 ④ 劑 鶭 産担 !保の

Hc/は、 Hfxは、エクスポージャーと適格金融資産 郝 に適 適格金融資産担保に適用す \mathbb{H} する 头 41 リゲ · イ 調 ω 整 头 41 哲 保の \subseteq 闽 41 宣 が異 鵬 麩 3

(ボ ラテ イリテ 調 整 \mathcal{O} 種

第 三目 六十 ての て、 る 凣 取 ポ 定 条 た 引につい 第一 8 \vdash る 庁 フ 目 進 組 的 自 よる承認 てこれを継続し 定 手 組 オにおける取引を除 \Diamond 法 合 る 採 推 用 計 0 準 組 ボ 取 テ 的 合 ラ 消 ボ テ は て用 ラテ IJ 1 が ボ IJ テ なさ いなけ ・ラテ イ 1 テ IJ き 調 れ 整 テ イ 調 な ればなら IJ 推 整 率 イ 計 率 調 テ 限 が 用 整 イ 可 用 率 調 能 重 る 又 整 V 要 る は 率 第

的 ・ラテ イリティ 調 整

率を用 引に

いる場

合に

お

1 法

て、

包 組

括的

手

法

計

算

0

対 イ

象とす

る 調

て毎

営

業

日

 \mathcal{O}

時

価

評

価

額調

整を行

お 取 整

つ、

保

有

期

間

(ボラテ

イリ

テ 又 は

イ を

調整率 担 保 0 的

を計算する

際 て

に、

保

有すると仮定する期

間

う。

以下この目

カュ

6

九 準

標

進

的

手

採

用

合

が

標準

ボ

ラテ

IJ

テ

1

的 条

ボ

ラテ

イリティ

調

整

テ 目 資 カュ 0

整

ずは、

次の各

に

掲

げ

る場

合

 \mathcal{O}

区分に応じ

当

該

定め

る

ŧ 率

0)

とす

る

I ま で に 産を

おいて同じ。

) が 号

十営業日のときに用いるボ

ラテ

第 り、引 、 に かつ 第 当 に 率 六 該 を用 十九 定 資 め テ 目 (産を保 つ、 る イ までにおいて同じ。 条 · る場 ŧ 調整率 て \mathcal{O} 毎 標 **将期間** とす **%合にお** 有すると仮定 淮 営 うは、 的 業 る。 手 日 次 V) 法 (ボラテ 0) 0 て、 採 時 各号に 用 価 が する期間 包 組 評 イリ 括的 合 十営業日のときに用い 1.掲げ 価 が ティ 又 標準 手 る場 は をい 法 調 担 0 的 合 保 整率を計 計 う。 ボ に 額 ラテ 算 お 調整 以 0 V 下こ 対 イ て、 算する を行 象 IJ るボ 0) غ テ 当 該 す 目 イ ・ラテ 7 各 か る 調 お 取

	II.	
等 信 格 荷 格 格 格 格 格 格 格 校 応 対 応 す る 分 る の	に応じ、次のに付与した格	適格金融資産
残 存 期 間	表に定める。	担保が債券
特定の発特定の発 特定の発特定の発 行体の場行体以外 であって がカーであって がカール がカール がカール がカール がカール	ボラティリティ調整条件、債券の残存	である場合 適格
一場ジク証 セ合ヤス券 ン(1ポ化 トパの1エ	率間	格付機関が債

、 3 1 2 1 2 4 1 2 3 4 1 2 3	該当する場合・一十四条第三号に一	6 6 4 3 1 1 6 6 5 4 2 1	が1-1、2-1	等 信 用 リス カ に 対 応 する 発 関 の
年以下	五年超	年以下超五	年以下	残 存 期 間
_	四	1.1	圧・○	セント) - 場 デラテ
二	八	四	1	ン (外 ジ ク 証 で の 行 特 マリンス 券 か そ 以 の 発 以 の を 以 ア オ と て 体 外 発
四	十六	八	1.1	調整率

るも

とす

号

に

お

十

年

超

+

が

1

第 項

三 \mathcal{O}

準条表

年 五.

下

以年

六

超

+

多の年年末文

七の

のの表十項

を

い以すー

兀

十六

第

は

る

券 体 +

付にの

に付発

つ与行

さ

年

下

以年

三

八

す

超

る

れ

一は、たり、

格

7)

超

五.

第三十

六

条

下

年三以年

兀

第

条

に

掲

げ

年

以

下

 \bigcirc

五

信

用

IJ

ス

ク

区

分

> で、次の表においる。 表そのが 定めの債券 の券 る 条件、債労がある場合 ボ ・ラティ 合 券 ij \mathcal{O} ラティ調 残 適 存格 期格 整率 間付 及 機 び関 発が 行 債

信用リスク区分全てのお	合条件を満たす場十年超の場合又は第六	者しくは7-3 年以下 - 10、7-2 五年超-	、6 - 6 、6 - 7 5 三 年 超 T	の 2 — 3、4 — 2、3 — 年 超 — 年 超 —	、 2-2、2-3 が1-2、1-3 -年以下	当する場合 四条第三号に該 当する場合 とは7-1、3-1 当する場合 よ3、6-2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 2、3、6-4 3、7-4 3 3 4 5 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8
期 十五	六	+	五.	<u> </u>	_	
	1+	+ =	六	四	=	
_	二十四		-	<u>-</u>	四	

が信	合条十の若、、	
3 1 用	件四場し66	6 5 4
場 4 ス	満第又は108	6, 3, 3,
合 スク は区	た 五 は 7 _{7 6} す 号 第	6 6 5
2 分	場の六329	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
間全	五 年	年日以下超
ての	超	下 超
期		五.
+		
五	六	三
	<u>+</u>	六
	=	
	_	
_	_ +	+
	四四	_

注 及び零 開 連合 行、 \mathcal{O} 地 発 関 係 方 銀 玉 特]際決済 定 公 パ 行 欧 共団 を] 関 州安定メカニズム、 Ø I いう。 発 を 体、 銀 ントのリスク・ウェ 行▮ · う。 行、 体とは、 地方公共団体 以下この節において同 玉 際 が通貨基 中 央! 欧 州 政 全 、 金 府 イトが適 融 金融安定 等 機構 欧 州 中 じ。 及 中 央 び 用 ファシリティ 央銀行、 政 `` 府。) 我 が され る 国の政 国の政 中 央銀 欧 州

表 に掲げる資産 ボラテ イリティ 種別 調整 に該当する場合 率 を 適 用 す る 対 その 象 で 該当す あ る 資 る資 産 が 産 次 種 \mathcal{O}

別に応じ、同表の下欄に定める	ボラティリティ調整率
資 産 種 別	ボラティリティ調整率
指定国の代表的な株価指数を	
構成する株式を発行する会社	二十パーセント
の株式等及び金	
上場株式(指定国の代表的な	
株価指数を構成する株式を発	三十パーセント
行する会社の株式等を除く。)	

注 公共 銀 体、欧州安定メカニズム、欧州 玉 関 行 パ 際決済銀行、 たいう。 特定の発行 団 をいう。 ーセントのリ 体、 地方公共団 以下この節 体とは、中 玉 スク・ウェイトが適用され 際通貨基金、 体金融機 において同じ。 -央政 金融安定フ 府 構及び 欧 等 州中 中 央 我 央 アシ 政 が 銀 国 我 行 0) が る IJ 政 玉 玉 テ 欧 央銀 際 イ 州 府 \mathcal{O} 地 開 及 共 関 同 係 方 発 び

表に掲 別 に応じて ボラティリ げる資産 同 テ 表 種別 1 の下欄 調 に 整 該当する場合 率 に定めるボラティリティ調整 を 適用 でする対 その 象 で 該当す あ る 資 る資 産 が 産 次 種の

グルカー・ 十三の一 オルグる・	
資 産 種 別	ボラティリティ調整率
指定国の代表的な株価指数を	
構成する株式を発行する会社	十五パーセント
の株式等及び金	
上場株式(指定国の代表的な	
株価指数を構成する株式を発	二十五パーセント
行する会社の株式等を除く。)	

げ 名	号及び第六十五条各号に掲の取引について第六十匹条
式の	
) <u></u>	れる担保の提供に用いる
出	取引に係る与信相当額が算
の三十パーセント	出する場合においてこれら
	間取引に係る与信相当額を
期	商品取引若しくは長期決済
生	、SA―CCRを用いて派
合	る与信相当額を算出する場
<u>b</u>	条第一項の表の第七号に定
<u>九</u>	(当該資産について第四十
産	適格金融資産担保以外の資
	[略]
ができる。	
の加重平均値を用いること	
れるボラティリティ調整率	
当該資産及び取引に適用さ	
なすことができるときは、	
取引を直接保有する者とみ	投資信託等
資信託等の個々の資産及び	
この場合において、当該投	
整率のうち最も高いもの。	
用されるボラティリティ調	
投資信託等の投資対象に適	

	[同上] 等
二 十 五 パ ー セ ン ト	整率のうち最も高いもの投資信託等の投資対象に適

2 一角に限る。 十条から 略 第七十四 以下同じ。 資 産を用 条まで 削除 る 場 除

> 同 上

2

第三目 自 組 合

自 組 合 推 計 ボラテ イ リテ イ 調 整 率 \mathcal{O} 使 用 \mathcal{O} 承

推

計ボラティリ

クティ

整

推 七 計 ボ +包 条 括的 ラティリ 標 手 準 法におい テ イ調整率 け 採 るボラティリティ調 用組 · を 用 合は、 いることが 行政 分庁の できる。 整率として自 承認を受けた 組場 合 合

第 げる事 前 七 (承 \mathcal{O} 一条 項を記さ 承 認 申 請 を受けようとする標準的自組合推計ボラティリテ 載した 0) 承 認申 請 書を行 政 イ 手 分庁に 法 調 採 整 提出 用 率 組 \mathcal{O} 合 使 な は 用 け

名 称 らない。

前項の 自 己 資本比率を把握 承 認申 . 請 書 に は、 L 管理する責任者 次に掲げ る書類を添付 0) 氏名 及び L なけ 役 職 れ ば

前 理 由 書

ならない。

第二号 に 規定 調整率につ とする責任を 者 0) 履歴

び ボラティリ 推 計 値 / ティ \mathcal{O} 利 用 調 方法 が つい 承 認の基準 て自組合推計 準に 適 週合していること|推計を行う方法及|

その 他参考 となる べ き 事 項 を 記 載 た 類

を示す書

類

0

** \

れ 次 に

な掲て

自 合 承 の 基

第 採用 ティ調 うかを審 七 お 組 け 合の推 整率 る 査しなければ · を 用 ・ラテ 行 計が定 政 いる 庁 は認 性 ことを テ なら 的 イ 調 第七 基 を承認するときは、:調整率として自組合:七十条の規定に基づ な 準 及び定量的 基 準に適合する 合 づ 当推 計 き、 標 ボ包 準ラテ 括 的 イ か 手 手 法 リ

前 項 $\hat{\mathcal{O}}$ 定定 性的基 準 とは、 次に掲げ るも \mathcal{O} を

2

含む信用リスク管理において利用されていること。 イリティ ボ ラテ ノイリテ 及び保有期間 1 調 整率 に 係 0) 推計 るデータが、信 に用いら れる資産 用供与 枠 0) 管 ボ ラテ 理 を

勢が確立していること。 リス ク管理指 針 につい ての文書が作成され、 その 遵 守 熊

次 \mathcal{O} 事項が、 定期的に 内 部監 査 に より 確認さ れ て 1 るこ

用 リスク管 号に 理において利用されていること。 規定す る デー タ が、 信 用供与 · 枠 管 理 を含 む 信

ること。 担 るために、標準的 保付取 更が行 ボ ボ ラテ ラテ 引の状況に関する適切なデータが把握 われた場合、その変更が妥当なものであること。 イリテ ・リティ ⁄ イ 調 手 調 法採用組 整率を推計する過程に関す 率 - の推計 合が を行うべき対象を確定 行っている適 格金融 され うる重 資産 て す

入手され ボラティリ 貫性及び信頼性を有すること。 テ イ 調 整 0) 推 計 で用 る デ タ が 適 時 に

・ラテ イリ テ イ 調 整率 0) 推 計 0 前 提 が 適 切 で あ る

項 0 定 基 準 1 لح は、 3 2 に 掲 3 げ るも 0 3 5

3

< 用 手 整率を推っ 、てはなら、 法採 組 上 合 \mathcal{O} 券に関 に 用 シ 格 担 組 彐 付機 用 保 計 な 合 IJ が実際 する発行 とし していること。 を勘案 関 ス が債 て差し入れられた債券に 区 券に に 分 者 た債 保有する債券又は当 に 0) 対 種 券 権別、格付、 応する格: ただし、 の区分ごとにボ 格付、 付 計 を付 存期 値 仙は、 基づく 該標準 ラテ 与 間 して 当 及 ŧ 1 的 該 ィ リテ正 ・イデ ー 手 標 る で 法 準 な採的 3

ている債券、 て \mathcal{O} 資産 の信 推計してい 格 に係るボラティリティ調整率 用リスク区 格 付機 株式等、 ること。 関が 等、投資信託等又は1分に対応する格付 1 3 2 3 は 4 を、 を下 適 格 3 個 口 若 金 「 る 格 別 融 \mathcal{O} 資 < 資 産付は 産 担 を 5 保 に 付 以 与 0 3 い外 し以

合には IJ ラ \mathcal{O} / ティ調 ティ 通 適 格 貨 0) IJ 金 整 テ 間 当 融 率を 1 資産担 \mathcal{O} 該 為 適格 調 個 替 整率 別に 金 保] 及 融 لح 推 び 資 1 工 当 計していること。 \mathcal{O} 産 ク 間 該 担 ス 表 保 ポ 0) 相 示通 \mathcal{O}] 関 表 ジ を反 貨 示 ヤ کے 通 1 映 工 貨 \mathcal{O} クスポ せ 建 通 て 貨 \mathcal{O} が ボ 価 異 ラテ ジ 格 な ヤ \mathcal{O} る イ ボ場

九十九パー ボ ラテ 1 ーセント IJ テ イ であること。 調 整 率 0) 推 計 0) ため \mathcal{O} 信 頼 区 間 が 片 側

Ŧī. 性が考慮 ボラテ 有 さ イ 間 れ IJ \mathcal{O} 設定 テ 調整率 に当たって信 0) 推計 に 用 用 IJ ス 1 ク る 0 Ŀ ス 高 \vdash 1 IJ 資 力 産 ル 0 流 動

ラテ その 測 期 間 数 テ が 値 イ に 調 年以上 整率 掛 目 を 0) 推計 であること 乗じて使用 に用いる す る Ł 場 ス 合 1 は IJ 力 ル 各 数 • 値デ デ

を 乗じて得 測 L た 日 たも カュ 6 \mathcal{O} \mathcal{O} 平 出 均 基 が 六月以上 日 ま で 0) であること。 期 間 0 長 つさに そ \mathcal{O} 掛 目

はい れ ること。ただし、 ばならない タが、三 ボ 当該 ・ラテ 必変動を イリ 月に $\dot{\mathcal{F}}$ ´イ 反映するため 口 調 市 以 整 場価格に大きな変動が 上の頻度で更新さ \mathcal{O} 推 計 の更新及び推 に用 、るヒ れ、 計が行 われなけれた場合に

更に 係 る 届 出

第七十条 いずれかに該当 七 十三条 承 認を受け 組 する場合 合 推 計 た標 ボ は、遅滞なく、 ラテ 準 的 イリテ 手法 採 イ その 用 調 組 整 合 率 旨 はの 及 び 使 そ次用 の のに 内 各 2 容 号い をのて

一 承認申請書の 日の記載事で 日なければな 項 に変更がある場

ならない。

合

る

承 認 申 書の 添 付 書類 \mathcal{O} 記載事 項 E 重 要 な変 更 が あ

前 条に 規 定す る 承 認 \mathcal{O} 基 準 を満 たさ な 11 事 由 が 生 じ た 場

は、 前 当 項 第三 該 事 由号 を改規 善善 定 す す る旨 る 場 合に \mathcal{O} 計 画お を 記 1 手法 て、 載 標 L 用た 潍 書 的 面 手 又 法 は 採 ノスク 承 用 認組 出のの合

2

観 基

点 準

から

 \mathcal{O}

説

明 該

を記

載

L

た書

面

を速

B \mathcal{O}

カュ IJ

に

提

け

れ

ばならない。 重要でない旨 を

満

たさないことが

当

標準的

採

組

合

(承 認 \mathcal{O} 取 消

第 的 七 手 + 法 四 採 条 用 組 行 合が 改广 同 は 条 第二 前 条 項 第 に 定 項 \Diamond 各 る提出 一号に掲 げる場 義 務 を 怠 合 0 又 は た 場 合 準

(ボラティリティ調整率の調整

第 るボ テ ・ラテ イ は 五. 調 標 イリ 整 準 率 テ 0 格 調 金 調整 及 資 用 び担担 率 産 組 0 担 合は、 調整 保 保 額 付 を 調 最 取 行 整 低保 引 うも 一又は に 包 有 0 時 期 括 とす 価 間 的 評 手 12 価 法 ょ る を \mathcal{O} 頫 用 ボ 度 ラ 1 に テ る ょ イ 場

- 2 に そ れ カコ ラティ れぞれ らホ ボ 調 期 調 前 整」は ・ラテ 整 間 づ 項に 率の を上 まで ・リテ き イ 定 調 に 口 IJ お イ [る場 · 掲 げ 整 テ 11 る 該 を省略 て イ 適 · の 算 定め 合 調 る 率 格 整 適 が 低 金 することが は、 率 る 前 格 保 融 スを用い が 提としてい 金 有 間 期間 最 前提とし 融 産 低保 資 担 て行うも 産 保 に 下 できる。 付 有 担 よるボ てい · る 保 · 保 付 期 最 取 間 引に用 低 0 ラテ に る 保 取 有 とす よるボ 引 保 期 有 間 イ 有 \mathcal{O} 期 る。 期 間 種 及 IJ ようと ・ラテ 間 Ü テ ただ 類 لح が に 第 1 イ 最 応 する し、 調 う。 IJ 低 じ 号 整 て テ 保 当 1 ボ 率 2
- る期 テ 間 イ 低 とする。 保 グ 有 期 セ 間 は、 1 0 次 X 0 分に 1 からホ 応じ、 **水までに** 当 該 1 掲 か 5 げ る ホ 取 までに 引 及 定 び ネ
- イ び ŧ \mathcal{O} ポ を除 取 形 引 式 0 \mathcal{O} 4 取 を 引 含む \mathcal{O} 五. う 営業 ち 担 テ 保 額 調 グ 整 15 セ 服 ツ \vdash 7 ホ V る に 該 ŧ 当 \mathcal{O} す 及
- 同 用 資 0 本市 うち 引その 担 取 保 他こ 引 額 調 (適 整 に類する海 格 服 融 資 7 産 外 るも 担 0 保 取 付 0 引をい 派 及 生 U 商 う。 品 以 取

さ 組 せ ること 0 て、 て第 が 自 不 組 七 谪 合 + 当 推 条 لح 計 0 判 ボ 承 断 ラ 認 テ L を イ たとき リテ 取 り 消 は イ すこと 調 当 整 該 率 が 標 を 進 継 的 続 手 L 7 法 採 適 用 用

(ボラティリティ調整率の調整)

ラティリ イ 七 調 整 準 率 的 テ . の 手 調 イ 適 法 調 整 格 採 及び 整 金 用 率の 融 組 担 資産 調 一保額 は、 整 担 を 調 最 保 行 整 付 低 わ 又は 保 取 な 引 有 け 時 期 れ 価 間 包 ば 評 括 に な ょ 価 0 る 手 な 頻 ボ 法 度 ラ を テ 用 1 ょ IJ る る テ ボ

- 有期間 ラティ 該 にそ か 調整 れぞれ ら二までに 基 ボ 調 前 ラテ づ 整 項 を上 リテ 率 き E は . の に イ 定 第二 調 お IJ 口 1 め 当 掲げる 整 る場合 V テ 調 る 該 号 整 を省略することが て イ 谪 0 定め 調 率 格 算 整 適 が 低 金 式 は、 率 る 格 前提 保 融 が 金 箵 有 用 間 :期間 最 前 融 としてい 産 いて行うも 低保 提とし 資 担 産 保 に 下 できる。 有 担 ょ 付 · 最 てい る保 いるボ 取 期 保 間 付 公引に用 低 0 る ラテ に 取 有 保 لح よるボ 引の 保 期 有 す 有期 間 イ 期 る。 リテ 間 種 及 ようと ラテ 間 ただ 類 び لح が に 第 1 最 . 応 イ す 調 う。 号 IJ 低 ľ る 整 1 テ 保 て
- に . 応じ、 低 保 当 有 該 期 1 間 か は、 らニ 次 までに 0 1 からニまでに 定める期 間とす 掲 げる る。 取 引 \mathcal{O} 区 分
- イ に ポ 該 形 当 式 す \mathcal{O} るも 取 引 0) \mathcal{O} を うち 除 < 担 保 額 五. 調 営 整 業 服 V. る ŧ
- 下 引 同 及 び 0 信 他 用 資 \mathcal{O} 取 本 う 引その 市 5 場 担 取 保 他 引 額 調 れ 適 整 に類す 格 に 服 んる海 資 7 産 外 担 るも 0) 保 取引 付 \mathcal{O} 派 をい 生 商 う。 該 品 以 取

口

該 当するもの 他 資本市 場 取引 0) みを含むネッティ 十営業日 グ・セット ホ

セットを除 グ・セット(いずれか一方の その他 レポ形式 資本 \mathcal{O} 市場取 取 引 \mathcal{O} 十営業日 引に該 うち 担 取引のみを含むネッティング 当する取引を含むネッティン【保額調整に服しているもの及

有期間 の <u>ニ</u> きは、 も二倍以 ットについて、 ットについては、 の直 前号の 次の連続する二の を超える清 上の期間を最低保 近の連続する二の四半期 規定に 担保額調整に係る係争により、 同 期間を要する場合が三回以 号に か 四半 わらず、 有期間とみなす。 定める最低保 期 間 の間に、ネッティング 算出 は、 基 当 有期 準日を含 該 ネ 間 同 上生じ の少なくと 一号の最低保 む 兀 たと 半 セ

うための式は、 「最低保有期間によるボラティリティ調整率の調整」 次に定めるものとする。 を行

$$H_{\mathsf{M}} = H_{10} \sqrt{\frac{T_{\mathsf{M}}}{10}}$$

れるボラティリティ調整率 日の時価評価又は担保額調 当該取引に 嵐 \mathbb{H} 24 がなる | 軽を行っている場合に (以下同じ。 长低保有 期間の 滷 年 \mathbb{H} 胍 N

前号に定める最低保有期間 (以下同じ。)

なる第六十九条に規定するボラ 41

3

るものを除く。 -営業 日

同

号 細 分を加える。

同

の 二 以上の期間を最低保有期間とみなす。 間 場合が三回以上 争により、 でに掲げる には、 前 0 当該取引につい 前号の 直 近の 同号の最低保有期のいずれかの取引に 規定 連 生じ 続 する二の に たときは、 か ては、 取引に カ わらず、 期間を超える清 兀 最 半 ついて、 低保有期 期 次 \mathcal{O} 0 連 間 出 担保 続す 間の 基 る二の 少なくとも 算 額 司 . 号 イ 期 を含 間 兀 要す 係る 半 期 半 る 係 ま \mathcal{O}

二[同上]

$$H_M = H_N \sqrt{\frac{T_M}{T_N}}$$

HMは、当該取引に 日の時価評価又は担保額調整を行っている 田 N 低保有 場合に 俥 \mathbb{H} 胍 N

れるボラテ ボラティリティ調整率(以下前号に定める最低保有期間 (以下同じ。 (以下回

Hnを算出するために用いた保有 調整 対象となるボラテ イリゲ イ調整

上

3

ボ ラテ イ IJ テ 調 0 適 用 除 外

第 条の ない。 たす 算 - 六条 式 レ に ポ お 形 式 進 0 て 的 ボ 取 手 ラテ 引 法 に 採 イ 0 用 IJ V 組 ては、 ´ティ 合 は 調 整率を 第六十 次に 掲 適 六 げ 用 条 る すること 又 要 は 件 第 0 七 全 を + 7 要 九 を

方とする 当該 レ 取 ポ 引で 形 式 あ \mathcal{O} ること 取 引 が 中 核 的 市 場 参 加 者 を 取 引 0) 相 手

略

ともに ること、 金融 当 該 担 資 レ 産担 保 又 は ポ 領調 形 保 標 式 の準双的 整 0 取 服 方 手 引 に 法 が つき毎 7 採 取 1 用 引 ること。 組 0 営業 合 実 が 行 日 工 日 ク に \mathcal{O} ス 時 캪 ポ 営 価 評] 業 ジ 日 価 ヤ に を] 行 終 うと لح 了 適 す

九

2

これ を満 -八条 対 ポ する 形 類 式 た 法 す す 0 る海 場 進 的 取 に有効・ 中的 合 引 外 に 手 及 0 限 法 び な 取 ŋ 信 採 相対ネッティング契約の適 引 用 用 に V 組 取 つい ポ 形 合 引そ は、 ができる。 、て法的 式 0) 0 次 他 取 これ \mathcal{O} 各号 引 に 有 及 に び 効 類 定 な 信 す 用 め る 相 用 る全 取 海 対 ネ 引 外 その ツ 7 0 テ 0) 取

ることが る海 る全て 外の 者 できること \mathcal{O} 取引を適 \mathcal{O} 他 レ 方に取引を 方 ポ 形 時 式 0 者 取引及 終了させること 終 は、 了 させ 該 U 信 相 用 対 取 \mathcal{O} ネ 引 が 債 そ 権 テ で きる 0 又 イ は 他 事 債 グ 務 ħ 契 由 とす 約 が 類 下 生

· グ契

約

 \mathcal{O}

効

別果を勘:

案すること

ボ ラテ イ リテ 1 調 0 適 用 除 外

第

ティリ に 満 七 つい た L 六 テ て 条 イ調整・ は、 中 核 第六 的 潍 率 市 的 + を 手 適 六 法 、条又は 用 加 することを要しな 者 用 を 組 第七 取 合 引 は 一十九条の算式に対相手とするレポ 次 0 各 号 に ポ 掲 お 形 げ 式 \mathcal{O} て 条 ボ 取 件 ラ 引 を

[号を加える。

同 上

標準的 保の双方につき毎営 調 整に服 該 手法 取 し 引 てい 採 が 用 取 ること。 組 引 合 0 業 が 実 日 エ 行 ク に 日 時 ス 0 ポ 価 캪 評] 営 ジ 業 価 ヤ を 日] 行 に うとと と 終 適 了 格 す る ŧ 金 融 こと又 に 資 担 産 保 額担

5 八 同 上

2 同 上

 $\widehat{\nu}$ 0 適 ポ 用 形 式 0) 取 引 に 対 する 法 的 に 有 効 な 相 対 ネ ツ テ イ グ 契

第 条 件 効 七 な相 + -八条 を 対 満 ネッ た す 標 テ 場 準 合 イング 的 に 手 限 法 契 ŋ 採 約 用 0) 組 レ 効 ポ 合 果を 形 は 式 勘案す 0) 次 取引 \mathcal{O} 各 ることが に 号 0 に 11 定 て 8 できる。 法 る 的 全 に 7 有

に 又 じ た場合 ある全ての は 当事 債務 者 とす に、 \mathcal{O} 他 、ることができること。 方に V 方 ポ形式の取引を適時 0 取引を終了させること 当事 者 は、 当該 相 1対ネッ に 終 了 が さ テ で きる せ イ グ 事 契 \mathcal{O} 由 約 債 が 権 生 下

2 当該 法 グ 前 相 契 毎営業 採 項に規定する場 スク相 州組 対ネッティン \mathcal{O} 合 日 対 当額 にお は、 象 とな 次 0 V 算 グ契約の効果を勘案することができる。 0) て、 合に る取 各号に定める条件を満たすときに 出 の対象に含まれるときは、 当該相対ネッテ おい 引のうち一 て、 法 的 以 に 上 に有効な相 イング契約下にあ \mathcal{O} 取 引が 当 対 該 ネ 7] ッテ 限 準的 ケ り、 ツ イ

ット 当 該 6 であること。 いれてい . У 相 対 · る 担 ハスク相 ネ 保 テ 当 イ が 額 グ 包 0)]括的手: 算出 契 (約の対象と の対象であ 法 にお け な る取 る適 る 取 格 引 引 に 金 0 お うち 融 資 産 7 7 担用

ての取引を

時価

評

価

していること。

算 方 法

第

取引及 対 ネ るものとする。 に ・ッテ -九条 手法適用 有 父び信 効 イ な ング 標準 相 用 後 取引 対準 契約 工 クス そ ツ 手 0 法 0 テ 1 ポ 効果を勘案する場合に 他 採 これ ング] 用組合 ・ジャー 契約 に類する海 は、 下にあ 額を次の算式に 前 条 る 外 0 条件 複 \mathcal{O} 取引に は 数 0 を より算 満 信 レ たし 用リスク ポ 形 0 て 相 出 式 す \mathcal{O} 法

H -X- $0.6 \times$ M Ŧ \square К. M \mathbb{C} H V + スポージャー 0.4×≯ ્ 7 Н Z V \mathcal{V} . 分。 「 +M **(**'; $(E_{fx} \times H_f)$ 4 +

H * 類する海外の取引の信用リスク削減手法適用後 ジャー額(ただし、 Щ 該複 数 9 マ光 零を下回らない値とする 形式の取引及び信用 |取引 ψ Н - の 街 7 \mathcal{V} 삵。 7

 $\Sigma \mathbf{E} / \mathbf{t}$ 账 該複数のレポ 形式の取引及び信用取引その他 1

75

M

同 上

項 を加える。

方

第 的に 取引について相対ネ 信 七 十九 用 リス 有 効 条 ク削 な 相 標 準 減 対 手法 ネ ればなら 的 ツ 手 テ 適 ツ 法 用後 テ イ 1 ング 用 エ 組 ング契約 合は、 契約 ク ス 下に ポ] \mathcal{O} 前 効果 あ ジ 条 ヤ る 0] を勘案す 複 条 数 額 を次 0 を レ る ポ 場合 Ļ 形 式 式 0 法

H * || $\stackrel{\frown}{\boxtimes}$ Ę M 0 + \bowtie $(\mathbf{E}_{\mathbf{S}} \times \mathbf{H}_{\mathbf{S}})$ + M $(E_{\mathrm{fx}} \times H_{\mathrm{fx}})$

より算

出

しな

け

な

王*は、 後 エクス 当該複数のレポ形式の取引の信用リ ポージャー 額(ただし、零 4 기 미 Q_{λ} スク削減手法 ない値とす 滷

E/は、 当該複 数のレポ形式の取引のエクスポージャーの額の

あるレポ形式の取引に対するエクスポ第七目 法的に有効な相対ネッティング契約下	に類する海外の取引におけるボラティリ第七目 レポ形式の取引及び信用取引その他これ
Etxは、ネット・ポジションのうち、決済通貨と異なる通貨によるポジションの額の絶対値 Htxは、エクスポージャーと担保の通貨が異なる場合に適用するボラティリティ調整率	Hs は、Hsの絶対値 Efxは、通貨ごとのネット・ポジションのうち、決済通貨と異 なる通貨によるポジションの額の絶対値 Hfxは、エクスポージャーと適格金融資産担保の通貨が異なる 場合に適用するボラティリティ調整率
Esは、証券ごとのネット・ポジションの額の絶対値 Hsは、当該証券に適用すべきボラティリティ調整率	値の十パーセント未満の証券は、Nの数に含めない。) Esは、証券ごとのネット・ポジションの時価の絶対値 Hsは、証券ごとのネット・ポジションの時価の符号が正の場合にあっては当該証券に適用すべきボラティリティ調整率にあっては当該証券に適用すべきボラティリティ調整率に
	ネット・エクスポージャーは、Σ(Es×Hs)により算出される額の絶対値 グロス・エクスポージャーは、Σ(Es× Hs)により算出されるれる額 れる額 「Nit、ネッティング・セットに含まれる証券の数を指すNの平したが、 Fisがネッティング・セット内の最大のFisの
合計額 ΣCは、当該複数のレポ形式の取引の担保の額の合計額	に類する海外の取引において相手方に提供している資産の時価の合計額

率 下

ボ ラテ イ IJ テ 調 整 率 0 下 限 \mathcal{O} 対 範 囲

信用リ 三条第 相 条 ボ Ź 手と ラ ク 包 テ 項 行う 削 括 減効果を 的 お 次 手 法 掲 調整 |勘案できない げ 用 対 る 率の 象 取 る 証 引 標 下 準 限 (第八 金 的 (適 融取引」 取引を判定す 手 格金融資 法 条 用 第 組 産 合 . う。 担 が るため 項 保に 及 に び 特 よる 0 第 定 基 \mathcal{O}

準を . う。 以 る要 下 同 件 適用 するも ポ のとする。 形式の取

掲

げ

全

てを満

たす

- 適 格 金 融 資 産 担 保 が 中 央 政 府 等 \mathcal{O} 債 券 以 外 で あ る
- 口 担 を行 保 証 \mathcal{O} 券 提 \mathcal{O} 供 借 行 先 7 な V る 取 ること 引 0 相 又 手 は 方 証 券 対 \mathcal{O} 7 売 戻 現 条 金 件 付 ょ る 購
- る 取 第二号 提 証 供を 引 券 0 行 貸 つてい 借 掲 取 げ 引 る算式 るものを除く。) 取引 により \mathcal{O} 相 手 算出 方 の さ うち、 対 れ る値 第 現 が 金 +正 12 二条第 ょ る 値 で 担 あ 保
- 三 を 法 当 採 適 格 取 資 用 該 産 引 組 金 \mathcal{O} 担 合 融 潍 相 ょ 保 資 的 手 1) 産 手 方 借 担 法 が 保 ŋ 採 政 付 用 府 れ 取 組 引 た な 金 取 銭 担 ŧ を 引 \mathcal{O} 保 用 \mathcal{O} 相 限 7 手 る。 7 購 方 る 供 入 が 取 す す 当 のう る る 該 標 有 価 進 的 証 適 券 あ 手
- 兀 お 条 け 規 る 額 を算 定 ポ 出 形 ょ する法的 ŋ 式 信 取 用 引 IJ 及び に有効な相対 削 信 減手 用 取 引 法 ネッ そ 適 用 ティ 他 後 \mathcal{O} れ 工 ク 契約 類 ス ポ

モ デル 使 用

ス ポ 推 計 七 デ ル \mathcal{O} 使 用 承

スクと同 クスポ 第七 エル \mathcal{O} 価 数け V イ クスポ 変動 ・ング契 をい ポ たとき 格 \mathcal{O} + のボ 形 + 条 . う。 を除 用 額 式] ポ 八 をい の取 ジャ 様 Ì ラティリティと相 約 形 は、 条 前 以 き、 る場 \mathcal{O} 式 下 0) 条 . う。 下 方法を ヤ 引に に] 0) 法 同 これを継] ある 変動 取 合 規 じ。 以下この 額 に お 引 に 定 を算 満たす は、 け 用 複 額 に 有 に るネ 数 ** \ 推 0 を 続 出することができる。 行 使用して信用 て 0) 71 な 計 か 目に して使用しなけ 関を勘案し、 て、 ツ エ 相 場 わ 政庁による承認 レ 七 三対ネッ クスポ いらず、 デル テ ポ 合 お 形式 イング後 で 当 11 **(**法 該 あ て同じ。) ージャ 標準 0) テ 0 取引 的に て、 1 進 IJ バ 的 ス \mathcal{O} ン IJ ればならない。 有効な につい ク] グ 0 エ 手 を推 クスポ 変動 · 法 採 取 削 ただし、] 消 減 庁 採 て、 手 計 額 相 用 下 \mathcal{O} 用 ア が 法 す 対 ット 組 る ジャ 当 な 適 複 ネ 合 あ 債 認 合 該 用 モ 数 券 る ツ \mathcal{O} を は IJ のテ 七 後 デ \mathcal{O} 工 複

る前号に担 ッテ U 個 る 海 全て 外の 人に イ 取 掲 対 \mathcal{O} する法 げ 引 取 セ る取引に のネッティング・セットのうち、 引 ット が 的 現 (ただし、 12 金 係るも 有 又 効な相 は 中 0 央政 ネッテ を除く。 対ネ 府等 ッテ イ \mathcal{O} イ 債 グ ング契約下 券に 次に掲 セットに 係 るも げるネ . 含 ま にあ 0) 及

ものを除く。) ものを除く。) ものを除く。) おのを除く。) おのを除く。) おのを除く。) ものを除く。) はのないとのであるネッティング・セットである。 現金のネット・ポジションが正のネッティング・セット

-央政 我 が 玉 府 等 \mathcal{O} 政 我 府 が 関係 玉 \mathcal{O} 機関 地 方公 及び 共 外国 寸 体 0 中 地 央政 方 公 府以 共 団 外 体 0 金 公 融 共 機

株会社、 管 基準及び 員会の定め れている保険会社及び保険持株会社、 第三十 らと類 定 第三十五 を受ける外 (外国の る第 8 理 融機 る自 会社 五条の二 似 者に 条第一 関 種 流 \mathcal{O} (外 国 る自 動性 資本 国 基準 金 (限る。) 第 融 銀行 ゼ _ 第 商 0 項にお 比 己資本比 比 0 者を除く。 品 条第七号口に 及び銀行持株会社に準ずる外国 率の基準又はこれらと類似 率 銀行監督委員会の定め 適用を受ける第 項においてリスク・ 及び経営管理会社 取 0 以引業者 基 いてリスク・ウェ 率 準 及び の基準及び 外国 掲 流 げ 動 0) る 性 ゼ 者 種 流 (外国の者に限る。)、 比 を除く。 金融 ウェ イト る自 動 率 銀行監督 除く。 性 ゼル銀行監督委 商品取引業者 比 イトが規定さ 基 が \mathcal{O} \Box 率 潍 規定されて 基準の適用 資本比率の 及 び · の 基 五委員 の会社、 会の 行持 経

令 国 これ 第 並 第 0 び 者 条 及び らと に 条 前 第 \mathcal{O} 号に該 類似 保 険 第 + 持 0 項 当し 基準の 株会社 号 規 な 基 定 す に 適 玉 準 用 き る 際開発銀行 金 ず を受ける保 証 融庁長官 る 券金融会 外国 \mathcal{O} 者 険 社 が 例会社に 指 定す 貸 金 融 る短資 一業法施行 商 準ずる外 品 取 引

中 央清算機関

V

ボ ラテ 1 IJ テ イ 調整 率 0) 下 限 0 適 用除外)

ては、 ボ ラテ イリ 条 テ 規定 イ 調 に 整 カ 率 かわらず、 \mathcal{O} 下 限を適用 次に することを要しな 掲 げ る 取 引に つい

- れる取引を 次の 取 引 1 (証 又 券を借 は 口 に ŋ 掲 げ れ る 7 場 合に か 該 当 現 金を担 す る 現 保として差し入 金 担 保 付 証 一券貸
- って、 証券が長期 一又はより 取 引の 短 相 0 手方が 7 チュリテ チュリティにおいて再投資する場合が担保として差し入れられた現金を で 貸し 付 けら れ · る場 合であ
- 口 って た現 証券が できる場 金 取 場合保 引の 短期 のマ 再 相 投 手 · 方が チュリティで貸し付けられる場合であ 資 0 管 金 理を行 一融安定理事 って 会による提言を勘案 V ることにつ V` て 疎
- に 保として差 条第 項 第 入 号 れ に た証 掲 げ . る 取 券が 次に掲 引 で あ げ 0 る要 て 件 取 引 0 \mathcal{O} ず 相 手方
- ロ **再利用な 再利用な** 再利用すること !利用されないことを疎明できること| が 法令等により禁止され ること。

(承認 申 請

掲げる事項 ならない。 て 前 八 + 条の 一条 承認工 を記 を受けようとする標 載 し た] ジ 承 認 ヤ 申] 変動 請 書 · を 行 準 額 的 推 手法モ 政 庁 に提出にデルの L 合 使 は 用 な け に れ次つ ばにい

- 2 ならな 前項の 自己資本比索 承 小認申請 率 を 書に 把 握し は、 管理 次に掲げ する責任者 げ る書類を添付 \mathcal{O} 氏名 及 L び なけ 役 職
- 理由 書
- 前 項 第二号に! 規定する責任 者 0) 履歴
- の基 エクスポ 準に適合して ルージャ いることを示す書類・一変動額推計モデル 及び そ 0) 運 用 が 承 認
- その 他 !参考となるべき事 す項を 記 記載した 書 類

兀

れ

格 証 金 融 金 資 融 産 担 取 引 ,保に ょ る 用 リス ク 削 効果を勘案で きな

保を信 を満 各号に たす場 取 用リ 引を グ セ 合に ス 掲 含 む。 ク げる場 括 削 は 的 減手法として用い 手法 含 合の が 取引さ ま 該 を れ 対 X 用 . 分に 象証券金融取引に れ る る 単 応 標 対 ľ 準 ない \mathcal{O} 象 的 証 証 手 ものとする。 該 法 金 各号に 採 ポ 融 適格金融資 用 取 組 引 定め 合は に オ お る IJ V 要件 産 ネ オ 担 単 ツ

2

げ 引の場 る値を下 + 条 合 口 第 ること。 項 掲げ 第 る算 号 式 は第三号に に より 算 出 掲 げる対 さ れ る 象証 値 が 券 口 金 掲

 $\overline{\langle} \left(\frac{C}{E}\right) - 1$

Eは、エクスポージャーの額をいう。

7は、適格金融資産担保の額をいう。

口 証 る場合に るボラテ 券又は 次 率 項 \mathcal{O} 売戻条件付購 標 規定する借入 は 準 イ 的 IJ テ 下 証 イ 調 限 券 \mathcal{O} す 額 整 入した証 証 Ś 率 で 加 0) 標 担 重 一保とし 券の 準 平 的 均 種 L 下 た 限 類 ボ に応じて ・ラテ 複 数 の証 イ n リテ 適 6 用 券 れ イ

より 第 算出される値 12 掲 + げ 条 る算 第 項 を 第 下 回ること 号 掲 出 さ げ n る 対 る 値 象 が 証 口 券 13 金 掲 融 げ 取 引 る 算 \mathcal{O} 場

 $\frac{1}{\sqrt{\frac{C_B}{C_A}}} - 1$

(エ ク ス ポ 1 ジ t 1 変 動 額 推 計 モ デ ル 0 承 認 基

ない。び、 ジ ヤー 定 変 動 量 的 額行 基 推 政 準 計 庁 に モ は 適 デ 合 ル 第 \mathcal{O} す 八 る 使 + かどうか 用 条 を 0) 承 規 認 定 此すると を審 に 基 査 づ き き、 は な け 工 れ 定 性 ス ば 的ポ な 基

ヤー 署」という。 責任 て設置されていること。 前 工 項 クス を負う部 額を算出する \mathcal{O} ポ 定] 性 署 が ジ 的 ヤ 基 対 以] 準 信 象と 下 変 用 لح リス 動 「エクスポ は、 な 額 る取 へク削 0 管 次に 引 理 減 に 1 0) 掲 手 ジ 関 過 げ 法 る わ ヤ 程 適 ŧ 用 1 る 0) 設 \mathcal{O} 部 後 変 署 エ 動 計 カュ ク 額 及 ス び 5 0 独ポ 管 運 立] 理 営 レジ 部

う。)及びストレ 実 格 モ スティング(次条第一 する分析を行うことをいう。) デル 施 変 ヤ エクスポージャー 動が 手] 続を記 に 変 生じ つい 動 額推 た場場 載した書類を作 て、 計 ス・テスト 合 将 モデ 来の にお 変 項 動 ル に 額 価 けるエクスポー 0 定めるところ 格変動 0 <u>エ</u> 正 管 成していること。 を定期的 確 理 クスポー 性 部 に関する 0) 署 検 は に に 定 ジ ジ 実 よ適 を 仮 ヤー ヤ 施 ŋ 切 行うこと 定] なバ 変 を 変 工 そ 動 上 動 ク ツ ス 額 れ 口 額 ク • ポ に る 推 5 の関 価 計い

スポ 標 準 的 ジ ヤ 手 法採] 変 動 用 額 組 合 \mathcal{O} 管 \mathcal{O} 理 理 事が 手 , 続 に レポ 積 極的 形式 0 に 関 取 与 引 L に 7 係 る 1 る 工 ク

手 工 続 ク ス 密 ポ 接] 組 ヤ 4 込 変 ま 動 れ 額 推計 て 1 モ デ ル が 通 常 \mathcal{O} IJ ス ク

兀

Caは、貸出証券又は担保として差し入れた証券の額をいう。

CBは、借入証券又は担保として差し入れられた証券の額 ------

 $\frac{\Box}{\Box} \frac{1+f_B}{1+f_A} - 1$

標準的下限と 央政府等の債券 は証券の額 貸出証券又は担保 41 :の場 加重平均 41 かけ 調整 かいづ $rac{1}{2}$ 率の標 \neg したボ \sim 差し入れた \subset 準的下 41 複 数 通の 冠 41 . ||| (7: 巻に 7 桊 調整 A 1 24 蔨 巻の \mathbb{H} N 3

用されるボラテ 率の標準的下限 場合は証券の額で加重平均したボラ 中央政府等の債券の場合は零とし、 借入証券 は担保と 41 イ調整率の標準的下限(ただ して差し入れら かいつ ティリテ 複数の証 $\overrightarrow{7}$ 券 調整 Ĩ1 J 16

2 類 に 項 応じ、 0) ボ ラ 次 \mathcal{O} 表 IJ テ 定 めるも 調 整 率 0) をいう。 標準的 限 とは 証

証 券 0 種 類 る場 が あ 該 ラ 証 券化 政府 IJ 等以外 発 行 体 テ 調整 セ ント) 率 クスポ ある場合 該 0 証 標準 が 的 証 下 券 限

> 五. 遵 0 守されるた 方 工 針 クスポ 理] 及び の手段 ヤ 手続を記載した書類が 変 が 動 講 額 じら れていること。 モ デルの 作 :成され、 営に関 それ す á ら内 が部

レポ わ に れること。 形式の取引に係るエクスポージャー いて原則 て一年に 口 以 Ŀ \mathcal{O} 頻 変動 度で 額 内 0) 部 計 監 測 査 過 が

側 第 エクスポージャ 項の 「定量的 セントであること。 基 進 変動 額 と は、 \mathcal{O} 推 次に 計 0) ため 掲 げ るも \mathcal{O} 信 \mathcal{O} 頼 区 間 が 片

たエクスポー ること。ただし、五営業日を下回 をいう。 取引対象資産の た数値を、 すことができる。 値 を算出する際 以下この目において同じ。) 保有 ジャー \mathcal{O} 期 保有期間 間 変動額の推計 当該資産を保 を五営業日として算出し (エクス る保保 値を次の算式に)が、五営業1保有すると仮れ ポー 有期 間 ジ ヤ ょ 日以 た数値 って算出 定 により換 す Ĺ る で 算 あ間推

クスポージャー変動額の推計値(t) $imes\sqrt{rac{5}{t}}$

Н V Ш 14 \wedge \mathcal{V} 头。 \subset グログ \mathcal{O} (4 出したエク 4 う合に限 変 働 額の推計値 スポージャー (t) は、保有期 変動額(ただし、 盟

デー エ クスポ 0 測] 期 間 ヤ が、一] 変動額の 年以上 推 であること。 計 に 用 11 ると ス \vdash IJ 力 ル

ス 0)] 各 数 ヤ 値] 変 動 掛 目 額 を乗じ 0) 推 計 て使 に用いるヒス 用 す る場 合 卜 は IJ カ 各 ル 数

		+	その他の資産
			株式等
	,		式を発行する会社の
	١	7	価指数を構成する株
			指定国の代表的な株
	-	<u>D</u>	债
	11	9	残存期間が十年超の
	7	19]	年以下の債券
	'	Ξ.	残存期間が五年超十
	<u>D</u>		年以下の債券
	<u>u</u>	- • E.	残存期間が一年超五
1			債
		〇 五	の債券及び変動金利
			残存期間が一年以下

3 取 合は 次 引 条 に第 \mathcal{O} 第 当 決 事 済 項 号 者 ま イ及び お 標 準 期 口 的 間 同 12 手 掲げ 法 採 る算式 用 ず 組 ょ っ つ 合 に 及 該 て 担 お 担 び 取 保 保 7 引 勘案すること 第 徴 \mathcal{O} 求 相 項 手 が 第 行 方 を わ 号 れ

取引) 法的に有 格 金 融 資 効な相 産 担 対ネッティング契約下にある対 保に ょ る 信 用 IJ ス ク 削 減 效 果 を 象証券 戡 案 きな 金 融

十三条 イ セ ット 約 的 手法 12 を用 あ 計算 る 対 す る標 る第 証 準的手法 号 融 取 に 掲 引 げ 用 る算式 組 お は て に ょ ネッ 相 ŋ 対

> 目 を 工 クス 乗 計 でして 測 ポ L 得] た ジャ たも か \mathcal{O} 5 変 \mathcal{O} 算 動 出 平 均 額 基 のが、 準 推 日 六 計 ま 月以 に で 用 0 上 るヒ であること。 間 こストリ 長さに . そ 0

五.

け て ** \ れ は ば ること。 タ なら が 当 三月 該 変動を ただし、 に 口 反 以上 映するための 市 場価 \mathcal{O} 頻度で更 格 に大きな変動が 更新及び 令新さ 推 推計 みら 計 が 行 れ が 行 カ た場 わ カル れ 合れ な

4 らない。 る債 な 標準的 券の 流動 保 手 法採用 有 性に 期 間 を 鑑 組 み 五. 合 て必 営 は、 業 要と認 日 推 よりも 計 \mathcal{O} め 対 象と 長 5 い対る な 場 る 取 間 合、 とし 引 な前 で け 項 用 第 ħ 1 5 ば

な号れ

5 い 。 保 低 五 保 標準 条 有期 有 第 期間 的 間 手 第一 を 法 に 適用、 採 は 号 用 当 す = 組 該最 る及取び 合 は 低 引 第 保 に 前 有 号 0 項 期間 \mathcal{O} 0 <u>-</u> て 規 を は、 定に 適用しなけ 規 第三項第 定 カュ に か により算 わ 5 れば 二号 ず、 出 に な す 第 ら定 る 七 なめ最十

l 使 ジ 用 八十三条 ジ を承認するに当たり、前 ヤ 変動 額 政 推 庁 計 は モ デ 工 ル クスポ 0) 条に定め 検 証 ジ に 係る る 基 追 変 進 加 動 \mathcal{O} 的 額 ほ な 推 か 基 計 準 エ モ ク に デ スル 適 合ポの

産担 削 融資産担保 口 のとする。 るときは、 [る場 減 出 保 証 手 される値 法とし 合に 券金 前 ネッ 条第 融取引に対し は 同 て が第二号に掲げる算式により算出 項の表に掲げるものに限る。 ティング・セッ 当 用 V 該ネッテ 項 0 な 表に V ものとする。 7 イン 掲 期待 げ トの与信相当 グ・ る エ ŧ クスポ セ 0 ツ 卜 0 限 12 場 る。 額 ジ 対 合に を勘案しないも 0) ヤ L 算出に される値 7 お 信用 適格 方式を用 適格金 金 一融資 を下 スク 該 11

$\frac{(\sum_t C_t - \sum_s E_s)}{\sum_s E_s}$

ZtCtは、ネッテ ¥ び信用取引その他 額の合計額 ァ ・ ポジッツ (次号において同 Ш (Y 1 では借入れとな れに類す 4 ットに含 る海外の取引に まれるレポ形式の取引 Ŋ 証券 又は現金の取 なころ、

ΣsEs/は、 ネット・ポジションでは貸付けとなる証券又は現金の取 額の合計額 び信用取引その他これに類する海外の取引において、 オッド (次号において同じ。) イング・セットに含まれる \angle 삵。 形式の 取引

$$\frac{1}{1} \left[\left(\frac{\sum_{s} \left(\frac{E_{s}}{1+f_{s}} \right)}{\sum_{s} E_{s}} \right) / \left(\frac{\sum_{t} \left(\frac{C_{t}}{1+f_{t}} \right)}{\sum_{t} C_{t}} \right) - 1 \right]$$

 $\mathbf{E}_{\mathbf{s}}$ / \mathbf{t} 0 び信用取引その他これに類する海外の取引において、)取引額 ト・ポジツョ ネッテント 7 (V, では貸付けと カシマに \square まれる なる特定の証券 レポ形式の取引 又は現 ¥ 及

fsは、ネッティング・ セットに含まれるレポ形式の取引 対

> するかどうかを 審査 しなければならない。

2

点から、 る。 前項に規定する追 水産大臣及び金融庁長官が 加 的 な 基 単は、 検 証 别 \mathcal{O} に 適 定定め 切 性 る \mathcal{O} £ 確 保 0) とす 0)

観

び信 Ý が、し、 をいら .項に規定す 用取引その他こ 爿。 現金 又は中央政府等の債券の場合は零とする Ø ボア では貸付け れに類す 41 Š イ調整率の標準的下限 7 海外の取引において、 証券 又は現 金の前条 $\not \leftarrow$

び信用取引そ 取引額 ト・ポジショ オッケ 9 (ンでは借入れとなる特定の証券又は現金 色こ Ž れに類す 4 Ý トに合 る海外の取引において、 まれる ン状 悉 式の取引

ftは、ネッティン び信用取引その他これに類する ビ て・ポジション .項に 規定す 現金の場合 2 ボルブ では借 · 分 は郷 41 トに含 スれと 4 Ø 41 なる証 まれるレポ形式の 調整 4 率の標準的下限 券又は現金の前条 取引

2 済 までの期間によらず て勘案することができる 引 0 当 事 者 によ 7 担保 当該担保 徴 求が を前項各号に掲げる算式 行 われた場 合に は 決

第八十四条から第八十七条まで 削除

(計算方法)

ージャー額を次の算式により算出する。形式の取引について、信用リスク削減で 八十四条 法的に有効な相 ク スポ 対] ネ ジャー ッテ スク削減 イング契約 変動額 推計 手法 下 モ に 適 デル 用後 あ る複 を \mathcal{O} エ 数 用 0 V ク る スレ ポポ場

= (ΣΕ-ΣC) + (算出基準日の前営業日におけるエク 、ポージャー変動額推計モデルによるエクスポージャー (動額の推計値)

 \vee

M Н 当該複数のレポ形式の取引のエクスポージャーの \mathcal{V} ポージャー 数のフポ形式の取引の信 額(ただし、零 R 크 · 用 リ スク Q_{λ} ない値とす **#** 光 . ر ن 額の 痼 田

Cは、当 該複数のレポ形式の取引の担保の 額の $\stackrel{\square \parallel \parallel}{=}$

中

(変更に 係 る 届 出

を行政庁に届け のいずれか て第八十条 十五条 に該当する場合は、遅滞なく、 0 工 承認を クスポ 受け] ジ た t 標] 準的 変動 手法 額 推計 採 用 そ Ŧ 0 組 デ 合 旨 ル は、使 及 び 使 その 次 の 用 に 各 内 2 容 号い

- 承認申請: 書の記載事項に変更があけ出なければならない。 項に変更がある場 合
- 承 認 申 請 書 の 添 付 書類 0) 記 載事 項 E 重 要 な変 更 が あ る
- さな 前 第八 項 い事 第三号 八十二条 由 が生じた場 た規 及び 定す 第 んる場 八十 る合にお 条に 規 V 定す て、 る 標 準 承 的 認 手 \mathcal{O} 法 基 採 準 用 を 組 満 た
- 2 3 しなけ 観点 基準 は、 るま 合 当該 十九 から を 一項 ジ \mathcal{O} 前 れ 満たさな べばなら 条の 重要でない旨 事 間 ヤ 項 第三号に j は、 \mathcal{O} 由 · を 改 を算出 定めるところによりレ 書 ない。 いことが 工 面 善善 ク に 規 定す ス 記 す 載す る旨 な ポ 0) け 当 説] る れ ジ る 場 明 該 0) 標準的 を記 ば ヤ 事 合 計 なら 項 画 に 変動 「 を 記 に お 載 いした書 ポ 手 0 V 形式 法 載 額 V て、 推 て 採 L 用 \mathcal{O} 計 行 標 面 た を速 書 取 準 組 政 引 庁 的 合 面 に ル 0) 手 P \mathcal{O} 又 係 に 法 カュ IJ は 承 代えて、経済に代えて、日本記を得る。 ス る に 承 ク 工 提 認 ク 出のの 合

八十八条 [略] (カレント・エクスポージャー方式による計算方

2 第 コストとし、 前項のRCは第五十三条第二項第二号に定めるネット K 法的に有効な相対ネッテ オンとする。 アド オン は 同条第三項第二号に定めるネ イング契約が 存 在する場合に - 再構築 ット は 0)

略

3

(SA―CCR等による計算方法)

合であって、 プションその他の派 十八条の二 かつ、適格金融 第五十条第一項の規定により先渡、 標準的手 資 生商品取引についてSA 産 担保 法採用組合が包 がを用い るときの 括的手法 エ ク ス ス Ċ を用 С ヘワッ ポ Rを使用 いる場 ヤ オ

(承認の取消し)

用組合について第八十条の 用させることが不適当と判 であって、 的 手 + 法 - 六条 採用 エ 組 行 クスポ 合が 政 庁 同 は、 ージャ 条第二 前 条第 承認を取り消すことができる。 断し] 項 12 変 動 定 たときは、 項 \otimes 額 各号に る提 推 計 出 モ 当 デ 義 該 ルを る場 務 継 怠 合 的 続 又 0 た 場 は 手 て 標 採使合

(その他資本市場取引への準用)

場合において、 取引のうち派生商品 とする。 あるのは + 七 条 第八十条 と、 第八十二条第三項第二号及び 「5」とあるのは 取 か 以引以外 うら前 条までの規定 の も 0) につい 10] は、 と読み替えるも て準用する。 第四項中「五」と 0 他 資 本 市 \mathcal{O}

(計算方法)

第八十八条 [同上]

2 ストとし、また、 項のRCは第五十三条第二項第二号に定めるネット \mathcal{O} アドオンとする。 法的に有効な相対ネッ アド オンは同条第三項第二号に定め ティ ング契 入約が 存 在する場 るネ 再構 合 は ・ツト 築 コ 前

3 [同上]

[条を加える。]

額 は、 次の算式により算出するものとする。

||×

信用 索を 下回る場合にあっては零とする。) スク削減手法適 \mathbb{H} 後のエクスポージャー 7

第五十一 祭第 | 項に定める再構築コス

PFEは、第五十一 ジャー 条第一項に定める将来の潜在的なエ V \mathcal{V}

2 手法 式により算出 第五十二条第一項の 前条及び前項 1適用後 のエクスポ することができる。 0 規 定 承 ージャー額 認を受けた場合に に かかわ いらず、 を期 待 標 には、 工 準 ク 的 スポ 手 信 用 法 パリス] 採 用 ハク削減合が

(前 提

第

て簡便手法を用いる場合には 十九条 標準的 手法採用組 合は、 次の条件を満たすものとする。 適格金融資 産 担 保に つい

も六月に一 当該適格金融資産担保が、 回以上再評価されること。 時 価評 価 さ れ カ

二十パ] セント・ フロ アの適用除外)

である場合には、前条の規定にかかわらず、 十一条 適格 金 融資産担保付取引が次の各号に掲げるも 当該 各号に定め る 0)

る要件の全てを満たすとき。 ポ形式 の取引であって 第七十六条第一項各号に掲 零パーセント

リスク・ウェイトを適用することができる。

前

第 て簡便手法を用いる 八十九条 標準的 手法採用組合は、 場合 次の条件 を満たさなけ 適格 金 融 資 産 れ 担 ばなら 保

同 Ŀ

評 価されること。 当該適格 金融資 産 担保 が 少 なくとも 六月に 口 以 上 再

第 九十一条 [同上]

二十パ

ーセント・

フロ

ア 0

適用

除

第七十六条に該当するレ

ポ 形

式

の取引

であるとき。

パ ーセント

げ

に 0

第 九 九 第八十条第一項、 簡 条及び第九十一条に規定する方法により当 カュ 融資産 次に掲 十八条の二第一 方式を用 わ 担 便手法を用いる場合について準用する。この場 規 担 する場合を除く。 + イ による信 定は、 除 6 出 保 み替えるものとする。 保 こず、 . П 「 金 と クスポー 兀 条 付 条 付 ポ げる要件 担保を用いないときの与信相当 派 形 0) 派 \mathcal{O} 標準 式 自 用 いる場合に 生 生 略 標 準 略 IJ 商 0) 組 商 進 掲 的 的 スク削 前款第 品: 合 ジ 取引であって、 品 前 的 け 第八十二条第一 手法採用 手法採用組合が、 取引の 項中「包括的手法」とあるの 条に 取 0) ヤ 貯 手 る要件の 引 1 金 V 法 は、 におい 減 七 0 と \mathcal{O} ず 採 計算方 目 効果を勘案することができる。 担 相 計 用 れかに該当するとき 組合が、適格金融資産 保が同 て準用 算方法 組合 零パーセント 殺 第五十三条に規定する方法 (第八十三条を除く。 全てを満たすとき。 第七十 法の例外 は、 項、 等 する第 カレント・エ の通貨建 第八十八条第一 次 六条第 に |額を計 八十 掲 該適 げる条件を全 てで · 八 条 は、 (前 項 クス 格 算 担)及び第 場合にお 各号(第 金融 0 「簡便手 保につい 十パー 各号に ŋ ポ 項及び第 規 第 で 九 適] 資 定 か ジにヤか 八目 て 産 セ 該 て、 法 号 満 十 格 て 担 第 条を加 九 Ŧī. 三・四 (貸出 品取引 次の を加 に 十二条 1 該 + エクスポージ パー 金と自 える。 え イ ポ る。 口 で 又 L 形 セント は ある場合を除く。 同 な 式 標 Ŀ 同 組 口 淮 1 0 上 に該当するとき 合 取 的 貯 ヤ 手 引 1 金 を で 法 と あ \mathcal{O} 除 採 担 相 き 0 用 保が て、 組 殺 第 合 七 同 は、 + 取 六 引 零パーセント 条の ポ \mathcal{O} 次に 相 通 1手が 形式の取引 条件 掲 建 中 げ を満た る条件をす 核 的 あ 又 市 り、 は すとき 場 参 派 カゝ 加

な ることが 後 とエ 0) す 場 率 額 場 合に クス を貯 を信 合 できる。 に ポ | 金 は 用 は 0) IJ 額 ジ ス 相 ただ に適用 ヤ ク 殺 +] 削 契 し、 九 約 \mathcal{O} 減 条 することを要する。 通貨が異なる場合の 貸 手 下 第二項に 法 に 出 ある 適用 金と自 貸 後 定め エク 出 組 金 合 るところ ス と 貯 自 ポ 金] ボ 組 \mathcal{O} ラティリ ジ 通 合 に ヤ 貯 貨 従] 金 が 0 同 額 \mathcal{O} て、 テ لح 相 で す 担 イ 殺

5 兀 略

2

第 九 テ 証 十三条 イブを 又 証 へはクレ 及 び クレ 信 標 ジ 用 潍 ット・ IJ ジ 的 る ット ス 手 法 ク デリ 削 採 デリバティブに 減 用 組 手 ティ 法 合 として用 が ブ 保 は、 証 次に掲 又は 共 11 通 る ク 場 げ レ 条 合に る条 ジ ツ \vdash 件 は \mathcal{O} デ 該 IJ て

略 満たすも

 \mathcal{O}

とす

間 を 事 保 後に 証人又は お 1 て変更できないこと。 プ 口 テ ク シ 彐 提 供 者 が 合 意 さ れ た 残 存

5 六 略

証 関 する 条件

第 とし 九 て用 次 四 条 掲 1 る げ 標 る条 場合 潍 的 件 手 \mathcal{O} は 法 全 採 て 当 用 を満 該 組 保 合 たす 証が は保 É 証 0) 前 を とす 条に 信 用 定 IJ 8 ス ク る ŧ 削 \mathcal{O} 減 手 0 法 ほ

略 略

2

三号に 貨が異 でな することが 殺 ることを要する。 後 た \mathcal{O} す なる場 定め 場 場 額 合 を 合 できる。 るところ に 信 12 合の は、 用 は IJ ボ 第 ス 相 ただし、 ラ に ク 殺 テ 従 + 削 契 イリテ 約 つ 九 減 て、 条 貸 手 下 第 法 出 ´ イ 調 あ 担 適 金 保 項 と自 用 る 整率 とエ 又 後 は 工 出 組 ク を ク 第 金 合 貯 ス ス 貯 と 金 自 ポ ポ +金 0) 1 \mathcal{O} 組 額 ジ ジ 合 通 ヤ 第 ヤ 貯 12 貨 が] 適 金 用 項 同額の \mathcal{O} غ す 通 第 相

5 兀 同 上

2 同 上

第 条件 又 は バティブ 九 保 + を満 クレ -三条 証 及 ジット を たさなけ び 信 クレ 標 用 準 IJ ジット 的 デ れ ス 手 IJ ば 法 削 採 テ デリバテ 減 用 イブ 手 組 法と は、 合 が イ L 保 次 ブに て 証 \mathcal{O} 用 各号 又 は 共 通 ク る 場 掲 合、 条 ジ げ るす ツ 当 \vdash 該 デ 保 7 証

 $\frac{\Box}{\varsigma}$ 同 上

を加える。

兀 5 六 同 上

保 証 に 関 する 条

第 \mathcal{O} 九 各号に + て用 匝 条 掲げるすべ V る場 標 潍 合 的 手 当 7 法 該 0 採 保 条件を満たさなけ 用 証 組 は、 が 前 条に 証 を 定 信 め れ るも 用 ば IJ ならない ス ク 0) 削 ほ 減 手 次 法

同 上

同 上

2

(クレジット・デリバティブに関する条件)

る条 用 IJ バ 0 ス テ 全て ク イブ 削 準 を 減 的 は 満 手 手 たす 法 法 採 \$ • 九 L 用 + 0 て 組 用 一条に定 合 11 が る ク 場 レ め 合に るも ット は \mathcal{O} \mathcal{O} 当デ ほ ij 該 か、 ク バ レ テ 次 ジ に 1 掲 ブ ツ

るもの 号に 該 掲げる で 標 事 な 準 由 的 当 ŧ 0) 手 該 \mathcal{O} 発 由 法 判 生 \mathcal{O} 採 断 す 0) 発 用 は 生 有 組 無を を 合 口 通 は テ 判 知 ク する 断 プ シ する 口 彐 権 テ 者 利 ク 提 を 供 が 有 者 3 明 ン \mathcal{O} 確 提 て 4 で お 供 が あ 行 者 るこ に 11 得 カュ 第

五~七略]

(条件の一部を満たさない場合)

額 合 九 は る デリ つい 掲 六 げる す 果 同 由 条 バ を て 条 0 元 テの 勘 信 条 発 ク 本 生 案 用 イ 規 件 額 IJ で ブ 定 に ジ \mathcal{O} が きる ス のに 全 ょ ツ 原 想 る \vdash ク カン て っこす場 ・デリノ 債 削 を 額 定 カュ 権 は 減 元 わ 満 \mathcal{O} たす場 効 本 5 額を上 ず、 果額 原 を 債 \mathcal{O} 合に 勘 六 原 イ 権 5 口 十パー 債 ブ \mathcal{O} n る 権 は な が 額 す 場 ることが \mathcal{O} \mathcal{O} 1 合 こと 標準 う 六 セ 前 + 5 条 は、 \ \ \ 当 的 を 第] で に 該 手 除 信 きる。 相 法 ク き セ 用 号 レ IJ 当 採 ン 同 \vdash ス す ジ 用 条 12 ク る 各 掲 た ツ組

(保証人及びプロテクション提供者の適格性)

第 七 ブ を 信 標 用 準 IJ 的 ス 手 ク 法 削 採 減 用 手 組 法 合 が 保 証 7 用 又 は 1 る ク 場 合 ジ に ツ は 1 デ 保 IJ 証

クレジット・デリバティブに関する条件

リバティ を 九 る + す 用 IJ ブ ス \mathcal{O} は 標 削 潍 第 的 九 手 を 手 十三 満 法 法 たさ 用 て な 組 定 用 け 合 めるも れ が る ば クレ 場合、 なら \mathcal{O} ジット 0) 当 ほ 該 か 次 デ IJ 0 ジ 各 テ 1

□ 今三 同上

号に掲 もので ただし、 該 げる事 あ 事 潍 って 由 的 当 手 \mathcal{O} 該 は 発 由 法 判 な \mathcal{O} 採 断 5 発 \mathcal{O} 用 は 生を な 有 組 無 口 合 通 を は テ 判 知 ク 断 す プ シ する る 口 彐 権 テ 者 利 ク 提 を が シ 供 有 者 彐 \mathcal{O} 明 確 て 提 4 で 供 が お あ 者 行 るこ に しい う カゝ

五~七 同上]

十六条 クレジット・デリバー条件の一部を満たさない場合)

第 げ 条 掲 テ で 本 信 九 きる イ げ 額 用 \mathcal{O} る リス 規 が ブ る 事 \mathcal{O} 額 原 定 す 由 条 ク削 に べ 債 想 \mathcal{O} 定 カュ 7 権 発 ク 原 減 元 カュ \mathcal{O} \mathcal{O} 生 レ わら 条 債 額 効 に 本 ジ 果を 件を満たす 権 を 額 ょ ツ ず、原: \mathcal{O} 上 \vdash \mathcal{O} る 六十 支払 額 勘 口 る 案することができる。 0) デ 債 ; パ ー リ バ 六 場 を 権のうち当 場合 + 合、 受け セ テ] ント 信 5 イ 標 セ れな 用 ブ 準 ント -に 相 IJ が 「該ク 的 ス 11 手 を ことを ク 当 前 法 限 する額 削 ただし、 ジ 採 度とす 減 ット 用 効 除 組 果 合 デリ 想 つ を 前 い 定 条 バ前に 元 T

(保証人及びプロテクション提供者の適格性)

第 バ 九 +イ 七 ブ 条 を 信 標 用 準 IJ 的 ス 手 ク 法 削 採 減 用 手 組 法 合 が と L 保 証 て 又は 用 1 ク る 場 合 ジ 保 証 人デ 又リ

とする。 人又は ブ 口 テ ク シ 彐 ン 提 供 者 は 次 12 掲 げ るも 0 とする Ł \mathcal{O}

五. 公 1 被保 共 条の二ま 1 団 \mathcal{O} が 体金 適 公 証 共 用 債 融 さ で 部 権 機 れ 門 又 掲 る は 中 げ 玉 原 際開 る 央 債 が 主 政 権 玉 府 発 \mathcal{O} \mathcal{O} 銀 等 債 政 行 務 府 我 及び第三十四条 者 関 が ょ 玉 係 ŋ \mathcal{O} ŧ 関 地 低 方 公共 IJ 玉 から第三 0 ス 団 中央 ク 体 政 地ウ 方 府

一「略」

リス 反 反 九 映 映 るクレ + スワップに さ ク す ・リスク 準 七 デリバティブ(保証と同 削 る場合に . 的 れ 条 ジット 手 0 : 減 効 法 相当額 ル果を 当 採用 分について勘案することが 限る。 は、当該 第 デフォ 組 七 の算出対象 該 条) を 用 合 \mathcal{O} 工 0 クレジッ ル ク 保 +<u></u> ኑ スポー -一 又 は 有 1 する た内部 等の ス で ワ 1 あ ジ エ 第 ツ 信 るも ヤー + ク デリ 取 用 プ 引に ス 六 IJ 及 0 できる。 ポ 条 0 バ てド ス を うち テ ク 削 1 0 ょ \vdash 除 + イ ジ る 1 ヘッ ヤ ブ 減 タ によ じに ッジ 効果] 0 ル ジ ヘマ 規 効 IJ 定 る 効 を ク 果を レ 果 信 タ 提 1 に 用 1 供 ジ ケ ょ が

2 取 プに 用 引 第七 IJ 0) 準 小を 当 ス は 限 与 的 て勘案す 条 クッ 信 不の十 手 当 削 該与 相 法 該 採用 当 減 . 四 を 用 信 額 ることが 効果を提 第 にクレ 相 組 五. V 当額 た内部 合 項 ット 0) 又 ジット 供 第 で のうち は ・デリバ 、きる。 するクレ 第十 取引を 五. 十条第 - 六条の デ テ ツ IJ ジ ッジ ジ イ バ ツ 項 効 + ブによる テ \vdash 果 手段 に 兀 イブ 見規定す 第五 が デ とし 反 フ (保 映 信 項 オ 7 証 る さ 用 0) ル 派 利 規 れ IJ と \vdash る ス 用 同 生 定 部 ク す ス 等 商に 削 る ワ 品よ \mathcal{O}

> ない。 プロ テ ク 彐 提 供 者 は 次 に 掲 げ るも 0 でな け れ ば な

五 以 公 条 外 共 イ 条に掲げる 1 被 \mathcal{O} 寸 が 保 公共 体金 適 証 用 債 る 部 融 さ 権 主 門 機 れ 又 る中 構 は 原 玉 我 際開 央 債 が 政 権 玉 府 発 \mathcal{O} \mathcal{O} 等 銀行及び第三十四条又は第三 債 政 務 府 我 者 関 が ょ 玉 係 ŋ \mathcal{O} ŧ 関 地 低 方 公 玉 IJ 共 \mathcal{O} ス 団 中央 ク 体、 政 地 ゥ 府 方

· [同上]

条を加える。]

計算方法)

第

供者 九 第三十二条 前 が か リス が す 円 1 七 定 0 工 八 つ、 は、 条第二 リスク・ウ クス 建 め 条 ク・ウ る額を 供 て 規 当 第 保 さ ポ で 定 保 該 項、 れ 調 証 証 標 工 限度と 達 項 て ジ る 又 又 潍 イトに代えて、 エ 第二十九 さ は 及 は 11 t 場 的 イト る部 クレジット び れ] 合 ク 手 する。 第三 たも , 法採用 \mathcal{O} レ を を適用することが 分 額 除 ジ 条第一項、 十三条第 のであ ツ \mathcal{O} (第 ううち \vdash 組 につい 保証 合 ・デリバテ 九 る場合に に の保 + 被 デ 六条 保 は、 IJ 人 て、 第三十 項 バ有する 又は 証 に 被 に 部 標 テ できる。 イブが 定め 限 り 該 準 ブ 保 一条 エク 口 証 的 るリス 適 テ す は を 倩 手 の二第 用 ス 円 クシ ただ る 法 権 用 で ポ 建 場 又は 口 採 ク・ きる] 彐 合 て テ 用 た し、 ジャ であ 原 は ク 組 場 項、 ŧ ウ 第 提 債 同 合 第

2 定 が 前 元 反 条 (映さ に 本の 規 額とを れ 定 る部 す る 相 場 分 殺 合 \mathcal{O} することができる。 額 に は、 لح 当 標 該 準 クレ 的 手 ジ 法 ツ 採 1 用 組 デ 合 IJ は、 バ テ \sim ッジ イ ブ 0) 効

免責額の扱い)

第

原 九 債 る保 権 九 第百 条 証 彐 係 兀 る 又 \mathcal{O} 標 である適格 損失 は 準 クレジ 第 が 的 又は 二号 手 定 法 イ 支 ツ 第 \mathcal{O} 採 プロテクション提供者 <u>٠</u> に 払 九 水 用 お 準 義 組 デリ · を 下 務 合 て同 \mathcal{O} が バ 不 口 信 テ じ。 履行 <u>ー</u>に る場 用 イ IJ 規 が支払 合 が ス が 定す ク 発 削 は 生 被 を行わ る場 保 し 保 減 次条 た 証 証 手 に 法 債 第百 な ŧ 12 又 権 لح あ はか 又 L は 7 プか

言算方法)

項に に す 三十一条 が は 被 に 部 九 プロ る ィブが円建 限 できる。 保 該 分 +定 ŋ 証 又 的 八 クスポ テク \otimes す は 条 適 債 手 用で るリスク・ウ る プ の二第一 権 ただ ショ 又は 場 口 きるも てであ 合] テ 用 証 Ļ 原 ジ は 債権 同 項、 提 シ は ヤ 合 第二十 り、 0)] 供 条 は、 ク 彐 エ とする。 第三十二条第一 者 に が 円 \mathcal{O} イト カコ IJ 定 ジ が 0) エ Ł つ、 スク・ウェ める額を限度とする。 ット 建 IJ 提 ク 条第二項、 は、 供され スク ス 7 当 ポ で 該 保 デリ ・ ウ 調 標準 証 てい 達さ ジ 又 イトに代えて、 バ 項 ヤ エ 的 第二十 は テ 及び る れ イト 手] ク イブを たも 法 部 \mathcal{O} 第三十三条: を適用するこ 採 ジ 九 分 額 ノット 0 用 条第一 0 (第 用 で 組 う につい 保 九 あ 合 デリ る 証 \mathcal{O} 項 保 場 第 保 人 バ 第 又 有

項を加える。]

免責額の扱い)

第 に るときは、 わ 原 用 九 債 い + る 権 九 て第 保 条 証 そ 日 当 又は 六 \mathcal{O} る 標 該 章 提 額損 進 標 失又は クレ 供 が 的 準 規 者 手 的 ジ 定 定 が 法 手法 を準 支 ツ 0) 支 <u>۱</u> 払 払 水 用 採 用 を 準 義 組 デリ 用 を 務 す 行 合 組合 ることに 下 わ \mathcal{O} が バ 不 口 な 信 は、 テ · 履 行 る 用 イ 場合 こと 当 IJ が ょ 該 ス が ŋ に が 発 ク 水 被削 は 定 準 で 8 保 し 保 6 相 る た 証 手 証 に 当 債 n ŧ) 又 す る 権 IJ で は る か 又 L あ プか は

水 準 で きる に 相 当 ŧ \mathcal{O} す で る ある 額 に ときは、 千 百 五. 当 +該 標 準 セ 的 手 法 0 採 IJ 用 ス 組 ク 合 は、 ウ 当

適 用 す る \mathcal{O} す

化

さ

ツ

 \vdash

IJ

1

第 ときは て 証 百 ス 標 イ 六 準 又 ク 層 条 当, 転さ 章 的 は 0) を 適 . の 手 プ 該 用 規 れ 法 口 れ 潍 標 たリ す 採 テ た 定 的 準 ク る 用 保 を 手 的 ス Ł 準 組 証 又 法 手 は 又 \mathcal{O} 用 合 彐 採 法 は لح す 複 が 用 採 す ク ることに 提 留 当 数 組 用組 レ 合が 保 該 供 0 に合れ用 ジ 者 階 合 に 層 エ は、 たリ IJ 移 ょ に ク ŋ 分割 ス ス 転 当 スク ク す ポ 定 該 0 る \otimes 留 L] 5 保 \mathcal{O} 残 場 て 部 れ 優 合 ヤ L た 又 る 先 を に 1 IJ は 部 度 留 お 12 ス 分に が 保 複 係 異 て ク L 数 る 0 な 0 信 ウ V る 当 保 用 か 第

イ エ ブ \mathcal{O} ク ス 通 貨 ポ \mathcal{O} 1 不 Y 致 \mathcal{O} 通 貨 لح 保 証 又 は ク V ジ ツ 1 デ IJ バ テ

百 二条

2 イ 1 て 価 間 整 第 \mathcal{O} は 進 七十 間 +率 的 -営業 を調 隔 手 五. 法 が 条第 日 整 採 لح 営 す 用 るも 業 組 日 項 合 同 \mathcal{O} 及 ょ は とする。 項 ŋ び \mathcal{O} 第三 ŧ 前 調整 長 項 項 V 0 この は、 場 \mathcal{O} ボ 合に ・ラテ 規 為 場 替リ 定 合に お に イ より IJ 1 ス お て行 クに テ ボ イ て、 j ラ 関 調 テ ŧ 最 す 整 1 る \mathcal{O} 低 率 لح 時 保 IJ に す 価 有 テ 0

3 略

第 央 政 府 工 等 ク 又 ス は ポ 我 1 が ジ 玉 ヤ 0 1 地 に 方 対 公 す 共 る 寸 保 体 証 に に ょ 0 る 再 7 保 証 中 央 政

> ウ 1 を 適 用 け れ

ときは 該 証 百 僧 ス 標 人 移 準 又 ク 条 当 当 転 的 は 0) 化 手 プ 該 れ 法 口 部 れ 淮 標準 たリス 採 テ た 的 クシ 用 保 手 的 組 又 証 法 手 は 合 又 彐 採 法 は 複 が 用 採 留 ク 当 提 数 組 用 合が 保 該 供 0 組 され用 者 ジ 階 合 に ツ 層 工 は、 た IJ 移 に ク IJ ス ス 転 分 当 ス ク す 割 ポ 該 ク 0 IJ Ś L 留 1 場 \mathcal{O} 残 て 保 部 優 ヤ た 先 を 又 部 度 留 お は 12 分に が 保 複 係 異 L て 数 る 0 な 信 0

当

カゝ

保 用

<u>、</u>エ ブ \mathcal{O} ク 通 ス 貨 ポ \mathcal{O} 1 不 ジ ヤ 致 1 \mathcal{O} 通 貨 لح 保 証 又 は ク レ ジ ツ 1 デ IJ バ テ

て第六

規

を準

用

ることに

ょ

ŋ

定

 \otimes

5

れ

る

IJ

ス

ク

ウいる

エ

イ

を 章

適用 . の

L 定

な

け

れ

ば す

な

6

ない

百 二条 同 上

2 時 保 イ 1 て第 うする。 調整 価 有 評 期 準 間 率 七 価 的 + は を \mathcal{O} 手 調 十営 五 法 間 整し 条第 隔 採 業 が 用 日 な 組 営 と け 項 合 及 業 L れ は ば 日 び 同 なら 第 ょ 前 項 ŋ 項 0 な 項 ŧ 0 調 \mathcal{O} ボ 長 整 ラテ V 規 は、 場 定 \mathcal{O} 合 為 に 1 場 より に 替 IJ 合 おお IJ テ 12 ボ ス 1 お 7 ク ラ 調 に テ 行 整 て、 Š 関 イ 率 ŧ す IJ 最 12 る 低 テ

3 中 同 央 政 上 府 等

第 百 同 又 上 は 我 が 玉 \mathcal{O} 地 方 公 共 寸 体 ょ る 再 保 証

府

きに によるもの は 又 限 的 が 手 とし 当 玉 法 該 採 て扱うこと 地 用 証 方 組 を 公 合 中 は、 共 央 寸 が 政 次 体 で 府 \mathcal{O} が きる。 各号に 等 再 又 保 は 証 我 掲 を が げ 行 玉 る \mathcal{O} 条 7 地 件 方 を る 満 公 共 場 た す 合 寸 とに 体

略

玉 玉 号、 : の 全 て 0 \mathcal{O} エ クス 地 地 0) 要 方 方 を満 公公共 公共 件 ポ を] 満 寸 た 寸 ジ 体 L た 体 t すことを て に に 1 11 ょ ょ に ること。 る る 対 再 再 す 要 る保 保 保 L 証 証 ただし、 な は が 証 第九 及 そ び + れ 中 中 -央政 ぞ \equiv 央 条 れ 政 第 府 保 府 等又 証 等 号 \mathcal{O} 又 は 及 適 は 我 格 我 び が 第 要

三「略」

2 補 が 完を行 勘 以 項 同 案し 行 外 \mathcal{O} 項 わ 完 0 規 中 n 0 ようと 形 定 た る 「再 態 は 範 と 同 保 囲 す 行 中 項 証 る う 央 第 信 場 「保証の 政 読 合 用 府 あ 号 4 \mathcal{O} 等 る 替 中 補 又 提供範囲」 0 えるもの は 1 完 保 は を 我 証 潍 用 が 再 用 玉 保 1 た とす す とあるの 証 7 \mathcal{O} る 信 とある 以 地 外 用 方 IJ 公 0 0) ス 共 形 は 0 場 寸 は 態 信 合 削 体 信 行 に 用 減 が う お 再 用 効

(残存期間の定義)

第

存 て 百 同 る 兀 場 工 間 条 合に ク シ あ 及 ス 取 び 標 0 ポ 引又は は て 信 準 残存 用 は 的 次 ジ IJ 手 0) 期 t 法 ス 各 間をともに 部 部 採 号 \mathcal{O} 取 削 C用 0 残 V 引 減 組 規 存 Α 手 \mathcal{O} 合 定に 法 期 ポ は 保守的な値とするものとする。 間 ッジ取引。 ジ 従 は 第 シ 信 \\ \\ 彐 九 用 原 + IJ 工 則 を 七 ク ス 以下こ 完 ク 条 ス 削 全 \mathcal{O} ポ 減 債務 0 ジ 手 相 款に 殺 法 規 t の履 を す 定 1 お る す 使 \mathcal{O} 行 外 る 残 用

[同上]

第二 が 件 玉 玉 \mathcal{O} 0 工 号 す 地 0 ク べて 0) 地 方 ス 要 公 ポ 方 公公共 を満 件 共] を 寸 ジ 満 寸 た 体 ヤ して 体 たすことを に 1 に ょ 12 11 ょ る 対 る ること。 再 す 再 保 る 要 保 証 保 î が、 証 証 ただ な は 及 第九 そ び し、 れ 中 ぞ 十 中 央 央 政 条 政 保 府 第 府 証 等 \mathcal{O} 又 又 適 号 は は 及 格 我 び 我 要

二[同上]

2 供 保 証 前 以 項 外 \mathcal{O} る場 0) 規 形 定 合に 態 は で 行 中 う 央 て 信 政 準 用 府 用 \mathcal{O} 等 することが 補 又 は 完 が、我が が 保 玉 できる。 証 \mathcal{O} لح 地 同 方 等 公 共 \mathcal{O} 寸 効 果 体 を が 提 再

残存期間の定義)

第 と 間 す 百 及 L る 兀 な \mathcal{U} 場 条 け 合 信 れ 用 標 次 ば IJ 準 \mathcal{O} なら ス 的 各 手 号 削 法 \mathcal{O} 減 採 規 手 用 定 法 組 に 0 合 従 残 は、 存 期 信 工 間 ク 用 を ス IJ ス ポ لح ク ジ削 Ł に ヤ 減 保 手 守 法 \mathcal{O} 残 的 を 存 使 な 値 期 用

工 ク ス ポ Ì ジ ヤ 1 \mathcal{O} 残 存 期 間 は 原 則 لح L 債 務 \mathcal{O} 履 行

とす 限 な V さ \mathcal{O} が て n 設 計 る け 算 期 6 喪 す 日 れ とし る 失 7 さ ١, せ 7 る場合に る 考え得るも ま でに はこ 子 必 期 要 0 れ 間 な 0 を 支 うち 残 期 存 間払 最 期 を 義 11 間 務 ŧ · う。 遅 \mathcal{O} に 不 含 以 履 期 8 下 行 日 る 同がに b

は、 として扱 最 減 るほ その 泛手法 終支払 い 信 信 て、 用リ 用 か、 残 が リスク削 存 うことが 期 当 期 当 猶予 ス 間 期信 日 ク を 間用 に 猶 削 期 お 用 IJ を 予 準 減 間 減 できる。 ス 短 期 的 手 を 手法 るも ク て当該 縮 考慮 間 手 法 削 す 0) 法 \mathcal{O} 0 \mathcal{O} る 減 終 採 残 L 残 可 手 延長を行 用 ない 了 存 は、 存期 法 能 時 組 期 場合 性 に 点 合 間 原 間 を考 まで 組み込まれ が則とし \mathcal{O} は、 利 前 \mathcal{O} 慮 猶 得 延 用 号 工 るも に て、 ク 長 す に 予 入 さ 期 ス る 規 れ た 間 \mathcal{O} ポ 信 イ れ 定 たうえ オプショ · 及び を含 るも で 用 1 す ある リス る 口 む ヤ \mathcal{O} 場 とき で に ŧ で ク 合 定 あ 削 \mathcal{O}

に 該 テ あ 信 終了 口 ク って 用 に IJ お 取 は が 彐 ス 引 可 7 能 提 内 削 又 同 لح 供 は 部取引 減 (°) な 効果 者 外 る最 が 部 持 С 0) を終了さ (第九 って 初 V ポジシ 0 A 期 V +万日ま ッジ る場 彐 七 せ る権利 ンを 条 でとする 合に 取引に 0 完全に は を ょ 保 規 証 る 相 残 定 殺す 人又 存 す 期 る 間 は る 場 効 外 は

「略

(計算方法)

第 百 間 ス 六 ク が 条 削 工 ク 減 標 ス 手 潍 ポ 法 的 \mathcal{O} 1 手 ジ 効 法 果 ヤ 採 を 用 0) 組 残 次 合 存 \mathcal{O} は 算 期 間 式 信 を 用 下 ょ IJ ŋ 口 ス 調 る 整 場 削 合に す 減 る 手 ŧ は 法 0 0 لح 残 信 す 存 用

> 期 基 れ が 限 づ さ な が 5 て 利 れ 設 な 計 益 る けら 期 算 す 喪 日 れ るも 失さ とし て 1 のとし、 せ 7 る場合に るま 考えうるも で 猶 に必 は 子 これ 期 要 0) 間 な期 0 を残 支 うち 間 存 払 を 期 義 いう。 間 務 ŧ \mathcal{O} に 不 含 V 履 期 以 8 下 行 日 な け 同がに

減手法 で最 に として扱 は おいて、 彐 ン が 定め 松終支 信 信 か 用 つ、 用 その る 払 \mathcal{O} が IJ IJ ほ うことが 残 期 当 当 猶 ス ハスク削 存 残 カュ 日 該 ク 該 子 期 存 に 猶 標 削 ,期間 お 間 期信 予 準 減 減 を できる。 期 間用 的 手 手法 を 用 を IJ て当該 間 考慮 手 法 1 ス 0) 法 短 \mathcal{O} の残 ク削 な 縮 終 採 残 L け す 延 用 了 存 な は、 存期 時点 れ る 減 長 組 期 なを行 ば 可 手 場合 合 間 原 間 な 能 法 ま が則とし 0) は、 5 に で 性 利 前 \mathcal{O} 組 を考 うる 延 用 号 猶 工 み込 長 予 ク す て、 に ŧ 慮 期 さ る ス 規 ま 次 間 0) ポ れ 信 定 入 れ 0) を で 1 る 用 す た 含 あ ŧ 1 IJ る n たオプ たう 及び る ス \mathcal{O} む ヤ 場 ク と 1 で t 合 口 \mathcal{O} き あ 削 \mathcal{O}

口 テ 了 信 ク が 用 可 シ IJ 能 3 ス となる最 ク 提 削 供 減 者が 効果 初 0 持 を つて 期 終 日 了さ までとする。 V る場合、 せる権 利 残 を 存 保 期 証 間 人 又 は 当 は 該

口「同上

(計算方法)

第 期 ク 百 削 間 六 減 が 条 手 工 ク 法 標 ス \mathcal{O} 潍 ポ 効 的] 果 手 を ジ 法 ヤ 採] 次 用 \mathcal{O} \mathcal{O} 組 残 算 合 存 式 期 に 間 ょ 信 を下 ŋ 用 調 IJ 整 口 ス る ク 場 な 削 け 合 減 手 n ば な 用 \mathcal{O} IJ 5 残 ス

る。

 $a = P \times \{ (t-0.25) / (T-0.25) \}$

aは、残存期間調整後の信用リスク削減手法の

ボアア ティリティ調整率が適用される場合には、 スク 削減手法の 絡 (第百 籴 Ĩ1 定 N \wedge N (1 9 N 肥 Ĩ1 翙

tは、信用リスク削減手法の残存期間を年数で表示した値。ただし、tが.Tよりも大きい場合には.Tを用いる。

Lは、エクスポージャーの残存期間を年数で表示した値。ただし、エクスポージャーの残存期間が五年を超える場合には、エカスポージャーの残存期間が五年を超える場合には、

複数の信用リスク削減手法)

百 0 スク削 意に ジ 信 条 ヤ 用 Ì 分 IJ 減 割し、 手 をそれ スク削 潍 法 的 を用 手 ぞれ 分 減 1 割 手 採 るも の信 後 法 用 0) \mathcal{O} 組 合は のとする 工 用リスク削減 効果を勘 クスポ <u>ー</u>の 案 なする場合に ジ エ 手 ヤーごとに一の ク 法を適用する部 ス ポ] には、 ジ ヤ 工 クス 信 分 用 複

ット 同 提供 デリ 者 によ バティブ) る通 . 貨 又 は 残 存 期 間 0 異 なる保 証 又 は ク

百 八条 又 合は、 デ れら IJ バ テ ジット・ 通貨又は残存 クスポ 主 ブを適 体 が] デリ 用 ジャーをそれぞれの 0) す 工 期間が異なるとき る部分に分割 ティブを提供 クスポ] ジ ヤ するも L 保証 には、 て に 対 のとす 又 る L は 準 場 て 複数 合 的 手 で 法 あ \mathcal{O} 採 保 0

い。

 $Pa = P \times \{ (t-0.25) / (T-0.25) \}$

Paは、残存期間調整後の信用リスク削減手法の

Pは、 J ボラティリティ · 用 リ スク削減手法の額 調整率が適用される場合には、 無 를 디 籴 F7 定 & 10 \cap M 9 N 鵬 F) 翙

tは、信用リスク削減手法の残存期間を年数で表示した値。だし、tがTよりも大きい場合にはTを用いる。

7

筱

の額とする。)

Tは、エクスポージャーの残存期間を年数で表示した値。ただし、エクスポージャーの残存期間が五年を超える場合には、五を用いる。

剱の信用リスク削減手法)

(複

第 意に分割 ジャー 百 削 0) 七 減手法を 信 条 をそれ 用 IJ 標 、スク 準 分割後 ぞれ 用 的 V) 手 なけ \mathcal{O} 法 \mathcal{O} 信 手 採 用 用 れ エ 法 ク ば IJ 組 \mathcal{O} スポー ならない 合 スク削 効果を勘 は、 <u>ー</u>の ジ 減 手法を 案する場合 ヤ ーごとに ク 適用 ス ポ する <u>ー</u>の 工 信 部 ク 分に ス ポ IJ ス 任

同 ット 提 供 デリバティブ) 者 による通 貨 又 は 残 存 期 間 0 異 なる保 証 又 は ク

用 \vdash 7 証 百 [八条 又 は 組 それら デリバテ 合は、 ク レジット・ (T) エクスポージ 通貨又は ィブを適 主体 が デリバ <u>ー</u>の 残存期 用する部 ヤーをそれぞれの 工 テ ク 間が異なるとき スポ イブを提 分に分割] ジ 供 ヤ L] なけ 保証 は、 てい に 対 ħ る L ばならない 7 的 手 数 で あ 法 \mathcal{O} 0

(プロテクションを取得した場合)

第 百 九 な 条 ス \vdash 標 0 準 的 手 法 採 フ 用 オ 組 合 1 は -型クレ 信 用 ジ IJ ス 1 ク デリ 削 減 手 ティ 法とし ブを 7

(プロテクションを取得した場合)

百 定 フ 順 オ 位 ル 標 照 準 -型 ク 型 的 ジ 採 用 \vdash 組 合 デリ デ は IJ バティブを除 信 テ 用 IJ フ ス 7 削 減 手 ス を用 法 \vdash

(プロテクションを取得した場合)

第 ファ 用 百 ジ ン 彐 九 ツ \mathcal{O} る 1 条 限 場 ス セ 提 提 ١ • 供 ツ 供 合 標 者 準 1 デ 対 \vdash IJ 象と 信 0) \mathcal{O} 的 該 ウ 用 IJ 額 手 IJ 0 ス テ な 法 ス ク りうる 採 削 フ ク 削 減効果が最も小さい 用 オ 0 ウ 組 合は、 減 想 エ エ 1 効果 クス 定 デ 型 元 IJ ク を適用 本 ポ 信 勘案することが 額を限] 用 テ ジ IJ ツ Ĺ ス t 1 たときに ク 度とし 削 0) \mathcal{O} デ う る IJ 減 ク 7 バ 手 で スポ 信用 テ 法 口 きる とし 口 当 テ イ テ IJ 該 ブ ス

,ロテクションを取得した場合)

用い てセ 百 いをすることができる る場 カン 条 | |-次 \vdash 準 \mathcal{O} ウ 的 · デ 各号に定 手 法 クフォ 採 用 め ル 組 \vdash る場合 合 型 は 一クレ に限限 信 ジ 用 b, ツ IJ \vdash 当該 ス ク デ 各 IJ 削 号 バ 減 テ 手 1 定 法 ブ \otimes を

対 用し 限 . ウ • 目 対 象となりうるエ クレジット・デリバティ 標準的手法採用組 象となりうるエ \vdash テクシ 度 デフォ とし ウ・デフォ 小 たときに 勘 ż 案す 3 て 1 信用 口 を \mathcal{O} ル 型クレジット・デリ 取 工 クス <u>۱</u> クスポ ク IJ ク 得 合 -型クレ ス シ して が、 ス ポ ク 彐 ポ ブに加え、 当] 7) ジット・ ジ ジ 該 る場 ア 提 ジ ヤ ヤー 供者 セ セ ヤ] カン ツ 合 を \mathcal{O} \vdash 0 に デリ バ プロ うち、 F 同じくす 限 \mathcal{O} IJ テ り、 口 額 ス イ バ テクシ 1 ク・ テ 0 . ウ • 当 1 削 信 0 「該セカ 想定元 るファ ウェ 用 減 ブ 3 デ IJ 効 3 に フ 果 イト ょ 0) ス 才 \mathcal{O}] ク が 本 0 提 ル K て 削 額 提 ス

提 定 供 順 位 た 場 参 照型クレ 合 ジ ツ 1 デリ テ イ ブ 0) ブ 口 テ ク \exists

場合について準 としてプロテクション提供者のリスク・ . ウ • トゥ・ 照 用 1 用 デ · 型 ク 定 型ク \mathcal{O} 型 信 IJ フ フ 順 提 用リス ス オ オ 位 供 ク 彐 第 クフォ 該 一参照型 ル ル ジ 百 ア · 用す 1 1 ツ ア お + ク・アセット セ 型 型 1 卜 提 け \vdash セ 条 ジット・デリ ク ク クレジ る。 る信 ツ 0 型クレジット・ 1 デ デ デ 対 1 規 この場合において IJ 0 ジ IJ ジ 用リ 象となり 0 定 額を ット ツ 額を算出するも は \vdash \vdash テ テ テ ス 0 ク・ イ 1 標 額 デ デリバ デ 出 ブ ブ 得る複 準 IJ IJ を除く す 及 アセ 7 的 デリ 削 る び フ 手 テ 減 テ ŧ テ セ ウェ ット 数 0 効果に 法 \mathcal{O} 1 力 イ 想 \mathcal{O} \mathcal{O} ティブ」とあ 採 同条中 ブ ブ ス イトを適用 定 \mathcal{O} 用 に を す 及 (ファ F 額 元 よるプ 組 お Ś 除 び 本額を限 る を算出 合 セ 1 卜 ーファー ポ とあ ĺ が カンド ただし、 口 特 スト ジ る す テ デ 定 ク 順

> 減 が \vdash 本 ĸ あ プの · を 適 最 額 効果を勘 ŧ て を ず ウ • 小 用 限 信 ク れ さした 度と シ 用 デ 案す 彐 フ ときに L 由 ン 12 オ رِّ چ 0) 0) \mathcal{O} 発 提 工 \vdash ク 信 口 生 供 7 用リ ス テ 対 ク ポ て 象 に] ス シ と信 ク • 彐 な用 ジ な ツ ヤ ŋ 事 うる ア 提 ŧ 由 デ 供 に セ \mathcal{O} が 限 ツ 者 IJ \mathcal{O} 工 り、 \vdash う ク \mathcal{O} バ 生 ス IJ 0 テ 信 額 ス 1 ポ 7 用 \mathcal{O} ク ブ 当] 削 \mathcal{O} る IJ 該 ス 減 ウ 想 セ t ク 効 ェ定 力] 合 削果イ元ンで

特 定 順 位 照 型 ク レ ジ ツ \vdash デ IJ バ テ イ ブ \mathcal{O} 扱

IJ IJ IJ 百 ババ バ + テ テ ティブを除く。 イブ イブ 及 7 び ア セ 条 カン 0) ス 規 に 卜 ド 定 つ は 1 卜 ウ • ウ て準用する。 特 定 デフ 順 フ 位 オ オ 参 ル 照 1 1 型型 ク ク ク レ ジ ジ ツ 1 \vdash デデデ

小さい 位 ることができる」 削 減 É 0) を 1 減 エ れ る クスポ デ 7 信 と 読 用 得 IJ] テ ジャ 4 ス n イ 替えるも ク る ブ 順 に] おけ T 位 から数えて当 セ ま 0) るあ で ツ とする。 1 0 5 エ \mathcal{O} 額 ク カュ 0 ス ľ 該 特 合 ポ \Diamond 定 計 特 定さ 額 順 位 を れ 控 照 型

間 ス 接 ク・ 清 算 ア 参 セ 加 ット 者 に \mathcal{O} 対 額 す る 算出 \vdash 方] 法の K 特 エ 例 ク ス ポ 1 ジ ヤ \mathcal{O} 信

第百 与信 接清 スポ 用リスク・ て スク・アセット 十三条 算参加 清算参 相当 る場合に ージャーに係 の 二 額 アセットの額とみなすことができる。 者に対するトレード・エ 0) 加 は、 算出 者 \mathcal{O} 標 0) 当 る清 に 適 準 額 一該トレー カレ 一的手 格 は、 算取 中央清算機 ント・エ 法 次 採用 次ぎ等を行うことにより の算式により ド・エクスポージ 組 クスポ 関に対 合が直 クスポ 算出] す 接 ージ ・ジャー るト 清算 L ヤ ヤーについ た] 参 - 方式を に額を当 · に 係 1 加 生ずる 者 K と る 信用 用 エ L 該 て、 信 間 ク て

 $RWA* = RWA \times \sqrt{(Tm/10)}$

RMA*は、この条の規定の適用後の信用リスク・アセットの 類

ポージャー , 1J 丰 叁 (1 節の規定に 係る 田 J U K V 衅 出した当該トレ J 4 Ý トの額 [フ, Н 7 \mathcal{V}

5 (1 ・セットに係 ジン期間。 \wedge がだる Ш 々の値洗いにより担保額が調整される (1 条網 の場合において、同項 Ŋ U スクのマー 項の規定に (? (? J 5 /期間 舥 単出 は五五 ・号の規 した 胍 翭 ネッアイン 定にかかわ \subseteq スク Ш \cap 9

> 間 リス 接 ク・アセ 清 算参 加 ット 者 に の額 対するト 0) 算 出 V 方 法 F 0) 特 エ 例 ク ス ポ ジ ヤ 0

第百十三条の二 [同上]

 $RWA* = RWA \times \sqrt{(Tm/10)}$

RWA*は、この条の規定の適用後の信用リスク・アセットの額

RWA It. Tm/は、 [ジン期間。 、日々の値洗いにより担保額が調整される W W フ, ットに保る 徭 Н 徭 王 V この場 スポージ 節から U 条 スクのマージン期間は五 合において、同項第 七項の規 把 ャーに係る 密 911 での規定に . 定 に こより算 · 用 リ ر ال 出した \mathcal{V} ・号の規 V 算出 胍 · 7 牃 ネッティング・ した 定にかかわら 4 スク . Щ . 0 1 7 烮

申 請 0 提 出

第 百 庁 に す Ŧī. 提 る 条 組 出 す 合 内 る は 部 ŧ 格 次 付 \mathcal{O} に 手 す 掲 法 げ 0 る 使 事 用 項に を 2 記 11 載 て 前 L た 条 承 \mathcal{O} 認 承 申 認 請 を 受 け を ょ 行

- 略
- 2 す る 前 項 \mathcal{O} 承 認 申 請 書 に は 次 12 掲 げ る 書 類 を 添 付 す る Ł \mathcal{O} لح
- 5 六 略
- 3 用 向 る てLGD及びEADの 動 ク て 組 事 け 前 スポ 保 項 産 合 項 項 有 が を 各 ク 向 第 j う。 記 け す 号 ス 兀 ジ る ポ 部 載 工 号 以 ヤ 事 す ク 掲 \mathcal{O} に 下こ ス るも 事 げ 掲 る ポ 法 業 ヤ げ 金 \mathcal{O} 単 0) 工 1 人 る 自 章 融 ク 及 ジ 向 位 組 内 に 機 す 合推 ス び t け 又 部 する。 関 お ポ そ] エは 格 等 ク] 資 計 付 ただ て 向 ス ジ 産 他 適 値 手 同 け IJ ポ 区 t 格 法 を じ。 工 L] テ IJ 分 使 実 ク ジ 1 ボ に 用 同 先 施 ス ヤ 該 L \mathcal{O} ル ル 進 計 ポ 当 うち ピ な 向 的 画 け ン 0) 12 V 内 な グ ソ 事 ことを 部 第 工 は ヤ ブ 型 業 百 ク V 格] IJ IJ 単 ŧ ス 付 次 妨 0 + ポ テ 居 位 丰 12 に] 住 向 法 げ 1 に 掲 条 用 け お採 げ な 0 ジ ル 3
- 略
- 4 \mathcal{O} 第 自 る 産 事 組 を X 事 業 + 項 分に 項 合 法 第 推 げ を 人 五. 計 等 ついてLGD及びEAD 記 第 号 載 値 向 に す を け 項 掲 使 る 工 げ ŧ 用 ク 号 る す ス \mathcal{O} 先 لح る ポ 掲 進 す 範 的 る ジ 井 る 内 t 及 部 エ 0 た 1 び 自 格 だ 使 に 組 ス 付 し、 用 0 ポ 手 合 1 を 法 推 開 7 部 ジ 移 計 \mathcal{O} 始 t 行 値 LGD及 す 事 計 を る 業 使 画 時 用 単 に び 位 期 L は $\mathbf{E}\mathbf{A}$ に 又 な

 \mathcal{O} 提 出

第 政 百 庁 + に す 五. 提 る 条 出 組 合 内 な は 部 け 格 れ 次 付 ば に 手 な 掲 法 ら げ \mathcal{O} な る 使 事 用 項に を 0 記 1 載 て L 前 た 条 承 \mathcal{O} 認 承 申 認 請 を 受 書 を け

> ょ 行

同 上

- 2 なら 前 な 項 \mathcal{O} 承 認 申 請 書 に は 次 に 掲 げ る 書 類 を 添 付 な け れ
- い

5

六

同

上

- ジ 住向 に 法 る て 事 t ル 用 け お 採 前 同] 向 不 工 用 項 ことを妨 項 U 動 ク て 組 を 及 け 第 スポ 保 び 合 記 工 産 兀 ク 向 有 が 載 株 号 する事 に げ] け L 式 ス に ジ 部 な お 等 ポ 工 掲 ヤ ク \mathcal{O} け げ 1 工 て ス 業 ク ジ 事 れ る LGD 及び 法 ポ 業 ば ス t 内 金 な ポ 1 人 単 部 融 ジ 向 位 5] 格 機 な ジ そ ヤ け 又 付 関 EADS 1 は ヤ 0 工 手 等] 他 ク 資 法 向 を ス 産 IJ 適 実 だ け テ 自 7 格 ポ 区 施 エ L う。 1 IJ 分 組 計 ク ジ ボ 合 ル 先 画 ス 同 推 以 向 ル ヤ 進 に ポ 計 下 け ピ 的 は 0) 値 エ 内 事 ク グ 部 を \mathcal{O} 次 ヤ ブ 業 章 型 使 ス 格 に IJ ポ IJ 単 用 に 付 お 1 テ 居ン 位手げ
- 戸 上
- 4 事 組 事 産 項 合 を 区 を 推 法 妨 記 分 計 人 項 É げ 載 箬 値 第 な 0 L を向 五 い な 使 け 号 てLGD及 け 用 工 に れ す ク 掲 ば る ス げ ポ な 範 る び ら 井 先 EAD な ジ 及 進 ļ, び t 的 0 使 内 ただ 用 に 自 部 を 格 組 L 開 V 付 合 \sim LG 始 手 推 す 法 計 部 値 \mathcal{O} る 事 行 を 業 期 び 計 使 EAD 単 用 画 関 位 に L な 又 す \mathcal{O} は は る

(予備計算)

ただ うたに五 手さ 及 業 類 年 算 当 該 法 び \mathcal{O} を 度 報 日 お +れ 該 前 事 以 1 う 性 織 \mathcal{O} る 第 全 L \mathcal{O} 告 \mathcal{O} 11 五. 事 事 格 業 合 六 下こ 二百 組 部 う 書 て 条 業 業 再 使 末 自 付 年 内 同 す 用 第 重 合 若 日 己 年 年 手 度 以 0) 部 ľ 五. 事 資 ず 数 る 成に 又 L 0 度 度 法 の内 下こ 格 条に + 自 な 業 本 組 が 0 は < 項 \mathcal{O} \mathcal{O} 付 八 年 内 当 は に 六 合 1 己 比 \mathcal{O} 格 0 手 お 条 7 資 度 月 類 が 部 該 率 規 間 に 付 付 運 法 条 1 第 部 を 組 本 \mathcal{O} 定 を を 基 格承 \mathcal{O} 予 1 年 手 用 手 に 採 て 及 認 織 \mathcal{O} 内 す 作 づ 該 付 比 状 経 備 7 度 法 状 お 用 同 ぼ 項 譲 成 < 組 手 を 再 率 部 況 る 過 計 自 以 \mathcal{O} \mathcal{O} 況 1 組 U. 法に受け に 中 織 す 編 渡 格 に 内 己 降 す 算 使 使 \mathcal{O} L 及 合が同 るこ もに 成 お 若 関 た 資 間 再 状 付 報 部 用 用 び 1 \mathcal{O} 基 ょ 後 予 編 L 況 制 及 す 日 告 本 お 当 格 を に じ。 行 で 7 لح う る 備 成 づ に < 度 び 該 付 ま 書 比 11 開 0 う とす 同 な は < 存 関 \mathcal{O} 当 事 で て、 が 計 前 制 率 事 組 ľ を < 譲 運 項 で 算 自 続 す 業 度 \mathcal{O} を 7 \mathcal{O} 該 織 作 る す 受 る 用 を き 報 内 己 前 年 を 内 業 予 承 承 カン 再 成 場 け る 告 部 資 る に 事状事 記 部 度 つ、 編 す う。 書 格 本 合 組 ょ を 項 況 業 載 格 を \mathcal{O} え も 成 比 合 を き 及 付 当 に n 1 及 年 し 六 付 に 合併 . う。 が た 率 新 び 月 け び 手 該 お 記 度 以 制 始 計 ょ は \mathcal{O} 法 当 書 予 \mathcal{O} 11 内 載 \mathcal{O} な 下 度 承 た \mathcal{O} ょ لح て 部 予 採 認 計 に 又 L 該 類 経 日 う す 計 用 を 算 格 設 \mathcal{O} は た 事 備 を 過 \mathcal{O} 第 す 属 لح か \mathcal{O} る 組 受 立 項 書 業計 す の当 付 事 款 る 限 算 百 す 11 し 第

予備計算)

う。 て、 \sum_{i} 又な類年算 たに五 当 認 計 部に 該 内 る る 百 V) \mathcal{O} は 度 用 を 算 格 設 を 報 日 お 十 該 前 部 以 組 受 \mathcal{O} 当 付 立 項 事 11 の告 \mathcal{O} 11 五. 事 事 格 合 六 下こ た け 継 該 手 さ 及 業 末書 自 て 合 条 業 業 付 年は だ 同 告 続 組法れ び \mathcal{O} 日 第 年 で に ょ 己 年 手 度 事 じ。 以 \mathcal{O} L 性 第 全 0) 資 度 書 お う 織 \mathcal{O} る 度 法 \mathcal{O} 内 下 条 自 لح に 再 使 組 業 本 項 \mathcal{O} 0) け 部 に 内 に 年 す 重 用 百 己 六 準 る 編 合 若 比 に 中 基 \mathcal{O} 格 部 0) お ず る 要 成に 又 五. 資 度 率 規 月 間 付 付 運 格 条 1 な + が 2 は < 本 \mathcal{O} \mathcal{O} 定 を 予 1 る 値 組 年 手 用 手 付 に て 八 当 書 等 内い 比 内 す 合 は 状 備 度 状 経 T 法 手 お 同 条 響 7 自 類 に が 部 該 率 部 況 況 る 過 計 以 \mathcal{O} \mathcal{O} 法 ľ 1 基 当 を 格 承 組 第 部 を \mathcal{O} 格 に 内 L 算 己 降 使 使 及 採 7 及 作 づ 該 付 認 織 \mathcal{O} 状 付 関 部 た 報 資 用 用 び 用 同 手法に 項 ぼ 譲 < 再 及 す 日 告 成 組 況 制 当 格 本 お を に 組 じ に す る 中 織 編 渡 に 度 ま す び 該 付 書 比 い開 0 合 ŧ お 若 当 て、 間 再 成 関 \mathcal{O} 事 制 で る 事 率 始 V が \mathcal{O} 11 よう 事 編 基 後 す 運 項 度 \mathcal{O} を 7 予 を 該 業 行 で て る 備 成 づ に < 用 を を 内 業 予 前 年 承 承 作 う な 同 < لح 前 存 は 事状事 記 部 が 計 度 組成 11 じ。 す う。 自 続 で 譲 L 項 況 業 載 \mathcal{O} 格 度 的 を 織 き 報 内 己 る す 受 な を 及 年 L 六 付 開 再 カン る 部 資 場 る に け 記 び 度 た 月 以 制 け 告 け 始 計 ょ 編 本 合 当 書 を 組 ょ を 載 \mathcal{O} 下 度 格 \mathcal{O} ょ れ 成 L 比 予 類 及 什 当 合 1) V ば 該 経 日 う 合 う。 該 率 おが 新 備 を す び 手 な た 事 過 \mathcal{O} 第 カコ 属 法 承 のい内 た 5 書 業 計いし 款 当 る 百 b

前 項 に 定 8 る 自 己 資 本 比 率 \mathcal{O} 予 備 的 な 計 算 を 行 お うと す

2

項

に

定

8

る

自

己

資

本

比

率

 \mathcal{O}

予

備

的

な

計

算

を

行

お

う

غ

す

る

2

て、 組 合 行 は 政 庁 前 に 条 届 第 出 を 項 行 及 う び Ł 第 項 す \mathcal{O} 類 に 準 ず る 書 類 を 添 付 L

3 間 で \mathcal{O} 予 組 書類 ,備計 合 る は、 期 に 間 準 報 承 ずる 告 0 認 経 書 及 過 請 類 び 後 書 Ξ を 予 \mathcal{O} 月 添備 提 以 付 計 出 算報 か内に に先立 て、 行 告 それ 書 政 つ 庁 に て、 ぞ に 前 提 れ条 第 出 第 す 該 項 るも 項 に 及 掲 び 0 げ 第二 لح る \mathcal{O} す 対 中

4 [略]

(承認の基準)

第 百 定 七 める基準に 条 行政 適 庁 合 は、 す る 次 か 0) どう 各号に カゝ を 掲 審 げ 査 る す 場 る 合 ŧ に 0 は す 当 該 各 号

一·二 略]

(変更に係る届出)

第 該当することと 百 を 十八 行 政 条 分庁に 内 届 部 なっ け 格 出 付 た 場 るも 手 法 合には、 0 採 とす 用 組 合 遅 は、 滞 な 次 < \mathcal{O} 各 そ \mathcal{O} 号 旨 \mathcal{O} 及 11 ず び そ れ カコ \mathcal{O} 内に

·一~三 略]

2 用 前 事 組 項 合 由 第三号 た書 が 当 は、 該 当 に 面 を 組 該 掲 速 合 事 げ Þ \mathcal{O} 由 る IJ カュ に 事 に 関 ス 由 提 ク す が る改 出 生じ \mathcal{O} す 観 るも た場 善 点 計 か 0 合 5 画 を 重 に す 要 記 は で 載 な 内 L た 部 1 書 旨 格 \mathcal{O} 面 付 説 又 手 は法 明

(内部格付手法の適用)

第 百二十 に 対して、 条 内 内 部 部 格 格 付手法 付 手 法 採 を 用 適 組 用 合は、 す Ś ŧ 全 0) て とする。 0 エ ク ス ただ ポ] ジ 内 t

> 添 組 付 合 し は て、 前 行 条 政 第 庁 に届 項 及 出 び を 第 行 わ 項 な に け 掲 れ げ る書 ば な 5 類 な 準 ず る 類

3

項に 書 間 れ ば 0) 予 組 ならな 対 掲 備 合 げ 計 象であ は、 る 算 書 報 承 る 類 期 書 間 準 及 請 ず 0 び 書 る書 予 経 \mathcal{O} 備 過 提 後三 類 計 出 を添 算 報 月 先 以 付 告 立 内 書 L 0 て、 に て、 行 前 政 そ 条 第 れぞ 第 庁 項 提 れ 項 に 及 掲 出 び 該 げ L 第二 報 な る 告 け

4 [同上]

(承認の基準)

第 める基 百 1十七条 準に適合するか 行 政 庁 は どう 次 0) か 各 号に を 審 査 掲 げ な る け 場 れ 合 ば な 当 5 該 各号 に 定

一·二 同上]

(変更に係る届出)

第 を 該当することと 百 行政 凣 庁 条 に 届 内 け 部 なっ 出 格 な 付 た場 け 手 れ 法 合は、 ば 採 ならない 用 組 遅滞 は な 次 そ \mathcal{O} 各 0 旨 号 及 \mathcal{O} び 11 そ ず \mathcal{O} n 内 か 容

[一~三 同上]

2 事 組 由 合 前 た が は 項 書 当 第 該 面 当 号 を 組 該 に掲 速 事 合 Þ 由 \mathcal{O} カゝ IJ に げ に ス 関 る 提 ク す 事 る 出 \mathcal{O} 由 L 改 観 が 善計 生じ な 点 け カコ れ 画 た 5 ば を 記 場 重 な 一要で 合、 5 載 な 内 な L た 部 旨 書 格 0 面 付 説 又 手 は 明 法 を 当 採 記 該用

(内部格付手法の適用)

第 百 に + 0 V 条 て 内 内 部 部 格 格 付 手 付 法 手 法 採 を 用 組 適 用 合 は、 な け 全 て れ ば \mathcal{O} な 工 5 ク な ス ポ た だ

単 同 適 \vdash じ。) のう 用する単 ス 付 位 前 信 ごと クラスに ポ 手 付 項 用 法 \mathcal{O} 手 IJ 実 又 規 法 ジ ス 施 位 は 定 \mathcal{O} t 5 ク を 対 計 資 適 に 1 į カュ 画 産 用 内 11 ア で う。 に て か 区 を 部 セ 構 は、 定 わ 分 開 格 ツ 成 ごとに 5 \otimes 以 \vdash 始 付 さ ず、 て 内 下 L 手 0 れ この V 部 た 法 額 る ア る 格 標 が \mathcal{O} ポ セ 場 · 適 さ 付 項 進 算 \mathcal{O}] ツ 合 手 及 的 _ 出 \vdash \vdash 法 は び 定 手 な に フ を 第 法 \mathcal{O} V お ク オ 期 適 لح 百 を ラ IJ \mathcal{O} 用 適 間 判 て ス 限 + オ L 断 内 用 12 次 ŋ \mathcal{O} な 部 す さ 0 で 区 E る れ 条 格 1 1 ŧ に て、 分 る 掲 旨 付 で \mathcal{O} T お 手 げ لح セ 法 あ る 内 事 V す を ツ 7 工 部 業 0

2 大きな る。 ただし、 変 化 そ 当 \mathcal{O} 一該ア 他 \mathcal{O} セ 事 ツ 情 <u>۱</u> が 生じた場 ク ラス 内 ∞合は、 \mathcal{O} ポ この 1 フ 限 オ ŋ IJ で オ な 構 成 \mathcal{O}

ソブリ 金 ン 向 け エ ク ス ポ 1 ・ジャ (購 入債 入 債 権 を を除 除

融

等

け

工

ク

ポ

1

ジ

ヤ

権 事 を 業 除 法 機 関 人 向 け 向 工 ク ス ス ポ ジ ヤ 特 購 定 貸 付 権 倩 権 及 び 購 入

七六五四 購 特 入 定 事 貸 業 付 法 債 人 権 等 購 向 け 入 エ 債 ク 権 ス を ポ 除] ジ ヤ]

居 住 用 ボ不 動 産 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ] (購 入 債 権 を 除 購

入 債 適 権 格 を IJ 除 ル ビ ン グ 型 IJ テ] ル 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ

八 そ 0 他 IJ テ 1 ル 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ 1 購 入 債 権 を

ヤ

2

3 る 組 九 合 前二 渡 \mathcal{O} き そ 信 項 入 IJ \mathcal{O} 用 \mathcal{O} 限 他 IJ 規 テ \mathcal{O} ス 定 1 特 ク に ル 内 段 か 向 部 \mathcal{O} ア け カ 事 格 セ わ 工 付 情 ツ 6 ク \vdash ず ス 手 が ポ 法 あ に る 場 に 関 内 ジ 代 連 部 合に えて す 格 る 付 標 は 事 手 準 業 法 的 行 \mathcal{O} 採 手 政 大 用 庁 部 法 組 \mathcal{O} を 分 合 用 承 に は 認 わ 11 た 自 る を

> 内 事 項 を 部 業 加 格 単 える。 付 位 ごと 手法 格 付 実 手 又 施 は \mathcal{O} 計 資 画 適 産 用 に X を 定 分 め 開 7 とに 始 いる場合は L た 標 後 潍 0 的 手 定 法 この を 期 適 限りでない。 間 用 す 0 る旨 1

لح 合 き 渡 \mathcal{O} 前 に そ 信 項 0) 限 用 \mathcal{O} 他 IJ 規 ス 0 定 内 特 ク 12 部 段 か T 格 \mathcal{O} か 事 付 セ 情 手 ツ 6 法 が 1 に あ に 代 る 関 内 場合 えて 連 部 す 格 は 標 る 付 潍 事 丰 的 行 業 法 政 手 \mathcal{O} 採 大 用 法 庁 を \mathcal{O} 部 組 用 承 分 合 認 に る を わ 得 た 自 とたる組

できる。

進 的 内部 格 付 手法 へ の

第 人等 百 る 施 <u>-</u>+ 向 計 画 又 け 一条 工 クス は 先進 先 ポー 進 的 的 ジ 内 内 ヤ 部 部] 格 格 付手法 付手法 のLGD及びEADを推 移 採 行組 画合には は、 従 計 内 0 するも て、 部 格 事 付 業 手 0) لح 法 法 第

2 計 に ヤー 掲げ 値 業 前 を用い 法 項 るエ 人等 及 \mathcal{O} び 規 ないもの クスポージャーに 特 向 定 定 け に 貸付 工 カコ のとする。 ク カュ 債 ス わ 権 ポ 6 ず、 に Ì 該当 ジ 先進 ヤー 0 するものを除く。 いてLGD及びEADの自 的 (ソブリン 内 部格付 手法 · 向 け 採用 *(*) エクスポ うち、 組 組 合 合推 は、 次]

ス 作 ポ さ \mathcal{O} プ 成 事 業法 ージ ĺζ してい 売 上 れる 属 ヤ 直 高 す 人 Ź る場 0 近 で あ 連 Ł \mathcal{O} 値 合 結 0 \mathcal{O} て直 とし 及 売 Ü 上 が て 内 五. 近三年間 高 管 理 百 部 (当該 1億円 格 L 付 を超える事業法 て 手 事 \mathcal{O} 法 平い 業 均 る場 採 法 値 用 人 又は 合 組 が に 合 連 が 結 あ 人向 年ごとに 0 同 財 て 務 け は \mathcal{O} 諸 エ グ 表 ク 更連ル を

前 次 号に 0) イ 該当するも 又 は 口 掲 0 げ を除く。 るも \mathcal{O} に 対 す る エ ク ス ポ 1 ジ ヤ

制 金融 関

二項第二号及び第三号において「非規制 を主たる事 融 業、 であって、 保 険 業 とし 業そ イに該当しないも て 0 営む者 他これ らに れ 類 する業 に 0) 準ずる 金融機関等」とい (第百三十 種 に 国 属 \mathcal{O} す 条第 者 る を 事

> が できる。

進 的 内 . 部 格 付 手 法 へ の 移

人 等 実施 百 二十一条 向 計 けエ 画又は 先 先 ポ 進 進 的 的 ジ 内 内 部 部 格 格 のLGD及びEADを推 付 付 <u>)</u>手法 手法 移 採 行 用 計組 画 合 には、 従 0 内 て、 部 格 事 付 業 れ 手 法 法

ならない。

ク ス

ヤ

1

計

L な

け

項を加える。

(適用除外)

第 する 組 百 準 画 合 的 に に は . 当 0) 手 記 法を 載 限 た 内 つて重 ŋ が 部 で 適 あ 格 前 用すること な る 付 場 要 手 条 で 合 法 0 に な 規 実 は 11 施定 ができる。 事 計 に 業単 画か 用 又 カゝ IJ 位又は資 は わ ス 先 5 ク • ただし、 進 ず 的 ア 産 セ 内内 次 区 ツ 部 部 分 に \vdash 格 格 に 付 付 掲 \mathcal{O} 額 対 手 手 げ る L を 法 法 て、 場 算 移 採 出行用 合

が . 部格 を用 ス ツ + \mathcal{O} \vdash 額 内 部 付] \mathcal{O} \mathcal{O} 0 格 手 セ 合計 額 標 て 付 法 準 \mathcal{O} 算 手 1 額 を 出 的 合 法 を含 する 適 を 計 手 を 用するア 超 額 法 適 え む 信用 を 用 内 る 用 す 部 場 次 るア IJ V 格 号 セ ス 付 ツ ク 算 セ お 手 \vdash 出 ツ 法 ア 1 す ク を 7 る セ ラス 適 同 信 ツ ク 用 じ 用 1 ラ す \mathcal{O} IJ 0) ス る 信 に ス 額 内 ア 用 占 ク 0 \mathcal{O} IJ セ 8 標 合 ス ツ ア る 計 準 ク 1 割 セ 的 額 ク ア ツ \mathcal{O} 手 合

を用 セ 内 部 ツ ラ 1 格 ス る 一 0) 付 手 額 信 \mathcal{O} 法 0 用 事 を 合 IJ 適 計 スク 用 単 額 位 す \mathcal{O} ・アセッ クるア 又 内 は 部 t 資 格 ット 産 1 付 区 0 手 分に 額 法 0 ク 合 係 ラ る 計 ス 用 信 内 額 す 用 0 る IJ 占 標 ア め ス 準 る セ ク 的 割 ツ 手

項を削る。

]

セン

1

超える場

適用除外)

第

準 るに当たって 計 組 百 的 画 合 十 二 手 に は \mathcal{O} 法 記 載が を 限 内 条 ŋ 適 部 で 用 重 あ 格 前 主要で すること な る 付 場 手 条 な 合 法 \mathcal{O} は 実 11 規 事 が 施 定 信 業 できる。 計に 用 単 画 カコ IJ 位 又か ス 又 は わ ク・ は資 ただし、 先 6 進 ず ア 産 セ 的 区 内 内 ツ 卜 次 分 部 に に 0) 格 格 掲 対 額 付 付 げ L を 手 手 て、 算 る 法 法 出 場 移 採 合 標 す 行 用

割 百 ス ク・ 合 が 準 六条 +ア 的 パ セ 手 1 第 ツ 法 セ \vdash を用 号及 ン 0) \vdash 額 1 を び \mathcal{O} る 超 第 合 事 え 二号に 計 業 る 額 単 場 が 位 合 掲 内 又 げ 部 は る 格 資 額 付 産 \mathcal{O} 手 X 合 法 分 計 採 額 用 係 組 る 占 合 信 8 0 用 る 第

用 \mathcal{O} \otimes る割 第 リス 標 百 準 合が二パ 的 +手 六 ア 法 条 セ を] 第 ツ 用 セ \vdash VI ント 号 \mathcal{O} る 及 額 を超える場 び \mathcal{O} 0 第 合 事 計 業 一号に掲 額 単 が 位 内 又 げ 部 は る 格 資 額 付 産 \mathcal{O} 手 区 合 法 分 採 計 用 係 組 に る 占 合

2 等 IJ 限 式 己 り、 資 ス 等 ク・ エ 本 工 額 ク ス \mathcal{O} ク 条 に ア ス ポ 潍 額 ス 五 0 セ ポ] に ポ 規 ツ 十パ ジ 手 1 定 1 1 法 ジ ジ ヤ に セ \mathcal{O} ヤ に] ヤ カ 額] 0 基 1 セ カ \vdash を算 ポ に づ \mathcal{O} わ を より \vdash 11 直 5 乗 出することが 1 て を 近 ず ľ 構成されている場合 フ 株 乗 オ 式 じ 年 内 得 IJ 等 て 間 部 た オ 得 工 に 格 額 が十 クス お た 付 を で 額 け 手 **さる**。 超 未満 を ポ る 法 え 超] 亚 採 な 均 用 \mathcal{O} ただ ジ Ż は 発 ヤ な 残 組 場 行] 71 高 合 合 場 0) 自 体 に 己 信 合 \mathcal{O} 株 式 用 限資 株 に 自株

る。

(スロッティング・クライテリアの利用)

第 用する 及び ファイナンス、 百 け 二十三条 貸 第 場合に 六項 付けの \mathcal{O} 区分ごとに 規定 は 内 コ 部 プ モ に 格 デ 口 より 付 ジ イ 手 工 テ 利用す 法採用 スロッティング・ クト・ファイナンス、 イ・ファイナ るものとする 組 合 は、 ス及 第百二十 クライ び オブジ 事 業用 ・テリ Ł 条第 エ ア 不 クト 動 を 兀 産 利 項

(期待損失額)

第

した場 百 第 た額とする。 兀 合は、第百九十二条第六項に定めるELdefaultにEADを乗 ス 割 項 兀 LGD及 ポ ŋ 及び 条 当 1 第 て ジ びEADを乗じ 6 六項 ヤ 業 ħ] 法 た 特 0) 0 人等 期 規 定貸付 待 定 向 損 に け た額とす により 失額 工 債 クス 権を除 は、 ス 口 ポ る。 当 ツ] テ 該 ジ ただ 工 イ ヤ クス] し、 及 ン び グ (第百二十 デフォ ポ IJ クラ テー ジ ヤ ル ル 1 \vdash] 向 テ 七

[2·3 略]

4 る場 手 ・ウェ 法 百 1採用組 合に + ジ 条 イトを千二百五十パーセントを上限として合計し、 ツ 0 \mathcal{O} \vdash 合」とあるの 1 規 て 定 デリバティブ 準用 は、 す 前 る。 は「内 項 こ の 0 0 規 部格付手法採用 与 場合に 定に 信 相 よる 当額 お 期待 に当該リスク・ウ て、 組合」と、 損 同 失額 条中 を 標準 算 ヷ 出

ロッティング・クライテリアの利用)

第

へ ス

及び ファイナンス、 用する場 向 百 け 二十三条 貸 付 第 六項 合は、 けの区分ごとに利用 \mathcal{O} 規定に 内部 コ プロ モ 格 ディ ジ よりスロ 付 工 手 ークト・ ティ・ファイナンス及び事 法採 しな 用組 ッティング・ ファイナンス、 け 合 ればならない は、 第 ク 百二十 ライ オブジ 業 テ Ł 用 条第 IJ アを 不 ク 兀 1 利

(期待損失額)

第 条第九 場合は、第百 定す 条第 D、LGD及びEADを乗じた額とする。 クスポージャー 百 アに 二十四 とする。 る 兀 ル フ 項 割 項 向 及び オ ブ 12 ŋ け 条 ル 当 定めるPD\LGD方式 ル エ 九十二条第六項に定めるELdefaultにEADを 1 第六項 クス てら 事 効果を勘案し デフ 業法 ポ 期待損失額 れ オ た特 0 1 人等 ル 規 ジ 卜 定 ヤ 定 向 効果] 貸 に け たものを除 によりス は、 付 工 (第百二十 を クス 債 勘案し 0 当 権 適用対象となる 並び 口 ポ ただ 該エクスポー ージ ツ た 九 テ 12 Ļ ŧ 条に ヤ イ 第 \mathcal{O} デフ 及] 百 び 規 グ (第百二十 除 オ 第百四 定 ジャー 株 ク ル へるダ 乗じ トし 式 ラ 条 等 +1 0) た

[2・3 同上]

とあるの \vdash を に 千二百五十 第百 お デリバ \ \ 一十条の て は 準用する。こ ティブ 「内部: 規 パ ーセントを上限として合計 定 0 格付手 は、 与 信 \mathcal{O} 前 場 法 相 合に 当 採用組合 項 額 おい に当該 規 定 て、 によ と IJ スク・ウ 標 る リ 準 期 的 スク・ウ 当 エ 一該ク 1 採用 V /エイト を 組 ジッ 合

る イ \mathcal{O} テ ŧ 1 とす セ 1 を \mathcal{O} 乗ず <u>۱</u> る す \mathcal{O} ることに EADを乗ず 限 み 替 る ょ て合計 り、 えるも ることに は 「PD及びLGDを 用 ľ 0 IJ とする。 により、 ス れ ク • に当 ア 期 待 セ 該 損 ツ ク Ü 1 へ額を て得 0 額 ツ 算 た を \vdash 出 額 算 デ を 出 す

6 5 が リスク テクショ するもの 部 イ ブの クレ 用 率 すること ジ 格 十条」とあるの 最 る場 額 す 付 する第百十条」と、「標準的 損 ŧ を ヤ 百 百 ر ک を控 小さ 同 十三 適 EAD を限] ジット・ 手 とす 一合に る 4 用 ア 法 額 に 中 替 額 条 除 採 V) し が セ を 0 を算 こえて ット Ś は することが たときに 供 用 できる」とあ 0 算 \mathcal{O} 第 デリ 出 0) 組 規 て 者 度 規 当 百 は「第百二十四 出す とある 合」と、 内 準 て準 とし す 工 削 \mathcal{O} \mathcal{O} 定 定 該 +用 クス 部 バ る IJ は、 額 は、 減 クレ · スク・ 格 用 るものとする」とある す 信 テ 場 さ 0) 7 ポ のは 付 る第百 1 す できる」と読 第 合 用 プ れ 削 前 とあ ジ うる。 信 手 る ブの 各項 に] IJ 口 減 る 法 0) ハスク ウェイ 算 つい 効果 項 テクショ 信 ジ \vdash る 用リスク・ この場合に 採 は + 想 手法採用 ヤ 条第四 か 用 0 0) 出 · 条 」 用 て準 • デリ 5] IJ が 定 規定に 当 は す 組 アセ トトを 第四 元本 最も小さ に ス 該 っるも と、 合 み替 用 0 ク バ 第 ン 項にお ク 組合」とあるの ティ ット 11 • 百二十 す 提 適 額 よる期 項 ア レ と \mathcal{O} お えるも を限 る。 用 標 ま て 供 ア セ ジ 0) とする」と、「当 削 で セ ット ブ 準 0) 者 ット V は 7 0 減 額 ツ たときに 度 待 0) 兀 て読み替 的 \mathcal{O} 信 0) 算出 \mathcal{O} 規 さ \vdash 0 として . の 条 0 損 所 想 手 同 用 とする。 場合 定に 要 額 削 デリ エ れ \mathcal{O} 失 定 法 条 IJ 額を控っ る 自 す 減 額 元 中 は プロ 算出 信用 えて 用 項 に ょ 期 効 己 バ 本 を 内内 お る 待 果 資 テ 第 算

> な ントを上 な 5 0 な _ ك 限 を と 読 とし 乗ず 信 て合い 4 ることに 用 替えるも は ジリス 計 「PD及 i. L ク・ア より、 のとす びLGDを セ に当該 期 ツ る 1 待 損 乗 \mathcal{O} 失 じ 額 額 て を ジ を 得 算 算 た 出 1 出 額 L デ を な ij け な 百 バ け れ テ れ ば イ セ ば

ときに 度とし デ とあ の者 項 \mathcal{O} 出 ノリバテ のリス 標 額 は に 「 信 準的 「第百 百 ク さ 0) る お ス 信 あ 削 \mathcal{O} V 7 n 十二条の ク・ウ !用リス 手法 る信 できる」 用 プ る 減 イ は 7 三 十 準 口 \mathcal{O} 効 ブ 算 IJ 採 用 ス 果 0 ジ テ は用 エ 出 ク 兀 用 す ク 想 IJ 規 当 が 組合」 L る。 。 لح 条 ス 最 定 定 な ア 第四 んは、 読 ア 該 ク 彐 ŧ に 元 · を 適 け ヤット 4 ク 小さ セ 本 とあ れ アセ 項 提 V 額 前 用したときに 場合 ば に え ジ 各項 \vdash 供 V を て ならな えるも 0 る より 削 0) 者 ット・ ツ 限 額 0 \vdash 0) 額 \mathcal{O} 度としてプ 0 を算 読 お は 規定に 0) 工 さ 所 \mathcal{O} 0) \ \ \ とする デリバ クスポ 4 れ 削 要 額 て、 出 内 替え後 を控 る期 自 減 と、 信 L 部 効 己 ょ なけ 格付 用 当 テ 資 口 果 除] る 第百 IJ \mathcal{O} する イ 損 が 本 ジ テクシ 期 スク・ア 該 れ 手 第百十 ブ 最 率 ヤ 待 クレ 法採 ば S EAD 額 Ł を] 損 条 なら とが 彐 適 失 用 ジ لح さ セ 用 0 額 ット 組 V V を あ で ツ \mathcal{O} 合 11 た 限

加 える。

て、用 己 効 バ を さ位 ヤ が ス 果 資 テ 控 1 n L 限 で ポ \Diamond 特 に 本 1 除 に 照 最 た 度 た とき きる 定 お 率 ブ す 順 1 特 型 0 ŧ ジ るこ 順 を \mathcal{O} L 定 い 位 ク 小 11 て、 EADさ 適 ヤ 位 て か レ 7 لح 用 لح 5 ジ n 参 削 読 照 最 が に た を 減 ツ 信 たときに、 限度 でき 4 順 型 9 ŧ さ を 1 \mathcal{O} 用 テ 替 11 位 ク ク 小 減 工 IJ れ る デリ え とし 7 V さ る じ ク ス シ か る ジ 削 5 11 信 て ス ク 彐 と ット ŧ 減 てプロ 用 得 バ ポ . 信 あ \mathcal{O} さ 0 IJ テ を T 提 5 用 る 減 れ イ れ エ ス ジ セ 供 IJ \mathcal{O} す クス テク デ ブ る じ ク る ヤ ツ 者 る。 ス は て得 IJ に 期 順 1 1 \mathcal{O} ク • ポ バ 待 シ ア 位お \mathcal{O} IJ カゝ 当 らテ 損 彐 セ ま け ら 額 ス ア 該 失 イ ジ る ク れ セ ツ で \mathcal{O} ク 額 る ブ ヤ ツ 提 1 \mathcal{O} あ え 削 順に ウ を 1 供 \mathcal{O} 工 5 7 減 1 3) 当 控 位 お か 者 ク 効 0 額 カン エ ツ け 除 ま 5 ス ľ 果 額 \mathcal{O} \mathcal{O} イ \vdash す で る 数 \mathcal{O} 所 合 ポ 8 特 に \vdash のあ え 削 計 定お 要 デ] 特 を る 7 自 IJ 額 ジ定順い適 工 減

貸 倒 引 金 \mathcal{O} 配

た だ 対 対 ジ る 合 \mathcal{O} に 潍 t 応 応 ŧ 額 は す す 的 1 \mathcal{O} \mathcal{O} 五. る る 標 手 標 に を 算 条 係 部 除 進 進 部 出 般 る 分 分と 当 的 採 的 内 貸 ŧ 手 用 手 部 倒 信 内 た 法 組 法の 格 を 引 ŋ を 用 部 合 \mathcal{O} 付 標 当 み除 IJ 格 標 ょ \mathcal{O} 手 進 金 < ス ŋ 連 を 付 準 法 的 0 ク 算 結 用 手 的 採 手 · ア 総 子 法 出 1 手 法 用 額 0 る 法 さ に 法 に 組 セ 割 証 れ 人 標 ょ より لح 合 ツ 合 等 準 ŋ 内 は、 る 券 1 で が 信 的 算 算 部 化 \mathcal{O} 区 計 格信 用 手 出 出 エ 額 分す IJ 上 法 さ さ ク 付 用 す ス 採 手 IJ 証 れれ ス る も ク る 用 法 る る ポ ス に 組 信 信 を ク 化 1 合 般 ジ 併 対 工 用 用 とす 又は 応 貸 ク IJ IJ ヤ 用 T す 倒 ス ス ス す セ る。 ポ ク 引 ク る に る ツ 第

6 7

同

上

引

当

金

 \mathcal{O}

配

子い割 場 を る る \vdash 百 用 さ 法 る 合 信 信 合 \mathcal{O} れ 標 で 用 用 は 額 + 等 準 区 IJ IJ る る \mathcal{O} Ŧī. 信 的 内 が 分 ス ス 算 条 計 手 L ク 般 部 用 ク 出 に IJ 法 に 貸 格 上 な に 内 す 採 倒 当 付 ス け 対 対 部 ク る 用 れ 応 引 た 手 応 格 に 組 ば す 当 ŋ 法 す 付 な る 採 対 般 合 る 金 標 手 5 応 用 貸 又 部 部 \mathcal{O} 準 法 倒 は な 組 す 分 分 総 的 採 るも 引 当 11 に لح 額 手 合 用 内 該 信 又 当 を 法 組 た は 0) 金 部 標 標 用 لح 合 だ 当 لح 準 IJ 格 準 内 は は し、 該 Ļ 的 ス 付 的 内 ク 手 手 格 手 標 信 内 準 法 法 法 付 部 淮 用 的 格 部 採 的ア IJ 付 格 手 用 手 セ ょ ょ 法 ス 法 法 ツ ŋ ŋ を 手 付 組 ク 併 法 手 合 \mathcal{O} 1 算 算 法 ょ \mathcal{O} みの 出 \mathbb{H} 用 T 採 用 \mathcal{O} ŋ 連 を 額 さ さ す セ 組み算結 用のれれる

又 貸 は 0 倒 当 لح 該 引 当 内 金 内 部 部 格 証 付 格 手 付 化 法 手 工 採 法 ク 用 \mathcal{O} 組み ポ を 合 の用 ジ 連 V 結 る 内 子 12 法 部 係 人 格 築 付 ŧ が手 計 法 採 上 す 用 組 る 合

IJ のは般 とす ス 内 ク 部 内 管 部 格 理 格 付 指 付 手 針 法 手 法 に 採 別 に 用 段 ょ 組 ŋ 0 合 定 算 は 出 8 が前 さ あ れ 項 る \mathcal{O} る 場 規 信 合 定 用 IJ に に は ス か ク か 当 に わ 該 対 6 応す 信 ず 用 IJ 信 る 用 ス ŧ

2

2 に 理 指 係 る Ł に \mathcal{O} 0 を 0 لح 除 < り 般 を区分することが 倒引当 (証券化 できる。 工 ク ス ポ 1 ジ

計 部 格 付 手 法 採 用 組 合 に お け る 信 用 IJ ス ク ア セ ツ 1 \mathcal{O} 額

第 百 \mathcal{O} 六 計 条 額 لح 内 は 部 格 次 付 に 手 掲 法 げ 採 る 用 額 組 \mathcal{O} 合 合 \mathcal{O} 計 信 額 用 を IJ ス う。 ク ア セ ツ 1

イ| に る \mathcal{O} ク げ IJ ス 額 事 部 ポー る信 業] 格 (購 ス 法 付 用 料 ジ 手 債 等 IJ ヤ 法 権 ス 向 採 ク う。 け 用 IJ 工 組] ク 合 ス セ ス 7 が 同 料 算 ポ 内 時 (第 1 出 部 1 決 ジ L 格 済 百 額 ヤー た 付 兀 取 0 信 手 引 + 用 法 及 及 九 び 条 IJ び ij ょ 第 ス 非 ク テ n 同] 算 項 時 ア 決 ル 出 済 規 セ 向 す 定 ツ る 取 け 次 引

口 百 \mathcal{O} 兀 十 条 0 規 定 に ょ n 算 出 さ れ る 信 用 IJ ス ク ア

係

る

信

用

IJ

ス

ク

ア

セ

ツ

1

0

額

を

含

む

ょ 百 ŋ 五. 算 +出 兀 条 n か 用 6 第 ス 百 五. + 兀 セ 条 0 兀 ま \mathcal{O}

に規

定

す

る資

産

、 う。]

及

U

IJ

ス

取

引 百

12

お

け 兀

る見 条第

等

スポ

ジャ を

他資産

第

五十

法 合 に \mathcal{O} ょ 連 ŋ 結 算 子 出 法 さ 人 等 れ る が 信 計 用 上 IJ す ス る クに 般 対 貸 応するも 倒 引 当 金 は す 内 部 格 付

る。 理 IJ 指 ス 内 針 ク 部 管 に 格 0) 理 付 指 0 手 ح 針 法 に 採 て 別 用 段 組 \mathcal{O} 合 般 定 は 貸 \emptyset 倒 が 前 引 あ 項 当 る 0 金を区 場 規 合 定 は に 分 当 カン す 該 カゝ る 信 わ 用 6 لح IJ が ス ク で 信 管 用

内 合 計 部 格 付 手 法 採 用 組 合 に お け る 信 用 IJ ス ク ア セ ツ 1 \mathcal{O}

第 百 六 額 同 上

取 規 T び向 定 び十セ る ント 株 引 定 項 条 セ 株 け する 式 に 第 部 等 係 \vdash 六 百 規 \mathcal{O} 等 ク 格 IJ IJ 工項 る を 算 五. 定 \mathcal{O} エ ス 付 Ì ス 信 に ク 額 ク ポ 出 + 第 手 ス料 ク 用 ス (購 ス さ 兀 ょ] じ 法 IJ ポ ŋ ポ 号 条 ジ 7 採 ウ 入債 ス を 算 得 る \mathcal{O}]] ヤ に 用 エ ク • 信 出 ジ 掲 ジ] た 組 う。 1 権、 さ 用 か ヤ 額 ヤ げ 合 1 T 並 IJ 5 れ] るPD、 IJ が IJ を セ ス 第 る テ び \mathcal{O} に 内 ĺ 乗じて ツ ク 百 信 に 期] 0 部 同 ス 1 用 第 Ŧī. 待 ル 格 時 料 LGD方 \mathcal{O} リス ア +百 損 て 向 付 決 得 額 兀 失 兀 セ け 算 手 済 第 を ク・ 額 条 出 + ツ 工 法 取 百 額、 含 式 に L ク 引 兀 12 \mathcal{O} 兀 ア 千 \mathcal{O} た ス 第 及 + ょ 適 額 セ 百 び 九 信 ポ 第 0 ツ 兀 百 用 非 条 用] 事 五 対 合 1 同 第 IJ ジ + 第 象 で \mathcal{O} + 時 項 百 ス Y 法 パ لح 兀 決 ク \mathcal{O} 額 条 項 1 除に規 並 第] な + 済 に 及

積残存価額の信用リスク・アセットの類

二~五略]

の額)(事業法人等向けエクスポージャーの信用リスク・アセット

第三号及び第四号に掲げる算式により算出される額とする。 第三号及び第四号に掲げる算式により、同号に掲げる算式により、同号に掲げる算式の算出に要する所要自己資本率(K)に定めるLGD、第百三十二条に定めるEAD及び第百三十三条に定めるマチュリティ(M)(ただし、PDが百パーセントのに定めるマチュリティ(M)(ただし、PDが百パーセントのに定めるマチュリティ(M)(ただし、PDが百パーセントのに定めるアセットの額は、第百三十条に定めるPD、第百三十一条ク・アセットの額は、第百三十条に定めるPD、第百三十一条名に定めるPD、第百三十一条の信用リスに

| 所要自己資本率 (K) = $[LGD \times N \{ (1-R)^{-0.5} \times G (PD) \}$

)
$$+\left(\frac{R}{1-R}\right)^{0.5} \times G (0.999) \} - EL$$

]
$$\times$$
 {1-1.5 \times b} ⁻¹ \times {1+ (M

 $-2.5) \times \mathbf{b}$

どし、零を下回る場合は零とする。

 $N \{x\}$ は、標準正規分布の累積分布関数。ただし、PDが百パーセントの場合は一とする(以下同じ。)。

 $\Im\left(\mathbf{x}
ight)$ は、 $\mathbf{N}\left\{\mathbf{x}
ight\}$ の逆関数(以下同じ。)

トの額の合計額 びリース取引における見積残存価額の信用リスク・アセく。) の規定が適用されるエクスポージャー、その他資産

[二~五 同上]

の額) (事業法人等向けエクスポージャーの信用リスク・アセット

一[同上]

|| 所要自己資本率 (K) = [LGD \times N { (1-R) $^{-0.5}\times$ G (PD

)
$$+\left(\frac{R}{1-R}\right)^{0.5} \times G (0.999) \} - EL$$

 $] \times \{1-1.5 \times b\}^{-1} \times \{1+(N)\}$

 $-2.5) \times b$

ただし、零を下回る場合は零とする。

N {x} は、標準正規分布の累積分布関数。ただし、bDが百パーセントの場合は一とする(以下同じ。)。

(x) は、 $N\{x\}$ の逆関数(以下同じ。)

回 PDにLGDを $\widetilde{\mathcal{H}}$ 舥 뻐 九十 乗 祭網 \Box 7 六項 粉。 Ñ 7 定める 扩 ELdefault & PDが 百 >. 4 < ァ

三·四略]

[2 6 略]

7 するも 二百 を上 当 る」と EAD及 スク・ウェ 額 該 \vdash る 1 第百 クレ 同条中 ア 組 額 限 \vdash 0) 五. 0) ア を信 合計 ヤツ として合計 のとす 合」と、 +を 額を算出 び + セ ジット・ 4 . パ 乗ずることに 千二百 替 ツ イトを千二百 標 \vdash] 用 額 \vdash セン えるも IJ る」とあ が 0) 規 第一項 準 の額を 額 ス 五十 す 定 デリ 的手法採用 し、こ ク \vdash 当 及 る は、 \mathcal{O} 該 び 場 を 及び るの 算出、 乗じ 期待 と ア ょ クレジット・デリバティブのEADに 合] 前 ティブ 五十 する。 り、 セ セ に 各 に当 第 四 は「所要自 するも ット 損失額 て ント 項 組 信用リス 得た パ 0 の与信 「項にお 一該クレ] 合」とあ 規 \mathcal{O} を乗ずることに て のとする セ 額を超 を八パー 定に 準 額 ント から 用 己 ジ ク・アセ V 相 資本率 す ょ るの ッ 当 て準用 - を上 える場 る。 控 る <u>۱</u> 額 信 除 セント ただし、 は に当該 限 この することが デリバティ を ツ 用 する 内内 合 ょ 百 \vdash IJ *b* で (T) 部 場 は ス リス って 合 額 合 除 ク 信 格 当 し に 用 信 セ を ク・ウ 付 でき ント 算出 該 7 IJ 用 ブ お ア 手 リ 超 千 得 ス IJ \mathcal{O} 法いセ 7

8 IJ ス 百 ス + ク T に 条 セ 合 お ツ ことあ 規 ット 1 て 定 読 0 同 は、 るの 条中 額 \mathcal{O} み 額 替 第 は こえて準 を 第百十 内内 出 算 項 出す す 部 か るも 用する第百十条 格 5 条」とあるの る場 付 第 0 手法採用 合に とする」」 項 ま で 「」とあるのは用組合」と、「「信 \mathcal{O} は 規 準用 第 ک_ر 定に 「標準十 ょ رِّ ک ه る

> ELは、PDにLGDを乗 並 뻐 力 夈 徭 7 汁 絵 屈 Ñ ただだ 定 8 Ŋ ELdefault & PDが百). [4 4 Ø < ァ 9

第百二十九条第三項第三号を除

NH.

川

[三・四 同上

[2~6 同上]

得た額 超え 千二百 ク • D及び千二百 限として ば 乗ずることにより、 ジット きる」と ットの ク・ ならない」とあ 第百 アセット 準的 る を ・デ ア 額 五 0) 千二百 額 項及び 合計 を信 +合 手法採用 0 セ 条 リ バ み替 パ ット 算 \mathcal{O} 五十 \mathcal{O} 1五十パ し、 用] 出 額 ティブ 第四項 額を算 パリス えるも セ が 0) に 定 るの パ これに当 組 額 ン お は 信用リスク・アセットの]] 合 ク \vdash 当 及 0 は「所要 に 出 0 該 セ セント を び て 与信 前 おいて準用 とあるのは 乗じ とする。 ア 期 準 ン クレジット・デリバティブの 各 なけ トを 該クレジ 用 セ 待 項 相当 損失額 す ット 7 を上限として 自 0 れ رِّ چ 得 乗ずることに 規 己資本率を百 1額に当 ば た額を超 0 定 ならない する場合に ット・デリバテ 内内 を八パー 額 0 から よる 該 場 部 シリス 合に 格付 合計 控 える場 額 信 ょ セント を 用 ただし、 おい ク • 手 「リスク・ り、 すること 算 IJ 法採 ウェ 合 セ 出 ス イ は で 用 EADと ブ 1 用 信 該 同 な 組 0 ウ が 当 用 IJ け \vdash ア L ク ス で 該

中 替 セ \mathcal{O} \mathcal{O} こえて準 ット 額 は 第 第百 百 内 算 0) + 用 十 部 出 · 条 」 と 格 する第百十 \mathcal{O} 条 付 算 な \mathcal{O} 手 け 出 規 あ 法 れ 15 定 る 採 ば お は、 0) 用組 条 」 な V, は「第百二十七条 5 て 前 と 合 準 各 用 項 と、 す 0 標 る。 規 準 لح 定に 的 あ 信 手 \mathcal{O} る ょ 用 法 場 0) る信 IJ 採 は 合 ス 用 項 ク に 用 組 お 控 IJ 合 除 ス ア セ لح す ク て あ 読 同 ツ る 4 条 T

8

デリ る 減 る」とあ \mathcal{O} な え 信 効 己 ŋ 0 テ IJ る 果 資 得 さ バ ŋ 用 算 本率 !る複 ŧ リスク・ア が 1 ス ħ 削 テ 得 出 る ク・ウ 最 ブ する す \mathcal{O} る イ る 減 とす \mathcal{O} ること 0 数 ŧ を 信 複 効 小さ 適用し は i 用 リ EADを限 0) 数 果 0 「控除 エクスポ \mathcal{O} 想 \mathcal{O} が セ とす が 工 スク・ 最 定 1 \$ ツ クス できる」」 たときに 元 し、 を 1 る。 0) 度 小 本 適 0] さい とし ポ アセット 工 額 カュ 用したときに ただし、 額を控除 ク を つ、 信用 ヤ ジ <u>ー</u>の 限 ス てプ と、 ポ] ヤ プロ 度] リス のうち、 とし 口 工 \mathcal{O} することが クスポ ジ テク のうち、 額を テク 口 信 ク てプ ヤ テ 用 信 ショ 控 • シ ク 当 IJ 用 除することが] 口 に ア 彐 シ ス 該 IJ 当 セ テク ジ つ 3 ク・ クレ スク・ア できる」と ット 11 提 0 ヤ] シ 7 供 提 ア 0) ジ (T) 者 削 彐 提 供 に セ ツ 額 減 0) 対 0 セ 供 ツ \vdash され ット 象と 読 \mathcal{O} 所 ٧١ 提 \vdash で 対 削 要 デ き 供 4 7 象 \mathcal{O}

デリ 用 額 七 信 条 0) を IJ 手 用 か 第 控 ス バ ŋ 算 法 第 場 IJ IJ 百 合に 除 ク 七 ス ス テ 得 出 採 十三 ・ア 頃に ク る するも す 用 削 イ え ることが 複 組 条 お 減 7 セ ア 数 V 当 合 お 効 \mathcal{O} \mathcal{O} ットの セ 」とあるのは「内 て、 想 0) 0 該 果 規 ット とす て読 定 エ 特 に 定 1 できる」」 同 ク お 元 は、 定 条中 を 額を算出 ス る。 み替 0) 11 本 順 額 適用 て、 額を ポ 位 第 ただし、 を えて準 参 第百十条」とあるのは 算出する場合に 最も ジ 限度としてプ 照 項 と、 するものとす たときに、 型 t 部 か 小さい] 格 用する第百十条」と、「 ク プロ 5 のうち 付 「信用リ 第 手 六 テ 法 ク 項 ツ 信 採 0 ま 1 口 ショ 用リ ス 当 る」」とあ っつい 用 エク テク ク • で 組 デ 0 ス ク て準用す 合」と、「「 IJ ス シ ク・ ア 規 レ 「第百二十 バ t ポ 彐 定に 提 ジ ット る テ ア 供 ジ セ 提 \mathcal{O} 標 ょ イ 対 رِ چ は 信 る 供 \mathcal{O} ツ 象 淮

> とす とが Ł 数 る信用リスク・アセ 複 れ を \mathcal{O} \mathcal{O} 減 適用 EADを は 効果 0 数 小 0 ば 控除 る。 さい 工 想 0 な で セ 工 ク きる」」 L が 工 5 定 イト ツ スポ クス たときに信 最も小さい な 限 元 \vdash し、 感度とし 0 本 を適用し 0 ポ] 工 額 ただ カュ と、 額 ク ジ] つ、 を を ヤ ジ ス て 限 し、 「 信 控除することが ットの] ポ 用 ブ 一のエク ヤ プロテクションの 度 たときに IJ のうち、 口 プロ としてプロ 用 \mathcal{O} ス ジ テ IJ 額を控除することが う ク ヤ クショ テ ス 5 ス ク ク • 信 当該クレ ポ ア に シ 用 当 セ ン] ア 0 彐 できる」と読 IJ 該 テ 提供 ツ ジ 1 セ ス ク ク トの て削 ヤ 提 0) ツ ク・ ジ] 供 \vdash 者 提 ツ ジ 彐 対象 額 減 に ア 供 \vdash ツ ż 0 所 セ 対 額 で \vdash 提 み れ 削 要 デ ツ を きる」と 供 替 る 減 自 IJ なりうる 7 \vdash デ 算 者 効 己 バ 削 0 ij な え 信 出 る 0) テ 額 バ 果 資 用 減 L イ IJ ŧ IJ 本 あ さ テ う が \mathcal{O} な ス ス 1 け 最 n 削

項を加える。]

9

ク・ア て、 順 t さ 位 適 EADを は] 用 れ 工 位 お 控 た順 除 照 ク に 最 L ま け 派型クレ セ 除 £ たときに、 ス すること 0 る 限 で ツ い ポ あ 位 小 度とし 0) さい て カゝ 5 エ カュ \mathcal{O} 5 削 ジ ジ かじ クス 額 ヤ が 減 ツ てプロ 信用リ 0)] でき \vdash 0 さ を め プロテクションの ポ 合計 減 のうち、 エ れ • 特] る じて クス デリ る テクショ 定 ジ ス 額 信 さ ヤ ク・アセ を と 読 ポ 用 得 バ れ] 当 控 ティ られ リスク] た 該 <u>除</u> に み ジ 順 ン ク す 0 替えるも ブに る ヤ 提 位 ツ ることが V • 順] \vdash 供 カコ 提 ジ て ア ら 一 位 お カュ 者 供 \mathcal{O} ツ 削 セ ま け ら 対 象 額 \mathcal{O} ト・デリ \mathcal{O} ット 減 を で る 数 0 所 で とす さ 0) あ え 要 削 きる」と れ 0) エ 5 て な ľ 減 自 る。 当 ŋ る 額 ク 己 7 カゝ 効 ス 信 じ 該 テ 得 得 0 果 資 ポ あ 用 合 8 特 に 本 イ る 5 特 定 お 率 複 る IJ 計] ブ れ 順 定 を 数 \mathcal{O} ス 額ジ \mathcal{O}

10 を る 分 用 に 内 式 0 要 含 11 部 ま て C 12 自 格 におけ て 一 己 れ 付 資 る V 手 を上 る 本 エ Α 法 率 $\{1-1.5\times b\}^{-1}$ ク IJ 採 限とすることが (K)ス ス 用 ポ ク 組] 相 合 0) 当 は、 ジ 算 ヤ 額 式を 1 を計 В に Α \times $\{1+$ 適 できる。 | | | C 測 対 用する場 するネッティ V (M-2.5)第 A 又 一合に は 項 第二 S あ A っては、 号に グ C 0 定 セ V 当 部 8 ツ Α

IJ 事 バ 業 テ 法 イブ 人等 が 向 付さ け 工 れ ク た ス 場 ポ 合] \mathcal{O} ジ 取 t 扱] に 保 証 又 は ク レ ジ ツ 1

第

証 合 百 証 部 デリ 又は 分又 \vdash \mathcal{O} 事 八 クレ は 額 業 条 テ 0 原 法 イ 算 ジット・デリバティブに対応する信用リ 債 前 式、 条 が 向 \mathcal{O} 付さ PD及びLGDを適用することが プ け 規 ロテ 工 定 れ ク に 7 クシ ス か ポ カ る場 彐] わ ジ 5 合に が ず ヤ 提 は、 供 に 内 さ 保 部 被 れ 保 証 格 て 又 付 証 は 手 できる。 債 ク 法 る 権 ス レ 部 \mathcal{O} 採 ク 分に 被 ジ 用 た ア 保 ツ 組

> 項 を 加 え る。

デリバ 事 テ 法 イブ 人等 が 向 付 け さ エ れ ク た 場 ス ポ 合] \mathcal{O} ジ 取 t 扱] 1 に 保 証 又 は ク レ ジ ツ 1

第

 \vdash 合 百 又は 分 又 \vdash ・デリ は \mathcal{O} クレ 額 は 事 八 バ 原 0 条 テ 算 ジ 債 法 イブ 式 ット・デリバティ 権 前 等 条 が PD及びLGDを適 プ 向 \mathcal{O} 付さ 口 け 規 テク 工 定 れ ク に 7 シ ス か 1 彐 ポ か ブに対応す る わ] 場 が ジ 5 用することが 合 ず、 提供 ヤ は さ 内 被 に んる信 保 保 部 て 証 証 格 用 債 又 付 で IJ きる る は 手 権 、スク 部 ク 法 0 被 分 レ 採 に 保 ジ T 用 セ 保 証 ツ 組

証 部

ツ

ポ 又 ス る] 方法 ジ 保 ポ 当 は 該 原 t 証 ジ 保 債 が 人 又 ヤ 証 権 標 \mathcal{O} は 信 準 \mathcal{O} とみなすことが 又 的 用 ブ フ は 口 口 手 IJ テク テ 法 ス ブ ク 口 で ク シ テ シ あ クシ る場 T 3 彐 ン セ 合は ョン提供 提 が ツ 供 提 1 者 供 \mathcal{O} さ に 額 被 者 対 れ 保 \mathcal{O} に 証 算 す 対 る 債 出 する直 る 権 直 に 部 接 お 被 分 \mathcal{O} 接 保 工 ク 証

2 とが デリ 証 人又 ポ 掲 げる で 向] 進 ツ \mathcal{O} \mathcal{O} きる。 テ け 信 は ジ 1 区 的 分に ヤ エ エ 用 ブ 1 内 クスポ デリ ク 部 IJ 口 ブ スポー 応 テ が 以 ス 格 ク 付 じ ク 付 下 テ さ 手法採 ジ ジャ 「先進的 ア れ 彐 ブ ヤ 7 該 セ ン 」とい 0 提] 各 ツ V 用 信用リスク削 号 供 組合は る場合に に 内部格付 者 該当し に \mathcal{O} に 定 額 う。) に 対 \otimes \mathcal{O} ない事 は、 第百二 る方 算 す 手 る 出 法を適用できる事 保証又はクレジット・ 減 法 直 次 に · 業 法 + 効果を勘案するこ 接の に な 各 ょ \mathcal{O} 号に 工 条 7 人等向け 第一 保 適 ク 掲げ 用さ スポ 証 二項 又 る保 業法 各号 は れ エ ク ク る 2

適 先進 用 ツ 0 <u>۱</u> する方 プ 口 的 デリ テクシ 内 部 格 テ 彐 付 手 が 法 を勘案したPD又はLGDの 提 供 被 いされ 保 証 7 債 権 る \mathcal{O} 部 被 分に 保 証 保 部 分又 証 又 ず は は れ 原 カコ 債

権 基 式 礎 ブ 的 口 デリ PD及びLGDを適用する方 テ 内 ク 部 シ 格 テ \exists 付 手 法 が 提 対 供 被 保 さ 証 れ る方法 債 権 る \mathcal{O} 被 部 ス 保 分 証 アセ 保 部 分又 証 ツ 又 \vdash は は 0 原 額 債

標 シ 口 準 テ 彐 的 ク 手 が シ 法 提供されている部分につい 彐 被 保証 提 供者 債 権 対する直 の被保証 接 部 0 分 て、 又 エ ク は ス 当 原 該保証 ポ 債 権 ジ \mathcal{O} 人又 プ

> 場合 ブ ジ 先 が を勘 ヤ 進 は、 提] 的 案し 供 に 内 さ 被 保 部 たPD又はLGDを れ 保 証 格 て 証 又 付 11 債 は 手 る 権 ク 法 レ 部 \mathcal{O} 採 被 ジ 分 用 ット・ に保 組 保 証 合 適 部 証 は 用 分又 デ 又 す IJ は 事 ることが バ は ク 業 原 レ テ 法 債 ジ 人 できる。 ット 権 0) が 向 プ 付 け デ 口 さ 工 テク IJ れ ク バ ス て

る

イ

先 先進 とみなす 進 的 的 内 に 内 方 対 部 部 格

3 る デリ テ 格 ブ 付 付 0 手 手 法 信 法 用 採 を IJ 適 用 ス 用 組 ク で 合 削 き は 減 る 効果を 事 自 業 組 法 合 勘案することが 推 オ 等 LGDを 向 け 型 工 ク 適 用 ス ポ す

か 5 第 第 み替えるものとする 準 五. 的 採 百 12 + 굿 手 用 八 法 組 条 V 条 採 ま 合 用 準 が で 第 組 用 第 九十三条から第九十六条まで、 第 合」とあ す 百 る 項 九 条及 た る \mathcal{O} だ び \mathcal{O} 場 は 合 書 第 百 内 お + 除 部格付手法採用 V て 条 \mathcal{O} 0 規 れ 規 定 定 第 は 九 適 内 +組 定中 用 九 部 合 す 格 条

4

5 合に 分に 第 法 第 限 採 百 五 おいて、 る。 川組 一六条まで、第百九条及び第百 十八条、第九十三条から第九 部 格 合が第一 これ 0 付 規定を適用する場 手法 . ら の 項ただし書又は第二 採 規 用 定中 組 合」 標準的 と読み替えるものとする。 合に + + 手 つ 七条ま 条の 法 V て準用 項(第三号に 採 で、 用 規定は、 組 第九 する。 合」とあ 内 + 係 部 九 る \mathcal{O} る 格 条 場 部 付 \mathcal{O} カコ

> 3 算 出 する保 らない。 付 ション提 \mathcal{O} \mathcal{O} 債 債 間 に 権 に位 務者格 対 に 又 応するPDに代えて、 お 証 は 項 供者 原 又はクレ 11 置 0 一する 付と被保証債権又は原債権の債 て、 債 場 に 権 合 保証 より完全に代 債 \mathcal{O} に ジット・デリ 債 お 務 人又は 務 11 者 て、 格付 者 \mathcal{O} 保証 プロテクション 信 内 に 1替され 用リス 部 相 此人又は 格 当 テ 付 するPDを イ クが ない 手 プロ 0 保 採 IJ テク 提供 務 き 証 用 ス 用 者 人 組 は ク・ウェ 1 \mathcal{O} シ 者 又 合 な 債 3 \mathcal{O} 同 は け 債 項 務 ブ 提 務 者 1 に 口 れ 被 格 供 者 \vdash 規 テ ば 保 ク な付 者 格 の定

から第 えるものとする。 定 手 は、 法 第五 採 第 用 百 + 三三条ま 組合」とある 八 項に 条、 お で、 11 九 第百 て準 十三条から第九 0) 用する。 九 は 条、 内 第百 部 格付 この +十六条まで、 手法 場 条 合に 、及び第一 採用組 お V 百 て、 合」と 十三 第 九 読 標 条 + 準 \mathcal{O} 4 九 替 的 規 条

項 加 える。

(ダブ ル・ フ オ ル \vdash 効 0 かか扱

百

+

九

条

削

除

百 ライテリアを 合は、 -+ 九条 事業法 前 人等 適 用 一条の 向 けエクスポージャ 規 7 1 定 る特 に 定 貸付 わら 債権 ず、] を除 (スロッティン 内 部 格 付 又はそ 手 法 採

ときに とを び 又は第百 証 九 未他 る場合には 又は デフォ ット 保 証 テ 11 \mathcal{O} う。 クレ 人又は 限] エ 十三条の規定に従うものとする。 り、ダブル・デフォ ク ルトするリスクに基づいて信用リスクを から第九十 リバ 第百 以 ス ジット・デリバティブが第二号に掲げるもので 向 下同じ。) 原債権 ポ ティブが 1九条、] ジ ク 六条まで及び ヤ ス \mathcal{O} 債務者及びプロテクション提] ポ 第三号に該当する場 を勘案することが 付されてい に] 限 ジ ルト る。 ヤー 効)に次に掲 次項の治 別果 (被 る場 追 保 できる。 一合には: 証 加的 人に対 げ る保 要件 権 第 ただし、 削 \mathcal{O} 証 す 供者 債務 - を満 百 減するこ 又 は + 、ク 億 第 レ 円 た が 者 条あ保 共及す

が ファー 提供される保証又はクレジット・ 単一の債 スト・ト 路者の ウ・デフォルト型クレジット・デリ 信用 事 由 に 基 づ いて信 デリバティ 用リ スク 削 バ 減 テ 効

ものを除く。) ちのを除く。) ちのを除く。) ちで順位参照型クレジット・デリバティブ(前号に掲げる

2 効 は 前 %果を勘 原債権 ダブル んに規 . 案してい \mathcal{O} 定する追 リスク・ウ デフ オ ル 加 \vdash 的 工 要件 効 イト 果 は、 0 が 勘 案対 次に 他の信 象となる被 掲 げるも 用 リスク のとする。 削 保 証 減 債 手 法 権 の又

扱われるなり中央政 三十 証 証 又は るも 五. 険 又 条 クレ 府 は 12 \mathcal{O} 等 プ 掲げ 文は ジット・デリバティブ で 第 口 テ る主 ク 我 が 国 ショ 第 六 体 項 0) 又は保険会社若し ン に 提 地方公共団 . 規 供 定 者 す が が る外 第三 体 第 に 玉 百 < $\overline{+}$ ょ 保 険 は 兀 る 条 業 外 ŧ 0 条 国 規 者 若 \mathcal{O} を保 と 定 L い険 に

果

あり、 又 は 以 クレ カゝ 下 一同じ。 ジット・ 次 のイからハまでに掲げる条件の全てを満たす のうち デリバ 信 ティ 用 リスクの ブを業として行 削 減 を目 って 的 とす V 、 る 者 っる保 で証

若しくはこれ ク 適 区分が 格格 付 これ 4 機 (関により付 銀 3 行監 と 以上であること。 類似 督 委 \mathcal{O} 与され 員 基 準 会 0) 0) た格 適用 定 め を受け る自 付に対応する信 | | | | | | | | | | 口でいること又は口資本比率の基準 用 IJ ス

割 す 格 用 出 り当 る。 付については、第三十六条第一項の表を準用すリスク区分(第三十四条又は第三十五条に掲げ 基準日までの 証 ハにおいて同じ。)に対応するPDに てられた内部格付が付与されてい 又 は クレ ジット ず れかの時点におい ・デリバティブが 4 付 相当す さ · 以 れ る主体という るも 7 るPDが 0) 5 لح の信算

付与されていること。 対応するPDに相当するPDが割り当てられた内部格付が 算出基準日において、4―3以上の信用リスク区分に

..。 被保証債権又は原債権の債務者が次に掲げる者でないこ

ミ、浄 保証人又はプロテクション提供者の子法人等又は関連1 前号に掲げる保険会社及び外国保険業者

ホ 法 人等とする主体 保証 デフォル 人又 トしてい は プロ テ 、 る 主 ク シ 体 彐 ン 提供 者を子 法 人等 又 は 関 連

支 払 供 た支払予定に 者に きること。 (被 部 対 保証 して、 付 手 沿った支払の形態を取るものを含む。)を請 法採 債 権 訟 又は 用 による請 組 原 合 債 は、 権 求を行うことなしに、速 0 の債務者が行うこととしていいを行うことなしに、速やかに保証人又はプロテクション提 求いに提

るために、 合には、内部格付 譲渡を行うことが 保 証 社債その 又は 被 クレ 他 保 証 0 手法 債 債 ツ できること。 権 権 \vdash 採用組 を譲 又 八は原 デリバテ 渡することが予定さ 合は、 債権 1 法 \mathcal{O} 債務 ・ブに 的 確 基づ 者に 実 性 対す を 確 れ 支 んら貸出 ている 保 を L 受 て 当 場 債

市 債権を市場から調達することを予定 場に調達のため 前 号の場 場合にお の十分な流動性 て、 部格 付 があること。 手 してい 法採 用 ると 組 合 き が は 譲 渡 当 対 該 象

で 手 を子法 ある購 の信 (等若し 希薄化リスクに テクショ 用リスク 入債 人等又は くは関連 ン 権 提供 削減 \mathcal{O} 売 関連法人等としていないこと。 法人等でなく、 0 ŋ 者 効 V て保証 果を 手又は当該購入債 が 当 該 勘 又は プロテクシ 案する場 クレ つ、 合、 ジット 当 該 3 権 購 \mathcal{O} 当 ン 該 売 \mathcal{O} 入 債 ŋ 提 保 デ 権 手 供 証 IJ 0 体 0 人 子 又 テ 売 対 法象は

有する者 保証 勘案を行う扱いとなっていること。 \mathcal{O} のような関 債 人又 こでな 務者 は とデフォル いことが 口 係 テ がな クション提供者が、 組 い場 トの 合 0) 合にのみダブ 内部 相関関係が過大とな プロ セ 被保証 スによ ル・デフォ って 債 る 権 要因 確 ル 又 1 認 は さ 効 を 原

に用 リス 定めるLGD、 ク・アセ ットの額 第百三十二条に定めるEAD及び ルト効果を適用したエクスポ は、 次条に定めるPD、 第百三十 第百三十三 1 ジ t 1 \mathcal{O} 条 信

3

係数 掲げる算式の算出に要するダブル・デフォルト効果を勘案し デ び第五号により算出される額とする。 に掲げる算式により、 に掲げる算式の算出に要する所要自己資本率(Ko)は第三号 た所要自己資本率(Knn)は第二号に掲げる算式により、 きない。)を用いて、 リバ 定 めるマチュリティ (M) (R) 及びマチュリティ調整 (b) ティブのMを用いるものとし、一年を下回ることは 次の第一号に掲げる算式により、 同号に掲げる算式の算出に要する相関 (ただし、 は、 保証 それぞれ第四号及 又は クレ ジット・ 同号に 同

信用リスク・アセットの額 $=K_{DD} \times 12.5 \times EAD_{g}$ 保証人又はプロテクション提供者のEAD

 $K_{DD} = K_o \times (0.15 + 160 \times PD_g)$

PDgは、保証人又はプロテクション提供者のPD

所要自己資本率(K_o)= $[LGD_g \times N \{(1-R)^{-0.5} \times G (P)\}]$

 $D_{\rm o}) + (R/(1-R))^{0.5} \times G (0.5)$

999)} -EL] $\times \{1-1.5 \times b\}$

 $^{1}\times$ {1+ (M-2.5) ×b}

 LGD_g/\sharp 該取引の性質に照らして適切と認められる数値 保証人若しくはプロテクション提供者のLGDのうち、当 被保証債権若 しくは原債権の債務者のLGD又は

PD。は、被保証債権又は原債権の債務者のPD

 EL は、 PD_o に LGD_g を乗じた率

几 五. 規定するところによる。この場合において、PDは、被保証 権若しくは原債権の債務者又は保証人若しくはプロテク 相関係数(R)は、第百二十七条に定めるところによる。 マチュリティ調整 (b) は、 第百二十七条第一項第四号に

法 向 け エ ク ス ポ ヤ] SPD)

第 係 る 一年 法 ツ 人等 \vdash 間 0 \mathcal{O} 向 額 事 業法 け 0 算 工 クス 人 推 等 計 び ポ 値 向 期 け とする。 ジ 待 工 ヤー 損 クスポ 失 0 に 算出に · 付 与 ージャ さ 用] れ 0 た るPDは、 債 信 務 用 者 IJ ス 格 付 当 ク に該 第

2 び 前 とト 金 項 \mathcal{O} \mathcal{O} 算式 を下 規 関 定 口 及 等 に 5 び 向 か な 期 け カゝ 待 わらず、 工 クス 損 \mathcal{O} 失 とす 0 ポ 算 1 事 出 ジ 業 に ヤ 法 用 1 人向 11 \mathcal{O} るPD 信 け 用 エ は IJ ク ス ス ク ポ \bigcirc ジ ア \bigcirc セ ヤ 五. ツ

2

推

計

値

とする

Ł

3

業法 人等 向 け 工 クスポー ジ ヤー &LGD)

第 スク EADに ス • ポ 当 を ア 適 対 先 セ 用 する 進 ツ t \vdash 的 き 先 割 \mathcal{O} に る 進 部 額 事 合 0 的 を百 V 内 格 \mathcal{O} 算式 てデフ 法 部 付 分率 手 格 法 及 等 付 オル で表した を適 び 白 手 期 け 法 \vdash 用 待 採 工 用組 時 で 損 ク に 推 失 スポ き 計 生ず 合が \mathcal{O} る 算 値 事] とす る経 出 ジ 先 業 に用 ヤ 進 済 1 的 築 (T) 的 内 るLGD 信 損 向 部 失額 け 用 格 エ IJ 付

2 出 ヤ] 用 的 るLGD 内 用 IJ は ス 付 ク 手 法 次 0 T 採 各 セ 用 組 ツ 1 に 合 掲 \mathcal{O} が げ 額 事 業 る 算 法 工 人等 式 ク ス 及 向 ポ び 期 け 1 ジ 待 工 損 ク ヤ ス 失 \mathcal{O} ポ \mathcal{O} 算 区

2

する。 のPDのうち、 V ず n か 低 方 を 用 1 るも 0

す る 工 クス か · を 判 ポージャ 付 手 断 法 することができる。 採 用 組 合 に は 第 ル 項 及 デ フ び オ 第 1 項 効 \mathcal{O} 要 を 件 勘 を 満

4

業 法 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ]

アセ ス 百 事 ポ ット] + ジ 条 ヤ 0) 額 Ì 事 業法人 0) に 算式 付 与 に用い 等向け さ れ た るPDは、 工 債 クスポ 務 者 格 当該事 ージャ 付 に 係 業法] る 0 人等 信 年 用 間 IJ 向 \mathcal{O} け ス PD 工 ク ク 0

 \vdash 及 0) \mathcal{U} 前 額 金 項 融機関 への規 とする。 0 算式に 定 等 に 用 向 カコ け か るPD エ わ ク 5 ス ず、 は ポ] 事 \bigcirc ジ 業 法 \subseteq t] 人向 \mathcal{O} 信 け 用 セ 工 ク ン IJ \vdash ス ス ク ポ 下 ジ T 口 セ 5 Y

3 同 上

事 業 法 人等 向 けエクス ポ] ジ ヤー

第 フォル 率 るLGDは 百 で表 ク 三十 ス した推 ト 時 ポ 条] に ジ 当 計 生じる経 ヤ 該 先 値とする。 事 進 \mathcal{O} 的 業 法 信 内 済 部 用 人 的 等 IJ 格 損 ス 向 付 手法 失 ク け 額 エ ア 採 のEADに ク 用組合 セ ス ツ ポ 1] が 対 ジ \mathcal{O} す 額 事 る] \mathcal{O} 業 割 に 算 法 式に 合 V を て 用 百 向 デ

ジ 兀 + ヤ 基 五. 礎 \mathcal{O} 的 信 内 セ 用 部 ン IJ 格 \vdash ス 付 とする。 ク • 手 法 ア 採 セ 用 ツ 組 1 合 \mathcal{O} が 額 劣後 業法 0 算式に 債 人 権 等 0) 用いるLGD 場 向 け 合 は 七 ス は ポ 五.

応じ 七十五 パー 該 各号に セントとする。 定 める値とする。 ただし、 劣後債 権 \mathcal{O} 場

√ || 合 | | ソブリン向 けエクスポージャー 兀 十 五. セ

ヤー 制 金融 兀 一十五パ 機関 及] び セント 非 規 制金融 機 関等 に 対するエ ク ス ポ

事業 セン 金融機関 法 人向け 等に対する エ ク ノスポ 工 クス] ジャ ポ]] ジ 規規 ヤ] 制 を除 金融 く。 機 関 及 兀 び +非 パ規

3

は する 減 適 は (劣後: 効果を勘 ポ 適 手 格 項 格そ 海 法 金 0 案 債 外 ジ 採 融 規 権 0) \mathcal{O} ヤ す 資 定 用 を除く。 案する場合は 取引 ること 他 組 産 に |資産 担 が 合 か は 保 か が 担 あ ポ が わ で 保 形 次 設 5 に きる。 式 \mathcal{O} 定 ず 適格 以 され 0) 算 下 次条第一 取引 適格金融資 式 事 ただ 債 7 権担 業 適 又 法 ょ V L 格 ī 保 、 は ŋ る場 資 可項の 信 等 信 当 産 合に 産 用 用 適格 向 該 担 規 取引 担 IJ 事 け ,保 定に 保 業 ス は 不 工 そ ク ク 法 動 لح ょ 産担 ス 信 0) 削 基 り 用 等 一礎的 ポ 減 他 う。 これ 向 手 保 、スク ...若し け 法 内 ジ 部 又 ヤ 3

す

! を 用 $LGD^* =$: LGD_U -るも のとする。 E · (1 $+ H_E) -$ + LGD_S \cdot

出

するも

0)

とし、

LGDと

は

前

項

第

号

文は第

二号

たに定

め

LGD*/は \mathbb{H} \mathcal{V} 判演 # 法の 效 账 4 勘 翭 \subset 4 LGDを

 $E \cdot (1 + H_E)$

談定 なれる 値をいう。 导 趨 舥 \mathcal{O} Н 大項において同 \mathcal{V} 삵 9 |X|分

LGDsは、 次項の表に掲げる担保資産の区分に応 Π 表 Ñ

いて設定

N

かる

値をいう

パ] セントとする。

[号を 加 える。

[号を加える。

号 を加える。

は式の ·ることができる。 の取 合 前 次に掲げ は、 項 後債権を除く。 以引に関 0 法的 規 定に つる算式 に有効 はする場 か か わら に 合 な 相対、 を除 より に 適格 ず、 き、 信 ネッティング契約下に 見用リ 事業法 金 基 融 スク削 一礎的 **監資産担** 人等 1.内部 減 保 向 格付手 手 け 設 法 \mathcal{O} 定 ク 効 法 あ 3 ス 果 採 る ポ を 用 7 組ポい 勘 案合形る

場

LGD=45パー 椺 括的手法に した (当該事業法人等向けエク :後の事 4 7 :業法 × \succ 第四 等向けエ ${\mathbb H}$ 艦 \mathcal{V} 가 が、アー。ポス V 옘 削減 \mathcal{V} 徭 头 【 [1] ジャーの額 # (4) 拼 FY の姿 戡 定 账 4 Pt. \mathcal{N} 勘

E/は、 徭 퍼 Н [1] V 十九条第 スポージャーの額をいう。 [1] 項において □ 第六項及び第八項並びに

八項並びに第百三十九条第三項において同 Ċ (1-Esの上 $-\mathrm{H}_{\mathrm{fx}})$ رک 限をE·(1+H_E)とす 計算される °, 値をいう 徭 (この場合に 六項及び第

受入担保の現在価値をいう。 第六項において同じ。

시 필 て設定されるボラティリティ調整率をいう。 次項の表に掲げる担保資産の区分に応じ、 第六項におい 同表におい

41 エク 膃 が、アー。ポス 害 章第六節 やこう。 ・ジャー 徭 \cap 徭 [1] 蔨 大項において 款の規定に 格資産担保の通貨が異なる場合 9-ΠÌ S 蔨 用する Ø がラテ

種類に応 十九条第三項において同じ。 イリティ調整率をいう。第六項及び第八項並びに第百 Ж H B C 郝 が、ボージが \forall 合において、 道 章 第六節第三款の規定に 4 が第四十九条第 取引の相手方に引 ر ال ال 頃の NH 適用するボラ 表の 渡 \subset 第七 7 資産の がに

4 用組 るLGDs及びボラティリティ調整率を用いるものとする。 前項の算式を用いる場合において、 合は、 次の表に掲げる担保資産の区分に応じ、 基礎的內部 同表に 格付手 定法 採 \otimes

適

格

金

一融資

産

担

保

担保の種類に応じて第一世界の種類に応じて第一世界の種類に応じて第一種の種類に応じて第一種の種類に応じて第一種の種類に応じて第一種の種類に応じて第一種の種類に応じて第一種の種類に応じて第一種の種類に応じて第

整した

+

担

保

資

産

 \mathcal{O}

区

分

パ

ーセント)

パ

ーセント)

LGDs

ボ

ラティリティ調

整

率

格

債

権

担

保

+

項 を加える。

5 適 に応じて次に スク 格 格 産 ス 不 礎 ポージ 担保 削 動 \mathcal{O} 的 減手 産 他 内 又は適 部 資 担 ヤ 掲 法 保 産 格 げる運用 担 0) 付 効果を勘案するためには、 保 格 手法 (劣後債権を除く。 金融資産担保について 採 要 用 作を満たすものとする 組 + 五 合 は 第三 を被担保 項 0 事業法 その 規 兀 兀 保債権とする適 事業法人等向け + 担 保 0 種 類

4 勘案し 格その 上であ 産担保 る及 格資 分に を次 人等 適 t 担保及び 場合で 第二項 び 格] という。 適 産 \mathcal{O} 向 不動産担保又は 0 (劣 他資 格そ 担 け るとき 0) 表 後 あっ 後 保 て、 に 同 工 額 0 債権を除く。 規定 0 適 産 が 定 ク 0 \mathcal{O} 設定さ て、 は 担 ス 他 格 8 割 エ 次 \mathcal{O} が 資産 債権 る超 保 被 担 ポ \mathcal{O} 合が次の表に定める最低所 に 設定されており、 基 当 かかか ス 0) 表 1 一礎的內 各最低 適格そ 過担! ジャ 担 ポ れて に 該エクスポージャー 担 保 一保に 保 債 定め わら 保 を 被 ジ いる場合 権 0 部 ず、 そ ヤ 所 に 力 0) よる信用リス るLGDを適用 に 格付手法 複数 他資産 担 れぞれの 要担保カバ 保債権 Ì 事業法人等 \mathcal{O} 額 は 0) 率 次に掲げる運用要件を満た て -で 除 担保 適 採 適格 格 とし 額 対 当 用 ク 1 金 該 0 を基準とし す す 以以 組 融資産 る適 要担保力 削 ること 適 額に対する適格資 て 率 不 向 た は、 合 額に 格資 減 動 け 下 は 適 格 手 産 工 格 クス 不 法 適 担 担 ができる。 相 産 当 適格資産 債権 て算出 保又は 保及び 該事 動 0 格金融資 当する 担 — 率 以 効果を 保 ポ 産 ,業法 担 0) 1 額

[表を削る。

格 とい 権 う。 担 保 0 \mathcal{O} 目 運 的 たる債 用 要 件 は、 権 以 次に 下この号にお 掲げる要件を 11 て . う。 適 格

ること。 担 保権 0 実 行 0 ため に 必 要 な 措 置 が 全て講 じ 5 れ て

「ハ〜ト

集中度合い、組 ク 収費用、当 んその他 被担 1保債 0) 該適 勘案す 権の額 合 格 債権 のエクスポ べき要素が と当該 0) プー 適格債 ルに ージャー 全て織 権 おける一の 0) ŋ 額 全体 込まれ との \mathcal{O} 第三 中 差 て . の 額 いること。 集中リ 債 に 務 は 者 ス \mathcal{O}

いう。 適格不動 適格不動 産」という。) 産担 保 0 目 的 (T) たる不 運用 動 要件 産 **(**以 は、 下この 次 に 掲 号に げるも お 0) V

イく 略

先 設定額及びその される法 適 格 不動 的 産 に に 有 つ 内 効 1 容が な て 請 継続 求 内 権 部 的に監視されていること。 (先順 格 付 手 位 法 0 採 担 用 保権 組 合よ を含 ŋ む。 ŧ 優

略

いる場合は、ボラテ 5 全ての先順位の担 イに掲げ 額を控除 る要件 した 額 イリテ を満たす劣後 以 保権を保有する者 下この イ調整率を考慮し リに いする お 担 \mathcal{O} 保 7 工 権 「先順 クス た担 が 設 ポ 保価値 保 位 Ì 0 ジャ 担 保 か

> 産 適 担 格 保 そ 他 資 三 + 百 兀 + 兀 十

債 権」という。 適 格 同 債 上 権 担 保 \mathcal{O} 0) 目 運 的 たる債 用 要 件 権 は、 以 下この 次に 掲げる要件をいう。 号 にお 1 て 適

いること。 担保 権の 実 行 \mathcal{O} た め に 必 要 な措 置 が す て 講 じ 5 れ

「ハ〜ト 同 上

クその 集中度合い、組合 収 費用、当 被担 他の勘 保債 該 権の額 適格 案す 0) 債 と当該 べき要素 工 権 クスポ のプー 適格債 が ル す -ジャー たにおけ 権 7 0) 織 全体 Ś 額 ŋ 0) 込 \mathcal{O} 0 ま 中の 第 差 れ 額 集中リス 7 債 務 1 ・るこ 者 \mathcal{O} 口

IJ 同 上

のをいう。 適格不動産」という。) 適格不動 産担保 \mathcal{O} 目的 たる不 0) 運 動 用 産 要件」 以 下こ は 次 \mathcal{O} E 号 1掲げ に お るも

「イ〜〜 同 上

 \vdash 内 容を継続的 適 格 不動 産につい に監視されていること。 て 先 順 位 担 保 権 0 設 定 額 及 び そ

同 上

号 の細 分を加 える。

件をいう。 て「適格その 者により当該不動 合において、 する 士 産 適格そ 該 る るものとする とあるのは は「適格その て 一又は こと、 者が 担保 れ が 登記」とあるの 按 同 すること。この 考 前 略 詳 心格その る法 高 分 順 号イからチま 担 いるとき 細 位 価 0) 「適格 保評 て得 一の担 的 値が と認めるに足りる者により当該 0 他資 略 調 他資 優 に 担 他 これ 他資産担 再評 有 保 資 価 た額を適格不動産の 保 産 先され 不動産」とあるの 価 額 産」という。 権 効 産 担 らの 場 な請 は 産」とあるのは 値」とい 価されることにつ \mathcal{O} でに掲 を 担 先順 保 一合に 「 対 保有 評 保 0 る法 規定中 求権 保」と、 価 0 目 部 位 おい 抗要件が具 する者 0) 的 設定に げる要件を満 · う。 0 格 的 精度が たる (先順 担保権考慮後 付 K 「不動 0) 手 有 適格不動 資 を 関 は \mathcal{O} 同 法 運 効 「担保評価 位 する 高いと認め 担保価値とするも 担保権の設 採 「適格その他資産」と、 産 順 備」 用 な 0 要件 用 位 産」 (以下こ 請 担 たすこと。 契 て と、「不動 組 不 産 資産 求 保権 記載 とあるの 約 合 は 担 動 担 権」と読 額の 次に 0 12 一保」とあ 担 保 産 を含 と、 ささ るに足 0) 定 権 お 保 求 評 号に 額 掲げ 価 れ を 担

産

鑑

定

のは

「対抗」

要件が具備」と、

「不動 他資

 \pm

評

価

の

精

渡が

高いと認

めるに足りる者に

ŋ

当 保 動産」とあ

るの

は

「適格その

産」と、 産鑑定

「登記 一又は担

ことあ

産」とあるのは

資産

ご と、

適

格 他

産担保」と、「不

は

るの

合において、

適

格

不動産 動

とあるの

は

適格

その

前号イからチまでに

. 掲

げ 担

る要件 保」

を満たすこと。

0

る お

要

る要件をいう。 て「適格その V

適格その

他資産担

保

の目的たる資産

(以下この

号に

他

資

産」という。

0)

運

用

要

件

は

次に

掲 お

げ

価

精

動 額

産

」とあるのは

「担保評

価

画額の評

価

度

が

高 ょ

لح

優 0)

先

るに

足

ŋ

る者により当該資産」

と 読

4 0

替 精

えるも

る \otimes 不 価 る 不 資

りる

に

応じ を当

 \mathcal{O}

値 保

有

す

保

価

+ [号を加 _ _ _ _ がえる。 同 上

兀

適

格

金

融

資産

担

保

0)

目

的

た

る資

産

 \mathcal{O}

運

用

要

件

は

第

五.

て

4

替

7 に

1

る

応じ

保

 \mathcal{O}

詳 格 同

に

0 他

て

記 担

載され

7

いること。

こその 細

資産

保

0 設

定に関

はする

契

約

に

お

11

て、

担

上

- 221 -

四条から第百六条までに規定するものをいう。八条、第六十一条から第六十三条まで、第六十五条及び第百

[項を削る。]

6 の算 業法人等向けエクスポージャーに設定されている場合は、 応じて前項各号に規定する運用要件を満たす複数 第二項 式により 及び第 信用リスク削 項の規定にかか 減手法 の効果を勘案することが わ いらず、 担保資 0 産の区 担保 が 事 分に で次

$$ext{LGD}^{**} = ext{LGD}_{ ext{U}} \cdot rac{ ext{E} \cdot (1 + ext{H}_{ ext{E}}) - \sum_{i} ext{E}_{S_{i}}}{ ext{E} \cdot (1 + ext{H}_{ ext{E}})} + \sum_{i} ext{LGD}_{S_{i}} \cdot rac{ ext{E} \cdot (1 + ext{H}_{ ext{E}})}{ ext{E} \cdot (1 + ext{H}_{ ext{E}})}$$

TCD**は、複数の担保の信用リスク削減手法の効果を勘案したTCDをいう。

iは、設定された担保の担保資産の区分をいい、適格金融資産 担保、適格債権担保、適格不動産担保又は適格その他資産担保をいう。

TCD^Siは、設定された担保の担保資産の区分に応じ、第四項の規定により設定されるTCD^Sをいう。

 \mathbf{E}_{S_i} は、設定された担保の担保資産の区分に応じ、 $\mathbf{C}\cdot(1-H_C-H_{fx})$ により計算される値をいう。ただし、 $\mathbf{\Sigma}_i\mathbf{E}_{S_i}$ が $\mathbf{E}\cdot(1+H_E)$ を上回る場合にあっては、 $\mathbf{\Sigma}_i\mathbf{E}_{S_i}$ が $\mathbf{E}\cdot(1+H_E)$ と等しくなるよう、当該担保の担保資産の区分に応じて算出される $\mathbf{C}\cdot(1-H_C-H_C-H_{fx})$ を上限として値を調整するものとする。

きる事業法人等向けエクスポージャーに該当する事業法人向7 第一項の規定にかかわらず、先進的内部格付手法を適用で

5 減 意に分割した被担 手法 前三項 のみを勘案することができる。 \mathcal{O} 効果を勘 に より一の 保 案する場合 債 エ クス 権の価額ごとに一の信用リスク削減 ポ は、 ジ 内 ヤー 部 格 に 付手法 数の信 採 用組 用リスク 合は、 任削

[項を加える。]

[項を加える。

いう。) 5 部 出 な に 格 付手法 クス 用 V) いる自組合推計したLGDは、二十五パー ものとする。 の信用リスク・アセ ポー を適用 ジャー できる事業法人向けエクスポージ 。 以 下この条及び次条におい ットの 額 0) 算式及び セントを下 期 て「先進 待損失の ノヤー」 的 と 回算 内

8 手法 格資 る事 効果を勘案した値とすることができる。 0) 前 頭の規・ · 業 法 採用組合は、当該エクスポージャー 産担保が設定されている場合におい 額の算式及び期待損失の算出に用いる自組 下限を、 人向け 定に 次の算式により算出した信用リスク削減手法の エクスポー か か わら ず、 ジャー 先進 的 に 内部 適格金融資産担 . の 格付手法 て、 信 用リスク・アセッ 先進的内部格付 合推計 を適 保 又は適 用 したL で き [項を加える。

 $LGD_{floor} = LGD_{U \ floor} \cdot \frac{E \cdot (1 + H_{E}) - E_{S}}{E \cdot (1 + H_{E})} + LGD_{S \ floor} \cdot \frac{E_{S}}{E \cdot (1 + H_{E})}$

TGDtoorは、信用リスク削減手法の効果を勘案したTGDの自合推計値の下限をいう。

LGDu floorは、二十五パーセント LGDs floorは、次項の表に掲げる担保資産の区分に応じ、

回

表

において設定される値をいう。

に定 用 組 前項の算式を用いる場合において、 合は、 め る値をLGDs floorとして用いるものとする。 次の表に掲げる担保資産の 区分に応じ、 先進的内部 同 格 付 表 手 0 下 法 欄 採

9

金

資

担

保

担

保資産

0

区

分

LGDs floor

セント)

権融

担

保産

十零

「項を加える。

[項を加える。	を スヤエる‡ 適 ポークのレ	3 第二項から第五項までの規定は、先進的内部格付手法なに、 一ジャーを除く。)」と、読み替えるものとする。 (先進的内部格付手法を適用できる事業法人等向けエクスポージャー」とあるのは「事業法人等向けエクスポージない。 て、これらの規定中「基礎的内部格付手法採用組合」とあるのは「事業法人等向けエクスポージを表表している。」と、「事業法人等向ける」とある。
[項を加える。		ついて進引でらってつ場合に額の算式及び期待損失の算出事業法人等向けエクスポージを適用できる事業法人等向け規定は、先進的内部格付手法
	い LG よ 対 る	を用いるものとする。 でものとし、担保による信用リスク削減効果を勘案しないであって、適格金融資産担保の信用リスク削減が果を勘案しなりであって、適格金融資産担保の信用リスク削ージャーがレポ形式の取引又は信用取引その他これに類
[項を加える。	スール 進向とポーツ的ける	11 先進的内部格付手法を適用できる事業法人等向けエクスのは「先進的内部格付手法を適用できる事業法人向けエクスポージャーと読み替えるものとする。 と読み替えるものとする。 」とあるのは「先進的内部格付手法採用組合」と、「事業法人等が過過であり、 第五項中「基礎的内部格付手法採用組合」と、「事業法人等が過過である。
[項を加える。		在こうへに、等立真コ「はなり」「あるけっとなどもはなっている。」という。 一人削減手法の効果を勘案する場合について準用する。第五項の規定は、第八項の規定によりLGDの下限に信その他資産担保 十五

内 額 区 最 部 11 分 低 組 \mathcal{O} 位 で きる 12 合 格 て 算 要 又 式 含 付 準 件 は لح 手 用 及 ま を 資 読 法 す び n 充 産 る。 み 採 期 る 足 区 用 替えるもの 分 人 組 クス 損 な 等 に \mathcal{O} 合 失 1 お 向 場 \mathcal{O} ポ 場 け 11 とあるの 合 算 合] て 工 とする に 出 ジ に ク お LGD の おい に ヤ ス ** \ 用 ポ Ì は、 て、 て、 11 0)] るLGDを 信 推 ジ ۲ 当 先 用 計 t れ IJ 該] 進 に 6 ス 事 係 0 的 \mathcal{O} 業 う 内 設 ク る 規 部 単 定 次 定中 ア す 位 格 節 á セ 又 部 付 に は 手 基 場 ツ 定 \mathcal{O} 法 礎 合 卜 資 \otimes 事 的 にの 採 産 る

14 に LGDを 保 推 な れ 定 用 適 ツ V) 用 は \vdash が 計 て さ セ で 先 ント きる事 部 で 担 \mathcal{O} 設 に 11 れ 進 きる事 計分を含 るエ 定さ てい 係 保 用 額 的 -を 下 る \mathcal{O} V \mathcal{O} 内 るこ ク な 効 算 次 業 れ 部 ハスポー 果を む。 口 業 法 式 7 節 ** 格 5 法 لح 及 工 人等 11 に 付 クスポ な人 勘 が $\mathcal{C}_{\mathcal{C}}$ な 定 に適 手 ジ 11 向 で 案 期 \otimes 向 1 法 `きる。 ものとする。 け **公採用組** る け L 待 ヤ 工 用 エ] て 損 ク 最] エクスポ す 低要件 失の ジャー クスポ は ス \mathcal{O} るLGDの ううち、 この なら ポ 合が 算 1 ず、 場 出 ジ を] 合に 充足 ジ ジ に ヤ 担 先 推 ヤー 先 1 保 部 ヤ お 進 計] 進 お す が 1 \mathcal{O} に 的 に \mathcal{O} 的 11 7 信 る よ 担 \mathcal{O} 内 0 LGD は二 て、 自 保に う ŋ 内 用 場 部 V 部 組 IJ 保 ち 格 合 て $LGD \otimes$ ス 格 合 全 ょ は 付 0) さ ク ŋ 付 推 担 手 み、 保 当 +手 計 れ 保 法 法 推 ア 該 7 全 五. L が を を 計たセ 担 該 いさ 設 適 パ

[項を加える。

「項を加える。」

15

項

か

5

第

五.

項

ま

規

定

は、

前

項

 \mathcal{O}

合

に

お

V

的

格

付

手

採

組

合がの

適格

金

産

は

適

格

担進

先

進

的が

部

格

付 融

手 資

法

を担

で

きる

事資て

人 保

が内

等

向 設 部

け定エさ

クれ

スて法

ポ

一る用

t

]

の内

LGDを

推

計

す

る適保場

合

0

٧١

る。

場

合に

お

11

て、

れ

5

0)

規

定

中

基場用又

磔

的に

内

部

格て業産先

付 準 法

項

中用

前

項

各

号

掲

げ

るエ

ク

ス

ポ

ジ付

ヤ手

1

 \mathcal{O}

区

分

に

応

採

組

合

ことあ

るの

は

先進

的

内

部

格

法

採

用

組

合

読れ 全 が されてい 設 定 ない 定さ 3 部 £ る れ 分を含む。) るエクスポー 値 な いう。 工 第六 クス に ジャ 適用 項 ポ に Ì] す お ジ る自 \mathcal{O} ヤー うち、 7 組 同 合推 じ。 担 保に 計 L より 担 たLGD」 る 一保に 0) 全 ょ さ り 担

手 法 部 格 用 付 手 て 信 法採 用リス 用 組合は、 ク 削 前 減 章第六 効果 を勘 節 第四 案 L 款 な に 1 規 もの 定 す لح る

法人等向けエクスポージャーのEAD)

第

ランス 分直 した場合に 三十二条 アセ 入 接 限る。 貸却 した場 ット 産 額 減)の合計 0 及び 合 目 額 す の 当 のEADは、 業法 0) る デ 算式 自己 該 フ 人等 額を下 デ オ 及 1 ル 資 び 向 当該 \vdash ス 本 期 け 回ら - した購 力 0 待 エ 額 工 損 ク ない額 クスポ 並 失 ス トの 入債 びに \mathcal{O} ポ 算 とする。 額 権 個] 出 ジ にをディ (返金 別 貸倒 ヤ t 用]] いるオ 引当 ス を全 0 を要し カウ 信 金 用 額 シト な 償 IJ ・ バ 部 却 ス 第

案する 前 次 項 0 第 0) んるも 1採用組 各号に定め 第 百二条及び 規 六十三条、 流定に できる。 \mathcal{O} とする 合 か カゝ とあ 第百四 る わらず、 第六十六条から 信用 0) る 場 0) IJ 条から第百六条までの は、 合に スク削 内 部 「内部 おい 格 減 第 付 て、 (手法の) 手 格 八十三条まで、 これら 法 付手法 採用 効果をEADで勘 組 採 0 規定を準 合は、 規定 用組合」 第 九 第 標 用 + 五.

れに類す 格金 融 んる海 資産担 外 0 保 取 引 ポ 限 形 る 式 0 取 引 及 び 信 用 取 引そ 0

[項を加える。

業法人等向けエクスポージャーのEAD)

該ディ ADは、 自己資 ク・ア 額 百 オ を下 三十二条 ル セット 本の 口 ス \vdash i 5 カウント 該 ない た購入債 \mathcal{O} 並 ク 額とす びに ス 業法 0 の額 ポ 権 個] 人 等 式 る。 別貸 をデ (返金を要しないも ジャー に 用 向 イ 倒 け **,** \ 引当金、 スカウン を全額償 るオン・バ 工 クス ポ トで 部分 却した場 1 ラン ジ 購 直 に限る。 t 接 ス 償 合 た場合 却)の合 額 信 用 及 目 す \mathcal{O} び IJ \mathcal{O} デ 当 ス

2 条及び 十八条、 に 定 は できる。 前 内内 \Diamond 項 部 る信用リ 第 0 この 格付手 第六十六条から第八十 百四 規 定に 場合に 条から第 ハスク削 法 カゝ 1採用組 カゝ おい わら 減 百六条までの 合 て、 手 ず、 法 と読み替えるものとす \mathcal{O} 内 七条まで、 効 部 準 ル果っ 格 的手法 をEADで勘 規定を準用し、 付 手 第 法 採 採用 用組 九 十二条、 案す 組 合 合は、 ることが 次 0) 第 あ 百二 各 る

法 的 に 有 効 な 相 対 ネ ツ テ イ ン グ 契 約 レ ポ 形 式 0 取 引

同

上

- 226 -

3 れ 7 部 用 用 期 型 る き 場 IJ は 格 供 供 待 る 工 進 第五 ボ 与 付 損 事 合 与 的 枠 枠 失 ス 業 ル 手 内 項 法 か \mathcal{O} ピ \mathcal{O} ポ 法 部 あ に 算 採 6 未 って 格 規 グ 用 直 出 等 引 ジ 付 定する方 型 接 組 出 向 ヤ 手 は 合 的 用 工 額 け 法 掛 ク 1 に 13 \mathcal{O} エ 採 目 推 る ス お 掛 信 ク 用 とし 法 ポ 計 オ ス 目 用 1 組 に さ フ ポ] 7 \mathcal{O} IJ 合 7 より 百 れ ジ 自 が ス 1 百 る ヤ 組 ジ 先 ラ 算出 額] 進 合 ヤ] とす に セ 推 T Ì 的 ス セ した額とする。 該 計 セ 内 \mathcal{O} 資 Ź 当 1 値 う 部 ツ 産 \vdash 0) を 5 格 1 た 項 を な 掛 乗 \mathcal{O} 付 だし 目 乗 目 ľ IJ 手 額 0 場 ľ た ボ 法 が EADは た 合 適 基 額 算 ル を 額 用 礎 又 式 適 ピ さ 的 は 用 あ 及

4 定 を ス ľ す セ 適 第 • 資 ツ て る 用 バ \vdash 得 産 できる 才 項 た フ・ 項 \mathcal{O} ラ 及 目 額 額 び バ \mathcal{O} ス 及 事 \mathcal{O} 前 合計 び ラ 資 算 業 項 ン オ 産 式 法 \mathcal{O} フ・ 額 ス 項 及 人 規 取引 を 目 向 び 定 バ 下 0 期 け に ランス資 EADS 限 0 待 工 カュ クスポ لح 与 損 か す 信 失 わ る。 合 0) 相 5 産 当 ず、 算 計 項 ジ 額額 出 目 及 ヤ 先 に に \mathcal{O}] 進 Ŧī. 用 び $EAD \mathcal{C}$ 十 \mathcal{O} 的 第 11 パ 兀 る 信 内] 部 + 才 用 合計 九条 IJ 格 セ ス 付 額 バ \vdash に ク 手 は、 を規 ラ 法

出ジ 信 未 用 引 に t 基 低 る ず 供 出 用] 碟 ľ 与 場 れ 額 \mathcal{O} 11 的 方を る 7 か可 又 信 内 に 得 は オ 低 能 用 部 フ・ 適 は た 債 IJ 11 額 格 スク 用 額 方 務 \mathcal{O} 付 す バ に 上 者 手 部 ラン る 第 限 \mathcal{O} 法 格 う。 ŧ 報 兀 \mathcal{O} ア 採 付 0 ス セ + 存 告 用 手 た 資 ットの 在 す 組 九 だ 法 す るキ 産 条 そ 合 し、 採 る 項 第 \mathcal{O} が 用 目 他 t 額 事 信 組 ツ \mathcal{O} 業 項 \mathcal{O} \mathcal{O} 用 合 EADシ 算 利 法 供 \mathcal{O} は 与 ユ 式 表 用 人 • 制 適 枠 \mathcal{O} は 及 等 上 限 フ び 向 用 を 口 可 提 欄 を 信 期 け 勘 1 供 用 待 能 に 工 掲 に 供 す 案 ク な 損 る 応 与. ス 掛 げ L 失 約 る た じ 枠 ポ 目 \mathcal{O} 東掛額た 算 1 \mathcal{O}

5

4

を 削 る

3

ツ

1

メ

<u>۲</u>

NIFs

(Note

Issuance

Facilities)

及

び

3 組 合 と ス L 合 推 ヤ 資 て に 計 進 百 お 値 産 \mathcal{O} 的 を 項 い 信 内 乗 1 目 用 て 部 じ 百 IJ セ \mathcal{O} 格 EAD た ス パ 付 ク・ \vdash Ì 額 手 を を セ 法 は T 乗 ン 1 採 セ ľ う。 \vdash 信 用 ツ た額 0) 用 組 ただ 1 掛 供 合 0 を 目 与 が 額 Ĺ V が 枠 事 \mathcal{O} 適 基 \mathcal{O} 業 算 用 礎 未 法 式 さ 的 引 人 に れ 等 内 出 用 る場 部 額 向 1/1 格 に け る 合 掛 付 工 オ 目 は 手 ク フ 法 \mathcal{O} ス バポ 自 採 用組ラ 目

項 を 加 え る

一用用 内 額額 た \mathcal{O} 部 を \mathcal{O} 信 未 ス ヤ 基 資 る 格 11 用 引 う。 ŧ ず 供 出 付 産 \mathcal{O} 的 手 与 項 れ 額 信 内 とす ただ 法 可 目 用 カュ 又 部 IJ 採 低 は \mathcal{O} 能 格 EAD L ス 用 V 債 額 付 ク・ 組 方 \mathcal{O} 務 手 信 に 上 者 合 法 は ア 用 第 限 \mathcal{O} は 採 セ 供 四 報 \mathcal{O} 次 用 ツ 与 存 告 適 + に 組 \vdash 枠 ロするキ 用 九 在 掲 合 \mathcal{O} を 条 そ 可 げ が 提供 額 能 \mathcal{O} 事 る \mathcal{O} 場 掲 他 t な 業 算 す 掛 げ \mathcal{O} ツ 合 法 式 る 利シ る 目 を 人 に 約 掛 用 ユ \mathcal{O} 等 除 用 束 うち • 目 制 向 V) が を 限 フ け る ある場 低 乗 を 口 信 工 V ľ 勘 1 用 ク フ・ . 方を 案 に て 供 ス 合 得 L 応 与 バポ は た た じ 枠 ラ

を 削 る。

8 6 ポ ク \mathcal{O} ス資 スポ は 合 セ ットの 先 ジ に し 付 五. 先 産項 な 進 1 ヤ お 手 項 ジャ 他的 進 V] 11 法 \mathcal{O} 的 て、 を 内 目 額 事 を 規 内部 部格 業法 ー」とあるの 除 0 \mathcal{O} 適 定 同項 ₹ . EAD を 算 用 は 格 付 式 人 で 付手法 中)」と読み替えるも きる 手 等 及 先 基 · 法 を び 向 推 進 計 期 け 事 的 は「事 礎 採 適用できる事 する場 待 工 業 内 的 用 クスポ 損 法 部 組合」 内 業法 失の 人等 部格 格 合 付 ージ 人等 算 に 向 手 ٢, 付 出 け 法 0 手 0) 業 に ヤ 向 1 工 採 法 とする。 法] 用 ク 用 け 事 採 て 人等 業 準 1 \mathcal{O} ス 組 工 用 法 る 信 ポ ク 用 合 組 する。 オ 向 ス 用] 合」と が 人 ヘフ・ ポ 等 アリス ジ け 先 ヤ 工] 向 進 . ク • ク ジ け あ バ 1 的 ヤ る ラ ス 工 に内 \mathcal{O}

分 が 等 出 ジ に 第 EADS お ヤ お 向 五.] 用 1 け 進 項 て、 \mathcal{O} エ 的 \mathcal{O} クスポ、 るEADを設 推 規 内 同 i用 リ 当該 定 部 計 項中 は、 格 に ス 事] 係 付 「基礎的 ジャー 業単 ク る次 手 先 進 法採用組 定 す ア 位 節 的 区又は資 ると のうち一 セ に定 内 内 部 ット 部格付 合」と読 き \otimes 格 付手法 産 る \mathcal{O} 最 部 区 額 0 手法 分に の 事 \mathcal{O} 低 1 み替 算 要 を 採用 T . 含 ま 適用 業単 式 件 準 えるものとする。 及 用 を 組 び れ 充 位 で す 合」とあ 期 る きる る。 足 又 待 は エ L ク 資 事 損 な る \mathcal{O} 失 ス V 産 業 場 ポ 場 区 法 \mathcal{O}

> 消 五. RUFs (Revolving Underwriting Facilities) 可 パー 能 得 な る場 場 セントとする。 合 合 文は は、 債 零パ 務 者 ただし、任] \mathcal{O} セントとす 信 用 力の 意の 悪 る。 化 時 期に無 に 伴 11 自 条 0 動 件 掛 的 で 目 に 取は 取 消 七 ŋ + L

貸越 目 任 は、 意 枠の 0 零パ 時 未 期] 引 に 出額又 セ 無 ントとする。 条件 は そ 取 0) 消 他 可 0) 信 能 な事 用 供 与 業 枠 法 0 人 未 等 引 向 出 け 額 \mathcal{O} 当 \mathcal{O}

5 6 同 上

項 を 加 える。

項 を 加える。

9

第 百 有 + 価 証 券担 のニ 保 等 第六十 のリスク・アセ 条 への 二 の ット 規 定 0 は、 出 内 範 部 开 格 付 手 法 採 用

合に 組 用 合 つい 組 が とする。 有価 合」とあるの て準用する。 証 券 \mathcal{O} 貸 は、 付 又 は 0) 「内部格付手法採用組合」と読 場合に 有価 証 おい 券による担 て、 同 条中 保 を 「標準 提 供 的 す み 替 手 る 法 場

へ マ チュリティ)

第 百三十三条

2

3 のとする。 て、マチュリティ 期 のについ 第一項ただし のエ クスポー ては、一 書 は、 ジ 0 年の下 ヤ 規] 日以 定 のうち契 に -限を適 カ 上 かわ 0) 実 用しな 効 約 5 当初。 ず、 7 チ , v \mathcal{O} 次 ユ IJ 満 0 こ の 各 期 テ が 号 イ 場 に を用 合に未 該 当 る お満 す る いの

るエクスポー 次に掲げ る要件 ジャー 0 全 てを 満た す その 他 資 本 市 場 取 引 に ょ

ていること 営業 日 が に 時 契 価 評 価 定 を行うととも \emptyset れて ること に 担 保 額 調 整 に 服

履行 相 手 され 方 0 な 期 が V 限 場合 \mathcal{O} 利 約 益 担 喪 定 保 失時又は担保 \Diamond \mathcal{O} 速 やか な 額調整 処 分又 は に 係 相 殺 る が 義 可務

引 うその 前 期 他 カン これに . 含 ま 流 動性 れ 類するも な 0 高 短 い貿 期 \mathcal{O} か 易取 0 流 引及び 動 性 \mathcal{O} 貿易関 高 1 貿 易 連 関 0 連 信 偶 用 発 状 取 債

> を加 がえる。

(マチュ リテ イ

2 第

百三十三条

同

上

同上

3

同

上

同 上

よるエクスポ 次に掲げるす Ì 7 0) 要件 を満たすその 他 資 本 市 場 取

引

イ 同 Ŀ

ていること。 毎営業日 に 時 価 評 価 を 行うととも に 担 保 額 調 整 に 服

が 履行 で 相 手方の され な期 V 限 場 \mathcal{O} 合 利 に 益 担 喪 保 失 時 0 速 又 Þ は カュ 担 な 保 処 額 分 調 又 整 は に 相 係 殺 る が 義 可務

[号を加 するも 短 期 える。 か 0 流動 性 \mathcal{O} 高 1 貿 易 関 連 偶 発債 務 そ 0 他 れ に

類

- 229 -

__務その他これに類するもの

五「略」

5 4 は 有 t 効 期 派 間 に 生 そ 係 商 項 相 項に定め \mathcal{O} 品 る \mathcal{O} 対 他実規 ネ \mathcal{O} 引 定 保守 に 又 テ る実効 は チ カコ イ 的 第 ユ か ン IJ な わ グ 7 値 テ 項 5 契 チ ず、 を イ に規定する取引で ュリ 約 用 は \mathcal{O} 1 IJ 取 ティ 適用 るも 引 ボ \mathcal{O} ル 0) を受け \mathcal{O} 契 ピ 算出に当たって、 約 が グ るも 型 終 了 0 て、 ク す に る ス 0 法 日 ポ V 当 的 ま 1 ジ 該 て に で

4

6 に間 £ で IJ 定 \mathcal{O} \mathcal{O} 前 うち テ 8 を 該 当 有 項 1 0) 含 効 当 該 \mathcal{O} 最も な 相は、対、 な む す 規 V 相 場 対 定 る 対ネ 場 長 第七 合 個 ネ 合 1 に 別 か には ッテ ŧ テ + あ か 取 五. \mathcal{O} わ 引 1 いらず、 一条第二 イ とする。) 五. 7 0) 日を下 ング は う グ 5 契 契約 そ 約 項 複 第三 限とする。 れ 数 \mathcal{O} 第 を下限とす 6 適 \mathcal{O} 項 \mathcal{O} 号に 適 0 用 に 最 個 用 低 対 該 別 保 規 を 象 当 定 受 取 す 有 る。 引 け 期 同 す る 間 る \mathcal{O} 号 る 取 た 最低 最 ŧ 引 だし に 低 該 \mathcal{O} 0 カコ 保 当 5 保 \mathcal{O} う 同 有 す 有 5 7 号 期 る ま チ 期 法

IJ

テ

イ

を用

1

るものとする。

取

引に

係る想

定元本

額その

他

0

名

目

額

で

加

重 平

均

た

7

チ

ユ

全て る 全 て 項 \mathcal{O} \mathcal{O} 該ネ 取引 第一 規 が 定 ッティン 項 第三 に に おける から カコ 項 カ 第六 る 各 わ グ・セ 最 号 5 項 Ł ず、 に まで 長 掲 ット げ 1 ネ \mathcal{O} 満 ・ッテ る を 一 期が 規定 ŧ \mathcal{O} \mathcal{O} イ を適 に ン エ 年 クス 係 グ 用する。 未 る 満 ポ 取 セ で 引 ツ あ で } ジ り、 あ を ヤ 構 る カゝ لح 場 成 つ、 4 合 す

テ テ] が 向 付 け さ エ れ ク た ス 場 ポ 合 \mathcal{O} ジ 取 ヤ 扱] に 保 証 又 は ク レ ジ ツ 1

デ

四[同上]

「項を加える。]

テ 引 第 効 に イ な 派 を 係 項 相 生 用 る に 対 商 想 定 ネ 品 るも 定 8 ツ 取 元 る テ 引 \mathcal{O} 本 実 1 又 とする。 額 効 は そ グ 7 前 0) 契 チ 項 約 他 ユ IJ 0) 0 規 名 テ 適 定 する イ 用 目 \mathcal{O} 額 を 受 算 で 取 出 加 け 引 重 に る で 平 当 ŧ 均 た \mathcal{O} て、 L 0 に て、 た チ 当 て 的 ユ 該 は に IJ 取

5 五 日 を 期 期 間 ユ 的 IJ 間 に 前 テ 有 項 間) イ 下 効 該 該 \mathcal{O} 限とす 当 は、 な 相 規 を下 相 す 定 対 る取 第七 . 対 ネ ネ -限とす カコ ・ツテ 引 テ + カュ 五. わ イ を る。 条第 イ 含 5 ング ず、 グ む ただし、 場 契 項 第 契 合 約 約 に \mathcal{O} 適 項 は \mathcal{O} 同 号に規 用 適 뭉 に そ 対 用 に 該 象 を 当 定 \mathcal{O} 受 定 う す 8 に 5 け \mathcal{O} 複 す る な 最 る る 取 ŧ 引 場 低 長 合 保 う V 低 ち 最 保 有 7 は 低 有 期 チ

7 6 m 前項のU

る場 1 る とみ す 前 合 す べ 項 な に て \mathcal{O} は、 L て \mathcal{O} 規 て、 \mathcal{O} 取 定 当 引にか 取 該 第 引 ネ が お カュ ッ 項 第 け わ テ カュ る 5 イ 5 ず、 最 項 ン 第 各 Ł グ・セ 号に 五. 長 ネ 項 ・ツテ 1 ま 満 掲 で 1 げ 期 イ るも \mathcal{O} が を 規 定 年 \mathcal{O} \mathcal{O} を 未 セ 適 係 満 ツ 用 ス る で \vdash す ポ 取 あ を 引 で ジ 成 ヤ あか

IJ (J テ テ 1 イ ブ ル が 向 付 け さ エ n ク た ス 場 ポ 合 1 \mathcal{O} ジ 取 ヤ 扱 1 に 保 証 又 は ク レ ジ ツ

2 第 号に る。 とす 提 第 三十八 とみ る方法に 算 す] とあ この プロ 供 係 百 五. ク 標準 適用する方 ジット・デリバ テ る 場 ジ ツ テ 内 出 る部 なす ショ 七条 十八 合で、 クションが 部 \vdash] 直 者 t に 次 七 る 場 テクショ] \mathcal{O} 的 格 に ル お 接 \mathcal{O} 条 0) 分に 条、 方法 手法 计手法 より 完全 ま 額 向 合 ン 各 に 1 \mathcal{O} は に で が て 適 \mathcal{O} け IJ 工 保 内 限る。) 提 保 算 \mathcal{O} に代 エ ク 証 テ お 第 に 部 規定 クス 提 用さ 式] 九 供 証 ス 者 11 ン 被 掲 又 格 内 ティブを 又は 及 z げ . 替さ 十三条から第九十七 供 て、 提供者に対する直接 \mathcal{O} は 保 被 ポ ル 付 部 は、内 び ポ さ クレ れ 保 る 信 向 0) 証 れる手法 1 手 格 これらの 期 クレ 保 け 規定を適用する場合に て 債 れ 証 ジ れるときは、 用 法 付 いる部 ジット ジ ている 待 エ 権 債 ヤ 証 リスクが 採 一部格付 手 勘 用 損 ク ヤ 権 ジット] 人 又 \mathcal{O} 法 案したPD又 失] スポージ 被 0) 0 0) 組 採 0 規定中 分について 0 部 • 用組 被 区 信 は 合 手 算出 用リ · 保 証 リ 分に 保 分に ・デリバ ブ 法 前 証 口 合」と読 採 バ に 応じ、 人又は、 ヤ 条まで及 0) 1 2 テ 三 IJ 「標準的 分 部 ス 用 用 て、 はLGDの ٧V] 分又 条 テ エクス 又 ク ク テ 組 1 テ (T) イ て は シ 0) 合が前 るPDは プロ 信 0 当 は ィブの効 当 T 規 ブ み替えるも 原 彐 ル いて準 手法 び ポ該 定に 用 保 該各号に セ が向 債 原 ン テクシ 提供 IJ 第百 保 ット 付] 証 け 債 権 1 項 ず又権れはの ス 採 さ (第二 ジ 証 \mathcal{O} か 工 当 ク 用用 条 ヤ人 果 者 か れ ク プ \mathcal{O} 組す 又口 定 わ 彐 ス 該 かク 額 か プ に \mathcal{O} 第 5 項 を が ポ 百 百 号 IJ ず、 セ |号 提 る場 勘案したPD又はLGDの 三十八条] 提 を加 供 ツ テ 加える。 を 供 ジ 合で、 1] 者 ヤ 加 さ 七] \mathcal{O} れて に ル え 保 え 条 額 る。 る。 向 完 に 証 \mathcal{O} IJ け 全 債 保 1 債 内 算 テー 工 る部 に代 務 証 部 式 ク 者 又 格 に ス 分に 替 は \mathcal{O} 被 ル 付 用 向 ポ Z 信 ク 保 手 V 1 1 れ け 保 証 用 法 いずれかを適用することができる。 ジット るPDは、 エ IJ 証 部 るときは、 採 ヤー ス 用 クスポージ 分 クが は 又 組 0 は • 合 ク 保デ は、 当 原 ij ジ 債 前 証 該 バ ヤ 権 人 IJ IJ ツ <u>۱</u> 条 又 テ テ] テ \mathcal{O} は 1 \mathcal{O} ブ \mathcal{O} 信 デ 口 規 プ ブ ル 口 IJ テ 定 が向 用 向 テ 付 IJ け け シ クシ テ か さ 工 ス 工 ク ク 日 か れ ク

彐 わ

ス 7

ス

率ポ テ ジ t] 向 で のけ 表 属 す ク た推 ス る プ ポ 計] 1 値 ル ジ لح に t す 対 1 る応 又 は す る 当 該 年 IJ 間 テ] デ ル フ 向 け 才 ル 工 トク 確ス

2 げ 前 る 項 工 \mathcal{O} ク IJ ス テ ポ 1 ル ジ 向 ヤ け] 工 0 ク 区 ス ポー . 分 に 応じ、 ジ ヤ] 当 \mathcal{O} PDは、 該各 号 に 次 定 \mathcal{O} 8 各 る 号 に 値

を下

口

5

な

11

け け 工 クスポ クス ラン ポ ザ] ジ ジ ヤ ヤ] 1] に 以 対 ポ〇 外 す 0 る 適 適 パ] IJ IJ ーセント ボ ボ ル ピ ピ ン グ グ 型 型 IJ IJ テ テ]] ルル 向 向

ス ポ 前 号に ジ ヤ 掲 1 げ る \bigcirc 工 ク \bigcirc ス 五. Ì 1 ジャ セ] 以 外 0) IJ テ ル 向 け 工 ク

テ ル 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ] SLGD)

第

ス す ポ IJ セ る。 済 1 テ ツ 的 ジ 1 1 九 損 ヤル \mathcal{O} 条 失] 向 額 額 のけ \mathcal{O} IJ 属 算 \mathcal{O} 工 テ EADと す ク 式] る ス 及 ル プ ポ U 向] 対] 期 け する ル ジ 待 エ ヤー に 損 ク 失 つい 割 ス \mathcal{O} 合 ポ 又 んは当 て、 算] を 出 ジ 百 に デ 該 ヤ 分 用 率 フ IJ] オ 1 で テ \mathcal{O}] るLGDは 表 ル 信 1 L ル 用 時 た 向 IJ 推 に け ス 生ず 計 エ ク ク 当 値 第

2 口 る 0 IJ 算 テ ク 式 ĺ ス 及 11 ル ŧ ポ び 向] \mathcal{O} 期 け 待 工 す t 損 ク] 失 ス \mathcal{O} 0 ポ 算 区 1 分 出 ジ に に ヤ 用 応] 11 じ \mathcal{O} るLGD 信 当 用 該 IJ 各号 は ス ク に 次 ア 定 \mathcal{O} 各 8 セ る 号 ツ 値 に ト 掲の

セ IJ 用 ボ 不 動 産 ピ 向 け グ 型 工 IJ ク テ ス ポ 1 ル ジ 向 ヤ け 1 工 ク ス 五. ポ] 1 セ ジ ン t \vdash

五

推 プ] 計 1 る 値 ル ジ に ヤ す 対] る 応 又 は す た 当 る だ 該 年 IJ テ 間] \mathcal{O} デ ル \bigcirc 向 フ オけ 工 ル ク 1 セ ス 確 率ポ] を を 下 百 口 分 ヤ 1 率 で な 0 属 表 V L す た \mathcal{O}

とす 項 を加える。

テ] 向 け 工 ク ス ポ] ジ ヤ

_ IJ

D に T 百 ポ セ 対] ツ す ル ジ \vdash 九 る割 に t \mathcal{O} 条 1 額 合 Į١ 又 \mathcal{O} IJ 算式 て、 は テ 百 当 1 分 率 デ に 該 ル フ 用 IJ 向 で オ テ 11 け 表した ル] るLGD エ クス 1 ル 時 向 推 に け はポ 計 生じる経 工 1 値とする。 クス ジ 当 該 ヤ ポ IJ 1 済 1 テ \mathcal{O} 的] 信 損 ヤ ル 用 向 IJ け ス 属 工 ク EΑ

項 を 加 える。

を

項を加える	は、内部格付手法採用組合が第一	5 第百三十一条第五項の規定は
	十五五	その他資産担保
	+	不動産担保
	+	債権担保
	委节	金融資産担保
	(パーセント)	
	$ m LGD_{RS~floor}$	担保資産の区分
	るものとする。	る値をLGDRS floorとして用いるも
	の区分に応じ、同表の下欄に定め	は、次の表に掲げる担保資産の区分に応じ、
[項を加える	おいて、内部格付手法採用組合	4 前項の算式を用いる場合において、内部格付手法採
	0	において設定される値をいう
	ドる担保資産の区分に応じ、同表	LGD _{RS floor} は、次項の表に掲げる担保資産の区分に応じ、
	ア	LGDRU floorは、三十パーセン
		計値の下限をいう。
	ジャーに適用されるLGDの自組合推	テール向けエクスポージャ
	スク削減手法の効果を勘案したその他リ	LGDRfloorは、信用リスク削減
	$\frac{E_S}{H_E) - E_S} + LGD_{RS floor} \cdot \frac{E_S}{E \cdot (1 + H_E)}$	$LGD_{Rfloor} = LGD_{RU\ floor} \cdot \frac{E \cdot (1 + H_E) - E_S}{E \cdot (1 + H_E)}$
		とができる。
	ク削減手法の効果を勘案した値とするこ	り算出した信用リスク削減手
	したLGDの下限を、次の算式によ	の算出に用いる自組合推計し
	アセットの額の算式及び期待損失	ポージャーの信用リスク・ア
	部格付手法採用組合は、当該エクス	れている場合において、内部な
	融資産担保又は適格資産担保が設定さ	スポージャーに適格金融資産
[項を加える	にかかわらず、その他リテール向けエク	3 前項第三号の規定にかかわ
	クスポージャー 三十パーセント	三 その他リテール向けエ

条第 付 項 \mathcal{O} 五. を 手 法 勘 他 項 規 中 IJ 定 基 テ 用 す に る 組 よりLGDの 1 一礎的 合」と、「第三 ル 業法 湯合に 向 内 け 人等 部 0 エクスポ 格付 **(**) 下 向けエ · て 準 限 手 に 項」とあ 法 用] 担 クスポー 採用 がする。 ジャー」 保 \mathcal{O} 組 信 る 合」とあ ジ 0) 用リス لح ヤー」とあ は 場 読 一合に 「第百三十 み る 替えるも 削 0) お 減 る 手 の九内 法 は条部同の

(リテール向けエクスポージャーのEAD)

ス 資 全 百 金、 ツ 兀 \vdash 償 産 + トで 部 却 項 \mathcal{O} し もの 分 目 額 た場合 購 直 0) 0) IJ EAD 算式 接 限る。 償 た に 却 及 は ル 場 額 減 び 向 合 及 少 当 期 け 0 す \mathcal{O} び 該 待 エ 合計額を下 る自 当 デ リテ 損 ク 該 フ 失 ス 才 1 \mathcal{O} ポ 己 イ 資 ル ル 算 1 本の ジャ ス 向 出 \vdash 口 力 L け に 5 た 購 ウ 額 工 用 な クスポ 並 ** \ 0 1 11 びに る 入 信 額 債 才 用 \mathcal{O} とす シ・ ジリス 額 権 個 別貸 ジャ を 。 返 バラン ク デ 金 イ 倒] ス引 を ア

リテール向けエクスポージャーのEAD

合 及 え 手 合 セ 百 ノする自 るも 規定 の 当 ット 案するとき 合 び 法 は 几 ジデフォ リテ 採 + 額を下 用 を 該 \mathcal{O} 0) EAD条 とする、 アディ 1 潍 組 己 額 合 用 資 \mathcal{O} ル ル IJ は、 本の 算 す 口 ス \vdash 向 0 カウ - した購 ることが 5 式 け 7) あ な 額 工 第 7 ル る クスポ 貸出 並 用 九十二条 向 0 額 \vdash びに 入 債 11 け は るオン・バラン で 金と自己 \mathcal{O} 工 きる。 する。 クス 額 権 個] 内 をディ 別貸倒 ジャー 及び 。 返 部 ポ 組 格付 ただし こ の 金 合貯 第 を 引当 を全 百 スカウント ジャー 手 場合に 要 兀 金 法 ス L · 金 、 額 条 \mathcal{O} 内 採 な 償 か 相 0) 部 用 お 5 部 却 信 殺 格 組 項 ŧ で購 分 直 第 に 付 用 合 目 て た場 百 よる効果 手 IJ 0 に 法 接 ス 限 した 条 ク 読 採 る。 ま 用 却 4 準 T 額

2 推 与 額 \mathcal{O} IJ \mathcal{O} 算 テ た 未 式 1 引 に 追 ル 加 用 出 向 的 額 け に掛 る な 工 引 オ ク 出 フ 目 ス • が 0) ポ 自 行 バ] ラ わ 組 ジ れ 合 ン t Ď 推 ス] る 資 計 \mathcal{O} 額とす 値 産 信 を乗 項 用 目 IJ ľ \mathcal{O} ス EADた ク 額 又 はア は セ 自 信 用 卜 組 合 供の

2

ポ

ヤ向

用

ス

ク

T

セ

 \vdash

0

算

式

及

U

期型

待

け

工

ス

ポ

ジ

t

 \mathcal{O}

う

5

IJ

ボ

ビ

工

算

に

用

る信

オ

フ

ラン

ス

産

を項

目額

EADは

自 組 用

計

た追

加出

的

な引

セ出

が

卜行

わ

得る額とする。

ただし

第自四組

お

百

ン

0)

掛れ

目

が

適

用

されるオフ・

枠

未出ジ

引

額

掛

目

0

自

組

合

推

計資

値

乗じ

. 額 又

は

6 4 7 3 \mathcal{O} 合 EADの合計 ンス EAD いる 0) る 組 定 案することが 計 第 0 手 第五 5 前二 は、 資 法 0 場 兀 信 ľ 場 式 合 額 る を 部 同 -の額 合に 1採用 一 十 九 用リ 乗じ 貯 オン・バランス資 等 は、「内 に た 合に 産 + 項 オ の格 条第 推計 項 金 内 五. 額 工 八 0 フ 付 おい 額は、 とす 規定 を算出する場合について準用す ク 部 条に規定するオ スク・ 目 組 \mathcal{O} +手 あ た 相 ス 格 に 合 パ 額 部 に 法 第 項 でき] て、こ ラン ポ 殺 付 に 兀 第 7 あ 格 お 採 中 九十二 ア 株 \mathcal{O} 手 セ オン・バランス資産 0 V 用 か は IJ 付 「株式及び株式と同 式 ジ ン セ 7 効 法 当 7 組 か ス ボ 手 れらの規 等 果を 1 採 t ツ 取 該 は 条 法 貸 合 わ ル 産] \vdash を 当 第 採用組合」と読み替えるものとする。 用 条 出 は 5 引 ピ 未 項目及びオフ・ ず、 \mathcal{O} 勘 組 及 金と自 乗じて得 フ・バランス \mathcal{O} 引 該 0 合が スポ 未引 信 案する 額 IJ ブ び 種 出 定 用 型 IJ 及 第 テ \mathcal{O} 類 額 中 IJ 組 び 前] 算 百 テ 工 出 場合 た額 ス 第三 項 式 1 同 ク 兀 合 か 額 標 ル ク 項 \mathcal{O} に 等 条 貯 向 及 ル 5 条 ス 進 ポ 金と 取 掛 (T) 項 に 規 目 び 六 第 カコ け \mathcal{O} バ 向 的 っつ Ź。 ア 定に 性質を有するも 0 5 合 引 \mathcal{O} ラ 期け ま 目 工 手 EADS セ とし 信 規 第 \mathcal{O} ク 計 \mathcal{O} 待 工 で 項 ジ 法 この ツ 用 て ょ 百 ス 額 与 損 に 定 相 ス ク \mathcal{O} 採 1 IJ 準用する。 ŋ 資 7 六 殺 ポ を 信 失 ス 応じ は 表 用 0 場合にお 合 貸出 条 百 相 \mathcal{O} ス 0] 下 ポ 組 産 額 ク ま 内 合」と 効 ジ 限 当 計 項 算 1 た 中 該 . 金 と ک 部 で 果 ヤ 額額 目 出 ジ] \mathcal{O} ア 格 1 すの及のに \mathcal{O} を t セ 第 3 項 \vdash \vdash 項 項 百 四十 とされる事 株 0) を 4 を加える。 標準的手法において債権の 額 式 加 加 は、 等 える。 える。 エ 同 クス 次に 上 業体 掲げ ポ 式 1 に 等 対する株 る ジ 工 ヤ ク] ず ス れポ \mathcal{O} 式 信 カコ] リスク・ウ 用 等 \mathcal{O} ジ IJ エ 方 ヤ ス ク 式 1 ス に \mathcal{O} ポ ょ 信 エ イト 用リ ŋ 算 ジ ヤ が 出 ス 零パ する 1 ク \mathcal{O} ア は、] セ た セ だ 第

み替えるものとする は ス ウ を判 を判定す 定 す ポ Ś る ク ス 工 ポ ク ス 第 ポ ジ 兀 ジ +を 除 を除く 規 定 によ とあ

す

んるエ

クスポ

]

ジャ

]

第四

七条

0

五.

の規

定によ

りリ

ことが 兀 $\overline{+}$ 七 できる。 条 の規 %定に従 11 信 用 リスク・ ア セ ツ \vdash の額 を算出 す

マーケット・ベース方式

一 PD/LGD方式

2

法 ポージャー スク・アセットの を 用 V 格付手法採用 なければならない。 0 ポートフォリオごとに一貫して同じ方 額を算出するに当たっては、 組 合は株式等エ クスポ] 各 株 ヤ 式 式 等 及 信 工 ク び 用 手 ス

る方式 トフォリオごとに 第一項第一号に掲げる「マーケット・ をいう。 次 に掲 だるい ず れ か 0] 手 ス方式」とは、 · 法 に より 算 出 ポ

3

簡易手法

内部モデル手

とする方式 って つい 前 \mathcal{O} 項 株式等 ては 額 第 に、 を 兀 上場株 に掲げ いう。 工 百 1 水式につ る ポ セ ントのリスク・ウェ 簡易手 ジャ **,** \ ては三百パ] 法」とは、 . (7) 信 用リ] スク・ 株 セ イト 式 ア を 工 セ 非 ク Ü 上 た \vdash 場 ポ 額 \mathcal{O} 株 を 額

ション及び派 項 及 が 内 として明示的に び 1 第 彐 部 九 ツ ンと相殺することができる。 チ 格 生 項 が 年 付 一商品 \mathcal{O} ある場合は第百四 以 手 方 法 取 式 仕 引のショート・ポジシ に 組まれており、 あ 用 お る場 組 合 て、 一合は、 0 保 現物資 条から第百 有 同 する特定 産 ただし、 つ、それ 0) 3 個 シ 一六条ま 別 0) は、 \exists 銘 . ら 0) チ 有 当 1 残 存 で ュの 株 該 式ポポ 口

前

項に

掲

げ

る場場

合

を除

き、

第

項

第二号

及び第三項

第

号

な 商 品 算 取 出 引 12 お V • ヨ 7 は、] 1 現 物 ポ ₇ジショ 資 産 0 ショー は、 口 1 ン ポジ グ・ ポ シ 3 シ ン 彐 及 び ځ 派 み生

株式 クスポ 要自 ット 期間 となる株式等エクスポージャーについては、 額とする手法をいう。ただし、個 をもって株式 合 間 \vdash \mathcal{O} フリー を前 す。 信 が を 己資 三項 用 乗 に 保 ・リスク・モデルを用いて算出し 有する株式に係る損失額 じ 0] リスク・アセットの 提として内部格付手法採用組 ・レートとの差につき、片 わたって算出され た額 ジャ 本率 7 て は株式 等工 一号に掲 を] (K) とする。) を パー 下 0) 一回らな 額 クスポージャーの信用リスク・ に二百 等 げ る エ いも クスポ た、 内 額は、 パ 四半期 部 の と ーセントを乗 モ 上場株式 以 側 デル手 す 九十九 ジ ヤー 合の 下内 0 た、 収 セ ントで 部 内 益 \mathcal{O} に 等 内 小じた額 額 部格 モ とは、 ついては エクスポー 定三 当該 デル 除 付 を、 アセット して得 百 損 手 手 IJ \vdash 長 株式 失 法 法 ユ 期 な ジ 額] \mathcal{O} 採 \mathcal{O} 非 信 ヤ た 上 等 を 対 用 ス セ 頼 場 の額所 工 象 組 ア 区

果を認識 (担 合 内 保 部 工 0) 格 クイティ・デ することができる。 形 付 態を取るものを除く。 手 法 採 用 リバ 組 合 ティ は、 - ブその 内部)による信用リ モ デル 他 \mathcal{O} 信用 手 法 IJ に スク ス ょ ク ŋ 削 削 計 減 減 算 手 0 す 効法る

9

組 合 第 前 項に規定するPD/LGD方式において、内部 項 ジ 株式 ヤー 第 二号に掲げ 等エクス を事業法人等向けエクスポー セ セ ット <u>۲</u> 0 ポ る「PD\LGD方式」とは、 額を算出する方式をいう。 チュリティは五年とする。 ジャー 0 対象となる事 ・ジャー 格付手法 とみ 業 株 ただし、 式等 法 人 に 採 工 対 用 て

ポ る最 款 て当 \mathcal{O} を て、 スポ 算出 たも 才 て か 額 第 ジャー 該 5 ル は 低 を お 九 ||株式等エクスポ 元項にお トに関する十 ージャーを保 0 することができる。 6 式 とす ず、 自組合推 た 八 款 \mathcal{O} カュ 対象となる事業 ま · 場 合 たしてい ス でに て、 計したPDを用い ポ 当 分 有 ポージャー で、 定 内 該 な情 してい 部 事 め るとき 業法 格付 第 ヤ る ただし、 報 兀] 最 をも ない 法 節 以 手 人 低 いために、当な人に対する事業 は \mathcal{O} 法 第 \mathcal{O} 要 いデフォ たない場 て算出され 信 採 \mathcal{O} 当 件 自 用リ 款 用 該 工 を 組 カ ク 組 信 満 合推 . ら ス ス ル 合 用 たしていな 第八 合 ク • トに は IJ 計 ロで、 該 た額 ス 款 事 ア 株 ク 関 たPDを用 第 業 人 式 を セ ま す Y 四 法 等 ア ツ で る] 築 • セ に 11 節 \vdash 人向 を エ と 第の け ク ツ 定分 Ŧī. \mathcal{O} 保 ト額い き デ エス 倍 めな

二百 パ ス ク・ウ 算出 \mathcal{O} 前三項の規定 ・セント パーセント、 0) 信 該株式等工 期 用リスク・ア エ なけ 待 イトを 損 0 れば リスク・ウェイトを乗じた額を上回 失 へ額を八。 に クスポ 乗じた額 はならな かかわらず、 上 セット 場 ・一ジャーの額 株 1 を下 式については三百パー \mathcal{O} セント 額及 口 個 らないものとし、 び当該株 Þ で除して 0 株 式 場 式 等 得 株 等 た 式 工 ク 千二 額 5 セ に ク ス な \mathcal{O} ス ポ 1 V ポ 合 1 百 7 計 ŧ 五の 1 ジ 十リは額 \mathcal{O}

計ポ 額 前 ヤ くまで 当 1 \mathcal{O} 該 0) \mathcal{O} 株 期 用 規 待損 IJ 式 定 ス に 失 ク 工 か 額 ク か ス を ア わ ポ 八 セ 5 ット パ ず、] ジ ヤ セ \mathcal{O} 次 1 額 に トで \mathcal{O} 及 掲 EAD び げ 除 当 る 株 て得 百 株 式 パ 式 た額 等 セ エ ク 0 ク ス ト合 スポ は

第四

項に定め

る簡易手法

より

信

用リスク・アセ

ット

0)

額

L

部 格 付 手 法 採 用 組 合 に お け る 信 用 IJ ス ク T セ ツ 1 \mathcal{O} 4

百 兀 <u>+</u> 略

3 2

く。 <u>一</u> 十 る ポ 額 該 額] 項 前 六条 相 含 裏 を 信 五. 又 0 ジ 項 の合計 ーを乗じ 合計 付 算 用 ヤ は 手 第 む \mathcal{O} 0 IJ 方と 出 1 第 け 場 لح 規 ス 額 となる資 百 す \mathcal{O} 合 百 ごす あ 額 るに ク 」とあるの 定 て得た額 兀 裏 兀 に る を準用す る 付 + お +と、 ア \mathcal{O} 派 六 当 け 条第 11 セ は 条 産 生 た と て、 同 信 ツ を当該 等 商 0 な \mathcal{O} 五 条第 は「掲 1 る。 。 て 品 を る 内 項 用 0 第 取 直 は 資 部 0 IJ この 額とする」と、 引に 派生商品 産 二項 接 格 げる額 規 号 ス 当 保 等 付 ク • 中 定 場 有 0 各 該 \mathcal{O} 手 合 に 「信用リ 号 する 内 信 法 ア (第四号に ょ に 取引のEADとして算出 セット に 部 て 用 ŋ お は、 者 掲 格 IJ 用 算 とみ げ 付 ス ス 組 同 て、 出 る 第 0 ク 手 ク 合 条第二 さ 百三 額 な 法 掲 が 同 れ を含 げ 以 ア ア 採 保 条 るEADに + セ る て、 外 用 セ 号 中 ット 中 \mathcal{O} む 額 条 者 ŧ を 掲 第 1 ク 合 を のの 除 百 ス げ \mathcal{O} を

> \mathcal{O} ことが IJ ス 取 部 上 ク • 得 場 すること 期 な 株 ウェ 待 式 3 て で 1 が 予 1 て て、 を お 定 5 短 じて さ ず 期 当 れ 的 該 て 長 な 株 た 期 売 11 式 額 な 買 的 投 を に に 資 下 より £ \vdash が 口 \mathcal{O} レ 長 譲 期 ド 渡 的 以 益 な Ł 上 を 顧 0) 取 客 とす 得 譲 取 渡 す 引 る 益

定 で 非 L K は 上 て なく 場 以 11 な 上 株 0) 定 式 将 期 Ł で 的 来 あ な 0) て、 キ 譲 ヤ 渡 ツシュ・フ 当 益 又 該 は 利 式 益を実現させることを 投 口 資] に に 対 基 す づ る 口 て 収 お が ŋ 譲 1 渡

な 内 計 部 算 格 付 手 法 採 用 組 合 に お け る 信 用 IJ ス ク ア セ ツ 1 \mathcal{O} 4

第 同 上

百 兀 同 一十二条 上

2

3 とし、 <_ 二十六条 ポ 取 額 る 総 該 項 を含 額 引 た 額] 前 五. 信 又 相 0) 裏 を ジ 項 0 を乗じ 用 は む 合 付 算 ヤ 手 第 \mathcal{O} 合 計 0 IJ 方と け 出] 第 場 لح 計 規 ス 額」とあるの と す 百 百 \mathcal{O} 合 あ 額 定 な るに ク て得た額を当該 す 兀 裏 兀 に る派 る る資 を 付 +お +と、 ア 準用す \mathcal{O} 六 当 け VI 条 セ は 産 生 条 た と て、 第 同 信 ツ 商 等 0 0 な 兀 条第 は「掲 る。 \vdash て る 品 を 内 項 用リ \mathcal{O} 取 第 直 は 資 部 この 額 派 引 接 産 号 格 規 ス げ とする」と、 生商品 保 当 項 等 に 付 ク・ る額 定 中 場 0 各 有 該 \mathcal{O} 手 %合にお 信 に 号に 内 す 信 ア 法 (第四 ょ んる者 取引のEADとして \mathcal{T} 部 用 セ 用 ŋ 掲 ット IJ 格 IJ 用 算 一号に とみ げ 付 ス 組 同 ス て、 出 る 手 条第 \mathcal{O} ク ク 合 さ 百 者 額 掲 な 法 が 同 れ 以 を ア げ 採 ア 二号 保 条 るEADに る て、 含 セ 用 中 セ 額 中 \mathcal{O} ts \vdash ŧ を 掲 \vdash 者 第 合 ク 除 百 \mathcal{O} げ \mathcal{O}

額 品 あ 読 並 た 信 取 み る 4 替 額 び 相 引 0) こえる に 当 が え 及 項 は ⁷含ま る 長 額 各 与与 び 期 ŧ 当 号 とあ 当 信 決 れ \mathcal{O} 該 該 相 てい لح 済 掲 派 派 当 期 る す 生 げ 生商 . る場 額 0) 間 る 商 る (当 は 取 者 品 品 引の 合にあ 取 以 該 取引の・ 以引以外 外 派 与 \mathcal{O} 生 同 信 つ 者 商 与 項 ては、 相 0 を 品 第 信 当 派生 取 取 相 額)」と読 引に 引 当 オ 묽 商 相 額 フ・ 中 品 手 第 に 方 取 バランス取 与 一 五 引 لح 百 み 信 0 す 兀 替える」 相 を る 与 + 当 信 乗 派 六 額 相 じ 引 生 条 لح 当 の商の لح て

ヤ 内 付 な 出] 部 準 る す T \mathcal{O} 格 Ś 拠 裏 資 セ 付 方式 に 付 手 産 けと 当 等 法 に た 0 に 採 ょ な 額 含 0 用 ŋ て る は ま 組 算 資 次 れ は 合 出するも 章 る 産 が 当 等 第 証 前 該 \mathcal{O} 券 項 節 保 化 信 0) のとする。 第 工 有 用 規 IJ 定 エ 款 ス ク ス に ス 第 ポ ク ょ ポ • ŋ 目 ジ ア 保 1 セ に ジ 有 t 規 ツ t 工 \vdash ク 定 0 す 信 \mathcal{O} \mathcal{O} ス 裏付 総 ポ る 用 外 IJ 額 1

号を削る。]

[号を削る。

[号を削る。]

得た額 与 読 額 品 あ 読 み替 信 第 並 取 る み び 相 引 \mathcal{O} 替 え に 当 が 項 え 及 は ? 含まれ んるも 各号 る 額 長 び 与与 期 当 とあ 信 決 に 0) 該 該 相 てい لح 済 掲 派 派 当 期間 す る 生 げ 生 . る場 額 0 る。 商 る 商 は (当 取 品 者 品 合 引 取 以 該 取 0) に 引 外 派 引の あ 以外 与 0) 生 同 信 つ 者 商 与 項 て 相 0) を 品 第 信 は 当 取 派 取 相 生 引引 額)」と読 オ 号 当 商 相 に ヘフ・バ 額 中 品 手 第 に 方 取 与 • ラン 引 と 百 4 信 \mathcal{O} 五 す 兀 替 相 、 ス 取 を乗 「える」 与 る +当 信 派 六 額 じ 引 相 生 当 て \mathcal{O} 商

る を 該 算 資 ヤ 内 各 産 出] 部 号 等 す \mathcal{O} 格 に る 裏 付 \mathcal{O} 定 に付 手 工 けとな \otimes 当 法 ク るところ た ス 採 ポ 0 用 て る 組 資 は、 ジ 合 に ヤ 産 が より 等 次 前 \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} 項 算 信 各 信 0 出するも 用 号 用 規 に IJ IJ 定 ス 掲 ス に ク げ ク ょ \mathcal{O} • る ŋ とす 当 ア ア 保 セ 該 セ 有 る。 裏 ツ ツ 工 付 \vdash ク \mathcal{O} ス 0 け 額 لح 総 ポ な 額

- n 合 に にい げる手 含 株 ま お 式 部 れ 等 11 格 法 る て、 工 付 株 ク 手 式 保 ス 法 ポ 等 有 採 工 用 ク ク ジ 組 ス ス ヤ 合 ポ ポ が]] に 第 ジャ ジ 標 百 ヤ 準]] 的 0 手 裏 法 条 前 付 を 条 第 第 け 適 کے 三 用 項 項 な L 0 第 る て 規 資 定 号 産 る 12 に 築
- 適 式 保 用 等 有 準 内 的 工 部 る ク ク 手 格 ス ス 法 株 付 ポポ 式 を 手 等]] 適 法 工 ジ 用 ジ 採 ク ヤ t す 用 ス る] 1 組 ポ \mathcal{O} 旨 合 裏 前 を が ジ 条 付 記 内 ヤ 第 け 載 部 とな 1 L 格 を 7 項 付 除 第 る 11 手 二号 資 る 法 産 事 実 に 等 業 施 前 掲 に 単 計 号 げ 含 位 画 に る ま に に 方 れ 定 お お 式 る け \otimes 1 る を株 る
- 前 に 号 含 に ま 規 れ 定 する る 証 券 保 化 有 工 工 ク ク ス ス ポ ポ 1] ジ ジ ヤ t 1] 0 裏 次 章 付 第 け لح 節 な 第 る

5

6

とする。 は 産 区 等 前 分に 当 \mathcal{O} 項 セ 信 \mathcal{O} ット 応 用 規 تٰا 付 IJ 定 0) けと に 額 当 ク ょ を、 該 な ŋ 各号 る ア 保 次 資 セ 0 有 各号 に 産 ツ 工 クスポ 定めるところ 等 \vdash \mathcal{O} \mathcal{O} に 工 総 掲 ク 額 げ スポ を算 ジ る当 t に 1 出 該 ょ ジ す 工 0 る り ク ヤ 裏 算 付 ス ポ \mathcal{O} け 出 合 する と 信 ジ 用 あ な ŧ ヤ IJ る 0 1 ス て 資 \mathcal{O}

計額 たって を ク なして、 準用 スポ 株式 一・二を乗 」とあ でする。 は、] 等 第 ジ 個 る 百二十 t ク この C Þ \mathcal{O}] ス \mathcal{O} る は を ポ 場 資 調 六 直 1 産 合に 条の 整 接 ジ 第 を行うもの 及 保 ヤ おい び 規 有 号に 取 定 す 引に て、 る内 第 掲げる 前 項 適 同 とする。 部 0 · 条 中 用 号に 格 第 するリ 額 付 三 **(当** . 係 次に 手 者) 」 と 読 る 法採 該 を ス 部 掲 当 額 ク • 分に 用 げ 該 \mathcal{O} ウ 算 組 る 株 み 限 替 エ 出 額 合 式 る。 える イ に \mathcal{O} لح 等 当 合

用 あ す 的 適 前 一号に る。 用す とす る 手 項 法 \mathcal{O} \mathcal{O} る るリ 第三 合 は 用 ス 場 組 る 額 額 合 合 を \mathcal{O} クス 第 算 に 4 同 ウ 出 お 該 な ポ エ 号 工 節 て、 1 当 に ク L] て、 ス لح \vdash た 掲 ジ あ に 0 げ 同 ポ t る額 るの て 第十 Ì 項 1 一・二を乗じ は 中 ジ 以 ヤ は を 九 外 除 額 1 個 条 0 当 第 く。 を \mathcal{O} 工 Þ 合 該 一項 ク 直 \mathcal{O} ス IJ る 資 計 接 ス 調 \mathcal{O} 額 \mathcal{O} 保 ポ 産 合 ク 及 有 定 を び 計 す ウ 行 取 額 う る を

> 目 に 規 す る 格 付 準 拠 方

5 同 上

6

ク・アセ は 産 とする。 区 等 分に \mathcal{O} 項 信 \mathcal{O} ット . 応 じ 裏 用 規 IJ 付 定 \mathcal{O} て、 ス け に 額 とな ク ょ を、 当 ŋ ア 該 る 保 次 路各号に 資 セ 0 有 各号に 産 ツ 工 等 \vdash ク · 定 め \mathcal{O} \mathcal{O} ス 総 ポ 掲 工 るところ ク げ 額 1 ス を ジ る当 算 ポ ヤ] 出 1 該 に ジ す 0 工 より る 裏 ク ス 付 算 ポ \mathcal{O} 合 け 出 信 用 あ す ジ な ヤ IJ る 0 る ス 7

なして、 クスポ 計 を 0 ては、 準用 額 ヤー に限 株式 」とあ 12 を る。 す] 等 12 ょ 個 る。 ŋ ジャ あ 乗 第 エ るの 有二十 ľ ク の資 この る調整] 7 ス は あ は を ポ 産 場 る 第 六条の規 り 直 1 及び 合に \mathcal{O} を 接 第 ジ と 読 行うも は 百四四 保 ヤ 号に掲げる おい 取 有 引に 4 定 + す て、 部 替えるものとする。 \mathcal{O} る 第 前 適用 格 とす .。 内 条第 項 付 同 部 0 条中 するリ る。 手 額 号に 三項 格 第 法 **(当** 付 \equiv 係 第 次に 手 者 該 株 ス る部 法 式 لح ク・ 額 を 号 採 等 0 掲 分に限 ウェ 算 げ 用 該 撂 出 る 組 内 株 げ 部 1 に ス 額 合 式 る。 当 ポ 1 格 \mathcal{O} た 合 4

同 上

標準的 準 とあ する」と、 用 用するリス 前 二号に 前 該 る。 手 項 合 0) 法 \mathcal{O} 計 は 第三 掲 額 ク・ウェ 有額 用 げ \mathcal{O} 同 場 一者を 組 る 算 合に 節 (第三号 合 エ 出 当 ク に 当 とあ お 4 該 ス トに な 工 ポ 「たって に る て、 ク] 掲 一・二を乗じ 0 ス ジ げる額 は 同 ポ ヤ は、 項]] 当 中 ジ 以 個 を 該 ヤー 九 外 々 除 IJ 額 る調 条 0) \mathcal{O} < ス \mathcal{O} 第 を 工 資 合計額、 ク 直 整 産 ク \mathcal{O} 項 接 ス 及 び 合 \mathcal{O} 保 ポ 取 規 計 有 う ŧ 引 額 定 す ジ う る

取 ス る と読 取 商 引 五. 11 1 0 た上で、 を 引 品 第 は 1 与信 乗 4 \mathcal{O} 取 替 じ 項 与 引 える 相 て 信 が 含ま 当 得 相 同 相 た を ŧ 額 に 節 掲 0) 並 額 額 れ と げ じ び 及 て す V に び 当 る 7 う。 る。 る 当 者 得 長 該 該 同 期 派 場 以 該 派 項 た 決 派 生 合 外 生. 第 値 生 商 に \mathcal{O} 商 済 を リリス あ 者 号 商 品 品 期 間 を 中 品 取 0 取 て 取 取 引 ク 取 引 与 引 引 \mathcal{O} は 引 に 以 与 相 第 ウ 0 信 与 信 外 才 手 相 フ・ 信 \mathcal{O} 相 方 百 当 イ 相 派 当 لح 兀 額 1 生 額 バ す لح 当 + ラ Ś لح 額 商 に 品 ン 派 条 あ 7

略

8 7

信 ポ 総 スポ とする。 る \mathcal{O} 用 額 0 前 リス ジャ を算 構 区 次 項 分に 0] 成 0) 各 ジ を ク 1 出 場 • 号に l するに 応じ ヤ 想 \mathcal{O} 合 定定す] 裏付 ア に . 掲 \mathcal{O} セ お 信 げ る ツ け 11 該 る 用 ŧ \vdash た と て、 裏 各 IJ つ 0) な \mathcal{O} 号に ス 付 て る と 総 内 ク • け L 額 は 資 部 とな 定めるところ 産 が 格 T 当 最 同 等 付 セ る資 大とな 該 項 \mathcal{O} 手 ツ 裏 \mathcal{O} 信 法 1 付 資 産 用 採 \mathcal{O} 等 る 産 IJ け 用 額 に 裏 \mathcal{O} لح 運 ス 組 を ょ な 付 工 用 ク 合 ŋ ク る け 基 当 が 算 ス T 資 لح 準 保 該 ポ に 出 な 構 産 セ 有 す] 成 る 基 ツ 工 る ジ に \mathcal{O} 資 づ \vdash ク き ス ヤ お エ 産 \mathcal{O}

あ る。こ る 式 百 0 式 等 二 十 は 等 工 0) ク エ 場 ス 第 ク 合 条の ポ ス 号 ポ お 規 ジ に] V 定 掲 t て、 ジ 第 げ ヤ うる額 同 条中 号 を ے ع 該 に 直 内 係 読 次 接 部 る み替 保 格 掲 部 有 付 分に えるも げ す 手 る る 法 限 額 者 採 る。 \mathcal{O} 0) لح 用 と 合 4 組 す 計 を な 合 る。 額 準 を

> 引 商 る 11 た上 品 \mathcal{O} \mathcal{O} 1 与 取 は 1 引が 信 項 与与 に一・二を 相 各 ·含ま 信 当 同 号 相 節 に 当 れ 掲 額 てい げ ľ (当 該 る る場 て 同 派 者 該 得 以 項 生 派 た 合にあ 商 第 外 生. 値 品 0) 商 を 号 取 者 品 IJ 中 引 0 を 取 ス て \mathcal{O} 取 引 は、 ク 与 引 に 信 信 相 ウ オ 第 相 相 手 フ・ 当 方 百 額」 額 لح 兀 1 ラン す + لح á 六 ス 派 7 取 生 用

」と読 引の 五. を 与 乗 4 替 信 じ 相 Ż て るも 当 得 額 た 並 0 額 びに とす 及び る。 長期 当 該 決 派 済 生 期 商 間 品 取 取 引 引以 0 与 外 信 0) 相 派 当 生 商

取

同 上

7

8 け ク 等 信 総 ポ る次 スポ のとする。 0 \mathcal{O} 用 額 前 リス ジャ 区 構 を 項 分 0)] 成 算 \mathcal{O} に 各 ジ を ク] 出 場 1号に 「する に 応じ ヤ • 想 \mathcal{O} 合 定する ア 裏 掲 セ 付 て \mathcal{O} お 信 げ ツ 当 け 用 ŧ 当 る \vdash た لح て、 裏付 該各 0 なる IJ \mathcal{O} \mathcal{O} て ス と 総 内 ク・ 号 け L 額 は 資 部 とな に が 産 格 ア 定定め 最 当 等 同 付 セ る 該 大となる 項 \mathcal{O} 手 ット るところ 資 裏 \mathcal{O} 信 法 産 付 資 用 \mathcal{O} 等 産 IJ け 用 額 裏 \mathcal{O} لح 運 ス 組 を、 に な 付 工 用 合 ょ ク 当 る け 基 が ŋ ス 該 資 と 準 T 保 算 ポ 産 な 構 に セ 有] 成 る 出 等 基 ジ 資 づ \vdash す に \mathcal{O} ク る t お 産 き 工

あ する。こ る 株 式 省二十 第 0 式 等 読 は は 等 エ \mathcal{O} 4 ク エ 内 場 + 六 替 ス ク 合 部 条 えるも ポ ス 条第三項 にお 号 格 0] ポ 付 規 ジ Ì 手 掲 \mathcal{O} 定 ヤ ジ て、 法 とする。 げ (第 第 ヤ る 休株 同 額」 一号に 条 大 号に を 中 等 該 直 内 工 撂 係 次 接 部 ク げる手法 る に 保 ス 格 部 掲 有 ボー 付 分 げ す 手 に る Ź 付 法 にに限 限 額 手 者 採 る。 \mathcal{O} لح 用 る。 に 合 4 組 ょ 計 な を 合 ŋ

直 引が 得 信 与 合 額 項 ŧ 接 額 た 相 各 計 0) 0 保 · 含ま 号に掲 信 額 当 V 規 とする。 並 額 有 . う _ 相 び 及 額 定 す 内 に 当 に を び れ 1 る 部 掲 額 ۇ خ てい لح 長 げ 準 当 該 る (当 あ 期 用 該 潍 付 る と、 派 る場合 るの す 決 派 者 的 手 エ 該 生 る。 済 生 以 法 手 ク 派 同 商 期 外 は 商 法 採 ス 生 品 項 に 間 品 0 採 用 ポ 商 第 取 \mathcal{O} あっては、 額 取 取 者 用 組] 品 引の 場 引 1 を 取 引以 頭取引に 組 合 ジ 号中 第三 合 \mathcal{O} 合 を ヤ 与 に 与 外 引 当] 信 一号に掲 与 お 信 0 み 第二百 相 該 以 相当 オ 相 派 ペフ・バ 手 工 信 て、 当 方とする 生 ク 0 相 額 額 げ て、 商 ス 兀 当 同 に る ラン 十六 ポ 品 ク 額 項 額 と 読 ス 取 1 を 引 ス と + ジ 派 条 ポ 五. 取 4 \mathcal{O} を 生 0) あ 額 九 t 1 乗じ 替 与 引 商 る 条 ジ \mathcal{O} え信 第 合 の品 第

9 11 略]

ス ク 格 相 購 当 入 部 事 分 業 \mathcal{O} 法 信 用 等 IJ 向 ス け ク 工 クス ア セ ポ ツ] \vdash ジ 0) t 額] 0 デ フ オ ル \vdash

第百四十五条 [略]

2 クス 相 ク ス ヤ 磔 ス 事 1 ポ ポ 的 業] ポ 分 \mathcal{O} 内 ジ ジ 法 プ 部 ヤー 信 ヤ 格 1 t ル 付 定 に \mathcal{O} 1 IJ 向 \mathcal{O} 手 PD推 め け 劣 属 ブ ス 法 るPDに ク 後 す 工 採 ル ク 債 る 用 ア ス 権 適 12 組 が が含 ポ 格 対 セ 代 合 木 応 購 え ツ 難 は す ジ ま て、 1 入 で 事 る ヤ れ \mathcal{O} あ 適 業 額 な 格 適 る 法 場 年 を のい 格 購 間 算 デ 場 購 合 入 事 0 出 フ 合 等 入 で す 才 業 デ 事 向 フ る 業 ル け か法 は オ 1 法 人 ク 等 ル 当 当 人 等 た IJ 該 ス 当 向 \vdash ポ ス 該 確 向 適 け

二 [同上]

計 相 与 取 は \mathcal{O} 直 T る 引が 当額 得 信 項各 合 額 Ł 与信 項 接 相 計 0) \mathcal{O} た 保 含ま 号に掲 とす 額 当 額 規 並 有 該 뭉 11 相 . う _ 額 を び 及 定 す 内 に 当 に長 を準 び れ る 部 掲 額 う _ とあ てい 当 げ 格 該 る者 期 (当 用 該 潍 付 る と、 派 る場合 す 決 る 派 的 手 工 該 生 る。 0) 済 生 以 手 法 ク 派生 同 商 期 外 は 商 法 採 ス 項 品 に 間 品 0) 商 採 用 ポ 第一 取 あっては、 \mathcal{O} 取 額 者 用 取 組 1 品 引の与 場 引 引以 「 を 取 頭取引に 組 合 ジ 号 第三 合 \mathcal{O} 合 を ヤ 中 に 与 外 引 当] 信 号 お 信 0 4 相 第二 該 以 相 才 与 に 相当 派 手 エ ヘフ・バ 当 信 て、 掲 百 生 方 ク 0 額 相 額 げ とする ス 商 て、 兀 当 同 に る額 ラン ポ 品 +額 ク 項 لح 取 六 ス 中 を とあ 読 引 ス 条 ジ 五. 派 ポ 除 取 \mathcal{O} を 生 0 t 1 4 額 九 <u>`</u> 与 替 乗 引 商 る 条 ジ \mathcal{O} ľ え信 品 合 第 を \mathcal{O}

9~11 同上

IJ ス 適 ク 格 相 購 当 入 部 事 分 業 \mathcal{O} 法 信 人 用 等 IJ 向 ス け ク 工 ク ア ス セ ポ ット 1 ジ 0) ヤ 額 1 \mathcal{O} デ フ オ ル 1

第百四十五条 [同上]

2

エ エ クス クス ス 百 基 事 ポ t 礎 +] ポ ポ 分 業 的 条に ジ] 法 \mathcal{O} 内 ジ プ ジ 信 Y 人 部 定] ヤ ヤ 用 等 格] 8 IJ 向 ブ ル] 付 るPDに代えて、 に \mathcal{O} の P D 推 手 劣 属 法 工 ル でする 後 ク に 採 T 債 対 ス 用 計 セ ポ 権 応 適 組 が ツ する一 が 格 1 木 合 1 含 購 難 は \mathcal{O} 適格 ま 入 ヤ で 額 事 年 れ 適 あ を 業 間 な 購 格 る 算 法 入事業法 デ 11 場 \mathcal{O} 購 出 デ フ 場 合 入 するに 事 合 等 才 で オ ル は 向 業 1 け ル か法 当 (等向 エ 人 た ク IJ 該 率 ス ス 適 当 向 ク 格 ポ 該

口 · を 百 5 な V 分 率 Ł で 0) LGD を四 とす 表し た推 る。 + 計 又 値(ただし 1 は EL を 四 セントとす + \bigcirc ることが 0 セ 五 ン] \vdash できる。 -で 除 セント L を下 た 値

3 略」

4 失率 るに当たっ オ か ることが 以 ルト・ は、 わ 先 下「長期的 向 6 進 を 第 けエクスポ 下 的 IJ できる。 口 百 内 スク相 て、 5 九 適 部 格購 + な 格 な損失率」という。 LGD の 自 1 付 当 条第 ただし、] ŧ 入 手 部 ジ 事 0) 法 分の ヤー 業 採 1組合推 す 項 法 用 信用リス Ś 長期的 に プールに対応する長 組 等 定 合 \otimes 計 向 は な損失率をPDで除 る 値に代えて け ク • 長期 工 第 をPDで除 ク 百 T 平 ス セ 三 均 ポ + ツ デ 適 \vdash] フ 期 格 条 \mathcal{O} ジ L た値 オ 的 購 ヤ 額 \mathcal{O} な損 入事 を算 規 ル L て 1 を 0) 定 得た 時 用 失 業 出 デ に 損 率 法 カコ す フ 11 4

5 6 略

7 るEADは、 か IJ ただし、 ;ら希薄 ボ ル ピ 信 ン 零 IJ グ 用 を下 スクに 供 型 与 購 枠 口 入 る 係 債 0 未引出 場 権に る 合 所 要自 は零とする。 係 額 る 己資 に 信 四 用 本 + 供 0 パ 与 額] 枠 を セ 0 除 未 ン トを 引 1 た 出 額とす 乗じた 額 に 係

入債 権 に お ける保 証 0 取 扱

百 兀 + 人 条 略

2 「項 を削 6 る。 略

> 分率で とし、 11 もの LGDを とする。 表した推 兀 計 + 又 値 $\pm i$ は EL を (ただし、 セ 兀 ントとすることが +()・() 三 パ Ŧī. セ ン] \vdash セ で除 できる。 ントを下回 した 5

3 同 上

値 失 ることができる。 るに当たっ オ か (以下「長期的 率 は、 ルト・ わら 先 向 を 進 ず、 下 第 けエクスポー 的 IJ 口 百 内 ス て、 0 九 適 部 ク 相 十二条 7 格 格 LGDの自 な損失率」という。 購 は 付 当部 ただし、 ならな 手 第 ジャー 事 法 分の信 業 採 項 組 法 用 長期的 合推 に プールに 組 用リ 等 定 合 め 計 向 は ス な る 値に代えて け ク • 損 長期平 対応する 工 第 失率をPDで除 をPDで除 ク ア 百 ス 三 セ 均 ポ + ツ 長 デ 適 \vdash フ L 期 格 0 ジ 条 オ た 的 購 額 ヤ 0) して得 値 な 規 ル 入 を を用 損 事 1 0 定 失 業 出 デ 時 に たい 率 損 法 フ

5 6 同 上

7 す た るEADは、 る。 額から IJ ボ ただし、 ル 希 ピ 信用 薄 ン 化リ グ 零を下 供 型 スクに 購 与 枠 入 口 債 0 る場合 未引出 係 権 る に 所要自 係 は零とする。 額 る 信 に 己資 七 用 + 供 本 与 五. \mathcal{O} パ 枠 額 \mathcal{O} を セ 未 除 引 ン トを 出 額 た 乗じ 額 に

8 9 同 上

第 百 兀 + 八条 同 上

購

入債

権

に

お

ける保

証

 \mathcal{O}

取

扱

6 同 上

7┃_□ 2 第 〈 _dilution_ 0 百二十 るものであるときは、 11 て準用・ 九 する。 条 「LGDg」とあ 0 規 この場 定 は、 合に 同条第三項中「PDo」とあるの 第 る 0 お 項 は 及 て、 び 百 第二 保 証が] 項 セント」と、 希 に 薄 規 化リス 定 する ク

済 取

第 百 五. 十三条 略

2

3 ーについて 0 内部格 規定にかかわら 付 手 次 法 0 採 各号に 用組 ず、 合 定める取扱いを行うことができる。 は、 非 同 時決 前 項 済 第 「取引に 一号 0 場 係るエクスポ 合に お て、 ジ 同

IJ 条までに 当該非 規 同 定するリ 時 決 済 取 ス 引 ク・ \mathcal{O} 約 ウ 定額 工 1 に 第二十 1 を 乗 じ 七 て 得 条 か た額 5 第三 を + 信 用

スク・ ア セット の額とすること。

4 ントとすることができる。 同 先進的 第百三 時 決済取引に係 内部 + 一条又は第百三十九条 格 付 手法 るエクスポ 採 用組 合] は、 ジ 0 ヤ 前 規] 項 定に のLGDを四十 第 かかわらず、当該 号 0) 場合に 五. パ お] V

5 略

0 金 融 機 関 等 0) 対 象 資 本等 調 達手 段 に 係 る エ ク ス ポ ジ

出 らず、他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち、 百 資等及びその 五十四 条の 他 外 部 百二十七条 Т L A C 関 か 連 5 週達 前条までの 手 段 に該 規 当 定 「する 対 に 象普通 カコ ŧ カュ わ \mathcal{O}

> ことは る 百三十三条に定 ジット・デリバ マチュリティ」と読み替えるものとする。 できな め)」とあるのは ティブのMを用いるものとし、 る マチュリティ 「第百四 (ただ 十七 条第 五. 年 保 -を 下 項 証 又 定 口 は め る ク

余 決済取引

第 百 Ŧī. 十三条 同 上

2 同上

3 同 上

同 上

条までに規定するリ 当該 非 同 時 決 済 取 ス 引 ク・ウ 0 約 定 エ 額 1 に 第二十 1 を 乗 じ 七 条 て 得 か た 5 第三十 額 を 信

同 上

IJ

スク・ア

セット

の額とすること。

ず、 て、 十五パーセントとすることができる。 先進的 当該非同 第百三十 内 部 時 格 決済 条 付 第 手 取 法採 引に係 項又は 用 組 第百三十九条 るエクスポ 合 は、 前 項 1 第 ジ 0 ヤー 規定 号 0) のLGDを に 場 合に カコ カ わ お 5

5 同 上

ヤー) 他 0 金 融 機 関 等 0 対 象資 本 · 等 調 達 手段 に 係 る 工 ク ス ポ

第 出 5 百 ず、他 資等 五. 十四四 及びその の金融機関等の対象資本等調達手段のうち、 条の三 他 外 第百二十 部 Т L -七条か A C 関 連 5 前 調 達手 条まで 段 に該 \mathcal{O} 規 定 対 象 す に Ś か ŧ 普 か 通 わ

用

の以 額 式 外 セ 12 は \mathcal{O} t 対 セ 当 <u>۲</u> す 0 該 る 工 \mathcal{O} 投 係 ク IJ 資 第 る ス ス に 兀 工 ポ ク ク 係 + ス る 七 ジ ウ エ 条 ポ t 工 ク 第 イ ジ ス \mathcal{O} 1 ポ 項 Y 額 を]] 乗じ ジ 規 0 H t 信 定 た 1 す 用 に額とす を に IJ る 11 あ 投 ス う。 ク 機 7 的 に二 ア は な 非 セ 百 兀 ツ 上 場 1 百 五.

2 略

0 他 外 部 Τ L Α C 関 連 調 達 手 段 に 係 る 工 ク ス ポ ジ ヤ

百 五. + 兀 条 兀 略

2

セ は \mathcal{O} 融 \mathcal{O} 場 た 同 ジ \vdash 合 を \mathcal{O} 額 関 決 条 外 百 条 額 ヤ を 乗 を に 等 権 \mathcal{O} 12 部 乗じ じ] 算 規 の 十 あ V Τ に (EADをい た \mathcal{O} 0 式 百七の 11 定 L 係 額とす 7 信 7 条 に す る 分 Α 得 用 そ は \mathcal{O} カュ 第 お る С IJ た 同 連 関 \mathcal{O} +5 け . う。 る。 ス 額 条に 他 条 る 結 連 を 前 ク • を 0 自 超 自 調 外 条 1 算 規 己 己 達部 え ま に T う。) 式 定する単 資 資 る で 手 Τ 百 セ に 本 段 議 \mathcal{O} 本 L Ŧī. ツ を上 お \mathcal{O} 規 比 Α 決 + 1 け 額 率 係 С 権 定 パ \mathcal{O} る自 関 る をに 体 に を 口 1 額 保か 自 算 五. 五連 る セ は、 部 己 出 調 有か 己 資] 当 分 資 す] 達 わ \vdash 該 に 本 本 セ る セ 手 T 5 \mathcal{O} 段いず、 関 比 場 \mathcal{O} エ IJ ク 率 す 額 1 合 な \mathcal{O} ス Ś - を 算 に ス を う に 基 V 総 ク 乗じ ポ 工 五. あ 準 5 他 株 ウ] ク 出 額 \mathcal{O} 主 0 ス] ジ す そ て 金 等

損 る 益 産 又 \mathcal{O} は 信 評 用 価 IJ 差 ス 額 ク が 評 ア 価 セ ツ \vdash 算 \mathcal{O} 差 額 0) 算 \mathcal{O} 出 項 目 と 7 計 上

百 五 十 7 兀 計 条 上 \mathcal{O} さ 五. れ る 損 資 益 産 又 は \mathcal{O} 評 信 用 価 IJ 差 ス 額 ク が 評 T 価 セ ツ 換 1 算 差 \mathcal{O} 額 額 \mathcal{O} 等 算 \mathcal{O} 出項

> 十 の以 額外 は \mathcal{O} セ Ł 当 \mathcal{O} 該 1 に 工 \mathcal{O} 係 ク IJ る ス ス 工 ポ ク ク ス ジ ウ ポ ヤ エ] イ ジ \mathcal{O} 1 t 額 を 1 乗じた額 0 EADを 信 用 IJ とする ス う。 ク ア に セ 百 ツ 五.

2 同 上

そ \mathcal{O} 他 外 部 Τ L Α C 関 連 調 達 手 段 に 係 る 工 ク ス ポ 1 ジ Y

第 百 Ŧī. + 兀 \mathcal{O} 兀 同

上

2 十 \vdash 上の 融 \mathcal{O} \mathcal{O} 口 他 機 議] 額 る 外 関 決 百 権二の十 部 部 等 セ は Τ 分 に 当 1 に L 係 百七 該 \mathcal{O} 関 るそ 条 Α 分 エ IJ す C \mathcal{O} カュ ク ス 関 6 る \mathcal{O} + ス ク 連 他 を 工 前 ポ ク 調 外 超 条 1 ウ ス 達 部 え ま ジ エ ポ る 手 Τ で ヤ 1 段 L 議 \mathcal{O} 1 規 ジ に A 決 \mathcal{O} を 係 権 t С 定 乗じた額とする。 額 1 る 関 をに 五. 保か (EAD & \mathcal{O} 連 信 調 有か 用] 達 し わ IJ セ 手 て 6 段いず、 ス ン う。 ク な 1 \mathcal{O} 基 う 総 11 5 準 に T 他 株 セ 百 額 \mathcal{O} 主 そ金等 五.

損 る 資 益 産 又 \mathcal{O} は 信 用 価 IJ 差 ス 額 ク が 評 ア 価 セ ツ 1 \mathcal{O} 差 額 \mathcal{O} 算 0 出 項 目 と 7 計 上

目 百 と 五. L 十 7 兀 計 条 上 \mathcal{O} さ 五 れ る 損 資 益 産 又 \mathcal{O} は 信 評 価 用 IJ 差 ス 額 ク が 評 T 価 セ ツ 換 \vdash 算 \mathcal{O} 差 額 額 等 \mathcal{O} 算 \mathcal{O} 出項

第

合 に 当 \mathcal{O} 額 た 0 を 用 7 は、 V る ŧ 時 \mathcal{O} 価 に す ょ る る 評 価 替 え 又 は 再 評 価 を 行 わ な 11 場

(内部取引によるヘッジ効果の反映)

第 百 は 項」とあるの お Ŧī. 内 注手法 か + 部 て準 れ ら第百二条 兀 格付手法 らの 採用 条 \mathcal{O} 用 規定中 組 す は る第 合」と、 第 採 小まで 第 用組 「標準的 Ŧ. 九 百三十二条第七 及 + + 第九十 合 条第 七 び に 条 第 手法 0 \mathcal{O} 百 七 い 項」と 兀 条の二 採 て準用する。 条から 用 第 項又は第 組 九 読 第二項中 合」とあ + 4 第百六 替 八 条 え この 百 次第二 るも 兀 条 る 水まで 第 五 場合 +0) 項 0) は 条 لح に 第 + \mathcal{O} 第 す 五. 条 内 お 規 九 る。 第 部 定 項 + い

[部格付制度]

第

的 す 向 び 百 る。 け 内 五. エ タ 部 ス + \mathcal{O} 格 ク ポ Ō 五. を設 スポ 収集 付 推 条 ジ 手 計 及び 法 け] ヤ 内 るも 採 ジ 先 部 情 用 ヤ 進 に 格 組 0 報 対 的 付 合 のLGD及びEADの推計に す シ 内 手 する ステム に限る。 る 一部格付 法 內部 採用 格 **(**以 手法を適 組 付 合 を 下 \mathcal{O} は、 内内 行う方法、 付 与 用できる事 信 部格 並 用 び IJ 付 にPD、 ス ついては先進 制 手 ク 一度」と 続、 業 0) LGD及 法 評 統 人等 総 価 制、 称

2 [略]

3 4 制 す 度 を設 る 内 内 を \mathcal{O} 部 部 ける 設 成 に 格 格 け 最 付 付 る もふさ 場 手 手 当 場 合 法 法 該 採 に 採 基 用組 に わ は 用 準 は 組 を 合 い各 合 自 記 は、 内 債 は 己 載 部 務 資 者を 格 第二項に基づき複数の 前 本 た書類 付 項 比 当 制 に 率 該 度 基 を 債 に づ 向 整備 割 務 き 上 り 者 複 させるた するも 当 \mathcal{O} 数 て IJ \mathcal{O} る ス 内 内部 ため ク 部 め を 格 す 格 \mathcal{O} 判 付 る。 債 付 基 定 制

> 合 当 \mathcal{O} 額 た 0 を 7 用 は 1 な け 時 n 価 ば に な ょ 6 る な 評 価 替 え 又 は 再 評 価 を 行 わ な 1

条を加える。」

内部格付制度)

第 $EAD \otimes$ び 下 を エ 百 EADS ク 行う方法、 五. 内 ス +部格 推 ポ 五. 計 推 条 につい ジ 付 計 手 制 ヤ 内 続、 事 度 1 部 ては先が に 業法人等 格 統 と総 対 付 制、 す 手 称 る 進 法 デ す 内部 的 向 採 る。 けエ 内 用 タ 部格 格 組 0 クスポージ 付 合 収 を \mathcal{O} は、 付手法採 集及び 設 付 け 与 信 なけ 並 用 情 び 用 ャーのLGD及び IJ 報 にPD、 れ 組合に限 ス ば ク ステム(以 なら \mathcal{O} LGD及 評 る。 価

2 [同上]

3 作の 制 度 12 成 を 度 内 内 を 最 設 部 部 ける場 設 もふさわ 格 格 当 け 付 付 該 る 手 手 基 場 法採 合 法 準 合 採 を 用組合 各 用 自 記 内 債 組 己 載した 部 務 合 資 は、 格 者 は 本 付 を 比 書 当 第二項に基づき複数 制 前 率 類 該 度 項 を を整 債 に 向 . 基 づ 割 務 上 備 ŋ 者 させる 当 \mathcal{O} き なけ IJ 複 T る ス 数 た ħ た ク \mathcal{O} 8 ば 0 を 内 内 判 部 部 基 定 債 格 な 務 格 準 す 付 付 る 制

る務 部 格 付 制 度 に 対 L 7 恣意 的 12 割 ŋ 当 7 な 1 Ł 0 と す

第 百 ポ に 五. 応じ て 定 を設 1 ジ 法 六 た内 る t 条 人 付 場 け 1 債 %合には、 部 るも 向 内 権につ 格付 0 部 け エ \mathcal{O} 格 制 ク 7 付 11 度 ス 当 債 す 手 てスロッテ を 該 ポ る 務 法 用 採用 1 特 者 定貸 ジ 格 いることが た だ ヤ 付 組] 付 と 合 イン]債権 案件 \mathcal{O} は、 内 内 グ・ できる。 部 に 部 格 事 0 格 付 業 ク 付 V 付 ラ か 法 制 て 5 手 人 1 度 法 な 築 は テ 採 IJ る 期 向 内 待 T 用 け を 組部 工 損 失 適 合 格 ク

2 債 務 者 格 付 は 次 に 掲 げ る 性 質 0 全て を有 す る ŧ \mathcal{O} と す る

略

3 性 \mathcal{O} 債 質 部 務 \mathcal{O} 格 者 全 付 格 7 手 を 付 法 に 満 採 関 た 用 す す 組 よう る 合 規定 は な を 事業 信 記 用 載 法 IJ ける 人 ス 等 ク ŧ 管 向 \mathcal{O} け 理 とす 指 工 ク 針 ス ポ 次 に 1 掲 ジ げ ヤ

5

ポ に 内 つい ジ 特 基 ヤ 有 てLGDに Ì \mathcal{O} 付 要 手 0 内 案件 素 部 を 採 勘 格 格 対 用 付 案 付 応 組 手 す を L 合 法 ること 設 た は 採 け 案件 用 るに 事 組 が 業法 格 合 できる。 当 付 は、 ったっ を 人 事 設 等 て 業 け 向 は 法 る け Ł エ 債 等 ク \mathcal{O} とす 務 ス 白 者 ポ け 及 エ る] び ク ジ 取った ヤ

テ ル 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ 1 \mathcal{O} 内 部 格 付 制 度

 \mathcal{O} ポ 百 IJ 五. ス ジ ク ヤ 七 に 1 条 基 に づ 0 内 1 部 て 格 債 付 務 れ 手 6 者 法 \mathcal{O} 及 採 用 特 び 性 工 組 クス を 合 考 は ポ 慮 IJ 1 た ジ テ 内 ヤ] 部] ル に 向 格 係 付 け 制 る 工 度 取 ク 引 ス を

> を 内 部 格 付 制 度 に 対 L 7 恣 意 的 に 割 ŋ 当て は なら

事 業 法 人 等 向 け 工 ク ス ポ ジ 7 1 0 内 部 付

第

率 適 合 付 ス 百 に は、 用 制 ポ 五. 応じ L 度 1 +特 てい を ジ 六 定 た内 設 ヤ 条 貸 る け] 付 部 場 な に 内 債 合は け 格 部 権に 付制 れ 格 ば 7 付 ついてスロッティ 度を用 なら 債 当該特定 手 務 法 な 者 採 いることが 格 用 貸付 組 付 ただ と案 合 は、 債 権 件 できる。 に 格 事 内 グ 0 付 業 部 11 カゝ ク 格 法 て ラ 付 5 人 な 築 は 1 手 る 期 法 テ 向 IJ 採 待 内 け ア 部 損 用 工 失 を 組格

2 け れ 債 ば 務 なら 者 格 な 付 は 次 に 掲 げ る 性 質 \mathcal{O} す て を 有 す る ŧ \mathcal{O} で

な

同 上

3 る 0 性 内 債 質 部 務 を 格 者格 す 付 ~ 手 付 て 法 満 に 採 関 た 用 す す 組 る ような 合 規 は 定を 事 信 記 業 用 載 法 IJ L ス ク な 等 け 管 向 れ 理 け ば 工 指 なら ク 針 ス な ポ 次 に 掲 ヤげ

$\frac{\square}{\varsigma}$ 同 上

4 V)] 及 工 クス び に 内 ただし、 取 0 部 引 ポ 格 に] 付 てLGDに 特 ジ 手 基 有 ヤ 法 礎 \mathcal{O} 採 的 要 \mathcal{O} 用 対 内 素を 案 組 部 応 件 合 し 格 勘 格 は 付 た 案することができる。 付 案件 手 を 事 法採用組 設 業法 .格付 け るに当 人等 を 合 設 向 は、 け た け 0 な 事 工 け て 業 ク は 法 れ ス ば ポ 築 な Ì 債 向 5 ジ 務 け な t

ij テ] ル 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ 1 \mathcal{O} 内 部 格 付 制 度

第 \mathcal{O} ポ 百 IJ 1 五. ス ジ + ク ヤ 七 に 1 条 基 に づ 0 内 ** \ 部 て 格 債 付 務 れ 手 5 者 法 及 採 \mathcal{O} 用 特 び 工 組 性 クス を考 合 は ポ 慮 IJ L ジ テ た 内 t 1 部 1 ル 格 12 向 係 付 け 制 る 工 度 取 ク を 引 ス

設けるものとする。

2 る] 部 ル 格 向 付 け 手 法 エ ク 採 ス 用 ポ 組 合 は、 ジ ヤ 次に を !掲げ 各プ る要件を満] ル に 割 ŋ たすように、 当 7 る ŧ 0)

[一~三 略]

3 を考慮する てに当たっては、 内部格 付手法 ŧ 0 とす 採 次 用 る \mathcal{O} 組 各号に 合 は、 掲 前 げ 項 る要素 に 掲 げ そ る 0) 各 他 ブ 1 0 IJ ル ス 0 ク 特 割 性 当

一「略」

ず 考慮 取 引の す る IJ Ł ス \mathcal{O} ク 特 لح す 性 。 る。 (共 同 担 保 条 項 が あ る 場 合 は、 れ を 必

三 | 略 |

4 る。 つい - 部格 となることを妨げ ただし、 てプー 付 手 ルごとに、 法 複 数 採 用 \mathcal{O} 組 プール な 合 PD′ は、 0 LGD及びEADを IJ PD′ テ] LGD又はEADの ル 向 け エ 推 ク ス 計 ポ す るも 推 1 ジ 計 t 値 \mathcal{O} لح] が

事業法人等向けエクスポージャーの格付の構造)

第 ことの れる ス 百 ポ 者 五. 債 十八 ŋ な 格] ・ジャー ない 務 付 者 証 条 に よう され \mathcal{O} 対 デフォ を 応 適切に 各 た 部 す デ 債 格 るPDの 1 ル 務 付 \vdash 分 タに 者 手 . У 布 格 法 させ 範 採用 より 付 スクが当 用 及 及び 裏 るものとする。 び 組 合は、 付 案 当該 件格 け 該 ら 範囲 債 事 付 れ 務 に 業 7 過度 者 法 V た 収まること 格付 る場 人等 ただし、 に 合 集 が 向 は、 付 当 中 け 与 該 す 工 が さ 債 る ク

2 0 部 格 付手法 少 な 採 用 لح 組 Ł 合 デ は フ オ 事 ル 業 法 1 人等 7 向 11 な け エ ク 工 ス ク ポ ス ポ] ジ ジ ヤ

政けなければならない。

2

ば IJ なら テ 内 1 部 な ル 格 向 付 け 手 法 工 クスポ 採 用 組 合 は、 ジ ヤ 次 に を各 掲げ ブ る 要件を満た ル に 割 す ように、 な け

[一~三 同上]

3

てに当たって 内 - 部格 付手法 は、 採 次 用 0 組 各号 合 は、 に 掲 前 げ 項 る要 に 掲 へ素そ げ る 0 各 他 ブ 0] IJ ル ス ク \mathcal{O} 特 割 性

[同上]

を考慮し

なけ

れ

ば

な

5

ない

ず 考慮し 取 引 (T) な ij け ス れ ク ば 特 なら 性 (共同 な 担 保 条 項 が あ る 場 合は、 れ を

三[同上]

4 ならな 値 に い が同一となることを妨げな 内 部格 \ \ \ てプー 付 ただし、 手 ルごとに、 法 採 用 複 組 数 合 0 PD、LGD及びEADを は、 プー リテ ル 0] ル 向 LGD又はEADの け エ 推 ク 計 ス ポ 1 な ジ け れ t

(事業法人等向けエクスポージャーの格付の構造

第 ことの とが、 与さ は、 該 ス 百 ポ 債 五. 一十八条 れ 務] ない る 者 ジ 限 債 ヤ 分 格 よう な実 ŋ 務 付 2者の を各債 で 内 が適切に 八証さ 部 対 デフォル 格 応 務 付 れ す たデ 分 者 手 るPDの 布 格 法 さ 採用 1 \vdash 付 せ タ 及 範 ĺζ IJ な 組 び け 囲 案件 ょ ス 合 及 クが は、 れ ŋ ば び 格 裏 なら 当 当 付 事 付 該 該 け に 業 ない。 範囲 過度 債 6 務 人等 れ て に 者 に た · 収 ま 格 ただし、 集 向 付 中 る け る 場 が す 工 合 付 当 る ク

2 1 に 内 0 部 格 て、 付 手法採 少 なく 用 لح 組 Ł 合 デ は フ オ 事 ル 業 法 1 人等 7 向 11 な け エ ク ク ス ス ポ ポ 1 ジ ジ

るポ ジ に 11 七 以 上 0 債 以 務 上 者 0 格 債 付 務 を、 者 格 デフ 付 を オ 設 ル け 1 る L た Ł 0 工 ク す ス

3 なリ に 当 内 ス た す 部 るた · つ ク 格 0) て 付 \Diamond 水 は 手 に 準 法 使 及 当 採 用 び 該 用 す 当 債 組 る 該 務 合 基準 格 者 は 付 格 を に相 付 各 設 を 債 け 付 務 るも 者 す 与 Ś ż 格 \mathcal{O} れ付 信 とす 用 る \mathcal{O} 債 IJ 定 ス 務 義 ク 者 を 規 \mathcal{O} に 典 程 定 度 型 す を 的 る

3

- 4 ょ う、 ポ 進的] ジ 分な 内] 部 · に 対 数 格 0) 付 案件 手 法 て 格 同 採 付を設けるものとする 用 0) 組 案件 合は、 格 LGDが大きく 付を付与すること 異 な 0 る な 工 ク 1
- 5 る 準 進 は 的 内 実 部 証 され 付 手 たデ 法 採 1 用 タに 組 合 基づくも が 案 件格 \mathcal{O} 付 とする。 定 義 付 け に 用 11
- 6 オ は イ 、デフ 各 グ \vdash 項 0 オ ク 規 た ル ラ 債 定 1 イ に 権 L テ カ ていない IJ カゝ 0 ア わ V を 6 て一以 ず、 利 債 用 権 L 特 上 に てい 定 0 0) 貸 いて四 格 る付債 付 を 設 部 権 以 格 に 上 け 付 0 \mathcal{O} るも V 手 格 法 て 付 0 ス 採 用 口 す デ 組 ツ

IJ テ] 向 け ークスポ ジ ヤ] 0 格 付 \mathcal{O} 造

第 百 五. 7 ジ ヤ 九 満 条 を 部 ル 格 に 付 手 ŋ 法 当 採 7 用 る 組 合 当た は、 ŋ IJ テ 次 に ル 掲 向 げ け る 工 要 ク 件 ス

(兀 略

を

た

す

t

0

格 付 0 基 準

第 百 六 内 部 格 付 手 法 採 用 組 合 は 工 ク ス ポ 1 ジ Y Ì に 対

> なポ] ジに ヤ 0] 11 7 七 以 て 上 \mathcal{O} 以債 務 上 者 0) 債 格 務 付 を、 者 格 デフ 付 を オ 設 け な 1 け L た れ 工 ば ク な ス

- に当た 判断 なリ 内 す ス 部 る ク 0 格 ため \mathcal{O} て 付 水 は 手 に 準 法 使 及 当 採 用 び 該 用 する基 当 債 組 該 務 合 格 者 は 一準を 付 格 付 各 設 相 を 債 け 付 務 なけ す 与 者 Ś ż 格 れ 信 れ付 ば 用 る \mathcal{O} なら IJ 債 定 ス 務 義 な ク 者 を \mathcal{O} 規 曲. 程 定 型 度 す 的る
- 4 よう、 ス ポ 先進] + ジ 的 · 分 な ヤ 内] 部 数 に 格 対 \mathcal{O} 付 案件 手 法 て 格 同 採 付 用 を設けなければ 0 組 案件格 合は、LGDが 付 を付 ならない 与すること 大きく異 な \mathcal{O} る な 工
- 5 い 。 基 先 準 進 は 的 内 実 部 入証 され 格 付 手 たデ 法 採 1 用 タ 組 に基 合 が 立づくも 案 件格 \mathcal{O} 付 で 0) 定義 な け 付 れ ば け な に

5 用

な

6 フォ テ 合 イ は 前 ル ン 各 デフォ \vdash グ 項 L 0) た債権に ク 規 ルト ライ 定 に してい テリ カュ ついて一以上の か ア わ ない を 6 ず、 利 ・債権に 用 L 特 て 定 つい 格 貸 1 付 る内 付 て を 債 四 設 部 権 以 け 格 に 上 な 付 0 0) け 手 格 n 法 7 付 ば 採 ス 用 口 デ 組

IJ テ] ル 向 け エ クスポ] ジ ヤー 0 格 付 0 構

第 ポ 百 て 0 五. 要 ジ + 件 ヤ 九 を満 条 を たさ 内 部 な ル 格 け 付 に れ 割 手 ば り 法 な 採 用 7 る 組 合 当 は た IJ ŋ テ 次 に 掲 向 げ け る 工 す ク

5 兀 同 上

格 付 \mathcal{O} 基 準

第 百 六 + 条 内 部 格 付 手 法 採 用 組 合 は エ ク ス ポ 1 ジ ヤ Ì に 対

義 を 7 手 及ル びに 基割 を 当 中 て \mathcal{O} け る 各 る た格 \$ \Diamond 付 \mathcal{O} を 付 す 眀 与 確 な 格又 付は 及 ク び ス プ ポ ル ジ \mathcal{O} 定ヤ

- 2 び ジ に 内 ヤ ル カュ 部 に か 格 \mathcal{O} 1 わ付 プ 割 に 対 5 1) 手 当 ず ル 法 \mathcal{O} て て 採 定 る 同 用 こと 様 義 貫 組 L 及 \mathcal{O} 合 び を て IJ は 基 同 ス 可 ク 準 能 事 を を と \mathcal{O} 業 す + 格 有 部 る 付 す 門 分 る に ょ を う付 詳 債 各 与 務 細 に 部 に 者 署 L 規 同 及及 び び 定 又 は す 地 \mathcal{O} 工 る 格 同 ク 理 付 ス 的 Ł の及のポ位 2
- 3 る にび種 は ょ に 類 内 う 格 に 部 不 適 ょ 付 格 整 時 ŋ \mathcal{O} 付 合 付 異 に 手 な 格 与 な 法 点 付 及る 採 が 基 び格 用 な 準 プ 付 組 を \mathcal{O} 合 カュ 変 ル 基 は 監 更 準 視 す の及 債 す る 割び 務 る ŧ 当 プ 者 と \mathcal{O} 1 て 及 لح のル び ŧ 手 へ 工 に、 る 続 \mathcal{O} ク を 割 ス 適 貫 当 ポ 用 7 1 性 ジ す \mathcal{O} を る 向 基 t 上 場 準 す合並の

す

る

- るプ る 査 適 手 内 切 続 部 ル そ で \mathcal{O} 格 \mathcal{O} あ 再 \mathcal{O} 定 付 ること 現 他 手 義 を \mathcal{O} 法 及 第 通 採 び を L 用 基 評 者 組 て 進 当 価 が 合 を す 該 格 は 明 ること 格 付 確 の独 付 か 付 立 \mathcal{O} 0 が 付 与 し 詳 を た 理 機 で 与 細 き 及 に る び 解 能 規 程 プ を 定] 度 有 す にル 格 す る \sim 付 る Ł \mathcal{O} を 格 内 \mathcal{O} 付 割 付 部 لح 当 与 の 及 す び 7 す監
- 5 ス 用 ポ 組 付 合 \mathcal{O} \mathcal{O} 付 t 信 与 用 及 \mathcal{O} 供 び 取 与 プ 扱 \mathcal{O} 方 基 ル 針 準 لح 並 \mathcal{O} び 割 貫 に 当 L 問 7 た 題 \mathcal{O} Ł \mathcal{O} 基 0 生 準 とす じ は た る 債 内 務 部 者 格 及 付 手 び 法 工

(情報の利用)

第 百 六 + 条 内 部 格 付 手 法 採 用 組 合 は 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ Ì に

> を 7 プ 付 及ル びに 基 割 準 n を 当 設 て \mathcal{O} け 各 る な た 格 け \otimes 付 れ を ば 付 な 明 与 6 確 な な 又 格 付 は 工 び ク プ ス ポ ル 1 \mathcal{O} ジ 定ヤ

- ば び プ 置 同] ジ に 内 5 ヤ カュ ル 部 な に \mathcal{O}] カュ 格 1 プ 割 に わ付 Ì ら手 n 対 当 ず L ル 法 0 て て 採 定 る 同 用 ことを 様 義 貫 組 L \mathcal{O} 及 合 IJ び て は 同 ス 基 可 準 能 ク 事 を \mathcal{O} を と 業 す + 格 有 部 す 門 分 る 付 よう付債 に 詳 各 与 務 細 部 に 者 署 規 司 及及 び び 定 又 は \mathcal{O} 工 地 L 同 格 ク 玾 な け 付 ス 的 れ及のポ位
- 3 よはび種 に う 類 内な 不 適 格 に 部 整 時 付 ょ 格 合 に \mathcal{O} り 付 な 格 付 異 手 点 付 与 な 法 が 基 及る 採 な 潍 び格 用 を プ 付 組 カコ 変 \mathcal{O} 合 更 ル 基 は 視 L 準 す な の及 債 る け 割び 務 と れ プ 当 者 لح ば] て 及 ŧ な \mathcal{O} ル てバ に 5 手 \sim エ な \mathcal{O} 続 ク 貫 を 割 ス 性 適 当 ポ 7 用 1 を す ジ \mathcal{O} 向 る 基 上 t 場 す 準 1 合 並の る
- 4 なプ が る 査] 適 手 部 内 切 続 署 ル 部 そ \mathcal{O} で \mathcal{O} 格 あ 再 \mathcal{O} 定 付 る 現 他 義 手 こと を 及 \mathcal{O} 法 び 通 第 採 基 を 用 L 者 準 評 7 組 当 価 を が 合 該 格 明 す は る 格 付 確 付 の独 カコ کے 付 0 \mathcal{O} 寸. 詳 が 付 与 L た機 で 与 を 細 き及るび 理 に 規 解 能 程 定 プ を L 度 有 な にル 格 す 付 け る \mathcal{O} を n 内 割 付 付 部 ば な 及 当 与 \mathcal{O} び 7 5
- 5 いク 採 ス 用 格 ポ 組 付 合 \mathcal{O} ジ \mathcal{O} 付 t 信 与. 用 及 \mathcal{O} 供 てバ 取 与 プ 扱 \mathcal{O} 基 方 ル 針 準 لح 並 \mathcal{O} び 割 貫 に 当 問 し て 題 た \mathcal{O} £ \mathcal{O} 基 生 \mathcal{O} 進 で じ は な た け 債 内 務 部 n 者 ば 格 な 及 付 5 び 手 工法

(情報の利用)

第 百 六 + 条 内 部 格 付 手 法 採 用 組 合 は 工 ク ス ポ 1 t Ì に

L な を 7 プ] す ル 者 る に 格 割り 付 新 及 当 0 び 情 て 案 る 報 件 を 場 格 全 付 合 て考 に を付 は 慮に入 与 入 手 れ 可 又 るも 能 は であ エ 0 ク り、 ス す ポ か る] ジ

2 ょ は ŋ 債 保 守 務 格 者 的 付 格 に 手 付 行 法 うも 及 採 び 用 案 0 組 件 合 す 格 は Ś 付 0 保 付与又は 有 す っる情 ブ 報 1 量 ル が 少 \mathcal{O} な 割当 7 合に

略

3

(特定貸付債権の取扱い)

第 百 テ に 六 対 イ 十二条 れして、 ・ング 付 0) 体 : 系及 この ライテリ 部 び 節 格 手 に 付 続 定 手 ア に め 法 を 基づ る最低 採 用 用 き格付き 組 る 要 合 場 件に は、 一合に を付 合 特 は、 与 致 定 す 当 貸 え も た 該 付 自 特 債 0) 組 定 権 と 貸 合 に す の付 ス ^っる]。 基 債 口

2 内 兀 部 項 格 及 付手 び 第 法 六 採 項 用 に 組 定 合 \Diamond は る 区 前 分 項 に 紐 掲 付 げ け る るも 格 付 を 第百二 す + 七

(格付の基準と格付付与手続の見直し等)

第 全 体 百 格 六 十三 的 る 付 \mathcal{O} カュ \mathcal{O} 構 ?どう 見 付 成 条 与 لح 直 外 す か 及 部 び 部 判 プ \mathcal{O} 格] 断 状 付 す 況 す ル 手 る る に 法 た \mathcal{O} 対 採 割 用 8 て 当 組 に て 格 合 付 当 0) は、 手 該 及 基 続 U 現 準 が プ 在 及 + 0 び 分 ル 自 当 に \mathcal{O} 組 基 該 谪 合 用 準 手 0 続 可 並 資 能び 産

格 付 付 与. 及 び ブ ル 0 割 当 7 12 お け る 評 価 対 象 期 間

> いな 関 を プ 7 連] す ル に 者 最 割 格 新 り 付 0 当てる 及 情 び 報 案件 を 場 す 合 格 ベ は 付 て を付 考 入 慮 手 与 可 に 能 入 又 で n は あ な 工 り、 け ク れ ス カュ ば ポ な] 5 ジ 重 な 要 t

n 債 保守 務 内 者 部 的 格 格 付 付 行 及 手 わ び 法 案件 な 採 け 用 れ 格 組 ば 合 付 なら は、 \mathcal{O} 付 保 な 与 有 文 す は る ブ 情 1 報 ル 量 が 0 割当て な 合 は ょ

2

3 [同上]

特定貸付債権の取扱い

第 に対し い格 ツ 百 テ 付 六 イン 十二条 0) て、 体 グ 系 及 クライテリアを 0) 内 び 節 手 部 に 格 続 定 付 に め 手 基づ る最低 法 採 き格 用 用 要 組 付 件 る 合 に 場 を は、 合は、 合 付 致 与 特 L 当該 定 た 貸 な 自 け 特 付 組 れ 定 債 ば 権 貸 な 付 に 基 5 債 ス 準、 権

2 条第 内 兀 部 項 格 及 付 び 手 第 法 六 採 項 用 に 組 定 合 8 は る 区 前 分 項 に に 紐 掲 付 げ け る 格 な 付 け を れ ば 百 な

(格付の基準と格付付与手続の見直し等)

第 定 で 全 百 格 体 六 十三 的 る 付 \mathcal{O} \mathcal{O} 構 カュ どう 見 付 条 成 直 与 لح 外 さ 及 か 内 な を 部 部 け 判 \mathcal{O} 格 れ 断 状 付 ば 況 ル す 手 な に る 法 6 \mathcal{O} 対 採 た な 8 割 用 当 て 組 格 て 合 合は、 付 0) 当 手 及 該 基 続 び 現 プ 準 が 在 及 び 分 ル 自 当 に \mathcal{O} 組 基 該 合 手 用 進 0 並 可 資 能び

格 付 付 与. 及 び ブ ル 0 割 当 7 12 お け る 評 価 対 象 期 間

第 「項 項 項 項 間 ス 百 を ポ を を 六 削 削 削 評 削 t] る。 る。 る。 る。 価] ジ 兀 \mathcal{O} \mathcal{O} t 条 対 プ] 象 に とす ル 対 部 す 格 る \mathcal{O} る 付 ŧ 債 手 0 当 務 法 て 者 採 用 に 格 9 付 組 い及 合 て、 び IJ テ 事] 年 以 ル 上 向 け 竿 わ 工 向 たる ク け スエ 期ポ ク 第 4 3 2 間 す 期 将 ヤ 百 切 PD及びLGD 資 来 第 済 価 を せ に を ポ 前 内 六 産 反映する特質 与及 ・シナリ な 履 評 状 対 債 経 事 め 対 部 ヤ] \mathcal{O} 項 を を 項 況 価 務 済 業 方法により 行 事 ジ 項 事 象 プ す 価 1 に 格 兀 うる。 を考 者 状 び 法 保 値 予 象 期 す 態 1 t に 付 \mathcal{O} \mathcal{O} 定 IJ 人等 守 変 0 る 測 及 定 間 況 0) 債 対 プ] 定 ル 手 8 ノオを利 ラテー 動 特 的 慮 0) 能 す び 8 及 発 務 法 象 に る 0 び 性 力及 るこ 悪 生 と に 向 に 将 \mathcal{O} 者 る る 評 採 対 部 推計を なけ 対する を ル け 評 評 化 来 評 各 に に 割 格 す 評 価 用 格 用 適 向 価 応 価 な \mathcal{O} 価 産 又 工 び ŧ 当 付 組 \mathcal{O} に る 価 付 切に すること。 じ、 は け てに れ ク L 意 け が 事 に 業 0 当 カコ 債 合 丰 行うに 当 た ば 債 工 ス な な 予 木 象 思 か 付 れ 当 又 た は 当 務 法 なら 考慮すること。 期せぬ け け ク ポ た 難 が は 務 ス を わ 当 与 ば 0 て 者 採 て、 ればならな 0 者 \vdash ス れ 6 た 及 な 0 なことに 特 地 次 事 格 用 当 て、 て、 ・ジャー ず、 定 な レ ポ ば って、 業 5 域 0) 0 び 0 付 組 ならな 耐 スが た な 各 IJ 法 い及 0 \mathcal{O} 内 事 合 内 0 号に掲 て、 性 ジ テ 人等 は、 債 景 部 入 態 債 び て 部 を適 手 鑑 務 カ ヤ に 気 格 務 経] IJ に 格 Ì 特 可 み 者 対 テ 循 付 カュ 者 済 ル 対 向 事 付 定 切 \mathcal{O} す] 能 0 0 す げ が 状 向 環 手 け 手 \mathcal{O} プ る 財 に た 契 な 将 \mathcal{O} 法 る る け 工 ル 法 務 1 適 将 来 中 採 反 状 債 債 方 約 \mathcal{O} ク 向 採 来 に 状 で 用 映 況 務 切 ル 務 法 悪 ク ス け 箬 用 沢沢に 関 さ な に そ 従 ス 生 に 者 者 化 に 組 ポ 工 向 関 す じ ス 0 ク 合 せ お \mathcal{O} 格 \mathcal{O} 0 又 ポ 1 た け 合 及ぼ るこ す る う \vdash **\ て は ジ る ス け 耐 付 他 1 エ

性

ての

債 予 ジ

 \mathcal{O}

期ポ

ク

は

る

る

は

る

格 付 付 与 及 び プ] ル 0) 割 当 てに お け る 評 価 方

第 す 契 況 け エ 百 る。 エ 約 ク \mathcal{O} 六 悪 ス に ク 十 化 従 ス ポ 兀 ポ 1 0 又 条 は] ジ て \mathcal{O} 子 ヤ 債 ジ 期 1 務 t を せ 1 に 内 履 め \mathcal{O} 対 部 事 す 行 プ 格] る す 態 付 手法 る のル 債 務者 能 発 0) 生 力 採 及 に 格 用 割 ŧ 当 び 付 組 意思 て \mathcal{O} カュ 合 は、 か に 付 わら 当 与 を 及 事 評 た ず、 価 0 び 業 て、 IJ 法 す るも テ 債 人 等 務 1 経 者 済ル 向 0) が 状 向 け

2 次に 前 掲 項 げ E る要 規 定 とする 件 \mathcal{O} 全 評 て 価 を に 満たすも 当 たって、 0 内 とする。 部格付 手 法 採 用 組 合 は

状 評 況 価 が に 含 お ま V れ て て 考 慮す 11 ること。 る 経済 状 況 0 範 拼 に、 次 に 掲 げ る 経

イ 現在の経済状況

発

生し

得

る

経

済

状

況

口 債 務 者 \mathcal{O} 属 す る 業 種 別 又 は 地 域 別 \mathcal{O} 景 気 循 環 に お 11 て

起 因 格 付 L っ て 行 及 び わ プ れ 1 る ル ょ \mathcal{O} う 遷 設計 移 が さ れていること。 次 に 掲 げ る変 化 0 1 ず れ か 12

1 工 ク ス ポ] ジ ヤ] 又は 債 務 者に お け る固 有 0) 変 化

口 る 固 工 ク 有 ス \mathcal{O} 変 ポ] ヤ] 又 は 債務者 が 属 す る事 業 環 境 に お け

債務者が高いレバレッジをかけ、景気循環の中で生じ得る変化

産 \mathcal{O} 債 保 務 フ カン 産 高 が た 特 7 状 定 バ ス 況 取 レ に に 引 ツ 係 お 等 ジ けるボ る評 に を 係 か け 価 る ラテ 資 を て 反 産 1 映 イ で る IJ あ 場 テ た る 合 イ 場 又 ŧ に 合 は \mathcal{O} 基 で 当 に づく あ は 該 るこ 債 原 ス務

> 的 報 に が 分 限 析 定 を行 的 で わ あ なけ る場 れ 合 は ば なら 内 部 格 付 手 法 採 用 組 合は、

> > より保

守情

条を加える。]

کے

及ぼ す んる予測: 将 す影 来 0 報が保 測 び 守 す 将 ることが 的 に評価されてい 0 事 象が 困 特 難 なこと 定の ること。 債 に 務 鑑 者 み、 \mathcal{O} 財 務 将 来 状 に況 関に

より保守的に分析が行われること。
五 入手可能な将来に関する情報が限定的である場合には

モデルの利用)

案件格 その 合に 1六十五 は 他 0 付の付与又はPD、LGD及びEADの推計に 機械的な手法(以下「モデル」とい 次に 条 掲 内 げる要件 部 格付手法採用 0) 全てを満たすも 組 合は、 債務者 0) う。) を 用 とする。 統 格 計的 付 若 しく 1 モ るデく場ルは

モ ĺV 及び 入 力 値 は 次に 掲 げ る 全 て の 性 質 んを有 る

のであること。

「イ〜 ハ 略」

イ 人的判断は、モデルにおいて考慮されていない全てのに掲げる要件の全てを満たすものであること。 モデルを人的判断と組み合わせて用いている場合は、次

関連する重要な情報を網羅したものであること。イー人的判断は、モデルにおいて考慮されていない全

略」

[五・六 略]

(内部格付制度及び運用に関する書類の作成)

第 百 内 十六 部 格 条 付 制 度 内 \mathcal{O} 部 格 設 付 計 手法採用組 及 び 運 用 に 合は、 つい て 信用リ 詳 細 に 記 スク管 載 がする 理 ŧ 指 針 \mathcal{O}

(モデルの利用)

第 い。 。 場合は、 その他 案件格 百 六十五 付の付与又はPD、LGD及びEADの \mathcal{O} 機械的な手法 条 次に掲げ 内 部 格 るす 付手法採用組 (以下「モデル」と 7 0) 要件を満 合は、 推計に統 債 たさな 総 務者 称 す 9 る[。 け 格 付 ħ ば)を用 的 なら しく モ デ いルは

ものであること。 モデル 及 び 入 力 値 は、 次 E 掲 げ るす て 0) 性 質 を 有

[イ〜ハ 同上]

[二・三 同上]

に掲げるすべての要件を満たすものであること。四 モデルを人的判断と組み合わせて用いている場合は、次

の関連する重要な情報を網羅したものであること。イー人的判断は、モデルにおいて考慮されていないすべて

口[同上]

[五・六 同上]

(内部格付制度及び運用に関する書類の作成)

第 に内部 百 六十六条 格 付 制 度 内 部 0 設 格 計 付手法採用組 及 び 運 用 に つい 合は、 て詳 信 用 リ 細 に 記 ス 載 ク 管 な 理 指 け れ針

す

とする

- 2 が 前 こ の 遵守して 項に 節 掲 げ (第 いることを証明するものとする る 七 信 款 用 カュ IJ 5 ス 第 ク 九款までを 管理指 は、 除 内 部 に 格 付 掲 げ 手 法 る 最 採 低 用 組 要
- 3 事 内部 項 くその 格 付 他 手 法 事 採 項 用 を 組 記 合 載 は するも 信 用 0 IJ とす ス ク 管 理 指 針 に 次 に 掲 げ

一~六略

(モデルに関する追加事項の記載)

はル 百 へ の 六 信 用リ 割 七 当 条 ス て ク 0) 管 部 手 理 格 続 指針に 付 に 手 お 法 採用 次に掲 てモ 組 デ げ 合は、 ル)る事 を使 項 格 用 を 付 L 記 0 付 て 載 1 す 与 及 る る 場 ŧ び 合に ブ 1

[一 三 略]

スポ つき信 び 保 クショ 百 者 証 十八 格] ジャ ン 人又 用 工 IJ 提 を付 条 ク スク 供 は ス 与 者 向 ポ 削減効 口 け 0 部] よる テク 工 格 ジ か ク 7 付 ヤ つ、 果 保 シ は、 ス 手] 水を勘案 ポー 3 証 法 審 を 採用 又 ン 当 案件 査手続に 提 ジ は 該 供者 する場合に クレ ヤ エクスポ 組 格付] 合 に対 は、 ジット・ おい (当 と 関 す て 該 1 事 る格 連 限 ジャ 業法 保 案 (る。) デリ 付 証 件 付 け \mathcal{O} 人 人 \mathcal{O} る に バ 又 等 \mathcal{O} 特 付 テ は 債 向 Ł 対 性 1 け 務 \mathcal{O} に . 応 じ ブに 口 て 者 工 債 テ 及 ク

2 \mathcal{O} 内 債 部 務 格 者 付 手 債 法 務 採 者 用 格 組 付 合 を は 付 与 事 す 業法 る場 人等 合 に 向 は け 事 ク 業 ス 体 ポ 等] 単 ジ ヤ 位

はならない。

- 2 らない。 る 最 合 がこの 前 頭に掲 低 要 件 節 (ただ を遵守し げる信 Ų 用 IJ ていることを証明するも 第 ス 七 ク 款 管 から 理指 第 九款 は、 まで 内 部 を 0 格 除 で 付 な 手 け 法 に 採 れ 掲 ば 用 げ 組
- 3 る事項その 内 部 格 付 他 手 0 法 採 項 用 を 組 記 合 載 は な 信 け 用 n IJ ば ス なら 管 理 指 針 に 次 に 掲

[一~六 同上]

(モデルに関する追加事項の記載)

第

ルへの 信 百 用リ 六 十七七 ス 割 ク管 当 条 て 0) 理 内 手続 指 部 針 格 に 付 に お 次に 手 1 法 掲 て 採 モデル 用 げ ·る事 組 合 を使 は、 項 を 用格 記 付 載 7 \mathcal{O} ****\ な 付 け る 与 場 及 n ば 合 び な は ブ

□ ← 三 同上

第 て当 ク び ス 百 事 き信 ショ 保 者 ポ 十八 該 格 証] 業 付 用 ン ジ 法 人 八又は を付 リスク削 提 t ク 条 ス] 供 与 ポ 者 プ に 内 向 による 口 1 部 け テクシ 減 ジ 格 か 効 て ク ヤ 付 果を 保 ス] 手 3 ポ を 審 証 法 勘案 案件格] 又 ン 当 採 查 は提 該 用 ジ 手 供者 す クレ ヤ エクスポ 組 続 る] にお 合 付 場 ジッ は、 に と (当 合に 関 対 F す 該] 事 連 7 限 る 案件 保 ジ 付 業 る。) に 証 ヤ 法 デ け IJ 付 な \mathcal{O} 人 \mathcal{O} け バ 又 \mathcal{O} 等 特 付 対 テ は 債 向 れ 1 務 け に ば て ブ に 口 応 者 工 テ 及

合 又 がで は 当 で あ て 全 該 别 0 部 事 て、 業 る に 付 与 同 体 き 当 す は 該 \mathcal{O} \mathcal{O} 方 債 針 務 法 0 とす \mathcal{O} 者 人 限りで 等 従 格 る。 付 11 を付 子 な 括 法 L 与 人 L 等 て す Ś 同 及 内 方び \mathcal{O} 針 関 格 債 を 連 付 務 定法 手 者 8 人 法 7 築 格 採 付 NO 用 る を 組 付 場部 合

3 内 場 部 合 格 に 付 は 手 法 個 採 别 用 誤 組 方 合 向 が 第五 リスクを 十二条 特 定 第 す る 項 方 \mathcal{O} 法 承 を 認 定 を 受 8 る け 7

す

第 査ポ 百 IJ 手 六 続 ジ +テ に] t ħ,] お ル 条 向 11 に て つ内 け プ 部 工] ク て 格 ス ル は 付 に ポ 手 割 各 法 ジ 工 採 ク ヤ 用 ス 組 る \mathcal{O} ポ 合 ブ は、]] \mathcal{O} ジ と ル IJ t す \sim] テ \mathcal{O} を] 割 信 ル 当 用 向 け 供 与 工 のク ス 審

第

査ポ

ヤ

Ì

て

ヤ

与

 \mathcal{O}

審

2 IJ \vdash 前 バ れ 項 テ に 基づくPD、 ij イ お 前 ブ バ け 項に が テ る な イ 掲 V] ブ げ と に ル LGD及びEADの る 仮 ょ 割 \mathcal{O} 定 る 当 L 信 割 て) た 場 用 当 \mathcal{O} IJ て 他 合 スに に、 \mathcal{O} ク お 推 削 プ 11 計 保 て、] 減 を 証 ル 効 行 又は 果 保 Ď 0) を 証 É 割当て 勘 又 0 案 は とす し ク ツ 並 て レ る \vdash ジ てバ 11

事 全 性 業 法 \mathcal{O} 人 等 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ 1 に 対 す る 格 付 付 与. 手 続 0

やポ 百 付 ジナ 及 t び あ 案 る に内 件 部 格 VI 格 付 ス 7 付 を ポは 手 見 法 直 ジ年 採 す ヤに 用 Ł 組 \mathcal{O} 口 に 合 とする 以は 0 广 7 事 IJ は 業 ス法 ょ ŋ ク 人 頻 \mathcal{O} 築 高 繁 向 け 1 債 工 務 ク 債 ス 者 務

2 格 付 手 法 採 用 組 合 は 事 業 法 人等 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ

> 合 与 又 が 別 は 当に L で あ 全 該 て 付 0 部 事 与 て、 ると 業 L に な 同 体 き け 当 築 は 該 \mathcal{O} \mathcal{O} ば 方 債 親 針 務 法 な 人等、 \mathcal{O} 5 者 に 限りで 従 格 11 付 を付 子 括 法 L 与 て 等 す る 及内 同 方 び 針 関 0 格 債 を 連 付 務 定法 手 者 8 法 人 て 築 格 採 いの用 付 る一組

項 を 加 える。

付場

部 合

百 (J 六 + テ] 九 条 ル 向 け 内 工 部 ク 格 ス 付 ポ 手 法 ジ 採 ヤ 用] 組 \mathcal{O} 合 ブ は、] ル IJ テ \mathcal{O}] 割 向 け 工 ク ス

手 続 ジ に お 11 に T 9 プ ル は に 割 各 ŋ 工 ク 7 ス な ポ け 1 れ ジ ば な を 信 用 供

2 ないそ デ る ツ IJ 場 \vdash 前 れ バ • 項 ティ は デ 12 . 基づ IJ お 前 バ ブ け $\vee PD'$ 項 が テ る に な 1 掲 V ブ] げ LGD及びEADの と にル る 仮 よる 割当て 定 \mathcal{O} し 信 割 た場合 当 用 \mathcal{O} IJ て 他 スに に ク 推 \mathcal{O} お プー 削 V 計 保 て、 減 を 証 効 ル 行 又 果 わ 保 は な \mathcal{O} を 証 ク 割 勘 又 け 当て 案 は れ L ク ば ツ て レ 並 1 ジ

健 事 全 性 業 \mathcal{O} 法 維 人 等 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ t] に 対 す る 格 付 付 与 手

第 やポ 百 問 格 七 付 題 ジ + 及 \mathcal{O} ヤ 条 び あ る に 内 件 エ 0 部 格 格 付 ス て 付 を ポは 手 見 法 直 ジ年 採 さ ヤに 用 な 組 け に回 合 れ 0 以は ばならな 上 て 事 は IJ 業 ょ ス 法 ŋ ク 人 頻 \mathcal{O} 築 繁 高 向 1 け 債 工 債 務 ク 者 ス 務

内 格 什 丰 法 採 用 組 合 は 事 業 法 人等 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ

2

 \mathcal{O} 0 す 場 債 務 合 に 者 は 又 は エ 速 ク P かス ポ に 債 1 ジ 務 者 t 格 1 付 に 2 又 は 11 案 7 件 重 格 要 付 な 情 を 見 報 直 が 判 す £ 明

- 3 が信 用 行 最 う 供 終 か 与 的 にな 又 は よ格 そ 0 付 7 \mathcal{O} 者 直 付 \mathcal{O} 接 与 承 利 及 諾 益び を 前 得 受 る け 項 ŧ る に こと \mathcal{O} 掲 げ す が る る な格 付 11 立の 場 見 に 直 あ L る は 者
- 付 影 に 内 0 部 しする V 格 び て、 付 案 案 手 件 PDに 件 法 格 0) 採 付 特 影 用 を 性 組 更 する に 合 新 関 は す 債 す る んる重 務 事 有 者 業 効 \mathcal{O} 要 法 な な情 特 人等 手 性 続 並 報 向 を び を け 設 にLGD及 収 け 集 ク る ス Ł ポ び \mathcal{O} 債 EAD لح 務 ジ す 者 t

Ø _ IJ 健 全 テ 性 ル 維 向 持 け エ ク ス ポ ジ 7] \mathcal{O} ブ 1 ル \sim 0 割 当 7 \mathcal{O} 手 続

第 性 ポ 百 及] び ジ 延 ヤ 滞 1 状 に 況 つ内 い部 見 て 格 直 付 す 年 手 ŧ 法 \mathcal{O} 回採 لح 以用 す 上 組 \mathcal{O} 合 割 は 合 で IJ 各 テ プ 1] ル ル 向 \mathcal{O} け 損 工 ク 失 ス 特

2 す る が 内 0 た 継 部 80 代 続 ル 格 に的に 内 表 付 0 的 に 手 個 当 な 適 法 該切 Þ 採 \mathcal{O} プ 本 な 用 債 \mathcal{O}] 組 務 調] ル 合 者 杳 に ル は \mathcal{O} そ 属 に 状 す \mathcal{O} 割 各 況 他 る り IJ を IJ 当 テ \mathcal{O} 見 テ 方 7 1 直] 6 法 ル す にルれ向 ŧ よ向 7 け \mathcal{O} りけ 11 と 工 る ク す こと ク ス 年 ス ポ 回ポ を 1 確 ジ 以 上 認 t ジ

2

(格付の書換え)

第 百 格 + 付 制 度 \mathcal{O} 運 内 用 部 を 格 行 付 0 手 て 法 採 る 用 場 組 合に 合 は は 次 的 に 判 掲 断 げ に る 基 事 づ 項 < そ内

> ば な た \mathcal{O} 5 場 債 な 合 務 者 速 又 やは かエ ク に ス 債 務 ポ 者 ジ 格 付 t 又 1 は に 案 0 件 11 格 7 付 重 要 見 な 情 直 さ 報 が な 判 け 明 れ

- 3 が信 行 用 最 う 供 終 カ 与 的 又 に な は よ格 そ つ付 7 \mathcal{O} 者 直付 \mathcal{O} 接 与 承 利 及 諾 益び を を 前 得 受 な け 項 る に こと 掲 は げ が る な格 11 付 立の 場 見 直 あ L る は
- 4 な 格 に 影 付 に 内 及 響 つ 部 す 71 び 格 る て、 案 付 件 案 手 件 格 法 付 \mathcal{O} 採 特 影 を 用 響 更 性 組 す 新 に 合 る 関 す は す 債 る る 務 有 事 重 者 業法 効 の な 要 特 な 手 人等 情 性 続 並 報 向 を び 設 を け にLGD及 収 け な 集 ク け ス ポ れ び 債 ば 1 EAD 務 ジ な

の 健 リ 全 テ 性] \mathcal{O} ル 維 向 持 け 工 ク ス ポ] ジ ヤ 1 \mathcal{O} ブ ル \sim \mathcal{O} 割 当 7 \mathcal{O} 手

第 性ポ 百 及 1 七 び ジ + 延 ヤ 滞 条 1 状 に 況 つ内 い部 見 て 格 直 付 さ 年 手 な 法 け 回採 れ 以 用 ば 上組 な \mathcal{O} 合 5 割 は な 合 で IJ 各 テ 1] ル ル 向 \mathcal{O} H 損 工 失 ク 特 ス

す い 各 t プ る が 内 \mathcal{O} た 継 部 代 8 続 格 に的に 表 付 的 に 手 当 適 な 法 個 該 切 標 採 な 本 用 0] プ 組 \mathcal{O} 債 1 調 ル 合 務 査 にル は 者 そ 属 に \mathcal{O} のす 割 各 状 る 他 り IJ 況 当 IJ テ \mathcal{O} を テ て 1 方 見 法 Ì 6 ル 直 に ルれ向 さ 白 ょ 7 け な りけ 11 け 工 る ク れ 年 ク ス ス لح ば ポ 回ポ を な Ì ジ 6 以 1 確 な 上ジ 認

(格付の書換え)

第 部 百 格 七 付 + = 制 度 \mathcal{O} 運 内 用 部 を 格 行 付 手 T 法 採 11 る 用 場 組 合 合 は は 次 人 的 撂 判 げ 断 る に 事 基 項 づ そ の内

を 設 他 け \mathcal{O} る 格 ŧ 付 \mathcal{O} 及 び す 推 る 計 値 0 変 更 係 る 事 項 に 0 1 7 明 確 な 規 定

5

2 手 用 内 だを行っ 続 部 及 格 へびガ 付 て 手 1 W ド る 採 ライ 場用 合 組 に 合 を はは 設 け 次モ るも にデ 掲 ル \mathcal{O} げ に とす る 基 事 づ 項 < を 内 監 部 視 格 す 付 る 制 た 度 \mathcal{O} \otimes

ر <u>ج</u> 略

3 に 前 関 項 でする に · 掲 げ 責任: る |者を ガ 1 特 ド 定 ラ するも 1 は 0 と 格 しする 付 付 与 又 は 推 計 結 果 \mathcal{O} 変 3

4 内 す た 部 る場 格 合 付 に 手 法 は 採 用 該 組 変 合 点は、 更ごとに 格 付 及び推 変 更 後 計 \mathcal{O} 実 値 績 に を 0 記 1 て 録 す 変 るも 更 を

事 業 法 人 等 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ に 関 す る デ タ 0 維 持 管

る ス 百 ポ 七 十三] ジ ヤ] 内 に 部 0 格 V 付 て 手 次 法 に 採 掲 用 げ 組 る 合 情 は、 報 を 事 保 業 存 法 す 人 る 築 ŧ 向 0 け 工 す ク

略

2 きる事 報 進 を 的 保 内 存 業 部 す 法 格 る 付 ŧ 等 手 \mathcal{O} 向 法 け 採 す 用 ク 組 合 ポ は 1 ジ 先 ヤ 進 的 に 内 部 0 11 格 7 付 次に 手 法 掲 を げ 適

5 兀

~ リ テ] ル 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ に 関 す る デ 1 タ \mathcal{O} 維 持

百 七 + 兀 条 内 部 格 付 手 法 採 用 組 合 は IJ テ 1 ル 向 け 工 ク ス

> 設 け \mathcal{O} 格 な け 付 ħ 及 同ば び な 推 6 な 値 \mathcal{O} 変 更 係 る 事 項 に 0 7 7 明 確 な 規 定

> > を

5 三 上

2

手 運 用 続 内 及 を 部 び 行 格 ガ 0 付 ハイドラ て 手 い法 る採 イ、 場 用 ンを 合 組 は 合 設 は け 次 な に モ け 掲デ れ げル ば に る なら 事 基 項 づ な を < 監 内 視 部 す 格 る 付 た 制 め度 のの

∫ <u>=</u> 同 上

更に関 前 項 する責任 に 掲げるガ 者を 1 特 F 定する ラ 1 Ł は \mathcal{O} で 格 なけ 付 付 れ 与 ば 又 は 5 推 な 計 結 果 \mathcal{O} 変

ば 行 なら 0 内 た 部 ない。 格 場 合 付 は 手 法 当 採 該 用 変 組 更ごと 合 古は、 に 格 変更 付 及び 後 推 0) 実 計 績 値 を に つい 記 録 7 変 な 更 け れ

4

事 業 法 人 等 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ に 関 す る デ タ \mathcal{O} 維 持

第 ス 百 ポ 七] 十三 ジ t 条] に 内 0 部 11 格 て 付 次に 手 法 掲 採 げ 用 る 組 情 合 報 は、 を 保 事 存 業 法 な 人 け 築 n 向 ば け な 工

5

三

同

上

2 V)] ジ ヤ 進 的 内 に 部 0 **1 格 付 7 手 次 法 に 採 掲 用 げ 組 る 合 情 は 報 を 事 保 業 存 法 な 築 け 向 れ け ば な ク 6 ス ポ

5 兀 同 上

(J テ 1 ル 向 け エ ク ス ポ 1 ジ t 1 に 関 す る デ タ \mathcal{O} 維 持

百 七 + 兀 条 内 部 格 付 手 法 採 用 組 合 は IJ テ 1 ル 向 け 工 ク ス

第

ポ ジ] に 0 1 7 次 に 掲 げる情 報を保 す う も 0 とす る

兀 略

第 る評 百 自 価 己 る 資 五. た 条 め 0 充 に 内 適 実 部 度 切 格 を な 付 評 スト 手 価 法 する 採用 レ ス・ た 組 め テスト 合 \mathcal{O} は、 ス を 自 実 己 ス・ 資 施 するも 本 テ 0 ス 充実 \vdash 0 とす 度 を 第

1

2 組 信 用 0 前 ブリス 0 事 悪 項 こう 態 対 化 に ヘクに 応 \mathcal{O} 及 掲 能 L 発 び げ た好 力 生 係 流 る 又 は 0 る ス 評 ま 工 性 1 価 経 ク L \mathcal{O} V < を ス 済 悪 ス 含 ポ な 状 化 む 1 況 そ ス ŧ 変化 ジャ (T) \mathcal{O} 1 将 \mathcal{O} 他 とする。 は、] に 来 \mathcal{O} 対す 変化 · に 好 内 経 部 済 まし る を 格 状 識 付 内 況 < 部 別 手 0 す な 法 格 悪 る 付 V 採 化 ŧ 効 手 用 果 法 \mathcal{O} 組 市 採 で を 合 場 あ 与 環 用 \mathcal{O} 2

信 用 IJ ス \mathcal{O} ス 1 V ス テ ス 1

ス 百 ク 考 オ テ に に 慮 自 スト 対 つ 組 六 11 す 合 条 た て、 を る 0 有 定 工 所 内 意 ク 期 要 部 ス 的 自 な 格 カ くとも ポ 己 付 0 実 資 手 適 施す ジ 本 法 度 緩 ヤ 0 採 に 用 る 額 P 保 ŧ \mathcal{O} か に 組 守 0 大部 及 な 合 的 景 ぼ は、 な 信 **須**気後 分 す を 影 特 用 占 退 響 定 IJ を 0 ス ナ る 評 条 ク IJ ポ 価 件 0 オ す が る ス \mathcal{O} 1 信 1 効 フ た 用 果 オ め IJ

2 実 部 す る に当 手法 た 採 用 て 組 は 合 は 次 に 前 掲 項 げ に 定定め る要件 る ス を \vdash 満 た V す ス ŧ \mathcal{O} テ ス す 1

5 削る 略

> いポ ジ t] に 0 7 次 に 掲 げ る情 報 保 存 なけ れ ば な 5

兀 同 上

己 資 0 充 実 度 を 評 価 た め \mathcal{O} ス

 \vdash

 \vdash

らな 評 百 自 価 七 す + る 五. た 本 条 め に 内 適 部 切 格 な 付 スト 手 法 する 採用組 レ ス・ テスト 合 は、 を 自 実 己 施 資 本 テス な 0 充実 け れ 度 ば な

える 採 信 境 て、 用 用 \mathcal{O} 前 リス 組 事 悪 項 か 合 態 化 に つ、こうした クに 0) \mathcal{O} 及 掲 対 発 び げ 応 係 生 流 る 文は 能 る 動 ス 力 工 性 1 0) ク 経 \mathcal{O} レ 好 評 ス 悪 済 ス ましくな ・テ ポ 価 化 状 血を含む 況] そ ス \mathcal{O} 0) ジ ヤー \vdash 将 他 は、 ŧ 来 変 0 0 変化 に 内 化 経 好 で 部 に 済 な を ましくな 対 格 状 け 識 付 す 況 れ 別 る 手 0 ば す 法 な 部 る 採 化 6 ŧ 効 用 格 果 付 \mathcal{O} 組 市 で を 手 合 あ 与 \mathcal{O}

信信 用 IJ ス \mathcal{O} ス 1 V ス ス \vdash

第 を考 IJ ス 百 クに オに 七 テス 十六 慮 自 つい 組 対 \vdash す 合 た 条 て、 を \mathcal{O} る 有 定 エ 所 内 意 クス 要自 期 部 的 な 格 か くとも ポ 己 付 0 実 資] 手 適 施 ジ 本 法 度 緩 ヤ \mathcal{O} 採 に な 用 B 額 保 け \mathcal{O} か に 組 守 れ な景 大部 及ぼ 合 的 ば は、 な な 気 分 す 信 後 を 影 特 用 退 占 響 定 IJ 8 を \mathcal{O} ス ナ る 評 条 ク IJ ポ 価 件 0 才 す が る ス \mathcal{O} 1 信 \vdash 効 フ た 用 オ 果

2 を 実 内 施 部 する 格 付 手法 に 当 「たっ 採 用 て 組 は 合 は 次 に 前 掲 項 げ 12 定め る要 件 る スト を 満 た V さ ス な け テ ス れ

6 な

ر <u>ج</u>

同

上

3 部 格 付 手 法 採 用 組 合 は 第 百 九 条 \mathcal{O} 規 定 を 谪 用 す る

推 掲 て同 げ 格 つる基準 付付 付 じ。 与

第 百 割当て並びに Ł 付与及 関する一 手 を に関する全ての び 続 満 部 連の 各工 IJ 格 テ 事 付 クスポ 手続を 1 業 f 手 ル 法 法 向けエ 向 とす 採 総 用 重 ジャー 称 組 要 クスポ L け 合 事 ていう。 エ は、 項は · のPD、 ク] ス 内 理事 ジ ポ 部 LGD及

ヤ]

Ì

 \mathcal{O}

ĺ

ル 対

びEAD

ジ

t

に

す

<u>-</u> 七 略

 \mathcal{O}

承認を得

ていること。

以

款

おの

会等及 下この

び

担 に

用 リスク 管 理 一部署

第 又は 百 スクを管理す けるものとする 選 火、 八 条 実 施 る部署 及び実績について責任を 部 格 付 以 手 下 法 「信用 採用 組 リスク管理 は、 負 内 V) 部格 部 独 署」 <u>\f</u> 付 して 制 لح 度 0) 信 . う。 用 設 IJ 計

2 用 IJ ス ク 管 理 部 署 は 与. 信 部 門 及 び 与 信 業 務 0) 担 当 者 か

> らない。 て、 場合は、 前 項 項に 定め 加 えて次に るストレ 掲げる要 ス・テスト 件 - を実施 ŧ 満 たさ す な る に当 け n た ば な 0

条第二 保 証 項 人又 第三号 は \mathcal{O} 口 要 テ 件 ク を満 シ 彐 たさな ン 提 供 1 者 ことと が 格 付 なる \mathcal{O} 変 لح 化 き に ょ 0 影 ŋ 同

考慮

すること。

テクショ フ 保証 オルト 人若し ン 提 L た場 供 Š 者若 合 は 0) 被 影 L 保 、響を考慮すること。 < 証 は 債 原債権 権 0) 債 0 務 債 者 務 \mathcal{O} 者 1 ず 0 V れ ず カ れ 又 カコ は が プ デ

事 会 等 0 関 与

統

制

に

0

11

て

次

会等

 \mathcal{O}

関

第 に掲 百 七 げ る基準 七 条 を 内 満 部 たさ 格 付 な 手 け 法 れ 採 ば 用 な 組 5 合 な は、 内 部 統 制 に 0 11 て

当 推 \mathcal{O} る 計に 格付 理 て同じ 割当て並びに各エ 事 付 0) 関 付 付 はする一 与 及 。) に関するすべての 承認を得 与 手 び 続 連の IJ ていること。 テ 事 クスポー 手続を総] 業法 ル 向 人等 け ジャー 称 エクスポ 向 重 L け 要 ンエクス ていう。 事項 0) Ì は ジ ポ LGD及び 以下この 理 ヤ 事 会等 \mathcal{O} ヤ] EAD 款に] 及 に ル 対 担 おの

<u>_</u> 七 同 Ŀ

(信 用 IJ スク管 理 一部署

第 又 は スクを管理 百 設けなければならない 七 選 択 凣 条 実 する部署 施 及び実績に 部 格 (以 下 付 手 法 0 採 V) 信 用 て責任 用リスク管理 組 は、 を 負 内 部 部 独 格 立 付 L 制 とい 7 度 信 0 う。 用 設 IJ 計

か

2

信

用

IJ

ら機能的に独立したものとする。

3 j ŧ 信 \mathcal{O} 用 とする。 IJ ス ク 管 理 部 は 次に 掲 げ る事 項 E 0 V て責任 を

負

[一~六 略]

4 開 用リ 選 沢、 ス ク管 実 施 理 及 部 び 署 検 は、 証 に 格 積 付 極 付 的 与 に 手 参 続 画 で す 使 るも 用 す 0) る とす モ デ ル \mathcal{O}

5 び 信 監督 任 用 を IJ 負 並 ス う び ク t に 管 当 \mathcal{O} 理 とす 該 部 モ 署 る デ は ル 0 前 継 項 続 に 的 掲 げ な見 る 直 モ デ 及 ル び に 変 0 更 V に て 管 0 理

(監査)

第 口 百 EADS 以 告 付 + 書を作 制 \mathcal{O} 九 度 割 推 条 及び 合 計 成 で 値 独 す 信 そ 立 るも 該当 用 \mathcal{O} IJ 運 た 用 ス 0) する全ての 機 とする ク管理部 状 能を有 沢況を見 する内 最低要 署 直 の 管 部 理 その 件 \mathcal{O} 状 0 監 結 況 遵 査 果 守 部 PD′ 状況等 に 署 関 は、 LGD及 す る 年 監 内

格付の利用)

第 の 与 百 十条 信 重 要 審 なな役 查 格 IJ 付並 割 ス を果たすも ク 管 び にPD及びLGDは 理、 内 のとす 部 0 資本 配 賦 内 部 及 び 格 内 付 部 手 法採 統 制 に 用 お 組 合 1

2 查 計 \exists 管 値 資 スク が 本 相 指 比 違する場 針 理 に 当 算出 内 該 部 合には、 相 のために \mathcal{O} 資本 違 点及 配 内 賦及 び 使用す 1.部格付手法採用組合 その び 理 内 るPD又はLGDと与 部 由 を 記 統制 載 0) す ため るも は に 信 用 \mathcal{O} 用 信 1

2

ら機能的に独立したものでなければならない。

3 うも 信 \mathcal{O} 用 で IJ なけ ス ク れ 管 ば 玾 な 部 署 な は 次 掲 げ る事 項 12 0 1 て責任 を

[一~六 同上]

4

い開 発 信 用リ 選 択、 ス ク 管 実 施 理 及 部 署 び は、 検 証 に 格 積 付 極 付 的 与 手 に 続 参 画 で 使 な 用 け す る n ば 七 デ な 5 ル

て責任 及 び 信 用 監 督並 を IJ 負 ス わ び ク な に 管 当 け 理 れ 該 部 ば 署 モ な デ は、 5 ル な 0 前 継 項 12 続 的 掲 げ な 見 る 直 モ デ 及 ル び に 変 0 更 V に て 0 管 理

5

(監査)

第 監 内 び 口 百 EAD® 查報 部 以 七 格 上 付制 告 \mathcal{O} · 九 書を作 割 推 条 合 度 計 及 で 値 独 び 信 成 立 用 リ そ 該 な \mathcal{O} 当 た機 スク け す 運 ħ るすべ 用 能 管 ば を有 状 なら 理部署 況 ての する内 を見直 最 \mathcal{O} 管 低要 部 理 \mathcal{O} 状 件 そ 監 況 0) 0) 査 結 遵 部 果 守 火 沢 は、 LGD及 関 す 年

(格付の利用)

第 百 与信 八 十条 重 要 審 查查、 な役 格 IJ 割 付 ス を !並びにPD及びLGDは、 ク 管 果たすも 理、 内 ので 部 \mathcal{O} な 資 け 本配 れ ば 賦 内 部 及 格 び ない 内 付 部 手 法 統 採 用 に お 組 合

る 審 ク管理 推 查 自 計 己 値 資 スク が 指 本 相 針 比 管理 違 に 率 する場 当 (D) 該 算 内 相 部 出 合 違 \mathcal{O} のために使 は 資 点 及 本 内 び 配 部格付手法採用 その 賦 及 用す 理由 び 内 るPD又はLGDと与 部統制 を 記 載 組 0 合は ため な け 信 n 12 用 用 ば

(デフォルトの定義)

+掲 げ \mathcal{O} 章 (以下「デフォ に お てデフォ ルト事 ル トと 由」という。) は、 債 務 者 が に 生ず 2

更 生債 するもの 危 間 エ 利 険 れ を クス が、 息 債 債 金融 権及びこ 格 権」 権」 0 付 と査 定 六月 ポ 支 再 手 に 又] 0 払 生 法 該 は を超 ジ 日 定 れ が 採 同 当する事 「数を超 ヤーに す 5 約 施 用 うる事 条 に準 えなな 定 行 組 第 規則 日 合 兀 えな つ ずる債権 由 11 \mathcal{O} が 頃に 由が生じた場 が 範囲 翌日を 第 ては、 生ずること。 四条 債 規定する「要管理 ときは、 で信用リス 務 起 第 者 同 算 に 同 項 日 条第 項 対 合 E 除 とし に ただし す 規 で ク 管 る 規 %定する あ ものとす て 項 定 工 っても、 理 延 E す ク 債 リテ 指 滞 Ź ス 規 権 ポ 定 て 月] に す 破 元] 以ル る 金 該 記い

[二・三 略]

2

3 オ 採 ル デフォ な 用 \vdash 事 用 組 V 組 債 合 由 合 権 は が \vdash は、 解 事 消 由 LGD及 て 該 さ が 0) れ 生 債 ク た じ スポ び 務 た **EAD**& 者 認 格 めら クス ジ 付 ヤー 推 ポ を れ 付 る] 計 場 与 に ジ す 対 し 合 る £, に] てデ \mathcal{O} 先 はに 進 0 す フ 的 内 V オ 部 内 部 ル 格 卜 付 デ 付 手

 \mathcal{O} t 工 0) 内 ス 部 ポ 格 付 扱 手 うも t 法 採 用組合は て再 度 新 たに デ フ オ デ フ ル 1 オ 事 ル 1 由 事 が 生 由

がじ

ŧ

 \mathcal{O}

扱

わ

な

れ用

ば

な合

らな新

は

内

部

格

付

手

法

採

組

新た

フ

オ

ル

事

由

/フォルトの定義)

第 ることを て次 百 + 掲 げ る事 \mathcal{O} (以下「デフォ 章 に お てデフォ ルト ル 事 トと 由 _ と は、 . う。 務 者 が に 生じ 0

あって は、 定する だし、 リスク 管 三 規則 して延滞して 規 一項に規 理 定する 債 除 平 を 部 リテー \equiv 管 権 くものとす 金 格 成 破破 」に該当するものと査 定する 理 融 付 一月以上 + 指 元 機 ル 向 年金 産 金又は **,** \ 能 針 更 · る 期 「危険債 に 採 生債 延 け 融 用 記 工 滞 再 間 利 生 組 載 ークスポ 債 生委員 権 息 が \mathcal{O} 合 さ 権」に 権」又は同条第四 及びこれ 0 た が れ 百 支 8 た] 会 八十日 払が 債 該当する事 ジャー 定する事 規 一定の 務 則 5 約 者 に準ずる 第二号) 定日 を超えない範 に 日 対 0 由 数 \mathcal{O} 由 す V 項 が を超 翌 日 第 四 関 が ては に規 債権 生じること。 生 す えなな を じ 条第二 る ク 定 た場 囲 起 ス 同 法 す 上で 項 同 算 á 律 ポ 信 日 合 に 条 項 施 1 用 規た要 第

[二・三 同上]

2 [同上]

3 法い採 オ ルト デフォ 用 な 用 11 組 債 合 事 組 は、 合 権 由 工 ル は と が ト ク 当 解 事 ス 該 LGD及 て 消 ポ 由 \mathcal{O} さ] が クスポ 債 ジ れ 生 たと びEADを 務 7 じ 者] た 格] 認 に エ ・ジャー クス 付 8 つい 6 を付 推 れ ポ て 計 再 与に る 1 L 場合 度デ なけ 対し ジ てデフ フ 先 は] れ 進 才 ば ル な 内 2 1 6 内 オ 部 事 部 格 な 由 格 付 L 手 が 付 生 て法フ

5 定 \Diamond 各 第 る 号 に 日 項 数 掲 \mathcal{O} を げ 規 ごデフォ る 定 延 12 滞 か ル \mathcal{O} カン 1 月 わ 事 数 5 由 \mathcal{O} ず 長さ 0 判 内 定に用 0) 部 区 格 分 付 1 に 手 ること 応 法 じ、 採 用 が 当 組 できる。 該 合 は、

各

号

に次

項

加

える。

月 九 十月

月 百 八十

延 滞 日 数 0 見 直

第 等」という。 面 百 算 記 に 日 +載さ 関 数 契 約 す \mathcal{O} 条 れ る 内 見 た方針を有して 事 容 直 内 に 項 \mathcal{O} 部 0 更 並 格 以 V 改 び 付 て、 下こ 及 に 手 既 び 法 次に 0) 借 存 採 条に 換え *(*) の債 用 掲 る 組 げ t お \mathcal{O} 務 合 る 0 承 認 に は、 11 事 とす 関 て 項 そ す を 工 る 延 \mathcal{O} る ク 含 滞 他 返 ス む 済 日 \mathcal{O} ポ 明 数 延] \mathcal{O} 滞 \mathcal{O} 猶 確 見 日 予 t か 直 数 0 書 繰 L \mathcal{O} \mathcal{O} 第

5 五. 略

2 内 わ 部 たっ 格 付 て 手 利 法 用 採 す 用 る 組 ŧ 合 0 は す 前 る 項 12 掲 げ る 方 針 を 貫 L 7 長

3 ス 内 ク た ポ 部 クス ス エ] 格 ポ ク ジ 付 手 ポ ス ヤ ジ 1] ポ 法 t] を 採 ジ 組 用 ヤ と ヤ 合 組 L 1 0 を 合 7 内 と 内 は 取 部 同 部 ŋ 様 格 \mathcal{O} 延 扱 IJ 付 に 滞 う 取 ス 手 日 É ク 管 ŋ 法 数 \mathcal{O} 扱 \mathcal{O} 0 とす 理 適 0 見 て 用 に 直 る お 上 11 L デ る 等 V フ 場 て を デフ 合 オ 行 ル に 0 1 は オ た ル 工

座 越

第 のとする 象となる者 百 十三 \mathcal{O} 信 内 用 部 度 格 を 付 評 手 価 法 採用 す るた 組 \otimes 合 は、 \mathcal{O} 厳 格 当 座 な 基 貸 準 越 を \mathcal{O} 設 供 け 与 る \mathcal{O} ŧП 対

延 日 0 見

等」と 面 計 延 百 に 算 滞 八 に 記 日 + -載され いう。 関 数 契 す 約 \mathcal{O} る 内 見 た方針を有 事 容 直 内 に 項 \mathcal{O} 部 0 更 並 格 **(以** 11 改 び 付 て、 下こ 及 に 手 L び 既 法 次 てい \mathcal{O} 借 存 採 E 換えの 条に 0 · 掲 げ 用 な 債 組 け 務 お 合 る ħ V 承 に は、 事 認 ば て 関 項 な そ す エ を 5 \mathcal{O} る 延 ク 含 な 滞 他 返 ス む 日 \mathcal{O} 済 ポ 数 明 延 \mathcal{O}] 0 滞 猶 確 見 日 予 か t 直 数 0 書 L 繰 \mathcal{O}

<u>_</u> \ 五. 同 上

2 に 内 わ 部 たっ 格 付 7 手 利 法 用 採 用 な 組 け 合 れ は ば なら 前 項 な 12 掲 げ る 方 針 を 貫 L 7

3

ス スポ クス た ポ 内 部 エ] ポ ク ジ 格 ス ジ ヤ 付 ポ] ジ 手] ヤ] を 法 とし ジ 組 採 を ヤ 合 用 7] 内 組 \mathcal{O} 取 部 と 内 合 ŋ 部 格 同 は 扱 様 付 \mathcal{O} 延 リス に 滞 わ 手 取 な 法 日 け ク 管 数の り \mathcal{O} n 扱 適 ば 理 用 0 見 な て に 上 直 6 デ お 11 L な る 場 フ 等 オ 7 を 合 デ 行 ル 、フォ は 1 0 L た ル た 当 工 該 \vdash ク

座 越

第 象となる者 百 ばならない 十三条 0 信 内 用 部 度 格 を 付 評 手 価 法 採用 す る た 組 8 合 は、 \mathcal{O} 厳 格 当 な 座 基 貸 準 越 を \mathcal{O} 設 供 け 与. な \mathcal{O} け

推計の文多)

第 の定 て 百 目 ま \otimes 除 +らでの に き、 兀 従 ル 条 って各 に 規 事 定に 業法 対応するPD、LGD及びEADを推 部 ょ 格 務 等 りリテー 付 者 向 手 格 け 法 付に エ 採 -ル 向 クスポ 用 対 組 応するPD け 合 エ] は、 クス ジ ヤ 別 ポ] 段 に 1 計 ジ 定 9 す 三目 るも V ヤ 8 て 0 0) に か 第 あ 5 三 る 0 す V 第 目 場 第

2 ポ 先 第] 進 六月 ・ジャー 先 的 進 内 0) 的 部 につい 規 内 格 定 部 付 に 格 手 ょ て 付 法 · 第 四 ŋ 手 採 EADを 法 用 目 を 組 及び 適用 合 推 は、 第 計 で 五. す きる事 别 くる も 目の 段 \mathcal{O} 規 \mathcal{O} 業 定 定により と 法 8 す \mathcal{O} 等 あ る場 向 LGD並 け エ 合 ク を

2

/フォルトの定義の参照)

第 百 び外部デー 一合は、
 0 推 発 生 内 五. 計 部 条 を行う デフォ を 格 タを用 記 付 内 録 手 部 ル 法 格 0 11 \vdash 0 付 とする。 事由 PD並 ることができる。 対象となる資産 手 法採用 と異なる定義 び ただ に 組 (関連が し、 合 は、 区 次に掲げ デ に 分ごとに あ フ 基づく内 れ オ ば) LGD及びE る要件を満た ル ごデフォ 1 部 事 デー 由 ル に タ \vdash 基

一·二 略

(推計の共通要件)

及 十六 す び外 る タ に 情 部 報及 Tたり、 デー 基 内 部 び く推 格 手法 (プー 推 付 計 計 手 法 値 に ルされたデータを含む。)の利 が 関 採 ·長期的 用組合は、 連 るものとする。 す る全て な実績を表 PD'0) 重要 LGD及びEADを ただし、 かつ入 7 . る場 手 内 用 . 部 デ 可 たは、 合 能

推計の対象)

らない。 て各 六 百 目 定 を除 八 ま プ \emptyset +き、 での に . 四 従 ル 条 規 って各 に対応するPD、LGD及びEADを推 事 業法 定によ 部 債務 人等 格 りリ 付 者 向 丰 テー 格 け 法 付 工 採 クスポ ル に 用 向 対 組 応するPD け 合 工] は、 クス ジ ヤ 別 ポ] 1 に 計 ジ 0 定 L ヤ 1 な 目 て け 第 あ れ に 5 ば 0 る 第 目

第 五 計 除 き、 先進 L な 目 け \mathcal{O} 事 的 業 規 れ 内 定に ば 法 部 な 格 6 よりLGD並 等 付 ない。 向 手 け 法 工 採 ク 用 び ス 組 に ポ 合 は、 第 六 ジ 目 ヤ 别 0)] 段 規 に \mathcal{O} 定 0 定 に 8 より て 0 第 あ **EAD**& 匹 る 目 場 及 合 び

(デフォルトの定義の参照)

第 $AD \mathcal{O}$ を満 データ及び外部デ 事 づ 百 き、 由 たす場合は、 +0) 推 内 発生を 五 計 部 条 を行わ 格 記 付 内 部 な] デ 法 格 け タを用 フォルト 0 付 ればならない。 PD並 対象と 手 法 採用 いることができる。 び なる資 事由 に 組 (関 と異なる定義 合 産区 ただし、 は、 連が デ 分ごとに あ フ れ 次に ば 才 ル 基づ LGD及 掲げる要 デ 1 フ オ 由 ル び 部

[一·二 同上]

(推計の共通要件)

第 利 内 能 推 百 なデ 計 用 部 は デ す] る 六 タ に 条 当 及 当 該 情 び た 内 り、 外 報 部 部 及 タ 格 び手 に デ 推 付] 計 手法 基 タ 法 づ に を 用 プー く推 関 採 用 連 す 計 組合は、 ルされたデータを含む。) なけ うるすべ 値 が ればなら 長期 て 的 \mathcal{O} 重要か LGD 及び な実績 つ入手 ただ EAD

に限る。

- 2 場 期 内 合に 間 部 中 格 は に 付 お 当 法 7 採 信 用 用 組 を 供 合 考 与 は 慮 実 に 務 格 入 及 付 U 0 るも 口 付 収 与 \mathcal{O} \mathcal{O} 及 手 び す 続] に 変 ル 更 0) 評 が あ 価 対 0
- 3 他 てそれ 0) 内 情 部 報 格 えらを を 付 利 手 |用す 勘 法 案するも 採 るこ 用 組 とが 合 は 可 す 能 技 る に 術 的れ な ŋ 進 次 歩 第 及 速や び 新 カゝ 規 に デ Ì 推 計 タ そ に お \mathcal{O}
- 4 部 格 付手法 LGD及びEADを推 1採用組 合 は 計 実績 するも 値 及 0) び とす 実 証 的 な 根 拠 に 基 づ
- 5 GD及 部 び 格 EADS 付 推 採 計 用組 値 を 合 見 は、 直 す Ł 年 \mathcal{O} に す 口 Ś 以 上 \mathcal{O} 頻 度 でPD、 \Box

ハータの抽出に関する要件)

及ポ る ポ 百 Ł び ジ そ 0 ジ とす ヤ ヤ \mathcal{O}] 他 条 全 \mathcal{O} 0 体 重 母 推 \mathcal{O} 要 集 計 そ な 寸 に 特 れ 用 と 性 デ V るデ] ほ は ぼ タ 内 部 が 同 1 抽 様 タ 格 に で 出 あ 付 さ ょ る 手 れ 0 法 カゝ た て 時 採 代 少 用 \mathcal{O} 表 な 組 信 さ くと 合 用 れ 供 \mathcal{O} る Ł エ 与 工 ク 基 ク 類 準 ス ス す

- 2 ŧ 在 \mathcal{O} 及 デ とする。 ĺ び 予見 タ \mathcal{O} 可 前 能 提 な لح な 将 来 0 7 0) 経 V る経 済 的 条 済 件 的 又 条 は 件 市 又 場 は 環 市 境 場 環 に 境 対 応 は L た現
- 3 格 手 \mathcal{O} 出 法 期間 標 採 本 用 は中 組 0 合 当 工 が 該 ク 信 推 ス 頼 計 ポ す が] る 正 ジ に 確 t 足 カコ 1 ŋ 0 \mathcal{O} る 頑 数 程 健 及 度 な び とする。 ŧ 定 0) 量 で 化 に あ 用 る لح V 内 る デ 部
- 4 良 好 計 な に 成 用 績 を る 収 手 8 法 た は \mathcal{O} 抽 と 出 す 標 る 本 以 外 0 デ タ íz よる テ ス

1

いる場合に限る。

- 2 象 た 場 期 内 合 間 部 は 中 格 に 付 当 お 丰 V 法 て 更 信 用 を 用 組 供 合 慮 与 は に 実 入 務 格 れ 及 付 な びの け 口 付 れ 収 与 ば \mathcal{O} 及 な 手 び 続 ブ な に] 変 ル 更 \mathcal{O} 評 が あ 価 対 0
- 他 11 てそれ \mathcal{O} 内 情 部 報 格 らを を 付 利 手 勘 用することが 法 案し 採 用 な 組 け 合 れ は ば 可 能に な 技 5 術 な なり 的 進 歩 次 第 及 速や び 新 か 規 に デ 推 Ì 計 タ そ に お \mathcal{O}

3

- 4 てPD′ 内 | 部格 付手法採 LGD及びEADを推 用組 合 は 計 実 しなけ 績 値 及び れ ば 実 ななら 証 的 な な 根 拠 に 基 づ
- GD及 内 部 び 格 $EAD \otimes$ 付 手 法採 推 計 用組 値 を 合 見 は、 直 さ な 年 け に れ ば 口 な 以 6 上 な 頻 度

5

(データの抽出に関する要件)

第 ポ る 及 ポ 百 び Ł 1 八 0 ジ そ ジ で ヤ 0) ヤ 七 なけ Ì 他 1 条 全 \mathcal{O} \mathcal{O} れ 体 重 母 推 要 ば 集 \mathcal{O} 計 ならな そ な 寸 に 特 れ 用 とほ デー 性 V る は デ タ ぼ ĺ 同 内 が 部 抽 様 タ に 格 出 で あ 付 さ ょ る 手 れ 0 カュ 法 た て 採 時 代 少 用 \mathcal{O} 表 な 組 信 さ < 合 用 れ لح 供 \mathcal{O} Ł 与 エ ク 類 基 ク す ス 潍 ス

- 2 Ł 在 デー \mathcal{O} 及 で び な 予 タ け 見 \mathcal{O} れ 可 前 ば 能 提 な将 な とな な つて 来 0) 経 1 済 る 経 的 条 済 件 的 又 条件 は 市 又 場 は 環 市 境 場 に 環 対 境 応 は L た現
- 3 い格 タ 抽 手 \mathcal{O} 出 期 法 標 間 本 中 用 は 組 \mathcal{O} 合 当 工 が 該 ク 推 ス 信 ポ 計 頼 す が 1 る 正 ジ に 確 t 足 カコ 1 ŋ 0 \mathcal{O} る 頑 数 程 健 及 度 な び ŧ 定 で な \mathcal{O} 量 け で 化 あ に れ 用 ば る لح な V 内 る 部 デ
- 良 推 好 計 な に 成 用 績 11 を る 収 手 8 法 た は \mathcal{O} 抽 で 出 な 標 け 本 れ 以 ば 外 ならな 0 デ タ に ょ る テ ス

応じた保 守 的 な 修 正

第 百 が 修 生 + 正 ず ること す 条 る Ł 部 格 慮 付 $\sim PD'$ 法 採 用 LGD及び 組 合 は、 EAD 予 測 0 さ 推 れ る推 計 値 を 計 保 に 守 誤

事 法 人 等 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ] \mathcal{O}

第

計 る 百 法 又 は 八 を 一 採 は 行 \mathcal{O} 間 + これ わ لح 用 \mathcal{O} 九 デ 以 な 組 条 フ 上 合 に V は 類す 用 ŧ 工 オ 内 ク ル \mathcal{O} いく 部 るも る \vdash 債 格 ポ 確 そ 務 付] 率 0) る 者 \mathcal{O} 手 とする。 ジ \mathcal{O} 0 他 法 平 数に 採用 ヤ 0) 1 均 長 0 に 基 期 組 こ の 額 ょ 合 づ \mathcal{O} ŋ \mathcal{O} < 経 は、 場 加 単 験 合に 重 各 に 次 純 平 格 平 合 0) な 均 付 各 均 致 に \mathcal{O} 号に で L 7 PDを ょ 計 た るPD 情 算さ 掲 内 推 部 報 げ 計 れ 格 及 る \mathcal{O} 推すた 付 び 手 第

5

- 2 には、 \mathcal{O} 内 関 債 部 務者 次 す 格 に掲 る内 付手法 格 げ 付 部 る要件 \mathcal{O} デ 採 PDを推 用 組 タ を カュ 合 満 5 は 計 たす PDを推 するに当 事 Ł 業法 0 とする 計 たっ 人 する 等 て、 向 手 け 法 デ 工 を フ ク 用 オ ス ポ 11 ル る 1 1 場の ジ 合 実 t
- 成 記 内 時 部 す 0) 格 る 内 信 付 £ 部 手 用 法 \mathcal{O} 格 IJ 付 ス 採 ク 制 用 る管 組 度 及 理 合 び 指 は 針 現 に当該 在信 \mathcal{O} 用 内 供 部 反 与 格 映 \mathcal{O} 付 方 基 制 法 準 に 度 並 関 \mathcal{O} び す 相 に る 違 デ 分 点] 析 をタ
- る 部 場合 格 場 付 合 又は 手 に 法 は 信 採 用 用 PD 供 組 与 合 \mathcal{O} \mathcal{O} は 推 基 計 準 入 を 保 若 手 可 L 守 \langle 的 能 は な に 内 デ 修 部 1 正 す 格 タ る 付 が 限 ŧ 制 \mathcal{O} 度 定 とす が さ 変 れ

推 応じた保 守 的 な 正

第

的差 百 が八 に 修 生 +ľ 正 八 ること L 条 な け 内 を れ 部 考 ば 格 慮 な 付 5 手 てPD、 ない 法 採 用 LGD及びEAD 組 合 は 予 測 0 さ 推 れ る 計 推 を 計 保 に

守

事 業 法 人 向 け エ ク ス ポ ジ ヤ

手 法 百 又 は 法 八 を + これ 九 以 条 上 に 用 類するそ 内 1 部 な 格 け 付 \mathcal{O} れ 手 ば 他 法 採用 な \mathcal{O} 6 長 期 組 \mathcal{O} 合 は、 経 験 次 に 合 0) 各 致 号 12 た 情 掲 報 げ 及 る

5 \equiv 上

- 2 は積 に \mathcal{O} 内 次 関 債 部 に 務 す 格 掲げる 者格 る 付 内 手 同 付法 部 要 のPDを推 採 デ 件 用 を 組 タ 満 カュ 合 たさなけ 5 は 計 PDを推 するに当 事 れ 法 ば 計 ったっ ならな する 等 て、 向 手 け 法 デ 工 を フ ク 用 オ ス ポ \vdash る \mathcal{O} 場 ジ 合 実
- を 生 反 映 成 記 内 時 載 部 格付手 L \mathcal{O} 内部 な 信 け 用 法 れ 格 IJ 採 付 ば ス な 制 用 管 度 組 及 理 合 指 び は 針 現 在信 当 の用供 該 供 反 部 与 格の 映 方 付 基 制 法 準 に 度 並 関 \mathcal{O} び す 相 に る 違 デ 点 分 1 析 をタ
- 部 た場 一会では 付 合 手 は 法 信 採 用 用 供 組 0) 与 合 推 \mathcal{O} は 計 基 を 準若 入 保 手 守 可 的 < 能 に は 修 な 内 デ 正 部 1 な 格 タ け 付 が 制 限 れ ば 度 定 が な さ 変

- 金 組 内 を \mathcal{O} 合 関 使 \mathcal{O} 内 \mathcal{O} 用 付 内 部 す 丰 格 部 法 付 格 採 合 制 付 用 制 度 組 度 及 は 合 び 及 が 基 びプ 複 準] 基 と 準ル \mathcal{O} 著 がに 金 デ L 融] 当 < 機 タ 乖 該 関 内 を 離 で す 部 提 ブ る 格 供] 付 す ŧ ル る \mathcal{O} 手 L で 法 他 た な採 \mathcal{O}
- 3 る 0) 内 場 債 部 務者格 合に 格 付 は 手 付 法 次に掲 採 PDを推 用 組 げ 合 る要件 は 計 す 事 るに当 を 業 満たす 法 人 た 等 0 ŧ て、 向 \mathcal{O} け とす 工 7 ク ツ ピ ス ポ グ 1 を ジ 用 ヤ

3

[一~四略]

- タ 部 0 PDを を 部 格 以 付 上 手 計 利 法 用 部 採 る す 用 に る 当 組 タ た 合 \mathcal{O} 又 は 0 て、 は す 複 事 数 五. 業 \mathcal{O} 法 年 金以 人 融 上 機 \mathcal{O} 向 関 観 け で 測 エ プ ク 期 間 ス ポ ル に L わ た た ジ デ る t
- 5 度及 び する 不 7 格 景 最 付 気 に Ł 手 に 当 た カ 長 法 当 採 限 たる 0 用 当 て 測 組 該 関連 で 年 期 デー 合 な 度 間 は を含 性 が わ前 に 8 低 た項 は るもの 1 る に 代 デ 掲 Ł 表 1 \mathcal{O} 的 げ とす 又 タ な る は を デ 好 る 重 景 そ] 要 \mathcal{O} タ 気 ただし、 で に当 対 \mathcal{O} な 象 利 た に 用 ŧ る 含 に 年 8 当

(リテール向けエクスポージャーのPD等)

第

百 るも 及 ル + に び 条 推 とす 内 割 計 ŋ 内 部 す る デ 内 部 る 1 部 格 て ただ · 当 た る 格 タ 付 基 付 \mathcal{O} 手 法 準 手 構 0 成 لح 法 7 採 全て لح 外 採 用 外 部 用 組 内 \mathcal{O} 合は 組 部 \mathcal{O} 部 関 \mathcal{O} デ 合 デ 連 デ が] す プ] タ エ タ る 提 ク タ を 重 ル \mathcal{O} 供 ス 一要 0 構 者 ポ 次 な PD′] 的 成 が 用 ジ な 1 間 t 情 11 タ 7 1 報 を ソ 源 及 1 る] 各 لح び 強

- 組 融 は Þ 内 を な \mathcal{O} 関 部 5 内 使 \mathcal{O} な 部 内 用 付 格 部 す 手 付 格 付 場 制 採 度 制合 用 及 度 は 組 及 び 合 基 び プ が 準 基] 複 غ 準 ル 著 がに 0 デ L 金 < 当] 該 タ 乖 機 離 内を 関 す 部 提 で る 格供 t 付 す] る 手 0 ル 法 で 他 L 採 あ \mathcal{O} た 用 金 0
- 11 る場 \mathcal{O} 内 債 部 合 務 格 は、 者格 付 手 次に 付 法 0 採 · 掲 げ PDを 用 組 る要 推計 合 は 件を満た す るに 事 業 法 当 さな 人 た 等 0 け て、 向 れ け ば 工 な ク ら 己 ス な ポ ゲ 1 ジ を 用

一~四 同上

- 4 外 1 タを 部 \mathcal{O} PDを 部格] 以上 付 推 手 計 内 法 す 用 部 採 る デ 用 に な 1 組 当 け タ た 合 れ 又 は 0 って、 は な 複 事 5 数五 業 の年 法 金 以 人 融 上 機 \mathcal{O} 向 関 観 け 測 工 プ 期 ク 間 ス に ポ ル わ L 1 ジ た た る デ
- 5 な が た け 低 0 内 11 れ 部 Ł ば 格 なら 0 最 付 又 は ŧ 手 法利 な 長 重 11 採 要 観 用 ただ で 測 組 な 期 合 Ļ 11 間 は Ł に PDを推計 のに わた 前 項 っつい る に デ 掲 ては、 1 げ す タ る るに当 を デ そ 1 0 た \mathcal{O} タ 限 対 \mathcal{O} ŋ て 利 で 関 に 用 連 含 に \otimes

(リテール向けエクスポージャーのPD等

第

百 な を 九 ソ | け る + 基 n 推 条 ス 進 ば 計 に なら 及 ル 内 す 照 に び 部 る 5 割 内 に 格 部 ŋ 当 付 V 当 た 手 デ 内 法 7 部 た 0 る て、 だ 採 タ 格 基 用 \mathcal{O} L 付 構 準 内 組 手 合は、 と外 成 法 す 部 べて 採用 と デ 外 部] プ 部 0 \mathcal{O} 組 タ 1 関 デ を \mathcal{O} 合 ル デ] 連 す タ 次 タ 提 ク る 的 供 ス 重 \mathcal{O} な 者 ポ 要 な 成 が Ì 報 用 ジ 源 デ 0 間い t

タ 関 又 連 は 性 七 が デ あ ル る を推っ 場 合に 計 に は、 用 内 V 部 ることが 格 付 手 法 できる。 採 用 組 は 外 部 \mathcal{O} デ

2 内 期 部 平 す 格 均 P D を ŧ 付 採 推 用 計 組 するに 合 は 当たって、 IJ テ] ル 向 次 け に 撂 エ ク げ ス る 要 ポ 件 1 ジ 0 t 全 7

2

複 五 数 年 0) 以 金 上 融 \mathcal{O} 機 観 関 測 で 期 間 ブ] 12 わ ル たる外 L た デ] 部 タ デ 1 を タ、 以 内 上 利 部 用 デ] す るこ タ 又

0 一年 前号 当たる年 ポ 間 1 に フ \mathcal{O} 規 デフォ 度 定 及び IJ する オ 不景気に当 ル に デ \vdash 関] 確率 連 タ す に る景 0) は 平 たる年度 均 気 当 に 循 該 基 環 内 を含むも づ 期 部 \mathcal{O} 格 代 付 表 手 0 的 法 とす な 採 好 用 る。 景 組 気 合

3 で 間 内 とする 0) が あ 部 デー 低 タの 0 格 て、 付 タと 手法 利 関 用 測 連 同 0) 期 に 採 <u>等</u>に 場合 性のあるものに 間 用 たっ 0 組 扱うことを デー に 合 おい て、 は タに て、 最 前 つい ŧ 項 つい 要しな PDを推計 第 長 ては、 て 観 号 は、 測 及 関 そ び 期 す 間 連 る \mathcal{O} 第 対 に 性 当 た 号 象 \mathcal{O} わ たる 高 に 12 つて 含 規 観 め デ 定 測 関 る 1 す

4 正 PD及 加 区 部 えるも 分に 格 U 付 応じ 手 0 法 採 推 用 該各 計 組 合 る 号 は に 当 定 IJ た \emptyset テ 0 る影響] て ル 向 次 を け \mathcal{O} 考 エ 各 慮 ク 号 ス ポ 保 掲 守] げ ジ 的 る 推 ヤ な 修 計]

権 係 る 付 が 行 わ れ た 時 点 又 は 取 引 を 開 始

た 時 LGD 点 カゝ 0 経 オ 過 ル 年 1 数 が \mathcal{O} 発 影響 生 L た 時 点 か 6 \mathcal{O} 経 過 年 数 0 影 響

> に、 \mathcal{O} デ 強 タ 関 又 連 は 性 七 が デ あ ル る を 場 推 合は、 計 に 用 内 い ることが 付 手 できる。 採 用 組 は、 外

わ \mathcal{O} したデ 長 た 内 る 期 部] 外 平 格 均 P D を タを一 部 付 手 デ 以 採 上 用 計 利 組 す 用 合 部 るに当 は、 デ な け ったっ IJ タ ħ 又 テ ば て、 は] ならな 複 向 Ŧī. \mathcal{O} 年 け 金 ク 融 機 ス 関 覾 ポ 測 ジ フ 期 間 t

号 を加える。

号 を 加 え る。

号

を

加

える。

3 場合に 間 あ 等 た るも って、 のデ に扱うことを 内 部 おい] \mathcal{O} 格 最も長 いについ タに 付 て、 手法採 について \ \ 要しな PDを推計するに当たって関連 ては、その対象に含め 観測 用 は、 組 期間 合 関 は に 連 しわたる 性 前 \mathcal{O} 項 高 に デ V) 掲] な 観 げ け タ るデ 測 で れ 期 ば あ 間 性] ならな 0 0) が タ て、 デ 低 0) 1 関 タ 用 لح 測 性 に 同 期

4 ならな で に 合 あ 0 内 は 部 0 1 7 7 格 付 PDが 短 手 0 法採 期 推計 的 信 用 値 用 組 を上 供 \bar{O} 与 合 方 推 は \mathcal{O} に 計 時 IJ 修 値 期 テ 正 を 又 することを検討 用] は ル 経 るこ 向 過 期 け 間 工 が 12 ク 不 ス 依 存 ポ 適 切 な] す ジ け る ŧ れ t

号 を加える。

号 を 加 Ż る。

(損失の定義)

第 たり、 百 九 + 次 以に掲 条 げ る要件 部 格 付 手法 \mathcal{O} 全てを 採 休用 組合 満 たすも は、 LGDを推 0 とする 計 す る に 当

「一·二 略]

裏付 収 ていること。 当該 0) けが十分でない場合には 能 内 部格 力 に 基づくLGDの 付 た 手 にだし、 法 採 用 口 組 収 合 率に 調 \mathcal{O} 整 及ぼ 口 内 を 収 保守 部格付手法採用組 に す 影響 関 的 する に に 行 能 つ う 1 力 ŧ が て 勘 0 実 合は、 証的 案さ す

(LGDの推計)

第 するものとす たっては、LGDが 九 十二条 案し たもの لح 部 次に な 格 るように、 付 掲 手 げ 法 る性 採用 工 質 組 クスポー 合 は、 てを満れ LGDを] ジャ た] す 推 ・ごとに 景気後 計 す る 推 退 に 計期 当

ものでないこと。 た おいて「長 て計 全てのデフォ 当 該 算 エクス した長 期平 ポ 均 期平 ルト] デフ ジ 均 債 ヤ オ デ 権 1 ルト フ に 0) オ 伴う平均 種 時 ルト 類 損 0 失率」という。 時 デ 的 損 1 な経 失 タ 率 済的 ソ 以] 下この 損 ス を下 失に 内 で 項に 基づ 口 生 る

一

2 な ス ヘクと担 0 部 相 関 付 手法 が 保 又は あ る 採 場 担 用 合 保 組 に 提 合 は は、 供 者 保守 LGDS 0 ij 的 ス に クの 推 取 計 ŋ に当 相 扱うも 関を た り、 0 慮 とす 債 務 顕 者 著 \mathcal{O}

3 内 部 格 付 手 法 採 用 組 合 は 原 債 務 と担 保 と 0) 表 示 通 貨 が 異

(損失の定義)

第 たり、 百 九 + 次 一条 に掲 げ 内 る 部 す 格 付 7 手 0 法 要 採 件 用 を 組 合は、 満 たさ な LGDを推 け ħ ば な す っるに

[一・二 同上]

収の能 れていること。 な裏付けが十分でない 力に 内 部 ·基づくLGDの調 格 付 ただし、 手 法 採 場合は、 口 用 収率 組 合 整を保守的 \mathcal{O} に 内 . 及 ぼ 口 . 部格 収 に す 付 に 影 関 手法採 行 響 す わ に る な 0 能 用 け 力 V 組 て実 が れ 合 勘 ば は 証 案 口 的

(LGDの推計)

第 しなけ を勘案 たっては、LGDが 百 九十二条 れ L ば たも なら 内 \mathcal{O} な となるように、 部 次に掲 格 付 手法 げ る性 採 用 工 組 質 一クスポー 合 は、 LGD] て 満 ジ ヤー た を す 推 ごとに 景 計 気 す 後 る 退 推 12 期

るものでないこと。 づいて計 た において「長 すべてのデフォル 当該 エ 算 クス たした長期 期 ポー 平 均 ジ デ 平 \vdash t フ 均 債] オ 権 デ \mathcal{O} ルト フ に 種 伴う平 オ 類 時 ルト 0 損失率」という。 デ 時 均 1 的 損 タ な経 失 率 ソ 済] **(**以 的 ス 下この 損 内 を 失に で 下 生 回項基

一[同上

2 い 。 正 リスクと担 内 0 部 相 格 関 付 保 手法 が 又 あ は る 採 場 担 用 合 保 組 提供 合 は は、 保 者 守 0) **LGD** S 的 IJ に ス 推 ク 取 \mathcal{O} ŋ 計 扱 相 に じ 当 た わ 関 を な り、 け 考 ħ 慮 ば 債 なら 務 者 顕 著

3

る な ŧ る \mathcal{O} 場 とす 合に は LGD 0 推 計に当た , り、 ے れ を 保 守 的 12 考 慮 す

4 す る 7 内 ŧ 推 部 定さ \mathcal{O} 格 付 す れ 手 る市採 場 用 価 組 値 合 \mathcal{O} は 4 **LGD** S から ず、 推 口 計 収 に 0 当 実 た り、 績 値 を 担 基 保 礎 に لح 0

4

- 5 要とな ŧ る 信 0 内 とす 法 用 部 る基 的 IJ 格 á ス 確 付 準 実 ク 手 لح 削 性 法 Ł 及 減 採 お 効 び 用 お IJ 果 組 を ス む 合 ね合 勘 ク は 管 案する場 $LGD \mathcal{E}$ 理手 致するような、 続 合に に 推 関 計 す は に る 当 担 内 標 た 保管 部 準 り、 的 基 理 準 手 担 を 運 法 保 用 作 で に 必 る 手 ょ 5
- 6 る条 を 推 に 内 定 7 0 部 当 V 8 格 て るLGD る 付 手 ŧ は ク \mathcal{O} 法 ス 経 採 \mathcal{O} ポ す 済 自 用 る。 状 組 組 ジ 合 況 合 ただ ヤ 推 及 は び 計 に 当 デ 値 生 該 フ \mathcal{O} 第 ľ オ 工 下 百 得 ク 限 ル る ス 1 を 期 ポ し 下 待 た 口 条 損 ジ 6 及 失 ヤ ク な び ス 1 11 第 $(EL_{default})$ ポ \mathcal{O} Ł 百 0 状 1 態 ジ 九 に t

事 観 測 業 法 期 間 人 等 向 け 工 ク ス ポ] ジ ヤ] 0 LGD推 計 に 係る 最 低 所

- 第 を 付 百 以 推 タ 手 九 上 計 法 + する 利 内 を 用 部 適 条 す に デ 用 当 る で 先 Ł た タ き 進 \mathcal{O} 0 る 又 的 て、 と は 事 内 す 業 複 部 る 法 数 七 格 年 \mathcal{O} 付 以 等 金 手 融 上 向 法 \mathcal{O} け 機 採 関 観 工 用 測 ク で 組 プ 期 ス 合 ポ] 間 は ル に L ジ 先 わ たる ヤ た 進 デ] 的 外 \mathcal{O} 内 LGD タ 部 部 を デ 格
- 2 た るデ 進 タ 的 を] 内 利 タ 部 用 が 格 す 複 付 数 る 手 ŧ 法 あ る \mathcal{O} 採 と 場 用 する 合に 組 合 は は た だ 最 前 Ł 項 長 に **LGD**を 定 観 8 測 る 推 期 観 間 測 計 す に 期 わ 間 る にた に

けなる れ ば 場 なら 合 は、 な LGD & 推 計 に 当た り、 れ を 保 守 的 考 慮 L な

- L 11 な て 内 け 推 部 格 れ 定 さ ば 付 手 な n 法 5 る 市 な 採 場 用 価 組 合 値 \mathcal{O} は 4 $LGD \mathcal{E}$ ならず、 推 口 計 収 に 当 \mathcal{O} 実 た り、 績 値 を 担 基 保 礎 に لح 0
- なくて とな る 信 内 法 る 用 部 は 的 基 IJ 格 準 なら ス 確 付 実 と ク 手 な 削 性 ŧ 法 及 減 お 採 び お 効 用 IJ む 果 組 を ス ね 合 . 合 ク 勘 は、 管 致 案 水する場 $LGD \mathcal{E}$ 理 するような、 手 続 に 合 推 関 は 計 す に 担 標 当 る 準 内 保 た り、 部 管 的 基 理 手 準 法 担 を で 保 運 作 用 必 に 手 要 ょ
- 6 を 鑑 1 推 み に 内 て 計 0 部 当 V 格 7 該 な 付 は、 手 け 法採 ク れ ス ば 経 ポ な 済 用 5 状 組 ジ な 況 合 ヤ 及 は 1 び に 当 デ 生 該 フ ľ オ 工 う ク ル る期 ス 1 ポ L 待 1 た 損 ジ 工 失 ヤ ク 1 ス (ELdefault) ポ \mathcal{O} 状] ジ 態 に Y

事 観 測 業 法 期 間 人 等 向 け 工 ク ス ポ] ジ ヤ] 0 LGD 推 計 に 係 る 最 低 所

- 第 機 \mathcal{O} け 百 関 観 工 九 十三 で 測 ク プ 期 ス 間 1 ポ 条 ル に 1 L わ ジ 先 たデ たる ヤ 進 1 的] 外 \mathcal{O} 内 タ LGDを 部 部 を 一 デー 格 付 以 タ 推 手 上 計 法 利 内 採 す 用 Ś 部 用 L デ に 組 な 1 当 合 け た タ は n 又 0 ば て は 事 な 複 業 5 法 数 七 \mathcal{O} 年 人 以 等 金 上 向
- 2 デ わ た 先 タ る 進 を デ 的 1 利 内 用 タ 部 が 格 な 複 付 け 数 手 れ あ 法 ば る 採 な 場 用 ら 合 組 な は 合 は 最 ただ Ł 前 長 項 に 観 定 LGD 測 8 期 る を 間 観 推 に 測 計 わ 期 た す 間 る る に

7 関 連 性 が 低 11 Ł 0 に 0 い 7 は、 0 限 で

測 期 テ 間 1 ル 向 け 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ 1 \mathcal{O} LGÙ 推 計 12 係 る 最 低 所 要

第

第 にポ 百 わ L 九 たる ジ た デ ヤ 兀 ĺ] 外 条 タ 部 \mathcal{O} を 一 **LGD** & デ 内 部 以 タ、 格 上 推 付 利 内 計 手 用 部 す 法 す Ś デ 採 Ź 用 に タ 当 組 0 た 又 合 とす は り、 は 複 る 数 五. IJ 年 テ 0) 金 以 1 融 上 ル 機 \mathcal{O} 向 関 観 け で 測 工 期 ク プ 間 ス

保 証 に ょ る 信 用 IJ ス ク 削 減 効 果 0 勘

第 ポ て 付 百 手 九 調 ジ \mathcal{O} 内 証 法 + 整 PD又 ヤ を信 部 を 五. 後] 適 条 \mathcal{O} 用 に 付 用 はLGD IJ IJ 適 先 ス 用 法 ス き 進 ク・ウ さ ク を る 的 0 削 事 れ 適 内 る 業 用 減 部 エ ず IJ 手 法 格 れか イ きる事 ス 法 付 1 ク・ とし 等 手 は を 保 向 法 調整す ウ て け 採 証 法 用 工 人に 工 用 人等 ク イ 11 組 ることが . 対 す 1 る ス 合 を 向 場ポ は 下 る け 合 口 直 工 ジ 先 で は 5 きる。 進 ク ヤ 接 な ス 的 \mathcal{O} ポ 1 工 当 に 内 クス ただ] 該 0 部 Ł ジ 先い 格 \mathcal{O} 第

2 当 に を 0 内 調 ス 1 IJ 11 部 テー て保 整 は 格 すること 付 ウ 証 証 手 エ を 向 法 に イ 信 け 採 1 が 対 用 用 を で す IJ 組 ク きる。 る 下 ス ス 合 ノク・ 口 直 ポ は 5 削 接] ただ な 減 IJ \mathcal{O} ジ 1 エ 手 テ t Ĺ ŧ ク 法]] とし \mathcal{O} ス ル 当 \mathcal{O} とす ポ PD又 向 該 て け 調 用 ジ 整 エ はLGD ヤ ク 後 る ス 1 \mathcal{O} 場 ポ に IJ 合に \mathcal{O} 適 1 ス ジ 用 V ク さ ず は t ウ れ n

3 れ れ 部 格 ず 付 れ 手 か 法 採 を 用 選 組 択 合 は 継 前 続 的 項 0 用 調 1 整 る 方 ŧ 法 0 に 0 す 7 そ

> 当 た 0 7 関 連 性 が 低 1 ŧ 0 に 0 11 7 は、 0) で

に

ij 測 期 テ 間 1 ル 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ 0 LGD 推 計 に 係 る 最 低 所

にポ ル 百 わ L 1 九 たる た ジ + デ ヤ 兀 1 1 外 条 タ 部 \mathcal{O} を LGDを デ 内] 部 以 タ、 格 上 推 付 利 内 計 手 用 部 す 法 L デ Ź 採 な に 用 け タ 当 組 れ 又 た 合 *、*こり、 ば は は な 複 5 数 IJ Ŧī. な 0) 年 テ 金 以 1 融 上 ル 機 \mathcal{O} 向 関 覾 け 測 で 工 期 ク 間 ス

保 証 に ょ る 信 用 IJ ス ク 削 減 効 果 \mathcal{O} 勘

<u>二</u> 十 ク 保 又 T け 百 用 は 証 工 九 LGD ウ 人に 九 11 ク + 条に エ る ス 五. イト 場 . 対 す ポ \mathcal{O} 条 規 合 1 1 を下 定 は ジ る ず 先 す 進 れ 直 んる場 当 口 的 カコ 接 って 該 に 内 を 0 合を 事 部 調 0 工 は 業 整 格 ク 法 ならな 除 て す 付 ス 人等 き Ś 保 手 ポ ことが 法 証 調整] 向 採 を ジ け 信 用 後 ヤ エ 用 組 できる。 0) IJ 合 IJ スポ に ス は ス 適 ク ク • 用 た 削 事 ジ さ ウ だ 減 業 ヤ れ 法 手 エ L る 法 イ 人 \mathcal{O} IJ \vdash 等 第 لح PD 百 ス は

2 接 合 を 該 7 調 \mathcal{O} を IJ 0 内 テ は 工 除 整 7) 部 1 な ク き す て 格 保 ること 6 ス 付 ル 当 な ポ 証 向 手 該 を信] け 法 調 が ジ 採 工 整 でき 用 ヤ ク 用 後 1 IJ 組 ス 0) る。 ス に ポ 合 IJ ク は、 適 ス た 用 削 3 **ク** だ さ 減 IJ t れ 手 テ ウ] るリ 法] エ 第 \mathcal{O} とし PD又 ル イ 百 ス 向 \vdash て ク + け は は 用 保 工 九 ク ウ 証 条 エ 人 る ス 1 に 規 \mathcal{O} 場 ポ 対 定 合] 1 ず す す を は ジ る 下 る れ t 場 直 か 当

3 れ ぞ 内 れ 部 格 ず 付 手法 n か 採 を 用 選 組 択 合 は 継 前 続 的 項 に 0 用 調 整 な 方 け 法 れ に ば て、

4 定 由 す との る上で、 部 格 相 付 関 手 関 債 係 務 採 が者 用 不の 組 デフ 完 合 全 は で 才 あ ル \vdash る 制 ことを 事 上 由 0 と 最 保 低 想 定 証所 人 て信 \mathcal{O} 自 デ 己 フ 資 用 オ 本 ス ル を ク 1 算

効

果を

勘

案し

な

V

Ł

0

とす

(保証人に対する債務者格付等の付与)

第 スポ る場 百 九 合に] 7 +・ジャ 先進 六 は、 条 的 次に に 内 先 0 部 進 . 掲 げ V 的 格 て 付 内 保 る 手 部 要 証 法 格 件を 証を信用 を適用 付手法 満 た 採用 IJ で す ハスク削 きる事 Ł 組 \mathcal{O} 合 とする。 は、 減 業 手法 法 前 とし 等 条 第 向 て け 用 項 工 ク 12

一・二 略]

人に 保証 関 が はする全 ない , と仮 て \mathcal{O} 定 関 L 連 た 性 場 0) 合 ある に お 情 け 報を保 る 債 務 有 者 すること。 \mathcal{O} 情 報 及 び 保

2 て用 る。 内 クスポ 部 る場合に 格 付 手法] ジ は ヤ 採 用 次に 組 に つい 合 掲 は げ て 保証 る要件 前 条第二項 を 信 0 全 用 て IJ に を ス 従 満 ク たす てリ 削 減 手 テ Ł ĺ 法 0 とす とし ル 向

一•二 略]

人に 保証 関する が な 7) 全て , と仮 0) 定 関 L 連 た 性 場合に 0 あ る お 情 け 報を保 いる債 務 有 者 すること。 0 情 報 及 び 保

(適格保証)

第 出 百 び で 九 合に 用 二項 七 は る 条 保 に 当該手法に基づく信用リス 基 証 人 部 \mathcal{O} 格 種 付 類 保 手 に 証 法 採用 0 を V 信 て特 用 組 IJ 合 定定さ は、 ス ク ク・ア れ 削 第 減 百 た 基 セ 手 九 準 ツ 法 +を \vdash 五. 設 条 \mathcal{O} L け 額 7 第 用 る \mathcal{O} ŧ 算 項 V

> 4 フォ らな 全であることを想定 除 き ル 部 規 \vdash 格 制 事 付 上の最 由 手 لح 保 低 証 用 所 して信 人 組 要 0 合 自 デ は 己 フ 用リスク削 資本を算定す オ ル 百 \vdash 一十九 事 由 減 条に 効 と る上 果 \mathcal{O} 規 を 相 勘 関 定 案 関 債 す 係 務 Ś が 者 場 7 不 合 は \mathcal{O} 完 デ

(保証人に対する債務者格付等の付与)

第 なけ リスク 従 百 って事 九 十六 れ ば 削 なら 減 業 条 手 法 ない 法とし 先 等 進 向 的 内部 て け 用 工 ク 1 格 付 る ス 手法 場 ポ 合] ジ 採 用 ヤ 次 組 に 掲 合 に 0 は、 げ る 要 て 前 件 保 条 証 を 第 を 満 信 た 項 さ 用

一·二 同上]

証 人に関 保 証 が はするす な 、 と 仮 て 定 0 L 関 た場 連 性 合に 0) ある お け 情 うる債 報を 務 保 者 有すること。 0 情 報 及 び

2 て け 用 工 内 ** \ クスポー 部 る場合、 格 付 2手法採 ジ 次に掲 ヤー 用 ・につい 組 げ 合 る要件を は て保証 前条第二項 満たさな を 信 用 IJ に け 従 ス れ ク ば 削 てリ なら 減 手 テ な ĺ 法 ル 向

一·二 同上

証 人に 保証 関 が するす な い 、と仮定 べ て 0 した場 関 連 性 合に 0) あ お る け 情 る債 報を保 務 者 有 0 すること 情 報 及 び 保

(適格保証)

第

で る 百 場合 用 び 九 ** \ 第 + は 二項 る 七 保 条 当該 に 証 基 人 手法に基づく信用リ 0 部 き、 種 格 類 付 に 手 0 証 法 ١, を 採 用 7 信 特 用 組 定 IJ 合 スク・ され は、 ス 削 た 第 ア 基 セ 減 百 準 ツ 手 九 を 1 法 + 設 \mathcal{O} 五 け 額 \mathcal{O} 7 第 な 算 用 け 出 い項 れ

のとする。

2 に基 内部格付手法 立づき、 保証は、 保 派証を 次に掲げる性質 採 信 用 用 組 IJ 合 スク が 削 0 第 減手法 全てを有するものとする。 百 九 十五 とし 一条 第 一 て用い 項 る場合に 及 び 第二 は 項

一 ~ 四 略]

3 を満 用 の各号の たし ものとす IJ 残 部 存 ス 7 格 てい ク 付手 第 す 削 百 る 1 る。 な 減 損 ず 九 法 手 失 + れ 採 ただし、 法 かに \mathcal{O} 場 五. 用 とし 合 条 4 組 が 該当する場合にお に 第 合 は 保 保 は 用 項 証 証 され 1 信 用 及 が付され 保 る び 証 第 IJ て が ス 1 第 が るとき たエ ク 削 項 九 で + \mathcal{O} 1 きる。 規 7 減 ク スポ 条 定 は 手法とし に 債 第 六 被 権 ょ ジャ 保 回 号 ŋ 収 保 証 7 0) 完了 条件 部分 用 証 を が 3

一| 信 自 組 合 推 計LGD を 適 用する先進的 内 部 格 付 手 法 を 適 用 で

内 る事業 部格付 法 手法を適用 等 向 け 工 するリテー スポ 1 ジ ル ヤ 向] け 工 ク ス ポ ジ

調整に関する基準)

第 る 。 に スク 百 九 十八 掲 削 だげる性 減 効果 条 質 を 第 勘 \mathcal{O} 百 案す 全 九 7 + る を 五. 条第一 場 満 合に たす は 蚏 項 又は第二 確 内 な基 部 格付 準 を設 項に基づ 手 法 け 採 るも 用 き信 組 0 合は、 とす 用 IJ

[一~四 略]

(クレジット・デリバティブについての取扱い

2 [略] 第百九十九条

略

ならない。

2

ならな 該に 保 基 内 一づき、 証 部格付手法採用 は、 V١ 保証 次に掲げるす を信 用 組 IJ 合 ス が ク 7 削 第百 0 減 性質を有するも 手 九 法 十五 とし 条第 て用 V 0 項 る で 場場 及 なけ び 合は 第二 れ 当 ば 項

[一~四 同上]

第一 果を調 を満 ク に信用リスクの 削 内部格付手 項 たし 減 及び 手法とし 整するため てい 第二項並 ない 法 て 削 採 用 \mathcal{O} 減 場 用 1 基 び 効 合 組 ることができる。 に当 一準を 果 で 合 が あ は 該 設 減 0 |基準に けて て、 少する場合 保 証 **\ 保 が . 基 づ るとき 証に 第 九 V を 付 + は想 て さ 定 保 れ 条 証 第 た 第 を 百 て 条 兀 件 九 保 号 信 証 + \mathcal{O} 用 \mathcal{O} IJ 五の た ス条効め

百して、 ぎョレ(調整に関する基準)

第 掲げ スク削 百 九 十八条 る 性 減 効果 質 をすべて を 第百 勘 案する 九 満 + たす 五条第 場 合 明 確 内 な基準 項 部 又は第二 格 付 ト を 設 手 法 け 項に基 採 な 用 け 組 ħ づ 合 き信 ば は、 な 6 次 用

. 一~四 同上]

百 <u>ク</u> 九 十九条 レ ジ ツ 1 デ 同 ´ リバ 上 テ イ ブ に 0 1 7 0 取 扱

2 [同上]

第

3 はデ IJ バ に掲 テ 格 イ 付 げ る性 法 に 採 ょ 質 用 る 0 組 信 全 合 用 は、 てを IJ ス 満 ク たす基 ング 削 減 ル 準を 効 ネ 果 設 を ム け 勘 0) る 案 ク £ す 0 る ジ と 場 ツ す 合に \vdash る。

3

略

EAD 推 計 方

で 三十二条 目 信 ŋ 用 な に 百 信 係るEAD 供 条 与の 用 IJ 第 内 額 ス 部 ク 項 を 0) 格 並 下 削 推 付 回る値を用 減 び 手 計 法 手 に を行うに当たり、 法 第 採 \mathcal{O} 百 用 組 効 兀 %果を勘 十条第六項 1 合 ない は、 もの 案す オ シ・ 現 とする。 及び る 在 にお 場 バ ラン 合 第 七 V は ただ スシ 項 て実行 0 Ļ 規] \mathcal{O} 定に 限 第 済 1 百 項 \mathcal{O} ŋ

2 るEADの 次 内 性に いて、 引出 が デ に 部 オ 追 フ 掲 格 を伴 げ オ ついては、 ル 加 推 付 デフ \vdash 的 る ル 計 手 引出 Š 事 \vdash を 法 事 オ IJ 由 件 行 採 発 行為を行う可能性 テ ル 由 \mathcal{O} う 用 クレ 生 に当 1] 発 全てを満たす手続を 組 生前 後 事 ル 合 ジット・カ に債 は、 由 向 た は が、 、 け 発 及びデフォ 生 エ 務 オ 者が 一後 ク フ・ 工 ノスポ クス ード ド \mathcal{O} を 追 追 バ 勘案すること。 加的 ラン 加 ポ ージャー その ル 設け 引 卜] 引出 出 事 ス 他 ジ るも 由発生後に シ 0 0 ヤ 実 のLGD推 将 行為を行 1] 0 来の不 績 0 1 とす 又 項 種 ただ 類ご は 目 る う可 見込 債 計 確 に に実 لح 係

を勘

案

し

て

11

る場

合

こ の

限

りで

な

3 ポ 次 ジ 部 掲げる性質 格 付 手 法 採 推 0 用 計 全てを満たすもの 組 す 合 るものとする は EADを推 とな 計 するに当 るように、 た ŋ 工 EAD ク ス

> い次 デ IJ に 内 バテ 掲 げ 格 イ る 付 ブによる 手 性 法 質 採 を 用 す 信 組 用 合 7 は、 IJ 満 ス た ク す基 削 ング 減 準 ル 効 を 果 ネ 設 を] け 勘 A な 案 0 け す ク れ る レ ば 場 ジ ット な 合 6 は な

同 上

0 推 計 方

目に係 信用 二百 用 十二条第二項 IJ ス 供 条 ク 与 るEAD 削 . О 内 額 減 部 及び 手 を 0) 格 推 下 法 付 ·回る値、 0 第 手 計 効 法採 百 を行 果を 四 を用 うに当たり、 + 用 勘案す 条 組 第 1 合 てはならな は、 る場合は 項 オン・ ただし 現 在 /₀ 書 バ ۲ ラン お 0) ただし、 0) 定め 1 限 て ス りで 実 シ より 行 第 1 な 百 済 1 信 \mathcal{O}

2 に るEADの 能 者が 4 お な デ 次 内 を勘 いて、 引出 性に フ デフ 部 オ 追 掲 格 を伴 げる ル 加 オ 案 ついては、 推 付 的引出 デフ ト事 l ル 計 手 .. う て 要件 \vdash を 法 V ij オ 由 事 行 採 テ 発生 る 行 を ル 由 うに 用 クレ 場 為を行う可能性 卜 1 発 満 組 合 後 生前 たす手続 事 ル 当 合 ジット・カ に信 は 由 向 は、 た け 及び . り、 発 この 工 務 生 オ 0 デフォ 者が 前 ク を フ・ エ 限りで スポ 了 ド 設 クス \mathcal{O} を け 追 追 バ 勘案すること。 なけ ラン] 加 ル その 加 ポ ない。 ジ 引 的 **|** ヤー れ 出 引出 他 事 ス ジ ば 由 \mathcal{O} t 行為 なら の LGD推 発生後に 実 将 1] 績 来 0 1 又 0 を行う 項 ただ には 不 類 目 見 計 確 債 に し、 に 可 込 実 係

同 上

3

ポ が 次に ジ 部 ヤ 掲 格 げる性質をす 付 ごとに 手 法 採 推 用 計 組 合 て満たすものとな な は け れ ば ならない 計 す るに るように に 当 た ŋ 工 クス

[一~四 略]

4 とする。 る性質 .'部格 付 0 手 法 全てを 採 用 満 組 たすEADを推計 合 は、 EADを推計するに当たり、 する基準 を 設け る もの 次に

[一~三 略]

5 かになった場合及び 種類のエクスポー 内部格 0) とする 付手法 採用 ジ 少 ヤ 組 合は、 なくとも年一] について、 EAD の 推 回、 新 L 計 EAD の 推 71 の対象となる全ての 重要な情報が 計値を 明ら 見 直

(監視)

とする。 るエクスポ の監視及び 百 _ — 条 支払に] 内 -ジャー 部 格 関 付 につい 手法 する方針につい 採 て、 用組合は、 次に掲げる事項その て相当な注意を払うも EAD の 推 計 0 他 対象とな \mathcal{O} 残 の高

一・二略

EADの推計に係る参照データ)

として管理する日をいう。) から十二月間にわたる過 (EADの自 百 次条及び第二百一条の四において同じ。)に、観 象となるエクスポージャーの 者及 の 二 び 組 合推計 エ 内部 クスポ 格付手法採用組合は、 値を算出する際に参照するデー] ジ ヤ] 0 デフォ 特 性を ルト事由 反映するも EADデー が 去に タベ 生じ 測 タを \mathcal{O} 起 、おけ た 日 点日 1 いス

(エクスポージャーに係るEADの推計

[一~四 同上]

4 掲げ ばならない。 内 る性質を 部 格 付 手 法採 す べて満たすEADを推計 用 組 合 は、 EADを推計 する基準 するに当 を 一たり、 設 け な け 次

[一~三 同上]

5

ら の種類のエクスポー 直 さな かになった場合及び 内部格付手法採用組 け れ ば ならない ジャー 少 合 なくとも年一 は、 について、 EAD の 推 回、 新 計 L 0 EAD の 推 対象 V 重要 な な 計値 情 る 報 す を が 見明

監視)

第二百 の監視及び支払るエクスポージ ればならない ___条 視及び支払に関 内 ・ジャー 部 格 付 す につ 手法 る方針 いて、 採 用 組 次に 合は、 つい 掲げる事 て相当 $EAD \mathcal{O}$ な 注意 項そ 推 計 を \mathcal{O} 0) 払わ 他 対 象 \mathcal{O} 残 と な

[一・二 同上]

条を加

える。

高

び 取 る (EAD & 事 場 観 定 百 EADの参 切 信 百 エクスポー 引 係 とする。 スに含ま 0) 百 を適用 一合には、 Ś 業法 度超過額 0 なEAD 影 及 測 用 るEADの 条の 供与 グび内. ものとする 当たって、 限度額を上限としてはならず、 条 条 期 タ又は複数の 間 人等 を十 か 三 0 推 四計 部 できる事 先進 等 五. 枠 照 れ \mathcal{O} 管理 ジ 向 を含めるものとする。 る僅 当 分に排除したEADデータベー デ \mathcal{O} 値 推 推 該 ヤー け EAD の参] 未 的 内 0 計 内 計 数の金融機関でプールしたデータを一以上利七年以上の観測期間にわたる外部データ、内る事業法人等向けエクスポージャーのEADの 自 \mathcal{O} 工 タ 少 引 部 安 内 部 値 に /な信 クス とは異 特 0 組 出 お 格 定 部 格 が 合推 性 上 額 付 格 算 性 付 を十分に て、 ポ 照デ 用 付 限 出 に 手 0) 手 供与枠 人なる特 法採 手法] 計 乗じる掛 法採用組 さ 当 値の推 ジ 保] れ 該 ヤ タは、 用 採 得 エクスポ 性を有 反映する 1 る可 用 \mathcal{O} 組 の表別に用い 合 0 目 組 合 未収 EAD推計 は、 は、 \mathcal{O} 合 想 能 するエ 性 自 は 定 利 ŧ] を考 額 いるEADデータベ スに基づくも 元本 組 EADS 工 息 ジ 合推 のとし、 クス 先 に起因して、 ヤ クス 進 に 慮 他 額] 係る最 の支 に入れ ポ 的 又は 計 推 (T) ポー] 内 値 計 かつ、 債 部 を用 払 債 に 務者、 るも ジャ 格 低 額 権 お 0) Y 付 及の 不 11 当] 所 V 条を加 条 要観 プ 期 工 事 (間にわたる外部 クス を加] 百 を 二条 業法 ル 測 加 える。 える。 L ポ 期 え る。 間 たデー] 人等 ジャ 等 先 向 進 1 タ け 的 を デ \mathcal{O} 工 内] $EAD \mathcal{O}$ 部 ク タ、 以 ス 格 上 ポ 付 利 推計 内 手 用 部 法 ジ ヤ L デ 採 に なけ] 当 用 - タ又は ったっ 組 0 れば EAD推計 合 て、 は ならない 複 数 七 事 の金 年 業 に 以 法 係 ぶる最 融 上 等 機 0 関 観 低 向 で 測 け 所

2 連 に用 性 含 が 8 当 進 た 低 る 的 11 0 t 内 もの 部 \mathcal{O} 格 に す 最 付 0 る Ł 手 V 長 法 て た 1 採 だ は 観 用 L 測 組 \mathcal{O} 期 合 限 EADを推 間 は りでな に わ 前 た 項 る 計 に す デ 掲 る げ タ に る 当 を デ そ 1 た つ \mathcal{O} タ て 対 0 関 象 利

3 フ オ 進 的 1 内 L 部 格付 た 件 数 手 0) 法 加 採 重 平 用 組 合は 均 を 用 EADを推 V١ るも 0) とす 計 す る に 当 た ŋ

́у 測 期 テ 間] ル 向 け 工 ク ス ポ ジ ヤ] \mathcal{O} EAD推 計 に 係 る 最 低 所 要

る ジ 百三条 外 ヤ Ì タ 部 を デー 0 内 以 部 上 0) 格 利 内 推 付 用 部 計 手 す デ 12 法 る 1 当 採 Ł タ た 用 \mathcal{O} 又 2 組 て、 は 合 す は、 複 数 五. の年 IJ 金以 テ 融 上] 機 \mathcal{O} ル 関 観 向 測 で け 期 プ 工 間 ク ス ル に わポ

IJ ス 百 クの す 五. る。 条 全部 た 内 を 部 保 格 証 購 付 手 入 ている場合は、 債 法 採 権 用 \mathcal{O} 譲渡 組 合 は、 人 が ے 購入債 EL dilutionを 0) 限り 権 で に な に係る希 推 計 す 薄 る Ė 化

2

EL dilutionを] 合 内 L を ジ ク に 部 < ヤー 含 ス 事 0 格 は ポ 業 付 につい $\vee PD'$ 推計 手 付] 法 は 以 法 手 ジ 下この (PD及びLGDに 法 部 採 て、 採] 向 LGD又 る 用 か 場 用 け 6 \mathcal{O} 組 目にお \vdash 組 属 合 工 合 は、 ップ クス する 供 合 及 はELdilutionを さ が び ・ダウン・アプ 11 れ 有 ポ 購 適 プ て っつい する 入リ] る] 格 同 ジ 購 デ ル じ。 て テ デ لح ヤ 入事 , は ĺ 1 タ 類 推 西Lを を 推 そ 似 業 タ 又 計 ル は 法 又 \mathcal{O} 向 す 口 は 人等 他 プ 購 る け 計 用] 購] 全 入 工 す **(**) 場 ・チを る場 、 て 推 IJ 向 入 ク て ル 合 け に ス 債 テ \mathcal{O} に 用] ポ 合 入 権 0 は 計 工 \mathcal{O} 11 又 す ク 手 ル $\sim P$ ジ は る ス 譲 向 適 7

> 2 に用 て 関 含 12 連 8 当 進 性 た な 的 が け 0 内 低れ て 部 いば 格 Ł な 最 付 \mathcal{O} 6 Ł 手 に な 長 法 0 ** \ 11 採 い 観 用 ただし て 測 組 は 期 合 \subseteq 間 は 0 に 限 わ 前 いりで た 項 る に な 推 デ 掲 計] げ す タ る る を デ そ] \mathcal{O} 当 タ 対 た \mathcal{O} 象利 0

デ フ 先 オ 進 ル 的 1 内 L 部 格付 た 件 数 手 \mathcal{O} 法 加 採 用組 重 平 均 合 を は 用 EAD & V な け 推計 れ ば す なら る な 当 た ŋ

3

Ĵ 測 期 テ 間 1 ル 向 け エ ク ス ポ ジ ヤ 0 EAD推 計 に 係 る 最 低 所

第二百 たる外 た デ ジ 二三条 ヤ タ 部] を デー 0 EAD内 タ、 以 部 上 0 格 利 内 推 付 用 部 計 手 デ し に 法 な 当 採 け タ た用 れ って、 又 組 ば は 合 な 複 は 6 数 五. な \mathcal{O} 年 IJ 金以 テ 上 融 機 \mathcal{O} ル 関 観 向 測 で け 期 プ 工 間 ク ル に ス わポ

2 D 若 ポ 場 薄 t $\mathrm{EL}_{\mathrm{dilution}}$ を れ 合 入事 ク] 内 化 ば 百 L 部格 IJ を 部 ス に ジ な 五. < ポ 業 0 含 ヤ ス 格 5 条 クの は ーについ 法 V は 付] 付 な LGD (PD及びLGDに 推計 てPD′ ジ 手 い 手 人 内 以 等 全 法 ヤ 法 部 部 下この た 部 向 す 採 格 て、 だ を保 用 \mathcal{O} け る 用 5 LGD又はELdilutionを 付 Ļ 場 属 組 提 組 工 手 目にお \vdash クスポ する 証 合 合 供 合 購 法 ップ・ は、 L 入債 さ が 及 採 7 有 び れ プ 用 いて する] 購 1 適 いる場合 る 組 権 ダウン・ つ デ ル ジ 入 格 0 合 同 V IJ は、 Ì デ لح ヤ 購 譲 ľ 7 入事] テ タ 1 類 渡 は は、この そ] タ 似 又 ELdilution 推 アプ 人 ELE を 推 業 \mathcal{O} 又 \mathcal{O} は ル が 計 購入 他 は 購 向 法 プ す 口 購] 入リ 人等 す る け 計 用] 限 入 ル 場 エ す い 債 チ りで 権に て 債 に テ ク る場合 て推計 向 推 ァ を 用 合 ス け 権 1 0 計 は ポ 入 \mathcal{O} 11 工 係 ル L 又は 向] ク 手 て 適 す る な $\sim P$ ジ る ス 渡 け 格 け

能 な 入債 権 0 質 に 関 す る 情 報 を 勘 案するも とす

3

3 るデ \mathcal{O} 否 種 内 るより] カゝ 類 部 を確認 タ 格 額、 が 付 多く 手 契 し、 当 法 約 0) 該 採 期 合致し 情報 購 用 間 入 組 中 を取 債 合 \mathcal{O} て は、 権 債 1 得 \mathcal{O} 権 な Ĺ 譲渡契約で定 購 0 入債 質そ 場 合に れを 権 0 \mathcal{O} 他 は 勘案す 譲 0 \emptyset 点 渡 当 る当 該 に 人 るも 合致し カュ 該 5 0 提 購 債 と 入債 権 て 供 す さ 1 る。 に 関 る 権 n

4 「略

入 事 業 法 人 等 向 け エ ク ス ポ ジ ヤ \mathcal{O} IJ ス ク 0 定 量 化 0

当部 入事 に ヤ 内 格 ス 購 ポ 部 百 か 格 入 業 を 分 1 六 つ、 一 事業 均 0 法 ジ 付手法採用 条 質な PD′ ヤー 人等 貫 法 内 及び プールに 人等 へして推 LGD 向 部 け 格 1 組 向 エ 付 <u>}</u> け ツ 合 ク 手 計するに プ・ダ スポ 割 0) 工 法 ツ り当てるものとする 場合に限 ク ´プ・ダ 採 スポ] 用 ウ ジ 足りる程 組 ン・ア 1 ゥ ヤ 合 る。 ジ シ ・] は、 ヤ 0) ブ 度に当] デ T 口 購 フ 及 に プ] 入 び IJ 0 オ 口 チ を 該 ELdilutionを 1] ル テ て 1 用 工 チ クス は を ル 1 る 用 IJ 向 ポ 先 ス V 適 け] 正 進 る ク 格 工 確 的 適 相 購 ジ ク

2 規 ポ 証 定 内 は ジ 部 PD 及び ャ 補償を考 格] 百 付 九 手法 0 十九 リスク LGDS 慮しな 採 条に 用 を 組 推 より V. 定 合 計 ものとする は、 量 に 準 化 お 用 はする場 適 V さ て譲 格 れる場 購 合に 入事 渡 人又は第三 は 合を含 業法 人等 第 む。 百 者 九 向 に + け に 五. ょ か 工 る か 条 ク 保 わ \mathcal{O} ス

3 [略]

(トップ・ダウン・アプローチ等の最低要件

い。 するよ るデ カゝ \mathcal{O} 能 な購 否 種 内 1 かを確認 類 部 り多 タ 入 格 額、 が 付 権 < 手 契 し、 0) 当 0 法 約 該購 情 期間 採 合致 報 用 を取得 関 入 組 中 してい 債権 する 0 合 は、 債 情報 ľ 0) 権 な 購 譲渡契約 \mathcal{O} これ を 入債 質 場 勘 そのの 合 案しなけ を勘 権 は で定 \mathcal{O} 他 案 譲 当 \mathcal{O} め 点 渡 る当 れ 購 な に ば け 入 合 カュ なら 債 致 該 6 れ 購 L 提 ば 入債 7 供 な さ 関 11 5 連 る 権

4 [同上]

特 購 則 入 事 業 法 人 等 向 け エ ク ス ポ 1 ジ t \mathcal{O} IJ ス ク 0 定 量 化

に、 当部 格購入事 内 ヤ 入 ス 事 ポ 部 百 か を均 格 分 業] 六 つ、 付 \mathcal{O} 法 ジ 質な 手法 PD 業 ヤー 人等 貫 法 内 プー 人等 LGD採 向 及 l 部 用組 びト け て推 格 ルに 向 工 付 <u>}</u> 合の ク ツ け 手 計 プ・ スポ 割 エク 法 するに足りる程 ツ 場合に限 り当てなければならな プ 採 ダ スポー ・ダ 用 ウ ジ 組 シ・ア ヤ ウン・ 合 る。] ジ は ヤ 0 ブ デフ] ア 口 購 度 及 に に] プ 入 当 オ IJ び 0 口 チ 該 を ELdilutionを テ \vdash エ て チ 用 ク は を 1 ル ス 用 IJ る 向 ポ ス 先 1 け る ク 格 正 進 工 ジ 確 的 適 相 購

2 ず、 又 定 ポ 内 PD 及び 補 ジ 部 百 償を考 ヤ 格 九 付 十 のリ 手 LGDの 九 慮しては 法 条に ハスク 採 用 推 より を 組 計 ならな 定 合 準 量 は、 お 用される場合 化 する場 適 格 て 譲渡 購 合は、 入事業 人又は第三 を含む。 第 百 法 人人等 者 九 に に + 向 か 五 ょ け る か 条 工 わ \mathcal{O} ク 5 規 ス

3 [同上]

(トップ・ダウン・アプローチ等の最低要件)

ス EAD及びELdilutionを推 ポ 八 購] 入リテ ヤ 内] 部 に] 格 つい ル 付 向 手 てトッ け エ 採 す 計 ク 用 んる場 す プ・ダウ ス っる 場 組 ポ | 合、 合 は、 合に ジ ELdilutionを ヤ 購 は ア 入 プ 事 次 に に 口 つ 推 掲 V] $\sim PD'$ げる要 チ 計 を 等 す る 用 向 件 場 け 1 LG合 7 0

てを満たすも 0

四 略

を満た 全ての主要な して いること。 組 合 内 \mathcal{O} 指 針 及 び 手 続 \mathcal{O} 遵 守 に 関 す る 基 準

2

3 るもの をいう。 項 第一 号 0 法 的 枠 組 み に 関 す る 基 準 لح は 次 に 掲 げ

元利 全て 又は エクス サー 該 払 \mathcal{O} 元 状 ポ 11 利 等 況 ピ] 払 サ に に 11 お 1 ヤ 等 い 11 \mathcal{O} を監 て 業 \mathcal{T} に 法 況 係 督 的 内 \mathcal{O} る L に 部 悪 取 て 有 格 化引 いること。 効 付 又の な 手は仕 権 法 倒 組 利 採 産 上 を 用 そ 組 有 の購 合 他 入 て が \mathcal{O} 購 予 お 測 \mathcal{O} 債 可 譲 か 権 能 渡

4 いう。 項 第二号 \mathcal{O} 視 に 関 す る 基 準 لح は、 次 に 掲 げ る ŧ \mathcal{O}

ルに 内 部 お 格 は 項 け す 付 る に る 手 規 有 総 法 定 \mathcal{O} 効 額 採 限 す な 用 る 指] 組 で 針 ス 合 入リ 及 で び テ 手 債 特 続 務 定 者 又 を ル 設 に 向 は け け 対 全 て エ す ク る \mathcal{O} るこ ス 信 購 ポ 用 入 債 供 ジ 与 権 ヤたの \mathcal{O} だ 集 ブ

ス び 百 EAD 及び に購入リテ LGD 及び ポ 八] ヤ 内 ELdilutionを推計] 部 EAD を推 につい] 格 ル 付 向 手 てトップ・ダ け エ す クスポ んる場 用 する 組 合 場 合 は、] ゥ 合 ジャ は ア 次 入 事 に 掲 0 口 げ 11] る要件 $C \sim PD'$ チ を す 竿 á 用 向 場 \mathcal{O} 11 け の す T G 合 て

べてを満たさなけ れ ば ならな

Ŧī.

二 四

同

上

準を満た すべての主要 L ること。 な 組 合 内 0) 指 針 及 び 手 続 \mathcal{O} 遵 守 に 関 す

る

2 同上

3 同 Ŀ

権 な カコ 又は す \mathcal{O} エ べて 元 ク 当 利 サ ス ĺ 該 同 払の ポ 元利 上 い状 ピ] 等 サ 況 ジ 払] に に t 0 お \mathcal{O} 等を監 11 11 業 て 況 て 係 法 0) る 督 的内 悪 取 に部 化 引 有 格 又の 効 は 付 仕 な権 手 倒 組 法 産 上 利 採 そ を 用 の購 有 組 他 合 \mathcal{O} が 予 購 測 お \mathcal{O} 可 入 譲 債 能 渡

4 同 上

5 \equiv 同 上

五 プー だ つい 同 ル 部 第二項 上 に 視 お 付 は け す 手 る に 規 有 採 定 \mathcal{O} 効 額 用 限 す な ベ 組 る 指 1 合 で 針 ス が 入リ で 及 び テ 手 債 定 続 務 又 を 者 ル は 設 向 にす け 対 け て す 工 て ク る \mathcal{O} ス る 信 購 ポ 用 供 債 与 権 ヤたのの

5

略

6 有 信 用 効 な 供 与 項 準 \mathcal{O} 第 上 匹 は 限号 及 \mathcal{O} 次 び に 口 担 掲 収 保 げ さ る れ 性質 た資 入債 0 金 権 全 \mathcal{O} \mathcal{O} 7 管 債 を 理 権 満 に 者 たす 関 カ す 5 ŧ る 債 0 明 務 と 確 者 す か る。 \mathcal{O} 0

項 ること。 クの たって、 が 収利 \mathcal{O} 書 傾 金 面 向 集 0 中、 一で定 そ 取 適 購 0 扱 格 入債 めら 購 لح 他 V そ 全て な 権 債 れて \mathcal{O} る 0) 担 権 他 \mathcal{O} 譲 お 保、 関 0) 0 渡人又はサ 質 債 連 及び 必 する 権 カュ 購 要 つ、 購 書 重 入 類 入債 に 要 当 Ì な 関 該 ピ 信 主要事 要 権 す サ 用 る 素 \mathcal{O} ĺ 供 全 が 譲 0) 与 考 渡 項を定め て 財 \mathcal{O} 人の顧 0) 慮 務状態 主 さ れ 制 客基 る な て 限 IJ

7 守に 部 な 指 関 手 なる基準 続 針 項 が 第五 及 設 び 準」と け 手 号 5 続 \mathcal{O} れ に は、 て 係 全 い る て 次 ること 遵 0 に 守状況 主 掲 げ 要 を る事 な を 組 評 項 合 価 並 内 す \mathcal{O} \mathcal{U} る に 指 た そ 針 \otimes 0 及 \mathcal{O} び 他 実 手 全 効 て 続 的の \mathcal{O} な主遵

又は ラム 入債 に 外 お 部 権 査 け 0) 定 る 購 全て 入 が 0 プ 重 口 グ 要 な段階 ラムに 基づく お け 場 る 定 合 期 は 的 当 な 内 該 部 プ 査

略

検 証

検 用 百 証 九 PD′ す る 頑 LGD及びEAD 内 健 部 な 格 制 付 度 手 を 設 採 \mathcal{O} ける 推 用 計 組 合 値 0 は \mathcal{O} 正 内 確 部 性 格 並 付 び に 制 そ 度 及 \mathcal{O} び そ 貫 性 0

> 5 同 上

6

な

5

な

有 信 効 用 な 供 与の 基 項 準 第 上四 は 限 묽 及 \mathcal{O} 次 び に 口 担 掲 収 げ 保 さ る れ 購 性 た 入 債 質 をす 資 金 権 \mathcal{O} \mathcal{O} 7 管 債 満 理 権 たす に 者 関 Ł す 5 る 債 0 眀 務 で な 確 者 け カゝ れ \mathcal{O} 0

IJ ていること。 基 に 事 口 スク 、 当 た 盤 項が 収利 率、 金 \mathcal{O} 傾 \mathcal{O} 0 書 0 て、 面 取 向 集 適 面で定 中、 そ 扱 格 購 لح 0) V 入債 \emptyset 購 そ な 他 5 す 入 る れて 権 債 他 担 保、 権 て \mathcal{O} 譲 お 債 \mathcal{O} \mathcal{O} ŋ 渡 必 関 質 権 人又はサ 及 購 要 連 か 書 び す 入に つ、 購 類 る 重 関 入 当] 信 債 要 す 該 ピ 用 な 権 主要事 る サ 供 要 \mathcal{O} す 与 素 譲 0 \mathcal{O} が 渡 項を定め て 財 考 0 人 務 中 *の* 主要 慮 状 顧 さ 態 客

同 上

7 的 \mathcal{O} 遵 な内 守に 主 要 部 な 関 項 する 手 指 第 続 針 五. 基 が 及 号 設 準 び \mathcal{O} けら 手 لح 続 す は、 に れ て 係 次 て る 0) に ること 遵守 主 掲 げ 要 る事 状 な を 況 組 いう。 を評 項 合 並 内 価 び \mathcal{O} す に 指 る そ 針 た \mathcal{O} 及 8 他 び \mathcal{O} す 手 実 ~ 効 て

グラムに 定 又 入 は 倩 おけ 外 権 部 \mathcal{O} 查 るす 購 定 入 が て プ 口 \mathcal{O} 重 グ / ラムに 要な段 . 基づ 階 Ś お 場 け る 合 定 は 期 的 当 な 該 内

プ

部

 \equiv 同 上

検 証

を 運 検 用 百 証 九 す る LGD及び 頑 内 健 部 な 格 制 付 度 EAD 手 を 法 設 け 推 用 な 組 計 け 値 れ \mathcal{O} は ば 正 な 内 確 5 部 性 付 制 度 及 \mathcal{O} び 貫 そ 性

(バック・テスティング)

期的 離 ジ \mathcal{O} に 十条 PD 6 す るも について 推 が 当 格付 手 実 務 績 に 者 ついて想定さ 格付ごとに 用 を 組 比 較 合 は、 し、PDの 年 事 れ た範 推 口 法 計 以 囲 上 値 と実 内 \mathcal{O} 向 に 割 け あ 績 合 エ るこ 値 で ク 定ス \mathcal{O}

- 2 与さ れ た 0) で 範 れ 頻 きる事 値 進 た案 世と実 囲内 度で 的 内 に 件 績 定 部 格 期 あ 値 格 的 付 ることを 付 手法採 又 乖 にLGDの は 離 向 当 0) け 検証、 該 度 工 用 クスポ 工 合 推 組 計値 す ク 合 るも ス が は と実 当 ポ] \mathcal{O} 1 該 ジ 先 とす ジ 績 工 t 進 ク ヤ 値 的 る] ス を に 内 比較, ポ に 0 部] 0 11 格 ・ジャー て年 し、LGDの 1 付 て 手 想 法 定 に 口 を さ付 以 適 2
- 3 ジ ヤ きる事 す ク 値 進 るも を比 ーごとに ス 的 ポ 内 0] 部 とす ジ 格 年 ヤ 付 EAD等 1 手 口 に 向 法 以上 け 0 0) 採 推 工 用 計 て \mathcal{O} ク 組 想定された範 割合で定 ス 値 合 ポ と実 は、] 績 ジ 先 期的 ヤ 値 進] \mathcal{O} 的 乖離 に 用 に 内 EAD® 一内に 0 部 ٧١ 0 格 あることを て 度 付 合 推 工 手 ク 計 法 値スポ が を 当 ポ 適
- につ V 部 てプー 格 付 手法採 て 推 想定 ルごとに EAD & 計 値 とそ さ 用 れ 組 推 年一 た 計値と実 れ 合 ぞれ は、 範囲内に 回以 リ 0) 上 テ 績 実 0) 1 績 あ 値 割 ること 値 ル \mathcal{O} 合 乖 を 向 で定 比 離 け を 較 \mathcal{O} エ 期的 クス 検 度 証 合 それぞ にPD、 ポ す る] が Ł LGD 該 れ ヤ \mathcal{O} 1 \mathcal{O} プ
- 5 すものとする 各 項 に 掲 げ る 比 較 及 び 検 証 は 次 に 掲 げ る 条 件 0 全 て

・二略

ハック・テスティング)

とを 期 ポ 離 的 百 ジャ 十条 検 \mathcal{O} に PD 度 証] L 合 \mathcal{O} な について 推 け が 当 れ ば 債 な 手 実 務者 法 績 に つい 格付ごとに 用 を 組 比 て想定さ 較 合 は、 Ĺ 年 事 れ $\bar{\mathcal{O}}$ た範 口 推 以 計 # 値 上 内 \mathcal{O} 向 実 割 け あ 績 合 工 るこ 値 で ク の定

- 当 該 と実 ポ け れ ジ 先 ば 績 ジ 工 ヤ 進 クス ならな ヤ 値] 的 . に を] 内 ポ 比 に 0 部 いて年 格 0 較] ジャ 11 付 て 手 **LGD** S 想] 法採 定定さ 口 に 以上 付 用 与され 推 組 れ た範 0) 計 合 頻度 値 は と実 囲 た案件格 で 内 事 に 入績 定 業 期的 あ 値 法 ること 付 \mathcal{O} 又 乖 は LGDS 離 向 を 当 \mathcal{O} け 該 度 検 工 合 推 証 ク ク 計 ス L な ス が 値
- 3 で定 さ 実 績 ジ れ 期 た 値 ヤ 進 範 \mathcal{O} 的] 的 **UEAD** 囲 につ 乖 内 内 離 部 に 7) 格 \mathcal{O} あ 度 て \mathcal{O} 付 ることを 合 推 工 手 ク 計 法 11 が 当 ス 値 採 ポ と 用 検 実績 該] 組 ジャ 証 エ 合 値 L ク は な ス を] け ・ごとに ポ 比 事 れ 業 ば ジ 法 ならない 年 ヤ EAD等 口 に 向 \mathcal{O} 以 け 推 上 計 て \mathcal{O} ク 値 割 ス 定 合
- 4 PD、LGD及びEADの つい 内 につい EADS 部 てプー 格 付 て 手 想定さ ルごとに 法 値 採 用 そ 組 れ 推 た範 年 計値 れ 合 は、 ぞ 回以上 开 れ 上と実 内 . の IJ テ に 実 績 \mathcal{O} 1 績 あ 値 割 ること 値 ル \mathcal{O} 合で 向 乖 を 比 け 離 定 を 較 エ \mathcal{O} 期 クス 検 度 的 証 合 ポ が 1 な ぞ け 該 れ
- 5 を満たすものでなけ 前 各項 に 撂 げ る 比 れ 較 ば 及 び 検 証 は 次 に 掲 げ る す 0
- 一・二 同上]

よる内 付 制 度 検 証

法 スとの 以 外 \mathcal{O} 比 定 較 量 部 行 な 格 付 証 手 \mathcal{O} 法 1採用 手 · 法 及 る 組 合 び 関 は、 連 す 前 る外 条 に 部 掲 げ \mathcal{O} る デ 1 検 タ 証 \mathcal{O}

2 Ł 0 とする に 掲 げげ る 検 証 0 手 法 は、 次 に 掲 げ る 性 質 0) 全 7 を 満 た

1

5 匹 略

値

状 況 計 百 一十二条 に 値 つい と実 て 績 明 値 内 確 部 著 な 格 基 付 準 < 手 を 法 乖 設け 離 採 用 る 組合は、 ŧ 推 \mathcal{O} 計 とする。 値 PD、LGD又は \mathcal{O} 妥 当 性 が 疑 EAD わ れ る \mathcal{O}

- 2 な変 前 合 項 は、 動 12 要因 掲 事 げ 業環 を る 考 基 慮に 境 準 \mathcal{O} を 入 変 設 れるも 化 け るに当たって $\bar{\mathcal{O}}$ 0 他 デフ オ は、 ル \vdash 内 \mathcal{O} 実 部 績 格 率 付 \mathcal{O} 手 構 法 造 採
- 3 は するように LGD又はEADの 部 格付 手法 採用組 推 計 実績値が 方法 合は、PD、LGD又はEADの 及び推 推計値を上 計 値 を 修 口 正 る するも 状 況 が 0 実 続 とす 績 < 値 場 3

示

第 融 庁 長官 1十三条 が 別 に 内 定 部 める 格 付 事 手 項 法 を 採用 開 示 組 す 合 るも は、 \mathcal{O} 水 産 大 臣 及 び 金

第 九 款 る 法 的 ポ 12 形 有 式 効 な相 0 取 引 対 ネ 及 ッテ U 信 用 取 引 グ そ 契 約 他 下 れ あ

> タ 内 付 制 度 \mathcal{O} 検 証

第

ソー 手 法 百 スとの 以 外 一条 \mathcal{O} 比 定 量 部 行 な 格 わ 付 な 手 け 法 れ 採 用 法 な 組 6 び 合 な は、 関 連 す 前 る 条 外 に 部 掲 0 げ デ る] 検 タ 証 \mathcal{O}

す Ł 前 0 項 で に なけ 掲 げ れば る なら 証 \mathcal{O} 手 法 は 次 に · 掲 げ る 性 質 を す て 満

2

5 兀 同 上

値 是

状 推 況 計 百 一十二条 に 値 つい と実 て 明 績 値 内 確 部 な基 著 格 付 準 < 手 を 法 乖 設け 離 採 用 な 組合は、 け 推 れ 計 ば 値 な \mathcal{O} 妥当 LGD 又 は な 性 が 疑 EAD わ れ

る

- 2 用 要因 組 前 合 項 は、 E を考慮に 掲 景 げ 気 る基 入 循 れ 環 準 -を 設 な け れ 他 け ば るに当たって デ なら フ オ ル \vdash \mathcal{O} は、 実 績 率 内 \mathcal{O} 部 構 格 造 付 的 手 な法 変 採
- らな を反映す 合 は PD、LGD又はEADの 内 部 るように、 格付手法 採用組合は、PD、LGD又はEADの 推 計 実 入績値が 方 法 及び推 推計値 計 値 を上 を 修 口 正 る L 状 な 況 け が 実 続 れ 績 < 値

開 示

第二百 融 庁 長 十三条 官 が 別 に 定 部 める 格 付 事 手 項 法 を 採 開 用 示 組 L 合 な は、 け れ ば 林 なら 水 産 臣 及 び

第 九 款 株 手 式 法 0 最 ク ス ポ ヤ に 対 す る 内部

12 類 す 変 Ś 動 額 海 推 外 計 0 取 七 デ 引に対 ル 0 する 使 用 工 クスポ

ス ポ ジ t 変 動 額 推計 モ デ ル \mathcal{O} 使 用 \mathcal{O} 承 認 等)

第二 た 場 ことが を用 て信 これ ポ び 除 用 信 イ 効 百 %な相対 %合又は 契 き す 用リス 同 に] 信用取引その他これに 後 用 1 + ジャ 約 できる。ただし、 る場合には 取 相 類 0) 7 Ŧī. 関 条 引 エ す 下 工 ネッ ク れ を に ク そ る 内 ク を推計するモデルをいう。 ある複 を 削減手法適用後エクスポージャー ス 勘 海外 変動 部 \mathcal{O} ス 内 継続し 案 テ ポ 他 ポ 干 部 1 額 デ \mathcal{O} 1 格 数 推計 ル ジ ジ れ 取 付 て 政庁による承認 引 グ契約下に エ 0 方式採用組 ヤ に t 手 IJ 使用 法採用 クスポージャー 類 に レ 七 ユ デル す 変 ポ 類する海外の \mathcal{O} 0] る海 するものとす 変動 形 動 V 式 額 て 組 ア (法的に 額を 0 ある複数 合 外 合である場合に ツ 複 取引 債 \mathcal{O} は \vdash 0) 数 取 券 以 下 1 う。 及び 変動 取引に 取 引 \mathcal{O} 有 \mathcal{O} 行 る。 IJ 効な 消 0) に 価 政 ス 同 信 L 額 以 お ポ ク 格 庁 ľ 下こ 額 \mathcal{O} 用 相 ついて、 ポ が 推 け 形 \mathcal{O} 取引そ . 対 ネ 形式 あ 計 を算出 るネ 式 ボ は 承 同 ラテ を使用し った 認を受け 0) モ 様 0 ッテ デ 款 0 法 ツ 取 0 引及 的に 取 引 場 ル す に テ 方 イ 0 エ 他 る お 法 IJ ク 1

> に規定する内部 二百 政 株 庁の承認を受けるものとする。 十五 式 等 条 ク ス 内 モデル手法を用いるときには、 ポ 部] 格 ジ 付 ヤ 手] 法採用組 に対する内部 合 は、 モデ 第 百 兀 あらかじめ、 手法 + 条第 \mathcal{O} 承 認 七 行 項

2 格 第 付 お 用 七 手法 す + て る 八 採用 条の 内 同 部 組合」 条中 規 格 付 定 手 は と 標 法 準 読み替えるものとする。 採 工 的手法採用組合」とある 用 ク 組 ス ポ 合 ジ 7 1 ヤ 7 準 変 動 用 す 額 う。 る。 推 0 計 は モ デ \mathcal{O} 内 ル

モ 部 デ モ デ 使 ル 用 方式採用 に に係る届 組合に 出 お け るエ ク ス ポ] ジ ヤ 変 動 額

(承認申請書の提出

採 用 百 政 組 十 は 庁 合 六 12 条 は あ 提 6 出 工 か す 部 ス 格 8 ポ 付 \mathcal{O} 手 とする。 ジ 法 \mathcal{O} を採 t 旨 及 用 変 び 動 L そ た場 額 0 推 内 合 計 容 0 を モ デ 内 記 部 載 ル モ を デル 使 た 用 届 方 出 す 書 式

2 るときは 由 部 を行政 規 モ 定 ょ デ ŋ す る届 方 遅 式 滞なく 提出 出 採 用 ポ 書に変更があ するものとする。 組 その旨及びその 合であ 変動 る 内 額推 たと 部 格 計 き 内 付 モ 容 手 を 法 記 は 採 載 0) 8 用 利用 む 組 を 得 た 合 を中 は、 変 更

> た け 書類 ようとす 百 + を添 付 る L 組内 な 合 部 けはモ れ デ ば 承 認 ル な 手 5 申 法 な 請 \mathcal{O} 使 書 に 用 次 に に 0 掲 1 げ 7 る前 条 項の を 承 認 記 載 を し受

- 己称
- 2 前 自 項の 資本 承 認 申 比 率 請 を 書 に 把 握 は L 管 理 次に掲 する げ 責任 る書類 を添 \mathcal{O} 氏 名 付 及 L び な 役 け 職 れ

名

ば

理由 書 ならな

前項第二号 規定 する責 任 者

 \mathcal{O}

履

歴

値 当 利用 該組 方法 合が が、、 用 7 類次る 内 条 部 第 モ 項デ 各号に ルの 手 掲げ るび 基内 準 部 にモ デ 適 ル 合 し推

て計

1 ることを示す 書

兀

その他 類 承 認 に 係 る 審 査 に お 1 て 参 考 と な る べ き 事 項 を

申 請 書 \mathcal{O} 提 出

を行政庁に 百 付手法 十七条 採 第 提 用 出 組 [するも 合は、 百十 Ŧī. 0 次に 条 とする。 第 掲げ 項 る 0 事 承認 項 を 受けようとす 記 載 た 認 申 る 請 内

- 称
- 2 項 自 0 資 承 本 認 申 比 率 請 書 把 12 握 は 管 次 理 す 掲 る げ 責任者 る書 類 を添 0 氏 名 付 及 するも び 役職 0 名
- 理
- 項 第 号 規 定 る 責任 者 履 歴
- クス 潍 12 ポ 適 合し ることを示 変動 額推計モデル 及 び そ \mathcal{O} 運 用 が 承 認

_, 部 モ デ ル 手 法 \mathcal{O} 承 認 \mathcal{O} 基

げる基準 認 を 百 しようとする場 + 七 条 適 行政 合し 庁 てい 合は、 るかどう 第二百-承 認 申 十 五 請 カュ 書 を を提出 審 査 L L 部 な) た 組 七 け デ れ 合 ル ば が 手 ならにの な な掲承

- L てい IJ ス ること。 0) 定 量 化 に 関 す る 基準 を 満 たす た 8 0 態 勢 を
- 内 部統 制 に 関 す る 基 準 を 満 た す た \emptyset \mathcal{O} 態 勢 を 整 備 L て
- 検 証 に 関 す る 基 準 を 満 た す た \Diamond \mathcal{O} 態 勢 を 整 備 7
- 前 項 第 号 \mathcal{O} リ ス ク \mathcal{O} 定 量 化 12 関 す る 基準」と は 次 に 掲

2

兀

げ るも 0

す 有 る す 市 る 況 モ \mathcal{O} 式 悪 等 ク 基 対 ス づ L き ポ 7 算 ジ 出 [され 健 ヤ なも た損 \mathcal{O} ので 長 期 失 あ 額 \mathcal{O} ること。 IJ が ス ク 当 特 該 性 組 合 に 関が 連保

に に わ 入 保 株 手可 たるデー 有 式 す 投 る 能 資 カゝ 株 \mathcal{O} タ 式 9 収 のが 有 益 用 効 工 率 11 な ク 分 ら 限 ス 布 れ ŋ ポ を て に] 導 お いること。 ジ 出 する ヤ て、] る に 当 \mathcal{O} 最も IJ スク特 た 長期 0 て、 0 性 標本 を 表 該 期 す 組 間の 合

て に 所要自 11 信 ること。 頼できる推 己 資 本 計 額 結 0) 果 算 を 得 出 るのに に当たって、 十分なデ 保] 守 タ 的 が カコ 用 0 統 11 5 計 れ的

期 \mathcal{O} 第 市 況号に は掲 景 げ 気 る \mathcal{O} 市 循 況 環 \mathcal{O} に 悪 お 化 け を考慮する る潜 在 的 結 な 損果、 失 0) 関 推 連 す 計 がる 保 長

0 る \mathcal{O} 守 で Ł 額 内 的 あ 0) 部 0 で 導 ること。 算 モ あ 出 デ出 0 さ \mathcal{O} ル て、 れて 過 及 程 び か に 推 11 る 計 加 える 次に掲 に 用 調 V ・るデ 整 げ つる要件 が Ì 保 タ そ 守 0 す 的の べて か 他 0 所 を 要 満た 貫 自 性 己 す \mathcal{O} 資 あ本

 \mathcal{O} なが が デ 等 内 部 長 加 ŧ 工 な えら ク ス 期 タ モ \mathcal{O} を用 とな デ \mathcal{O} れ ポ デ たも る 1 1 に ょ タ て ジ ょ 5う入手 を る ヤ \mathcal{O} が 用 で な] 推 加 V あ に 計 た場合 えら 可 ること又 場 関 \mathcal{O} 能 合 連 際 れてい に、 な は す と同 デ る 八は内 内 景 当 様 気 該 タ 部 \mathcal{O} 部 後 に モ 組 保守 モデ 実 デ 退 合 証 ル 期 \mathcal{O} 分 的ル 12 を 保 \mathcal{O} 含 有 カュ 析 切 推 に 2 す 基 実 計 な 長 る 際結調期株 づ

IJ デ ア ツ タ 1 を 四 IJ 半 スク・モデルを構築 · 期 デ ĺ タと同 等 な ŧ す 0 る 際 と に 変 兀 換 半

期

7 な ŧ る 合 当 該 手 法 が 実 証 的 根 拠 に 基 づ <

な 切 1 技 術 タ 的 が 制 不 約 + が 分 な場合 あ る 場 合はは 適 推 切 計 な 値 推 が 計 適 が 切 木 لح 難 なるよう لح な る ょ

内 部 保 守 モ 的 デ ル な が、 修正 当 が : 加えら. 該 組 合 のれ 保 て いること。 有 する株 式 等 工 ク ス ポ] 見ジ

2 1 たも \mathcal{O} ポ \mathcal{O}] で \vdash あること。 フ オ IJ 才 0) 信 用リスクの特 性 及 び 複 雑 性 に

び 手 す 株 ・法が用 っるに当 式 等 エ ^円いられており 当たって、利E クス ポ] ジ ŋ 用 ヤ 可] かつ、 能 0) で 関 収 次に掲 益 連 率 \mathcal{O} \mathcal{O} あ げ ボ る要 ラ る 重 テ 件 要 イ がな IJ す デ テ 1 べ 1 て タ を 満 及 推

たされ 0 頑 抽 ていること。 出 健 標 で 本の数及び あ ることを信 デ] 頼さ タ 期 せ 間 る が に 足 当 ŋ 該 るも 推 計 0) 値 で が

口 な本 バ 収 イア 益 率 ス \mathcal{O} 及 ボ び ラ 生 テ 存 イ リテ 者 バ イアス イ を 推 を抑 計 するに 制 す 当 るため た 0 ては 適 切 標

格 措 置 か が 0 包括 取 られ 的 て な いること。 ス 1 レ ス・ テス \vdash が 実 施 さ れ 7 11 るこ

九 内 部 モ デ ル が 次 に 掲 げ る 要件 \mathcal{O} すべ て を 満 た す ŧ \mathcal{O} で あ

株式 スポ IJ 過 去 般 クを \mathcal{O}] 的 価 ジ な 格 適 t 市 切に 変 ス 場 動 ポ \mathcal{O} IJ 捕 ポ ス を 捉 ク 適 切 で ヤ \vdash 及 きるもので に フ び 説 オ 当 IJ 明 収 該 益 オ 組 上に関 に特 合 あ 潜 が ること。 在 す 有 保 るす 的 \mathcal{O} 有 IJ な す 集 べ ス る 中 て ク 株 そ 0) 式 \mathcal{O} 構 重 \mathcal{O} 他エ 成 要

- 287 -

あ

る

正

確

こか

頑の 及 £ び 変 捕 捉 つ、 市 場 環 \mathcal{O} 悪 化 に 対 L て

分 \mathcal{O} 散 母 \mathcal{O} 健 集団 母 な 共 集 に 分散 と 用 寸 類 で が る 似 法 組合が 組合が に そ ĺ タとし 他 致した \mathcal{O} 保 有 す・ たも て る 抽 ので ょ 株 出 ŋ 式 さ あ 等 株 れ る 式 た 等 ク 工 ス ク ク ポ ス ス] ポ] ポ ジ ヤ]

ること。 込む場合 1 \mathcal{O} ポ は] 1 当 フ オ 該 相 IJ 関 オの 0) が 実 明 示手法 証 分析 なに に 相 によって 関 を内 裏付 部 モ け デ 6 ル に れ 組 て] いみジ

及びリス 0 すべてを満 個別 ク・ファクター 0 株 たすも 式等 エ \mathcal{O} クス であること。 を紐付ける ポ] ジ ヤ 場 と代 合 は、 理 変 次 に 数 掲 げ 市 る 場 要 指 件 標

イ 的 確 式 か当 及 紐 び 等 5 該 付 実 し紐 エけ < , クス 証 付 \mathcal{O} 手 け 的 ポ な 法 カゝ \mathcal{O} 方法は つ、 根 及 拠 ジ び に 概念 ヤ 過 ょ] 程 信 が、に って裏付 12 頼するに . 対 は健全なり 当 し て 該 け 足 適 組 5 Ł 切 合 ŋ れて \mathcal{O} るも で が 保有 であること。 あることが 11 \mathcal{O} ること。 す で んる個 あ て、 理 別 論

は て考慮 考慮 量 \mathcal{O} 当 的 ボ 該 きまった 組 さ 合 と組 イリテ な \mathcal{O} か 保 つた関 いること。 4 有 合 イ に わ を 係 連 さ 推 る する重 株式 れ 計 する てい 等 る場合に当た 要 工 な情 ークスポ は、 0 報 ージ て、 が 人 定 的 量 人 ヤ 判 的 的] 判 手 0) 断 法 断 収 に おでが

・ モ る 株式等 使用さ ファ デ ルは、次に掲 工 れ クス るリス] ポ モ ク・ファクター デルを使用 1 げる要件 ジ ヤ] ・のポ 0 す する場合 バてを] は、 1 フ 当 満 オ は 該 IJ 組 た オ 当 合 す に 0) ŧ 該 保 古 フ \mathcal{O} ア で 有 有 に あ ク \mathcal{O} リ係 る タ

- 288 -

を 捉 す る \mathcal{O} + 分 なも 0 で あ ること。

口 る 切 株 な特 用 さ 性 エれ るリ 対 応 ポ] たも フ ヤ ア \mathcal{O} クター で 0) あること。 主 要 は、 な部 分 該 が 組 属す 合 \mathcal{O} る 保 市 有 場 に の係

他 析 ク \mathcal{O} によ 当 ス 般 ポ 該 的 0 IJ] て ス ジ 裏付 ク ヤ 場] IJ け フ ス ハク及び 5 ア 特 れ ク 有 て タ 0) リス いること。 当 該 \mathcal{O} クを捕 選 組 が択の 合 \mathcal{O} 適 捉 保 切 で 有 き 性 に が ることそ 係 実 る 証 株 的 式 なの

3 Ł のを 11 項 · う。 第二 号 0) 内 部 統 制 に 関 でする基 準 لح は、 次 に 掲 げ る

内 部 モ デ ル と内 部 七 デ を 構 築する過 程 に 0 11 7 確 77 L

た 指

針

続

及

び

統

制

が

けら

れていること。

1,1 オ 手 内 法 部 て IJ 利 オ のモ 用 適デ手 \mathcal{O} さ 管 用 ル れ 理 対 が、 上と統 て 象 11 で 組 ること。 合 あ 合 さ る 全 れて 株体設ル 式の 等 経 お ŋ, エクスポ 営 I情報シ カゝ つ、 ステ 次に 1 ジ 掲 ヤ Δ げ] 及 び る \mathcal{O} ポ 事 内 項] 部 ト 格

最 低 投 資 利 口 り \mathcal{O} 設 定 及 び 代 替的 な 投 資 \mathcal{O} 評

価

口 整 後 株 式 \mathcal{O} 実 等 績 エ ク \mathcal{O} ス 他 ポ \mathcal{O}] ジ 運 用 ヤ 実] 績 0 ポ \mathcal{O} 測定 1 \vdash 及 フォリ び 評 価 オ 0) IJ ス ク 調

保 有 株 式 価に 対 す うる資 本 . の 配 賦 及 び 総 合的 な 自 己 資 本 0

部 内 適 モ わ係 部 切 七 性 る のデ る す \mathcal{O} よう 評 出ル べ て 力 \mathcal{O} \mathcal{O} 値 修 要 正 \mathcal{O} 確立し 条に 検 \mathcal{O} 証 承 認、 0 そ た経営シ 11 0) 内 て定期的 他 部 \mathcal{O} モ 内 ステ デ 部 ル かつ モ ム、 \mathcal{O} デ 入 独 手 力 続 <u>\\</u> を 及 した見直 構 築する び 審 統 査 制 し過内 機

限 が 設 けられて いおり、 か つ、 株 式 等 エ ク ス ポ Ì ジ ヤ

6

れ

ていること。

ること。 \mathcal{O} を する 適 切 な シ ステム 及び 手 が 設 け 5 れ 7 1

五. 立 個 内 々 ていること。 0) 部 投 モ 資 デ 0) ル 管 \mathcal{O} 理 設 に 計 0 及 V) び て 運 責任 用 に を負う部 0 11 て 責 任 カコ を 6 負 機 う 能 部 的 に が 独

し

って さ 内 部 れ いおり、 ていること。 ル か 0 つ、十 設 計 に 関 分な技能をもった人員 わるす べて \mathcal{O} 部 署 が が 当 + 該 分 部 な 署 能 に力 配を

をいう。 項第三号の「検 派証に関う する基準 と は、 次 に 掲 げ る ŧ

うことを可 を 貫 内 築す 性 部 該 に 七 0 能 過 V ル は、 なら · て 検 程 に 当 び L 証 0 内 該 \Diamond 組 るも て有 合をし 行うシステム モ デ 意義 \mathcal{O} ル で を構 て内 あ ること つ一貫 部 築 が設 する モ デ 性 ル け 6 及 程 あ びれ る 内 7 有 評 部 お 効 モデ 価 性 を 及 行ルかび

すことが オ を 値 工 比較 一回 クス i と 内 IJ て、 オ に ポ L 部 実 以 上、 2 現 モ きること。 当 デ 及 7 t 該 ル び 景 予] に 気 実 未 想さ 績 基 実 循 及 ー づ く 現 び 値 環 株 が 0) を れ 収損益益 含 た 式 範 等 該 益 む 囲 工 組 率 か 可 クスポー 内 \mathcal{O} 5 能 に 推 算 な 計 収 出 限] まって 有 値 さ り ジ す 長 れ る ヤ \mathcal{O} る 期 1] 個 乖 収 \mathcal{O} ること 0) 別 離 益 デ ポ \mathcal{O} \mathcal{O} 率 株] 度 \mathcal{O} タ 卜 式 合 実

フ 次 < 的 オ げ る要 更 証 新 保 件 有 を て する 比 満 たす 切なも を 株 適 式 実 外 切 施し 等 部 な のであること。 観 て クスポー 測] 期間 **,** \ タ ること。 を を包含 用 ジ ヤ て するも] 定 量 \mathcal{O} ポ 的] \mathcal{O} な 丰 で \vdash

- 290 -

百 十八 ス ポ 行 政 庁 変 は 動 第一 額 百十五条第 計 モ デ \mathcal{O} 承 項 の規定に基 基準 づ き、

変動額推計モデルの使用を承認するとき

基準に適合するかどうかを審

査

す

定性的 スポー

基

準及び

定量的

様 Þ な 経 済 的 状 況 を含む長期 に わたるも ので あ るこ

兀 性 前 を持 号に つこと。 げる定 量 的 な 検 証 0 手 法 及 び 用 11 る デ] タ が

Ŧī. 次に掲 げ る要件 を 満た す 内 部 モ デ ル を 見 直 す た 8 \mathcal{O} 明

な基 準を設 内部 モ けていること。 デ ル に . 基 づ < 推 計 値 が 実 績 値 カュ 5 有 意 に 乖 離

た場合 合に おける対 こその 他 処方法 内 部 が モ 設けら デ ル 0 れていること。 有 効 性 が 疑 わ くな 0 た

場

口 造 景気循 的 な変動 環 要因 ぶその の影響が考慮されていること。 他 0) 株 式 等 ークス ポ イージ ヤ] 0) 収 益 \mathcal{O} 構

る タを保 兀 当 該組 半 期 存 収 合 する適 益 0 株 0 実 式 切 績 等 な 値 工 クス デー 及 び 内 ポ タベースが構 部 1 -ジャー モデルに基づく推 -に 対 築され、か する投資 計 つ、 に 値 維 \mathcal{O} お 持デけ

計 値 内 れ 及 部 ていること。 び モ 内 デ ル 部 でボ モデ ル ラ で用 テ イ V) IJ た代理 ´ティ を 変 用 数の V て 適 V る場 切 性 に 合 つ は そ て \mathcal{O} 事推

的

証

る 該 兀 な検 半期 デ ĺ タ ĸ タを 0) 変 予 が 基 換 測 行われていること。 戻した上 一に事 に 関 後 する 的 で保存されており、 な デ 検 ータを異 証 が 行われ なる期間 ていること。 か つ、 0 保 予 測 存 さ に れ 関 た

類 0

るすべての 二百 組合は、 1十八条 内 主 部 モデル 要 な 事 百 及 項 十 び当 を 五. 記 条 載 該 0 內部 承認 た 書類 を受け モ デルを %を整 た 作 備 内 :成す 部 な 格 け る 付 過 れ 手 2程 ば 法 なに 採 ら係

とす る。

2 前 項 \mathcal{O} 定 性 的 基 準 は 次 掲 げ る Ł 0 を 1 う。

定 た 期 工 間 ス ス に 1 わ ポ が 実 る ジ 施 干 さ れ タ 変 7 IJ 動 V 額 る ゲ 推 及 計 び 七 デ 実 際 ル \mathcal{O} \mathcal{O} 取 承 引 認 に デ 先 立 タ を 0 利 7 用

任 工 لح 置 を ク 額 z 負 ス j j れ ポ て 部 1 す 署 ジ が ること。 る 対 以 信 用, 象 下 変 لح 動 IJ な エ 額 ス ク る ク 管 取 削 ス ポ 引 理 減 に 0 手 関 ジ 過 法 程 わ 適 t る 用 \mathcal{O} 部 変 設 後 署 動 計 工 額 か 及 ス 6 0 U ポ 独 管 運 立 営 理 部 ジ

採 工 用 工 ク 組 ス 能 ポ ス 合 な ポ が 限 ジ 保 1 1) ジ 有 ヤ 考 す 慮 変 る さ 重 動 変 額 動 推 額 計 を る 管 ス 七 デ 理 が ル す る 網 を 羅 用 シ 的 ス テ に る 把 内 A に 握 部 さ 格 お 付 れ 1 手 か 法

兀 確 部 に 保 監 口 さ お 査 ン れ V を \vdash て て、 行 オ う ること。 高 部 度な 門 ス 並 部 Ŧ び 門 デ K 必 4 要に 0 な 使 5 用 応じ ず に 習 IJ 熟 ス た ク 管 理 員 オ 部 が 門 + 及 ス び

五. ポ 関 ポ す エ ク る ジ 実 スポ 施 Y 仮 ヤ さ 定 1 れ 変 を 変 上 動 ジ 額 7 口 額 る る 推 関 変 価 計 動 す 格 モ る デ 額 変 分 15 動 ル 係 析 に が るス を 生 0 行 ľ \vdash う た 7 ر ح レ 場 ス 合 将 を 12 来 テ 1 お \mathcal{O} ス う け 価 \vdash る 格 ヘエ が 工 変 ク 動 ク 定 期 ス ス

る 号 \mathcal{O} ス デ ス 式 ス 係 1 るス が 第 1 百 兀 ス テ ス 条 1 0 要 件 九 同 規

七 ス ポ ジ ヤ 変 動 額 管 理 部 署 に ょ る エ ク ス ポ ジ

2 い準 細 るこ に 前 内 わ 項 لح 部 た に る を 統 掲 証制 ŧ げ す に \mathcal{O} る る 関 で 書 £ す あ 類 \mathcal{O} る 0 は で 基 7 な 準 内 け 及か部 つ、 れ び ば 検 デ な IJ 証 ル 5 ス に \mathcal{O} な 関 ク 1 \mathcal{O} す 計 る 定及 基 量 化 そ を に 0 関 澊 運 守 す 用 る L 0 基 詳 7

ば なら な 項 に 掲 げ る 書 類 に は 次 に 掲 げ る 事 項 を 記 載 L な け れ

3

属 IJ す オ 内 る \mathcal{O} 部 株 セ 七 式 グ デ 等 メ ル を ク 1 ス لح 該 ポ 異 七] な デ ジ る ル ヤ ポ \mathcal{O}] 作 1 成 \mathcal{O} フ \mathcal{O} オ 際 用 IJ に 状 オ 用 \mathcal{O} V セ た グ ポ メ 1 1 フ に オ

当 該 内 部 七 デ 12 基 づ < 推 計 \mathcal{O} 手

三 検 証 内 を 部 担当 モ デ す ル る \mathcal{O} 部 作 成 \mathcal{O} 責 内 内任部 モ デ ル \mathcal{O} 承法適 認 及 び 内 部 七 デ ル

五四 等 内 カュ 工 部 内 内 部 部 れ ク 七 るこ デ 七 ス モ ル デデ ポ ル と 作] ル を 成 \mathcal{O} ジ \mathcal{O} 裏 ヤ 手 承 \mathcal{O} 付 認] 法 手 け を 及 続 \mathcal{O} び る に 採 IJ 分 ス ょ 用 析 ク 部 れ L を を ばた 七 含む デ 適 理 ル 切 当 由 £ \mathcal{O} に 該 \mathcal{O} 見 当 判 組 直 别 合 該 が内 す に る 保 部 関 推 有 モ す デ 計 す る る ル 結 株 及 果 び続 が 式

七 第 < 兀 内 内 該 部 的 該 部 項 内 検 モ モ 第] 部 証 デ デ び Ŧī. ス 実 モ 基 ル ル 묽 を 準 デ \mathcal{O} に ル に 作 主 掲 \mathcal{O} 基 な 成 要 げ 基 根 づ な な す る き当 礎 拠 る 変 内 とな 並 手 更 部 該 び 続 履 モ る 変 に 歴 \mathcal{O} デ 更 理 モ 変 及 ル 論 が 更 び デ \mathcal{O} 行 並 直 ル 前 検 わ び \mathcal{O} 近 提 れ 証 にの 推 基 た 当 計 係 検 場 準 に 数 該 証 合 使 及 変 結 \mathcal{O} 用 更 び 果 限 整 لح 変 に L る。 合 数 前 た 基 \mathcal{O} 性 条

デ ル 成 用 利 用 L 本 た 以 評 外 価 \mathcal{O} 対 標 象 期 本 を 間 利 以 用 外 \mathcal{O} た 期 テ 間 ス 及 1 び そ モ

ス テ 百] 変 0 兀 イ 検 動 + 定 ゲ 額 六 に を 係 行 ょ \mathcal{O} る う n 九 レ 工 \mathcal{O} ポ VaR を ス 第 1 ポ モ Š 項 1 デ ジ 第 ル 七 ヤ が バ 号 実 ツ に 変 施 ク 動 規 さ 定 額 テ n 推 す ス 計 る テ V 七 る イ デ ツ ル ク グ 0 テ 正

係 れ る る エ ス 工 損 変 仮 オ ク ク ボ 動 益 想 フ ス ス 1 額 損 を ポ ポ ジ 推 益 ス t う。 計 部 ジ 1 を 七 ヤ 変 デ とエ 比 が 動 ル 用 較 変 変 額 \mathcal{O} す V 動 ク 動 推 るリ 頑 ることによ 額 ス 額 計 健 推 ポ 推 性 ス 計 計 デ を ク ジ 七 七 ル 説 管 デ ヤ デ 13 明 ŋ 理 ル 係 ル で 七 を 変 きること。 12 る 動 デ 用 当 IJ 関 該 額 V 連 ス エ に 推 る クス ょ す 計 場 る 理 ŋ 合 モ フ 論 ポ デ 計 は ル 算 口 損 益 ジ エ

九 独 ポ 該 デ 立 工 検 に 次 ル ジ 号 証 ス 15 t は 口 用 ポ お 次 以 分 変 る な 動 ジ 掲 \mathcal{O} 全 額 能 同 げ 頻 推 力 る 度 を 計 変 事 モ 有 動 七 項 検 デ デ す 額 は 証 を る 推 ル 含むも す に 者 \mathcal{O} 計 工 ること。 設 が \mathcal{O} ク 計 ス 属 七 0) て す ポ デ とす ル] る 運 こ の 承 ジ 部 用 検 認 署 を 証 t 場 時 又 行 部 1 合 及 署 変 は う に び 動 機 部 お そ 額 能 署 工 \mathcal{O} 推 を ク か て、 後計 ス 11 6

イ る切 性 で 検 工 0 あ ク 証 検 0 ス ポ 証 七 て を デ 含 ジ ル IJ ス む が t 仮 ク 定 を 変 が す 過 動 行 る 額 小 わ 分 評 推 n 布 価 計 7 及 モ 1 び て デ る 時 ル 1 価 \mathcal{O} な 評 全 V 7 一価 لح \mathcal{O} 七 を デ 過 ル 証 程 明 \mathcal{O} が 適 す 適

7

証 な 証 を デ 7 化 市 ル う 場 \mathcal{O} 以 検 下 構 証 が 造 含 的 は ま 号 正 れ 確 変 仮 性 お 更 想 か 又 が 的 は な わ ポ ポ 当 構 該 れ 造 る 仮 \vdash \vdash 的 可 想 フ フ 特 的 能 オ オ 性 性 IJ IJ な ポ オ オ 把 構 を 握 成 用 \vdash j す フ \mathcal{O} しい 大 た

> 手 の 続 他 明 変 \mathcal{O} 選 択 \mathcal{O} 適 切 性 を 検 証 す る た 8 0 統 計 的

> > な

当 該 内 部 七 デ ル が + 分 に 機 能 し な < な る 状

九

項 け を 記 を 前 用 条 載 11 第 て な い項 る 第 場 れ +合 ば な は 号 6 に な 掲 げ 項 る 代 掲 理 げ 変 る 数、 書 類 市 場 次 指 に 標 掲 及 げ び る紐 事 付

用 11 当 る 該 代 組 理 合 変 がけ 数 保 及 有 び す 紐 る 付 株 け 式 が 築 整 合 ク 的 ス で ポ あ] ジ t 1 \mathcal{O} IJ ス ク

で 況 ス あ に ポ 代 ること。 基 理 1 づ ジ 変 Ś ヤ 数 ŧ 1 及 \mathcal{O} に U で 関 紐 あ 連 付 る け す は、 か、 る 重 又 要 当 は、 該 な 過 組 適 去 合 切 なの が 経 保 調 済 有 整 す が 状 行 況 る 及 株 わ 式 び れ た 市 等 場 Ł 工 の状ク

ス る ポ代 理 Ì ジ 変 ヤ 数] 及 \mathcal{O} び 潜 紐 在付 的 け IJ が ス ク 当 \mathcal{O} 該 推組 計 合 を \mathcal{O} 頑 保 健 有 な す ŧ る の株 لح 式 等 L て 工

5 正 \mathcal{O} 前 内 条 容 第 及 び 項 第 れ 五 ら 号 \mathcal{O} イ 基 カコ 礎 6 な ま る で 分 に 掲 げ る 調 整 変 換 又 は 修

用 前 11 条 る 第 手 法 項 \mathcal{O} 第 詳 + 号 に 掲 げ る 相 関 を 内 部 干 デ ル に 組 4 込 む 際

変 てル 計 に 値 前 基 \mathcal{O} 条 づ た 乖 第 手 < 離 兀 の項 推 計 度 及 第 合 び \mathcal{O} 手 結 い号 果 法 \mathcal{O} に 比 掲 \mathcal{O} 外 変 較 げ 部 更 及る 履 デ び実 歴 同 績 並 タ項 値 び 第 لح に 内 1 뭉 デ 部 ス に 干 撂 デ 及 げ ル び 比 る に デ 内 基 部 づ タ お モ < のいデ推

いク

認さ オ な用 ヤ れ 変動 7 V て、 V ること。 額 推 発 計 生 モ 可 デ 能 性 0) で 説 あ る構 明 可 能 造 的 で あ 特 るかどう 性 をエ クス か

- ていること。 理変数を使 0 仮 想的 用する場 な ポ 1 合は フ オ IJ 次に掲 才 · を 用 V げ る事 た 検 項 証 が に 確保され な
- (1) 果を算出することを確認すること。 理 変数を 用 11 るリスク・ ファク タ] が 保 守 的 な
- (2)二項第四号ロに規定するべ 重 分に反映さ 主要なべ] れ シス・リスク(第二 て いること。 ーシス・リスクをいう。 百 四 十六条の十 0 七
- 号に 係るレポVaRモデルバック・テスティングの トの結果、 定するエクスポージャー (3)エ クスポ 規定するエク が ある集中 分散化され] 第七 ジ ij ヤ 号に規定するエクスポージャー ス] ス 7 ポ ク 変動 が] な 額推 ジャー 反 V 一映さ 変動 ポ 計 1 れ 額 変動額に \mathcal{O} トフォ 推計 て モ V デ ること。 IJ モ ル ・デルの 検証 係るスト オで生ずる可 結果、 部 頑 署 健性 第八 変動 は ス・ 一号に 額に 第 能 性

+

スクの 12 類 極的 す 理 事 工 管理 る 会等 に関与し 海 ポー 状況を定 外 \mathcal{O} は 取 引に係 適 ポ 切な経営資源を投入すること。 的 形 る取引相手方 式 理 \mathcal{O} 取 引及び 報告すること。 0 信 信用リ H 取 切その スクの 他これ 管 理

号に

規定するモデル

の 検

証

の結果及び取引相手方の信

用

IJ

期

に

事

子会等に

:存されていること。 ジショ エクスポージャー 0) 削減を指示する権限を有すること。 変動 額 の計測の 正 確性を示す記 録

ークス

ジ

変

動額

の管理者

各トレ

ダ

1

十四四 部 が 遵 0) 守さ 方針 エ ク れ ス 管 ポー る 理 及び手 ジャー 0 手段 続 変 派を記載 が 動 講じ 奶額 推計 られ た モデル 書類 7 ること。 が 0 作 運営に 成され、 関 ける内

五. 年 エ に ク ス 口 ポ 以 Ĺ ジ \mathcal{O} t 頻 度で内部 変 動 額 0 監査が行われること。 計 測 過 程 V 7 原 則

3 第 九 九十九パ クス 項 0) ポ 「定量的 1 Ì セントであること。 ジ ヤ 基準」とは 変動 額の推計の ため 掲げるものをいう。 の信頼水準が 片

イ業 は , る期間. 日 口 値を算出する際に、 取引対象資産 以 に 上で 掲 をい げ る取 あること。 . う。 の保有 引の 以下この X 分 当 期 iz 間 該 款に 応じ、 取引対象資産 (エクスポ な 当該 て 同 1 イ 文は を保 ジ ヤ 有 口 が に すると仮定 変 動 定 次 め 0 額 る イ 又 0

ロ イに掲げる取引以外の取引 十営業日

1 工 - タの観 クスポージ 測 期 間 ヤ が、 変動 年以上であること。 額の推計に用いるヒ ス 1 IJ 力 ル

兀 値 目 . を 計 を 工 乗じて ークスポ タをそ 測 た 日 得] 0) たも 各 ジ 数 ヤ カ \mathcal{O} 6 値] 算 変動 \mathcal{O} に 平 掛 出 - 均が 額の推 基 目 準 を乗じて使用 日 まで 計に用いるヒス 月 以 \mathcal{O} 上 期 一であ でする場 間 \mathcal{O} ること。 長さにそ 合は \vdash - リカ 各数 ル 0 掛

には、 デー ものとする。 エ クスポ ること。 タが三月に 当該変動を 1 ジ t 反映するための 以上 変動 市場価格に大きな変動が 額 の推 度で更新さ 計に用 更新及び推計 V るヒ みられた場合 推 ストリカ 計が が 行 行われ われ ル

五.

- 4 必 要と 計 日 認 ょ \mathcal{O} ŋ 8 対 ŧ 象となる取引 5 長 れ る場 間 合 は す で るも 用 保 有期 いられ 0) とす 間 る債 を前 ź。 券 項 0 第 流 号 動 性 に 規 鑑 定 みて す
- 5 営業日 間 近 を適用するものとする を要する場合が三 \mathcal{O} 項 連続する二の四半期の間 連 \mathcal{O} 続する二 規 定 に か 0 か 四半 わら 口 以上生じたネ 期 ず 0 間 算 は に 出 最低 基準 当 該最低保有期間に二十 保 日 テ 有 を 期 含 間 む 兀 半期 超 える清 セ ット \mathcal{O} 前

(計算方法)

後のエ 額 百 れ 一十九条 推 契 計 に 約 クスポ 類 モ す デ 下 る ル] 海 あ を 部 ジ 外 る 用 格 ヤー 複 \mathcal{O} V 付 る場 取 数 手 切につ 額を次の \mathcal{O} 法 採用 合に ポ V 形 は 組 算式により 式 合 法的 \mathcal{O} は 信 取 用 引 に 工 IJ 有 ク 及 算 ス ス び 効 ポ 出するも ク 信 な 削 用 相] 取引 ジ 減 対 ネ 手 ヤ \mathcal{O} 法 ツ テ 適 変 \mathcal{O}

濫 J. N 当該複数のレポ形式の取引 海外の 額 (ただ 取引の信用リ 幣や下回の スク削減 ない値 及び信 # 法 用取引その他 適用 後 Н V が、ボージが [1

ΣEは、当該複数のレポ形式の取引及び信用取引その他これに類する海外の取引のエクスポージャーの合計額

ΣCは、当該複数のレポ形式の取引及び信用取引その他これ 類する海外の取引の担保の額の合計額

(届出)

遅滞 5 組 二百 らない。 合は、 なく、 十九条 次の その旨及びその内 各号の 第二百 1 十五条 ずれかに該当することとなったとき (T) 容を行政庁に 承認を受け た内部 届け出 格 なけ 付 手法 れ ば 採 は、 用

第二 百十 六 第 項 各 号 \mathcal{O} 事 項 変更 が あ 0 た 場

二 内部モデルを変更した場合

は検証 場 リス 合 クの 関 定量 する基 化 に 関す ず る基準、 れかを満 内 たさ 部 統 な 制 に 事 関 由 す が る 生じ 基 準 た又

更 に ! 係る 届 出

第 するも 百 用 そ \mathcal{O} 組 +0 合 条 す 旨 は 及び 第 次 0 そ 百 各 0 + 号 内 五. 0 容 条 第 を ず 記 れ 載 項 か 0 12 た届 承 該 認 当 出 を す [書を 受 る け 場 行 た 合 内 政 部 庁 は 12 格 付 提 遅 出 滞 手

申 請 書 0 記 載 事 項 12 変 更 が あ 場

2

- 合 承 認 申 請 書 0) 添 付 書 類 0 記 載 事 項 12 重 要 な 変 更 が あ 0 た
- 上じた場 第二 百 + に 規 定 す る 承 認 \mathcal{O} 基 準 を 満 た な 事 由 が
- 2 提 合 出 は 前 す 潍 項 るも を満 当 第三 点 該 カュ \mathcal{O} 事 6 た 号 重 由に す 要 な を 規 改 で 定 な 善 す す る 旨 が る 場 当 旨 合 \mathcal{O} 該 説 \mathcal{O} に 明 内 計 お を 部 画 1 記 格 を て 記 載 付 L 載 内 手 た 法 部 書 採 た 格 用 書 面 付 を 組 手 面 速 法 合 又 は Þ 0 採 カュ IJ 用 承 認 ス 組
- 3 るま 合 出 そ は + するも 0 項 九 0) 前 第三 他 条に 間 項 一号に 0 れ は \mathcal{O} とする。 定 書 規 類 \emptyset 工 面 クスポ に す るところによ 定 記載 る す 海 る す 場 外 る事 ジャ 合に 0 取 す項につ ŋ 1 引 お 13 変 動 ポ 倸 て V る 形 額 式 推 て 内 工 ク \mathcal{O} 計 行 部 ス 政 取 七 格 ポ 引 デ 庁 付 ル 0 及 手 に 承 ジ び 法 信 代 認 採 ヤ 用 え を 用

承 認 \mathcal{O} 取

して使用させ 部 合におい 格 付手 + 条 消 法 ることが て、 採 用 行 組 政 クスポ 合 庁 不適 が は 同 当と判] 条第 前 条 ジャー 第 断 項 変動 項 た 定 各 と 額 8 号 き 推 る 計 は 提 掲 モ 出 げ デル 当 義 る 務 該 場 を を 内 合 怠 部 継 又 続 は 格

> 件 逸 脱 時 0 計 画

れ 該 事 十 五. 百 な 由条 <u>-</u>+ ら を な 改 \mathcal{O} 承 条 善 認 す を 前 るた 受け 条 第 \otimes た 内号 \mathcal{O} 計 部に 格掲 画 付 に げ つい 手 る 法 事 て 行 採由 用が 政組生 庁 合じ はた \mathcal{O} 承 認 速合 を B 得 か第 なに け当百

は、 算い 認 を 得 出 て 前 L 株 当 項 な 式 る 該 に け 等 事 ま 規 由をす n 工 で ば ク 0) ス な 間 改 る 6 ポ は 善 場 な す 合 ジ る 内 に ヤ 部 旨 お モ \mathcal{O} 1 て、 デ 計 0 ル 信 画 手 当 用 \mathcal{O} 法 IJ 完 該 に ス 了 内 代 ク に部 えて 0 格 T 付 セ 簡 て 手 ツ 易 法 手 政 採 法 0 庁 用 額 を の組 を用承合

承 認 \mathcal{O} 取 L

た 場 を用 算 1 百 出 て 合 <u>二</u> 十 す 株 に 式 ること お 等 条消 V て、 工 が ク 行 不 ス 内政 ポ 適 部 庁 当 1 格 は لح ジ 付 判 ヤ 手 次 断 1 法の \mathcal{O} 採 各 た 信 用 号 とき 組の 用 IJ 合 は ス がず 内れ ク 当 部 カコ 該 T \mathcal{O} 内 セ デ 事 部 ツ ル 1 手 が 格 付の 法 生 手額を

付手法採用組合について第二百十五条第一項の承認を取り消

すことができる。

化 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ 0 信 用 IJ ス ク T セ ツ 1 0)

略

第二百二十四条の四

2

3 証 ポ 券化 ジ ヤ ジ 証 券化] 項 工 ヤ ク \mathcal{O} に ス エ 名 \mathcal{O} ク 目 ポ 額 ス 額] を ポ ジ 当 t 出 オ ジ 該 す フ ヤ る 各 \mathcal{O} バ 号 区 に に定 分に当た ラン 額とする。 んめる掛 応じ、 0 ス て 資 は、 産 当 目 項 を 該 次 目 乗 証 \mathcal{O} 券 各 じ 証 化 号 て 券 に 得 化 工 ク 掲 た エ 額 スげ ク ポ る ス

うち未 適格なサー 実 行 部 ピ サ 十 キ] ヤ ツ セ シュ・ アド バ ン ス \mathcal{O} 信 用 供 与 枠

4 5 略

化 ょ 付 部 る裏 クス 手 格 法 付 条 ポ 手 に 以 資 より] 証 下この 産 オ による裏 券 算 ヤ 化 フ・バラン 所] 出 条及び次条において同 要 さ で ク 自己資本率 付 れ あ ス 資 る場合 る所要自 ポ 産 ス資産] \mathcal{O} ジ 所 に ヤ には、 要自 己資 項目に (K_{IRB})] が 己資 前二条 IRBプ 本 0 係 は、 額 る \mathcal{O} 1 期 に ク 付 内 ル 部 資 待 ス 0 ポ 損 産 係 失 7 1 \mathcal{O} 付 る 内 額 ジ 工 手 証

> とき。 は 採 第二百 IJ 検 用 ス 証 組 ク 合 \mathcal{O} 0 + す 定 八 んる基 条 量 百 に 化 +掲 準 に 関 げ 0) 五. す る 書 ず る 0 基 承 れ 類 準、 か 認 を を満 を 作 取 内 成 たさな 部 L 統 な 制 カコ 0 12 事 た 関 場 由 す が る 合 生じ 基 又 潍 は た又

備しなかった場合

証 券 化 エ ク ス ポ ジ t 0 信 用 IJ ス ク T セ 1 0

二百二十四条の四 [同上]

2 [同上]

3 を当該 ポ 証 ポ 券] 化 ジ ジ 証 ヤ エ ヤ 項 クス 券化] 12 \mathcal{O} \mathcal{O} お 工 名 ポ 額 ク 目 1 を ス ジ 額 ポ ヤ 出 オ する 1 当] 該 \mathcal{O} ヤ 各 区 に バ ラン 号 当 分 \mathcal{O} にた に 額とする。 応じて、 って 定 ス め 資 る掛 は、 産 項 当 次 目 目 \mathcal{O} 該 を 各 乗 証 証 じ 券 号 化 に て 化 掲 ク げ た ク スる 額

0 うち未実 格 になサー 行 部 ピ サ 分 零 丰 t] ツ セ シ ュ アド ス 0 信 用 供 与

二 [同上]

[4・5 同上]

部 內 スポ によ 格 化 百 付 を 部 含 る ク 手 格 ス ジ 法 付 条 付 ポ 手 12 以 資 法 ょ 1 証 下この条及び次条において同 オ ŋ 産 による裏付 券 算 \mathcal{O} ヤ 化 ヘフ・バ 所] 出 要 であ ク 自 ラン れ ス 己資本 る ポ 資 る 所 場 産 ス資産項 1 要自 合 \mathcal{O} ジ 率 所 t 要自 (K_{IRB}) 己 は] 資 目 が 前二条 本 IRBプ に 0 係 は、 じ。 額 期 に ク 付 内 部 待 ス 資 0 ポ 産 損 11 て 1 \mathcal{O} 付 る 工 手

3 2 2 は、 を受けようとする内 額 を 九 原 承 条 百三十 **(**) び 百三十 第 」という。) - {七 · う。 する事 名 称 資 次に掲げるも て得た値を小数で表したものとする。 及 前 一項 認 3 認 信 号の \mathcal{O} び 産 申 用 基 第 IJ ブ 略 次 Ł 請 七 略 0 監 略」 条の 条にお 兀 1 業部門か ス 略 条の三 準 書 内内 査を行 認申 項 0 ク・ア ル を、 及び 提 \mathcal{O} 部 - 請書 当該 延 \mathcal{O} 出 いて「裏付 評 第七 う者 滞 を 5 部 セ 内 価 を 独 格 率 裏付 1 略 部 制 頃に う。 Ĺ が 立 行政庁に 付 度 評 (W)) して 手法採 0) 0) 価 資 組 おい 資産 額 設 産の 方 合内 V) 式 0 計 て同じ。 ること。 提出するものとする。 エクス 用 \mathcal{O} 八 及び \mathcal{O} 0) 所要自 組 使 用 パ 組 顧] 運 客 は、 につ 用 ポ セ 対 ント (T) に 己] 応 関 資 次に掲げ V ジ 合計 及びABCPを担 する基準 7 ヤ 本 を 前 0 合 額 額 計 条 0 以 る \mathcal{O} 総 \mathcal{O} L 合計 下こ 額で 事 承 た لح 項 認 3 2 第 クスポ 同パ及 2 2 \(\)
8 す 所 「九・十 要自 原 る。 ľ] 当する営業部門 百三十七 承 承 び 百 同 同 5 認の 信 資 前 3 商 認 セ 同 号の 上 産 Ŀ 号 申] 己 ン 用 七 \mathcal{O} 基準) 同上 資 ブ 上 トを合計 リスク・アセット 請 ジャー 七 同 合計 本の 条の Ì 同 監同 書 上 条 Ŀ ル 上 0 査 \mathcal{O} 額 \equiv を行う者 提 額 \mathcal{O} の総額で除して得た値を小数で表 か (以下この 延 の合計 出 6 滞 た額を 率 独 同 同 額」という。) 立していること。 が 上 上 0 いう。 条及び 組 額 合内 に · 第 次条にお 四 顧 項 を、 六 客 及び を 対 当該 乗じ V 応 第 . T 及びABCPを担 「裏付 裏 七 L 付 項 たも 資 に 資 産 お 額 産い \mathcal{O} \mathcal{O} エのて八

百 兀 産 百 ル 兀 成 第 す る 項 工 0 ク 原 ス 資 ポ 産 ブ ジ] t ル] 0 0) 延 j 滞 率

れ 額 げ を、 +== る る 値とす 事 条 原 由 資 \mathcal{O} 第 産 V ず 項] に れ か 規 ル が 定 発 エ す 生し ク る ス 延 ポ た滞 場 工 合 ジ ク ヤ \mathcal{O} ス エポ 0 ク 総 ス ジ 額 ポ t で] ジ 及 除 ヤ L び] 次 て 得 \bigcirc に

一~三略

証 券 化 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ 1 に 適 用 す る IJ ス ク ウ エ イ 1 0 上

とが ス を 常 ポ 区 ず 百 で] 分 に を 兀 た応 'きる。 ジ 把 + 優 ヤ 握 先] じ 証 、ること 12 を保 券 当 適 組 化 該 用 合 有 工 が さ 各 は す ク 号 できるとき れ る場 ス るリ 第二 に ポ 定め 合] Ź 目 で ジ ク • る カュ あ t 値 は 6 0] ウ を当 前 て、 エ 次 再 目 イ 該 のそ 証 ま \vdash 最 各 \mathcal{O} で 優 \mathcal{O} 号 裏 \mathcal{O} 化 上 先 に 付 規 工 限 証 掲 ク 定 資 لح げ 券 産 ス に す 化 る \mathcal{O} ポ カュ エ 場 構 る カコ ク 合成ジわ

ヤ を さ 出 当 れ 乗 化 さ 該 れ \mathcal{O} じ る 工 最 て得 クス 信 る 当 額 優 用 該 で 先 IJ 額 除 ポ 裏 た 証 を ス 付 額] 券 ク 加 資 7 \mathcal{O} ジ 化 重 産 得 合 ヤ 工 ア 平 た \mathcal{O} 計 ク セ 均 全 割 額 で ス ツ 合をリ を当 あ 7 ポ \vdash た \mathcal{O} る 1 0) IJ 該 場 工 ジ 額 ス ク ス 最 合 ヤ ク ス ク 優 1 期 • ポ 先 前 が 待 ウ ウ IRBプ 証 章 損 エ 券 ジ エ 0) 失 規 ヤ イ 化 0 \vdash 工 定 1 額 とし に ク を ル に ス ょ 対 + --に ポ 象 ŋ 7 係 使 1 算

一 [略]

当 該 最 優 先 証 券 化 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ 1 が 混 合 ブ 1 ル に 係 る

> ジャ 及 \mathcal{U} 兀 百 Ì 十 二 次 兀 \mathcal{O} に 掲 総 額げ 第 る事 を、 資 項産 原由 に 資 \mathcal{O} 規 百 ル 産 定 V 兀 を ず す プ + 構] れ る 条 成 ル か 第 す が月 0) る 工 発 以 項 エ 生 ク 上 0 ク ス L 延 原 ス ポ た 滞 資 ポ 場 工 産 ジ 合 ブ ジ ヤ \mathcal{O} ス] ヤ エポ ル ク 0 ス 総 ジ 延 う ポ 額 ヤ 滞 率 で

一 〜 三 同上]

除

て

得

5

れ

る

値

とす

る

証 券 化 工 ク ス ポ ジ ヤ 1 に 適 用 す る IJ ス ク ウ エ イ \vdash \mathcal{O} 上

ことが ク \mathcal{O} を 7 ず、 常 ス 区 百 ポ 分 に を 兀 最 で] に 把 除 + 優 きる。 応じ ジ 握 先 ヤ す て、 証] ることが を 券 に 組 保 化 当 適 合 有 エ 用 該 は、 す ク 各号 できるとき さ る場 ス れ ポ る に 合 1 定め IJ 目 で ジ Ź カュ あ t ク • る は 6 0 1 値 前 て、 再 を当 ウ 次 目 エ \mathcal{O} そ ま 証 1 該 各 \mathcal{O} で 最 1 号 裏 化 \mathcal{O} \mathcal{O} 優 に付 工 規 上 先 掲 ク 資 定 げ 限 証 ス 産 る لح 券 \mathcal{O} ポ カコ す 化場 構 Ì カコ るエ合成ジわ

IJ 額出 ス ク 該 証 と期 「 さ れ ス 最 ス 券 当 ク ポ 化 該 ウ る 先 待 工 最 ウ クス 工 信 ジ 証 損 優 工 失の見 1 ヤ 券 先 イ \mathcal{O} ポ 1 化 証 ス 額] を 工 券 لح ク • 対 ク に ジ 化 +=-象 ス ヤ エ ア に ポ] ク セ 使 算 で ス ット 用 出 ジ 五. あ ポ さ ヤ を る 1 \mathcal{O} て、 乗 場 れ] ジ 額 \mathcal{O} じ 合 る 当 ヤ に 額 7 金 該 得 で 額 裏 前 が 除 を 付 た 章 \bigcirc IRB 額 \mathcal{O} 加 資 六 規 重 産 て \mathcal{O} ブ 得 合 定 1 \mathcal{O} 乗 ľ 全 た 計 に 均 ル 割 7 ょ L 7 額 に 合 得 ŋ た \mathcal{O} を 係 当 工 を た 算

二 [同上]

該 最 優 先 証 券 化 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ が 混 合 ブ 1 ル に 係 る

ア 5 方 第 あ 計 セ 式 を を \mathcal{O} 割 対 使 0 ツ に を 額 化 象 用 7 合 を \vdash あ 条 用 エ 当 を 第 に は ク L \mathcal{O} 0 VI IJ た場 算 て 第 該 額 七 る ス 出 兀 ス 最 لح は ポ ク・ 優 さ 合 章 期 前 合] \mathcal{O} \mathcal{O} 先 待 章 れ ウ 当 規 損 1 当 る 証 \mathcal{O} t 工 該 定 失 規 金 券 及 該 イ 裏 額 に 化 \mathcal{O} 定 び 裏 で 1 により算 を 付 額 に 口 付 工 あ として 資産 加 ク ょ に 資 ŋ +=-ス ŋ 掲 重 産 平 0) 出 ポ 算 げ \mathcal{O} 組 使 全て 「さ れ 均 1 出 る エ 合 用 五. ク L さ が し、 た 0 る を れ 件 ス ヤ 内 ij IJ 工 そ 乗 る ク ス ス れ \mathcal{O} じ 信 全] 格 ク ス ク 以 額 用 て て 付 • ポ 得 IJ 外 で を t 手 ウ] ウ \mathcal{O} 除 た ス 満 法 ク • ジ エ Ł 額 た \mathcal{O} 工 L 準 す う ヤ 1 て \mathcal{O} \mathcal{O}

適 四十 格 STC 条 証 券 の <u>-</u> 化 工 ク ス 略 ポ ジ ヤ 1 \mathcal{O} IJ ス ク ウ 工

2

百

3 げる要 ス ポ に 及] 確 一項 認す ジャ び 件 再 0) 0) 証] ることが 全 券化 一てを満 適 (次条 格STC証 エク 第 できる たすことをオ ス 二項 券 ポ 各号に 化 資 ジ 工 産 クス ヤ 注譲] リジ 渡型 掲 ポ を除 げ] る 証 ネ ジ 証 券 ヤ 券化 化 タ _]] 取 を 工 引 及 لح こは、 ク 12 び う。 ス 投 係 ポ る 資 次 家が 工 に 1 ク ジ 掲

5 九 略

資産 資 兀 産 原十 兀 第 を 資 章 事業用 確 産 項 定 \mathcal{O} 規 第 す 力 定 不動 る ツ に 号 基 1 より 及 産 準 才 関連 C_{i} 日 フ 算 第 を 日 出 工 1 (証 される原 号に . う。 クスポージャ 券 お 次 化 1 号 目 資 7 並 的 産 同 び 導 0 ľ] に 管 IJ で 第 体 ス は に ク・ウ に なく、 百四 譲 お 渡 す て、 カュ 1

> + = -資 ŋ L ŧ 5 方 加 ス ア 証 て 産 ポ 第 セ 式 \mathcal{O} 平均 出 使 に \mathcal{O} 1 ツ を 化 され \vdash 条 全 用 ジ 五. あ 用 工 ての L を L ヤ \mathcal{O} 0 第 11 ク 乗 たり る 1 額 て ス 七 る エ IJ そ じ \mathcal{O} に は + ポ ス ク ス 額 れ 7 前 ク ク ス 以 得 号 で 章 ポ • 外 除 た \bigcirc \mathcal{O} 1 当 t ウ ウ 0) 額 及 六 規 L 該 エ ジ 工 ŧ て 0 を 定 び 裏 で イ ヤ 1 得 合 乗 口 付 0) に あ に た 計 \vdash じ ょ 12 資 ŋ 割 を使 あ ŋ 掲 額 て を 産 って を当 対 合 得 算 げ \mathcal{O} 組 をリ 用 象 た 出 る エ 合 額 に は 該 さ ク L が 算 た 第 ス 最 ス と れ 内 場 期 出 兀 ク 優 る 部 先 さ 合 章 待 信 全 れ 0) \mathcal{O} ウ 証 損 用 付 当 規 エ IJ る 券 失 t 丰 1 \mathcal{O} ス 該 定 化 法 金 ク 裏 に \vdash 額 た 額 工 \mathcal{O} 準 付 ょ لح ク に す う

同 上

第 適 百 四十三条 格 STC証 の 二 券 化 工 ク ス 同 上 ポ ジ ヤ 0 IJ ス ウ

2 同 上

3 同 上

5 同 上

-+ 条 原 原 資産 0) 資 兀 か 産 原十 第 を が 資 確 産 不 第四 項 定 \mathcal{O} 動 第 す 産取 力 章 る ツ \mathcal{O} 基 号 得等 1 規 及 準 才 定 び 日 フ 事 に 第 を 日 · 業 ょ 11 ŋ 向 号 う。 証 算 け に 券 出 工 お 次 化 さ ク V 号 目 スポ れ て 並 的 る 同 び 導 原] に 管 資 ジ 第 体 産 ヤ に] 百四 リスク お では 渡 +す

1

次のイ 合にあ らハまでに から って 用 IJ 定 ス ハまでに \emptyset ク 当 る 要 該 件を 効果 掲 手 げ 法 満 \mathcal{O} る 0 勘案後 たしていること。 原 効 **冰資産** 果を勘 のリスク・ウェ 0) 種類に 案することが に応じ、 イト) 当該 できる場 イか

あ 重 不 エ ること。 イトを原資産のポ 動産向けエクスポ¹ 平均して得たリスク・ウェイトが 己居 住 用 不 動 産 | |-1 ジャ 向 けエ フォリ] クスポ 個 -が四十パーセント以下でオにおける金額により加 々の 原資産 のリ 又 は スク・ウ

資産のリスク・ウェイトが クスポー 中 堅中小 ジャー 企 一業等 (イに該当するものを除 向 け エ クスポ 七十五パー ージャー セント < 0 又は 以 下であ 個 人向 個 々 るこ \mathcal{O} け 原エ

<u>二</u>+一・二十二 略

適 格 短期STC証 券化 エクスポ 略] ジ ヤ] \mathcal{O} IJ スク・ ウ エ イト)

2 二百 兀 十三条の三

3 る要 前 7件の全てを満たすことを 項 各号 の「トランザクションの いう。 適 格 要件」とは、 次に 掲 げ

二~十五

衆を勘 クスポ れ る当 後 権 IJ 案することができる場合にあ 該 1 \mathcal{O} ジャー ス 債 取 ク・ウ 得 0 日 では IJ に エ スク・ウェ お イト)が、 なく、 11 て、 カゝ 当該 イト つ、 次 債 \mathcal{O} 第 信 兀 権 1 っては 用リ 章の が カン 5 事 スク 規 業 定に 用 ま 削減 でに 当 不 ょ 該 動 効 掲 手 ŋ 産 法算の出 げ 果 関 0 る 連

> <u>}</u> ウェ 該イからハまでに きる場 が、 1 合にあ \vdash 次 0 イからハまでに掲 っては、 用 リスク 定 め る要件 当 削 該 減 効 手 を満たし 果の 法 げ 0 る原 勘 効 案 果 資 てい を勘 後 産 のリスク・ウェ ること。 案することが 種類 に 応じ 当 1

フ] 工 オ イトが四 抵 リオに 当権 個 々の 付 十パ おける金額により加重平均して得たリスク・ 住 原資産 宅] セ ント以 のリスク・ウェイトを原資 又は十分な保証 下 であること。 が 付さ 産の れ た住 ポ 宅 口

 \mathcal{O} ポ IJ] スク・ウェ ジャー 小 企業 (イに該当するものを除く。 等 向 イト け 工 が クスポ 七十五] パ ジャー又は] セント 以 個 下であ 人向 個 け ること。 原 工 ク 資 ス 産

同 Ŀ

<u>二</u>+一・二十二 同 上

第二百四十三条の三 (適 格短期STC証 券化 同 エクス ポ] ジ ヤ \mathcal{O} IJ スク・ ウェ \vdash

2 同 上

3 同 上

+

十六 算出 向 け 0 0 つされ 勘 効果を勘 工 案後 ク 権 る当 スポの同 \mathcal{O} 該債 1.案することができる場合にあって IJ] ス ジ 日 ク・ 権 ヤ に ーでは \mathcal{O} お ウェイト) リスク・ウェ て、 なく、 当 該 が、 カュ 債 イト つ、 権 次 が \mathcal{O} 第 信 匹 不 1 章 か 用 IJ \mathcal{O} 産 は ス 規 取 定に ク 得 ま 削 当 で 等 該 に 減 ょ 事 手 掲 効

潚 た 該 L 債 て 権 11 \mathcal{O} ること。 種 類 に 応 ľ 当 該 イ カコ 6 ま で に 定 8 る 要 件 を

ス ポ 当 不 該 動 自 債 産 1 ウ 権 フ 向 居 を含 エ オ け 住 IJ 1 工 用 1 む。 オ ク 不 が に ス 動 兀 お ポ 産 0 -十 パ ける金額 等 リノス ジ 向] t け ク・ウ セント以] 工 に ク より 個 ス エ Þ イト ボ 下であるこ 0) 加 重平 ABCP · を 当 ジ ヤ 均 該 1 して 裏付資 又 裏 は 付 得 賃 た 産 産 IJ \mathcal{O}

ること。 該 債権 ス 中 ポ 堅 0) 中 IJ ジ 小 ヤ ス 企 ク 業 等向 (イに該当するものを除く。 ウ け エ イトが七 工 クスポ 十 五 ージ ヤー パ] 文は セ ン 1 個 以 個 人 下 Þ 向 で \mathcal{O} け 当 あ 工

ハ [略]

4 略 券 化 エ ク ス ポ 1 ジ ヤ 1 に 対 す る 信 用 IJ

ス

ク

削

減

手

法

 \mathcal{O}

適

に

係

る総

則

る ス 場 テ ポ カコ IJ 百 合の す 5 ス イ 1 兀 ・ブに 提供 ること ジ ク + 区 ヤ 兀 ア さ 分に応じ ょ 条 セ る信 が れ ット る担 できるも 対 組 用 L 合 0) 保 IJ て が 当 額 を含む。) による 提 ス 保 該 を算出する \mathcal{O} ク 供 有 各号に定 とする。 され 削 す á 減 る保証 効 証 果 券 め に 0 化 る担 当 ほ 又 か は 信 エ た ク 用 保 クレ IJ ス 7 (証 ス 次 ポ は ジ ク 0 券] 削 各 化 ツ 証 ジ 号 \vdash 減 目 券 Y 12 効 的 化 1 果 導 掲 デ 工 \mathcal{O} 管 げ IJ ク を 信 第

 \vdash \mathcal{O} · 掲 げ 該 出 証 券 当 担 化 工 ク ス 内 ポ 部] 格 ジ ヤー 付 手 法準 に 適用 拠 方式 す んるリ を 用 ス 1 ク る 場 ウ 合 エ 1

1 「略」

件 げ を る 満 当 た 該 し 債 て 権 ること。 種 類 に 応 ľ 当 該 1 カコ 5 ま で に 定 8 る

る ス] 金 ク ン • セ 額 当 ント ウ 個 に 権 ょ 工 々 付 ŋ 1 0 以 住 下で ABCP 加 1 宅 を当該 重 口 平均 あ 0 ること。 ン 裏付 して得 裏付資 又 は 資 + 産 産 た 分 リ **当** \mathcal{O} な ス 保 ポ 該 ク 証 債 1 が 権 ウ フ 付 を エ 才 さ 1 IJ n 1 オ が に 住 兀 お \mathcal{O} 宅 +け 口

権 ポ 中小] 0 ジャー IJ ス 企 ク 業 等 7 ウ 向 に け エ 該当するものを除 イ エ ク \vdash スポ が 七 十 五] ジ パ ヤ]] セ 又 は \vdash 個 以個 人 下 向 々 で 0) け あ 当 エ るこ 該 ク 債 ス

ハ [同上]

4

同

上

用 証 に 係 券 る 化 総 工 則 ク ス ポ ジ ヤ 1 に 対 す る 信 用 IJ ス ク 削 減 手 法 0

る場 管 を バ ス 用 テ ポ 勘 体 IJ 百 カゝ 合 イ] ス 兀 5 \mathcal{O} ブ ジ ク すること + · ア ĺZ ヤ 提 X 兀 供 分に 1 ょ 条 セ る信 さ 応じて、 ツ が れ 対 組 \vdash る担 できるもの 用 L 合 0) IJ 7 が 額を算 提供 保 スク 保 当 を含 有 該 削 さ す 各号に 出するに当たっ とする。 む。 れ る 減 効果保 証 じに 券 定 証 0) 化 よる 8 又は ほ エ る担 信 ク か ク ス 用 7 保 次 IJ ポ は ス 証 \mathcal{O} 1 ク 券 各 ツ 証 ジ 削 化 号 1 券 ヤ に 減 目 化 デリ 効 的 掲 工 \mathcal{O} ク 導げ 信

イ [同上

同

上

口 産 第 担 百 + 条 第 五 項 規 定 す る 運 用 要 件 を 満 た す 適 格

略

2 に 削 上 を る リス る。 関 ス 対 管 0 \mathcal{O} 付 0 格 証 减 \mathcal{O} あ 手 ポ 連 信 に る 付 L 体 信 与 は 規 兀 この ク削 用リ して よる 化 つて 提 る 定は 会社 0) 用 「組 手 法 を 法 法 \mathcal{O} 除 IJ は が 第 人等 合 場 ク は \leq ス 「第 採 供 を ス 減 **,** \ 信 六 残 合に 前 るも 一工 手法 ク 用リ 用 ス 含 ク さ 存 節 と、 九 向 ポー 項 区 区 組 む れ 期 並 · 八 条 ク と、 け おい 0 + 分に 分に 合」とあ と の」とある ス て 間 を び 第 ス 第 工 規 九 勘 ク 11 0 に 九 第 ポ 百 条、 ク あ 定 て、 同 る 対 対 削 ヤ 異 案 十七 第 ス Ŧī. に る] 応する格 応 場 な す 減 百 より 項 条 第 ポ 同 る 第 易合にあ \mathcal{O} する 0 る る当初 効 中 ヤ 中 条 節中 百 1 0 は 0 兀 複 十 ŧ 果 第二 1 保 「エ ジ は は 格 項 0 数 を 八 前 条」 関 \mathcal{O} ヤ 「内部 証 付を付 適 「標準的 付 及 とする。 0) 勘 0 \mathcal{O} クス 号中 条 条の規 残 連 又] を付 案す U て 時 証 第 لح 存 会 格 は 第五 は、 点 券 読 ポ لح 格 期 社 格 与 与 に 適 る場合 化 項 み替えるものとす 付手 定 間] 手 あ を含み、 付 レ 次 項 L L 残 お 法採 に エ ジ 格 る 機 ジ 条に てい てお 中 存 ク ヤ 第 か 格 法 0 関 ツ て、 期 ス] に 兀 0 付 か 用 は 採 が 1 第 お るも ŋ 間 ポ 信 証 わら 0) 機 0 項 用 組 九 3 1 券 3 デリ が 残 関 合 及 証 組 用 て か こず、 券化 化 最 ジ IJ 存 が 7 び 合 同 九 <u>ニ</u>と ヤ ス 期 目 2 3 格 لح 準 バ 第 Ł 条 ľ 内 ク 間 的 以 信 あ テ 以 用 長 五. 2

4 3 を除 百三 $\overline{+}$ ま 条 での 第 規 項 定 た は 第 書を 項 第 除 号 口 か に 係 第 る部 \pm 項 分 第 兀 限

口 第 百 三十 条 第 兀 項 に 規 定 す る 適 格 資 担

同 上

会社 用リスク あ ジ \mathcal{O} 法 法 第 化 て 法 る を 用 ク る \mathcal{O} は エクス 削 とす ヤー 人等 採 百 提 除 リスク区 場 る が \mathcal{O} て 組 信 第 前 三 十 . を 含 合に **\ 0) 用 供 残 は 減 合 用 兀 るも 項 され こ と、 「エ 手法 る 組 存 IJ は 向 章 کے -八 条 ポー \mathcal{O} لح 区 合 ス け 期 む お 第 ク 規 第 . 分 に _ ح 分に を勘 工 ク 六 て 間 V 第 とあ ス 第 同 第一 定 九 削 ク ジ \mathcal{O} 節 V 九十 ポ 百 あ とある に 条 案す + ヤ 対 ス る 対 異 減 並 第 る より 1 五. 項 中 応す 心応する 九 る] ポ 場 な 同 効 び 条中 七 ジ 条、 兀 \mathcal{O} 0) Ś 0 合 る 節 果 に ヤー 条第二号 項 保 は は 0 Ś 前 ジ Ł 当 を に 複 中 第 第 中 一五 は 証 関 内 初 格 ヤ 0 格 あ 勘 数 百 条の \mathcal{O} 又 百 適 付を لح 付 0) 標 0 0 案する場 クス - 部格 連 第 しする。 残 は を 時 て 証 準 規定 には、 中 لح 存 숲 格 条 九 クレ 付 点 付 券 的 八 社を含 期 ポ あ 格付機 適 + 付 与 与 化 に 条 手] 第 九 に 間 ジ る 手 次 してい して 残 合 工 お 法 第 格 ジ 百 条 条 \mathcal{O} 法 か ツ ク V 存 採 に 格 ヤー み、 か 関 か 採 1 は に お て、 ス 期 用 0 項 \mathcal{O} 付 条 わら が 6 用 お るも ŋ 間 ポ 組 11 及 信 証 デ 証 \mathcal{O} 機 組] 4 て لح 券 が 用 残 券 4 関 合 IJ び ず、 百 合」と、 カコ 7 <u>の</u> 読 化 最 ジ IJ 化 が 準 バ 第 存 同 つ、 4 内 ŧ ヤ ス 2 格 用 テ 兀 工 3 条 目 期 と、 じ。 <u>)</u> 替 ク 部] ク 以 的 信 あ す 項 長 以 付 ま 間 る。 削 上 ス に る え 格 導 用 上 を ブ 0 ポ と 事 付 証 対 管 関 \mathcal{O} IJ に 規 減 0 付 لح 業 丰 あ 体 連 信 ス信 与 ょ 定

4 3 同 上

に 限 る。) 百 三十 \mathcal{O} 規 条 定 第 に 兀 ょ 項 n \mathcal{O} 適 規 格資 定 は 産 担 第 保 に 項 ょ 第 る 信 用 号 IJ 口 ス 12 ク 係 削 る 減 部 効 分

人等向け 定 0) る場合」 採 す 中 \mathcal{O} る場 とする。 ス 用 規 ポ 基 ポ 組 定 とある 礎 合に 合 工 1] たによ とあ 的 ク ジ ジ スポー と 内 ヤ t ŋ 0 る 部 1 1 適 は 0) 格 て 格資産 (劣 人等向 前 付 は ジ 準 証 項 後 手 用 ヤ 券化 \mathcal{O} が 又 債 法 す 担 け 規 設定されて 権を ・」とあ 採 る。 は適格 保による信 エ 工 定 用 ク ク 除 組 ス いるのは ス か \mathcal{O} 合 ポ ポ 金 カ 場 融資産 わ V 合 用 ジ ジ 6 あ る 12 リス ヤ 証 場合」 ず ヤ る な 券化 しある 担 \mathcal{O} 保 ク 事 は て と と読 が設 削 業 0) ークスポ 内 減 法 は 定され 債 み 部 れ 効 権 事 証 等 格 果 5 業 券 向 付

> スあ化け三果ポるエエーを 替 えるものとする。 ー の ク ク ジ は ス ス _ 勘 条案 4「内部格4人ポージャン 不第四項: ヤ] とあ 中「第二項 合につい る \mathcal{O} は 7 \mathcal{O} 二証 準用 規定に 券化 す る。 と、対 < 工 か 部 ク こ の カゝ ス 格 わ 事 ポ 付 6 場 業法とあ 業 ず、 合 ジ に る事 採 ヤ お 等 用の業 向組は法 て、 لح け 合」 読 証 等 第 工 みクと券向百

第六 章 \mathcal{O} C V A IJ ス ク

節 総 則

С V Α IJ ス ク 相 当 額 0 出

第 百 兀 С + V 六 A IJ 条 \mathcal{O} Ź ク 相 組 当 合 「額を算出するものとする は С V 力 取 引を有 する場

を削 る。

を削

る。

章 節 算 出 方式

\widehat{C} V Α IJ ス ク 相 当 \mathcal{O} 出

第二 百 兀 +六 条 \mathcal{O} 組 額 合 は算 次 節 に 定 8 る 準 的 IJ ス ク 測 定

する派生商 方式 を用 品 取引に 次 0) 各号 係るC に V 掲 げ Aリスク相当額 る者 以 外 の者 を算出 を取引 L 相 な 手 ,方と け

ばならな

あって、 中央清 組合が 算 次 適 格中 に 機 掲 関 央 げ る要件 清算 機 関 \mathcal{O} 全てを \mathcal{O} 間 接 満 清 たす 算 参 取 加 引 者

であ

に

係

る る

清

直場

接合

算参加

者

加 一を防 者 間 が 次 接 いぐため 清算 E 講じてい 掲げ る場 \mathcal{O} 加 方策 ること。 者 合 \mathcal{O} を に 1 適 お V 格 け る 中 K 間 央 清 接 工 清算 算機関又 ク ス ポ 参 加 1 は ジ 者 直 \mathcal{O} ヤ 損 接] 清 失に 算 \mathcal{O} 2 発い

- (1) 合 直 接 清算 参 加 者 が 債 務 不 履 行 又は支払 不 能 لح な 0 た
- (2)0 他 \mathcal{O} 合 間 接 清 算 参 加 者 が 債 務 不 履行 又 は 支払 不 能 لح
- らく他 お る ĸ 間 た場 V 央 直 ド 接 清算 て 清 工 0) 接 クス 算 清 工 直 機 ク 接 算 ス 清 間 関 参 ポ 加 算 ポ 接 \mathcal{O} 加 者 清 者 清] が ジ 加 算 が ヤ そ 者 債 1 ヤ 0) 1 又 加 加 務 適 は 者 係 者 不 格 とし 履 関 適 が る 中 格 追 行 清 央 す の契約 中央清 又は 加 て 算 清 的 取 \mathcal{O} 算機 資格 支払 な 次 ぎ等 負 を 算 関 継 機 担 不 を に 失 を委 関 能 続 を 対 又 す 0 す 当 た は る ょ 託 る 場 ŋ 承 該 1 合 適 継 て

- 306 -

2 前 を削 項 \mathcal{O} る。

これ 時 に 価 引 評 類 相 す 価 手 る海 \mathcal{O} 方 V 対 外 象 す Α と 0 る 力 取 な 派 引 る 生 レ 商 取 重 ポ 品 引 要性 形 取 式 引 0) が 又 は 低 取 は 引 組 次 V 及 E Ł 合 0 び 掲 \mathcal{O} を 信 財 げ 除 用 務 る 者 会計 取 引 以 そ に 外 を \mathcal{O} お 0 者 他 1

適 格 中 央 清 算 機 関

算 参加 って 組 合 者 が 次 適 í 格 掲 中 央清 げ る 要 算 件 機 \mathcal{O} 関 全てを 0 間 接 満 清 たす 算 参 取 加 引 者 に 係 あ る直 る 場 合 接 清 で

(1) 加 生 7 を 者 が 防 次 接 講じ 清 た 掲 算 \mathcal{T} げ 参 加 \mathcal{O} る ること。 方 場 者 策 合 \mathcal{O} を に 1 適 な レ け 格 ド 中 る 間 央清 工 接 算 清 ク 機 ス 算 関 ポ 参 又 加 1 ジ は 者 直 \mathcal{O} ヤ 接 損 1 清 に 失 0 算 0 参 発

(2)2 合 直 他 場合間 接 清 算 参 加 者 が 債 務 不 履 行 又 は 支 払 不 能

直接 清算:

参

加

が者が債

(務不履

行

又は

支払

不

能

なっ

口 る 継 間 ド す 他 1 央 接 直 F 清算 る 清 0 て 接 工 Ŕ た ク 算 直 清 ク ス 参 接 機 算 ス 間関 ポ 加 \mathcal{O} 清 参 枠 ポ 算 0 接 加 者 清 清算 ジ 組 者 が ジャ そ 加 算 4 が t が 者 参 参 債 1 \mathcal{O} 存在していること。 又は適 加 加者とし 務 適 12 者が 格 に関する契約を継続 係 不 履 る 中 央清 格 追 清 行 中央清 加 て 又 算 的 は 取 \mathcal{O} 算 次ぎ 資 機 な 支 算 負 格 払 関 機関 を失 担 不 等 に 能 を 対 と当 に 委 す っること るト た場 より 託 該 合 適

> る た 8 組 4 が 存 在 L 7

2 清 算 機

ることが 手 ク に 方とする 測 ŧ 前 定方式 項 該 当し \mathcal{O} で 規 きる。 を な 用 い 定 派 生商 に い 組 か て、 合かたわ 品 カュ 取 引 同 あ 項 っ 6 ず、 に 各 て 係 は次の る 号 に C \mathcal{O} 掲 各 V 第 \equiv げ 号 A る者 IJ に 節 Ź に 掲 定 げ ク 以 相 外 \emptyset る 当 \mathcal{O} る 組 者 簡 額 合 を を 便 \mathcal{O} 取的い 引リず 出 相スれ

内 部 格 付 手法 採 用 組 合

先進 的 計 測手 ジ採 ヤ用 組

準 期待 用 項 する場 (第 エ ク 百 口三十二条 ノスポ 合 を含] む 第十 の項方 承 及 式 認 び \mathcal{O} を 第 使 受け 百用 四に た 十つ 組条い 合 第 7 兀 第 項 五. に + お て第

いること。

第二節 BA-CVA	るものとする。 のとする。 のとする。 のとする。 のとする。 のとする。 のとする。 ののとする。 ののとする。 ののとする。 ののとする。 ののとする。 ののとする。 ののとする。 ののとする。 ののとする。 のののである。 のののである。 のののである。 ののとする。 のののである。 のののである。 のののである。 ののでは、当該外部でVAへの取引の ののである。 ののとする。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 ののとする。 ののである。 ののである。 ののとする。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののとする。 ののである。 ののでる。 ののでる。 ののでる。 ののでる。 ののでる。 ののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	○ 「日四十六条の二の二 組合は、BA―CVAスはSA―C 「条出合は、前条第二項に規定する適格BA―CVAペッジ取引百四十六条の三の二に規定する適格BA―CVAペッジ取引を開いてCVAペッジ取引(以下この章において「CVAペッジ取引を対象としてCVAペッジ取引を対象としてCVAペッジ取引を対象としてCVAのとする。	項を削る。] ** 和 ** 第 ** 1 ** 1 **
第二節 標準的リスク測定方式	糸を加える。]	糸を加える。]	きを除き、これを継続して用いなければならない。継続することができない旨をあらかじめ行政庁に届け出たと算出している場合には、やむを得ない理由によりその使用を定める標準的リスク測定方式を用いてCVAリスク相当額をれにも該当しない組合が、直近の算出基準日において次節に前二項の規定にかかわらず、前項各号に掲げる組合のいず

(完全なBA―CVAと限定的なBA―CVA)

のとする。 反映しないときは、 条の三の三に定める方 のとする。 百 を算出 項におい ッジ取 四 + 六 条の三 ただし 引 ようと \mathcal{O} 限定的 一完全なBA す 第 る組 ВА 組 な B 合が C V A 効果を 一百四十六条の三の四に定める方法 合 一 C V A を用 (次条及び A が 一CVA」という。 | | C | V 次条に規 映するときは ヘッジ取引 第二百四 定する適 という。 てCVAリスク 十六条 格 第一 В 百四四 によるも によるも 効果を Ċ 相 当 第

(標準的リスク測定方式によるCVAリスク相当額

自己資本額(K)とする。 CVAリスク相当額は、次に掲げる算式により算出した所要「二百四十六条の三」標準的リスク測定方式を用いて算出する

所要自己資本額 $(K) = 2.33 \times h^{0.5} \times \left(\left(\Sigma_i 0.5 \times w_i \times \left(M_i \times EAD_i^{total} - M_i^{hedge} \times B_i \right) - \Sigma_{ind} w_{ind} \times M_{ind} \times B_{ind} \right)^2 + \Sigma_i$ $0.75 \times w_i^2 \times \left(M_i \times EAD_i^{total} - M_i^{hedge} \times B_i \right)^2 \right)^{0.5}$

hは、保有期間(ただし、hの値は一とする。)

wiは、取引相手方iに係る掛目

Wiは、第百三十三条第一項に規定する実効マチュリティであって取引相手方iに係る派生商品取引に係るものとする。この場合において、同項中「一年に満たない場合は一年とし、五年を超える場合は五年とする。」とあるのは、「一年に満たない場合は一年とする。」と読み替えるものとする。

EAD to は、取引相手方iに係るネッティング・セットの与信相当額の割引現在価値

Winder は、CAリスクのヘッジ手段として用いる取引相手 方iに係る取引のマチュリティ

Biは、C A リスクのヘッジ手段として用いる取引相手方iに係る取引の想定元本額の割引現在価値

windは、CVAリスクのヘッジ手段として用いるインデックス・クレジット・デフォルト・スワップに係る掛目

Windは、CVAリスクのヘッジ手段として用いるインデック ス・クレジット・デフォルト・スワップのマチュリティ

現在価値 ス・クレジット・デフォルト・スワップの想定元本額の割引 CVAリスクのヘッジ手段として用いるインデック

2 るものとする。 掲げる主体以外の主体についても、に係る格付に対応する信用リスク区 前項のwiは、)に応じ、 適 格格 付 用リスク区分 機 次の 関 に 表の左欄に定めるものとする により付 同項第一号の表を準用す分(第二十七条第一項に 与された取 引相 手方i

		3					
リバティブの	ト・スワップを構	第一項の wind	۷)	(パーセン	ウェイトwi	区分	信用リスク
クレジ	成	は、		七	•	1	1
ツト・フ	する単一の	インデ		八	·	2	1
クレジット・スプレッド	一の債務	インデックス・クレジット・デフォ		0	<u> </u>	3	1
の加	者に係	・クレジ		0	<u>-</u>	4	1
重平均に	るクレジ	ンット・		0	<u>=</u>	5	1
に対応す	ジット・	デフォ		0	+	6	1

る。 信 用 IJ ス ク区分に応じ、 前 項 0 表 の左 欄に 定めるも 0) とする デル

じ、 ットごとに算出した額とする。 る与信 第一 S A | 当孩 相 各 0) 当 CCRを用いる場合 号に定める取引相手方 i に係るネッティング・ EAD i to tal 「額の割る 引現在価 は、 次 0 値 各 i 号 に 第 五. 掲げる場合 一 条第一 項に の区分に 規定す セ応

二項に規定する与信相当額 期待エクスポ 力 \vdash クスポー] ジ ヤー 方式 ジャ を用] 方 式 V 、る場合 を用 \ \ る場合 第五十二条第 第四 章

- 310 -

IJ 引 六六節 現 ス 在 ク削 価 第 減 一款に規 手法 を適用 定する包 L た後の 括 的 エ 手 ・法を使る ク スポ 用 ジ する場合 ヤー 0) \mathcal{O} 額 信 \mathcal{O} 割用

5 に 掲 第 がげる算 項 並 式 び値 以により に 前 項 算出するものとする。 第 号及び第三号 0 割 引 現 在 価 値 は、 次

(割引現在価値) = (想定元本額又は与信相当額) × $(1-EXP(-0.05 \times M_x)) / (0.05 \times M_x)$

 M_x は、対応する M_i 、 M_i^{hodge} 又は M_{ind}

せることができる。するものに限り、CVAリスクに対するヘッジ効果を反映さは、次に掲げる取引であってCVAリスクのヘッジを目的と6 第一項の規定によりCVAリスク相当額を算出する場合に

一単一の債務者を参照するクレジット・せることができる。

デフォ

ル

 \vdash

ス

ワ

ップ

1 単 デフォ \mathcal{O} 債 務 ル <u>۱</u> 者 • を スワッ 参 照す るコ プ ティンジェント・ クレ ジ

段に係る取引がこと同等であると認められるヘッジ手が二号に掲げるものと同等であると認められるヘッジ手

定 とにより生 け 直 兀 \vdash 接清算参 ヤ | る額 レ インデックス・ 兀 項 第三号 に K 次の掛 一ずる間 係 • 加 いるも 者として間接 エクスポージャーに係る清算取 に のに限る 目を乗じた額を、 接清算参加者に対するトレ 掲 クレ げる場合において、 ジット・デフォ る。 清算参加者の適格)を算出 当 する場合には、 該ネッティン ル } 中央清算機 1 次ぎ等を行うこ ・スワップ 項 ド・エ ググ 同号に 関 セ 向

1

とすることが

できる。

С 次条第一 係 V 百 しに る A IJ 兀 が + できる。 ッジ 限 ス 六 り、 ク 項 E 取 \mathbf{C} お 引 V 11 \bigcirc 額 て う を Α IJ 5 算 スクに対するヘッジ 適格BA-CVAへ 次 出組 に するに当 合 は、 掲 げる要 完全 「たって、 件 な A Ø В 全 っジ取ってを満れ 効 果を C V С V 反 引 た Α Α 映 す IJ と Ł さ ス ょ ク \mathcal{O}

ろ るト 余リ に 彐 計 内 ンを 測 より 部 ス レ 対 С 完全に ク •] V 象となる 力 デ] А イン ア ド チ 相 ツ グ場 オ ヤ ジ 殺 する 合] 取 12 デ に 引 取 ス は 対 IJ が クが C 引を第三者と す ス 第六 ク、 C V Ś 章 7 デ V Α 1 0 フ デ ケ 兀 Α デ ス ツ オ 第 0) ス ク \equiv ル クに 間 \mathcal{O} 1 節 で実行 取 IJ 引相 対 ス IJ 定 ク す ス 8 る 相 ク 手 る ポ 方 当 及 7 ジ ع 額

冷され 引で C V ド \mathcal{O} てい あって、 Α 気動を低 リス ク ヘッ 減 に させ お ジ け 対 る目的で使用さ る 象 取 及び 引相手方 ヘッジ手段 0) れ、 ク レ に 及 ジ 係る文書 び ツ 管 1 理 3 ス がれ る

[条を加える。]

 $\blacksquare = \sqrt{\text{(Tm/10)}}$

中中 0 \mathcal{O} 及び、ない、 17. 10. 9 「ネ (; (; H G. 五十二条第七項の規定を準 9 % /期間。 ネ 第 ツ テ ツ イ 百 兀 イ の夢 グ $\Box \triangleright$ 六 条 行せいて、 セ セ セ 0) ツ 三 ツ 1 1 \vdash 第 田 七 Πĺ が減 五十 項 営 営 営 E 業 業 業 \sim 前 日 日 日 4 皿 項 屈 \mathcal{V} ${ \mathcal {C}}$ \sim \sim 貳 H 徭 V H \wedge 9 S 10

次に掲げる取引であること。

ト・クレジット・デフォルト・スワップであって、 ワップ又は単一 ずれかを参照するもの 単一の債務者を参照するクレジット・デフォルト の債務者を参照するコンティンジェン

次の

- 取引相手方と法的に関連する企業取引相手方
- (3) (2) (1) \(\nu\) インデックス・クレジット・デフォルト・スワップ 取引相手方と同一のセクター及び地域に属する企

完全なB 一CVAによるCVAリスク相

本額(Kfull)に割引係数(DSBA-cvA)○・六五を乗じて得 CVAリスク相当額は、 ヘッジ効果を反映して算出する完全なBA―CVAによる 百四十 六条の三 次の算式により算出した所要自己資 組合が適格BA―CVAヘッジ取引 た額

$$K_{full} = \beta \cdot K_{reduced} + (1 - \beta) \cdot K_{hedged}$$

$$K_{reduced} = \sqrt{\left(\rho \cdot \sum_{c} SCVA_{c}\right)^{2} + (1 - \rho^{2}) \cdot \sum_{c} SCVA_{c}^{2}}$$

$$\sqrt{\left(\rho \cdot \sum_{c} (SCVA_{c} - SNH_{c}) - IH\right)^{2} + (1 - \rho^{2}) \cdot \sum_{c} (SCVA_{c} - SNH_{c})^{2} + \sum_{c} HMA_{c}}$$

SCVAcは、取引相手方cとの全てのネッティング・セットに対 するCVA資本賦課

[条を加える。

は、〇・五

SNHcは、取引相手方cのCAリスクに対する全てのシングルネーム・ヘッジを用いたヘッジ効果の値

IHは、インデックスを用いたヘッジ取引から生ずる全ての取引相手方のCADリスクに対するヘッジ効果の値

HWAcは、取引相手方cの CA リスクに対する全てのヘッジ取引の値

る。相手方 c との全てのネッティング・セットを含むものとす相手方 c との全てのネッティング・セットを含むものとし、取引前項の SCAAc は、次の算式により算出するものとし、取引

2

$$SCVA_C = \frac{1}{\alpha} \cdot RW_C \cdot \sum_{NS} M_{NS} \cdot EAD_{NS} \cdot DF_{NS}$$

); (1) 守的なαを用いるものとす 関する固有の特徴があるときは、 の承認を受けて期 ジャー方式を用いる場合には一・四 ャー方式を用いる場合には一とし、S 額を算出する場合であって、 合及び第五十二条第一項の承認を受けて期待エク 第五十条第二項の規定によりカレント・ 待エクスポージャー方式を用いて与 °, 取引相手方の信用リスク Щ 該特徴に応じた とする。 > | \bigcirc ただ CR & エクス 用い \mathcal{V} 川 끘 に保

cは、次項の表に定める値

Wwsの算出に当たっては、第百三 での規定を準用す + が五五 4 年とす . 梁第 年に満たない場合は一年とし、 と読み替えるものとする。ただし、 項の承認を受けた場合には、Musは、 とあるのは、「一年に満たない場合 る。この場合において、同条第 + 缑 無 一 項から 王 年を超 組合が第 徭 가 耳 퍼 . H \mathcal{O}

籴 項の規定により 算出される実効マチュ \subseteq 41 7

 \wedge

五十一 :使用す 用いる ,与信相 Aの影 式を用いる場合には同条 用第 K 着 相 当 · 法 「 | | 響は、 額とす ・ジャー 账 場合には第五十三 夈 \mathcal{N} 場合に 条網 規 (第四章第六節第 勘案しないものとする る。ただ 額) 定に 項の規定に 項の承認 H Ž っては、 \cap \subset 5 4 K 、祭館 第二項の規定に を受けて期待エ ٦ S て ソフ・ 7 信用リ これらの与信 J \triangleright 9 C C 紅田 [1] 垭 款 項の規定 はれる に規定 工力 スク \bigcirc 盐 R . β 門演 ШК \mathcal{V} 盐 9-V 中 \mathbb{H} (1 が、で 注手法適 S Щ. 5 1 \mathcal{N} 額に対 紅田 包括的 抽当 H (; 算出 並 4 % はれる 盤 $\overline{}$ FT N 後 [垪 \subset

項の承認を受けた組合は一 次の算式により算出する値。ただし、 を用いる 舥 王 籴

 $exp(-0.05 \cdot M_{NS})$ $0.05 \cdot M_{NS}$

3

付 付 エ 取 引相 与 を 1 及 前 父び適格: 適格 してい トとす 項 手方の エ \mathcal{O} 取引 格 付機 格付 ない場合に 信 を 相 ただし、 関 適 用 機 手 用す が 力 関 , 方の 次 付与す の表 0) が 区分に は、 取引相 ることができる。 信 適 格 に 用 る 内 掲 力に基づき 部格付機関が 格付 応 手 げる取 心じ、同立 に紐 引 表に定 法 が 与 相 付 取引 する 採 手 同 用 方 表に ることに 組相 \otimes 格 0 手方に るリス 合 付 セ 定める に対 ク は タ 内格部付 ク ょ 応 1 す ス判格 る を ウ

方 0 セ ク 取 引 相 0

手

手 方 信 用 力

事業及び専門・技へルスケア、公益	通信テクノロジー及び	ービス業 並びに行政支援サ ス、運輸及び倉庫	素材、エネルギ 製造業、鉱業及び 製造業、鉱業及び	機関を含む。)金融(政府系金融	行政機関 大 (非 金 地 方 自 治 体 、 政 府	行を含む。)	9 1
一 五		11.0	11.0	五· •	0	〇 · 五	投資適格(IG)
五 · ○	五 · 五	八・五	七· 〇	+ : . 0		 • •	ト) (HY) 及び無 (HY) 及び無

その他のセクター	術関連業	
五・〇		
+11.0		

第一項の SNHc は、次の算式により算出するものとする

4

$$SNH_c = \sum_{h \in C} r_{hc} \cdot RW_h \cdot M_h^{SN} \cdot B_h^{SN} \cdot DF_h^{SN}$$

thcは、次の表の左欄に掲げる区分に応じ、同表の右欄に定める値(以下この節において同じ。)

取引相手方 c の単一の債務者を参照す	r_{hc} の値
るクレジット・デフォルト・スワップ	(% オソ
によるヘッジh	7)
取引相手方cを直接参照するもの	100
取引相手方 c と法的に関連する組織を	80
参照するもの	
取引相手方 c と同じセクターで同じ地	50
域に属する組織を参照するもの	

N. は、単一の債務者を参照するヘッジ取引 h のリスク・ウェイトであり、前項の表に掲げる取引相手方のセクターの区分及び適格格付機関が取引相手方に付与する格付に対応する取引相手方の信用力の区分に応じ、同表に定めるリスク・ウェイト(以下この節において同じ。)

Win は、単一の債務者を参照するヘッジ取引hの実効マチュリティ(以下この節において同じ。)

B. は、単一の債務者を参照するヘッジ取引hの想定元本額(以下この節において同じ。)。なお、単一の債務者を参照するコンティンジェント・クレジット・デフォルト・スワップを用いる場合には、参照ポートフォリオ又は参照商品

の市場価格を想定元本額とする

DF ii は、ディスカウント・ファクターであり、次の算式に より算出される値(以下この節において同じ。)

$$DF_h^{SN} = \frac{1 - exp(-0.05 \cdot M_h^{SN})}{0.05 \cdot M_h^{SN}}$$

5

第一項の IH は、次の算式により算出するものとする。

 $IH = \sum_{i} RW_{i} \cdot M_{i}^{ind} \cdot B_{i}^{ind} \cdot DF_{i}^{ind}$

DFind は、ディスカウント・ファクターであり、次の算式 Bind は、インデックス・ヘッジiの想定元本額 Mind は、インデックス・ヘッジiの残存マチュリティ より算出される値

 $DF_i^{ind} = \frac{1 - exp(-0.05 \cdot M_i^{ind})}{}$ $0.05 \cdot M_i^{ind}$

6

場合の区分に応じ、当該各号に定める調整を行うものとする ク・ウェイトとする。この場合において、 応する取引相手方の信用力の区分に応じ、 ・ウェイトであり、第三項の表に掲げる取引相手方の の区分及び適格格付機関が取引相手方に付与する格 前項のRWiは、インデックス・ヘッジに適用される 次の各号に掲げる同表に定めるリス 同表に定めるリス行与する格付に対 セク ス タ

スク・ウェイトに○・七を乗じて得た値をリスク・ウェ トとする。 かつ、同一の信用力である場合 第三項インデックスの全ての構成銘柄が同一の 第三項の表に定めるリ セ クターに . 属 し

インデックスの 全ての 構 成銘柄 が 同 0) セ クター に 属 す

乗じて得た値をリスク・ウェイトとする。 リスク・ウェイトを銘柄数に応じて加重平 的 場合 格付 でな 及び無格 付 \mathcal{O} 又 双方を含む場合 は 1 ンデックス が 第三項 \mathcal{O} 格 表が 定 に 七 め投 る機

第一項の HMAcは、次の算式により算出するものとする。

7

 $HMA_c = \sum_{h \in C} (1 - r_{hc}^2) \cdot \left(RW_h \cdot M_h^{SN} \cdot B_h^{SN} \cdot DF_h^{SN} \right)^2$

、艮宮勺よ3~~こ/~こにるこ/~リスァ目省音hec

(限定的なBA―CVAによるCVAリスク相当額)

出したKfullの値に割引係数○・六五を乗じて得た額とする。リスク相当額は、前条第一項の算式においてβを一として算二百四十六条の三の四 限定的なBA—CVAによるCVA

 第一款
 承認手続等

 第二節
 SA-CVA

SA-CVAの承認)

百四四 ľ + - 六条の \otimes 行 四 政庁 組合は \mathcal{O} 承認を受けるものとする。 S A | | C | V A を 用 い るときは

2 基 項 0 き承認 承 認を受け が 取 た組 消され 合 は た場 第 合を除き 百 兀 + 条の S A 兀 Ċ の五 規

継続して用いるものとする。

(SA―CVAに係る承認申請書の提出)

前条第一項の承認を受けようとする組合は、次に掲げる事項第二百四十六条の四の二 SA―CVAを用いることについて

[条を加える。

第三節 簡便的リスク測定方式

三百 ク げ C る者以外 V 簡 アセ 四十六条の四 Aリスク相 便 的 ット IJ 0) ス 者を取り ク測 当額 額 に 定 た方式による は、 十二パー 引相手方とする 簡 便 的 第 二百四十 IJ セントを乗じて得 スク測定 る C V 六条 派 Α 方式 生 リスク相 土商品取引来の二第一 を用 以引の信用が一項各号に た額とする。 リス掲

一 を 記 職した承認申請 書を行 政庁に提出するも のとする。

- 名 称
- 2 自己 項 0 承認申 資 本 比 請 書 把 握 は 管 次 に掲 理 す ,る責任 げ る書類 者 の氏 を添付するものと 名 及 Ü 役職 名
- 理由 書
- 前項 第一 뭉 に 規 定する責任者の 履 歴書
- 兀 載した書類 款に規 ーデル C V 定する承認の A IJ 0) 構築及び利用そ スク に 相当額の算出並びにエクス 係 る 基準に 審 查 に の他のSA―CV 適合してい な いて参考となるべ ることを示す書類 ポ \mathcal{O}] き事 運 ジ 用 t 項 が へを記 第 計 測

S Α C V А に 係 る 承認 0) 基準)

理にお ル することが見込まれるか 0 始する日以 百 四 が当該承認に先立って一年以上にわたって 承認をしようとする場合には + 六 て運用されており、 条 降に 兀 おい て 行 政庁は、 どうかを審査するも 款に規定する承 かつ、SA-CV 第二 エ クスポー 百四四 + 組合 認の基準に ジ 0 六 とする。 A 条 \mathcal{O} \mathcal{O}] 0 リスク 使 計 兀 用 測 第 を モ

S Α C V Α 係 る 変 更 ほ係る届 出)

びその 百 がに該当 承認申 匹 内容を行政庁に + 六 - 請書の 条の することとなった場合には、 兀 記載事項に変更があった場合 兀 に届け S 出るものとする。 Α | | C | V Α 採 用組 遅滞なく 合 は その旨 次 \mathcal{O} 及

承 認

申

- 請書の

添

付

書類

0

記

載事項に重要な変更

へがあ

三第三 場合 款に規定する承認 0 基準を満たさない 事由が生じた

2 とする。 重要でない旨の説明を記載した書面を速やかに提出するもの 当該事由が当該SA―CVA採用組合のリスクの観点から 採用組合は、 前項第三号に規 当該事由 定する事由 に関する改善計画を記 が生じた場合に は、 載 S た書面又 Α

S A ―CVAに係る承認の取消し)

第二百 を算出することが る場合に 四第一 四十六条の おい 項の承認を取り消すことができる。 て、 兀 不適当 の 五. S A と判 Ċ V 行政庁は、 断 A を 用 したときは V 前 条第 て C V 第二 項 Α 第三 IJ 百四四 一号に掲げ 相当額

改广 0 報告)

第二百四十六条の四の六 CVAリスク相当額を行政庁に報告するものとする。 S Ċ 採用 組 合 は、 月ごと

第二款 S A C V 算出方法 AによるCV Α リスク相当 |額の

総則

SA Ċ AによるCV Aリスク相当額)

額及びベガ・ リスク相当額は、 百四十六条の四 リスクに係るCVAリスク相当額を合計して得 の七 デルタ・リスクに係るCVAリスク相当 S A-CVAを用いて 算出するCV

2 た額とする。 前 頭の 「デル

次に掲げるリ . 係る CV 金利リスク А IJ タ ス ス ク IJ 相当額を合計したものをいう。 スクに係るCV クラスごとに算 出され Aリスク相 るデ 当 額」 タ とは IJ ス

外国為替リスク

四三 取引相手方のクレ ジ プ ド IJ 、スク

株式リスク 参照先のクレジ ット スプレッド ・リスク

六 五 第 モディティ 項 0 ガ リスク IJ

3 は とに算出される したものをいう。 前 項 各号 ベガ 第三 号 IJ を除 スクに スクに係るCV 係 る C V 掲げるリス Aリスク A IJ ス ク ク 相当額を合 相 当 額」 ラスご ح

ス ク • クラスごとのCV Aリスク相当額)

項目を計 係るCV 条第三項 算出されるデルタ・ 百四十六条の四の八 A IJ 測 のリスク・クラスごとに算出されるベガ・ することにより算 相 リスクに係るCVAリスク相当 当 「額は 前条第二項のリスク・クラスごとに 出するものとする。 この 款の 規定により 次に掲げ 「額及び同 リスクに

ネ ット

加重 重感応度 ・ ト感応度

ネ ット加重感応度

四三 ケットごとのCVAリ スク相当額

2 応度をいう。 前項第一号に掲げる「ネット感応度」とは 次に掲げる感

を対 タ 第二百 象に ーごとの 計 四十六条の二第二 測さ 感応度 れる C V (次項 A 一項に に \mathcal{O} 合計 お 規定するCV 11 て 値 に ネ 対す ット るリスク・ 感応度sk^{CVA}」 Α 力 1 取 引

度 sk 」という。 ク・ファクターごとの 全て Ċ 0 第二 A 百 ヘッジ取引の 兀 一十六条 感応度 \mathcal{O} 市場価格の 四 一の十三 (次項におい 第 合計 項 て「ネット 値に対するリス に 規 定する適格 . 感応

3 リスク・ファクター 項第二号に掲げる ごとに 加 計測したものをいう。 重感応度」とは、 次の

 $WS_k^{Hag} = RW_k S_k^{Hag}$ $WS_k^{CVA} =$ $RW_k S_k^{CVA}$

加重感応度WSkds は、 加重感応度WSkva は、 条の四の二十九第三項に定めるリスク 十六条の四の二 得たリスク・ 六条の四の十五第 1第三 条の四の十五第五 十六条の四の二 点 徭 퍼 페 四十六章 四十六条の四の十七第四項、 [11] 屈 条 퍼 徭 十二第 の四の十七第四項、 クター 七第三項及び第六項並びに 四十六条の四の二 田 ダシ | | ネット感応度sitesに対して、 其 퍼 、四十六条の四の二 第二 第二 ごとの値 ||感尽威scw に対して、 . 国 百四十六条の四の十六 百四十六条の四の十六 徭 퍼 十五第三 徭 徭 ウェイトを乗 四十六条の四の 十第 | | 페 페 四十六 阿 第二百四十六 [1] 日 徭 頂、 | | 条の四第二百 第四項 퍼 第四項 퍼 条 日十 四十 Ţij 페

四十六条の四の二

十二第三項、

第二百四十六条の四の

徭

Ţij

其

徭

쁴

Z

十六条の四の二

十第

条の四の二 十六条の四 |第三 X 点 9 徭 徭 퍼 [1] 四十六条の四の二十五第 . 耳 第三項及び第六項並びに F) (1 定めるリスク との値 ・ウェイトを乗じて [1] 其 徭 IJİ 百四 페

4 によりリスク・ファクターごとに計測したものをいう。 項第三号に 掲げる 「ネット加重 感応度」 とは、 次の

 $WS_k = WS_k^{CVA} - WS_k^{Hag}$

5 加重感応度を次の算式によりバケットごとに計測したもの 額」とは、 $\left| \max \left(0, \sum_{k \in b} WS_k^2 + \sum_{k \in b} \sum_{l \in b, l \neq k} \rho_{kl} WS_k WS_l \right) + R \cdot \sum_{k \in b} \left(\left(WS_k^{Hdg} \right)^2 \right) \right|$ 項第四号に掲げる「バケットごとのCV 前項において計測することにより算出したネット A リ スク相当

6

追加分をいう

でもら、

全にヘッジされない可能性を考慮したCVAリスク

抽当

ヘッジング・ディスアローアンス (CVAリスク

リスク・ファクターの感応度の相関係数

たバケットごとのCV

リスクに係るCV

Aリスク相当額は

Aリスク相当額を用い

Aリスク相当額及びリスク・

クラスごとに算出されるベガ

前項において計測し

次の算式に

クラスごとに算出されるデ

タ・

IJ

ス

クに

に 係る C

より算出する。

- 324 -

$$K = m_{CVA} \sqrt{\sum_b K_b^2 + \sum_b \sum_{b \neq c} \gamma_{bc} S_b S_c}$$

各リスク VI スに適 \mathbb{H} N る推

次の算式により、 ターkに係る加重感応度WSk バケットbに含 を合計して計測する \boxplus 5

スク

 $S_b =$ $= max \left\{ -K_b; min \left(\sum_{k \in b} WS_k; K_b \right) \right\}$

て、Seは、Sbと同様の方法で計測する。

とし、-K_bを下限、K_bを上限とする。

1

の場合におい

9

 $S_{c} = max \left\{ -K_{c}; min \left(\sum_{k \in c} WS_{k}; K_{c} \right) \right\}$

ネット 感応度の計測)

第二百四十六条の四の九 スク・ファクター るネット感応度をいう。 率とする。 合計値又は全ての の現在価値の微小な変化幅に対するCV 適格 ネット 以下この節において同じ。 ヘッジ手段の 感応度 市場価格の合計値の (前条第二項に規 は、 定す IJ

条の四の二十四第二項 第二項、 二百四十六条の四 十五第三項 各リスク・ 第二百四十六条の四の二十二第二項、 及び第四 第二百四十六条の四の十七第二項及び第三 フ ア の十九第二項 項 タ 第二百四十六条の四 の変 第二百四十六条の四 化幅 第二百四十六条の四の二十 は 第 百 の二十五第二項 0 兀 第二百四十六 十六第二 条の 項 兀

2

四 第二百 十六 お 合 条 兀 て \mathcal{O} \mathcal{O} 十六条の四の二十 内 より 兀 部 の 二 \mathcal{O} 小 IJ さな変化 ス ク管 九 第 理 に幅を用 項 七第二項及び第 及び おけ る計 第 五. ることが 算 項 方 \mathcal{O} 法と整合す 規 五. 定に 項 並 カュ び カュ に る限 第二

3 する。 有する取引 るネット感応度は、 ことにより算出す モデル ガ に IJ おい が含まれていない場合であっても算出するものと ス クに る。 係るネ C V 次に掲げるボラティリティを変化させる この場合において、 ット Aポートフォリオにオプション性を 感応度は、 エ クス ガ・ ポー リスクに係 ジ ヤ

「 オプションの公正価値の評価に用いるボラティリティ

乗数)

式中乗数mcvaは一とする。 二百四十六条の四の十 第二百四十六条の四の八第六項の箟

2 するために必要と判 るものとする。 行政庁は、 組合のCV 断 L A た場合に \mathcal{O} 計算に係るモ は 前項 デ 0 ル 乗数を引き上 IJ スクに

(インデ ツ ク ス を ヘッジ手段 に 用 1 る場 合 0 ネ ツ \vdash 感応 度 0

百四四 当該インデックスの ジを行う場合における当該インデックスのネット感応度は 定にかかわらず + 六 条の 兀 0) インデックスを用いてC 価格に影響を及ぼす全ての 第二百四十六条 \mathcal{O} V 兀 \mathcal{O} リスク・フ IJ 九 第 \mathcal{O} 項

測 クタ ħ \mathcal{O} た当] 影 響 \mathcal{O} を受 該 現 イン 在 \hat{t} 価 デ 値 る 全て ツ 0) 微 ク 小 ス \mathcal{O} 0 構 な 市 成 変 銘 化 場 柄 幅 価 に に対するリ 格 対 0 変化 す Ś 影 率とす ス 響 *ク*・ を る。 通 ファク

(適格インデックスの指定)

合とす クスに対 百四四 ごとに 項 1 げ 度の計 式インデックスであって、 一件を満たすインデックス つる要件 定 · に 区 ·感応 又 飾 る。 \vdash 該 8 デ は + デ \mathcal{O} に 第二 適 する単 計 ツ を割り ツ 5 分される銘 兀 度 測 六 お 測さ 条の ク を満たす れ 格インデ \mathcal{O} \mathcal{O} 1 た構 計 ス おける第二百四十六条の十七 百 ス が て 当てるも \mathcal{O} 兀 + 兀 \mathcal{O} 七 れ 測 た複 + 成 のネット感応度とすることができる。 + 適 に 0 ックスを構成する銘 + 五. 銘 な インデックス及びベガ ケ 柄 ケ 第 格 六 いける全 数のネット ットに 条の 柄 \mathcal{O} イ 割 項 のとする。 \mathcal{O} 合 デ セ 重 兀 S (クレ 第一 デルタ・リスクに係るネット 代 4 割り当てることによ ツ て の二十六第 Α (ただし、 えてて \vdash 付 ク \mathcal{O} ジ けを考慮 感応度を当該 ス 百 を イ C 超 几 ツト・ V える場 十六 デ لح Α 当該 柄 該 ッ 採 1 のうち 項 う。 セ L 条 ク 用 0 イ 合に 適格インデック ク て \mathcal{O} \mathcal{O} ス IJ 兀 組 を 第四 デ タ 算 適 兀 スクに係るネ 合 表 は出 格 同 ŋ V ツ は に \mathcal{O} を . う。 · 項各 され 第二 イン ク が お 0) 属 け + ス ケッ た 割 ただ 号に す 該 セ デ る 百 定 以 又 ッ 兀 下 感は \mathcal{O}

n A ― C V A におけるヘッジの適格要件)

相 百四十六条の四 当額 を算出す 一の十三 るに当たっては S A | | | C | V 次に掲げる要 A を 用い 7 件 С V 全て Α IJ

3 2 する。 С たす 文書が V 適 適格S クレジット・ 引として シ ョ なる ろにより 九 余リ 内 部 7 格 果 C 0 Α ンを完全に V 取 ド \vdash 測 V を ヘッジ IJ S C V る取引であって、 A | | | レ 対 ス 作成されていること。 れ 第 反 引 ス ツ A Α 象と 扱 IJ ジ] ク 力 を適格S ク IJ 映 べさせ 取引 ス 項 \mathcal{O} 取 C デ] ス А ク 各 引 ス V な ク T ヘッジ取引が第六章 ること 0) プレッド 相殺する取引を第三者との チ を う。 複 る ド 뭉 ス \mathcal{O} Α Α **(以** IJ 数に分割しないものとす グ 場 オ ヤ 全 軽 掲げ ッ ジ 取 ッ ジ 取 減す 下この 体 スク・ 合 | C が : を 取 デス に 12 Ź は IJ ラ 対 V る で 限 きる。 引は、 、スク、 節に クラスに割り当てるものとする リスクのデル する ッジ対象及び 引 引 ク 目 A 商品を用 ŋ が 的 相 がある場 ヘッジ取引とはし 手方 で使 は С С V 7 0 V V] デ た V А だだ ッジ 用さ 兀 て 照 \mathcal{O} A デス デ フ ケ Α 第三節 クレジ 合に 先 ツ ス オ IJ た 適 タ・ 期 ク \vdash \mathcal{O} ル れ ス ッジ手段に係る 間 第 間 \mathcal{O} は ク \vdash ク 格 ツ ジ に で実行して に IJ に に ツ IJ 取 S か スクに 定 取引 引 スク ないも ジ \vdash わ 対するポジ IJ 対 適 百 Α 格 スク 兀 す た 相 めるとこ 手方と 相 Ċ ス S り 管 に + る 及び 理さ 対 0) す 0)

百四十六条の

兀

の B

十四四

S V

A A との 併 用)

A 採用組

合

は

S

A

Α

C

V

A と

С

C V ットに Α を用 出 す 対しては、 るも V) ることが適切でないと判断するネッティング・ のとする。 ВА Ċ V Aを用いてCV Aリスク相

2 トを二に分割し ける要件 項 他方に対しB \mathcal{O} 規 \mathcal{O} 定にかかわらず、 全てを満たす場合には A | | C | V その 方に対しSA―CVAを用 Aを用いるものとする。 S Α Ċ 0 А ネ 採 用 ッティング・ 組 合 は、 次に セ

一致していること。 いう。以下この章において同じ。) における分割の方法と 務会計に反映させることを目的として計測されたCVAを 目からして計測されたCVA(財

を ッテ 取引があること。 用 イン V て C グ V A リ セ ットに ス ク 相当額 含まれる取引 を算出することが適切 のうち、 S A

び相関でから、リスク・ウェイト及ががあり、一手であり、感応度、リスク・ウェイト及りを利リスクに係るバケット、リスク・フ

金利リスクのバケットにおける感応度等)

第二 百 兀 ガ 十六条 IJ ス 0) ク 兀 0 \mathcal{O} バケット + 五. 金 は 利 IJ 個 ス クに係るデ Þ 0 通貨ごとに定め タ IJ るも スク

トラリア通貨 済通貨統合参加国通貨 j 合の 以 下 報告通貨 同 (AUD) 組合 カナダ通貨 0) (EUR) 財 メリカ合衆国通貨 務報 告に 英国通貨 (CAD) お て (GBP) スウェー 用 (USD) れ - デン通 オース でる通貨 欧 州

2

	5	4	3	
・ リ ク ・ リ ウ ス ク フ ス エ ク 1 ア ク	表の左欄 第二項	い A ス は 第 う ペ・ポ 特 二 ッ ジ イ 定 項	う へ 日 五 四 。 ッ シ 前 ジ ス 項 三 十 手 ・ の 十 年	三 二 一 ス ナ ク 貨 (SEK) 五 二 一 フ リ 満 年 年 リ 湯 に
	定める規定	手 り の の の の に の に の に の に に の に に の に に の に に の に に の に の に に の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に の に 。	の イ イ ン 位 ト フ	リカター は オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・オーロのは コ・カーのは コ・カーのは コ・カーのは コ・カーのは コ・カーのも コ・カーのも コ・カーのも コ・カーのも コ・カーのも コ・カーのも コ・カーと コ と コ り コ と コ と コ と コ と コ と コ と コ と コ
九 三 - 年	のとすりスク	の 変 ス フ 変 化 ク リ 動 さ フ l	変 収 変 化 さ せ た) た	-・イールドカーブの絶対変化とするでの年限をいう。以下同じ。)のまでの年限をいう。以下同じ。)のが本邦通貨に対する金利リスク
五四・	ク・ファク	• 場 • 1	・ 場 変 ○ 合 化	ブの絶対変化がある金利リ
七〇一年	クターの	○ に ド ○ お ル カ	○ お と	対 下 同 で じ で 化 と 。 化 と
七〇 年三 十	の区分に応	ーで除して と VA を VA を があり があり があり があり で は る で り る と り る ら る り る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る	一で除して得た値をは、インフレ率を一	る の び の 種 次 デ
一 率 フィレン	応じ、同	V A 又 は C V が を 一 べ ー シ 値 を V と して 得 た 値 を V と か か 変 化 」 と	得 た 値 と を い A	類ごとのリアリス

		7									6	
の感応度等)	貨について〇	第一項に	レ マ ン フ	三十年	十年	五 年	二年	年) セ パ ト	のとする。	第二項	ンパイト)セ(
等)ない通貨に係る金利のデルタ	• 7	に規定する	四十	一三十	五五十	二十	一九十	百	一 年	ク・	第二項に規定する	
に係る金	〇・五とする。	る金利に	四 十	五四十	二七十	七八十	百		二年	ファクター	リス	
並利のデ	ット間の	係るデ	四 十	八六十	一 九 十	百			五 年	-の区分に応じ、	ク・ファ	
•	相関係	ルタ・リ	四十	三八十	百				十 年	に応じ、	クター	
リスク・コ	ト間の相関係数γκιは、	スクの	四十	百					年 日 十	次の表	間の相関	
ファクター	全 て の 通	バケット	百						率 フィレン	次の表に定めるも	展係数ρ _{kl} は	
] [通	間		•	•			ı		\mathcal{F}	は	

通 貨に 百四十六条の フ ル 対 レ 率 す シフ る金利リ \mathcal{O} 絶 四 対 の十六 変 \mathcal{O} 化 スク 絶対変化とする。 及び 0) IJ デ 前 条第二 ス ル ク タ フ IJ 一項に規定する通貨以外 IJ ス ク イ フ ル ア ド ク 力 は、 ブ 0) \mathcal{O}

2 ヘッジ手段 ス 項 \mathcal{O} ポ 0) インフ 価値 0 レ 変動を○・○○○一で除して得た値をい 化させた場合におけるC 率 の絶対変化」と は、 イ V ン フ 又は レ 率 C V を一

3 を \vdash 第 おけ . (7) 絶 対 項 る C V] 0) 除し 変 リ 化 ス・ 7 ス Α 得た とは、 クフリ 又 ポ 1 は 値を C V 1 ĺ 通 いう。 貨 Α \mathcal{O} 幅でパ 0 イ ツ リスクフリー ル ド ラレ 手 · 段 の カー ル ブ 価 値 0) シ フ \mathcal{O} トさ ラレ] 変動を○・ ルド せた場 ル カー

RWkは、一・五八パーセントとする。第一項に規定するリスク・ファクターのリスク・ウェイト

レ率との間の相関係数ρκιは、四十パーセントとする。 第一項に規定するリスクフリー・イールドカーブとインフ

百 兀 利 IJ + ス 六 条の ク 0 兀 ガ \mathcal{O} 十七 ・リス ク・ 金 利 コリス ファクター ク \mathcal{O} ガ 0) 感 IJ 応度等) ス ク・ ファ

とする。 相 対 1 変化 は 及び 通 貨 金利に対す フ る全て 率 に対する全て のボラテ イリ \mathcal{O} ボ テ ラ テ イ イリ 0 相 対

2 おけるCV を現在価値に対して同時に一パーセント変化させた場合に 相対変化」 項 \mathcal{O} 通貨の A 又 は C V とは、 インフレ率に対する全ての フレ Α ッジ手段の価値の変動を○・○一 率に対する全て 0) ボ ラテ ボラティリテ イ IJ テ

で除して得た値をいう。

3 C V A とは、 第 同 項 時 ッジ手段 \mathcal{O} に 金 利 に対する全て 金利に対する全てのボラティ 0 セ 価値の変動を○・○一で除して得た値を ト変化させた場 0 ボ ラテ イ 合に IJ テ リテ イ お け を 現 1 在 0) 相 価 値に対 A 又 は 対 変化

4 RWkは、 第 項 百パ に 規 定するリスク・フ セントとする。 ク・ タ] \mathcal{O} IJ ス ク ウ

相関
クター、感応度、リスク・ウェイト及び
ハリスター、感応度、リスク・ウェイト及び

外国為替リスクのバケットにおける感応度等)

通貨ごとに定めるものとする。びベガ・リスクのバケットは、組合の報告通貨を除く個々の二百四十六条の四の十八(外国為替に係るデルタ・リスク及

2 通 間 貨に 及び 前 頭に規 ガ いて〇・六とする。 定する外国為替に IJ ス ク バケッ 係るデル 間 0) 相関係数γbcは、 IJ ス 0 全ての

ファクター 百四十六条の四の十九 玉 「為替に は、 係るデル 外 国 通貨と組合の報告通貨との IJ 外国為替に係るデルタ・ ス ファク 間 \mathcal{O} 感 における直 リスク・ 応 度等)

物為替 単 位 相 \mathcal{O} 市 対 レ 変 場] 化とする。 価 \vdash 格 を 組 合 う。 0 報告通貨で表示された当 次 項 及び 次条第 二項 に 該 お 外国 同じ。 通 貨

2 合の 度 る C V ・通貨 そ て得た値を 項 **う**。 報 \mathcal{O} \mathcal{O} 測 告 現 Α (以下この がするも 在価 通 又 は C V 直 貨と各非報告通 間 物 為替 の為替レー 値 のとする。 う。 に 項及び次条第二項におい 対 Α この場合におい L ッジ手段 て 卜 1 \mathcal{O} 過貨との を参照する取引を行うときは、 相 対 変化」 セ 間 価 ン 値の 0) 1 と 直 変 変動 は、 物 組 化 為 合の て さ がを 〇 せた場 替 直 報告 非報告通貨 レ 物 為替レ] 1通貨で 合にお 1 \mathcal{O}

3 一項計 に 規 定するリ セントとする。 スク・ ファ ク タ 0) IJ ス ク ウ エ 1

百四四 玉 十六条の 替に 係るべ 兀 の 二 ガ $\overline{+}$ ・ リ スク・ 国為替に係るべ フ ア タ 1 ガ・ \mathcal{O} 感応 リスク・フ 度 (等)

うとき る 全て 化 た価 変 項 トに お 化 と 0 は \mathcal{O} \mathcal{O} ボラティリティを計測するものとする。 値 さ ボ は 対 「為替レ 0 せ する全てのボラティリティの相対変化とする。 組 ラ っ た 場 合 テ 変動を〇 非 イ 玉 報 合に 報告通貨と各非報告通貨との 告通貨間 IJ 通 テ 貨と報告 トに対する全てのボ お イ け \bigcirc を 現 0 る 為替レ C 在 通貨との で除して得た値 価値に V A 又 へは C V 対 間 トを参照する取 ラテ して 0) 為 を 同 替 イ リティ 間 時 V う。 に] ジ 直 1 物為替 引を行 手 に \mathcal{O} 0 段に . 対 す 相 場

2

クター

は、

外国通貨と組合の報告通貨との間における為

3

第

項

に

規定す

るリスク・

ファクター

のリス

ク •

ウ

エ

- 334 -

百パーセントとする。

第四目 度 る 引相手方 IJ ケ スク・ウェイト 0 ク ジ ス ット ク 及び相関 フ ス ブ ク タ レ ツ ド に 感

手方の (取引相) ターの区分に応じ ッドに係るデル 百四十六条の四 クレ 手 · 方 の ジ IJ ット ス ク 一 の 二 十 ク タ 相 ジ 当額 スプレ リス ット 次 0 0 表 ク のバ 算 ッドに係るべ のとおりとする。 取引相手方のクレジット プレ 出を要しな ケットは、 ツ ド に ガ 係 V る ŧ 取引相手方のセ ただし 感 \mathcal{O} IJ 心底度等) とする。 スクにつ スプ 取引

1 b

を含む。

方自治体、

政

府支援

法

非

金融

ブリ

ン

中央銀行及び

国

際開

発銀

行

ッ \vdash

番

号

取

引相手方の

セ

7

0

他

 \mathcal{O}

セ

ク

タ

6 5

連業へルスケア、

ク

口

ジー

及び通信

公益事業及び専

門

技

術

行政支援サービス業

4

消

費

財

サービス、

運

輸

及

び

倉

庫

並

鉱

業及び採石業

3 2

金

政府系金融機関

を含む。

育機

関及び

行政機関

素

材 融

工

ネ

ル

ギ

]

工

業

農

業

製

造

- 335 -

								2	
5	4	3	2	1	トセパ値めに(番ッバン)はる定表号トケ	る第三	定によ		8
<u>- </u> +	五二十	1+	+	百	1	条第三項にお	定により分類	のバケット間の取引相手方のク	
二 十	十 五	五	百		2	いて同	したバ		適
五二十	11+	百			3	いて同じ。)	ケット	相関係数	適格インデックス
五二十	百				4	に 応 じ	- に対応	数Yhcは、	デック
百					5	`	しし		
					6	表に定	足めた平	バケット番号	
					7	足める」	したバケットに対応して定めた番号をいう。	留号(前るデルカ	
					8	次の表に定めるものとす		(前項のリルタ・リー	
						す	次	規 ス	

3	2			第 げ ・ 1 一				
RW _k は、	ジ 五 四 ツ 前 ト 項 十 3		の を い す る	げるテナ	・ リ 取 ス 引	8	7	6
西でフ	・の年句	日三一半日年年年	変 ゜ ク	ナーのド条	ク ・ チ フ 方	五四十	零	十五
テナーの全ての種類について、項に規定するリスク・ファクタで除して得た値をいう。	レ ッ ジ ド ッ		化とする。というというというというというというというというというというというというというと	種にの	ア ク タ す	五四十	零	五
ての種 リスク ト値を V A	を一ベス		ス イン デレ	類ごとの個の二十二	1 る の ク	五四十	零	五
類にファジ	プレンスツ		/ ツ ク ド ス の	社の取引	感 レ 感 応 度 ト	五四十	零	五
ジーラックタージーの	・ドポの		のクッジ	引 相 ・ 手	`	五四十	零	五
バケリー値	イント 変数		ジ ジ 段	方 ア に 及 ク 対	レッド	五四十	零	百
価値の変動を○	変化させは		ト・スプ	取 引 は ク	に係るデ	零	百	
びイ・	た 場 ク		プレッツ	相手方に	ル	百		
信ト〇	合レ		ド柄	に掲り	タ			

力の 区 別 葉 分に応じ、 を挿入】 次の表に定めるものとする。

4 WSk及びWS1の 項 \mathcal{O} 表 0 相関係数ρκιは ケ 番号 次 の算 カゝ ら 7 式 ま により でに係る 得た値とする。 加 重 感応度

 $ho_{kl}=
ho_{tenor}$, ho_{name} , $ho_{quality}$

5 項 の場 合に 定めるも お のとする。 次 0 各号に 掲 げ る相 関 係 数 0 値 は、

当該各号に対 ロイじ 当該イ又はロ 関係数_{Ptenor} に定める値 次 \mathcal{O} イ又は 口 に 掲 げ る 場 合 0) 区 分

双方のテナー イに掲げる場合以外の場合 が 同 の場合 九十パーセント 百 ・セント

相関係数ρname 当該イから 次の までに定める値 イからハまでに掲げる場 0 区 分

双方の 銘柄 が 同 場 合 百 ・セント

ロ イ に 成 双 方 方 、 合 双 方 九 + 0) 銘柄 セント が 同 で は なく かつ 法的 に 関連する場

相関係数ρquality 当該イ又は口に定める値 - 及びロ に掲 げる場 次の イ又は 合以 口 に 場 掲げる場 合 五. 十 合 \mathcal{O} 区 セ 一分に応

格 方の 双方の銘柄の信用力が同 である場合、 銘柄が無格付で 双方の銘柄が投機的格 ある場合又は の場 合 (双方 方 \mathcal{O} 付である場合、 銘 柄 0) 銘 が 柄 投機的 が · 投 資

百 しあって他

格

付

で

方の

銘

柄が無格付である場合をいう。

口 掲げる場合以 外 0 場 セント

- 338 -

6 及 び 第三 $WS_1 \mathcal{O}$ 項 (の表のバケット番号8に係るネット 相関係数ρκιは、 次 の算式により得た値とする。 加重 感応度WSk

 $ho_{kl} =
ho_{tenor}$. ho_{name} . $ho_{quality}$

7 当該各号に定めるものとする 項の場合において、 次の各号に 掲 げ る 相 関 係 数 0 値 は

相 当該イ又は口に定める値 関係数_{ptenor} 次のイ又は 口 に 掲 げ る場 合 0) 区 分 に

ロイじ 双方のテナ イに掲げる場 係数pname 合以 が 同 外 の場合 \mathcal{O} 場合 九十パ 百 パーセント Ì セント

相

関

次

 \mathcal{O}

イか

までに

掲

げる場

合

0

区 分

口 応じ、 ンデッ ンデックスのシリー 双方の 双方のインデックスの名称が同 クスのシリー 当該イから インデックスの名称が同一であって、 ハまでに定める -ズが同 ズが 同 一でない である場合 一であ 場合 0 て、 九十パーセン 百 双方の] 双 セ 方 0

相関 当 イ及びロ 係 該 外数 $ho_{quality}$ 以イ又は に掲 口 に定め げ る場合以 次 \mathcal{O} イ 又 は 外 での場 口 に 合 掲 げる場 + 合 の 区] ・セント 一分に応

口 スが投機的格付である場合をいう。) デックスが投資適格である場合又は 双方のインデックスの信用力が イに掲げる場合以外の場合 同 双方の \mathcal{O} セント 百パーセント 場 合 インデック 双 /方のイ

八十パー

第五目 照先 ケット 0) クレジット・スプレッドに IJ ヘスク・ファクター ! 係る 応度

、リスク・ウェイト及び相関

9		8		7	6		5		4	3		2		1	番号	ット	バケ	する。	照先の	ドに係	第二百四	(参照
付 (NR)) 及 び オ	投機的格付(投資適格(IG		信用力		Į.	信用力及びセクタ	るデルタ・リスク	十六条の四の二	照先のクレジット・
融)、教育機関及び行政機関地方自治体、政府支援法人(非金	行を含む。)	ソブリン(中央銀行及び国際開発	技術関連業	ヘルスケア、公益事業及び専門・	テクノロジー及び通信	並びに行政支援サービス業	消費財・サービス、運輸及び倉庫	製造業、鉱業及び採石業	素材、エネルギー、工業、農業、	金融(政府系金融機関を含む。)	融)、教育機関及び行政機関	地方自治体、政府支援法人(非金	銀行を含む。)	ソブリン(中央銀行及び国際開発		参照先のセクター			/一の区分に応じ、次の表のとおりと	,及びベガ・リスクのバケットは、参	十三 参照先のクレジット・スプレッ	スプレッドに係るCVA感応度等)

—————————————————————————————————————	各 相 川 号 関 タ		17	16			15	14	13	12	11	10
双方のバケットの (前項の規定によ	に定めるものとt 係数Ybcは、次の	項に規定	HY) 投機的格付(投資適格(IG	格付	付(HY)及び)、投機的格	投資適格(IG	'	1	<u>'</u>		
1の分類したバケット番号をいう。次号の分類したバケット番号をいう。次号に用力が同一である場合 バケット番	- 掲げる場合の区分に応に掲げる場合の区分に応	ト・スプレッドに係る	適格インデックス	適格インデックス			その他のセクター	技術関連業へルスケア、公益事業及び専門・	テクノロジー及び通信	並びに行政支援サービス業消費財・サービス、運輸及び倉庫	製造業、鉱業及び採石業素材、エネルギー、工業、農業、	金融(政府系金融機関を含む。)

| 号に応じ、前号の表に定める値を二で除して得た値|| | 双方のバケットの信用力が同一でない場合 | バケット番

ア クター 照 先 \mathcal{O} クレ 0) 感応度等 ジ ット スプ ツ ド に 係る デ ル タ IJ ス ク

変化とする。 参照先に係る全てのテナーのクレジット・ に係るデルタ・リスク・ 百四十六条の四の二十四 ファクター 照先の クレ は ジ ケッ スプレッド ツ \vdash \vdash 内 ス 0 ブ · の 絶 全て

2 A 又 は 前 内 得た値をいう。 ッド [項の「クレジット・スプレッドの絶対変化] \mathcal{O} を C V 全ての A ヘッジ 参照先に係る全てのテナ ス 手 段 ポ 0 イ 価値 ント変化させ の変動を○・] た 場 \mathcal{O} クレ 合にお 〇〇〇一で除 とは、 ジット・ス けるC

RWkは、バケット番号に応じ、次の表に定めるものとする。第一項に規定するリスク・ファクターのリスク・ウェイト

表 別葉三を挿入】

アクター) (参照先のクレジット・スプレッドに係るベガ・リスク・フ

が照先に ボラティリティ 百 係る 四 十六 係る全てのテナー 条の ガ IJ 兀 の 二 ス 相対変化とする。 ク 十五五 フ 0 ア クレジット ク ター 照先のクレ は ジ スプレ ケ ツ ツ \vdash ッドの全て 内 ス 全ての プレ

テナーのボラティリティを現在価値に対して同時に一パーセの相対変化」とは、バケット内の全ての参照先に係る全ての2 前項の「クレジット・スプレッドの全てのボラティリティ

先進市場 消費財・サービス、運輸	5	
テクノロジー 不重産業及び		
融(政府系金融機関	4	
、製造業、鉱業及び採石		
素材、エネルギー、農業	3	
通信及び工業	2	
に公益事業		
ビス業、ヘルスケア並び		
及び倉庫、行政支援サー		
新興市場 消費財・サービス、運輸	1 大	
	ト番号 総 額	
	バケッ時価	
表のとおりとする。	区分に応じ、同表	
価総額、経済及び株式の発行体のセクター	表に掲げる時価総	
四の二十六 株式リスクのバケットは、	第二百四十六条の四	第
バケットに係るCVA感応度)	(株式リスクのど	
一、感応度、リスク・ウェイト及び相		
目 株式に係るバケット、リスク・ファ	第六目	
セントとする。	RWkは、百パーセ	
○一て除して得た値をいう	第一項に規定	3
におけるCVA又はC	[ト 変	

会社の発行済株式総数とするこ	2. 法人グループの発行済株式総	合計を用いること。	グループの発行済株式総数の市場価額に	1. 世界各国の証券市場において	要件を満たすものとする。	(注1) 表の「時価総額」欄の分類に	13 その他の株式インデッ	ンデックス	12 時価総額が大である先	11 その他のセクター	7	10 先進市場 バ	7	9 小 新興市場 バ	テ	含	8	業	1	7	6	<i>[</i>]	Ľ	及
(C	数は、グループ内の上場親		場価額に基づく時価総額の	、同一の上場法人又は法人		に当たっては、次に掲げる	クス		進市場における株式イ		の全てのセクター	ケット番号5から8ま	の全てのセクター	ケット番号1から4ま	クノロジー	む。)、不動産業及び	融(政府系金融機関を		製造業、鉱業及び採石	材、エネルギー、農業	信及び工業	公益事業	ス業、ヘルスケア並び	び倉庫、行政支援サー

3. 法人グループの発行済株式総数に複数の関連上場法人の

時価総額を含めないこと。

华 自然 それ以外の | | 場合には 億 ı,... □∑ 衆国 ドル以 「小」に分類する 6)掘心 には 1 \sim \times

Ĩ

分

- (注 0 14 満六 表の 4 G. 「経済」 50 \$ \$ \$ 欄の分類 に当たっては、 次に掲げ \mathcal{N} 欭 辛
- 別行 非コーロ VI \subseteq デンマ 「先進市 政区 Y $\not\bowtie$ Ç 11 \cap 圏の西欧諸国 i 爀 」 4 Ŋ Н 及びスイス) it, \(\frac{1}{2}\) 1 \sim カナ VI (英国 Ä < 7, * 国、 $\not \models$ ノルウ シンガポー 4 Н サッ ١ 11 П $\stackrel{\sim}{\vdash}$ \vee 及び香港 か H 4 Н [\Box Κ ¬ 11 巻 夲
- 2. 「新興市場」は、「先進市場」以外の国又は地域とする こと。
- (注 ω 表 炎に 9 描げる 株式の 事項に留意する 発 行 本の 4 V $\not \Sigma$ & 9 ſ \sim 欄の 4 10 分 濫 F7 账 7 J 7
- 市場で一般的に使用されるセクターを基に割り当てるものとする。
- B Œ. 会 9 <u>II</u> 発行体は表の \sim 4 の業に属 \mathcal{N} 4 \mathcal{N} 発行体は同 $\not \Sigma$ のいずれかに 一のセク 빨 Ø 5 [账 に割 Y М \mathbb{C}^{+} 账 9 7 1

 \sim

- 涵 初なセ 緗 号11に割 7 $\not \Sigma$ 1 Fi Щ. 빨 \mathcal{O} 账 \mathbb{C}^{+} 4 9 Ø [1 \wedge が 困 難 2 譃 合には、
- るする な経済又はセク 発 異な 行存にしい人 る経済に属す Ø H に該当するバケットに割り \mathcal{N} 账 該発 発行体又は複数のセ 行 体が事業 活動 PH \checkmark 仁 $\not L$ 账 1 ٧٧ 最 4 (Y Ø Gr. 厩 Œ. /里 脚 Ø

								3			2			第				2
5	4	3	2	1		バケ	する。 RW _k は、	第一	° A 同 へ ほ ツ に	身 ト	前項	相対変		第二百四	(株式	表)に応じり分類し間	/ 株
						バケット番号		項に規定す	ジ手段の価	の全ての	の「参照銘	化とす	ーは、バ	一十六条の四	株式に係るデル	葉四を	、 た が が を を を を を を を を を を を を を を を を を	のデルタ
<u>=</u> +	五十五	四十五	六十	五十五	(パーセント)	リスク・ウェイト	参照銘柄のバケット番号に応じ、次の表のとおりと	9るリスク・ファクターのリスク・ウェイト	ッジ手段の価値の変動を〇・〇一で除して得た値をいうに「ノーセンー変付させた場合においるOVPXにOV	のスポット価格を現在価値に対し	5柄のスポット価格の相対変化」とは、バケ		ット内の全ての参照銘柄のスポット	四の二十七 株式に係るデルタ・リスク・フ	ルタ及びベガ・リスク・ファクターの感応度	1 入 】	表のとおりとする。 ット番号をいう。次条第三項において同じ。 「クット番号(前項の規定によ	、て、は、イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

第		6 5 4	
二百四十		まで及び 13 にあっては七十 まで及び 13 にあっては七十 まで及び 13 にあっては七十	12 11 10 9 8 7 6
一大条の四	第 七 目	13 は 条 に た A 対 の 「 銘 係 に た A 対 の 「 銘 係 あ れ し 全 参 柄 る に カ 十 」 定 を は て て 照 の べ	
第二百四十六条の四の二十八(コモディティ・リスクの	及び相関 関	ては 1 と の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の	
バ	1 ティ		
ディティ	感応度、	カターは、バクターは、バクターのボラティの相対変化とす ト相対変化さす ト番号1から ト番号1から カターのリス	
コモディティに係るデルタケット)	リ ケ スク・、	トらる動とテ変すが	
ルタ・リ	ウ ェ イ ト ・	番号 9 で 及び 11 12 ト で 11 12 ト	

3エネルギーのうち電力及び炭素排における二酸化炭 域イニシアチブ (限月)、温室効果 ご排出削減量、EI で限月)、温室効果 では、ピーク、オフピーク、オフピーク、オフピーク では、アナット では、アナ	2 エネルギーのうち 原油(軽質スイー	TAルギーのうち 一
	油料グタノースイートTI、ブレントボイオ ボイートTI、ブレントボイオ ボイートボイーシンガーシンボイーゼボーゼ	料(ウラン等

8	7	6		5		4	
声 几	貴	ガ		소		华	
穀 物 及 び	金	ス		金 属		貨 物 輸 送	
及 び	属	燃 料		· 非 貴		颗 送	
油糧				貴 金			
油 糧 種 子				金属			
	-1 41			SI EL SI)	> / U.I
豆トウ	ラ ジ 、	ス ス 然	モ (タ) ル材 リコンバ鉄コ(す) ウベ コム 1	型 射 ア 送 バ	l ハ サ ド マ ン イ ラ	仲
	ウ銀ム、	ガ	ブバタナ鉱イ鋼す	゛、ス	ンフ船ル	ッデズイ	グ
大豆種子シ	プ	ガ ス 及	<u> </u>	知 メ カ タ	マ ス 船 :	カイ ババスサパル	リ l
子シ、	ラチ	び 液	等 、) ム タ 鋼 鋼 鉛	鉛ル	等 ッ エ 及 等	等イナタ	ン
大 小	ナ	化	マ、、、ンく線等ンの希チグず、	コーア	「ク」ズ」び、	ブズマ船	電力
大 豆 麦 油	及	天然	ガ少タストス	ツルサミ		リスクケ	証
一、大	びパ	ガ	ン 金 ン テ 鋼 チ 錚 、 人 基 1 素			ッパップ	書等

2 表 ス		T				
ひ ク コ バ の モ			10		9	
ケバデ						
トッテ	テそイの	農 産 物	ティフ		畜産	
号間の	他	物	及ト		<u>ス</u> び	
11 1 1	コ		びそのモ		乳製品	
関係数	モディ		他ディ		品	
である場合にあれている。)	1 1	ズ 1魚)	畜 マ ブ	ル
には、のが	ラ ン 業	木 材 芋 ジ き	ビカ、ア	等	牛 リ 油 リ	コ等、、、豆
つ一ヶ	レ石物	・ パ 砂 ュ 類	口、	及川ビ州	生みし	コ) 菜 大 ヤ ミ ナ 、種 麦 シ l ッ 小 油 、油 ル
方又は零パカリカ	ロータローガ	ル 糖 1 ジ	ス 1	び ッ ッ ッ の 乳 製 ん	及び米ッ	ツ豆及菜、等油、び種キ)
パ 双 及 l 方 び		及綿を一	タ等)、	1 品 1	肥ツ	、モ菜ヘヤ、
セ が ベ ン 前 ガ	びア料		茶。	、(子)、(一子)、(一子)、(一子)、(一子)、(一子)、(一子)、(一子)、	素	リコミ種川
ト 項・	板 1 、	1 1 1 1	1 7	乳	牛 ヒ	シ 種 ラ ト

し、それ以外の場合にあっては二十パーセントとする。

の感応度等)(コモディティに係るデルタ及びベガ・リスク・ファクター)

スク・ファクター 百四十六条の ット価格の相対変化とする 兀 一の二十九 は バケット内の コ モデ 全ての イ テ イ コモディティ に 係 いるデル タ

2 前項の 対して同 ケット内 た値をいう。 A 又 は C V 「コモディティのスポット 時に一 の全て А ツ のコモディティのスポット ジ] 手段 セント相対変化させた場 0) 価値の変動を〇・ 価 格の 相 価 対 変化」 合におけるC \bigcirc 格を現在価値 一で除して とは、

3 RWk は ット番号をいう。 項に バケット 規定す 番 るリ 号 に応じ (前条第 ス ク フ アク 次の表のとおりとする。 項 \mathcal{O} ター 規定 \mathcal{O} に IJ より ス ク 分類したバ ウ エ 1 \vdash

【表 別葉五を挿入】

る。 ト内の全てのコモディティのボラティリティの相対変化とす コモディティに係るベガ・リスク・ファクターは、バケッ

5 合におけるCV ィを現在価値に対して同時に ケッ 項 一で除して得た値をいう。 0 1 コ 内 モ デ 全 イ A 又 は C V A ティ \mathcal{O} のボ モ デ ラテ テ ッジ イリティ イ] に 係る全 手段の セント 0 価 相対変化させた 相 値の変動を〇 対 ボラテ 変化」 とは イリ

RWkは、百パーセントとする。 第四項に規定するリスク・ファクターのリスク・ウェッ

第三款 承認の基準

第一目 CVAの計測方法

(取引相手ごとのCVAの計測

とする。 定するところにより取引相手方ごとにCV るために、 百四十六条の四 十六条の 四の八第 次条から第二百四十六条の四の三十五までに規 の三十 項第一号に掲げるネット S A C V Α 採用 Aを計測するも 組 合は 感応度を計測 第二百

(CVAの計測要素)

2 採用組合のデフォ して計測するものとする。 C V トによって 百 兀] A は、 + ケット 六 条の四 生ずる損失の 次に掲げる要素に基づき計測するものとする。 インプライドPD ルト・リスクは の 三 十 この場合におい 額の期待値 C V 考慮しない は、 定 取引 て、 \mathcal{O} 値とする。 相 手方 ものとする。 S A | C V 0 デフォ

ヾーケット・インプライドPD)

将来エ

クスポ

ージャー

ケット

コンセンサスELGD

造を有するデフォルト確率をいう。 百四四 て「クレジット指標」という。 ケット・ ス + フレ 六 条の インプライドPD」とは、 ッドその他の信用リスクに係る指標 兀 の三十二 前条第二 から推計して得た期間構 市 場で観測されるクレジ 項 第 号に掲 (次項にお げる

当該各号に 取 -PDは するクレ 引 前 項 て 相 خ 手 \mathcal{O} 規 そ 当 方 定に 定める要件を満たすものとする。 0) 該 ジ 推 以 流 下ご 計 動 係 カュ る は 指 性 か 標から わらず 前 \mathcal{O} 0 低 次 項 項 に の各号に掲げる場合 に 1 推計するもの 取 規 な 引相 定す クレジット 1 て á 手方 「流 7 \mathcal{O} 動 · 指 と 性 ク す V ツ \mathcal{O} 標 5 る 。 ジ 1 0) 低 \mathcal{O} 区 流 ツ 分に応じ 取 動 イ 指 引 性 プライ 場合に .標を代 相 が 手方 低い

川地域中セクターセクター地域 流動性 類似する企業 とい 場 合 う。 0) 低い 当 次該に類 \mathcal{O} 取引相手方と信用力を構成 以 慮 掲 似 クレジット指標が存在し、 企業 下この号及び第三号に げ た る 分析手法 変 \mathcal{O} 数そ 流 動性 \mathcal{O} を用いること。 他 \mathcal{O} 高 11 ジ ク レ す お その る要素に ジ 指 ツ て 標 \vdash 流 に 動 類 指 性が . 標 を 似企 · 関 影

を確 を有 流動性 保すること。 する 参 0 照銘 低 V 柄 取 引相 割 り当てる場合 手 方 を 流 動 性 0 高 1 ピ ク ングの ジ ツ 妥当性 指 標

る。 分 流動 ト F デフォ 発 析 生し 確 指 性 12 標が 率 基 \mathcal{O} た信 低 ル づくこと。 \vdash 存 い う。 確 用 在 取 力 率 引 は 0 な 相 変 ク \mathcal{O} た V 手 だし 方 レジット指標に関連 み 動 場 を包括 を表すデ 合 \mathcal{O} 類信似 匕 的 用 企 ス な分析 業の IJ タを IJ ス 流 力 ク に 用 ル に 動 するものとす 用い 関性 する 0 (過 ては 得たデフ 高 去 包 V に実 括的 ク

(マーケット・コンセンサスELGD)

二百 算 第 兀 ジ 十六 出 号 す ツ るた \vdash 条 掲 \mathcal{O} \Diamond 兀 ス げ に る \mathcal{O} 三十三 用 ツ たLGDと同 ド から ケ 第二百 ツ IJ \vdash ス ク 兀 コ 0) 中 十六条 ものとする。 立 的 セ なデフォ サ \mathcal{O} 兀 スELGD」 の三十 ル とは 第 確

2 とする。 よって ることが \vdash 債より 項 0 規 コ 定に も優先する場合にあっては、 工 センサスELGDの値に必要な調整を加えたものを クスポ できる。 カゝ か わらず] ジャ ただし、] \mathcal{O} 工 クスポージャ 取引相手方が 優 先順 位 同項に は 変更されな 差し入れた が無担 規定する 保のシ 担保 ŧ

付来エクスポージャー)

スポー る要 百 を 来 ションにより 第三号に 兀 件 V 工 + う。 クス ジャ \mathcal{O} 六 条 全て ポー] 掲 を 下この を現在価値に げ 兀 生成さ 満たす ジャー る \mathcal{O} 三十 款に 将来 れるパ ŧ 兀 (前 \mathcal{O} お 工 っとする。 クスポ いて同じ。 項に規定する将 割り引いたものをい 第二 スを用いて得ら 百 兀 ジャ + 六 \mathcal{O}] 条 計 来エクス \mathcal{O} れた将 と 測 兀 . う。 は は \mathcal{O} ポ シミ 来 + 次] 第

2

手方との全てのデリバティブ取引を評価し、 当 連 \mathcal{O} \mathcal{O} 3 兀 他 す \vdash 額 Ś · を 用 の 三 \mathcal{O} \mathcal{O} することにより生成されるパスに 原 算 大 出 て現 \mathcal{O} \mathcal{O} ケ 第四項 ツ X 対 一分を 時点までの割引計算を行うことによっ 象となる取 \vdash 第三号に いう。 IJ ス ク 以 引 下この お フ \mathcal{O} 価 ア て 同 格 ク 項 タ 12 U 及び 影 1 . 基 づ リスクフリー 響を及 $\stackrel{\textstyle \frown}{C}$ 第二 き取引相 百 ぼ 匹 IJ

リスクのマージン期間を除くモデルの水準調整プロセス素は、会計CVAを計測する際に用いるものと同一とする。	4 将来エクスポージャーを計測する際に用いる次に掲げる要	満たさないときは、必要な調整を行うものとする。	おいて、会計CVAがこの目に規定するCVAの計測方法を	合が用いるモデルに基づき計測するものとする。この場合に	3 将来エクスポージャーは、会計CVAを計測するために組	テ―ルである可能性を含む。)を考慮すること。	スポージャーの分布が正規分布でない可能性(ファット・	六 モデル化されたリスク・ファクターの分布は、将来エク	に基づき水準の調整をすることが認められるものとする。	市場データが存在しない場合には、ヒストリカル・データ	市場データを用いて水準を調整すること。ただし、十分な	相関係数は、十分な市場データが存在する場合には、当該	五 マーケット・リスク・ファクターのボラティリティ及び	のとする。	ル・データに基づくドリフトの水準調整は認められないも)は、リスク中立測度で求めること。ただし、ヒストリカ	たりの平均的な方向性をいう。以下この号において同じ。	四 リスク・ファクターのドリフト (確率変数の単位時間当	ついては、当該相関関係を考慮すること。	三 取引相手方の信用力との間に高い相関関係がある取引に	ように確率過程を用いてシミュレーションされること。	り、適切な時点に設定された適切な数のパスを発生させる	リスク・ファクターは、満期が最も長い取引の期間にわた	二 取引相手方との取引において重要な全てのマーケット・	て構築すること。

5 ネッテ 様 とし て考 C V 慮するも Α イ \mathcal{O} 算出 ゲ \mathcal{O} のとする。 に ネ 認 用 識 は 、る市 会計 C V 場デー 0 不 Α タ及び実際 確 \mathcal{O} 実 計 性 測 は に C お 0 け る取 取引 Α 0 扱 デー 計 測に タ

マージン・アグリーメント)

とができる。 を満たす場合に 百 四 た取引相手方との取引においては、 + - 六条の 四 限 0) 三十五 b, 受け入れた担保の効果を認識するこ 1 ジン 次に グ 掲げる要件 IJ 1 の全 · を 締

全て 第五十二条の三第十二号に掲げ 行を行うことを可 の当 保 付 事者を拘 取 引 で 使 東 用 z 能にさせるものであること。 れ る全て 関 0 る基準 文書が、 連 でする法 を 域にお 満たして 取 引 関 係 V て する 強制 るこ

ていることを適時に確認していること。

づいて導かれており、強制執行可能性が継続的に維持され三 前号に掲げる要件が、十分な法的調査及び法的論拠に基

2 を満 クスポ ージン・ たす É] ジ アグリー \mathcal{O} とする。 ヤ \mathcal{O} 算出 メント 12 お を締結した取 いて は 次に 引 掲 相手方に係る将 げる要件 (T) 全

る担 保 来 対果を エ ク ス ポ スに ジ 沿 t] て勘案すること。 に IJ ス ク 削 減手法 7 認 識 ź

額その他 計測モデ 種別] ジ ル 関連する全ての契約上の特徴をエクスポー 閾 にお 値 アグリ 独立担保額 て適切 メントの性質 に 勘案すること。 当初証拠金及び最低引渡 担保徴 求 \mathcal{O} 頻 度、 担保 担

三 該イ又 イ 又 ること。 取 工 ークスポ は 取引並びに 引 ポ は 相 口 形式の この 手方との 口 ルージャ に定 掲 場 げ るリ 合に 間 取引及び信用取引その他これに類する海外 める最低期間を下回らな] 接清算参加者に対するト 間 の計 ス お で 担保 ク \mathcal{O} 測 をする時点の直 \mathcal{O} 7] 授受をし 当 ジン 該 期間 定 期 な 間 11 \mathcal{O} 11 ことを ŧ 区 \mathcal{O} 前 のとする。 の 一 分に応じ、 日 数 ド 定 は 前 提とす エクス 期 次の 間内 当

づくものをい ポ N る場合にあっ は、 に ジャーに係るリスクのマージン期間 間 掲 げ 担保契約で定められている担保授受の間 るリ 九+N営業日 1 7 ス は 日次又は日中の担保交換 0 一とす 7 る。 ジ 期間以外 口 に は て 0 同 が定められ 四十N営業日 IJ U スクの 隔に基

目 体 · 制整備

ン期

相 体制)

V

Α

IJ

ス

ク

当

額

の計算

第二百四 の規定によりCV 備するものとする。 十六 条の 四 Aリスク相当額を月ごとに算出する体 の三十六 S A C V A 採 用 組 合 は、 制 前

 $\stackrel{\textstyle \frown}{C}$ Α IJ ス ク 相 額 0 報 告 制)

第二 ものとする。 リスク相当額を行政庁に月ごとに報告する体制を整備する 百 匹 + - 六条の 兀 0 三十七 S A Ċ V Α 採 用 組 合 は С

C Α 0 管理 四体 制)

げ 百 る要 兀 +件 六 条 \mathcal{O} 全てを満たす の三十八 ŧ 0 とする。 A | C V A 採 用 組 合 は

- 部 統 制 関 する要件
- 工 クス ポー ジ ヤ 計測 モ デル \mathcal{O} 運 用 に 関 する 要件
- 四三 ークス ポー ジ ヤ 1 計測 モ デ ル 0 検証に関する要件
- 内部監査に関する要件
- 2 げる要件をいう。 前項第一号に掲げる 内 部 統制 に 関 す る要件」 とは、
- 基 C V カコ 0 V づ き管 て、 A適 切 理 関するリスク管 識別、 に することを 運 用されて 計 測 いう。 管 理 理 いること。 組 承 合が有 \mathcal{O} 認 及び 体 制 内 する C V が 整 部 報告 備されて \mathcal{O} Α リスク 枠 おり 組み
- 計測さ されていること。 クス され、 ポー 承認に先立って一年以上にわたって適切に ジ 計測モデルに より C V Α 及 び 感応 度が 運 用
- ていること。 次に掲げる要件の全てを満たすCV A デスクが 設 置 3
- 関 するリ エクスポー C V A に いること。 ス ク管理業 関す ジ ヤ っるリス] 務 計 0) 測 ク管 運 モ 営にお デル 理方 0 利 V 針 用に関 7 \mathcal{O} 策 主 定 導的 及 する責任 び C V な役割を を負
- 部 (ハにおい ッジ 取引又は て C V 外 部 A トレー ッジ ・ダー」 取 引を とい 執 行する う。 \vdash を 配

L

7

確 に規定され、 Aデスク及びCV 当該 役割 A ト レ ー 及び権限に基 ダー の役 き適切 割及び権 に 限が

され て ること。

- 理 状 ること。 0) 状況そ 況 週 を示 間 に 0 す 書類 他 口 必 以 要な が 上 作 0) 情 頻 成 報 度 れ が で C V 理 事 С V に A 定期的 に Α に 関 関 す んるリ 12 す るリ 報告されて 、スク ク 管 管 理
- 朩 み込まれていること。 Cするため V A 0 残 高 0) 指 ,標が定 その 変動による損 義 され С 益そ V A デ \mathcal{O} ス 他 クの \mathcal{O} С 運 V 営に Α を
- 兀 要な経済 おり 理事が、 営資 か 源を投入して C V Aに関するリスク管 Aに関するリスク管 1 ること。 理に 理 \mathcal{O} 積 適 極 切 的 な遂 に関 分して 行に
- Ŧī. を適 制 会計 C V 及び手 切 続を遵守 運 Α 用 \mathcal{O} 工 す るため する体 スポ に] ジャー 制が整備さ 文書 化され を 計 れて 測 た内 す るた 11 部方針、 ること。 8 0 システ 部
- いう。)であって次に掲げる要件の全てを満たすもの いて「CV エクスポー ジ A ヤー エクスポー 計測 モデルを検証する部 ジャー 計 測 モ デ ル 検証部 署 (第 五 署」 項に が 設
- 置されていること。 後の エクスポージャ 定期 的 な 検 証] を 実 計 施 測 す モデル っる 責任 \mathcal{O} を負うこと。 開 発時 \mathcal{O} 検証 及び 運 用
- 口 、設置されて となる取引に 関 信 わ 用 る部署、 IJ ノスク ること。 関わる部署及びCV ア セ ケ ツ ット \vdash \mathcal{O} 額 を算 出 相 する Aデスクから独立し 当 額を算 対 象となる取 出 引
- 理 十分な能力を有する人員が配置されて 事に対してエクスポージャー計測 モ ること。 の管理 状況

デ

直

デル

0)

- セ 取 単 引 位でエクスポージャー 古 適 有 切 \mathcal{O} 情 割 報 を正 ŋ 当てることに 確 捕 ・を適切に計測 捉 ょ ŋ 取 引 をネッ ネ するものである テ テ イ グ
- 適切に管理され 工 ク ス ポ] ジ 7 ヤ ること。 計 測 モ デ ル が 次 に 掲 げ る 要 件に 従っ
- 。 されており、 取引条件が エクスポ カゝ 網] 羅 船的及び ・ジャー 保守的 計 測 七 なも デ ル \mathcal{O} 適 であること 時に 反 映
- 口 エー守 ムとの クスポ 的 取 引 に 条件 一映さ 間に照合プ ジ が ヤ 工 れ て ク 計測 いることを継 ス ロセ ポ モ] ・デル ジャ スが整備されて と取引条件 1 計 的 測 に モ デ 確 を蓄積するシス 1 ル 認 ること。 するために に 正 確 カ
- 取得すること。

 取得すること。

 取得すること。

 でVAリスク相当額を算出するために用いる市場データ
- ること。

 「財務会計において使用するデータと整合的なものであ
- 時 に に わ 取 ク 得され たり保存されて ス ポ て ジ おり t 計 いること。 カュ 測 必要な全て 当 該 市 場 デー 0 市 タ 場 が 必 要な期 タ が
- ボ エクスポージャー計測モデルが必要とする市場データが整備されていること。 不正確又は異常な市場データを適切に把握できる体制

4 証 12 口 石 モデルの運用方法、前提及び利用制限掲げる要件に従って作成されていること。 継続的 する検 第二項 関する要件」 が を 取 \mathcal{O} ホ オ エクスポージャー 代 条件 理変数 デー 定期が モデル 6 に 計 理 する要件 工 項第三号に 工 クスポ 測モデ クスポー 解 する際に 掲 構 タ カュ 得 お 証方法 築方法 お検証 (T) タ・ 確 げ 第五号に 的 ľ できない 可 11 (市場の・ る事 受渡し 能の 保さ が な 8 て なも 運用 フ 検 文 1 市 並 代 ジ 用 ジ 項 が 口 証 のプロセスを明確に記載し 掲 書 れ 況 おいて 方法 は ヤ 定 急激な変化を含む。 7 げ 場合であって代替 t を び の状況を \mathcal{O} \mathcal{O} 理 V >] 0 定め に組 となっており、 一変数」 る仮 \emptyset Ś 悪 最 いること。 計測モデルの開発時の検 **(**デ 6 次に 計 計 低限の頻 化 同じ。 れて 合の 定及び市場デー 工 測 測モデル た指針が] 前 を な 提及び クスポ いう。 モデルについて、 タの入力、 掲げる要件を 保守的 代 という。 代表的 理 ること。 度及び 変数 及びポ (将来工 及び当該 策定さ 第二百 1 に に反映し 的な市 な C V 用制 を特 ジャ カゝ 処理 を 追 つ、 いう。 定 れ 1 兀 が 限 使 タをいう。 クスポー 加] につ 工 7 +定められ 用 場 Α 卜 及 的 検 た 計 て その クス 低証及び フォリオに 測 ポ 六 規 デ び 証 いることを示 す 11 な 条の 程 ĺ ること。 るときは、] モ 検 \mathcal{O} モ ポ 正 デ 1 証 再 て が デ タ 第三者 ・フォ !現の] + ル 運 確 ル \mathcal{O} 〇 以 下 を 評 ジ 用後 性 の人 間 実 0 IJ 関 \mathcal{O}

評価及び継続的な改善に係るプロセス

三 的 ること。 おお ス 対 な 工 ショ 応 ポ V 検 ク 7 L ス 1 証 は た ポ ジ 価 独 ヤ 彐 お 値 場 立 ジ 合 L す \mathcal{O} を 7 ヤ 非 ケ た ること 算 線 適切 ット 出 お 7 計 形 す 測 なべ て、 性 る に ケ モ 価格評 を考慮すること。 IJ デ ょ ツ ンチ スク・ オ り 1 ル ブショ 生 \mathcal{O} 成 IJ 開 価 ファクタ モ さ ス 発 時 ンの クに デ れ ク ル る 及 照 び 価 を フ 格評 らし 運 ス ア 幅 用 関 価 て 基 後 広 L モ 検 0 1 デ 証 き 継 市 況 続

兀 とを 取 確 引 認 が 適切 す ること。 なネッテ イ ン グ・ セ ットに 割 ŋ 当てら れ るこ

5 V C 第 対 12 Α L 工 係 項 よる独立し 第 ク る IJ 兀 ス なく ポ 号 ス ク に 1 管 掲 ジ ŧ げ た監査 理 t る \mathcal{O} 年 計 全 が に 測 体 内 実施されることをい 七 \mathcal{O} 部 口 デ 監 査に 以 ル 口 検 セ 関 \mathcal{O} 証 ス 頻 部 す 署 度 С る で \mathcal{O} V 要 内 件 運 Α 部監 用 デ を ス 含 ク は 査 を 及 び

第四節 簡便法

合 る 簡 者 IJ 計 日 百 ス 掲 以 便 額 ま 兀 外 で 法 げ 項 が +に \mathcal{O} +のの 六 者を 条 ょ ア 規 兆 間 以 定 る 円 セ に \mathcal{O} С 外 以取お 兀 ツ に V \mathcal{O} 引 け \vdash か 下 \mathcal{O} 三 者 で 相 る Α \mathcal{O} カュ ある場 を取 第二 IJ 額 わ 手 + 方と ス 5 九 ず、 ク 引 百 合には 四組相 相手方とする す る派 十合

六

は 第 当] 二百 セ 生 条 商 兀 第 の直 十二百取 \vdash 近 派 を 第 \mathcal{O} 乗 生 条四引 期 じ 商 十の項末 \mathcal{O} 品 六 想 各か 7 得 取 第 条 定 6 引 \mathcal{O} 元 に た の項ニ 額 本 掲 出 各ののげ を信

節を加える。

2 V 1 C 前 V IJ オ 項 IJ ス \mathcal{O} IJ ク 才 規 ス \mathcal{O} 全 定 ヘッジ を 適 当 用 同 手 項 す 段 することが \mathcal{O} る 規 に ょ 定 合 る を に 適 お ^ ッジ いて、 で 用 する 効 果 ŧ 組 を の合 とは、 反 映させること С カゝ

つ、

С

Α

ポ

1

き

Ł

のとす

中 央 清 算 機 関 関 連 工 ク ス ポ 1 ジ ヤ \mathcal{O} 信 用 IJ ス ク ア セ

0) 次 百 計 \mathcal{O} 各号に 算 兀 は + 六 この 掲 条 げ 章 る 五. \mathcal{O} 工 ク 定 第 ス 8 兀 ポ るところに 章 1 及 ジ び ヤ 第 1 五. ょ 章 \mathcal{O} る。 信 \mathcal{O} 用 規 IJ 定 ス に ク カ カゝ T わ セ 5 ず、 ツ

略

条に の 二 る 組 合 1 が お レ という。 V) 間 て 項 F. 接 「直 第一 清 工 算 接 号 ク 参 ス 清 加 1 及 ポ 算 者 参 び 1 で 加 ジ あ 口 者 に 向 掲 t る 場] け げ 合 で 1 る あ \mathcal{O} 要件 直 レ 2 て、 接 K を 清 第 満 算 たす エ 参 百 ク 加 ス £ 兀 者 ポの 十 に 対

ア 中 清 セ 算 央 ツ 清 1 加 算 者 機 向 関 け に \vdash 対 レ す るト F レ 工 ク K ス ポ 工 クス 1 ジ ポ 0) ジ 信 ヤ 用 1 IJ 及 ス び ク 直

百 兀 + 六 条 \mathcal{O} 六 略

2 3

項 待 第 同 項 工 号 ク \mathcal{O} 号 中 ス 規 イ 定 ポ に ーイ 口 ジ ょ カゝ ŋ 又 t 5 は 1 第 方 兀 ま 式 章 、 を 用 とあ で \mathcal{O} 規 とあ る 定 1 \mathcal{O} る を とき る は 準 のは 用 口口 は る 「イ、 第五 場 合 + 同 口 に 又 は 号 お 条 第 中 = 7

> 中 央 清 機 関 関 連 工 ク ス ポ ジ ヤ] 0) 信 用 IJ ス ク • ア セ

> > ツ

百 兀 十 六 条 0 五. 同 上

口 上

条 す るト の 二 組 合 第 が レ Ì 間 項 ド 接 第二 清 工 算 号 ク 参 ス加 に ポ 者 掲 げ] で ジ る あ 要 る ヤ 件 場 1 合 \mathcal{O} で 全 あ \mathcal{O} て 直 2 · . て、 を満 清 た 第 す 5 6 百 加 \mathcal{O} 兀 者 +(大 対 対 に

条にお t 1 て · う。 「直接 清 算 加 者 向 け 1 V ド 工 クス]

接 清算 T セ ット) 加

者 機

け

1 対

K 1

工

ク

ス

ポ エ

ジ

t

 \mathcal{O}

信

用 IJ 及

ス び

ク 直

中

央

清

算

関 向

に

す

3]

レ

ド

ク

ス

ポ

ジ

]

百 兀 十 六 条 0 六 同 上

 $\overline{2}$ 3 同 上

七 項 期 第 第 待 同 号 工 項 号 クス \mathcal{O} イ 中 規 中 定 ポ イン 口] に からニま 又 ジ ょ は ヤ り 第 方 兀 で لح 式 章 あ を \mathcal{O} と る 用 規 あ \mathcal{O} 11 定 る る は を ときは 0) 準 は 口 用 する 「イ、 第 場 五 同 口 合 又 は 12 + お 中 条 1

5 を \mathcal{O} で 出 築 \mathcal{O} 防受 含 は 取 基 う 期 ぐ け 合 す \mathcal{O} 第 第 日 準 日 b 間 た に 引 木 七 数 ts. 入 ネ 件 日 難 + 項 と لح \mathcal{O} 8 れ 6 は 流 す す ツ を な \mathcal{O} 最 \mathcal{O} 数 五. る 動 て、 テ 含 規 ま が 派 条 る。 t ネ 方 性 で 策 五む 生 第 定 長 ツ イ \mathcal{O} テ が 当 千 兀 商 12 が 低 グ 件 半 لح 品 項 営 1 講 予 該 ょ 1 を期 取 第 り 業 U 定 適 該 あ 担 セ 引 日 グ 6 3 超 \mathcal{O} 第 年 格 適 る 保 号 ツ え を 兀 間 数 れれ 中 格 0 又 1 た期 含 ホ 章 セ 7 央 中 は \mathcal{O} 7 $\widehat{+}$ は ネ 前 中 営 ツ 清 む 11 央 \mathcal{O} 11 再 لح ネ \vdash 業 な る 1 規 営 ツ \mathcal{O} 算 構 読 テ 兀 流 担 機 ツ 定 日 業 に V 算 又 築 半テ 4 含 は 1 動 を 数 日 کے 保 関 機 \mathcal{O} き 替 期 1 性 準 \mathcal{O} を ま に カゝ 関 口 木 え グ 内 Š ン \mathcal{O} 用 下 は対 5 が れ 難 グ る \mathcal{O} 低 す 5 口 る す 変 支 لح な 11 • ŧ セ 11 る 11 る 取 IJ る 動 払 派 ず \mathcal{O} ツ セ 担 場 ず 場 引 ス損 証 不 生 لح 1 れ ツ 保 合 れ 合 \mathcal{O} ク 失 拠 能 替 商 \vdash す V に 残 \mathcal{O} \mathcal{O} カコ に カ 金 え 品 る لح はお は存 \mathcal{O} 及 短 7 発 な る 取 あ時 び再い] 生 ŧ 期 11 L 2 引 十 間 ジ 構 営 を 点算 7 たの る 7

5

業 う 期 ぐけ合 す 日 イ 5 間 た 数 日 に 入 カコ と 8 れ 6 \mathcal{O} は す す 最 \mathcal{O} る いた る。 ネ 方 て ま Ł لح 長 ツ 策 L で テ が が 当 い لح لح 営 1 講 予 該 当 業 じ 定 あ ン 適 該 年 日 グ 5 さ 格 適 る 間 数 れれ 中 格 セ 央 中は \mathcal{O} て て + 営 ツ 1111 清 央 業 営 1 清 1 な る 算 業 機 日 に 11 担 算 又 と 数 日 含 保 関 機 は を き \mathcal{O} ま に か 関 口 う 下 れは対 6 が 5 す 変 支 口 る る 読 る 動 払 11 取 IJ ず 場 ス損 引 証 不 4 ク 失 能 れ 合 \mathcal{O} 拠 に 残 \mathcal{O} \mathcal{O} 金 لح え カコ る 短 は 存 7 発 と な い 期 生 L 0 ŧ 営 十 間 ジ を た 7 \mathcal{O} 営の 防 受

に場 年日グ 策 لح 含ので出 築 当 合 が が は取 基 第 第 間 む \mathcal{O} ネ セ 講 予 該 に 引 準 七 木 流 営 + ツ じ 定 適 お ツ 件 日 難 十 項 上 業 卜 5 さ テ 営 格 11 動 数 を な \mathcal{O} Ŧī. て、 に 性 含 日 n n 中 1 が 派 条 規 日 含 7 7 央 ン 五. 生 第 数 \mathcal{O} ts. 定 \mathcal{O} を ま V い 清 当 グ 低 千 兀 商 に う 下 る • 件 半 項 n な 算 該 V 品 ょ い担 機 適 担 を期 口 る セ 取 第 1) لح 保 る 取 保 関 格 ツ 超 \mathcal{O} 引 第 ず 場 引 き カン 中 1 又 え を 号 兀 に 期 含 合 \mathcal{O} は対 6 央 は た =章 れ ネ す 変 清 لح 再 中 残 前 \mathcal{O} か む は 読 構 ネ 短 存 最 る 動 算 ツ \mathcal{O} 規 テ 兀 期 低 損 証 機 4 築 ツ 流 定 間 保 失 拠 関 替 半 テ 営 + \mathcal{O} イ 動 を が 業 営 \mathcal{O} 有の 金 え 木 ン 期 1 性 進 内 業 う 期発 لح 支 る 難 グ 日 ン \mathcal{O} 用 ち グ 間 生 L 払 ŧ 低 数 日 な \mathcal{O} す とす な て 不 セ 11 11 る \mathcal{O} は \mathcal{O} 派 す 受 ず 防 能 لح セ 担 最 生 ツ 場 ぐた け る ネ لح す 商 n ツ 保 合 ₽ \vdash る。 \vdash 入 な 品 又 カ に テ \Diamond れ と い 0 取 \mathcal{O} 及 はお 営 $^{\sim}$ 引 あ時 と イ \mathcal{O} る た び再 い 方 際 のをる点算構

6

6

方

が が 当 合

講 予 該 に

セ

 \vdash b さ 格

含 7

残

期 低 損

 \mathcal{O}

5

£

長

す最

لح 営

日

数

業 に

日

口 る 11

る 取

合

に

営

は存

間

 \mathcal{O}

営 + ツ じ

業 営

日

数

 \mathcal{O} を ま

う 下 n な る 算 該

5

ず 場 引 き に カュ 中

れ

カュ

短

営 + 間 保 失 拠 関

業

日 業 う 期 発 と

数 日

لح لح \mathcal{O} は を て 不

す

る る。

لح 策

定

7

担 機 適

保 関 格

す

る

 \mathcal{O}

生

防 受 能

れれ

V) V)

と

のは対

最

有

間

ネ ぐ け لح

ツ た 入 な

いテめ

イの

適 お

中 て、

央

清

6 央

変 清

動

証

金 が

L

れ

る た

 \mathcal{O}

場

11

当

算

機

支

払

0

第六章 \mathcal{O} 兀 ケ ツ 1 IJ ス ク

7 1 ケ ツ \vdash IJ ス ク 相 当 額 0 算 出方式 及 び

計

測 対

7 ツ IJ ス ク 相 当 額 \mathcal{O} 算 出

な 百 兀 六 条 7 Ì ケ ツ \vdash IJ ス ク 相 当 額 \mathcal{O} 計 測 対 象

るリ 1 ス ク 1 シ は、 デ イ 次 に 勘 掲 げ 定 るも \mathcal{O} 商 品 \mathcal{O} に係 とする。 いるデフ

利

ク、

信

用

ス

プ

レ

K

IJ

ス

ク、

株 才

式 ル

IJ 1

ス

ク、

外

玉

IJ

ス

ク、

IJ IJ

ス ス

ク

及

コ

1

テ ツ

1

丰 グ 勘 $\mathcal{C}_{\mathcal{C}}$ 定 モ \mathcal{O} デ 商 品 に 係る外国 リス 為 替 IJ ス ク 及 び コ 七 デ

前 テ 二号 イ に IJ · 掲 げ ス る IJ ス ク K 類 似 す る IJ ス

限 0 に 組 り、 全てを 算 合 入し は、 当 満 保 な 該 構造 いことが た 有 L 為 て 替 かい できる。 つ、 る ポ ジ 構 シ あ造 彐 5 為 替 カュ を じ ポ \otimes ジ 7 シ] 行 彐 政 ケ ツ 庁 1 に が 届 次 IJ け に ス 出 掲 ク た げ 場 相 る

当

合 要

2

額

に件

完 全に 為替 取 引 又は を 行 部 \vdash 前 分 \mathcal{O} 提 的 変 に 動 で 保 に ッジ よっ す する目 るもので 7 生ずる 的 ない 自己 で 保 有 資 L 本 て 比 11 率 ること。 \mathcal{O} 低 下 を

相 殺 す る V 範] 井 1 内 \mathcal{O} で 変 動 行 う ŧ ょ 0 0 で て あること。 生ずる自己 資 本比 率 0) 低

5

有

兀 5 除 六 月 す 以 る 上 前の 提 期 で 間 行 に わ わ れ た るも 0 てマー のであること。 ケッ 1 IJ ス ク 相 当

五. 当 造 為 替 ポ 彐 \mathcal{O} 構 築及び変更に 係 る方 針

を

額

カン

下

- 365 -

2 3 六 出は 類 七 を添 相 デ 内 す b 百 前 す 内 当 部 る そ 前 ょ 1 内 兀 1 項 成 当 \mathcal{O} 当 付 る。 う し該 部 額 \mathcal{O} 項 \mathcal{O} モ 7 部 + 除 Ì 各 を グ デ 六 ツ 他 す 規 整 構 外 構 モ 七 るも 定に 当 造 算 条 号 備 デ ル ケ デ 参 は造 卜 に 出 デ 方 考 ル ツ ル \mathcal{O} L 該 為 方 ス式 \vdash IJ と 掲 \mathcal{O} て 文 替 貫 替 方 九 ょ ク げ と 式 採 す い書 式の ス る ポ ボ IJ る を そ に用 ク ベ す 届 る に ジ た る。 る。 ス 要 \mathcal{O} お組 相 き 出 シ 手 用 標 0 ク 件 当 事 法 V 額 V 合 潍 7 に 11 彐 ヨ ては、 相 る を 的 1 額 項 を 7 ン で ン は 行 当 ケ 満 行 の行の 1 方 \mathcal{O} 式 額 算 政次内 ツ 政 概 う レ た 次 7 É 卜 す] 庁 に部 \mathcal{O} 及 出 に 庁 要 1 掲 合 び 方 旨 \mathcal{O} 及 デ に 七 • 掲 \mathcal{O} ケ げ デ 計 IJ 簡 式 \mathcal{O} げ 求び で ツ イ 易 説 月 ル 額 あ 1 る ス る \emptyset 金 る グ 方 を的ク 明 事 に 額 に 7 応じ • 式 11 方 相 項 を IJ デ 式 記 口 ケ を 当 を ス ス 報 ッ用 を額 記 て ク 告 トい 提 ク 用 た 相 \mathcal{O} 載 出 文 \mathcal{O} す る 合 当 L IJ で

た

額

カ

きを

3

部

モ

デ 7 デ て 式

ル

方

式

を

用

な

1

デ

イ

グ

ス

す

る商

品

に

0

V

て

方

を

用

1

て

算

出

L

1

V

デ 有

保

る

Ł

卜

スレ

て計

算 額

の標

グ

デ

ス

クごと

ケ

ツ 式

 \vdash

IJ

ス

ク

相

当

額た

る商

品

に

0

1

1

デ

ス グ

ク

間 デ

相 ク

殺

を

グ考有

 \mathcal{O}

保

内

部

モ

デ

ル

方

を

用

11 7 準

1

]

デ

イ

せ

ず

内

ル

式

を] る] 的

用 デ

7

出

L

 \vdash

Ì \mathcal{O} ス

デ

1

額た

と部

ス

 \mathcal{O}

]

ケ 方

ツ

 \vdash

IJ

ス

ク 算 グ

相

当

6 5 4 IJ 用は \Diamond 人 に ス 等 行 前 ョけ け ス が 1 前 内 る商 的 ク る 算 円 算 ₽ ク 直 千 勘 部 政 \mathcal{O} 項 直 T 次 項 方式 外 相 各 \mathcal{O} 出 未 出 億 定 に 七 IJ 庁 大 近 近 7 \mathcal{O} す て、 デ 当] 号 額 玉 基 満 品基 き 力 \mathcal{O} 円 及] 掲 規 る ス \mathcal{O} 準いテ げ に 期 を ル ク 額ケ が 為 潍 で 有 未 び 期 ケ 定 届 満 相 ツ 千 替 日額ゴ 用 方 け \mathcal{O} 定 日 あ 価 末 売 末 ツ \mathcal{O} 1 億 IJ カコ 付 1 式 当 出 80 IJ が る 証がが で か 千] 額 パ 円 期 券 期 件 す 的 て 採 た る ス ら あ 商 ら カゝ リス と IJ 未 億] 要 ク 末 勘 末 \mathcal{O} 算 る 7 用 \mathcal{O} 品 算 \mathcal{O} わ 方 円 出 ス 満 全 出 式 1 き セ 件 で 定 で 債 全 5 組 算 未満 ず、 ク ク で あ 体 基 ケ 合 出 に ン を 力 あ 及 券 基 て を 相 相 ツ は 限 卜 満 あ テ る び る \mathcal{O} 準 勘 準 を 用 に 当額が \vdash 簡 未 る ゴ 場 売 場 で ネ 日 当 満 ŋ 定 内 日 11 付 合 満 IJ あること。 ま ま 額 て た 易 ツ 次 合 \mathcal{O} 部 1 を算 に 的 当 に 合 す IJ で] に 商 で で 7 モ は、 該 あ 当い 0) 場デ ス 掲 方 \mathcal{O} は 品 • \mathcal{O} 計] 式 ク げ 連 る 該 組 全 ポ 間 出 合 債 間 額 ル ケ 場 す 相 を 結 組 体 当 ジ に ツ る 合 当 券 に \mathcal{O} に 方 んこと 当 商 用 子 合合は \mathcal{O} 勘該 シ う お 1 該 お は式 額 品 11 法に \mathcal{O} ネ 算 定算 彐 ち け を け る商 そ 簡用 IJ を に ること 人 はマ ツ 出 \mathcal{O} 出 ン る 最 が 算 等 1 \mathcal{O} 基 合 基 \mathcal{O} 外 ŧ 易 ス 0 1 V でき 出 大 品 ク のあ ケ 連 準 計 準 額 玉 的な 11 が ツ ポ き す て 5 有 方 相 7 結 日 額 \mathcal{O} 為 V 日 る。 かト 式 組 る ジ Ì う 価 は で 子 に がに 替 当

千 お

5

IJ

額証

を合

額

しする。

きケじ

法

シお

第二 3 2 7 す 方 相 $\hat{\delta}_{\circ}$ IJ 区 式 百 \vdash 当 組 ス当 口 ク ス 内 採 兀 額 内 コ \mathcal{O} 標 グ 分 \vdash 合 ル 額 口 第 証 各 V に を部除取 で ク 勘 部 モ 全 準] のに V 用 +1 を は 七券 を デ て 的 あ 定モ応 組六デ 行 が 算 掲 条 化 デ] し、 第三 引 る 扱 のデ 条 で 出 げ イ イ 方 デ 合 イ 政 のエ 担 場 Š はの き 式 商 庁 デ テ 対 兀 ク イ イ 当 ン 方 当 グ 項 な象 イ グ 合 卜 品 九 に 第 デ 丰 に 式 該 グ لح 件 ポ 次 レ に 1 \mathcal{O} \mathcal{O} 11 グ 掲 三 デ デ ス IJ ン 項 あ 各 月 係 規 もな に項 デ ス げ ク 各 次 号 ジ ス グ 0 る デ] ス に る 該 第 定 て に ア ク る ク 勘 イ ク 当 で 号 外 項 ス デ内 12 フ ヤ 力 \mathcal{O} 要 あ を 定 はン 玉 各 定 ク 部 \mathcal{O} 口 ょ ア し号 イ (第 要件 る場 ウ 件 扱 グ 為 号 \otimes モデ 要 報 ン \mathcal{O} は り 口 替 に グ 件 告 ン 商 同 る ド 算 か又 う +「するも 項デ \vdash 要 ル つ、 1 合 品 뭉 IJ 掲 次 出 は は 件 口 第 ス ス げ デ方 0) は、 に レ に \mathcal{O} 第 L 式 た 係 を +ク ク を 各 ス + 次 あ] る 出 7 又 及 デ 号 満 12 る 除 要 号 ク 採 \mathcal{O}] 0 7 資 六 に く。 はび件たに と 外 を用 で ケ 条 0 掲 イ は、 掲 コのす す 0 げ 玉 内 掲 設 組 ケ あ ツ \mathcal{O} る グ げ 部 モ ŧ 1 る 為 げ 置 合 ツ 0 1 兀 にる て、 同 替 取デ 7 \mathcal{O} る す 又 1 第 Ł 要件担 とす 項 デ IJ 掲 IJ 1 算 る は \mathcal{O} げ 第 ス ス テ 出 IJ ル ス項 デ ŧ 標 る。

方

式

の準

と的

ク

ク相

ツ

ス

ク

第

ク

ク る

号 又 及 要

+

す

イ

当 1 ン

デ

丰

· グ 業 デ ス クに お け対 る L 7 収 \mathcal{O} 益 を 4 管 割 理 ŋ する 当てるも ため \mathcal{O} \mathcal{O} 区 と 分とな 卜 0 V 7 1 いデ る 1

最 終的 るこ ダ 限 直 が 接 明 を な 管 置 監 確 理 ダ 督権 ただ くこと す] 区 る 又 限 分 へ ッ は が を さ 1 できる 有 れ ド レ \sim ツ す て] F \vdash る V デ 場 る イン レ 場合 合 1 グ に レ ダ] 1 は 又 は ダ T を] 力 名 方 の名 ウ のが 役 \mathcal{O} \sim 他 割 4 卜 ツ 方 置 \mathcal{O} ド に < 責 グ 任 ŧ 対 ル L 及の 1] 7 び で

権 限 \vdash レ が 明] 確 ダ に 定 又 めは 5 1 れて レ] ** \ デ ること。 イング・ ア 力 ウ ン 1 \mathcal{O} 役 割 及 U

六 五 兀 関 1 井 · を 設 デ 連 1 イ す V る 定] ン IJ し グ デ ス て イ ク おン デ り、 グ ス フ • ク がかデ ア 、スク つ、 ク 許 ター 容 子が含まれて かっぱい 当の 該 目 IJ 的 ス لح 整 れ ク ク • 許 て 合 11 ク 容 的 るこ ラ 範な ス 拼 IJ 及 に ス び 当 ク そ該許 れ 1 容 に V

0) 目 理 す 1 る 的 事 レ と整] 報 숲 ダ ダ 酬 等 一合的でな 1 体 \sim 系 \mathcal{O} · · · つ な で 報 明 報 あ 酬 確 酬 る が な 体 報 場 卜 系 合 レ 告 が に] 態 には、 整備 勢が デ イ され 整 1 ン グ 備 レ] て ・デ さ れ 11 デ ること。 イ ス て クの 1 グ・ ること。 業績と デ ス ク 連

七

1

レ

て説

明 に る]

1

デ

置

並

び せ

資 t

源

配

分 あ

 \mathcal{O}

観

点

か

5 た レ

適

当

で

あ 健

ることを

行 及

政 び

庁 業

に 務

る

こと。

だだ

全

な

管 デ

理 ス

対 運 配

 \mathcal{O}

 \vdash

1

デ

イ

グ

•

クに

 \mathcal{O}

4

す は バ ツ ク・テ デ が できる ス ク スティン に \mathcal{O} 場 複 配 置 数 合 回することが、 0 グ 1] IJ デ ュ でき] グ る。 1 ア は デ 複 ス 数 \mathcal{O} 場の

ス を クに 分 V う。 テ 対 ス L 7 1 第 十日 \mathcal{O} 結 号 次 果 ロの を 及 仮 操 U 想 作次損 すること 節 益 に及 おび い実 を 目 て 損同 益 的じを とし 比 較 て 又す は はる な損プ ら益 口 な要セ

い因 れ 事 7 業 11 戦 ること 略 次 に 掲 げ る 事 項 を含 む に 係 る 文 書 が 作 成

事 戦 能 略 \mathcal{O} 背 景 と な る 経 済 的 側 面

類 取 引 可 な 商 品 \mathcal{O} 種 類 及 び 頻 繁 に 取 引 さ れ る 商 品 \mathcal{O} 種

ホ を含 1 定 期 的 1 む な デ イ 経 がン 営 承グ 情 認 しデ <u>}</u> た ス 年ク V 次の 1 デ 計 管 イ 画 理 予 者 <u>~</u> 算 及 デ ツ び F ス ク 人 \mathcal{O} 員 卜 計 収 レ 1 益 画 を

 \mathcal{O}

予 ツ

想 ジ

有

間

保に

期い

0

7

 \mathcal{O}

方

法

乖

離

 \mathcal{O}

特

定

方

法

及

び

ポ

ジ

に 係 次に るリ 用 及び 掲] ス げ ク る 7 要 イ管] 理 件 ケ 態 ツ \mathcal{O} 勢 全 \vdash を て 整 IJ を 備 満 ス たす ク て 相 11 \vdash 当 を独・ ること。 額 を含 1 デ グ デ ス

九

 \vdash

ス

務

<u>\frac{1}{2}</u>

L

署 及 務 びレ 執 担 行 当デ 権 理 限 を 事ン 等グ 授 権 マデ さ れ 1 たも ケ ク ット 0 業 \mathcal{O} をい IJ う。 ス ク \mathcal{O} て 監 を設 管 理 置 に視 つする 7 て部

定 が 1 1 事 1 会等 れ IJ て イ お 3 に ŋ ツ グ ょ り 1 か デ 次 つ、 年 ス E ク に 当 掲 \mathcal{O} 回該 げ 事 以 卜 る 業 事 上 V 戦 1 項 見 略 を 直 デ に 含 さ イ 基 れ む づ グ て 11 た IJ ること が 1 3 明 確

(1)

+

額 卜 定] 元 本 イ に ょ グ る 定残デ 高 ス 体 限 クごとに の度 残 額 を 含 設 む定 つされ た 残 高 限

度

(3) (2)1 \vdash V]] デ イ イ グ グ 勘 デ ス全 ク \mathcal{O} 運 営 高 方 限 針 度

るリ れて ** \ ス 週 損 ること。 ク 管 益 間 報 にレ 対告 理 報 口 プ 告 以 独口 書 上 次 \mathcal{O} ク 頻 卜 に 度 でト 掲 コ げ 評ン る V もの 1] デ 口 を含 イ 1 ン グ・ む。 公 デ 担正 が ス 作 ク 価 に 成 値 さ係

定 V 結 · う。) バ 果 IJ ことに を 그 含] ょ す T る 定 ツ 期 的立ダ 1 に 検 IJ 又 証 は及 ス ク 必び 及 要 に び 価 調 期 応 整 待 じ てのラ シ 行役丨 3 わ 割 れを 1 る フ う 検 オ 証 者 のを算

U 率 水び 結 ル フ 果、 告 を 淮 Ρ に 値 1 関 を \mathcal{O} ア う。 バ 含 を 期 す ク 含 IJ る 仮 タ 待 ĺ む 第 그 想 報 内 損 に 告 彐 部 百 益 対 四ア す 管 又 1 バ IJ ツ は る 理 +及 六 \vdash 実 感 フ ユ び 条 損 応 オ] IJ 度、 規 0 益 1 十ス ア 制 が ル 二ク九のの十 バ を ツ 上 \mathcal{O} ツ 算 \vdash 出 IJ 八棄 九 ク 第 却 ス パ • し IJ ク] 域 テ た ス 項に 計 セ ス 結 ク テ 測 に 含 ン を ま \vdash 1 算 に お 関 いれ \mathcal{O} IJ 出 て る 信 す グ ス L る 同確頼及ク

イ応じて る 1 次 に 置 出 掲] \mathcal{O} でき げ デ 保 る 関 有 イ る す 期 報 る 間 ょ グ 告 う 書 日 報 Œ 告 次 IJ が 報 3 整 作 告 ツ 備 成 されれ \vdash 書 0) 7 超 11 か 過 ること つ、 \mathcal{O} 事 実 行 及 政 び 庁 そ \mathcal{O} れ 求 に 8

対

に

に 中 関 \vdash 高 す 頻 る 度 日 デ カ 次 イ 0 報 多 告 グ 額 書 な IJ 日 3 中 取 ツ \vdash 引 \mathcal{O} を 利 行 用う組 況 合 及に び 2 超い て 過 \mathcal{O} は 事

実 日

市 場 流 動 性 \mathcal{O} 評 価 12 係 る 報告 書

内 部 モ デ ル 方 式 に 関 す る 1 V ディ ン グ・ デ ス ク に 係

第二百 う 認 لح \mathcal{O} しする 兀 申 +請 組六 合 条 はの、カ 九 置行の す 政 兀 することが、 第二百一 ~できる。 た場 条 \mathcal{O} 合 十 に、 \mathcal{O} 承 \vdash 認 を V 受け] デ る イよ 承

2 載 前グ L **削項の承の** た承 認 子認を受け、 申 -請書を 行 ようとする組 政 庁 に 提 出するもの 合は、 次 とす に 掲 る げ る 事 項 を 記

名 称

職 名 \vdash デ イ ン グ デス ク を管 理する 責 任 者 \mathcal{O} 氏 名 及 び 役

3 す る。 前 項 \mathcal{O} 承 認 申 請 書 に は、 次 12 掲 げ る 書 類 を 添 付 す る ŧ \mathcal{O} لح

:を満 各 前 卜 項 たしてい 第二 号 に ることを示 規 ン グ 定 す á デ 責 ス す ク 任 が者 \mathcal{O} 前 履 条 第三 歴 書 項 各号 12 掲 げ る

その 他 参 考 となるべ き事 項 へを記さ 載 L た書 類

承 認 \mathcal{O} 六 基 準

第 うとするときは、 第二百四十六条の九 る要件を満 たして 九 い第の る 五. カュ 百 ゚どう 四行 十 政 か六庁 を審 条は \mathcal{O} 査 九 前 す \mathcal{O} 条第 / る も Ξ 第三 \mathcal{O} 項 |項の承 うる。 号 認 に を 掲 L

げ ょ

更届 認 内 た を 百 \mathcal{O} 受け その 場 合 出 兀 届 承 承 部 書 認 認 合 +出 モ 申申 を にた 六 デ 卜 請請行 は組条 ル レ 書 政 方 1 書 合 \mathcal{O} \mathcal{O} の庁 遅 デ は九 式 添記に 滞 \mathcal{O} に イ 付 載 提 な次 関 六 要 事 <す グ 書 出 \mathcal{O} 件 各 るト 類 項 す のに る そ 号 記 変 Ł \mathcal{O} \mathcal{O} ス 百 レ 更があっ 旨 \mathcal{O} 1 載 ク V 兀 とする。 が 事 及 ず + デ 項 \mathcal{U} 第 れ 六 イ そか 1 に 条 た 場 に \mathcal{O} グ 百 重 \mathcal{O} 由 内 几 要 該 九 合 当の + な 容 デ 変 す を 兀 ス 条 更 記 る 第 ク が に \mathcal{O} 載 係

る

変

変な承

2 百 項 に四各 十 号 六 に 条 掲 げ \mathcal{O} 九る \mathcal{O} 兀 生 第 をデ 満 州たさ」 た項 \mathcal{O} 承な 認 事 を 受 が 当 け 該た生六 組 じ た 合 とと は場 項 九 あ 合 \mathcal{O} 0 た \mathcal{O}

た

取 7 が V 第 百 承 二百 な 兀 認 V + \mathcal{O} 場 兀 六 取 合十条に六の 消 は条 九 \mathcal{O} \mathcal{O} 第二 九 七 0 三 百 行 四第政 +三庁頃は 庁 六 条 各 \mathcal{O} 号 内 に 九 部 掲 \mathcal{O} 干 兀 げデ 第 る ル 要 方 項 件 式 \mathcal{O} を 採

満

をし合

認た

用

組

承

り

消

すこと

が

で

きる。

出の

か 計

重要で

な

11

旨

 \mathcal{O} 面 が

説 又

明

を

記

載 事 合

L

た

書 当

面

を 組

速 合 事

Þ

か

す 観

る 点 善

ŧ,

 \mathcal{O} 5

とする。

る項

画

を

記

載

L

た 事

書 由

は じ

当該

由

が は

該

IJ に

にス

提ク

の由

関

す 前

場

に

第三 改

号

規

定

す

る

潍 的 方 式 採 用 組 合 に ょ るト レ] デ イ グ デ ス ク \mathcal{O}

届

出

- 373 -

出あ を す 5 百 用 るも か 1 兀 じ る + め、 0) 1 六 とする。 条 レ 次に \mathcal{O} デ 九 掲 イ \mathcal{O} げ ン 八 る事 グ デス 項 準 を記載 的 クを 方式 設 採 置 た届 用 L 組 ようと 出書を行政庁に 合 は、 す るとき 準 的 方 は、 式

- 名 1 称
- 職 名 レ] ディン グ デス ク を管 理 す Ź 責 任 者 \mathcal{O} 氏 名 及 び 役
- 2 前 前 項 \mathcal{O} 項 第 届 二号 出 書 に は 定 次に する責任者の履 掲げる 書類を 添 付 す くる も 0 とする。
- ことを示す 項 各 各号レ 1 (第十1 デ イにカル 号ン グ 口 を • ・デスクが第二百四十する責任者の履歴書 除く。 に 掲げる要 +件 六 を 条 満 \mathcal{O} た 九 L \mathcal{O} て
- その 他 参 考 と類 るべ き 事 項 を 記 載 L た 書 類

準

的

方

式

採

用

組

合

に

ょ

る

1

V

]

ディ

ン

グ

デ

ス

ク

に

係

る

第二 合 採 を行 に 用 百 更 には、 組 兀 \mathcal{O} 届 政 合 十 点は、 庁 遅 六 出 条 滞 な 次 \mathcal{O} 出 \mathcal{O} 九 す 各 \mathcal{O} る その 号 九 Ł \mathcal{O} 旨 \mathcal{O} 11 前 لح 及 ず 条 す び れ \mathcal{O} その る カュ 届 に 出 内 該 書 当す 容 を を 提 んこととなることとなっ 記 載 た 変 な 準 更 2 的 た 届 方 出場式

届 出 書 のに 記 提 載 事 項 に 変更 へがあ 0 た場 合

添

載

更

0

- 事項 そ 届 の 出 が 各 \vdash 書 号 \mathcal{O} レ 第 た 付 デ + イ 書 合 号 ン 類 グ 0 口 記 を 除デ ハスクが 事 項に重 第二百日 に 一要なっ · 掲 げ 変 る 兀 要 + が 六 件 を 条 あ 満 \mathcal{O} た 九 た さ 場 \mathcal{O} な三 合
- 方 式 採 用 組 合 は 前 項 第 号 に 規 定 す る 事 由 が 生 じ

2

生

じ

場

る。 で 当た ない 該 場 事 合 旨 由に がは \mathcal{O} 説 当 明 当 該 を標 該 記 準 事 載 的由 L 方 に た 式 関 書 採 す 面組を設め 速 合 善 やの 計 かリ 画 に ス を 提 ク 記 出するも の載 観 点た か書 0 6 面 لح 重 又 す 要は

第 節 款 内 部 般 モ 的 デ 規 ル 定方 式

内 部 七 デ ル 方 式 0) 承

部 百 四十 七 デ ル 六 方 条 式 \mathcal{O} を +用 11 組 1ることができる。 1名に、行政庁の承 承 認 を受けた場合に、

内 部 十モ 六 デ 条ル 方 十 式 のに 係 る 承 認 \mathcal{O} 申 請

第二 承 \mathcal{O} 認 承 百 即詩書 認を受けようと 兀 を 行 0 政 庁 に す Ś 提 出 組内 す 合 部 台は、 9るものとする合は、次に掲げれてデル方式の 掲げの る。 る使 事 用 項に を 0 記い 載 T L 前 た条

名 称

2 する。 前 自己 項 \mathcal{O} 資 承 本 認 申比 率 請 を 書 把 に 握 は L 次 管 に 理 . 掲 する責任 げ る 書 者 類 をの 添 氏 付 名 す及 る び 役 ŧ 職 \mathcal{O} 名

由

前 理 項 第書

号 に 定 す る 責 任 方式 日本の1 の履 歴 書

1 ること 次 条に 規定す を 示す 書 る規 内 部 モ デ ル 承 認 \mathcal{O} 基 準 に 適 合 L

7

次に 項 掲 を げ る場 記 載 合 に た 該当 書 類 す るとき c は、 そ れ ぞ れ 参 多考とな

第二 百 る四 + 六 条 \mathcal{O} + \mathcal{O} 兀 第 項 第 号 12 掲 げ る方 法

口 を 使 用 百 す 兀 十 六 合 条 \mathcal{O} + \mathcal{O} 五 第 項 第 号 口 に 定 8 る 手

法

を

使

る

か 5 第二 5 第二]] 百 百 用 ケ 兀 ツ 兀 す ケ +1 +ツ \vdash 六 六 場 IJ 条 条 0 ス IJ \mathcal{O} クに + ス +ク に \mathcal{O} 関 \mathcal{O} 関 す 五. 五. る する時 第 第 時 五. 兀 項 価項 に 調 に 価 整 調規 規 を 整 定 定 す 控 す を 除 控 る る する 除 仮 実 想 す 損 場 る 損 益 場益合か

ホ 論 第二 損 益 百の百 四入四 力 十 六 条 タ \mathcal{O} + = \mathcal{O} 調 \mathcal{O} 二第三項の六第一項 に合に 規 定 す る IJ ス ク 理

ラ 1 ズンカの +水 六 デ 準 条 トを調整 \mathcal{O} +する 一の二第三の 場 規 定 す る 流 動 性 ホ

IJ 第二 第二 ス ク • 百 百 フ 兀 ア 十 + ク 六 六 条の ル 条 タ] \mathcal{O} を使 +十三の三第一 \mathcal{O} 用 する場 六第三項 合 項 第 に + 規 八 定 号 す に る 規 低 定 減 す L る た

IJ る 第 承価百 格四た四 に十 六 デ 基 づ 条 くPDを \mathcal{O} +使の 用 六 元する場 ・ 第三項 合 第 + 九 号 1 に 規 定

簡

素

化

L

モ

を

使用

す

る

場合

五. 載 そ た の市 書 他場 認 に 係 る 審 査 に お V) て参考とな る べ き 事 項 を

内 部 七 に 係 る 承 認 \mathcal{O} 基 準

い百 兀 7 兀 第十 六 二六デ 百条ル 条 四の方 \mathcal{O} 十十十式 の六の 六 条 三 カコ \mathcal{O} 6 十 行 第の政 承 庁 百認は 兀 を 内 +L 部モデ 六 条 \mathcal{O} 十すル のたま式 ま きの で は使 並 用 び第に

審 に 査 次 す 款 る 及 Ł び 第三 0) とす 款 る。 に 規 定 す る 要件に 適 合 L て 1 るか どう カュ を

内 部 モ デ ル 方 係 る変 更 に 係 る 届 出

る そ ŧ 0) \mathcal{O} 百 $\tilde{\mathcal{O}}$ 旨 兀 V とす 及び ず + れ六 رِ چ そかに 条 \mathcal{O} 内 該 十 式 容 当 のに す 兀 を 9ることとない 記 載 L た に変更届 つル た方場式 出 合採 書 をに用 行は組 政 合 庁 遅は に 滞 提 な次 < 出 \mathcal{O} す

合 承 承 認 認 申申 請 請 書 書 0) \mathcal{O} 添 記 付 載 書 事 類項 0 に 記 変 更 載 事が あ 項 に 0 た 重 場 要 合 な 変 更 が あ 0 た

か又方 は 式 b 前 とする。 重 当 採 前 項 主要で 該 用 第 条 事 組 三 に 一号に規 な由 規 定 いが 当 す 旨 該 当 定 る \mathcal{O} す 内 該 要 説 Ź 件 明 部 事 由事 を を モ 記 デ に 由 満 ル 関 が た 載 民する改 方式 生じ にさな た た 場 書 採 1 面 用 善 事 組 計 合 由 を 合 画 速 に が Þ \mathcal{O} を は生 じ か IJ 記 た に ス 載 内 ク 部 場 提 L \mathcal{O} た モ 合 出 観 書デ す る点面ル

2

内 部 七 ル 方 式 に 係 る 承 認 \mathcal{O} 消

兀 る 相 場 百 合 六 当 兀 額 条 で + \mathcal{O} を あ六デ 十算の出 っ条 て 0 承 す +る内の 認 を取り おモデ Ŧī. 行 消 不 ル 政 - 適当と すことが 方 庁 式は取 を 判 用 前 できる 断い 条 7 第 L たとき 7] 項 ケット 第 は、 号 第二 に IJ 掲 百ス げ

内 百 兀 部 + 七 六 デ 条 ル 0 方 $\dot{+}$ 式 \mathcal{O} \mathcal{O} 六 般 的 内 部 要 モデ 件 ル 方 式 採 用 組 合 は

次

E

掲

げ る \mathcal{O} を た す Ė \mathcal{O} لح しする。

能 合

なが

限保

内 考 す フ Ź 部 口 慮 監 さ ン ケ 査 \vdash れ 要 を 7 IJ 行 才 う フ る ス IJ イ ク 部 ス が 門 ス ク 部 並 網 \mathcal{O} び 門 羅 管 にの 的 理 システ 必み 把 要な に 5 握 さム 応じ に れ T IJ お バス かい て、 ク つ、 ツ ク 管 可組

分 12 門 確 保さ に お 示ルれ 11 て て る 高 度 な モ デ ル \mathcal{O} 使 用 に 習 熟 た 人 理 員 オ 部 フ が 門 +イ及

げ に ス \mathcal{O} 実 \vdash ス 正 る £ <u>۱</u> 施 レ 確 さ \mathcal{O} ス レ 性 ス・ に • を れ 利 テ す方 かス テ つ、 記式 さ 1 ス 1 を 録 が 7 当 V う。 第二 1 該 保 ること。 ス 存 \vdash 次 百 さ 号四十つれて レ ス お六 1 外条の十 ること。 テ ス \vdash じ。 \mathcal{O} \mathcal{O} 結 九 果 に がが規 次 定 定 期 に す 掲的る

兀

内

部

モ

デ

に

よる

7

]

ケッ

卜

IJ

ス

ク

相

当

額

 \mathcal{O}

計

測

自 理 己 事 資 会 等 に本 \mathcal{O} に用 充 ょ 実 るれ 度 月に \mathcal{O} 評 価 口 以 上 \mathcal{O} 頻 度 で 行 わ れ る 議 論

弱 性 限 ス 1 度 理 が 明レ 額 5 を ス 速 • は カュ と テ じ な 式か スめ 1 と 0 た 場 す \mathcal{O} るリ 実 合 施 っることが 3 態 12 理 に はより 勢 ツ に \vdash り、 当 \mathcal{O} 承 備 該 特 設 脆 定 定 れ弱の て性事 11 象 ること。 適 に 切対 に す る 対 処 脆

五.

事

等

ょ

る

IJ

ス

ク

管

関

す

る

方

針

0

策

定

及

び

残

高

る方 内

策

を

に

講

ず

る

さ

モ

デ

方 Þ

を

使

用

す

認

さ

た

1

V

]

イ

兀 デ ス ること。 デ + ス 百 に 0) 兀 兀 対 + する 六 に 規定 条 \mathcal{O} 十が整 す ツ る損 ク • 益 テ 三 にれ 要 ス 因 テ 規 分 イ 定 析 す グ る テ ス 及 各デ び

七 <u>-</u> 内 月 分提 規 モ 定 出 す る 方 す る 全 組 \mathcal{O} 合 承 的認 なに 先立 バ ツ ク • って第二 テス テ 百 兀 イ 十六 グ \mathcal{O} 条 0) 結 + = 果 を

れ IJ 内 て 部 ること。 グ モ 及び デ ル 実 方 際式 \mathcal{O} \mathcal{O} 取 承 引 認 データを に · 先 立 0 て 利 用 し 定 た期 テ 間 ス に \vdash わ がた る 実 施 七 さ

九 デ 近 内部 ル 析 \mathcal{O} 内 アスト 各 化 部 掲 内 部げ モ 可 \vdash モ モ る デ 能 デ レ デ 要 ル] \mathcal{O} 性 ル 方 ル件 方 結 テ デ の式 果 ス イ 式 , , 12 式 全 を を て グ 基 使 採 • を 使 用 づ バ 用 き、 満 用 す ツ デ す ク・ するト るト たしたも ス る 兀 ク ポ 当半+ テ 0 レ 1 期 ス 1 IJ 1 デ ごとに テ \mathcal{O} ス フ 1 1 であること。 ク オ • ン ン IJ グ 更 フ グ オ 新 及 ア \mathcal{O} すること。 デ び ク 範 ス 損 タ 开 クが、 益 1 は 要 \mathcal{O} 天 モ 直

及 \mathcal{O} 定 指 び 内 が 使 次 定 部 に \mathcal{O} 用 モ 根 デ 掲 L 拠 ル げ な 方 を る 11 文 式 要 1 書 件 を レ に] 使 \mathcal{O} 以用する ょ デ 全てを満 ŋ 1 明確 ング \vdash た 化 V デス 1 すこと。 すること。 デ クを指 イング・ 定 デ ス そク

(1) 指

方

を

レ

デ

イン

グ・デス

ク

 \mathcal{O}

(2)

IJ \mathcal{O} ス 内 標 る ケ 7 が ツ 1 部 デ 1 七 的 ケ を ス 方 ツ デ 式 兀 リ 卜 ル 七 に デ 半 ス 方 ょ に ク リ 相 ス ょ 期 式 内 ŋ ル ごと 部 方 ŋ を ŧ 小 式 算 当 ク 使 七 さ デ に 出 に 額相 用 評 当 する ル ょ さ \mathcal{O} 方式 こと り れ 価 十 額 たマ パ 算 す \vdash \mathcal{O} を 理· 合計 を使 ること。 出 1 レ 1 さ 1 セ 由れ ント 用 ケ 額 デ にた イン ツ が L 1 組 な 7 以 上と グ 1] 合 Ł ケ IJ 全 V] ス な ツ 体デ \mathcal{O} デ 1 ク 0 のス イ 相 て マク

(3)

- 379 -

ケット

リス

ク

署が

設

置

さ

7

いること。

ツ

 \vdash

IJ

ス

ク

管 管

理 理

部 部

署

は

次

に

掲 れ

げ

る

項

目

を

7

すること。

相

は、

ス

 \vdash

V

ス ク]

期 タ

待

彐 対

] す

 \vdash

フ 1 性

オ ケ テ

1 ツ ス

ル

を

用 IJ 満

(5)

IJ

ス

ク

フ

ア

タ

 \mathcal{O}

モ

デ

ル

化

可

1

を

IJ

ス

ク

フ ク

ア

]

に

る

7 能

1

ス

口 (2)(4)(3)(1) 出 (4)半 \mathcal{O} 継 に 内 部 部 \mathcal{O} IJ IJ 当 額 更 テ 期 バ テ 各 続 各 部 モ モ 対 承 ステ パごとに ツ ス 及 \vdash 的 \vdash た 象 は ス ス 新 モ デ デ 認 ク・ *ク* ク す テ びレ 0 に デ ル イ 第二 満た 方 期 イ] て ル 方 デ ファ ファ デ 待 ン 実 テ ン は 方 式 け デ ル すリ グ 施 ス グ 百 1 イ 式 \mathcal{O} \mathcal{O} る 方 テ クタ ク \mathcal{O} 匹 次に に 及 Ļ 彐 承 使 タ ス 要] イ + グ グ ょ 認 び 用 \mathcal{O} 件 ク 1 る 1 1 損 \vdash ン 六 • 掲 \mathcal{O} が] 使 益要因 条の • グ を デ デ げ 申 承 デ に 0 レ 7 用 継続:] 及 る手 ス ファクタ ス 認 1 フ 対 請 モ に 内 ク + 二 の ク ング デ デ び さ オ す ケ \mathcal{O} 部 2 損的 が 順 対] る 分 イ 0) ツ れ ル モ い 第二百 た 日 析 に 7 益 に 損 \vdash 象 デ 7 ル 化 三に きし グ・ 満] デ] よるこ テ 要 ル を 可 益 を たす ス ス 用 ケ能 因 要 IJ か 方 特 \vdash 規四 因 な 式 百 ツ 性 デ 分 ス ら ク 一十六条の 分析 に 定す 定すること。 ク 相 て \vdash ス 析 は テ の四 こと。は、直には、承認の ク 算 おけ ス テ 十 Ź アス IJ \mathcal{O} ス 出 1 当 六 スを る バ \vdash 額 近 条 す は \mathcal{O} るこ + = ク \vdash 申の ツ ツ で 満 を 分 \mathcal{O}

ク

算

内内請十

ク

類

相た

報 告 1 日 次 で 作 ポ す る 日 況

1 れ V る 1 レ 結 果] デ 1 及 デ び イ グ そ のグの リミ 分 析デ ット ス エ ク خ クス \mathcal{O} リの \mathcal{O} 関ポ ス状 ク 管 係に 1 ジ 係 ヤ理 る 1 モ 分 のデ

析

を 測

含

計ル

値

む及得

び

か

ら

兀 IJ 理 7 事 ス] ク 等 ケ 報はの生、管 ツ 管 1 理 7] 状 IJ つケッ 況 ス を ク 1 報 管 告 理 IJ すること。 部 ス 署 ク 管 は、 を理 理 受 部 事 署 会 か 等 5 に 第 7 + ケ

規

定

す

る

告

書

に

て

日

次

で

報

告

け

確

認

す

るこ

十六 部 五 は、 時 又 署 は 理 及 かモ モ 事 事 デ び 内 機 らデ 会ル そ 部 能 独ル 等等に証 \mathcal{O} モ 立検 後 デ いし証 う。 報 部 ル 部 署 年 方 か署 に 式 すること。 次号 つ、 は 内 に 前 回 用及十部 び分な 号 以 11 · る 全 上 に 全てのモ \mathcal{O} 規 能ル 頻 定 力方 する 度 を式 で 有の 検 検 デ す設 イ 証 証 ルにる計 す にお者 \mathcal{O} ること。 結 ついが運 果に いて属 用 て、 同 す を じ。 る行 0 部 1 承

0) ポ 内 理 7 1 5 部 ジ 適 会等 切 れ モ ケ 彐 る ツ な 経 1 ル \mathcal{O} 方 営 式 削 IJ 資 マ告 ル 以 減 1 が ス 源 ク 管 ケット を を 内 下 投 部 指 示 理 入すること。 七 内 デル方を権用 部 部 署 IJ 管理モ 方 権式 限 \mathcal{O} ス 管 ク を有い 採 0) 理 デ 用 者 管 ル」という。 組 すること。 は 理 合 12 \mathcal{O} 各 積 内部 卜 極 的 管 に لح 理 関

る

に

掲

る

(件の全てを満たすこと。

部

方

式 次

及

内 げ

部

管 要

理

デ

ル

に

用

5

れ

る

時

価

- 381 -

口 及 び 1 価 内 V 七] デ 部 測 デ 管 が 理 管 イ 可 モ 理 及グ 能 デ ル び な が 内デ 限 可 部ス ŋ 能 報ク 同 な 限 告が一 に有 \mathcal{O} つす ŧ り 同いる \mathcal{O} て、 で 価 あ \mathcal{O} 格 内 変 る £ のであ 部動 モ デス のることがのの特

ること。 対 象と 内 部 な 管 0 理 て モ デ 11 る ル は、 全 て \mathcal{O} 7 ポ 1 ジシ ケ ツ \exists 1 を IJ 計 ス 測 ク 対 相 象 当 に 額 \mathcal{O} て 計 測

理 IJ 法 に 変 ス 卜 ク・ 基 数 1 づ 0) き 設フ ト 行 計 ア イ がク わ タ グ] T 原 11 則 \mathcal{O} デ とし ること。 特 ス 定っの てカパ \mathcal{O} IJ ラメ 部 ス 管 ク 1 管 理 モタ 理] デ 七 ル のデ で 推ル 用 計に 及お 11 る び け 手代る

ホ を 部 対 管 内 7 象と 理] モ ケ す ツ デ モ ること。 ル は、 リれ ル 0 原 ス ク 運 則 れとして同 が相当額のな 用 方 針、 算 0) 管 出 IJ 理 に ス用 及 ク U 1 • 手 る ファ 続 モ デ に ク ル 係 タ لح 文 | 内

が ること。 -ケット 作 て、 成 部 内 きれ理 適 部 切 モ デ なリ 理 スル かデ つ、 論 ク 方 相 及 式 そ び 当 計 額標 れ らを遵 の準 算 算 的 に 基 出方 づ に式 守 する < 用又 いは 数 る簡 値 態 を 全 易 勢 て的 正 が 確 の方 整 モ式 備 に 報 デ さ に 告ルよ れる すにる て

せする 行 内 う 内 監 ス 部 テ 查 七 デ ず が ル 行 う 次 方 れ に 式 部 門 掲 を に ょ 及びモデル げ 含 0 る む て 要件 マー のケ 年 検証 に 全 ツ て \vdash を 部 口 署 満 以 IJ 又 た 上 ス す は \mathcal{O} ク 頻 外 計 部 度 測 監 で に 検 査

を

整

備する

証 1 が \mathcal{O} 行 検 わ \mathcal{O} る 対も 象 \mathcal{O} に で あ は る 卜]

口 理 部 の証れ 方 業 務 を 含 む ŧ \bigcirc デ で イ あ るこ グ 部 署

及

び

IJ

ス

ク

テ す 1 ムイ に \mathcal{O}] 欠 検 陥 証 デ イ がは双 あ グ つマ \mathcal{O} た 場] デ ケ スクを特定 合 ツ にお \vdash IJ け る当 ス ク できる 該計 欠 測 Ł 陥 に が影響を \mathcal{O} であ を及 るシ ること

ぼス

(2) (1)イ 0 7 1 検 ケ 証 ツ は 1 次 IJ に 掲 ク げ る 理 事 項を 部 署 含 体 む 制 Ł \mathcal{O} で 切 あ 手順に係ること。

る 文 IJ 書 ス \mathcal{O} ク 管 + 分 理 性 モ デ ルス \mathcal{O} 理管 論 及 び モの デ ル 管の 理 適 \mathcal{O} 係

IJ

ス

ク

管

モ

 \mathcal{O}

性

及

び

適

切

(4) (3)(5)時 性 IJ ス ン信 ク 管 ト頼 性 理 理 及 モ デデ \mathcal{U} 独 ルル 立に 部性用正 い確 る 入 力 デ タ性 \mathcal{O} 整 合 性 適

価 \mathcal{O} 評 担 フ 価 口 \mathcal{O} 者 承 が 認 用 • 過 11 オ 程 て フ を V イ 含 る ス スむ時 価 門 評 及 \mathcal{O} 価 び 適 モ バ 切デ ツ 性ル ク 0) 運 オ 用 フ 体 イ 制 ス 部 (時 門

(6)す 1 経 る 営 レ 情] 7 報 デ ケ シ イ ス ツ \vdash グ Δ \mathcal{O} IJ デ 完 ス 全ののの 範 IJ 囲 ス ク \mathcal{O} 管 適 切 理 性モ デ ル が 対

(11) (10) (9) (8) (7) 切 ボポ 時 ラ テ シ 評 価 イ IJ 及 に テ び 関 IJ イ す ス 及 る ク び 量 相 デ に 関 係 タ に \mathcal{O} る 関 算 する 正 定 確 方 仮 性 法 及 定 \mathcal{O} U \mathcal{O} 網 正 正 確 羅 確 性 性 性 及 び

 \exists

]

テ

定 的 通 な たバ ツ ク デ テ ス イ テ 1 グ デ 及 ス ク び 損 \mathcal{O} IJ 益 ス ク 因 管 分 理 析 モテ

デ ル \mathcal{O} 正 確 性 に 係 る 検 証 適

(12)7] ケ ツ \vdash IJ ス ク 相 当の 額 の切 算 性 出 に 用

部 七 デ ル 方 に 係 る 検 証 基

内

部

管

七

デ

ル

لح

0

合

1

るモ

デ

ル

لح

る 内 百 部 兀 モ 検デ 六 ル 条 \mathcal{O} 式十式 \mathcal{O} \mathcal{O} 検 七 証 を 内 実 部 施 モ でするも デル 方 \mathcal{O} 式 کے 採 す 用 組 合 は 使 用 す

前 内 項 部 \mathcal{O} 価モ デ 証 は方 てル 方 な式次 \mathcal{O} に 全掲げ 7 をの る 仮 基 定が適 切 た す で É あ 0 \mathcal{O} て、 とす る。 がリ ス ク

2

わ る 分 小 れ 布 評 て 及 11 び ること。 L 時 価 11 評 価 11 こと 七 デ ル 証 \mathcal{O} 適 明 切せる の検証 証 (モ を 含デ む。 ル が 定 行す

仮

11 アフス ては モ デ 卜 ル仮 ル の想 がの 検損証益 含 検 ま 証 \mathcal{O} れに 算 は 出 か バ つ、 方 ツ 法 ク を 当 検証 該 テ バ ス すること。 ツ テ ク イ ン テ グ ス 及 テ び イ 損 益 グ 要 に 因 お分

証 化 モ 市 デ モ 以 発がデ 場 下こ 含ま ル \mathcal{O} 構 \mathcal{O} \mathcal{O} か能れ正 造 号に 確 的に なは、変 か 性 お つ、 が 変 11 失 更 仮 て わ 当 又 想 れる可 該仮 は 的 構 ポな 造 想 ポ 的 的能 1] 特 性を なポ フ \vdash 性 才 フ ㄴ と IJ] 把 オ |握する: IJ \vdash オ · う。 フ 構 オ 才 成 を IJ \mathcal{O} 用 検 に 才 証 大い ょ を を き た な 用 V 0

代 能 変 で 数を あ る 使 どう 用 す る か 場 が 合 確 は認 され 次 て に 掲 11 るこ げ る 事 項 が 確 保 さ

可

性

 \mathcal{O}

あ

る

構

造的

特

性

を内

部

七

デ

ル

方

式

で

代 出 理 す 変 数 ること を 用 を 11 確 る 認 IJ す ス ること。 ク • ファ ク タ が 保 守 的 な 結

果

n

ること。

異 + 0 彐 \mathcal{O} 有 重 す 存 \mathcal{O} 要 るリ 反 う 在 な 映 ょ] ス れ ク 期 シ を 間 ス 11 い類 ること。 う。 似 IJ 優 す 先 ス 以 る 劣 ク 下こ 後 が 同関 同 0) 係 と ^{*} い信 章に \mathcal{O} 主 お え用体 な事に 1 い 由 関 て 同 ポそ す ľ ジ \mathcal{O} る シ 他 ポ 彐 ジ \mathcal{O} がン差シ

口

分 散 に る 集 中 化 さ IJ ス れ ク て がい 反 な 映さ 11 ポ れ] ていること。 トフ オ IJ オ で 生 ず る 可 能 性 が

É

7

内 部 モ 係 る 部 調 査

第 る す 内 百 る 部 兀 ŧ モ + \mathcal{O} デ 六 デ لح 条ル ル す 方 の方 る 式十式 にのに 0 八 内 外 て 部 モデ 外 部 監 ル 方 査 元式 よ採 る 用 検 組 証 合 のは 実 施 使 を用 検す

2 す 前 É 項 \mathcal{O} \mathcal{O} لح 外 す 部 監 査 に ょ る 検 証 は 次 に 掲 げ る 要 件 \mathcal{O} 全 て を 満

組

合

に

よる

内

部

七

デ

ル

方

式

検

証

が

前

条

第二

項

に

規

定

す

適 \mathcal{O} る 切 基 他 7] 性 準 \mathcal{O} が 複 ケ を ツ 満 フ 雑 たし \vdash 口 な 商 ン IJ て 卜 品 ス \mathcal{O} 11 ク る オ 時 相か フ 価 どう イ 評 ス 価 額 部 に当 かの \mathcal{O} を 門 算 た 出 確 か 6 0 認 及 て 独 び す ること。 立使オ L 用 プ z た 部 れ 3 署 る ン 算 に 取 式 引 ょ 0 のそ

な ŧ 内 部 \mathcal{O} で さ モ あ デ れ る ル 方 か どう 式 が カュ 業 を 務 確 \mathcal{O} 確 観点 認 認 すること。 すること。 及 び 地 理 的 な 観 点 カコ 6 適 切

検

証

て

11

るこ

لح

を

兀 内 バ ツ 七 デ きること 方 式 テ が を イ 潜 確 在 グ 保 的 及 する な 損 び 失に 損 観 点 益 関 要 カュ 因 5 す 分内 る 析 部信 七 頼 ス デ 性 \vdash ル \mathcal{O} の方 高 結式い

果に数

五. す び る IJ 利 モ ス 用 デ ク ル計 可 を含 能 性 を ス む 確 テ \smile 認 Δ すること。 に ヘマ 関 連] す ケ る ツ \vdash デ] IJ タ ス フ ク 相 口 当] \mathcal{O} 額 透 を 明 算 性 出

内 部 七 デ る ス 1 レ ス • テス

とす ス 百 る。 \vdash 兀 レ ス六 条ル テ の方 ス 十 式 \vdash のに は九係 次 内 に部 掲 モ デ げ るル 要 方 式 件 の採 全 用 7 組 を 合 満に た 求 す 8 もら のれ

体 信 \mathcal{O} \mathcal{O} となっ 1 主 用リ 要 レ な ス ス て IJ ク、 ス テ ること。 ク オ ス \sim 1 発 V \mathcal{O}] 生 計 確シ 測 3 率 対 がナ 象 低ルに は、 1 IJ 事 象 ス 7 ク を] 含 そ ケ む。 \mathcal{O} ツ 他 卜 \mathcal{O} を組含合 IJ ス む全ク

む ŧ ク 各 特 \mathcal{O} \vdash と 性 を な] 反 0 デ 映 て イ お し り、 グ・ た ŧ \mathcal{O} か デ つ、 と ス なって、 ク 及 内 部 び 1 七 組 ること。 デ 合 ル方式 全 体 \mathcal{O} 採 ス 用 1 組 V 合 ス \mathcal{O} を IJ 含

条に 掲 ス <u>۱</u> げ る おレ ス・ 要 **\ 素を含 7 単 テ に ス 「スト む 1 ₽ に \mathcal{O} 用 V لح ス・ なっ るスト シ てい ナリオ」とい ること。 ス・ ナリ . う。 オ 以 が 下 次こ

る 可 \vdash 能 レ] デ イ グ ポ] 1 フォリオに大きな 損 失 が 生

兀 ス ポ で 1] V ス \vdash フ 0) オ と ナ IJ な IJ 才 0 才 \mathcal{O} て IJ が ス ること。 ク 価 管理 格 \mathcal{O} 線 を 木 形 難 及 に び 非 す る 線 状 形 の況 特 性 を

五. ス 1 る ス \mathcal{O} シ ナ な 卜 IJ 0 て IJ オ ス が ること。 ク 及市 場 \mathcal{U} 市 混 場 乱 流 時 動 に 性お IJ 1 ス 7 ク 潜 を 在 適 的 切に

に被

六 IJ 才 ス 1 \mathcal{O} 区 V 一分に応じ ス・ シ ナリ じ、 当 オ は、 該 1 か次らの 二までに 1 か 5 = 定 ま でに め るにも掲 のげ を る 用 シ いナ

ナリ 設 定 シ ナリ オ 必 要に応じて 行 政 庁 が 提 示 す る

口 IJ 商 才 品 F \mathcal{O} ス \vdash 価 IJ 格 力 変 動 ル 及 • シ び 流 ナ 動 IJ 性 オ \mathcal{O} 急 過 激 去 な低 \mathcal{O} ス 下ト をレ 勘 ス 案 期 に L た お け ナ る

相 関 ボ 想を ナ端 イ な IJ 値 1 シ したシナリオード ボ ラ テ 1 IJ テ イ 及 び

力 評 潜 価 定 在生仮 及的し得 び る最 IJ 被 ること。 IJ ス り ク 得大オ数テ を る 損 重大なに、自己のの 削 減 L し自己資本を保持な損失に対する点が一トフォリオのポートフォリオ パする自 する 持 オ 己資 す シ \mathcal{O} る資を本 ナ 特 IJ 性 めのオ に の吸 基 措 収 づ 置能 き

七

L

てい

スト レ ス・ テ 定 ス 1 期 的の に結 理 果 事に . 2 「へ報告、 11 て、 1する 日 常 も的 のに で理 あ 事 ること

提 スト 出 できるよう整 レ ス・ テ ス 卜 備 \mathcal{O} L 結 果に て V ること。 つい て、 行 政 庁 \mathcal{O} 求 \Diamond に 応

款 内 部 モ デ ル 方 式 \mathcal{O}

IJ •] 定

は 百 次四ス に十 掲 六 げ条フ のア る 十 ク 一 タ 要 件 \mathcal{O} 全内の て部特 を モ 満たする も式 \mathcal{O} 0) とす IJ ス っる。 ク フ ア ク タ

は 時 イ 価 価 理 由 用 を い 示 お る す ŧ IJ て 7 \mathcal{O} ス \mathcal{O} ク 当 IJ 」する。 管 該 ス ク ・ 理 IJ ス モ ファ デ ク ル に フ ク 含ま ア ク れ タ が な] 含 ま いが 場 トれ 合 Vる

由 リス を示 四 次 タ 項 節 が す ク に 含ま Ł 定 定 内 め 8 フ れること。 とする。 部 る ア る Ŧ 証 ク 券化 デ タ 準 ル] 的 方式 商 方 この (第二百) 品 式 八に含ま 八に対応 に係 場 合におい るリ 兀 れ + す - 六条 スク Ś な 11 IJ て、 場 • \mathcal{O} ス 合 フ +ク 当 ア 六 に 該 第 ジリス は、 ク ク タ ラ そ ク・ ス 項 及に \mathcal{O} を 理フ 除び係

ク 日 期待 及 オ プ び ショ 関 • 連 彐 フ す る そ] \mathcal{O} ル] フ 他 及 オ シ び ス 関 ス 連 \vdash ル リスクを含理商品の非常 市 場 混 含 線 シ 乱 彐 む 形 時 IJ 1 を ス 1 想 定 フ L 相 オ た 1 関 期 リル 待 スはシ

すること IJ お ス ク V て の代 フ 合 理 ア 変 ク 性 数 タ を を] 示 使 に すこと。 用 係 す る市 るとき 場 デ とは、] タ 当 \mathcal{O} 該 取 代 得 理 が 変 木 数 難 を な 使 場

内 部 デ モ 次 デ 般] 化的デ に ル 掲 方 イ げ て 用 式 理 ** \ グ 1 る \mathcal{O} 要 5 件 般 れデ る方法 ス \mathcal{O} 金 全てを出 ク 一てを満れ \mathcal{O} を用 IJ クに ス ク 管 た V す て 係 É 理 イ る \mathcal{O} IJ モ デ でス ル あ ド ル ク に ること。 フ お 力 ア て

五.

イ 対 応 1 ルル K 力] ル ド は 力 複数] ブに \mathcal{O} 沿 期 間 0 た を 設 金 利 定 \mathcal{O} ボ ラ 当 テ 該 期 イ 間

主 び 市 場 に お け る 金 利 変 動 に 対 す る 重 要 な

フ ク ア ス ク ポ タ 1 ジ を t 用] に て 0 1 V] 7 は、 ル ド 少 カー なくとも ブを 干 六 デ 個 ル \mathcal{O} リス 化 す るこ ク

方 使 針 用 を す 考 る 慮 IJ ス L て ク 定 8 フ ること。 ア ク タ] \mathcal{O} 数 は、 1 レ] デ イ

六 るため 金 た上 利 信 IJ 用 で、 \mathcal{O} ス ス IJ ク プ لح 特 ス 定 ク ツ 分 さ • 離 ド フ れ さ ア る れ IJ 5 ク ス た \mathcal{O} タ 信 ク で] 用 0) リリス あること。 が ス プ 含 ま Vク れ ツ ド て フ 1 ア IJ ク ることを ス ク 1 を は 前 捕 提 捉 す

るも 件 内部 \mathcal{O} \mathcal{O} であ 全 モ 一てを デ ること。 ル 満 方 た 式 L \mathcal{O} た 外 IJ 玉 ス 為 ク・ 替リスクに関 フ アクター L て、 が 特 定 次 さ に れ掲 て げ いる

七

イ ファ 外 貨 ク 建 タ て \mathcal{O} を ポ 含 ジ む シ こと。 彐 ン 0 各 外 玉 通 貨 に 対 応 す るリ ス ク

内 1 部 1 報 に 告 モ デ 対 通 にル す 貨 るリ 方 及 式 U ス \mathcal{O} 重 株 ク 要 式 な IJ フ エ ス ア ク ジクシに ク ス ター ポ 関 を含む ジ L て、 ヤ] 次 を に 有 掲 す げ る る 為 V

口

ず

れ

か

ょ

り

重

要

な

ポ

彐

式

市

この に 応 お す 場 る け 合 IJ る にス 個 おク 別 1 • 銘 ファ て、 柄 \mathcal{O} 株ク ポ 式タ ジ 市 1 シ 場 彐 が 全 ン 特 \mathcal{O} 体 定 されを 又は 集中 度 株る有 もす を 式 市のる 考 慮 場 で株 す のあ る セ る 一場に Ł クタ \mathcal{O}

とす

] 株 方 を 式 法 市 使 市 場 を 用 場 含 全 す 全 む体 る 体 \mathcal{O} 方 \mathcal{O} 指 法 株 価 لح 個 \mathcal{O} 対 変 別 銘 比 動 柄 L を たべ 又 反 は 映 業 す タ 種 る 換 别 IJ 算 指 ス 額 数 ク に \mathcal{O} ょ ポ フ ジ 0 てシク

九 る方法 イ 又 口 対 間 で 使 ス 内 ブ・ デ ク 特 あ は 応 部 1 次 所 \mathcal{O} コ コ 個 用 株 る場 • に 当 \mathcal{O} の 持 コ Ŧ イ 定 モ す 口 を 別 す す モ モ より テ フ す に 使 銘 方 該 変 す ポ デ デ る デ る 1 デ んる方 る IJ 動 イ 掲 ル 用 又 ル 1 ア イ 柄 法 ク は 方 を 0) テ ス 重 げ 方 テ す \mathcal{O} を ク ・ 式 工 \exists IJ タ 法 簡 要 る式 る タ 口 イ イ ボ セ] 場 方] に 慮 ス な \mathcal{O} ラ \mathcal{O} ン 取 便 を ク 各 ファ لح テ ファ 合 法 掲 す ょ ス 引 ク を 的 原 ポ コ \mathcal{O} セ タ る げ 用 ジ] る コ を コ な 資 \mathcal{O} 七 イ 指 ク シ ョ 分 方 るン 便イ モ 活 フ V モ 手 産 ク デ IJ 数タに 、る方法 ボイテ ター でと対 分に 場 ド 法 益 デ ア とす イ テ 1] 対 発 クタ アーがを応 1 合 テ に応 イ 及ル に 比し ドテ \mathcal{O} び 属 \mathcal{O} 行 る す イ に] じ、 区 イ イ 有 す る 出 費 0 及 11 商 特 対 !定さ たべ 分に・ 資に 用 現 てリ IJ \mathcal{O} 7 を U 価 品 す IJ る 応 Ź Ź 物 現 代 個 を V 受 格 ポ 当 ス す | 別ク 応 係 コ 物 る 用 渡にスジ れ コ 該 ク る 反 心じ、 映 モポ場 す 地 対 ク シ る 七 1 に IJ タ 銘 る す る方 柄フ IJ デジ 域 ŧ デ 換 合 彐 又 関 ス Ś 当ス イシ \mathcal{O} て フ ン \mathcal{O} イは ク 算 \mathcal{O} ア L 該 率 テ ョデ 法 異 ア が で テ ポク ク 口 て、 額 に 12 を イ ン IJ を ク イ フ ジ タ 1 な 個 限 あ に よシ と 1 バ るこ を 含 る \mathcal{O} タ 商定次 又 関 11 定 ア

で

あ

定

る

方

ŋ

IJ

ス

ク

フ

ア

ク

タ

]

が

特

定

さ

れ

る

もはし

う

直のテ

むコ

IJ

的

品め

ク

つヨを

デ 別 11 V 1 スク て、 \mathcal{O} て ポ] 当 ツ 該 ク れ フ 彐 ス 5 ア ン ル ン \mathcal{O} 1 勘 \mathcal{O} ド IJ ポ が 定 ジ が ス で き割り当り きる場 ショ 分 類 ン さ を て 定 合 れ 割 5 す たフ り当 れる フ たト ア 方 ア 法ン て るも ド (当 1 を デ 該 構 \mathcal{O} \mathcal{O} に イ 方 成出 法 す 限 ン 資 るに る に

次つ \mathcal{O} 1 す V 1 る 価 て IJ 情 格 ル 1 ス 報 及 ツ ク び ク を イ 相 取運ス ン 当 得 用 ル グ 額 基 1 L 勘 て \mathcal{O} 準 が 定 算い又 で いる場合 きず、 分 出 に 類 · 標 さ ケッ 準 か れ つ、 的 当 たフ 方式 該 \vdash フ 当 ア を ア IJ 該 使 ス フ K 用 ド ク ア す の相ン \mathcal{O} る ド 7 当 出 方 Ì 額の 資 法ケに 日

実 在 価 格 \mathcal{O} 観 測 に 関 す る 要 件

 \mathcal{O} とに ア IJ ア 状 規 百 ス 限 ク 況 ク 定 兀 タ フ タ そ ク に 分 + が ア 0) 類 • ょ 六 り で ク す フ 条 モ \mathcal{O} 他 \mathcal{O} るも デ タ 特 七 ア モ \mathcal{O} \mathcal{O} ク ル] デ 事 デ 定 +化 タル さ にル 情 \mathcal{O}] لح 可 0 化 を 化れ \mathcal{O} 勘 す たリ い可 لح 可 能 9 る。 モ 能 な て 能 案 ス内 IJ 性 し デ 性 ただし、 ユテスト ス あ テ て必 ク・ファク 部モデル スト ク 5 カュ 要 可 フ じ に で を 方式 実 ア \emptyset お あ 金 能 ター 施 ると 融 ク 行 11 な 市リ タ 政 \mathcal{T} 採 に 不 き 場 ス 用] 庁 0 ク・ 組 又は 合 に に は 分 届 格 合 てリス フ 類 لح IJ 資 け ル は ア を ス 本 L 出 化 ク ク た 市 可 前 変 た IJ 更 場 場 タ 条

2

IJ

ス

ク

クタ

化

可

能

性

テ

ス

卜

をに

用お

V) V)

るなは

掲

げ

る

要 フ

件

ず]

れ \mathcal{O}

か 七

に デ

該 ル

当す

る

実

在

価

格

- 391 -

四 次 に 個 以 掲 上 げ \mathcal{O} 実 在 価 \mathcal{O} 格 全 \mathcal{O} て を 測 満 つ、 Ź 直 近 十 二 月

イ 格 直 \mathcal{O} 近 観 + 測 値 月 が に 四お 個 け 以る 上い 存ず 存在すること。明祖を特定するの人十日間の値を特定するの人かつ、 間 に お 1 て ŧ 実

在

口 実 在 価 格 \mathcal{O} 観 測 値 \mathcal{O} 特 定 は 日 に 0 き 個 とするこ

価

1 及 月 び 口 12 口 掲 \mathcal{O} げ 頻 る 度 要 で 件 モ を ニタリン 満 た L て グ 11 すること。 る か どう か に 0 11

照さ る。 規 平 実 れ 在 定 号 成 価 直 る 格 す \mathcal{O} +た 価 近 価 る 十九だ格 \mathcal{O} +当 観 格 に 年 は 月 測 は 初 規 内 値 に 証 定 閣 証 次 す に 実 拠 府 拠 を 百 在 金 る 令 金 掲 特 個 価 を 変 第 (五 金 第 げ 定 以 格 動 す V る 上 う。 十融二商 ること。 に 証 価 含 拠 格 I まな 号) 日 金 品の に に 及 取 V 係び 第 ず 11 引 0 き る担 百二 Ł 同 業 n \mathcal{O} 項 等 カコ と 保 第 十にに 個 す 授 三 関 該 に 今に る。 十 条 当 限 す る。 第 る す お号 内 る いの項閣 Ł 十 第 て 府 \mathcal{O} 令 実

3

自 己 0 た 取 引 \mathcal{O} 価 格

当 第 性 三 を 者が 配検の行 間 で で きる 行 わ ŧ れ \mathcal{O} た に 実 限際 する。 \mathcal{O} 取 引 \mathcal{O} 価 格 価 格 に 0 VI 7

商 取の する に 品 確 お 法 定 う。 け ŧ 気 るこ 取 \mathcal{O} 第三 条第 引 以 値 証 で 下 ħ あ 第 +第 6 0 \mathcal{O} て、 三 لح 六 項に 条 者 類 条 に 似 第 ダ 組べ お 0) 兀 規 合 ン ŧ 項 定する金 及 ダ 又 に ĺ T は \mathcal{O} び 司 規 そ 取 を **金** ľ 引 定 \mathcal{O} 11 · う。 てする 融 連 融 所 、結 商 取 品取子 類 以 商 引 す 下 品 取 引 法 る 同 取 引 所 人 係 引 所 等 る £ じ 所 若 金 情 \mathcal{O} 以 又 融 外 で L 報 のを は < 商 あ 又 は海 は品 も提

た価 7 認 金 証 さ取 れ引 たに 価 係 格 る 情 を い 報 う。 を 提 次供 号 す る に 仕 お 11 組 てみ 同を じ。 11 う。 を に 参 照よ

兀 第三 い者 ベ ダ カコ 5 取 得 L た 価 格 で あ 0 て、 次 12 掲 げ る

件 当 \mathcal{O} 該 第三 ず れ 者 カコ ベ を 満 た ダ ĺ す ŧ に \mathcal{O} ょ ŋ 収 集 z れ た 確 定 気 配 値 及 び

取

引

価

格

で

あ

るこ

に て 応じて 11 確 ること。 定 気 提配 出 値 す 及 ること び 取 引 を 価 第三 格 を 者 証 べ す る書 ン ダ] 類 لح を の行 間政 で 庁 合 \mathcal{O} 意 求 しめ

前 項 前 第 の四 三 号 号 に に を該 掲 げ 当 す る る 価 実 格 在 \mathcal{O} 価 1 ず 格 を れ 用 カコ に 11 る 該 場 当 合 す 12 る ŧ は \mathcal{O} で 次 に あ 掲 る

4

げ

る要

件

全て

た

す

£

 \mathcal{O}

لح

ダ 当] 該 実 か 5 在 取 価 得 格 で 満 \mathcal{O} き 観 る 測 ること。 数 及 び す 観 うる。 測 日 に 係 る 情 報 を 第 者 ベ

IJ 第三 情 報 ス 者 を ク 第三 • かべ ン フ ダ 者 ア] ベ ク ン 政が タ 当 ダ]] 該 لح 実か \mathcal{O} 在 6 関 取得 に価 連 応 格 付 で に け きること。 9 を 該い 確 7 認 外 す 部 る 監 た 査 8 を 12 果 受 必 をけ 要

内 7 ること。 部 出 お り、 することに モ デ ル 方 式 採 0 行 用 11 て、 庁 組 合 \mathcal{O} 第 求 三者 \Diamond IJ ベン ス ク じ ダ 当 • フ ア と 外 ク \mathcal{O} 部 間 タ 監 で 査 1 合 \mathcal{O} \mathcal{O} 結 意 モ スデ L ル 7

5

化 る 可 ア 8 ク タ テ] ス 必 1 要 を 関 で な 情 連 用 報 付 V を け た る 記 実 L 手 在は た 順 価 文 に 格 へ書を 0 及 11 び 作 て、 当 成 該 す そ 実 る \mathcal{O} 在 £ 適 価 \mathcal{O} 切 格 とす 性 と IJ を る 判

断ク

応 観 測 兀 値 当 + \mathcal{O} 該 特 各 定 に + 定 た 8 0 \mathcal{O} る て 要 は 件 前 を 条 次 第 満 \mathcal{O} たす 各 号 項 Ł に \mathcal{O} 掲 規 と げ 定 す る す 場 る 合 実 在 \mathcal{O} 価 区 分 格 にの

É タ \vdash パ ij が お ラ \mathcal{O} であ ツ け メ るリ 前 ク 1 条第 ること。 関 IJ 数 ス ツ ク \mathcal{O} ク 項 • 関 パ ラ 数 か フ ア 5 メ \mathcal{O} 第] ク パ タ タ ラ 兀] メ] 項] ま と \mathcal{O} で L 水 タ に 準 て設] 規 調 を 定整定 IJ す す に ス る ク る 用 要 1 場 計 件 た 合 測 市 を 場 満 パ ス ラ たデ テ

る場 信用 合 ス プレッド の次 に 掲げ る 及 要 域 び 件 及 株 び \mathcal{O} 式 全 \mathcal{O} てを IJ ス 満 ク た す フ ア ク タ] を 設 定 す

価 る 1 場 格 T 市 は、 \mathcal{O} 合 場 観に 指 測限 全 数 値 及 り 般 に 的 び 含 当 個 な \Diamond 該 IJ 別 る 全 ス 0 £ 般 ク 発 \mathcal{O} 的 • 行 とすること。 なリ フ 体 ア \mathcal{O} ス ク 商 ク・ タ 品] に フ لح 係 ア 同 る ク ľ 実 タ 属 在] 性 価 \mathcal{O} を 格 実 有 に 在す 0

ア •

ク

タ ア

1 ク 経

と

11

う。

を

用 に

11

ること。

特

済

地

セ

ク

体

 \mathcal{O}

表

す

IJ

ス

おタ

フ 定

タ

]

口

及

び

11]

て 全

全

般 変

的 動

IJ

ス

ク

なを

あ 全 る 般 場的 分 な 合 類 IJ Ļ は、 ス ク 実 当 • 在 該フ 価 全ァ 格 般 ク 的タ \mathcal{O} 観] な 測 IJ が · スク・ をすること。 期 間 構 フ 造 ア を ク 有 タ す る ŧ を \mathcal{O}

バ 掲 げ 百 る 兀 方十 法 六 の条 分 類 いの す ず +る れ カゝ \mathcal{O} \mathcal{O} に 兀 とする。 ょ о 9 ` 内ス 部 IJ 七 ス バ デ ク・フ ケ ル 方 式 ア 採 クタ 用 組 合は ・をリ スク・ 次に

IJ

ス

ク

フ

ア

ク

タ

1

 \mathcal{O}

IJ

ク

ツ

卜

 \mathcal{O}

分

2 内 管 お 11 うりスク T 使 用 す るリ いケ ス ク • 分 ケ ット っす \sim 分 類 す

る

す る要 前 項 件 第 の一項 の全てを満たし、一号に掲げる方法に埋で定めるリスク かを つ用バケ 行るッ 政場ト 庁 合 のに 承あ類 認 を受ける方法 る次もに の掲

リスク・ フ ア ク タ] は 0 \mathcal{O} IJ ス ク バ ケ ツ \vdash に 分

リス ク・ バ ケ ツ 卜 は 重

3

の 定 掲 とす 第 るリ るリ る。 項 ススククニ ・ク・ ク・ 号 バ フに ケ ア 掲 ック げ タ る 1 に 方 リの法複 ス種をし ク 類用て のいい ファク・ないこと 一分に・ タ応には じは、 を 分当次 類該の す 各 各 る号号 もにに

イ 同 テ満 1 を除 1 表 期 \mathcal{O} のの 下 IJ 区 ス 分 ク に を 定 \Diamond 次 フ 2 る \mathcal{O} ア 有 IJ 表ク す ス のタ る ク・ 上] 般 欄 7 バ に 金 掲 ン 利 ッ げる プラ 外 満 イ国 期 ド為 \mathcal{O} 替 区ボ及 ラテ 分 び コ 応 イモ

二十五年以上三十五年未満	十八年以上二十五年未満	十二年以上十八年未満	七年以上十二年未満	四年以上七年未満	一・五年以上四年未満	○・七五年以上一・五年未満	零年以上〇・七五年未満	満期
A 8	A 7	A 6	A 5	A 4	A 3	A 2	A 1	リスク・バケット

	リスク・バケット	原資産に対する感応度
	ر ا	
≥	原資産に対する	ター ツの妻の玉櫃は撂
ζ_	京至三十一、00元至	フィース・マンテンニ関ニョ
ア	又は複数有するリスク・フ	四 権利行使価格の区分を一つ
	C 5	十五年以上
	C 4	七・五年以上十五年未満
	C 3	三・五年以上七・五年未満
	C 2	一・五年以上三・五年未満
	C 1	零年以上一・五年未満
	リスク・バケット	満期
ļi	スク・バケット	応じ、同表の下欄に定めるリ
に	の上欄に掲げる満期の区分	イリティを除く。) 次の表
テ	ター(インプライド・ボラ	ク及び株式のリスク・ファク
ス	有する信用スプレッド・リ	三 満期の区分を一つ又は複数
	B 6	三十年以上
	B 5	十八年以上三十年未満
	В 4	十年以上十八年未満
	В 3	四年以上十年未満
	B 2	○・七五年以上四年未満
	В 1	零年以上〇・七五年未満
	リスク・バケット	満期
II	・バケット	、同表の下欄に定めるリスク
じ	欄に掲げる満期の区分に応	ティを除く。) 次の表の上
リ	(インプライド・ボラティ	イティのリスク・ファクター
デ	般金利、外国為替及びコモ	二 満期の区分を複数有する一
	A 9	三十五年以上
-		

		満期	
三上年一五以五	満年一以 ・上 未五	零年	
D C	D	С	満五〇上零
1 2	1	1	未〇以
D C 2	D 2	С	未○上五○原治
2	2	1	三以〇産
D C 3	D 3	С	原資産に対する感応度
2	J	1	七二三する
D C 4	D 4	С	満五〇以〇感応
2	4	1	未九七度
D C 5	D 5	С	満〇一上五〇
2	5	1	未〇以九

五 権利行使期限の区分及び権工 権利行使期限の区分及び権 Ŧī. 零 以 ・三以上〇 九五以上 七以上〇 上 五以 $\overline{\bigcirc}$ 上 \bigcirc \bigcirc Ŧī. 九五未満 未満 九五未満 未 満 の区分に応じ、同味く。) 次のまかれのリスク・スケイのリスク・スケース 、同表に定めるリスの表に掲げる原資産・ファクター(金利格の区分を有するイ D D D D D 5 4 3 2 1

4 一めび るっ リのリ分 前 も権項 テを満 ス X イ有期 の利第 ク 分 のを行六 及 のすの 満年七上年三 上年十満年十上年七 満年 区い使号バ び リる区 ス金分、 う価の 権 以五 未 五 以五 未五 以五 分 未 ケ ク 利 ・ ス \mathcal{O} ツ 利 格「 D C D С С D 表 の満 \vdash 行 ス 権 1 1 1 区 期 使 フワ 利 5 4 3 ア ツ 分 \mathcal{O} 価 行 区 クプ 格 使 С С D C D とは、 D 分」、 のタシ期 2 2 2 区] 彐 限 5 4 3 分 ン \mathcal{O} そ の満の区 CD C D С D れ権 組期イ分 3 3 3 合のン及び ぞ 利 4 3 5 れ行 に分ラ権 次 使 D CD C D С よ 、 イ 利 り 権 ド 行 は の期 4 4 4 各 限 5 4 3 号の 作利 · 使 С D C D С の区 成行ボ価 D 5 表に さ使 5 5 分 ラ 格 5 4 3 れ期テの 定及 る限イ区

5 商 零 原 七 権 満 特 品 第 資 年 利 八 年 年 期 以 五. 年 定し 分類するものとする。 が 三以上の 権 権 〇 五 上 産 年 以 行 年 年 以 九 七 五. 以 七 五 五 以 利 利 直項 以 使期 ·以上三· 上十 年 以 以 \bigcirc 上 上 に 年 五. 五. 年 上 第二 た実在価 近 行 行 以 上 以 対 上 以 以 以 上 + 年 \bigcirc \mathcal{O} 使 使 • 上 \bigcirc 上 \bigcirc す 上 上 上 限 八 年 以 + 号 期 価 ,る感応 年未 〇・三未 Ŧī. +七 三 五. +未 上 七 格 限 に 七未 九 未 年 満 兀 五. 年 五. 月掲げ 格 \mathcal{O} \mathcal{O} 年 満 \bigcirc 五. 未 年 年 五. Ŧī. 未 げる方 \mathcal{O} X X 満 \bigcirc 未 度 未 年 年 満 満 未 未 観測 内に 分 分 未満 満 満 満 未 未 満 満 \mathcal{O} \mathcal{O} 満満 随を当初に満期を迎え 法 表 表 **満期を迎えたときな** 法を用いる場合にな \mathcal{O} IJ IJ IJ IJ ス ス ス ス ク ク ク D D D D D \mathbf{C} С C C С В В В В В В はおいい バ 2 バ 5 バ 5 4 3 2 1 5 4 3 1 6 4 3 2 1 バ ケ ケ 1 ケ て、 ケ そ ツ ツ ツ 1 ツ \vdash \mathcal{O} 1 期 1 負

の間

区内性

債

6 定 ク ス \mathcal{O} 第 ク フ 潚 ア 期 項 バ ク \mathcal{O} ケ IJ ツ 묽 ス 1 \mathcal{O} ク に に モ 掲 隣 デ バ げ 接 ル る す 化 ツ 方 が る \mathcal{O} 卜 法 IJ 必に を ス要 属 用 ク が す い な る る < バ 信 場 ケ な用合 ット っスに たプお 0) Ś て、 き ツ 5 はド 当 短 IJ る い該ス特

期

区

分に

分

類

す

ること

できる。

IJ 百 ス 兀 +ク 六 条フ \mathcal{O} ア 十 ク タ \mathcal{O} 五の 七 可内デ 能部ル 化 モ デ 可 スル能 方 性 式 テ 四採ス 半 用 \vdash 期組 合 は IJ 施ス

る 6 IJ 口 件 ス に ħ 七 たリ 掲 ク 七 デ \mathcal{O} げ デ ル 全 スル る 化 て フ 場 ク 化 を ア 可 合 能 満 ク 可 フ能 た \mathcal{O} な タ ア IJ す 区 な] ク IJ ス £ 分 \mathcal{O} タ ス に ク \mathcal{O} モ 応] ク لح デ • フ す \mathcal{O} ル フ ア 4 化 当 ク ア 可 を ク 該 用 タ 能 タ] 1 11 性] 又 テ は かの \mathcal{O} ス 組 分 口 0 \vdash 12 合 類 は 定 次せ に に 当 \Diamond \mathcal{O} 次 る 1 ょ に た ŋ 手 又 掲 法は得 げ

を用

ること。

2

す

る

0)

す

ファ

ク

タ

 \mathcal{O}

モ

デ

ル

化

性

テ

 \vdash

を

ごとに

実

う。 IJ 挿 5 デ そ て ス 七 1 ク 以の 観 デ ル 化が 測 理 下 間 さ 可 論 に 化 出能 IJ のあれ 損 可 す ス な 益 1 る た 能 る 複 IJ ク を に 観 な こと ス \mathcal{O} 算 お 測 数 IJ フ 場 ス ク 出 V さ \mathcal{O} が ア 合 す 7 れ 順ク で フ ク に る 同 序 • 7 、きる。 タ 際 ア お 付 フ じ V ク] 11 に な け ア て、 タ 用 ** \ さ ク \mathcal{O} 数 11 を 値 れ タ を た 用 を] \mathcal{O} た デ 圧 報 内 い算 \mathcal{O} 測 縮 量 挿 る出 1 組 値 場 す す を \mathcal{O} タ 合 Ś 手 カ 可 合 る に せ と 能 法 基 5 に ٤ パき づ ょ な ラ をい は限整 挿 る 合 がいて

ス ク 口 及び ショ グび第 期待 フ ク 期 IJ 用がい き L を ア て ス 待 11 複 七 ク シ ク 捕 個] 1 て 数 \mathcal{O} デ 、ること。 ١ • 3 タ 捉 別 あ 理 算 百 彐 \mathcal{O} 以 外 測 | |-5 出] IJ 兀 論 モ 下 側 フ +かじ て 損 1 を ス す 才 用 ク 六 益 る V ル あ た 能 この] め、 条 フ フ なを を 方 複 化 口 る な 算 ル 0) オ 法 に オ て い場合には、 捕 可 IJ 七 行政 場 7 +] 出 1 捉 に 能お測 \mathcal{O} ス デ す ル 合 す ょ な 11 さ 順ク ル -ケット ル るも にお際 0) 七 を 庁 ることとし、 IJ れ 7 序 六六第 算出 \mathcal{O} Ź 同 フ デ て 付 と 承認 ク • ľ ア ル \mathcal{O} 11 に 11 け V とし、 て、 する に モ 用 さ ク な . う。 ファ リス デル 項 を受けるも V れ あ 第二号 た外 当 を たデ] モ 0 は、 一 ク 化 デ 該 _ か ク 用 を 7 つ、 相 方 ル 外 挿 タ] は 不 11 又 当 可又一に(能は、おり 可 12 挿 \mathcal{O} IJ 出 合 \mathcal{O} 手 ス 額 を 当 \mathcal{O} とす 下この を 双 市 V 用 法 該 デ る 基 な 算 IJ 方 て لح 場] ょ る。 出スの ると る IJ 整 挿 タ ス期 条 合

口イ項 テ ぐを勘 イ 3 リテ 実 ン ラテ 案す 在 \mathcal{O} 1 価 ボ ラテ ること。 イ 格 及 び IJ デ テ 相 イ] イ IJ 関 がタ テ 係 過 を 1 数 小 用 \mathcal{O} 及 にい デ び 評 7 相] 価 1 タ 関 され ること。 に 係 あ 数 てい を 0 勘 て な は 案 いこと。 次 に 掲 当ク げ 該 ボポ る ラ

相 関 係 数 が 実 在 価 格 間 \mathcal{O} 相 関 に 適 切 に 近 似 した 値 で あ

IJ が 過 ス ク • 小 12 フ 評 価 ア さ ク タ れ て 1 お を 変換する場合 6 ず カュ 期 は 待 ボ ラテ 彐] 1 1 IJ テ フ

兀

ず る モ相ル 関モ がデ 正ル 式確に お 反い 7 さ用 れい たリス てい ること。 ク • フ ア ク タ] か 6 生

内 満 ス タ 実 部 ※合性を砂 たす が 在 \mathcal{O} 実 価 デ 場合 在 格 価 方 に バに 基 格 ツ を づ にに お ク 代 用 カュ • 替 い映 て な るデ オ は す 1 るも フ デ イス 1] 該 タ \mathcal{O} タ は、 部 デ で を 門] あ 用 ること で タ V 次 لح 用 る に フ 1 場 掲 る 口 を 合 げ ント 価 疎は る 明 要 格 パするこ 当 件 デ オフ 1 該 \mathcal{O} タ 全

と の 合に ح 7 す うる場合 おデー **当** 市 り、 あっては 場 一該デ タ で 観 カコ • は ĺ 測 ソー つ、 確 タ 導 さ 当 ス がデ 出れ 認 を更] \mathcal{O} た す 該 日 る デー 手 価 次タ ŧ のが新 法 格 頻度 月なる タ 月 を かの 記し、 とする。 が で更頻めた 日 ス 次 文 ク \mathcal{O} 新 度 \mathcal{O} 書 • 頻 可 で 業 能更務を 度 フ 手作ァ な新 で 続成ク 更 Ł さ 新 す のれが 、ること。 さ で 7 整 1 れあ 備 11 を る るこ て れ

定 口 期 帰 IJ ス 的 分 ク・ に 析 再 を 用 フ 計 ア 算 1 す る ク ·ること[。] 場 タ 合] はの パ 当 ラ 該 メ パ 1 ラ タ メ 1 を タ 推 計 \mathcal{O} す 推 る た 計 値め をに

ホ

時

価

評

価

七

デ

ル

に

お

け

るキ

t

IJ

ブ

1

期

待

する 1 0) 市 算 • 場 出 フ 推 価 に オ 関] 計 格 を 連 す ル ること 含 す 七 る む デ ル 実 干 その を 際 デ ル NO 取か他 う。 引 らの \mathcal{O} 算 7 は価格 出 1 格 さ ケ 十に れ ツ 可 る 1 分 な 能 価 頻 IJ な 格 度 限 ス \mathcal{O} り 理 ク 実適論相シ

IJ ス フ ア ク タ] \mathcal{O} 欠 損 値 を 補 完 す る 場 合 に は

明

な 百方 定 ること

五. イはを 想 第 実 次 定 際に L て の 掲 た四針 期十を い取げ る待六策 引 の要 条 件 価 \exists \mathcal{O} 格 \mathcal{O} + \vdash 全 又 は 7 \mathcal{O} を フ 気 満た 配 オ 値] す ル項 か 5 £ に \mathcal{O} 推 \mathcal{O} IJ 規 کے ス定 計 す さ ク す る る れ

フ 市

ア 場

ク 混

タ

1 時

乱

景 気 れ 循 環 を 含 む 可 能 な 限 ŋ 長 期 \mathcal{O} デ 1 タ を入 手 す

1

5

るこ

た

価

格

が

用

づ 在 7 現き 取 取 現 在 適 引 引 在 さ さ取 でれれ引 あ る る さ る 金金れ こと 融 融 る 商 商 金 を 品品融 商疎 をの商 明用性品 すること。 質の と異 る 性 質 な が が る ス 過 場 1 去合レ のにス デお期 い間 タ 7 に に お 基現い

いがた で す 0 ることがった。 すこと。 ス あ るた \vdash 金 場 ること 合 取 切 融 商 ス は引 期 妥 を 金 品 さ 当 融 リれ 間 の疎 \mathcal{O} で 場明 価 ス \mathcal{O} 商 る IJ あ 品 合 L 格 ク 金 ス ることを十 に に B 融 ク 9 おか スフ • つ、 プ ア 品 V 1 フ て て、 ク が は、 ア タ 次 ツ ス ク 分 ス に K \vdash に タ 現 1 掲 \mathcal{O} が] げ 説 在 レ 変 ス ス 明のス る 動 1 期 か 5 で市期 要 کے V間 き 場 間 除 件 おス に < なデ 以 \mathcal{O} お期 存 Ł] 降 11 全 to 間 在 と タ に て ね \mathcal{O} \mathcal{O} L き を と 性 を 同 類な す は用質満 等 似か

(1) 件 を 満 百 た 几 す 十 六 条 \mathcal{O} の 三 第二 項 第 号 口 12 掲 げ る

(2)る当 期 \mathcal{O} 該 IJ 待 金 ス ク 融 彐 商 1 フ 品 1 ア \mathcal{O} ク デ フ タ オ]] タ がにル 入 つの 手 11 算 て、 出 き に ス係 な 1 る 場 特 合 ス 定 は期 \mathcal{O} 間 金 当 に 融 該 係 商

(3)すま L 百 フ た フ る 兀 れ現 ア IJ ア 低 在 フ +ク ク ス 減 か 取 ア ク タ タ つ、 引] •] た さ IJ \mathcal{O} 第二 に フ に IJ 十 ス れ ア 分 対 ス る ク 類 す ク 百 金 \mathcal{O} タ す る • 兀 融 \emptyset 三 フ 商品 ること。 1 エ フ +な ア 第 ク 六 ア ク に ノク, 含ま スポ ター 条 項 \mathcal{O} タ \mathcal{O} IJ に] 十 三 れ ス 規 \mathcal{O} ジ る に ク 定 個 • 最 ヤ 含 \mathcal{O} す 別 =Ł] ま フ る IJ 適 はれ 第 低 ス

減ク

六

切 な ク 減 ク な 当 い項タ は L IJ 該 IJ に た ス ス 低 規 IJ に

定含

ス

定次 引 0 (1) 要 12 11 類 8 代 以 う。 そ る 係 ク 件 イ 7 理 下こ 0) 又 スマ ル 要 る 変 \mathcal{O} チ件を をル 他 は地 数 全 に 利チ て \mathcal{O} \mathcal{O} 口 域 \mathcal{O} をも 用 おイ 性 満に 利 フ ファ す 満 質 ア た 掲 用 いに 種 た ク す る て お に げ 類 に シと。 そ 場 ク す 当 代 11 係 タ る] た 合 タ 理 7 る 場 \mathcal{O} 他って 捉は 1 変数を生 各 合 「マ **金** 要 モ \mathcal{O} 素 区性は、 そ デ ル 融 チ・ 分に れル を 商 質 ぞに 成 を い品 対 :応じ、 フ 象と れ う。 お す 適 \mathcal{O} る ア 切 \mathcal{O} 取 い $\overline{}$ スのイ 場 て ク 引 にな 複 合 タにに ン 当反る 合 デ 基 係 該 映 金 ツ \mathcal{O} 次モ づ る イ L 融 おク に デ く地 1 又 商 掲 いス ル モ はか品 て の 、間 デ デ げ 口 つの るとル種 に 取

つ相に

関 あ

係 相

で

説

で を

な

・インデ

ツ

ク

 \mathcal{O} 場

間

 \mathcal{O}

IJ

ス

ク

に

関

関

捕

すること。

11

7 関 る

は

関

を き

前

とすること。

有

説

明 フ

有

つ、

代 資

理

変

数 価

 \mathcal{O} 格

使 変

用 動

誤 力 ア 相 明 係

差

存

在

を カコ

把

握

す

ること。

7

ク

ター

モ 提 V

デル

が

産

 \mathcal{O}

に

よ対

第二百 るテス 口 全 兀 ツ (1) リ に デ に (2)用 (3)1 組 ク • ル フ + ス 分 シ V 期不 組合的なバを行うもの ク げ 類 六 市 代 化 ア ス る 待 可 を基 7 るリ 条 テステ 相 可 す ク を 場 フ 理 能 主 づ ル で能リスクッること。 なバック・ デ 款 で ア 変 当 タ 特 0) 彐 チ ĺ 観 + イ 数額ス IJ 7 定 測 \mathcal{O} イ の及り 又 代 ス な推 フ スバ 卜 とする。 グ ン 1 さ IJ び ク は 理 ク 判 計 ア ツ に フ ク IJ • フ 内 グ れ ス 七 当 変 断 す ク テスティン ア 該 デ ス フ オ る 係 \mathcal{O} デ 数 フ 部 及 る ク タ ス ク ア 場 ア 七 び る テ IJ ク ル べ لح 1 基] の合にお ステ クタ クに対 デ 損 要 ス フ 理 タ 化] IJ ル ク 七 不可 Ė 論 シス ス 七 タ ク ア デ ル 益 損 ĺ ĺ ク ク 方 \mathcal{O} デ 設 要 イ ル ター フ 益 す 式 因 いに 能 を ル に 定 11 \mathcal{O} ずれ Ź 分類 て、 ア に なリ す 採 グ モ フ に 分 場 分 係 に反映する ると ク 類 デ ア 及 合 用 析 及 さ 当 ル す には ツ 組 テ び び か ス ク VI ク べ を れ該 ク タ 合 ス 損 化 お たときは \vdash ること。 •] 益] べ はい過 は 7 可 テ]] ファ て、去の に 要 シ 能 と 代 とす 、ステ ケッ ス シ な \mathcal{O} 理 モ 次 係 因 \mathcal{O} 0) ス ク IJ 間 変 当デ に る 分 る。 タ が スの 数] IJ 1 ル 該 イ 掲 総 析 ス Ì げ 則 次モ ク 化係タ

2 内 号 各 部 七 1 デ ル 第三号] 方 イ 式 を 掲 用 グ げる デ る テ ス \vdash クに ス レ \vdash] に合格 対 デ する イ ン 損 グ たも • 益 デ 要 のとする。 ス因 ク 分 は析 前ス 1 項

組 合 的 な ツ ク テ ス テ イ ン グ í 係 る

2 想 百 全 損 五. 的 百 水準 組 益 +な 兀 合 営 及 の的び業 ッ六 バな実 日 ク 条 損 バ \mathcal{O} \mathcal{O} 日テ ツ 益 + ス ク لح 次 を \mathcal{O} テ \mathcal{O} テス イ 比 バ 較 IJ テ す ユ グ 内 るも イング] に 部 お モ ア いデ \mathcal{O} は、 とす て、 ツ ル \vdash 方 る。 式 九 評 IJ +価 採 九 ス 日 用 ク 組 パ を 1 と 含 合 セ 日 むは ン 次 直 1 の近 全 基の 仮 二 組

信

頼

き算

出

す

る

Ł IJ

 \mathcal{O} ユ

と

す

うる。

アッ

 \vdash

IJ

スクを

次

に

掲

げ

る

要

件

に

とい 同 過 じ ツ テ 1 う。 } ス 口 V テ 数 1 \mathcal{O} を IJ 1 デ を算 口 バ ス 1 ク 数 ツ グ 以 ク・ グ 出 を \mathcal{O} 上 超 下この テ 口 過 ポ スティ 仮想損 ることをい] 仮 1 条及び次条に 想損 フ ングのこ 益 オ IJ 又 益 う。 は 又 オ 結 は 実 全 果に用 損 以 実 体 お 損 益 下 に こ益のが \mathcal{O} お て 11 超 ること。 ず て、 節 バ れ IJ に 過 か お ユ バ 口 多 ツ 数 1 ク

ハまでに 次 \mathcal{O} 1 カュ 定め 5 る ま 超 で 過 に 口 掲 数げ る場合 \mathcal{O} 調整を \mathcal{O} 行 区 2うこと。 分 に 応 該 イ

仮 損 益 \mathcal{O} 4 が 観 測 で きな 1 場 合 仮 想 損 益 \mathcal{O} 超 過 口

を

加 損

え 益

 \mathcal{O}

4

が

観

測

で

きな

1

場

合

実

損

益

 \mathcal{O}

超

過

口

数

カン

及 1 を 口加 バに え 掲 る。 IJ げ ユ る 場 T 合 以 ツ 外 0 IJ 場 ス 合 ク 仮 \mathcal{O} 全 想 損 て が 益 観 測 実 で 損

き 益

4 3 回数に含めないことができる。この場け出た場合に限り、当該バック・テススク・ファクターに関連するものであれぞれ一を加える。 仮想損益及び出る場合を除く。) 仮想損益及び出 る回けス -ケット IJ スク相当額の 損益及び 変動 動の推移及び切り場合においてあるときは、これでであるときは、 実損 益 \mathcal{O} 超過回 ての 化 超 は超行不 過 \mathcal{O} 過政可 |数にそ 要関を后になり、 にす過届リ

数 次 あ 次 唆 じ 題 ン 過 な 項 る 項 さ 。 が グ 回 バ に 可 に れ) な ゾ 数 ッ	書に記録し
・テスティングの とする結果をいう アンバー・ゾーン・ゾ ででないといて同じ。)又は でないと でないと でないと でないと でないと でないと でないと でないと	し、保存するものとする。

2 7 6 5 ン トは 水 る す] 及 百 ŋ 準 内 t グ 内 お 前 る。 を び各 評 デ 兀 内 部 \mathcal{O} \mathcal{O} り項 卜 に 部 \vdash IJ とす 次 イ 部 超 九 卜 価 + V 基 モ モ 7 \mathcal{O} 九 七六 以 八] に + レ 1 ス 日 六] 七 グデ 過 デ 規 ン 上 クと日 条の につ デ いル 定 掲 を グ デ ケ 九 デ ル 含 た方式 バげ パデ ツ イ イ 方 に 方 + IJ イ むデ い式 る 1 基 て、 ユ 要 ン グ 次 直 ス グ 式 ッ採 採 セ • づ クに 件 グ を ク IJ ン \mathcal{O} 近 \mathcal{O} 用 用 き \vdash 三デ • に デ 検 組 内 組 ス 仮 区 のデ ス ク ア 基 ス 想 百 対 証テ 合 容 合 分 ツ づ 信スク 損 五 す 内ク す スは 及は 相 L 九二 当結 \bigcirc 七 るバ \vdash き 頼クに +部の ることが テ び 益 算 水に対 バ 要 全 イ 九 及 営 モ ツ IJ 業 ツ デ 因 組 出 準対す び ン十 に果 を文書 のし、バ ス 日 クルク グ九 に す る 実 乗 • 方式 そパ 数 ク る • できる。 バ 損 バ \mathcal{O} 0 アンバ は、 テ £ リ 九 日テ \mathcal{O}] ツ 益 をい ス ュナク と次ス 採 他セ にバ 乗 \mathcal{O} 7 をのテ 用 テ じは 直 لح] 七 統 ン 記 ツ F 組 る も 前 す テ 比バ イ イ 近 計ト 録 ク る。 リンュグ +ア五 ス 較 合 的以 ツ パ テ は テ す な 外 の項] に] 1 保 لح 月 \mathcal{O} ス \mathcal{O} 1 る 手

法信

に頼

のの

セ

グ

IJ

b

のアい

お

各

テ

す

表

るの

存

す

4 3 る。 ク化回けス 当の 記タ 列 録 Ì 相 不 数 出 ク バ 口 当 可 に 及 数 ス が た • ッれる 次 仮 1 を ま 場 クぞ場 に テ Ì バ 額 能 含 フ び 1 仮 ア 保 ツ . れ合 日 及 想 加 損 で] のなめ 合 1 イ 損 タ 9 ク • を次びを損 IJ 定 存 変 な ク テ え 益 に いデ に カュ 益 を 定 8 イ す 動 スい 限 タ ス 除 \mathcal{O} 口加益 る 6 グ \mathcal{O} 又 0 り、 こと る テ ク 加 く。 バに え 4 る \mathcal{O}] テ \mathcal{O} \otimes のは 11 IJ £ 推 掲 る ま 次グ ス に イ え 4 が る 結 実 て 口 げ フ 数 テ 移 が 当 関 ユ 超 で 果 損 \mathcal{O} \mathcal{O} ン が 観 均 を 各 デ لح イ 及 ア で 該 連 グ 1 る 測 過 に に 等 観 益 ス す ク き 超 号 び バ す \mathcal{O} 仮 • 場 測 で 回掲 用 \mathcal{O} に る。 ク え に グ モ タ る ツ る 超 想ア 合 き 数げ 11 で V 重 る 掲 に デ] ク ŧ き な \mathcal{O} る ず \mathcal{O} 損 以 る 過 ツ 4 超 場 1 調 げ 対 超 ルに • 益 付 \mathcal{O} \mathcal{O} 外 な 1 れ 整 テ 要 過 る す 化 関 \mathcal{O} で 及 場 合 過 \mathcal{O} 11 カゝ け びリ を が 信 る \mathcal{O} 不 連 場 ス あ 因 場 場 合 \mathcal{O} 多 た 直 可す 合 テ ス 行 頼 バ 要 る 実 合 合 X が 11 Ł うこ 能るに と 損ク 実 近 水 ツ 因 イ 七 分 超 \mathcal{O} 準ク おン き デ 益の仮 損 + に な 7 仮 に 過 を と応 \mathcal{O} IJ] 11 グ はル の全想 想 益 用 0 口 月 て じ、 X テ スケ \mathcal{O} 化 超て損 損 \mathcal{O} 数 11 て、 に 分 ク ッは超 行 過が益 超 る ス 不 益 を 生 当 バ に テ 1 過 可 回観 過 政 \mathcal{O} Ł ľ 応 フ 庁 文 モ を 数測実 能 超 該 ツ イ 口 \mathcal{O} リ 書 ア トた デ 超 に で な に 損 渦 数 イ ク لح

そ

き益

口

カン

す

にクスル過届

当

該

デ

イ

グ

デ

ス

ク

対

す

る

1

ケ

ツ

ス 九 十 相 七 当 額 は 1 セ 的 方 式 を 用 頼い て算 水 準 出 す Ś +Ł 口 0) لح す Ź。

九 +九 パ 1 信 は頼の 水信 準 十 口

5 文 す 内 書 る 部 で バモ 記 ッデ 録 ク ル • 方 テ 式 保 ス 採 存 テ 用 す イ 組の る ン 合 ŧ グ \mathcal{O} \mathcal{O} とする。 超 各 過 卜 に V 0] いデ て、 イン 内 グ 容 及 デ ス び 要 ク 因に

6 水 ŋ 準 内 内 に 部 部 基 七 モ づ デ デ いル ル た 方 方 バ 式 式 ツ 採 を ク 用 検 • 組 証テ 合 ス す は ることが テ イ 九 + グ 九 そ で パ **、**きる。 \mathcal{O} 1 他 セ 統 ン 計 卜 的以 な外 手 \mathcal{O} 法信 に頼

損 益 要 分 析 テ ス \vdash に 係 る 要 件

合 理 要 荷 性 に 内 内 論 ル フ 百 方式 損 を 評 軽 フ 兀 は 部 部 イ 益 減 モ モ 口 ス 十 当 デ デ لح さンの 部 六 因 価 仮 せ 該 す 1 簡 門 条 ルル ること 内 方 方 想 る 易 \mathcal{O} \mathcal{O} た 式式 損 + 部 オ化 干 益 \otimes モ の採 フ デ デ を 内 簡 用 لح イ \mathcal{O} ル を ル 易 組 V ス 部 لح 兀 卜 う 日 部 方 化 合 V モ 内 式 が は次 1 門 デ 部 損 以 で デ のル 益 重 モ \mathcal{O} 下こ 比 方 デ 要 使 1 時 要 損 較 因 性 式 ル 用 益 価 \mathcal{O} す を 要 グ 方 分 を 評 \mathcal{O} 条に る 時 式 制 有 因 価 析 もデ と 限 す 分 モ 価 テ ると お し、 析 \mathcal{O} ス デ 評 を ス とす クごと 11 1 テ ル 価 比 て より 判 ス 又 七 較 は 同 1 は 断 デ フ $\overset{\text{\tiny "}}{\overset{\circ}{}}$ 停 さ に に Ł ル 口 に IJ 計 止れお 内 の算 す た V ス お る場 7 ク 重負い

3

部

モ

ル

方

採

組

各

 \vdash

V

デ

イ

ス

ク

لح

す

化対

容 損

ス因

理 析

損ス

IJ 要

ク

因 内 る

分

テ

ス

1

 \mathcal{O}

結 論 テ 用

果

び

結 想

果 損

を 益

受

け

た

対 並 ル グ

応

方

に

及 益

当び

該仮い

す 内 \mathcal{O}

益 デ

分 式

1 合

及には

2

て、

内 1

の部

定モ

義デ

び方

該簡

係損易に

当

に式デ

 \mathcal{O}

2

文 を 作 成 するも 0 とする

ク 管 百 理 理 兀 ツ モ 論 + ク デ 損 六 テ ル 益 条 ス IJ テ 算 + ス 出 イ ク に 用 グ 五. フ 11 及 全ァ る び 損 ク 1 損 益 タレ 要 益]] 因 要 は、 デ 分 因 1 析 分 全ン テ 析 グ ス T テ 可の ス 1 モデに 1 デ スお に ルク 用 化の T 11 可 IJ る 能ス 損

を 式 \mathcal{O} な 0 含 バ ク デ に IJ 残 7 タ ス 係 ス ツ む 余] ク る ク デ ク IJ 1 \mathcal{O} \mathcal{O} 1 内 ス レ テ 変 IJ タ フ 部 ク 1 動 ス ス を ア <u>}</u> デ モ を ク ク テ 使 デ 1 含 管 用 ル タ 1 V 理] グ む L で ŧ デ グ モ て は で 及 イ \mathcal{O} デ 1 捕 は デ لح び ル る 捉 捕 ス ン する。 損 場 さ グ ク 捉 合れ さ \mathcal{O} 益 デ 要 1 に てれ IJ は、 因 T 11 て ス ス な 11 ク ク 分 管 析 る 当 11 る \mathcal{O} 全 該 IJ が IJ テ 理 損 ス て 1 ス ス モ 1 \mathcal{O} ク 内 ク デ に IJ] を部 管 ル算 用 ス デ いモ理 が う。 ク イ デ モ 追 11 ルデ る 加当 グー 仮 フ 方ル的た

2

損

益

要

因

分 を

テ む

ス

1

に

お

け

るリ

ス

ク

理

論

益

 \mathcal{O}

出

フ な

ア IJ

ク ス

タ

]

含

£ タ

 \mathcal{O}]

لح

す

る。

フ

ア

ク

及

U

て

 \mathcal{O}

モ

デ

ル

化

不

能

な

IJ

ス

ク

IJ に ツ 損 実 ス 損 益 お 1 は、 益 て、 IJ は 関 ス 同 す 行 ク 日 る政 に \mathcal{O} 次 時 庁 関 で ŧ す 更 価 \mathcal{O} \mathcal{O} 調 承 る 新 لح す 整 認 時 で を受け きる る。 を 価 調整 控 除 カュ する どう た を と 含 こと き むか は、 もに が \mathcal{O} カゝ 当 で لح カュ きる。 す 該 わ 6 る。 7 ず、] ケ ツ \mathcal{O} 7 場

4

3

け 整益に た は き to 日 は 次 \mathcal{O} で 当 لح 更 す 新 該 うる。 で きる ケ ツ \mathcal{O} 7 場] 合に ケ ツ IJ お ス ク て、 IJ 12 関 ス ク す 行 12 る 政 時 庁 関 価のす

5

る

6 を レ 控 1 除 す ること グ デ が できる ス ク IJ

き な L テ な V ス時デ テ 価 イ 調 整 は、 グ に 用 各 1 1 る レの 仮] 想 デ ス 損 イ ク 益と実 管 ン グ 理 七 損デデ 益 スル に に ク 含 にお め 対 V

する

バ出

て

ること

7 デ 仮 ル 想 損 を 用 益 及 11 る び Ł 実 損 \mathcal{O} لح 益 す \mathcal{O} うる。 算 出 12 当 た 0 て は、 同 \mathcal{O} 時 価 評 価

損 益 分 析 テ ス \vdash \mathcal{O} 入 力 デ タ \mathcal{O} 調

のの るけ 調 調 入 た 因 百 たときに 整」 力 整 兀 分 デ 析 +と] 六 因 テ 限 ス 1 下 タ 条 . ځ گ を り、 1 \mathcal{O} \mathcal{O} 仮 に +条 想 IJ 使 を行うことが 損益 に ス 用 \mathcal{O} お ク す 六 1 で 理 る て 用 論 場内 損 合 部 ヷ 11 る 益 にモ できる。 のおデ ス 入 ク 理 力 リいル デ ス て、 方 式] 論 ク • 損 タ 行 採 に フ政用 合 ア庁組 入 ク わ の合 力 せ タ承は デ る] 認] た に を損 タめ 係 受 益

ず IJ IJ れ ス ク カュ ス ク に 理 よるも 理 損 益 益 \mathcal{O} \mathcal{O} とする。 \mathcal{O} 入力デー 入力デー タ タを 0 調整は、 仮 想 損 益 次 に \mathcal{O} 入 掲 力 げ デ る 方 タ 法 に \mathcal{O}

2

き 仮 フ 想 換 オ 損 え る 益 方法損 るル モ 法デ 力 デ ル で] 使 タ 用 を するリ IJ ス ク ス 理 論 損 フ 益 ア 及 び タ 期 待 \mathcal{O} シ 入 彐 力]

IJ ス ク 件 理 論 全 損 益 \mathcal{O} 入 力 デ 1 タ 0 調 整 を 行 う 場 合 に は 次

3

タ

と

す

方

]

ク

ク

]

げ IJ る ク 内 理の 規論 て 則損 益を 方 の満 たす 針 入 力 及 Ł びデ 手 1 \mathcal{O} とする。 続 タ 0) を 含 調 整 む を 適 を切 定に 8 実 て 施 1 す るこ る

た

5 4 て、 に \mathcal{O} 又 算] 掲 損 ス さ 調 損 は 出 IJ び 実 百 ること。 グデー げ テ ス 兀 IJ せ 仮 整 益 方ス 損 IJ あ 使 前 仮 タ IJ る 想 Δ に ク 益 る ス 想 要 カュ ス ス 用 +項 す ク た 理 め るり理 及ク 理 ŧ 六 因 損 お 因損がク 6 タ 要 ク す に 益とリ び るリ 条 分 理 \mathcal{O} 規 11 益 異 理 評 \mathcal{O} 因 分 定す 時 論 とする。 0 析 \mathcal{O} て 分 析 析 \mathcal{O} な 論 価 損 調 論 \mathcal{O} + テ 点 損 調 は 算 る損に益 で 損 ス テ 整 損 ス る に 益 整 ス ス 出 と テ 益 あ ク 益 必の 前 益 証 場 ょ ク 次に 1 結 き ス ること。 \mathcal{O} 及 1 及 要 後 \mathcal{O} \mathcal{O} L 入 果はび 入力デ ファ のト比に 入力デ る 理 に て \mathcal{O} 合 び な 七 力 掲 指 差 に に 仮 論 お 仮パ デ ること。 異 与 お 想 損 げ け 反 算 想 ラ] 較 ク 損 える影 を含 益 を損 る 映 出損 メ 1 タ 1 益 る タ IJ する て 解 調 方益の] タ Ì 益 \mathcal{O} タ \mathcal{O} 消の 整 算 IJ ス 0 因 タ 調 む \mathcal{O} 及 出 す ス を ク ŧ の当 1 響 分 算 整 調 調 び 差談異パ つされ 度整にが る ク 行 出 理 \mathcal{O} に 整 析 を 算 たにおお • と 算 わ を 出 テ 論 パ お に な す 実 ス た フ 損 を ラ出 9 IJ 係 手 OV 11 1 ア 益 IJ メ す 施 1 ス 法 る て、 ク ラ 調 £ る \mathcal{O} \mathcal{O} ス す 7 ク 検 0 タ メ \mathcal{O} 入 ク タ 場 同 るの理 差 指 証 とす] 異] 評 論 力 理] 合 £ を 異 標 んなる を デ に タ が は 論 \mathcal{O} の価 損 適 る。]] 損係お市 切 適

次

 \mathcal{O}

致

タ

益るい場

あ入及

に

切

ス 単 ピ IJ ス ア 「ス 7 ク ピ 損 順 マン 位 益 相 \mathcal{O} 仮 関 順 想 指 位標 損 相 益との (第 関指 項 標 間 とい 及び \mathcal{O} 順 次 位 う。 条 相 第 関 を 項 評 に 価 お す る 1

- るコ E IJ お ス V ル ク モ 理 て「KS検定」 ゴロ · 論 損 フ・スミル 益 仮想 という。 損 益との ノフ検定) の 間の テスト (第四 分 布 項及び 指 次 性 条 を 第 評 価
- 2 営業日に観 タを用い 前 項各 号に掲げ 測され、 るものとする。 る指標 たリスク の算出に当たっては、 理 論損益及び 仮 想 損 益 直 0) 近 時 系 百 列 五. デ
- 3 0 とする。 ピアマンの順 位 相 関 指 標 は、 次 0) 算 式 に ょ ŋ 算 出 す Ś

$$\tau_{S} = \frac{cov(R_{HPL}, R_{RTPL})}{\sigma_{R_{HPL}} \times \sigma_{R_{RTPL}}}$$

、、スピアトンの順位相関指標

 $cov(R_{HPL},R_{RTPL})$ は、 R_{HPL} と R_{RTPL} との間の共分

 $\sigma_{R_{HPL}}$ は、 R_{HPL} の標準偏差 $\sigma_{R_{RTPL}}$ は、 R_{RTPL} の標準偏差

prは、仮想損益を大きさに基づいて変換した順位データ

R_{KTPL}は、リスク理論損益を大きさに基づいて変換した順位デ

測され KS検定 IJ 営業日 でる差 Ź ク理 0 額 指 を二百 治論損 \mathcal{O} 標 絶 は 益 対 五. 値 \mathcal{O} 次に 各 + \mathcal{O} うち · 営 業 損 掲 失額に対 げ 不日で除 る経 最大のも 験 がして得た値な が応する順位に 的 0) 累 とす 積 分 布 値をいう。 関 数 \mathcal{O} 0 間 次 ○ 号 四 で

4

て同 U. 0) 各 損 を 失 額 乗 じて得た経 に 対 応する順 験的 累積 に \bigcirc 分 布 関数 を乗

じ

て得た経験的累積分布関数

益

因

分

析

テ

ス

 \vdash

 \mathcal{O}

実

施

X た損益 デ 分 百 定の Œ ス 兀 F. . 応 じ 方式 未 テ ア 満 六 ス \mathcal{O} 7 因 を 条 当 |分析 場 1 用 \mathcal{O} 該 合 指 0) +各号に テス 順 る 標 位 グ が 各 IJ \bigcirc 相 \vdash 八 定めるゾ] 関 \mathcal{O} ン \bigcirc 指 結 1 内 ,標が 果を、 九 ディング 部 ゾ モデル \widehat{P}] ĺ \bigcirc ン 値 次 に にあ 方式 八〇を超え、 0) 分類 各号 デ いっては、 ス 採 するも ク 用 掲 に組 げる 対 合 ○・二六 S のとする。 L は T 合 実 内 の施部

が た で ト 1 三 できる。 レ 損 損 益要 レ] 益 前 ーデ 二号 要 デ イ 因 因 分析 イン 分 に グ・ 析 掲 グ テス げ テ デ ス る 場 ス デ 卜 1 合 ク \mathcal{O} \mathcal{O} ス ク 結 以 は 結 は、果が 外 果 標 が \mathcal{O} 内部モー 場合 準 レ 的 ツ 方式 ド シ・ ア デ を ン ル ゾ 用] 方 ゾ] 71 ン 式 を用 る に に ŧ 分 類 分] \mathcal{O} V 、ること とす É れ る た

限 デ 前 改 項 80 グ 内 \mathcal{O} 7 部 • 規 実 七 デ 定 施 デ ス ル ク ょ 方 た は り 式 損 標 次に 益 \mathcal{O} 準 使 的 因 用 掲 方 分 を げ 式 析 再開、 る を 要 テストに 用 すること 件 V 0 る 全 Ł てを お \mathcal{O} が V لح できる。 満たす さ て、 れ グ たト IJ 場 合 に

4

3

2

Ŧī.

を

超テア

えス

る

場

合 標 順

レ〇相

ツ

ド

ゾー

定ス

 \mathcal{O}

1

指

• ---P

値

に

あ〇

っ未

 \bigcirc

 \bigcirc

Ŧī.

て満

はの

場

合

又

はKS

ピ

7

 \mathcal{O}

関

指

標が〇

七

が位

近 に 月 分 類 に さ わ た れ る て、 \mathcal{O} 各卜 で あること。 ディン グ デ ス ク ĺZ

対

す るバ 十 二 の ツ ク • テ 兀 ス 項 に テ 規 1 定ン グ す るの 超 結 過果がに 生じ 0 1 て て 第二 1 な い百 £ 兀 + \mathcal{O} 六 で あ条

5 規 た 定 ト 損 とする] 因 デ 本サ イン 分 析 テ チ ス デ ヤ 1 ス 1 \mathcal{O} ク ジ 結 0) は 果 適 が 第二百 用対 象とすることに 兀 1 + 六ゾ 条] \mathcal{O} ン + に ょ 分 の類 り 内にれ

6 部 損 モ 益要因 デル方式 分析 を継 テ ス 続 \vdash L 0 7 結 用 果 11 不がアンバ ることが 1 できる • ゾー 分 須類さ

すた 場 \vdash る合に限ったーデ 改めて ĺ ンの り、 イン 実 施 要 に件 グ グ ́У 1 に た デス 該 損 当 益 ハクは、 「すること。 因ゾ 分析] ンに 次に テ ス 分 掲 7類するもの 7個がる要件 トに お V て、 のの とする。 全 グ て 'を満 IJ 1 ン たれ

, るバッ 十二の三 直 近 ク • 第 月 兀 テ 項 スわ に テ た イ 規 て、 定 ン グ す る超 の 各 結 ト 過 果 が に レ 1 生じ つデ 11 イ て て 第二百円 な ŧ 兀 ス +ク で六に あ条対

る届 出 ツク・ テ ステ イ グ 及 び 損 益 要 因 分 析 テ ス 1 \mathcal{O} 結 果 に

第二百 心方 L ときは、早 たときは、早 処方針 四十 を 記 六 遅滞 • 条 載 デ \mathcal{O} た な ス + 書 ク がの 類 を そ 次 九 に 添の 付 旨 掲 内 げる場 し し て 記 部 モ 行 載 デ 合に 政 L ル た届 庁 方 に 該 式 提出 当 採 書に 出 す用 ることとな す 組 る原 合 ŧ 因 は 及 \mathcal{O} لح び 卜 す対

第二百 ステ イ 兀 + グ 六 に 条 お \mathcal{O} いて、アンド アンバ 規 定 でする ゾ 全 組 又 合 は的 な ツ ドッ

ク

分 類 れ た

る の各 条 超 1 に過 果 規が に 生 つデ イ てン 第 グ 合 百デ 四ス 十ク六に 条 対 \mathcal{O} す る <u>+</u> バ のッ 三 ク 第 四テ 項 ス にテ 規 イ 定ン

因 前 分 ン に 析 分 テ 定す スト 類 さ にるた れ た お各 いト 場 て、 レ] ア デ ンバ イ ン] グ ゾデ] ス ン ク 又に は対 V す る ツ ド損

及 市 び 損場 益の 条因殊 要 十 析 因 等 テ 1 起 \mathcal{O} 因 る バ ツ テ ス テ イ ン グ \mathcal{O} 超 過

 \mathcal{O} 各 こきは、 号 特 百 に 殊 兀 因 な 規 +当 要 定六要特 分 す 該 因 析 分 テ 等 る の分 ス 類 に分 1 起類 に 用 因をのスに \mathcal{O} 不 V す 行 十 た る 合 0 格 バ 事 た内不す ツ 象場部合 \mathcal{O} 結 ク が合モ格 含にデ時 果 をテ ま おルのク 取 ス れ い方対 ハ式が テ ŋ て 消 11 イ 当 用 す る <u>ر</u> ک と 該 組 グ の認分 合 が 超 め類は で 過 らに き及れ市前る場条

第 兀 款 相内 当 部 額 モ デ ル 方 式 に ょ る 7 ケ ツ \vdash IJ ス ク

の能ル な方 百 ス 式四 ク デ スを十相 ル 当 ク用六 化 ・ い 条 額 可 るの 能 ト十 な IJ レ 三 ス] l デ 内 ク 1 部 • つン モ フ いグ デ ア ク ル デ 方 タ ョ次ス式] 条ク 採 に かに用 基 らお組 づ 第け合は < 7 百モ] 四デ内 ケ 十ル部 ツ よ六化モ 1 り条可デ

三の

兀

ま

で

0

規 ク

定 タ

に

り

期

待

1

フ

オ

ル

に

よに

て、

IJ

フ

ア

マーケット・リスク相当額を算出するものとする。

(期 待 彐 \vdash フ オ ル 算 出 に係 る 流 動 性 ホ ライ ズン 0

第二百四十 ディ モデ る。この場合にお を用いて期 セントの信 ・ング・ ル方式を用 て「ベース・ホライズン」という。)を用いるも 六 条の 頼水準及び十日間の流動性ホライズン(以下この 待ショー デスク単 いるトレ + いて、 ト・フォールを日 位 0 ポ] 当該算式には、 デ トフォリオにおいて、 部 モデル方式 次で算出するものとす 片側九十七・五パー 採 用 組 合 次び は 0 算

$$ES = \sqrt{\left(ES_T(P)\right)^2 + \sum_{j \ge 2} \left(ES_T(P,j)\sqrt{\frac{\left(LH_j - LH_{j-1}\right)}{T}}\right)^2}$$

ESは、期待ショート・フォールにより算出したマーケット・リスク相当額

ES_T(P)は、ベース・ホライズンを前提としたポジションP = (bi) に対する全てのリスク・ファクターのショックに係る期待ショート・フォールにより算出したマーケット・リスク相当箱

Tは、ベース・ホライズンの長さ

LHjは、次項に規定する期間

 $i_{\mathbf{r}}(P,j)$ は、ポジション $P=(p_i)$ のリスク・ファクターの集合 $Q(p_i,j)$ の各ポジション p_i へのショック(第三項に規定する流動性ホライズン \mathbf{n} が $\mathbf{L}H_j$ 以上であるリスク・ファクターを変

動み中た場合における各ポジションbiに対するショックをいう。)を勘察した想律ショート・フォールにより算出したターケット・リスク描当鑑

分に応じ、同表の下欄に定める期間とする。 2 前項のLHjは、次の表の上欄に掲げる流動性ホライズンの区

() () () () () () () () () () () () () (期間(日)
2	<u> </u>
3	四十
4	六十
5	百二十
流動性ホライズンnは、次の	表の上欄に掲げるリスク・ク
ス及び中欄に掲げるリスク・フ	/ アクター・カテゴリー
に応じ、同表の下欄に定める	期間とする。ただし
ル方式採用組合は、行政庁の	承認を受けた場合は
よりも長い期間を設定するこ	とができる。この場
、当該期間よりも長い期間は、	、二十日、四十日、六十
百二十日とするものとする。	

3

金利リスク

貨を通貨以外の通

 $\frac{-}{+}$

金 利

(特定通貨)カテゴリー

+

その

他

の種類

六十十

ボラティリティ

リスク・クラス

リスク・ファクタ

期間

日)

		外国為替リスク			村宝り	末 リ ス フ				リスク プレ		
為替に係るその他	イリティ 為替に係るボラテ	(ク)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)(力)	特定通貨ペア	式その他の種類の株	なボラティリティ株価(小型株)に係	株価(大型株)に係株価(小型株)		その他の種類	イ 付 (HY ト	変適格(IG)) ツド・コーポレート(投	格付(HY))	格(IG)) ソブリン(投資適
四十	四 十	+11	+	六十	六十	= = + +	+	百二十十十	六十	四 十	四十	<u>-</u>

(注1)特定通貨オーストラリカボ)、カナダ四十六条の一で注2)	ス コ ク モ デ ィ テ ィ ・ リ	
特定通貨ペアとは、特定通貨、スイス通貨(C十六条の十八の二第四項において同じ。)。、カナダ通貨(CAD)及び本邦通貨をいう(第ーストラリア通貨(AUD)、スウェーデン通貨、アメリカ合衆国通貨(GB)、英国通貨(GB)に通貨とは、欧州経済通貨統合参加国通貨	そ モ テ ィ の ィ 価 金 イ 価 化 ネ イ の 価 金 価 化 ネ 月	の種類
、スイス通貨 (CHF)、英国通貨 (GBP)、が正同じ。)。、英国通貨 (GBP)、		

アル 民 を 通 K 玉 ン中 貨 · 通 貨 通 ガ 1 、 う。 (BRL) のうち二の 貨 ポ 人民] (INR) (KRW) 共] 通 ル ・ラン 和 通 貨 貨 玉 ノルウェ 南 ド (香港 (SGD), Eアフリ 通 特別 通] 力共 貨の \vdash 通 行 ル 貨 和国 コ 民 政 組 (NOK) 区 通 共 合せによる通貨ペ 口 通貨 和 貨 通 ア 玉 (TRY)、大韓 通貨 及びブラジ 貨 (HKD) 通 (ZAR)'貨 (RUB) (CNY)

組 を添 合 整備 は、 に IJ 項 ただだ ス 0 付 次に す 11 ク L た承 ること。 L 掲げ フ 書 認 ア 行 \mathcal{O} ク 政 申 る 承 タ 要 認 庁 請 書を 件 を受 1 \mathcal{O} 求 \mathcal{O} カテゴリ 全 め 行 け てに適 に応じて情報 政庁に提 ようとする内 合 ーごと 出 L 「する てい を \mathcal{O} 部 ŧ 提 流 ることを モ 動 デ 出 \mathcal{O} とする。 できる態 性 ル ホ 方 ライ 示 式 す 採 ズ 書用

4

る 検 流 流 証 動 動 及 性 性 はホライ び ホライズ 内 部 監 ズ ン ン 査 \mathcal{O} を \mathcal{O} 設 設 定 期 定 定 に 的 に 係る方 つい に 実 て、 施 針 す Ś IJ を 態 策 ス ク 定 勢 を整 管 す 理 備 部 門に す るこ ょ

市 マ 場 デ 百 市 る。] 混 ル 兀 場 方式 乱 混 + ツ 時 六 乱 条の を を 時 1 想定 用 を IJ +想 る 三 定 ス L ク た 全 \mathcal{O} L 期 て た 相 三 待 \mathcal{O} 期 当 額 シ \vdash 内 待 を次 彐 レ 部 シ 1 1 モデル 日] デ 0) 1 イン 算式 1 ・フォー 方式 に グ フ ´・ デ より 採 オ] ル 用 スクに対して、 組 算 により算出 ル 0 出 合 は、 するも 算 出 部

П $ES_{R,S} \times max$

算出した # マーケッ 混乱時を想定し · · スク相当 7 期待ショ 1 アオー ンプで

ES_{R,S}は、低減したリ ット・リ を想定した期待シ スク 抽当 \mathcal{V} 盤 Ш V ・ファクターについ 7 V 7 4 1 Y V J K ルにより算出 に基づく 直近 土場 したマ + 谣 뽀

抽当 がは、低減したリスク |待ショート・フォー 盤 \boxplus 701 χ 4 7 • V ゴイ \forall ر ا ا 7 ターに基づく直近十二 算出したマー ケッ · 田 の期 \subseteq 田 \mathcal{V}

前項のは 待ショ 账 1 規 定に ト・フォールにより算出したマー よる算出 に 当たって は、 次 に ケット・リ 掲 げ る 要 件 \mathcal{V} \mathcal{O} 全

2

てを満たすものとする。 満たし、 低減し ターであること。 十分な観測期 かつ、行政庁の受したリスク・ファク 別間を有 のアク したモデル 認 タ 能を受け ĺ が 次 けたものであること。次に掲げる要件の全て 化可: 能 なリスク・フ 全て ア

フ ル を全て オ 七] +五. ル で除 のリスク パ セ L ン て 得た 卜 · 以 上 ファ 割合に係る直近 であること。 クター に 基づく 十 二 期 週 待 間 3 \mathcal{O} 平 均 \vdash 値

低減したリスク・

ファ

ク

タ

ĺ

0)

期

待

 \exists

 \vdash

フ

オ

デ 前 シは、 式中ES_{R,S}に に に 算 重 4 出 付 係 L る けすること。 た ンスト 期待 Vショー ス期 間 1 \mathcal{O} 見 フ 直 オ] は ル に 兀 係 半 る

- 423 -

が期 生 じ た 口 場 以 上 行 頻 度 及 び IJ ス ク フ ア ク タ に 重 要 な 変 更

前 項 算 式 $-ES_{R,S} \stackrel{\bigvee}{\sim}$ る ス \vdash V ス 期 直 間 を 変 更 す る 場 合 に

は

ス

ク

タ

1

を

見

五. 合に 期 ル に 前 化 前 行 低 項 可 うこと。 口 の能 号減の のし 以 算 性 見 直 リ 上式 テ 中 ス \mathcal{O} 1 頻 L 度 \mathcal{O} \mathcal{O} 及 \mathcal{O} 参 参 ファ 照 算 照 び 市出 日 日 لح は ク に 場 用 価 致 IJ 格 11 する た ス \mathcal{O} デ 著 ク] ŧ • L すこ タ \mathcal{O} フ 1 とすること。 変 \mathcal{O} ア ク 更 動 タ・ が 新 生 は 1 じ \mathcal{O} た 兀 七 場 半 デ

3 ごとの がの す t る \mathcal{O} で 場 第 ŧ き 合 と は、項の Ļ る。 \mathcal{O} 前 とす \mathcal{O} 条 こ 過 の 去 か 第三 期 去 つ、 待 項 場 \mathcal{O} シ 合デ 相 に \exists] 関 に 規 おタ \mathcal{O} 定 1 算 す V カュ • 出 7 5 フ る は 観 オ 及流 び 測 1 動 使 さル 相 性 用 関れ が ホ 方法 る を 同 ラ IJ 相 1 に ス 関の ズ 係る文 ンカと ク を IJ 反 ス フ 映 ク 書 整 ア す るこ を 合 ク ラ 作的タ 成な ス

4 る す IJ 線 第 る。 形リ ス ク 項 • ス \mathcal{O} ク フ 期 及 ア 待 ク び シ ボ タ \exists ラ テ • 1 イ 力 • IJ テ フ テ ゴ オ IJ イ 1 曲] ル には、 面 お を 適 11 前 て、 切 条 第 に 勘 オ 案 プ 項 す シ に る 3 規 もン 定 ののす

5 第 ア ク デ 項 タ ス \mathcal{O} 1 ク 算 を が 出 全 設 に T 定 当 含 す た む る 0 て、 ŧ IJ \mathcal{O} ス لح ク 内 しする。 許 部 容 モ 範 デ 井 ル に 方 式 係 は、 る 重 要 卜 な レ IJ] スデ ク 1

6 法 法、 を 項 使 モ \mathcal{O} 用 算 す テ 出 るこ 力 に 当 لح た 口 が で て きる ミは ユ ヒ V ス \vdash シ IJ 彐 力 ン 法 ル そ \mathcal{O} シ 他 3 適 ユ 切 V な] 計 シ

7

政

庁

は

価

格

 \mathcal{O}

ボ

ラテ

イ

IJ

。 テ

イ

が

短

期

間

に

大

きく

Ŀ

合には、 た期 場合において、 価 州待ショ 格変動 より ا ا • をより適 短期 フォー 観 \mathcal{O} 測 切 観 期間 E 測 ル 期 反 の算出・ は、 間を使用した市場混乱時映させることが妥当と判 六月以上とする。 を求めることができる。 を断 想定 した場 L

に 市 基づくマーケット 場混 乱 時 を想定 ・リスク相当額) したモ デ ル 化 可 能 なリスク・ファク タ

当額を、次の算式により算出するものとする。 化可能なリスク・ファクターに基づくマーケット・リスク相混乱時を想定した期待ショート・フォールを用いて、モデル第二百四十六条の十三の四 内部モデル方式採用組合は、市場

$$IMCC = \rho(IMCC(C)) + (1 - \rho) \left(\sum_{i=1}^{\infty} IMCC(C_i) \right)$$

$$IMCC(C) = ES_{R,S} \times \frac{ES_{F,C}}{ES_{R,C}}$$
 $IMCC(C_i) = ES_{R,S,i} \times \frac{ES_{F,C,i}}{ES_{R,C,i}}$

IMCCは、モデル化可能なリスク・ファクターに基づくマーケット・リスク相当額

IMCC(C)は、全リスク・クラスを対象とした市場混乱時を想定した期待ショート・フォールにより算出したマーケット・リスク相当額

IMCC(Ci)は、五つの各リスク・クラスを対象とした市場混乱時を想定した期待ショート・フォールにより算出したマーケット・リスク相当額

スク相当 :期待シ V Ш \vee ァ ・ 14 漜 V 숒 スク . 4 1 · 77 ルにより \mathcal{V} アレス 7 ダーについて、 算出したマー 期間 Pt. 螠 定 7 ケット・ 田 つの各 . 紅 田

ク・ファカ ルにより算出したマー 五つの各 T K に基づく直近十二月 X V ケット・リ V VI \vee 交替 スク の期待シ 숒 \sim 抽 当 Ш 魚 ſ 澒 ァ • 4

アクターに基づく直近十 り算出し 五つの各リス オマー F હ V ァ • 二月の期待ショ V \subseteq 71 スク相当 \aleph を対象の全 쬺 ſ こてのリ ト・フォー κ

17, C · #

は、リスク・クラスの総数

デ ル 化 不 可 能 な IJ ス ク • ファクター に 基づくマー ケ ツ

IJ ス デ 百 に イン 四十 ッ ク ス ク相 F 相 フ グ・ つい ア 当 六 「額を算 ク IJ たも デス スク て、 タ 額 ĺ +クに 相 \mathcal{O} に 出 ス 三 とする。 I するも 基づき算出され 当 1 \mathcal{O} 額 レ お Ŧī. は、 け ス・シナリ 0) る 内 それ とする。 T 部 デル モデ ぞれ たマー 才 化ル を 用 \mathcal{O} 不 方 可 モの 式 場 ケ デ 1 能 採 合にお てな用マリ組 ツ ル \vdash 化 不可 . У 1 ス合 ケ ク は て、 ット 能な ス フ 1 ア 相

2 用 \mathcal{O} て算 出 ツ す \vdash る ŧ リスク相当額 のとする。 を 合 計 L た Ł \mathcal{O} は 次

$$SES = \sqrt{\sum_{i=1}^{I} ISES_{NM,i}^{2} + \sqrt{\sum_{j=1}^{J} ISES_{NM,j}^{2}}} + \sqrt{\left(\rho \cdot \sum_{k=1}^{K} SES_{NM,k}\right)^{2} + (1 - \rho^{2}) \cdot \sum_{k=1}^{K} SES_{NM,k}^{2}}$$

SESは、モデル化不可能なリスク・ファクターに基づくマーケ ット・リスク相当額を合計したもの

iは、信用スプレッドに係るモデル化不可能なリスク・ファク ター

jは、株式の個別リスクに係るモデル化不可能なリスク・ファクター

kは、内部モデル方式を用いるトレーディング・デスクにおけるモデル化不可能なリスク・ファクター (i又はjに該当するものを除く。)

ISES_{NM,i}は、信用スプレッドのリスク・ファクターiに対するマーケット・リスク相当額

ISES_{NM.j}は、株式の個別リスクのリスク・ファクターjに対する マーケット・リスク相当額

SES^{NM,k}は、モデル化不可能なリスク・ファクターkに対するマーケット・リスク相当額

が、〇・六

満たすものとする。
3 第一項のストレス・シナリオは、次に掲げる要件の全てを

るものであること。

一 九十七・五パーセントの信頼水準に基づき損失を算出

モ デ ス ル 1 化 用 不 ス す可期 Ł は な \mathcal{O} IJ で ス 同 ク ・ あること。 0) ファク リス ク・ タ クラ] に ス 0 に 1 て、 お け 共 る 全 通 7 \mathcal{O} 十の

ナナリ は、 作 前 成 号に オを用 発 す ること。 生 規 **然定する** 可 能 11 るこ 性 共通 \mathcal{O} ただし、 ある \mathcal{O} 最 十二月に 大損 当 該 失額 妥当 係 T性を説 を勘 る 妥 案し 当 明 性 でき た を ス 記 \vdash な L た レ 11 場 文 ス 合 書

4 日 第二百 第二項 未 \mathcal{O} ケット クラス 満 区 分に \mathcal{O} . У 場 兀 \mathcal{O} 応じ 及び 合に 十六 モ ス デ ク 条 あ 中 ル 相 つ同 欄 \mathcal{O} 化 当 不可 十三の二第三項 て 表 額 掲げ \mathcal{O} は \mathcal{O} 下 能 算出に用 <u>二</u> 十 -欄に定 るリスク なリスク・ 日)とする。 \otimes ** \ ・ファ る \mathcal{O} る流 期間 表 ファク \mathcal{O} 動 ク 上 (当 性 ター 欄 ホライズンnは に 該 に掲げるリ 期間が二 カテゴ . 基 づ < IJ ス

5 妥当 長 V 行 と 期 政 間 判 庁 に 断 は することを求 L た場 市 場 合 \mathcal{O} に 流 には、 動 めることができる。 性 前 \mathcal{O} 項 低 の流 下を 動 適切に 性 ホライズンnを、 反 映させること ょ

6

ツ 相 ド 内 る 文 デ 関 部 \mathcal{O} ル £ 係 個 モ に方 数 別 デ \mathcal{O} とす 式 IJ 0 を零とす ル 方式 採 ス クと T 用 行 組 採 っることが 用組 株 合 政 式 庁 は 0 \mathcal{O} 合 台は、 求 そ 個 の妥当性 できる。 別リスク \Diamond 第二項 に応 じ を کے 0 て 算 提 示 の \mathcal{O} 出 す 場 合 式 文書 合 算 で 中 きるよ に \mathcal{O} を おお信 作 1111 用 ううに て、 て、 ス 成 Ļ 内そ

C百 デルを 兀 フ +オ 六ル 用 条 1 0 IJ 十 三 ス \mathcal{O} ク \vdash 六 に 対 デ内す イン 部 る モデ] ル ケ 方式 デ ツ ス 1 クに 採 用 IJ お 組 ス け 合 ク る は相 ク ン D 額 R

2 D デ 1 フ R 商 オ CIJ 品 モ ル ス 及 デ 1 ク び ル 相 に IJ ょ ス額に ŋ ク を 係 算 に 算 る 出 出 対 デ さ す す フ れ る る オ た次 ŧ 7 ル Ì \mathcal{O} 1 とす に ケ IJ 掲 ツ \vdash る げ ス る ク に 額 IJ 0 ス 対 11 ク す ず 相 る 当 れ 7 1

ケ

V 額 کے す か 額 大は

直 近 \mathcal{O} 計 測 値 に 基 づ <

3 D 直 R C近 + = 七 デ ル 週 は 間 \mathcal{O} 次 計 測 に 掲 \mathcal{O} 平 げ 均 る 値 要 件 に 基 \mathcal{O} づ 全 7 を 満 た す ŧ

0

務 二種 とい さ 者又 لح オ 定 片 れ V \mathcal{O} ル 側 、 う。 うは 類 る ポ 1 九 ジ 最 株 + 全 大 式 IJ 九 \mathcal{O} 等 保 般 \mathcal{O} 彐 ス 損 デ ク 九 \mathcal{O} 有 ン に な 失 フ を 発 す パ 額 IJ オ 行 る 係 1 ス を لح ル 体 定 る セ 11 \vdash 仮 期 信ン う に 以 定 間用 卜 フ 下こ ょ L バ \mathcal{O} 第 ア り IJ た 信 を ク \mathcal{O} 場 五. ユ 頼 タ 計 定 項 合 号] 水 1 12 測 のに に 準 す を 確おおおア に る 率 V V 1 ツ ょ り、 \mathcal{O} て て て たデ 範 井 債 将 保 IJ 週 フ 務 来有 ス 内 次 者 ク で \mathcal{O} 期 オ で 予 等 債 間

(債 を シ 3 見 務 積 者 ュの ŧ \mathcal{O} レ る 1 デ シ的 モ フ デ オ 彐 ル ル を 1 **\ 前モ · う。 デ \mathcal{O} 格 ル 付 を 債 \mathcal{O} 用 低 務 1 者 下 ること。 に \mathcal{O} よる損 デ用 フい オ 失 ル を \vdash 除時 < 損ル

ク •

は 前 場 の株者 式 規 定 \mathcal{O} 価 \mathcal{O} ょ 格 デ る に 基 1 タに づ 計 は き 基 推 一づくも 計すること。 少 なくとも \mathcal{O} であ +るこ 年 間 (ス 1 レ ス

債

務

等

係

る

デ

フ

オ

ル

 \vdash

 \mathcal{O}

相

関

は、

信

用 スプ

レ

ツ

F

又

保 フ 間 才 IJ 才 年 \mathcal{O} 間 場 لح 合 は 仮 定 すること。 + 日 間 と仮 ただし、 定 することが 株式 に で 係 き

五.

7 式 体に オ ル シ 1 彐 を 七 は デ ル 株 化 価 す が る 零に な ることを 想 定 L

フ フ オ オ オ ル ル 1 \vdash 1 時 に IJ IJ 生 ス ス ず ク ク シ は、 ĺΞ る は、 損 失を考慮 務 評 者 価 日 ごとに す 時 るこ 点 \mathcal{O} 評 計 価 測 すること。 損 益 に 加 え

評 ポ モデル 価に ジ 債 シ 3 対 者 がす ン 等 想定 に が 9 デ 加いフ す て、 る 的 オ ル 損 な 失 損 ト 自 額 失 己 し に、 額 が た 被 場 を 算出 景気 ると想定 合 に 循 は、 すること。 環 さ \mathcal{O} 対 象となっ れ 影 る 響 が 現 在 反 る 全 \mathcal{O} 映 時 さ 7 価の れ

ること。

者等に る商 れ に 同 品 対 対 間 す の応 \mathcal{O} る異 場合 す債 \mathcal{O} る務 優 先 な に シ 者 劣 る お 彐 等 後 商 1] に て、 関 品 1 対 係 を す 含 等 エエ る ロカクロン を む 勘 案 のポポグ す であ 1 るこ ジ ジェ る ヤ t ク と 1] ス きが ポ لح は同を Ì 相 ジ 当 の殺 該債 す 異 務 る

またが 彐 デ ジ ル 1 IJ に t 1 な 含め 1 る ス ク エ 債 口 クス のの ること。 グ モ 間 デ \mathcal{O} ポ ルデ 化フ 工] ク ジ を オ スの t 通ル ポ 場 1 合に じて と 口 ジ のン 行 IJ ヤ お間グ うこと。 ス] 11 \mathcal{O} クの とシ ベエ て、] 彐 異 相 シ ス 殺 な る債 は、 \vdash IJ デフ 工 務 ス ク 者 ク オ ス等 を

異

る

務

者

等

に

対

す

る

•

クス

ポ

]

ジ

t

1

件 異 干 \mathcal{O} な デ 全 る ル 債 を . 投 務 入 者 す た 等 る す \mathcal{O} 間 前 \mathcal{O} \mathcal{O} デ ポ フ ジ オ シ ル 彐 ン \vdash \mathcal{O} \mathcal{O} 相 相 関 殺 は は 行 次 わ に な 掲 11 げ

- 430 -

口 ること。 てド 全 自 成 相 己に 的 の基 こな ポ づ IJ \mathcal{O} 場ス 恣 1 的 合 ク フ 意 な に オ 的デ IJ な] おフ V ア オ 相タ て、 ク に 関に タ 係 基 \mathcal{O} 内] 水づ る き、 部の相準 モ選 関 \mathcal{O} デ 択 調 自 \mathcal{O} 整 ルのモ 己 をの 方 適デ 式 切ル L ポ 採 性 化 用 を \mathcal{O} 用組合はいこと。 \exists はす 及 \mathcal{O}

当 相 関 該 のは 手 法 年に 以 係 上 る 文 \mathcal{O} 書 保 を 有 期 作 間 成 すること。 を想定するこ

ポ 全 ジ て 重 彐 要 ンとそ な ベ \mathcal{O} ^ シ ツ ス ジ IJ \mathcal{O} 間 スクを相 で 生 ず 関 る 重 に 要 反 な 映 ミス すること 7 ツ

を全ては

す

、ること。

-による ス <u>۱</u> 効 レ捕シ 果 ス捉 期 を 全 間 て に のお 商け 品る の特 種 定 別の に債 つ務 い者 て等 適 又 切は に市 勘場 案 す \mathcal{O} る集

承 認 対 を受け 複数の 影響 0) ること。 簡原 素 資 化 産 を L 有する た Ŧ デ ルを使 株式 デ IJ 用 バ す る テ 場 イ 合 ブ は \mathcal{O} ポ 行 ジ 政 シ 庁 彐 のン

(T)

を

反 彐

映

す 及

ること。

才

プシ

ン

び

そ

 \mathcal{O}

他

 \mathcal{O}

ポ

ジ

シ

彐

ン

に

係

る

非

線

形

IJ

ス

九 す る信モ ij ただ 条 合 用 デ ル カゝ に ス 場 合 は には当れた投入 次 第 ウ に 入す 十 該 掲 工 九 推 げ 該 係 1 計値が大るPDは 条 ま を 零パ で 及存のを格 在全用付〇 び第三十 い手、法 セ L て なを 法 〇 満 当 に とす た 一条 場 該使 すPDを 合 推 用] 第三 ること に 計 す セ 値る お ト 項 い算 が推 が \mathcal{O} て出存計を 規 す 認 在値 下 第るこな存と め定 しが限 らに

ことが るエ クスポー ジ ヤ に 0 いては、 当該 下 限を適 用 L な 11

限 使 用に りでない。 できる。 でついて、なる価格に基が 行 づ 政庁 使用 承認を受けている場合 し ない こと。 ただ は、 し、 当 の該

口 こと。 る場合に 才 ル 観測した過 ト実績に基 ただし、 は、 理 去 基づくPDと乖離して 内部モデル方式均 論 \mathcal{O} デフォ 値 に基づくPDを使用 デル方式採用組合 ル ト実 てい 績 E ないことを疎明で 基 す づくPDを は、 ることが 過 去 使 っできる \mathcal{O} 用 デフ する き

 \mathcal{O} 測期間 水準 取 引 中を調整, とすること。 す 場 る さ 場合 れ 7 に V る有な は、 景 価 気循環を含む最 証 券の デ] タに 低 基 づ 五. きPD 年 \mathcal{O}

自己 外部 0) デ ポ] \vdash ソー フ オ IJ ス から オ なに関連 提 供 性 されるPDを が あることを 用 1 疎 る 明 場 す 合 るは

を満 法に使用 当該推 たすLGDを算出 モデル ポジショ す 計 値推推 ンの 存 計 入するLGDは、 在しない 現在市場価値 値 すること。 が存 在 はする場が 場 合に 信 からデフォ 用 %合には は は IJ 次に ス ク 掲 当 に 該 係 ル げ る要 \vdash 推 る 時 計 内 点 件 値 部 0 を \mathcal{O} 格 用 出ポ 全 付 て 11

ョンの ポジション 期待 0) 市 場 種 価 類 と優 値 を差し引 先劣後 構造を 7 た金 反 額 映するも に 基づ き 0 算 こする

零

を下

-回る場

合に

あ

つ

て

は、

零と

- 432 -

ハ 十分な過去データに基づくものであること。

自己 外 部 デー 0) ポート タ・ソー フ オリ ス から オ に 提 . 関連性があることを 供 されるLGDを用 疎 る 明 場 す 合

るは

恣意的 一 PD及びLGDの 選 択しないこと 入手方 法 に 関する 優 先 順 位 付 け を 行

4 を含む 運 部 相 用に必 関 it モデル 並 びにPD及びLGDに係 を含む。 要な管 方式 採 理 用組 規 を文書で定めるも 程 合 らは、 信 用スプ いる管理 D R VС ッド 七 続 0 デ 水 とす 又ル 準は に 調 株 0 整 価 及 \mathcal{O} 使 び 検 用 適 証 要

5 他部 す る手 ス・ \mathcal{O} 七 内 一部モデ 事 デ 法に 象 ル を 方 より ١<u>,</u> ル 想 式 定し 方式 採 評 感 用 た 組価 応 採 度 用 検 合 す くるも 証を は、 分 組 が析、 合 実施 は、 過 \mathcal{O} シナリ とする。 去の するも D 経 R オ 験 С こ の 分析 モ \mathcal{O} カュ デル 5 と す 得 場 そ る。 合に 5 のに 他 つい れ た お 事 て、 いれ 象そ 5 に ス の内類

性 を 内 評 部 価 モ す デ る ル た方式 の採 ベンチマー 用 組 合 は - クを構 D R С 築する モデ ル £ \mathcal{O} \mathcal{O} 全 いとする。 般 的 な 正 確

6

7 体 部 的 モ な検 デ ル 証手 方式 続 採 を 用 整備す 組 合 は るものとする。 D R C モデ ル 0) 検 証 に 0 11

て

8 ス はす る D 相 R C ス モ デ を デ 算 イ ル を 出 グ す 3 使 るも 用 デスク 7 \mathcal{O} と フ 7 クは、 しする。 オ -ケッ 期 ル \vdash を 待 用 彐 IJ 11 て ス ク 7 \vdash 相 ケ フ 当 ツ 額 オ を 1 算 ル 又 出

る 内 部 モ デ ル 方 IJ 式 ス を ク 使 相 用 当 L 額 な \mathcal{O} V 算出 \vdash デ イ デ ス ク に

標準的方式又は簡易的方式を用いて算出するものとする。ーディング・デスクに関連するマーケット・リスク相当額は、第二百四十六条の十三の七 内部モデル方式を使用しないトレ

(マーケット・リスク相当額の合算)

するものとする。 基づくマーケット・リスク相当額は、次の算式を用いて算出第二百四十六条の十三の八 内部モデル方式及び標準的方式に

 ACR_{total}

 $= \min\{IMA_{G,A} + 資本サーチャージ + C_U; SA_{all\ desk}\} + \max\{0; IMA_{G,A} - SA_{G,A}\}$

 $C_A = \max\{IMCC_{t-1} + SES_{t-1}; m_c \cdot IMCC_{avg} + SES_{avg}\}$

資本サーチャージ = $k \cdot \max\{0, SA_{G,A} - IMA_{G,A}\}$

 $k = 0.5 \times \frac{\sum_{i \in A} SA_i}{\sum_{i \in G, A} SA_i}$

ACKtotalは、内部モデル方式及び標準的方式に基づくマーケット・リスク相当額

 $IMA_{G,A}$ は、 C_A 及びDRCの合計額

DKCは、第二百四十六条の十三の六第二項の規定により算出された内部モデル方式を用いるトレーディング・デスクにおけるデフォルト・リスクに対するマーケット・リスク相当額

Cuは、内部モデル方式を使用しないトレーディング・デスクについて標準的方式を用いて算出したマーケット・リスクセン語

- 24am deskは、全てのトレーディング・デスクについて標準的方式を用いて算出した場合のマーケット・リスク相当額
- 式を用いて算出した場合のマーケット・リスク相当額 AGAは、第二百四十六条の十二の八第一項の規定によりグリーン・ゾーン(G)又はアンバー・ゾーン(A)に分類されたトレーディング・デスクについて標準的方式を用いて算出した場合のマーケット・リスク相当額
- SAAは、第二百四十六条の十二の八第一項の規定によりアンバー・ゾーン (VA) に分類されたトレーディング・デスクについて標準的方式を用いて算出した場合のマーケット・リスク相当額
- C_A は、DRC以外の内部モデル方式による資本賦課の合計額
- IMCC^{t-1}は、算出基準日におけるIMCC(第二百四十六条の十三の四の規定に基づくモデル化可能なリスク・ファクターに対するマーケット・リスク相当額。以下この条において同じ。)
- SESt-1は、算出基準日におけるSES(第二百四十六条の十三の 五第二項の規定に基づくモデル化不可能なリスク・ファク ターに対するマーケット・リスク相当額。以下この条において同じ。)
- mcは、第二百四十六条の十二の二第四項の表の中欄に掲げる 乗数又は当該乗数に行政庁が指定する定性的アドオンを加えたもの
- IMCCavgは、算出基準日を含む直近六十営業日のIMCCの平均値 SESavgは、算出基準日を含む直近六十営業日のSESの平均値
- SAiは、トレーディング・デスクiについて標準的方式を用いて 算出した場合のマーケット・リスク相当額

準 的 方 式

第一 款 標 準 的 方 式 に 係 る 一 般 的 規 定

及

び

構

造

準 的 方 式

を相 7 当 百 · う。 一額と 兀 と十は六 条 次の に 十 掲 四 げ る標 7 準] 的 方式 ケ ツ \vdash に よる IJ ス 7 ク] 相ケ 当 ツ 額 卜 \mathcal{O} IJ 合 ス 計 額ク

IJ 余リ ス オ ク ス ル 感 \vdash 応 度 IJ ア 方 K ス 式 ク オ に ĺZ 基 対 づ に対する する < 7] ケ ケ ツ ツ 1 ケ 1 ツ IJ IJ ス IJ ス ク ク ス 相 相 当 額 相

目 IJ 準 ス 的 ク 方 感 式 応 に **.** 度方式 係 るリ に ス よる算 ク 感 応 出 度 方 方 法 式

IJ ス に お け る

0) 百 意 兀 義 十 ク 六 感 は 条 応 当 の度 十 方 該 各 五式 号 ۲ に 定の め節 めるところによる。 節において、次の各 に用 お語 各 뭉 に 掲 げ る 用

IJ ス ク • ク ラ ス 次に 掲 げ る区分をい

般

金

IJ

ス

ク

口 限 る。 信 用 ス プ 利 ツ ド IJ ス ク 非 証 券 化 商 品 に 係 る ŧ \mathcal{O} に

節 ショ 信 お 用 ス プ て 証 ツ 券] ド 化 デ 商 イ IJ 品 ス グ・ ク (非 ・ ポ 証 CTP) 券 化 \vdash とい フ 商 オ 品 . う。 IJ \mathcal{O} オ う (よ以 非 5 係 下 コ る IJ

ものレ

第二百 匹 ス 日十六条の十五の人の感応度方式に の 二 に 基づ < IJ スク感応度方式 7] ケッ \vdash IJ に基づくマーケ ス ク 相

額

限に 0) る。 3 に お 信 1 用 限 バスプレ . て 「証 る。 券] ツ

化

商 イ

品

(CTP) 」とい

、 う。)

に係るも

デ

ン

グ・

ポ

]

 \vdash

フ

オリ

议

下

に節し

もこのの

ド

IJ

スク(証

券化

商

品

うち

コ

IJ

V

オの

株式リ ス

トヘホ

ク

外国為替リス コモディテ イ

IJ ス

に掲げるポジションをいう。 をいう。 デ 1 ン グ・ ポ 1 フ オ IJ 才 次

ラン 除証 < 券 コ シェ 化 IJ)であ 商品 \mathcal{O} 受 \mathcal{O} ること。 エ 取 彐 クス 額 に ポ 対 卜 L レ ジャー] デ イ L に た 係 グ る持 分 派 証 生産券化 品供商 L 取 品 引なの をい

(1)

次に

掲げる要

件の全てを満た

す

証

券

化

商

品

 \mathcal{O}

ポ

ジ

シ

彐

(2)ス 証ポ ポージャーに係る原第三十八条から第四 券 化 Ħ 的 導 管 体 に 資産を参照していて十一条の二までに 対する債権 を参 照してい 、ないこと。に規定するエ ない エ ク

(3)証 券 化 商 品 に 該 当 L 0 (以下こ て \mathcal{O} 節 に る ポお

ジい ショ て「非 を証 参化商 する目 品品 る目的であるものという。) であっしないポジション イに 掲 げ

- 437 -

のびッ 力] べ IJ チス t ク . う。 相] 当 リ額 ス クに は、 対 デ する ル タ 7 IJ ケ ス ク、 ツ 1 ベ IJ ガ ス ク IJ 相 ス 当 ク 額及

IJ ス ク 感 応 度 方 五 式 \mathcal{O} 対 象 商

げ び るリ 力 百 グ デ] 兀 ル ス ベ +デ ク チ六 タ ハスクが ヤ 0) 条 IJ 区 0 ス 分 +保 に IJ ク 有 応 ス \mathcal{O} する じ、 標 ク 三 準 0) 商 的 当 対デ ヨ該各号にカルタ・リ 品 方 元式を用 証 券化 11 定 商ス 商 · る全 \aleph 品ク、 品 るは、 非 ての べ \mathcal{O} 次ガ CTP) とす 1 \mathcal{O} 各 IJ رِّ چ を除] 号 ス に デ ク < 1 掲 及

ベガ プシ IJ ス 次 に 掲 げ る 品商 品

才

彐

性

を

有

す

る

商

力] 繰 ベ 上 チ 返 済 ヤ オ IJ ブ ス 彐 ン が 前 号 組 4 1 込 及 ま び れ 口 合に て 11 る る 商

ディ Ü 口 グ・ 以 次 外 に デ 掲 \mathcal{O} ス 商 げ ク 品 る で \mathcal{O} 要 うち 件 保 有 \mathcal{O} する 標 全 準 7 商 的を 品 方 満 式た を す 力 を 用 場 ベ 11 チ るに掲 全限げ ヤ り、] て \mathcal{O} IJ 卜 同 品 ス レ 号 1 イた

5 象とすること 第 オ プシ 号 に定 3 性 8 が を る 有 デ さ ル な タ 1 ŧ IJ \mathcal{O} ス で ク あ 0) ること。 対 象 とな る 商 品 \mathcal{O} う

対

できる。

力] べ チ ヤ IJ ス ク \mathcal{O} 対 商 品 は 継 続 て 適 用 す る

相 タ 額 IJ ス 及 び ベ ガ IJ ス ク 対 す る 7] ケ ツ 1

IJ

第二百 項 ま 匹 でに定 するマー + 六 条の十 めるところによる。 -ケット 五. ・リスク相当額 兀 デル タ・リスク及び 0) 算出 は、 次 ガ 項 ・リス か 5 第 七

- ティングするものとする。 り算出し、同一のリスク・ファクターに関する感応度はネックターの感応度(sk)は第三目の規定に基づき自己の計算によ2 デルタ・リスク及びベガ・リスクに対する各リスク・ファ
-) は、次の算式により算出するものとする。 (リスク・ウェイトを乗じた後の感応度をいう。以下同じ。 3 各リスク・ファクター (k) に対するリスク加重後の感応度

 $WS_k = RW_k \cdot s_k$ $S_k = RW_k \cdot s_k$

の算式により算出するものとする。 各バケットに対するマーケット・リスク相当額(Kp)は、次RM^kは、リメク・ファクターkに膨用みざめリメク・ヴェイァ

4

$$S_{k} = \sqrt{\max\left(0, \sum_{k} WS_{k}^{2} + \sum_{k} \sum_{k \neq l} \rho_{kl} WS_{k} WS_{l}\right)}$$

Kpは、各バケットに対するマーケット・リスク相当額 briは、リスク・ファクターkと1との間の相関係数

次の算式により算出するものとする。各リスク・クラスにおけるマーケット・リスク相当額は、

5

リスク・クラスにおけるデルタ・リスク及びベガ・リンクに対する各マーケット・リスク相当額

$$= \sqrt{\sum_{b} K_{b}^{2} + \sum_{b} \sum_{c \neq b} \gamma_{bc} S_{b} S_{c}}$$

$$S_{b} = \sum_{k} W S_{k}$$

$$S_{c} = \sum_{c} W S_{k}$$

 $S_c = \sum_{k} WS_k$ $S_c = \sum_{k} WS_k$ S_b は、バケシアbとcとの画の温麗孫赞 S_b は、バケシアbとcとの画の温麗孫数 S_c は、バケシアbとcとの画の温麗孫数 S_c は、バケシアbとcとの画の温麗孫数 S_c は、バケシアbとcとの画の温麗孫数 S_c は、バケシアbとcとの過みmw S_b のバケシアcの中学盤
を用いて同項の算式により各リスク・クラスにおけるデルタを用いて同項の算式により各リスク・クラスにおけるデルタ・リスク及びベガ・リスクに対する各マーケット・リスク相当額を算出するものとする。 $S_b = \max_{k} \left[\min_{k} \left(\sum_{k} WS_k, K_b \right), -K_b \right]$

$$S_b = \max \left[\min \left(\sum_k W S_k, K_b \right), -K_b \right]$$

$$S_c = \max \left[\min \left(\sum_k W S_k, K_c \right), -K_c \right]$$

スのマーケット・リスク相当額を合算した額とする。スク相当額は、前二項の規定により算出した各リスク・クラーデルタ・リスク及びベガ・リスクに対するマーケット・リー

カーベチャー・リスクに対するマーケット・リスク相当類

 \smile

めるところによる。
ーケット・リスク相当額の算出は、次項から第七項までに定第二百四十六条の十五の五 カーベチャー・リスクに対するマ

式により算出するものとする。

度(デルタ・リスクの加重平均感応度を除く。)は、次の算て、リスク・ウェイトを上方及び下方に移動した場合の感応2 カーベチャー・リスクを有するリスク・ファクターにおい

 $CVR_{k}^{+} = -\sum_{i} \left\{ V_{i} \left(x_{k}^{(Curvature)^{+}} \right) - V_{i}(x_{k}) - RW_{k}^{(Curvature)} \times s_{ik} \right\}$ $CVR_{k}^{-} = -\sum_{i} \left\{ V_{i} \left(x_{k}^{(Curvature)^{-}} \right) - V_{i}(x_{k}) + RW_{k}^{(Curvature)} \times s_{ik} \right\}$

CVRだは、リスク・ファクターkが上方に移動した場合における カーベチャー・リスクのリスク加重後の感応度(デルタ・ リスクのリスク加重後の感応度を除く。)

iは、リスク・ファクターkに関連するカーベチャー・リスクを 有する商品

 x_k は、リスク・ファクターkの現在の水準

 $V_i(x_k)$ は、リスク・ファクターkの x_k における商品iの時価 $V_iig(x_k^{RW(Curvature)^+}ig)$ は、リスク・ファクターkが上方に移動した場

 $V_iig(x_k^{RW(Curvature)^-}ig)$ は、リスク・ファクターkが下方に移動した合の商品iの時価

合の商品iの時価

 $RW_k^{(Curvature)}$ は、商品iのリスク・ファクターkに適用されるリスク・ウェイト

ー・イールド・カーブを全てのテナーについて上方及び下一 一般金利リスクの場合 ある通貨内の全てのリスクフリの区分に応じ、当該各号に定める手法を用いるものとする。 前項の感応度の算出に当たっては、次の各号に掲げる場合

場合 各リスク・ファクターに対して個別に算出する。 一 商品価格が複数のリスク・ファクターにより決定される

方に移動することに

より算出する。

めるものとする。)は、次の各号に掲げるリスクの区分に応じ、当該各号に定4 前項のリスク・ファクターkのデルタ・リスクの感応度(sik

の感応度 外国為替リスク及び株式リスク 商品iのデルタ・リスク

スクの感応度の合計するイールド・カーブの全てのテナーに対するデルタ・リティ・リスク リスク・ファクターkに関して、商品iの関連一般金利リスク、信用スプレッド・リスク及びコモディ

次の算式により算出するものとする。 5 各バケットにおけるマーケット・リスク相当額(Kb)は

 $K_b = \max(K_b^+, K_b^-)$

$$\begin{cases} K_b^+ = \sqrt{\max\left(0, \sum_k \max(CVR_k^+, 0)^2 + \sum_{l \neq k} \sum_l \rho_{kl}CVR_k^+CVR_l^+\Psi(CVR_k^+, CVR_l^+)\right)} \\ K_b^- = \sqrt{\max\left(0, \sum_k \max(CVR_k^-, 0)^2 + \sum_{l \neq k} \sum_l \rho_{kl}CVR_k^-CVR_l^-\Psi(CVR_k^-, CVR_l^-)\right)} \end{cases}$$

briは、リスク・ファクター間の相関係数であり、デルタ・リ スクの相関関数を二乗した値

 $\Psi(CVR_k, CVR_l)$ は、 CVR_k 及び CVR_l がいずれも負の場合には零、 れ以外の場合には

ット・リスク相当額 各リスク・クラスのカーベチャー は、 次の算式により算出するものとする ・リスクに対するマーケ

6

各リスク・クラスにおけるカーベチャー・リスクに対す 各マーケット・リスク相当

$$= \sqrt{\max\left(0, \sum_{b} K_b^2 + \sum_{c \neq b} \sum_{b} \gamma_{bc} S_b S_c \Psi(S_b, S_c)\right)}$$

γ_{bc}は、デルタ・リスクの相関関数を二乗した値

$$S_b = \left\{ egin{array}{ll} \sum_k CVR_k^{\dagger} & , 上方に移動した場合 \\ \sum_k CVR_k^{\mp} & , 下方に移動した場合 \end{array}
ight.$$

 $\Psi(S_b,S_c)$ は、 S_b 及び S_c のいずれも負の場合には 場合には一 零、 それ以外の

ヤー・リスクに対するマー カーベチャー・リスクに対するマーケット・ 前項の規定により算出した各リスク・クラスの ケット ・リスク相当額を合算し リスク相当 カーベチ

第二百四十六条の十五 (リスク感応度方式におけるストレスを想定した相関係 の六 第二百四十六条の十五 の四 第四 項

次 法 0 び 各号 に 第 より Ŧī. に 項 設 並 掲 定定さ げ る に れ シ 前 ナリオ た 相 条第 関 五. 係 \mathcal{O} 項 (数を用いるものとする。) 区分に応じ、当該各号に 及び第六項 \hat{O} 算 式 お に V 、ては、 定 \otimes る

- ず 出 たに用 . خ 中 間 れ た相 いる方法 相 関 関係 0 シナリ 数 才 及 第 び 四 相関係数 一目又は第五目 (γ_{bc}) 0 に調整 規定 に を より 加 え算
- された相関係数 ・二五を乗じて得た相関 高 相 置 関 き のシナリオ 換える方法 $(
 ho_{kl})$ 及 第 び 係 兀 日目又は第一 数 (一を超える場合は一とする 五 (γ_{bc}) ϵ 目 0) 規定に それぞれ一 ょ ŋ 算 出
- された相関係数 (ρκι) 及び 低相 より算出した相関係数に置き換える方法 $\times \rho_{kl}$ – 関 100%; 75%×ρ_{kl}) 及 び のシナリオ 第 兀 相関係数 目又は $\max(2 \times \gamma_{bc} - 100\%; 75\% \times \gamma_{bc})$ 第五 (Ybc) を、それぞれmax 目 0 規定により
- 3 2 づに くマ 合算 Ì ス 前 前 ク 項 項 ケ の規 相 0 ット・] して 規 当 ケ 定に ット 得た額 額 定により算出し のうち最も大きい リスク相 ょ IJ ŋ を 算出さ スク相当額とする。 当額 当該 シナリオの を同項各号に掲げるシナリオごとたトレーディング・デスクごとの れ たシナリオごと く額を、 IJ リスク感応度方式に ス ク 感 0) 応度 マ| 方 ケ 式 ツ に 1 基

第二目 リスク感応度方式に係るリスク・ファク

タ

]

]

ケ

ツ

}

IJ

ス

ク相当

額とする。

タ・ IJ · ス ク、 べ ガ IJ ス ク及 び 力] べ チ ヤ] IJ ス ク

対 するリ ス フ ア ク タ

にク ター 百 定 め 兀 アルタ・リスにめるところに は十六 六 次 条 \mathcal{O} \mathcal{O} 各 + ょ 六 り に 設定 掲 げ般 しるリスク す 金 からも 利 リノス \mathcal{O} クに とす \mathcal{O} 区 分に 対 す るリス 応 ク 該 フ 各 号 ア

分に応じ、 デル 該 ク イ カゝ 次 の 5 ハ までに 1 定めるところ ハまでに 掲 げる に ょ 力 ŋ] 設 ブ 定の す区

る (1) 各 通 の貨 全のフ を ス 満 ク フリ たすこと] 1 1 ル ド 力 次 に 掲 げ

(2)商対 各 ブ ツ 品 象 各 ッとなる。 を一 \vdash 通 又 通 貨 貨に は の以 イ ポ IJ 上 ン ジ信 お 年、 ス 設 プシ 用 V 定す ラ リスク て、 クフリー・イー 彐 $\dot{}$ 1 ンを ること。 ド 7 五. 時 が] 最 ス 価 も低 ワ ツ 評 ツ 価 卜 年、二年、三年、五 プ・ す V ル Ś 7 IJ F カたネ ス 力 \otimes] ク - ブに基づっ 相] ブの 7 Ì 額 テ ケ \mathcal{O} < ツ 計 カー 1

数にドにさ 内 代れ 玉 限 中 --、十五1 -、十五1 オワし たカー ること。 \mathcal{O} ワ よう 央 年五、年 政 ブ \mathcal{O} とするときは に 府 発 <u>-</u>+ より が のカ 行 発 場] す 合ブに IJ 年及び三十年を用いること。 行 る する債 ス 債 ハクフリ お関 券 0) V す 参が て、 Ź 7 市 デ]] 場 **%デー** 1 あ 同 ケ ツ る タ 1 ときは、 - タを用 が \vdash] 通 不十 ルド 貨の 1 域 分 V) ・プラ・ な 力 て 当 内 場 1 作 該 イブ 域 複 合

(4)

IJ

ス

クを

表

る

適

切な

中

政

を

選

ぶこと。

ス代

に す

0

٧,

債

券

カュ 央

ら

に決府

は、信なれ

用 る 惑

応

用

プ

に

ワ

力

適

用 て

する場

合

(3)

- 445 -

口 (5)(i) す 当 当 1 ること。 該 た IJ 各 引 組 0 ス 翌 日 合 て貨 IJ ナ せ を 物 はの に IJ ョが 金 スワッ 次に掲げ 異 お 利 クラ クフリ す 市 け な スワップ 場及びる複数 Ś るカー ス プ・カー ス げ ワ るカ 1 ッに ・ブを異 プ お オの イ フシ] ** \ 銀 て ブ] 力 行 へなる 彐 のル 債 間 組ド 券 取 力 ブ 力 と 市引 合 力]] 場 ブ せカ 0) ・ブとし ブと 及 \mathcal{O}] 間 場 び ブ

合

に 構

設は築

て

定

 \mathcal{O}

銀

行

間

取

べ ク

] V

シ

ジ

スッ

(2) (1)該 フ (3) シ い物対 次 各 (iii)(ii) う。 レにョ 価 す 商 イイ に通 掲 貨 る 品 型 おン ンー \mathcal{O} フルげ フ以変 の商 \mathcal{O} 感 V \mathcal{O} る 市シ レ K 動 予 品 て指 応 同標 こに 度想の 型 要 場 じに れのの さ 商力件 にア ょ を 市] ŋ 関 品 のお リ項 算 れ 場 (カア) スに保 出 る 全け で 連 てを \mathcal{O} お有 し利 観 す る 小率を、 る商 11 商 測 1 ャ期 インフレ - ンプライ ッ間 品 各 さ 満たすこと。 同 シ構 通いれ \mathcal{O} 品 うた。 U 造 価 貨 ユ を 0 価 格 11 • を 率 う。 。 のア 1 認 格 ド フ が カュ 口 下 ン カュ • 識 フ フレ・ 5 5 以 し ク] ラ (BOR) はするリ 下こ ット] インフレ 逆 が な 算さ ポ 1 力 IJ · 力 ン \mathcal{O} ス ス 7 フ (2)れ ク率 た当 ク 及 を

(3)

イ

率

ク

フ

ア

]

- は、イ

すること。

下

7

品

に

4

ス

 \mathcal{O} る

ク

フ

ア

タ

]

フ

IJ

スク

外

クフレ

型

ス 般

す

る IJ

商 ス

品

. 含 ま

れ ク

(4)イ フ • ル IJ ド ス ク 力] は ブ の同 期 _ 間通 構 貨 造 \mathcal{O} に 関 割連 するリス 当てること クフ

玉 アメリ 通 貨 通 力 クロ げる要件の 合 衆国 ス カ 軸 通 いう。 レ 通 貨 貨 ンシー・ベ 以 (USD) 全 組 合が て 合が設 (下この を満たすこと。 1 は ハに 定 欧州 いないて同じ。 が経済通貨統合、 シ す) を 合参 力 0 除加て

次に ク 口 1 スル スカレンシー・バルド・カーブの脚 ,ること。 期間構造 べ] シ ス を認識 は、 基 L 軸 ないこと。 通 貨に 対 す る

]

-シスとす

(3)組は、 基 4 合 基 軸 型軸通貨に関 設 に 関 定すること。 対 連 す L るな クロ \ \ ク ス 口 カレ ス カレ ンシー ン シー べ ーベ シースシ] をス

(4) ス ク ク同 力 \mathcal{O} 場] は 口一 ス カ 品 合 ブ の同に 期 お レ \mathcal{O} 間 通いン てシ、一 般金 構 貨 造 \mathcal{O} に 関 ク 利リスクに ロベ 割 連 とするリースカレー り当てること。] シス ンシー ス • 対 ヘクフリ IJ す ス る クを含む • 感] べ 応] ・ イ 度 -シス・リ 12] 加 ル え

定すること。 ガ IJ ス ク 次 E 掲 げ る要件の 全てを 満た す ように

す っる 原資 イリテ 各通貨に オ ラテ 産 3 をリスクを多照す お \mathcal{O} イ 11 IJ て、 満 テ 期 ・ファクター るオ イ に ついては、 般 7プショ 金 以 利 IJ 0) ン ス -として設立 のクイに テナ 才 ヘプシ 対 彐 L ンの ライド 定すること。 て 感応 ソインプラ 五. 度を ボラ有

口

2 三 ように ス IJ す 力 ス テ ることにより算出すること。 1 ナ IJ ワ とすること。 各 捕 IJ ワ ること。 オ スクに オ ド 原 捕 イ オプショ ĺ ツ 般 設 般 ず 資 化 捉 ル ス ンフレ・ 通 べ 捉 ル ス ツ ク • プ・ 年、 ク • 金 貨 定すること。 チ す 金 れ 産 商 す 1 1 $\widehat{\bigcirc}$ ボ 利リ について ラテ ヤ ること。 0) 利 か 品 に関 クラス クラス •] 力 IJ 力 IJ 残 五. に ス ス ワ IJ Ŧī. 係] ス ス ワ ス イ 存 \mathcal{O} 年 は、 スク クフリ ツ ク IJ ツ ク 連 IJ ブ ブ 満 る 行 又 に を テ に ス に を に 付 信 プ プ 期 は 使 けること。 イを 及 お お 適 用 適 0 力 ク 0 に 期 + 年、 ス 力 V 用い] び 力 **\ 用い 0 間 年とする。 -ベチャ 元する場 、て債券 する場 クロ て債 プ]] て 満期までの V 満了 7 次 三年、 債券カ - ブとの ては 債 1 ブとの レ に 券 ス ツ 券 掲 日 カ 合 1 力 合 ド か ル げ か 時 五. 間 に] 12] 5 ド 間 5 才 点 V る には、 年 ブと ブと は、 プ 0) \mathcal{O} 決 IJ \mathcal{O} 決 に IJ ン 要 - 又は十 以 ベ べ シお 定 ス シ 力 件 定 ス 11 クレ クレ] 信 ク] 信 上 3 ク さ 1] \mathcal{O} さ け ず 一の残存さ ブを 全 に 用れ 0) 用れ ン • る れ 年とする。 ス・リ (T) ジ ジ 対 ス ス る 計 ベ て ス る オ カ ット ツ プ 感] 平 プ 感 1 プ に す 測 を る IJ \vdash レ 満 V 満 応 シ 関 応 \mathcal{O} シ 行

ツ度ドに

ス

デ

プ

ラ

連

付

期

 \mathcal{O}

ク

フ

ア

ク

1

は

次

0)

各

号に

揭

げ

るリ

ス

ク

0)

区

分

応じ、

IJ

ス

ッ度に

対 ス

象

移

た

す

ス

デ

該 各 号に 定めるところに より設定するものとす

タ IJ ス ク 次に 掲 げる要件の全 てを満たすように

定すること。

るも る 発 債券及び 行体の信 のであること。 ク 日 スプ レ ジ ツ ١ レ ツ ド デ フ 力 オ 1 ル ブ 1 0 • 特 ス 性 ワ に応 ツ プに じ て 関 定 連 す

口 に応じて定めるものであること。テナー(○・五年、一年、三年、 五 年 又 は +年 とする。

定すること。 ガ・ IJ ス 次に掲げる要件の全てを 満たすように 設

口 る プライド・ 発行体の 債券及び オプショ ン 銘 ク ボラテ \mathcal{O} 柄 レ ジ 満 を 期 ット 原 イリティであ に 資 おい 産 • として参 デフォ 、ては、 ル 照する ること。 インプライ \vdash ス 才 ワ ツ ド プ 彐 に ボ 関 ラテ \mathcal{O} 連 1 す

す 1 設定さ ること。 カー ・スワ す る。 リテ べ チ れ ツ イ に を満 たテ プ ヤ (C 関 ナ 関 連 期 リス 連 付 $\widehat{\bigcirc}$ けること。 する発行体 \mathcal{O} 全 ク 五年、 主てを平行移むる発行体の信用 債券及 年、三年、五年又は 信用スプ び クレ 動することに ジ V ツ ツ ド ょ デ ŋ 力 フ + 1 年と 算 オ 出ブ ル

3 応じ、 るリス 証 ク ・ 化 当 該 商 ファク 各号に定 品 IJ 非 Ź CTP) ク タ め] るところにより設 は、 次 に に 係 揭 次 いる信用 げる要件の の各号に掲げ ス プ レ 定する 全 ツ るリ て ド を 満 ŧ IJ ス ク 0) たすように ス とす 0) ク 区 に る。 分に 対 す

該 証 券化 商 品 (非 CTP) 0 原 資 産 \mathcal{O} ス プ レ ツ ド で は

な

く、保有するトランシェのスプレッドであること。

こと。ロートランシェの信用スプレッド・カーブの特性に基づく

)に基づくこと。 ハ テナー(〇・五年、一年、三年、五年又は十年とする。

ンのインプライド・ボラティリティであること。 エ券化商品 (非 CTP) を原資産として参照するオプショ

口 す る。 リティ オプション に関連 満 \mathcal{O} 期 付 満 けること。 期に 五年、 おいては、 インプライド・ 五年又は ボ ラテ 年と

ことにより ッド 力 Ì べ カ | チ ヤー 算出すること。 ブに設定されたテナーの全てを平 リスク 保有するトランシェ 行 0) 移 信 動 用 す ス る

より設 じ、 リスク・ファクター トランシェ 証 当 該 券化 定するものと 各号 商 品 にあっては、 (インプライ (CTP) に係る信 する。 は、 次の 第二号を除く。) ド ・ボラテ 各号に掲 用スプレ イリテ がおるり ツ K に に定めるところにアイを取得できなりスクの区分に応 IJ ス ク に 対する

デル 定すること。 タ IJ ス ク 次に掲 だげる要 件 (T) 全 て を 満 た す ように

1 がするも 証 券化 ので 商 品 あ \mathcal{O} ること。 原 資 産 0 銘 柄 又 は 特 定 順 位 参 照 型 商 品 に

口 て定め 有 す るも る原 0 資 で 産 あること。 \mathcal{O} 信 用 スプ レ ツ ド 力] ブ \mathcal{O} 特 性 に

応

) に基づくこと。ハ テナー(○・五年、一年、三年、五年又は十年とする。

定すること。 二 ベガ・リスク 次に掲げる要件の全てを満たすように

のインプライド・ボラティリティであること。イ 証券化商品 (CTP) を原資産として参照するオプション

口 カ | す る。 リティ オプションの ベ)に関連 チ ヤー を満 期 リスク 付けること。 満期 $\widehat{\bigcirc}$ 気においては、 五年、一 保有するトラン 年、三年、 インプライド・ 五年又は シ エ \mathcal{O} 信 ボ +用 ラテ 年と ス

定するも げ るリスクの区分に応じ、 株式リスクに ことにより のとする。 算出すること。 対 す るリスク・ファクター 当 該各号に定め るところに は、 次 \mathcal{O} 各号に により 設 掲

5

ッド

カ |

ブに設定されたテナーの全てを平行

移

動

ずする

١ デルタ・リスク ガ・リ (配当利回 ス ク りを含む。 次に掲 株式等 げる要件 以下同 0) 現物 U. \mathcal{O} 価 格 全てを満たすように 及 び を勘案すること。 株式等 ポ

のインプライド・ボラティリティであること。株式等の現物価格を原資産として参照するオプション

定すること。

する。 オプシ リティ 3 関連 満 ンの 期 付 $\widehat{\bigcirc}$ 満期においては、 け ること。 五年、一 年、三年、 インプライド・ 五年又は + ボ -年と ・ラテ

含めないこと。ハー株式等レポ・レートは、ベガ・リスク・ファクター

6 \mathcal{O} 各号に掲げるリ コ モデ 力 チ ヤ イ べ チ イ IJ 1 ス IJ ス 場 ク ス ク IJ 合 クに ス \mathcal{O} に 区 ファクターに ク お 分に応じ、 対するリス V て、 式等 株 式 \mathcal{O} 含め ク ・ 等レ 当該各号に定め 現 物 な ポ価 フ アクター 格 に] 0 1 V るとこ は、 7 は

次

設

カ定

ろにより

設

定するも

 \mathcal{O}

とする。

いに掲げ () に れ デ るコ 先 物 ル タ る要 物 モ 価 価格 IJ デ 格 件 イ で ス \mathcal{O} ク を テ \mathcal{O} 取引が 用 イ 全 一てを 11 ることができる。 モ 0 満 V 現 デ 物価 ては たすように設 イティ 格 での 関 \mathcal{O} 連す 現 取別定 物 る 価 よりも IJ すること。 格とし、 ス ク・ 頻繁に ファ ただ 行

7 定めること。 コ モ デ イティ \mathcal{O} 取引条件に含まれる受渡 場 所を 勘 案

口 とする。 年、二年、 満 期 までの残存期 三年、 に基づくこと。 五年、 間 (零年、 十年、 十 五 〇・二五年、 年、二十年又は三十 を \bigcirc 五. 年、 年

定すること。 ションの ガ・リスク コモデ イテ プライ イ 次に掲げる要件 0 現 ド 物 価 格を原 ボ ラティリティとすること。 資 0) 全て 産とし て 満 た 照するオ す ように

オプ IJ イ 3 関 連 期 \mathcal{O} 付 満 \bigcirc けること。 期 に 五. おい て は、 インプ 三年、 ラ 五. 年又は イド・ + ボ ラ 年と

価 原

格

を 産

区

別 満

す 期

、ることは₅

資

 \mathcal{O}

又

は

受

渡

応

じてコ

モ

デ

ハイティ

 \mathcal{O}

現

求場

めなに

V

ものとす

ること。

力 チ ヤ IJ ス ク 各 コ モ デ イ テ イ 0 現 物 価 格

に

設

 \equiv

7 ŋ に 設 掲 定され 定す るリ テ ス IJ ク ス とす 1 0 ク 区 に \mathcal{O} る。 分に応 全てを 対 す この る じ、 IJ 平行移動 場合に ス 当 ク 該 おい 各号に フ することにより ア て、 ク 定 タ 同 8] は、 為替 次 算 出 \mathcal{O}

各

す

る

ることは オンショ デル 定すること。 タ 要し ア又は IJ な ス ク 1 オ フショ ものとする。 次に アを異 掲げる要 な る為替 件 \mathcal{O} 全 レ て を] 1 満 るところ とし た す て ょ うに に 区 1 分 \vdash よ号

のに のス ク て設 報 基 間 商 • 七 告 品 準 \mathcal{O} 1 通貨以外 全 定すること。 通 フ 1 0) 通貨と 貨方 を参 て ア 0) ク 為 式 タ 照 報告] す 項 \mathcal{O} (行 第 通 Vは る 1 六号におい 貨 政 取 た 通 庁 \vdash 報 引 だ 貨 (以下この に届 告通 との を用いて設 0 場 過貨と報 合 け 報 間 て 出 に 告 \mathcal{O} 条及び は、 て、 通 全 定すること。 告 貨 て 報 為 通 以 \mathcal{O} 第二百四十 貨 替 外 為 貨」 以 \mathcal{O} \mathcal{O} 外 デ 通 \mathcal{O} ル 貨 1 +代 タ 間 通 · う。 六六条 わ \mathcal{O} を 用

明で 基 自 基 準 通貨 の通 ポ貨 に 報 対 F フ す 告 Ś オ 通 為 貨 IJ との ?替リスクを算出 才 \mathcal{O} 間 適 0) 切 なリ 換算リ ス クを表すこと及 ス することに ハクの考 慮 を ょ

(2) (1) 用

基 る

準

· 通 貨 合

は

単

通 げ

貨 る

であること。

を

用

1

る方式

を

· う。

以下この

11

場

は

次

に V

掲

要件の

全てを満

たすこと。

て同じ。

を

次 に · 掲 げ 額 を る 算 外 出 玉 すること。 為 替 IJ ハスク ŧ 含 \emptyset 7 7 1 ケ ツ

(3)

(ii)(i) 報 基 告 準 通 通 貨 貨 に لح 基 対 準 する外 通 貨 لح 玉 0 為 間 IJ \mathcal{O} ス 外 玉 為

(4)لح 1 準 報 基 日 IJ \mathcal{O} 告 準 ス 直 通 通 ク 物 貨 貨 相 為 と 方 当 替 \mathcal{O} 式 額 間 に に \mathcal{O} 基 換 1 外 づ · を 用 算すること。 玉 < |為替リス 外 玉 1 て、 為 替 クを 報 IJ 告 ス 通 反 ク 映 貨 は 替 \mathcal{O} L IJ た 7 基 ス 算出 1 準

ケ

ツ

通

基貨

定すること。 べ ガ IJ ス ク 次 に 掲 げ る要件の 全て を 満たす ように 設

口 ラティ イ る。 為替 IJ 才 テ イ IJ に] を 彐 テ 満 関 1 \vdash 連 期の とすること。 を 満 参 $\widehat{\bigcirc}$ 期 照 ること。 に す 五年、 るオ おいては、 プシ 年、 彐 イ、 ンの 三年、 ンプ イ ライ 五. ンプライ 年又は ド ド +ボ ラテ 年と ボ

ように設定すること。 力 商品] べ \mathcal{O} チ 通貨と報告 ヤ] IJ ス ク 通 貨 との 次に掲 間 \mathcal{O} げ 全 る て 要 \mathcal{O} 件 為 \mathcal{O} 全 替 て を 満 を た 用 す

す

付

け

(2) (1) の 替 て 特 全 V 1 て \mathcal{O} 定すること。 1 を参 為 替 照す Ś 1 を 取た にだし、 引の 用 1 場 て 特 合 報 定 に 告 は通い すること。 貨 次以 に 外 掲 \mathcal{O} げ 通 る 貨 間 通 貨の 間為

 \mathcal{O} 当 通 該 告 貨 商 通 品 0) 通 貨 及 び 当 該 商 品 が 参 照 す る当 該 通 貨 以

報

貨

 \mathcal{O} ス 告 直 基 相 物 通 準 当 為 貨 通 貨方 替 額 \mathcal{O} に 換算 間 式 卜 \mathcal{O} に すること。 を 外 基 用 玉 づ 1 為 て、 替リ 外国 報 Ź 為 クを反う 告 替 通 IJ 貨 ス 映ク \mathcal{O} 7 L は た算 ケ 基 ツ 出 準 1 基 通 準 貨

> IJ 日

第三目 リスク感応度方式に係る感応度

(感応度)

応度について、報告通貨により表示するものとする。第二百四十六条の十七(組合は、各リスク・クラスに対する感

2 品 リスク相当 感応度 .格又は時 \mathcal{O} ヨ額又は実 第出は、 価評 価 、損益を理事に報告するために使用独立したリスク管理部署がマーケ モ デルに基づくものとする。 ケッ す Ś \vdash 商

(デルタ・リスクの感応度)

るところにより算出するものとする。 各号に掲げるリスク・クラスの区分に応じ、当該各号に定め第二百四十六条の十七の二 デルタ・リスクの感応度は、次の

一般金利リスク 次の算式によるものとする。

 $s_{k,r_t} = \frac{V_i(r_t + 0.0001, cs_t) - V_i(r_t, cs_t)}{0.0001}$

 s_{k,r_t} は、一般金利リスクのデルタ・リスクの感応度 r_t は、期間tにおけるリスクフリー・レート

 cs_t は、期間tにおける信用スプレッド

Vi(tr. csr)は、リスクフリー・レート及び信用スプレッドを変数とする関数であり、商品iの市場価値を表すもの

とする。 TP)に係る信用スプレッド・リスク 次の算式によるもの非証券化商品、証券化商品(非 CTP)及び証券化商品(C

$$s_{k,cs_t} = \frac{V_i(r_t, cs_t + 0.0001) - V_i(r_t, cs_t)}{0.0001}$$

 S_{k,cs_t} は、非証券化商品、証券化商品(非 CLL)及び証券化商品(CLL)に係る信用スプレッド・リスクのデルタ・リスクの感応度

 r_t は、期間tにおけるリスクフリー・レート

 cs_t は、期間tにおける信用スプレッド

Λί(τ², cs²)は、リスクフリー・レート及び信用スプレッドを変数とする関数であり、商品iの市場価値を表すもの

のとする。
三 株式等の現物価格に係る株式リスク 次の算式によるも

$$S_k = \frac{V_i(1.01EQ_k) - V_i(EQ_k)}{0.01}$$

skは、株式等のデルタ・リスクの感応度

kは、所与の株式等の商品

 EQ_k は、株式等kの現物価格

Λί(Eδκ)/は、株式等κの現物価格を変数とする関数であり、商品iの市場価値を表すもの

$$s_k = \frac{V_i(RTS_k + 0.0001) - V_i(RTS_k)}{0.0001}$$

 s_k は、株式等レポ・レートのデルタ・リスクの感応度

kは、所与の株式等の商品

RTSkは、株式等kのレポ・レート

Λί(KLZ)は、株式等Κのレポ・レートを変数とする関数であり、商品iの市場価値を表すもの

五 コモディティ・リスク 次の算式によるものとする。

$$s_k = \frac{V_i(1.01CTY_k) - V_i(CTY_k)}{0.01}$$

s_kは、コモディティのデルタ・リスクの感応度

kは、所与のコモディティ

 CTY_k は、コモディティkの現物価格

 $V_i(\mathit{CTY}_k)$ は、コモディティkの現物価格を変数とする関数であり、商品iの市場価値を表すもの

外国為替リスク 次の算式によるものとする

六

 $s_k = \frac{V_i(1.01FX_k) - V_i(FX_k)}{0.01}$ いけ 外国為替リスカのデル

 s_k は、外国為替リスクのデルタ・リスクの感応度

kは、所与の通貨 (報告通貨以外のもの)

kXκは、所与の通貨に対する組合の報告通貨又は基準通貨との間の為替レート

Λί(ŁΥΚ)は、通貨Κの直物為替レートを変数とする関数であり、商品iの市場価値を表すもの

2

るものとする。の手法を用いる組合は、あらかじめその旨を行政庁に届け出の手法を用いる組合は、あらかじめその旨を行政庁に届け出に必要と認めるときは、独自の手法を用いてデルタ・リスク前項の規定にかかわらず、組合は、内部リスク管理のため

ガ IJ ス クの感 応

第二百四 号に定めるところにより算出するものとする。 + 六 条の + 七 う 三 ベ ガ・ IJ スクの感 応度は、 次 0 各

次の算式によるものとする。

 $\frac{V_i(\sigma_i + \Delta \sigma_i) - V_i(\sigma_i)}{\cdot} \times \sigma_i \ \ (= vega \times \sigma_i)$

II

 $s_k/1$, qiは、オプション性を含む商品iのインプライド・ボラ オプション・リスクのベガ・リスクの感応 41

 $\sigma_i + \Delta \sigma_i$ は、商品iのインプライド・ V_i(σ_i)は、商品iのインプライド・ボラ 変化幅 (Δσ_i) で変化させた値 ボアア 41 41 \subseteq 7 \subseteq 41 41 R を飯小な 変 数 \wedge

いること。 る商品に該当するもの オプション性を有する商品のうち、 は、 当 該 イ又はロ 次のイ又は に 定める方 口 法 に を 掲 用 げ

関数であり、

商品iの市場価値を表すも

百 用 用する方法。 兀 することに 満期 0 +対 六条の二十三第一 0 象とす な この より オ ること。 ブ 場合に 捕 シ 捉 彐 んできな 項に規定する残 お がて、 アリスクに、最長のように い満期テナー 余リ 満 期 スク テナー · を 適 第二 ア を

口 品 複 権 使 利 価 行 内の 権 格 部 使 管 利 価 び 理 行 格 満 で 使 及 価 期 用 び を認 バリ 格 る 又 んはバ 識 オ ア はする方法 0 リアを有 な V オプシ 時 する 価 評 3 才 価 性 同 シ 商 彐 様 品 並 権性び

イ プライ K ボ ラテ イリティについ て は、 次 0 11 ず

れ

 \equiv

カン · を 用 い ること。

を 7 いう。 ボ ラテ テ イ イリ ツ 0) 手 テ 法 イ に 曲ス \vdash 基 面 づ \mathcal{O} ラ くイ 位 イ 置 ク ンプライ 又 又(原 形資 状 産 k が価 変 格 化の ボ ラテ し変 な化 イ いに IJ ことっ テ

でい 及 う。 な あ び ス テ 7 0 量 て、 イ ŧ だ 0) け ツ デ 手 ボ 法ラテ ル タ 基 イ デ IJ IJ づ ル ス < テ タ クの イン イ 曲 原 ンプライド 画面の位置 感 資 応 産 度 価 \bigcirc 格 水 が \mathcal{O} 準 ボ変 変 に対テ 化化 す っることをこ同じ方向 イリ L て テ 変 イ 化

兀 じ、 が布は、 ベ 当 ガ 該 IJ イ 次 又 ス \mathcal{O} は 1 ク 又 \mathcal{O} 口 に は 感 定 口 応 \Diamond に 度 る 掲 \mathcal{O} ŧ げ 算 るリ 0) 出 を に 用 ス 用 1 ク 11 ること。 • る ク 時 ラ 価 ス 評 \mathcal{O} 価 区 モ 分 デ にル 応の

イ 規 分 布 般 又 金 スは利 正 IJ 規ス 分 ク 布 及 び 信 用 スプ V ツ ド IJ ス ク 対 数 正

口 ク 株 式 対 数 IJ 正 規 ク、 分 布コ 七 デ イ テ イ IJ ス ク 及 び 外 玉 為 替 IJ ス

感 に 五. 応 必 前 を用 度 要 С 項 と認 用いり \mathcal{O} 規 Α IJ る 出 \emptyset 定 ると す ス 組 に る ク 合 カゝ こと 0 き は カゝ はわ 影 響を が あ 5 独ず、 で 6 きる。 カゝ 自 じ の組 手合 め この な そ 法は 0) を 用内 旨 場 合 い部 を に て IJ 行 ベス 政 お いガ ク 庁 て、 に 管 リ理 届 け 独ス \mathcal{O} 出自ク た る ののめ

2

V

考

慮

L

1

チ 数 \mathcal{O} 原 資 産 IJ ス を ク 有 \mathcal{O} す 取る 扱 商 い品 対 す る デ ル タ IJ ス ク 及 び

力

品 す る 産 に 百 手 を ア ケ 係 兀 法 把 プ ツ る 十 を 握 口 六 1 す] 条 う。 チ ること IJ タ + ス へ 資 以 IJ 七 に 下 産 相 ス 同 ょ を 当 じ ŋ 直 額及 7 接 のび組 1 保 算 力 合 を ケ 有 出] は 用 ツ ベ L に \vdash 当 チ 11 て 複 た る ヤ 数 ŧ IJ る 0 \mathcal{O} \mathcal{O} ス لح て 原 と ク 4 は IJ 資 す 相 な ス 産 当 ル ク を 額 て、 に ツ 有 ク を 対 す る ス す 算 構 出成ルる商

2 る 事 ル 項 ツ に留 ク ス 意するも ル] ア 0) プ とする 口] チ 0) 使 用 に 当 た つ て は、 次 E 掲 げ

商 応度 品 証 を 券 化 \mathcal{O} 相 商 品 殺の は IJ (CTP) 行ス ク わ な • 0) ファクタ 1 インデッ クス لح Ļ 商 品 発 に 行 0 体い て ベ は、 ル で 当 の該

3 る。 る 商 7 \mathcal{O} 感 品 ル イン ツ 応 又 ケ デ ク 度 は ツ スデ لح 1 ツ オ 単 ツ プ] ク IJ ス 商 ス 銘 彐 ス アプ 商 ク 品 柄 ン に \mathcal{O} 相 品 及 ごとに 口 当 び 対 構] 複 す 成 額 チを る 銘 を 数 感 柄 算 0 応 出 貫 原 用 \mathcal{O} 1 んした手 IJ 度 す 資 て とを る ス 産 証 場 を ク • 有 法 券 相 合 化 を 殺 す フ は 商用品い す ア る ることが ク プシ タ ン ること。] デ 3 ツ に 以 で 対 ク き す スの

4 ク こころ 第 又 は 項 に 次 ょ に ク 0 ŋ 掲 規 げ ジ 定 1 る ツ に 要 卜 ケ カン 件 ツ か 1 \mathcal{O} 1 わ 全 ン 5 ず、 デ IJ て ス を ッ ク 満 ク 上 相 ス た 場 を 当 す さ 場 参 れ 額 合 照 を T V はして 算 出 て る 株 す 次い ることが 項 る 式 商 1 定 品 \Diamond にデ で る 0

構成資産を把握することができること。

1 デ ス ス が 商 品 十以 を 構 上 成 す 0) る銘 銘柄 で構 柄 0) 成さ う ち れ て いるこ 構 成 銘 柄

 \mathcal{O}

セ \mathcal{O} 1 \vdash ク ス る 商 品 全 体 \mathcal{O} 価 値 に 占 \Diamond る 割 合 が + 五.

1 る イ \mathcal{O} デ 合 が 成 六 銘 +ス パの 商] 価 品 セ 値 ント \mathcal{O} 構 1 成 未 ン する銘 満 デ で ツ あク 柄 ること。 スの 商価 品値 全の 体 上 の位 価 + パ 値] に 占セ

五. 玉 イ K ン デ ル 以 ツ 上 ク で ス 商 あ る 品 を 構 成 す る銘 柄 全 体 \mathcal{O} 価 値 が 兀 百 億 合

5

デ

ル

タ

IJ

ス

ク

及

び

力

]

べ

チ

ヤ

IJ

ス

ク

対

す

る

1

ろに ク \vdash 市場 ょ ス 0) ŋ ル IJ 感 応 で 7] ス 度] ク を ア 相 般 ケ 用的 ツ プ 当 11 1 額 に 口 ること。] 取 \mathcal{O} 引さ IJ チ 算 スを 出 ク れ 用 に 相い 当 る 当なた 1 額 11 0 デッ を 場 合 算 ク 出 は前、項 す ス 項 る 0) 次のに 指 £ に 規 標 \mathcal{O} 定 定 とす ごとに \otimes に るとこ ょ る。 ŋ ルケ

イ

ツ

分 る場合 の号 ですること。 \vdash 六 百 1 イ 第 か。四 を ン デ デ 超 5 + \mathcal{O} える ・ツク に項16 六条 区分 ク ス 第 ま の構 ス に商 で +成 品 商 応 号の に対 人の じ、 銘 品 \mathcal{O} V 柄 を 表 ず が 構 当 す 中 れ 第 特 る感 該 成 バ カュ 定 す 1 ケ 及 項の る 又 応 ット び V) 第 セ は 銘 度 第二百 は、 ク 柄 口 番 号 タ に \mathcal{O} 号] う \mathcal{O} 定次 1 兀 表 5 \otimes \mathcal{O} か十中バゼ る 1 ら六バケ + バ又 条 11 ケ ツ 五 ケは ま \mathcal{O} ツ トパ ツ 口 で + \vdash トに 1 に掲 第の八番第 セ

イ 項 掲 げ 第 る 場 合 \mathcal{O} 表 以 外 中 \mathcal{O} バ 場合 ツ 1 第二百四 番 号 17 又 + は 六 18 条 及 \mathcal{O} び + 第八

ず

カコ

該

る

· う。

以

: こ の

1

及

び

百

六

 \mathcal{O}

六第二号 ケットを

1

に

11

7 下

同

U.

に

分

十す

る +

特

定 七

 \mathcal{O} \mathcal{O}

セ

ク

タ

1

ツ

 \mathcal{O}

四れ

12 百 兀 又 + は 13 条 0) \mathcal{O} バ 十 ケ 八 \mathcal{O} 六 第 項 第 号 \mathcal{O} 表 中 バ ケ ツ \vdash 番 号

つフ ア F \mathcal{O} 出 資 \mathcal{O} 取 扱

て きる 相 は 百 兀 額 ル + を ツ ア 六 算 ク 出 ド ス \mathcal{O} す ル + る 次 七 ŧ に \mathcal{O} のア 掲 五. لح プ げ す 口 る構 る。 1 も成 チ 銘 \mathcal{O} を を柄 用 除に <_ 1 0 て 11 7 7 1 ヘル ケ \mathcal{O} ツ ツ 出ク \vdash 資ス にル IJ 2 1 スいが

ポ IJ ク タ グ フ K 1 条] イ デ ス \mathcal{O} 第 (次 • 卜 差] ツ 兀 ン 異 のベ ク 未 及 に 項 満 差 掲 各 \mathcal{U} ス 異 チ で げ 뭉 コ 3 あ を ア る べ に 7 るこ ツ 要 ン 1 掲 う。 K 件 チ シ げ ク لح と 彐 \mathcal{O} 7 る そ 全 1 要 \mathcal{O} 間 \mathcal{O} を て 件 \mathcal{O} ク を を \vdash 絶 \mathcal{O} 除 \mathcal{O} 全て 直 ラ 満 \vdash 対 11 ツ たフ 近 た ラ 値 + = す 丰 を が ア £ 満 ン 丰 月 グ \mathcal{O} た パ に 対 K グ す フ Ì お 象の 限 け \mathcal{O} 1 ア セ て ラ る 1 ッ K る 1 年 · 率 デ キ フ

構 \mathcal{O} 日 成 回イ \mathcal{O} 々 銘 出の柄 以の ツ 資 上 フ 相 に 場 \mathcal{O} ア 0 IJ 頻 つ価い て 度 ド ス い格 で \mathcal{O} ク て 及ル 相 は び ツ 検 1 ラッ ク 当 運 証 額次用 ス が 基ル行 丰 を 算 掲 わ 準 ン げにがれ グ 法 出 て す る 関 で \mathcal{O} ること 方す き 11 差 法る ること。 異 な の情 1 に がい報 フ 0 ア ず で を て、 きれ入 るか手 ド で を で こ用 き 年 あ 0 V に

2

て

合

号

掲

げ

方

は

フ

ア

K

が

前

項

第

K

が

1

ラッ لح に

グ

し

て

1

デ

を

基保

4

な

て、 丰 に

前

条

第

五 11 11

項 る

第

 \mathcal{O}

規 ク

定

で

あ

る

き

限 る

り、

用

ること

が

で

る。 ス

- 462 -

は、 て、 ポ 相 づ 用 とす まで 分に 1 当 < き 基 あ 当 単 当 額 1 7 潍 的 5 うる。 応じ、 投 独該 フが] に に カゝ オリ で、 仮 低 資 お フ ケ つする < ア 想 ツ 資 な 当かポオ 1 て 行 る K 該 9 1 を る 政 V 資 لح イ \vdash IJ 庁 \mathcal{O} 容 仮 う。 を フ 産 ス さ 想 又 次 \mathcal{O} オ に 想 ク は n ポ 届 応 1 口 IJ 段 定相 る 1 け 度 に又オの 最 を 1 出 L た 大限 額 フ ケ \otimes 口 7 な に 後 が オ に 1 す 投 最 ツ る IJ フ ́у 方法 掲げ 大と ケッ 資 方 1 才 ア 法 に す ス 7 (当 \vdash る に る な ク ド 分 こと 類 ょ IJ ケ る 感 該 \mathcal{O} ŋ IJ 状 す ス 応 る 算 ク ス 場 を \vdash 態 度 ア 成 方 出 相 ク 合 想 方 を 商 相 当 に 定 IJ い式 ド す 品 、 う。 当 る 額 お ス に し もの額いた

項方手 に 法 法 派 定 を 生 \otimes 採 商 内 る方 部 用 品 格 L 取 法 付 な 引 手 11 \mathcal{O} 法 場 信 を 合 用 採 は IJ 用 第 ス 四 L ク た + 場 七 T 合 条 セ \mathcal{O} は ツ 1 第 Ŧī. 第の 百 兀 七 額 + 項 に 内 条 定 部 第 \otimes 格 八る付

口 た信 ス C 額 用 に IJ V ウ 第 ス Α +ク IJ エ 1 九 ス 1 条 ア ク を か セ相 乗じ 5 ツ 当 1 第 額 る 兀 \mathcal{O} 方 +額取 七 に引 条 十 相 <u>-</u> パ \mathcal{O} 手 兀 方] と \mathcal{O} セの ま ン 派 で 卜 生 に を 商 定 乗 品 じ 8 取 る 7 引 得の

には は第 11 第 に て 当 カン 分 ド 7 百 類 兀 フ \mathcal{O} + ア 兀 \mathcal{O} れ 六 第 工 る \vdash ド ク 条 無 \mathcal{O} 項 1 格 IJ 0) 第 + テ 付 ス 出 八 \mathcal{O} ク 資 号 出 0) 株 相 に 六 に 資 式 第 掲 当 対 が 額 する げ 第 対 を 項 る 七 す 算 出 条 所 \mathcal{O} る 出 資 \mathcal{O} 表 エ す 自 兀 中 に る ク 己 該 第 \mathcal{O} 方 ス 資 当 バ 法ポ 本 L 項 ケ Ì 0 な第 ツ ジ 計 V 1 場号 ヤ 番 は合又 号

3

る 次 方 法 に に ょ ŋ げ 出 る す ポ る ジ ŧ シ \mathcal{O} 彐 と ン す 0) る。 区 分 応 じ、 当 各 号 に 定

V 百 法 額 場 パ ネ を ネ 1 採 合 \mathcal{O} ツ 算 \vdash 用 は 1 セ 出 し 第 \vdash た 兀 を シ 要 場 +を 彐 乗] 合 グ L 七 じ な \vdash は 条 第 て 1 のポ 得 代ポ 百 五 た わ ジ 兀 第 シ シ ョ 額 り + 七 3 ノに当 · 二 条 項 を 自 に 該 第 定内 己 八 資 ネマ め部 項 ツ] る格 本 E 1 0 ケ 方 付 定 額 • ツ 法 手 \otimes か ポ 法 5 ジ 内を 控シリ 方 部 採 ョス 法 格 除 用 ン す ク 付 L るに相 手 な

百 兀 数 \mathcal{O} + 原 六 資 条 産を有 0 t する 0) 商 品 複 \mathcal{O} 数 べ \mathcal{O} ガ 原 資 IJ 産 ス を ク 有 0 す 取 る 扱 商 品 区の

に ガ

応じ、

当

該

定

8

る る

方法により算

出

「する

ŧ

 \mathcal{O}

とす

る。 る。 ス

複

数

 \mathcal{O}

原

資産 路号に.

を

有

す

才

プ

シ

彐

感

応

ツ

ク

ル

IJ

ス

クに係るも

感

応

は

次

 \mathcal{O}

各

号

に

掲

げ

る

感

応

度

0)

分

ラ インデ をせ ĸ ず、 ツ ボ クス ・ラテ 当 該 イ 複 数の IJ 品 テ \mathcal{O} イ 原 に 資 産を有 度 基 づ き算 す ン \mathcal{O} るの 出 1 する 又 オ プ 方 口 シ 度 に 3 0) げ 1 る 場

方法 区分に] 1 ン 応じ、 バデ ケ ツ ク 当 商 1 ス 合に 該 商 1 分 品 類 を 又 感 さ 構 は応 のれ成 口 るする に 定次 柄 銘 \otimes る \mathcal{O} 柄 価 バ \mathcal{O} 値 う ケは が ち ツ 七 \vdash 十 特 に掲 五定 分 パの 類 ーセ す セク る合

イ る場 合 以 \mathcal{O} 場 デ ス 商 品 用 \mathcal{O} バ

1

超

え

定

セ

ク

タ

バ

ケ

第 兀 目 IJ \mathcal{O} バス ケ ク ツ 感 応 度方式 IJ ス ク に 係 ウ る エ デ イ ル タ 1 及 びリ 相ス 関 ク

2 かバ る ケ ス 百 流 IJ 5 第二 ッ ク 動 ス 兀 ル ク・ ٢, 相 性 + ホ 百 当 六 ライ ウ IJ 条 兀 額 IJ を算 +ス エ \mathcal{O} ス 六ク ズン 1 ク 十 条 \vdash 出 \mathcal{O} 八 を \mathcal{O} ウ 及 す 勘案 び 工 +る デ ケ 八 相 1 場 ツ ル す 関 \mathcal{O} 1 合 タ \vdash るも 係 八 及 に 八までに・ 数 びお IJ IJ めとする。 相い ス ス って、 関 ク ク 各リス 定 係 \Diamond 数 各 ウ 対 るところによる。 IJ エ に す ク 2 ス る イ ク • 卜 クラス て 1 及 クラ は、 び ケ 相 ツ 12 次ス 関 条の

ウ エ 般 1 金 1 利 及 IJ び ス 相 ク に 関 係 る デ ル タ IJ ス ク \mathcal{O} バ ケ ツ ١<u>,</u> IJ ス ク

まに る れ 9 百 ŧ 、 る 全 V 兀 て、 \mathcal{O} 十 とす て 六 \mathcal{O} 同 条 IJ 0 ス通 + ク 貨 八 \mathcal{O} \mathcal{O} ファ IJ ス ク ク タ フ 般 IJ 1 金] は 利 IJ ス 同 1 ク のル \mathcal{O} バ ドデ ケ ル ツ カタ \vdash] ブ IJ にス 分 類含ク

表 0 応 IJ す ス 上 度 一欄 クフリー る 0 計 に 算に 掲 げ 用 る テ 11 1 ナ る 各 1 ル \mathcal{O} テ K 区ナ 分しの 力 1 応じ、 リブスに IJ ク お • 同 け 表ウ る \mathcal{O} エ IJ 1 下 ス 欄 1 ク に は加 定 重 め次後 るのの

2

 一年
 リスク・ウェイト

 ・二五年
 ー・七

 リスク・ウェイト

5	4	3					
げる場合の区分に応じ、当該のリスク加重後の感応度の合一般金利リスクのデルタ・	ことができる。ウェイトを二の平方根で除し特定通貨のカーブについて	。 計算に用いるリスク・ウェイーシスのフラット・カーブに インフレ率のフラット・カ	三十年	二十五年	十五年年	三年	二年
(各号に定める相関係数(ρκι) を1算に当たっては、次の各号に掲リスクにおける同一バケット内	こた値をリスク・ウェイトとするには、前二項に規定するリスク・	トは、一・六パーセントとするパーブ及びクロスカレンシー・ベ				-· 	1 • 111

分類されたテナーの 異なるテナー カュ 0 の年限に基づき、ぬつ同一のカーブの^ 、次の表に掲げる値の合算の場合 カーブ ブが

表

別葉六を挿入】

用いるものとする。

ーセント

同一テナーかつ異なるカーブの合算の場

合

九 + 九

九

定める相関係数に九十九・九パーセントを乗じて得た値WSzとが関連付けられたテナーの年限に基づき前号の表に 異なるテナー及び異 なるカーブを合算する場合

五. スに の以 加 ク 対 0) ク 1 IJ 感 感 当 重 加 外 1 口 応 \mathcal{O} 該 ン ス 応 後 ス フ 重 度 フ ク 度 力 ク \mathcal{O} 後 IJ ク フ を 感 口 \mathcal{O} ス IJ 合 率 感 ス ス 応 力 力 \mathcal{O} 1 算 度 応 フ フ フ す に 度 ラ レ IJ ラ る 1 を ン 対 ツ 場 シ 合 L ベ 1 \vdash 1] ル 合 算 K 次 シ す 力 零 パ に掲 力 る ベ ス ベ 1 力 場]] 1 0 ド ブ] ブ げ 合 シ シ フ \mathcal{O} \mathcal{O} ブ セ ス ス る ラ 力 IJ \mathcal{O} 感 \mathcal{O} 力 兀 \mathcal{O} ツ ス 応 各 1 + フ フ 1 \vdash ブ ク パ ラ ラ テ ブ の加 ツ ナ 0 力 各 \vdash 1 IJ 1 後 \mathcal{O} ナ ス ブ \mathcal{O} 感 卜 力 ク 1 力 \mathcal{O} 感 応 加 IJ の応 度 重ス IJ 度

7 間 \mathcal{O} 合 \mathcal{O} IJ 般 フ に は ラ ス 金 は ク ツ 利 五. 加 IJ IJ 1 +パ重 ス ス ク 後 ク 力] 加] \mathcal{O} \mathcal{O} セ ブ 感 デ 重 ン 0) 1 応 ル 後 -とする。 IJ 度 タ \mathcal{O} を 感 スカ 合算、 応度 IJ ク 加ブ ス 重に す ク を るに 単 後関 際お 純 の連 感す に け 合 用 計 る 応 異 す 度 11 کے ること る な 相 る 関 バ 合 が ケ 算 係 す 数 ツ で き るシ加ブ

6

前

項

重 に

後

 \mathcal{O} 連

感

応 る 規

度 ク 定

لح

オ

フ

シ

彐 ン

T

Ì

る 力 才

ク

ス \mathcal{O} 彐

力

レ

ン

関

す \mathcal{O}

ス

力

Vわ

シ

]

 \mathcal{O} 同

フ

ラ

ツ

 \vdash

ブ

IJ T

ス

ク

ロに

カュ

カュ

6

ず

通

貨

内

 \mathcal{O}

力

はド ス 非 百 ク 次 IJ 兀 \mathcal{O} 証 ス バ 券 定 ク 六 ケ化 8 \mathcal{O} 条 ツ 商 <u>۲</u> るところ デ 0 品 十 に IJ タ 八 係 ス \mathcal{O} る に IJ \equiv ク 信 ょ ス 用 ŋ ク 非 ウ ス 分 に証 エ ブ 類 イ つ券 する い化 \vdash ツ 及 て、 商 F Ł 品 び \mathcal{O} IJ 相 IJ に とす ス係 ス ク る ク る。 信 \mathcal{O} フ 用 デ ア ス ル ク ブ タ タ IJ

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	ト番号	の区分
(NR) (NR)	投機的格付(H							投資適格(IG)				信用度	に応じ、十八のご
、製造業、鉱業及び採石業素材、エネルギー、工業、農業	金融(政府系金融機関を含む。	金融)、教育機関及び行政機関地方自治体、政府支援法人(非	発銀行を含む。)	カバード・ボンド	・技術関連業へルスケア、公益事業及び専門	テクノロジー及び通信	庫並びに行政支援サービス業消費財・サービス、運輸及び倉	、製造業、鉱業及び採石業素材、エネルギー、工業、農業	金融(政府系金融機関を含む。	金融)、教育機関及び行政機関地方自治体、政府支援法人(非	発銀行を含む。)	セクター	バケットに分類すること。

次の表の中欄に掲げる信用度及び下欄に掲げるセクター

		2							
	バ	リの定。ケス ステめ以ック非 ロ っ クナる下トに証バ 。 ・ ー もこ番用券ケ各 ~	すれが	18	17	16	15	14	13
2 3	1 7 番号	イトは、同 ボエ年、一年 において同 において同 において同 において同 において同 において同 において同	巻亍本といげれいっと。 分類に基づくととも 分類に基づくととも	HY インデックス	IG インデックス	その他のセクタ			
		一年場じにエ用類セックと二合。よイスすり	か と 類 - も に			1	. ^	テ	庫消
- ((パーセント)	ターに分類できない場合に ターに分類できない場合に ターに分類できない場合に り分類したバケット番号を り分類したバケット番号を いの区分に応じ、同表の下 において、各バケット番号を において、各バケット番号を において、各バケット番号を において、各バケット番号を	のドアント番号こう頁けることに、次に掲げる要件の全てを満当たっては、市場で一般に用い				技術関連業ルスケア、公益事業及び専門	クノロジー及び通信	並びに行政支援サービス業費財・サービス、運輸及び倉

3 るれケス 注 かック にトに 証 ク つ 二・第 バ 該番用券 当号い化 す 1 る商 ウ信六ケ からる場に ェ用項ッ 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 3 イリ各 1 で 合 18 ク 係 る ! トス号番 をクに号 区 掲 8分 げ に 五がる分 元 3 要 類 の 件 さ のケタプ 算式 ツーレ セ 2 の れン | 全 た ト間ッ セントとすることができる2―1である場合は、リスの全てを満たしており、かれた発行体が第三十四条の に番のド により算出するもの番号 16を除く。)の相関係数(pkl)は下・リスクのデルタ 七• 五. 五五八 兀 五. 〇 五 〇 五 五 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 五. 五. \bigcirc \bigcirc \bigcirc ののはタとい、・

すずバリ

- 470 -

4 号 1 掲げる相関 げる相関係数の区分に応じ、当該各号に定めるも1から 15までのいずれかに該当する場合には、次前項の算式中 $ho_{kl}^{(name)}$ 、 $ho_{kl}^{(tenor)}$ 及び $ho_{kl}^{(basis)}$ の値は、バ 次の各号にバケット番 のとする

イ又は口に定めるも $ho_{kl}^{(name)}$ 次のイ又 $ho_{kl}^{(name)}$ イ又は 口 に 掲 げる場 合の 区 分に 応じ、 当 該

感応度kと感応度lの銘柄 0) が同 である場 合 百 パ] セ

ント イに掲げる場合以 外の場合 三十五パ] セ ン

イ又は口に定めるもの $ho_{kl}^{(tenor)}$ 次のイ又は 口 に掲げる場合の区分に応じ、 当 該

 $ho_{kl}^{(basis)}$ セント イに掲げる場合以 感応度kと感応度lのテナー 次のイ又は 口 外の場合 に掲げる場合の が 同 六十五パ 一であ 区] る 分に応じ、 セント 場合 百 当 パ 該

パーセント 感応度kと感応度lが同 0) カー ブに関 連 する場 合 百 イ又は口に定めるも

数の区分に応じ、 番号 17 又は 号 17又は 18に該当する場合には、次の各号に掲げる第三項の算式中 $ho_{kt}^{(name)}$ 、 $ho_{kt}^{(tenor)}$ 及び $ho_{kt}^{(basis)}$ の値は、バ イに掲げる場合以外の場合 当該各号に定めるものとする。 九十 九 • 九] セ 相 ケ ット 関 係

5

又はロ に定めるも 次のイ又はロ に 掲げる場合の区分に応じ、 当

該

ント 感応度 kと感応度 lの銘柄 が同一 である場合 百 パ] セ

口 イに掲 げる場 合 以 外 \mathcal{O} 場 合 八十パ] セ ン

イ又は口に定めるもの $ho_{kl}^{(tenor)}$ 次のイ又は 口 に 掲 げる場合の X 分 に応 じ、 当 該

セント 感応度kと感応度lのテナ] が 同 で あ る 場 合 百 パ

 $ho_{kl}^{(basis)}$ イに掲げる場 るもの 合 以 外 \mathcal{O} 場 合 六 十 五] セ ン

パーセント 感応度kと感応度lが 同 0) 力] ブ に 関 連 する場 合 百

合

九

イ又は口に定めるも

次の

口

12

掲げ

る場合の

区分に応じ、

当

該

に Ł 重 証 について、 後 券化商品に係る信 第二百 とする。 の感応度を合算 イ 四十六条 に掲げる場 バ ケット 0 する場 三用ス 合 番 +号 五 以 プレ 16 外 0) 合に に 兀 \mathcal{O} ッド 第四 該当するセクタ 場 には、 項 IJ 九 \mathcal{O} 次 0 ス 規 + 算 ク 定 式 \mathcal{O} に] か 九 12 デ かわ より 内 でリ タ 算 5 ス 出 IJ ず ク ス す る加 ク 非

6

 $K_{b(other\ bucket)} =$ $\sum_{k} |WS_k|$

7 算 スクに用いるバケット 出 非 証 するものとする。 券化商品 に係る信 間 用 0 スプレ 相 関関数(γ_{bc})は、 ッド・ IJ ス 次の算式 ク 0 デ ル タ ょ IJ

 $\gamma_{bc} = 1$ $\gamma_{bc}^{(rating)}$, $\gamma_{bc}^{(sector)}$

8 相 関 前 ϊ係数の区分に応じ、当該各号に定めるΞ項の算式中γbc (rating)及びγbc (sector)の値は、 当該各号に定めるも 次の各号に のとする。 掲 げ

		_
イ	イ	J
^	又	bc (rc
合	は	utin
算十	ロに	g)
する	定定	次
るバ	め	の
ケ	めるもの	7
ツ	£	又
۴	\mathcal{O}	は
の		口
双		に
方		掲
が		げる
バ		場場
ケ		合
ツ		の
<u>۲</u>		区
番		分
号		に
1 か		応
から		じ、
15		· 当
10		=

該

で 用 \mathcal{O} 度がず 異れ カゝ る に 該 合 当 し、 五. 十か パ つ、] セ ケッ \vdash \vdash 番 号に 対 応 す 15 るま

イ に掲 げ る場 合 以 外 \bigcirc 場 百 パ] セン

イ又はロロイスはロロ に 定次の るイ 又は \mathcal{O} 口 に 掲げる場合 0) 区 一分に応 じ、 当 該

場 合 合算す 百パ Ź] セ ケ ツ \vdash \mathcal{O} 双 方 が 同 \mathcal{O} セ ク タ に 該 当 す る

口 組 AAでは応じて定場がに掲げる場合? 以 \otimes る 外 相の 関 場 係数 合 次 \mathcal{O} 表 \mathcal{O} バ ケ ツ \vdash 番 号 \mathcal{O}

表 別葉七を挿入】

(証 IJ ス 券 化 ク \mathcal{O} 商 バ 品 ケット (CTP) に リスク・ウェ に係る信 用スプレ 1 \vdash ツ 及び K 相 IJ 関 ス ク 0) デ ル

ター 百 ツ は、 ド 匹 十六 IJ 次 スク 条の に 中炭め 十八 \mathcal{O} めるところにいいがルタ・リス \mathcal{O} 兀 証 により分類するものリスクについて、Jun and CTP)に に \mathcal{O} IJ とす ハスク・フ 係 る $\hat{\delta}_{\circ}$ 信 用 ア ス ク

 \mathcal{O} 次 一分に応 \mathcal{O} 表 0 に 六 掲 げる信 \mathcal{O} バ ケットに 用度及 分類すること。 び 下欄に 掲げるセ ークタ

2	1	ト番号
		信用度
地方自治体、政府支援法人(非	発銀行を含む。)ソブリン(中央銀行及び国際開	セクター

自計	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	
のピカターの子頁	その他のセクタ		Γ		HY) 及び無格	投機的格付(投資適格(IG)		
《こ当たっては、市場で一般に用		・技術関連業へルスケア、公益事業及び専門	テクノロジー及び通信	庫並びに行政支援サービス業消費財・サービス、運輸及び倉	、製造業、鉱業及び採石業素材、エネルギー、工業、農業	金融(政府系金融機関を含む。	金融)、教育機関及び行政機関地方自治体、政府支援法人(非	発銀行を含む。) ソブリン (中央銀行及び国際開	カバード・ボンド	・技術関連業へルスケア、公益事業及び専門	テクノロジー及び通信	庫並びに行政支援サービス業消費財・サービス、運輸及び倉	、製造業、鉱業及び採石業素材、エネルギー、工業、農業	金融(政府系金融機関を含む。	金融)、教育機関及び行政機関

たすこと。 れる分類に基づくとともに、 バ ケット 各発行体を 各 - 番号 体を 16 個 11 ず 別 に \mathcal{O} れ 分類すること。 セクターに分 カュ 0) バ ケット 次に掲げる要件の全てを満 類 番号に分類すること で き な 場 合 に

は

全ての)のリスク・ウェイト るバケット ・リスクに · う。 証 :定め 券化 シテナー 以 下この る 商)ものとする。この場合において、各バケッ--この条において同じ。)の区分に応じ、同r--番号(前項の規定により分類したバケットに用いるリスク・ウェイトは、次の表の上欄 品 $\widehat{\bigcirc}$ (CTP) ビ 五. 年、一年、三年、 は同一とする。 係る信用スプレ ツ 五年又は十年とする。 K IJ ス ハケット内のし、同表のエ ク \mathcal{O} 番号掲 にデ 下をげ

2

11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	バケット番号	
十六・〇	十三・〇	+=:0	六・〇	11.0	=: • 0		五・〇	八・〇	四•○		(パーセント)リスク・ウェイト	

		4	3
	ント 感応度kと感応度lのテ は口に定めるもの は口に定めるもの イに掲げる場合以外の		、欠り算式こより算出するようにする。 ・リスクに用いるリスク・ファクター問 ・リスクに用いるリスク・ファクター問 ・リスクに用いるリスク・ファクター問 ・リスクに用いるリスク・ファクター問
感応度kと感応度lが同一のカーブに関連する場合 百は口に定めるもの 然のイ又は口に掲げる場合の区分に応じ、当該イに掲げる場合以外の場合 六十五パーセント	ナーが同一である場合 百パー掲げる場合の区分に応じ、当該場合	(basis) (chasis) の銘柄が同一である場合 百パーセク (cenor) 及び p(basis) の値は、次の各号に応じ、当該各号に定めるものとする (chasis) の値は、次の各号にの (chasis) の値は、次の各号にの (chasis) の値は、次の各号に (chasis) の値は (chasis) の色 (chasis) の値は (chasis) の色 (chasis) の色 (chasis) の値は (chasis) の色	+二・○ +二・○ +二・○ +二・○ +二・○ +二・○ +二・○ +二・○

パーセント

IJ 証 スクに用いるバケット間 券 化 イ 商 に 品品 掲 げる場合以 (CTP) に係る信用スプレ 外の場 0) 合 相 関関数 九 + ツ ド · • (γ_{bc}) \bigcirc IJ は、 スク 次の \mathcal{O} セ デ 算 ル 式 タ

5

 $\gamma_{bc} = \gamma_{bc}^{(rating)} \cdot \gamma_{bc}^{(sector)}$

に

より算出するものとする。

6

相関係数の区分に応じ、当該各号に定めるものとする。前項の算式中γς(rating)及びγς(sector)の値は、次の各号に掲げるfbc fbc fbc

イ又は口に定めるもの $\gamma_{bc}^{(rating)}$ 次のイ又は $\gamma_{bc}^{(rating)}$ 合算す る バケット のイ又は 口 0 に 双 掲げげ 方が る場合の バ ケット 区分に応じ、 番 号 1 か 5 当 15 該 ま

での

いずれかに該当

ľ

かつ、

バケット

番号に対

応

す

る

信用度が異なる場

合

五十パーセント

イ又は口に イに掲げる場合以 定めると · 又 は ŧ \mathcal{O} 外の場合 口 に 掲げる場合 百パー \mathcal{O} セント 区 分に応じ、 当 該

する場合 イに掲 合算す っるバケ げる場 百 パ] 合 ツ ト 以 セ 外 \mathcal{O} 1 \mathcal{O} 双 場合 方 が 同 前 0 条 第 バ 八 ケ 項 ツ \vdash 第 番号 号 に 口 0 該 表 当

 \mathcal{O}

バ

ケット

番

号

 \mathcal{O}

組

合

せ

に応じて定め

る

相

関

係

数

証 IJ 券 ス 化 ク 商 \mathcal{O} 品 バ 非 ケ CTP) に ツ ١<u>,</u> IJ 係る信用スプレ スク・ウェイト及び ツ ド 相 IJ 関 ス ク 0 デ ル

第二百 匹 十六条の IJ ス 十八 ク \mathcal{O} 0 デ ル Ŧī. タ 証 IJ 券化商品 スクについ (非 CTP) に係る信 IJ ヘスク フ 用 ア

 \mathcal{O} · 番号 ケッ 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 7 5 2 次の表の中欄 9 8 6 4 3 1 資適格(IG) 非シニア投 投 適 シニア投資 の中欄に掲げる信用度及び下欄次に定めるところにより分類す 機的 格 信 用 (IG)格 二十五の が に掲げるに 度 付 ABS— CMBS ABS-CMBS ABS ABS— RMBS RMBS RMBS RMBS CL0-ABS RMBS-資 商産 業 RMBS RMBS-RMBS— 住 口 イ のが信] Δ 宅 担 用 口 非 -自動車 学生 クレ クレ ケ 自 -ミッド ーミッド 担 保 不 プライ プライ サ サ サ 3 動 ットに分類すること。 CTP 保 ブ・ 証 動 ブ ブ ン ジ ジ 口 証 券 産 ド 担 1 ツ セクタ ツ プ 保 券 担 (ABS) \vdash \vdash ライ ライ / ライ 保証 プ プ プ 証券 (RMBS) カー (CLO) 力 ラ ラ ラ 1 券 1 イ Δ 1 Δ ド K A -学生口 ム A 非 CTP] ブ ラ

クター

は、

するものとする。

に

掲げるセクタ

								2								
							バ	をいう。 いっちょう いっちょう おいりょう はい はい はい がん かん	ってという	たすこと。	二前号	25	24	23	22	21
7	6	5	4	3	2	1	ケット番号	下この条 ト番号へ ト番号へ ト番号へ ト番号へ	トランシェ	類 に 基 づ	のセクターの	その他のセ			無格付(NR)	(HY) 及び
								お 項 ス に 25 個 い の 原	い ず れ	ととも	分類に	クター	CL0-:	ABS	ABS—	ABS—
_·	1 • 11	〇 · 八	11.0	11.0	一 · 五	〇·九	(パーセント) リスク・ウェイト	じ。)の区分に応じ、同表により分類したバケット番エイトは、次の表の上欄に用スプレッド・リスクのデすること。	のバケット番号に分類す	次に掲げる要件の全てを	にっては、市場で一般に用		非 CTP	自動車	クレジットカード	学生ローン
								の号掲ルに	る	満	11					

4		3																		
$ ho_{kl} = ho_{kl}^{(tranche)} \cdot ho_{kl}^{(tenor)} \cdot ho_{kl}$ 前項の算式中 $ ho_{kl}^{(tranche)}$ 、に掲げる相関係数の区分.	算ック式トル	・リスクこ用いるリ証券化商品(非 CTP)	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
に応じ、当該各号に定めるものとすρ'kl (basis)の値は、次の各号kl	かに該当す	ー間の泪関系数、レッド・リスク	三、五	二・四五			一 • 四	三・五	三・五	二・六二五	一・五七五	一・七五	一・五	一・五	-··	二、五	二、五	一・八七五	一・一二五	一 • 匹

イ又は口に定めるも $ho_{kl}^{(tranche)}$ イ又は 口 掲げる場合 の区分に応じ、

当

券化商品のトランシェ 感応度kと感応度lの銘 とみなされる場合 柄が同一であ り、 カュ 百パ] 同 セ ン \mathcal{O} 1 証

イに掲げる場合以 外 の場合 四十パーセント

イ又は口に定めるもの $ho_{kl}^{(tenor)}$ 次のイ又は 口 に 掲げる場 一合の X 分に応じ、 当 該

感応度 kと感応度 lのテナ] が 同 で あ る 場 合 百 パ

イ又は口に定めるも イに掲げる場合以 に定めるもの 次のイ又は 1 口 12 掲げ る場合 十パ 0) 区 分に応じ、 当 該

外

0)

場

合

八

1

セ

ント

] 感応度kと感応度lが ・セント 同 0) カー ブに 関 連 する場 百

IJ 券化商品 ク加重 スクについて、 第二百 るも イに掲げる場合以 後の感応度を合算する場合には、 四十六条の のとする。 (非 CTP)に係る信 ケット 十五の 外 - 番号 25 兀 0) 用スプレッド]第四項 場 合 に該当するセクター 九 \mathcal{O} 規定 + 九 . IJ 次の算式に に 九 かかわらず、 Ź クの セント デル - 内でリ 証

5

 $K_{b(other\ bucket)} = \sum_{k} |WS_k|$

7 6 のタ 証 相 証 券 化 関 IJ 券化商品(非 CTP)に係る信用スプレッド 係 、スクに用いるバケット(バケット 数 商 品 非 (CTP) 0) 零パーセ ケット ントとする。 ・リスク相 番号 25 を 除 リス 当 額 クの は 第 間ル 五

を 25 十 感 項 以六応 合計 以外のご度と、 算 して得た額とする。 式 バナ に ケ五前 ょ クット 四に ŋ 回に 算 第規五定 番号 出 した の項す のる マ バ 算 相 ケット 対式に関係が ・ケット よ数 番 ŋ ・リスク相当額 号 算出 25 \mathcal{O} を L た用バい IJ ス ケ ク 7 第加 \mathcal{O} ツ 合 ト 重 算 番百後 値号四の

1 及 び 式 相 IJ 関 ス ク 0) デ ル タ IJ ス ク \mathcal{O} バ ケッ ١<u>,</u> IJ ス ク • ウ 工 1

え も 百 兀 IJ \mathcal{O} +とす ス六 ク・ 条 \mathcal{O} フ 十 ア 八 ク \mathcal{O} タ] は株 式 次 IJ に定めるところにスクのデルタ・リ ょ ス ŋ ク 分に 類つ

る 経済 次 の 表 及 び 0 ノットに 第 同 表 \mathcal{O} 分類 第 兀 掲 類するも間に掲げ げ る 時 のとする。 げ 価 るセ 額、 クタ 同 表 \mathcal{O} \mathcal{O} 区 第 . 分 に 応じ、 掲

	4		3	2		1		番号	ケッ
大								総額	時価
			新興市場					彩	14 TA
消費財・サービス、運輸及び倉	動産関連業品	金融(政府系金融機関を含む。	業、鉱業及び採石業素材、エネルギー、農業、製造	通信及び工業	スケア並びに公益事業	庫、行政支援サービス業、ヘル	消費財・サービス、運輸及び倉	t // // // // // // // // // // // // //	7

	ロ 額 人 の グ 世	の大と「	イ 時	類は、	二前号	13		12	11	1	0	9		8		7	6	5
グル	合かり おして と と して と	する。と、そ	価総額	に定	の 表 の	れてい他)ク	価	その他		/J	\						
プの発行	用いるもの の発行済株 場	れ以外の場	が二十億合	ところ	「時価総額」	ない。)	(セクタ)	額が大	しのセクター	学进 计 場	鱼	新興	į į			先進市場		
株	とする。 式総数の市場価額に基づく時価総において、同一の上場法人又は法	合にあっては「小」と分類するも	衆国ドル以上の場合にあっては「	による。	欄における「大」及び「小」の分	ラックフ(セクターに特定さ	ば特定されていない。)	って、先進市場の株		記載された全セクター	バケット番号5から8までに	記載された全セクター	バケット番号1から4までに)、不動産関連業及びテクノロ 金融(政府系金融機関を含む	銀業及で授予業	業、広業及び采石業 素材、エネルギー、農業、製造 	通信及び工業	スケア並びに公益事業庫、行政支援サービス業、ヘル

会 式 総 数とするも 0 とする。

人 法 \mathcal{O} 人 時 グ] 額 プ を \mathcal{O} 含ま行 な済 株 11 ŧ 式 \mathcal{O} 総 とす 数 に には、 複 数 0 関 連

上

場

ガ ス ポ 1] 号 口 0 及び香港 表 日 \mathcal{O} 本、オ 「先進 オ 特 ーストラリア、 別 市 ル 場」 行 ウェ 政区をいう。 とは 1 ス ウ 米 ェ 国 ニ ュ]] カナダ、 ジーランド、 デ ン、デンマ キ

類 第 基 坐づくとともに 号の分類にw のル に、 · 当 た 次にて 0 定は、 めるところ 市 場 で に 般 ょ に る。 用 11 5 れ る 分

バ

ケ

ツ

1

 \mathcal{O}

う

ち

ず

一つに

数

地

域

及

び

セ た ク 個 別つタ] \mathcal{O} \mathcal{O} バ セ に 該 ク ケ タ ツ 当] \vdash す るい に に 分 場 分 合れ 類 類 できな にか するも は、 経 V) 済 類 場合 \bigcirc とす び は セ複 ク バ ケ タの ツ 1 に 応 番

類 L 次 株 の式 11 表リ に ス 分 ツ 上ク 類 1 欄 0) 番 デ 뭉 掲 ル げ を タ \mathcal{O} る しする。 う。 バケ IJ スクに用 ット 以下この 番 号 11 条に るリ 前 お項ス いの ク 規 7 同 定 ウ じに エ ょ 1 ŋ 1 の分は

2

る

と

5	4	3	2	1	ト番号	バケッ	区分に応じ
三十	五十五	四十五	六十	五十五	(パーセント)	式の現物価格に	、同表の中欄又は下
0 • 11 0	〇・五五	〇・四五	〇・六〇	〇・五五	係をリスク・ウェイト	・ フレニー ト	欄に定めるものとする。

3 ト間 ケッ に とする。 口 番の株 7 13 12 11 10 9 6 ること。 に 号 相 感応 セ次 掲 式 **ト番** 感応 か 感 市 対 に げ 11 関 IJ つ、 を除数 す 応 1 度 掲 る ス る 号 度 度 場 \mathcal{O} げ ク 合 も双 \mathcal{O} \mathcal{O} 他の る \mathcal{O} 十 番 区の方 要 双 方 \mathcal{O} デ 。 。 。 。 は、 Ŧī. 号 分 でが 方 が方 件 区 ル 七十 几 十 五. 七 五. $\overline{+}$ 十 五 にあ株 タ・ 株が 分 1 が \mathcal{O} 五. + ++ 五. 応 る式 式 株 に カュ 同 11 応じ が なれ ケ じ場 ず セ 6 等 等 式 IJ 4 合 の \mathcal{O} レ 等 れ ス ま 当 株 ポの ツ ク 現 カコ か 当に \vdash に で 該 次 物 式 現 を 該 該 番 1 の価 等 レ 物 満 用 **88** 各号に定い 38 当する場 37 に 37 に 38 に 3 たす 時 かイ格 に 価 らか又 関 価 1 格 らは ホ に に 場 総 連 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 対 対 額 まホ株 合 L ま式で等 が で す す \emptyset 合 13 ク 七 Ŧī. 七 五. 兀 大 るる 九 11 る にま 五五 \bigcirc \bigcirc 五. もはで 定にレ る **t t** +フ カュ め掲ポ ŧ のの \mathcal{O} 九 次バ ア る げ で で لح ク \mathcal{O} のケ もるレ で ああ す 九 タ

る各

ツ

新

のバー

あ

るり

口 進 市 ケ 1 뭉 五. 5 パ] 5 セ 8 まで 時 価 総 額 が 大、 か つ、 先

七• 五. 9 時 価 総額 が 小、 か つ、 新 興 市

バ ケット 番 10 時 価 総 額 が 小、 カゝ 先 進 市 場

<u>-</u>: 五] セ ン

ホ ホ までに 次に掲 バ ケッ 定め げ る る要値件 要 番 号 Ø 12 に 九 十 ず 又 は -九・九パー 13 八 +] 当する場 パ -セント セ ・を乗じ 合 前 た 号 値とか

か 感 つ 応 つ、 度 他の 方 が方 株 が 式 株 等 式 V等 ポの 現 V物] 価 1 格 に に 対 対 す す るも る £ \mathcal{O} \mathcal{O} で で あ あ る

₽ の感 であること。 応 度 及の双方が が そ れ ぞ れ 異 なる 株式 等 に 関 連 L 7 る

、間 次の 式 0 相 関係数 リ 算 ス 式 クのデル により算 は、 タ・ 出 す つるも バ IJ ケット ス クに用 \mathcal{O} とする。 番号 1 るリ 11 に 該 ス ク • 当 す うる場 フ ア 合 ク タ は

4

 $K_{b(other\ bucket)} =$

5 該各号に 株式リ ス 定めるも ク 次の の各号に掲げ デルタ・リス のとする クに用 るバ ケット番号の 11 る ケ ツ 区 卜 間 分 \mathcal{O} 応 相 じ 関

0) 合算す 合算するバ ずれかに該当する場合 Ś ケ ツ 1 の双方 \mathcal{O} 一方がバケット が 十 五. バケケ パ | ツ F セン 番号 番 号 1 11 カ に 5 該 当 10 す ま

る

			第リニク(四三三
2	1 7	じ、ケッド カーケモに	く百・コ場7 四 ウ モ 前 七 バ 合二 十 エ デ 三 十 ケ
可 燃 物 、 液 体		ドモ	ト番号 12 と ト番号 12 と ト及び相関) ティ・リスト ト及び相関)
原油(軽質スイート原油、重質油、WII、ブレント等) バイオディーゼル等) 石油化学製品(プロパン、エタン 、ガソリン、メタノール、質力	カラン等) スラン等)	とごし、 り当てら をコモデ の当てら をフェテク	(ケット番号 13 との合算である場のデルタ・リスクのバケット、リス外の場合 四十五パーセントのデルタ・リスクのバケット、リのデルタ・リスクのバケット、リーカー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

7	6	5	4	3	
貴金属	ガス燃料	属 属 非 貴 金	貨 物 輸 送	出権取引をまた。電力のうち、電力を表が、電力をは、電力をは、電力をは、電力をは、できる。	
金、銀、プラチナ及びパラジウム	天然ガス及び液化天然ガス	ベースメタル(アルミニウム、銅素材(鋼片、鋼線、鋼コイル、鋼を調素材(鋼片、鋼線、鋼コイル、 鋼をず、鋼鉄筋、鉄鉱石、タング ステン、バナジウム、チタン、タ ンタル等) モリブデン等)	ックス、超大型タンカー等) ツクス、超大型タンカー等) スーパーマックス、ハンディサイズ、パナマックス、ハンディサイズ、パナマックス、ハンディサイズ、	電力(スポット、先日付、ピーク 電力証書等) 電力証書等)	、ディーゼル等)軽油、重油、ナフサ、暖房用石油精製燃料(ジェット燃料、灯油、

	_		2																				
バ	同じ。)	エイト	コモデ		1	1				10				Ç)					8			
、ケット番号	の区分に応じ、分類したバケッ	次の	イティ・リスク			モディティ	その他のコ		農作物	びその他の	ディティ及	ソフト・コモ			製品	畜産及び乳						糧種子	穀物及び油
(パーセント) リスク・ウェイト		-欄に掲げるバケット番号(前	^のデルタ・リスクに用いるリスク・	ガラス	レアアース、テレフタル酸及び板	等)	工業鉱物(カリ、肥料、リン鉱石	パルプ及びゴム)、芋、砂糖、綿、羊毛、木材、	ース(オレンジジュースを含む。	ブスタ等)、茶、かんきつ類ジュ	ココア、コーヒー (アラビカ、ロ	等)及び卵	(牛乳、ホエー、バター、チーズ	家きん、子羊、魚、エビ、乳製品	畜牛 (生牛及び肥育素牛)、豚、	ヒマワリ油及び米	、ココナッツ油、ピーナッツ油、	菜種ミール等)、小豆、モロコシ	大麦、菜種(菜種種子、菜種油、	オート麦、パーム油、カローナ、	種子、大豆油、大豆ミール等)、	トウモロコシ、小麦、大豆(大豆

バケッ コモディティのバケット	区分に応じ、同表の下欄に定口 イに掲げる場合以外の場合	百パーセント 一 感応度 kと感応度1のコエ	又は口に定めるもの ー pkl 次のイ又は口に掲げ	相関係数の区分に応じ、当該各号に定めるも4 前項の算式中ρkl (ctv)、ρ(tenor)及びρkl (basis)は、次	$ ho_{kl} = ho_{kl}^{(cty)} \cdot ho_{kl}^{(tenor)} \cdot ho_{kl}^{(basis)}$	ものとする。	でのいずれかに該当する場合には、	ファクター間の相関係数(ρκι)	3 コモディティ・リスクのデル	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ケット 相関係数 $ ho_{kl}^{(cty)}$	に定めるもの バケット番号の	パーセント感応度kと感応度lのコモディティが同一である場合	めるもののイ又は口に掲げる場合の区分に応じ、当該イ)、当該各号に定めるものとする。 ρkι (tenor)及びρkι (basis)は、次の各号に掲げる			には、次の算式により算出する	は、バケット番号1から11ま	ルタ・リスクに用いるリスク	五十	三十五	二十五	三十五	<u> </u>	四十五	四十	八十	六十	三十五	三十

イある二	$ ho_{kl}^{(bas)}$	ロセイン	イ 感応		11	10)	9	8	7	6	5	4	3	2	1	ト番号
る場合 百パーセント 二つの感応度に係るコモディティの	に定めるもの 次のイ又は口に掲げる場合	こ掲げる場合以外の場合 九十九ト	度kと感応度1のテナーが同一	ロに定めるものの、次のイ又はロに掲げる場合の	その他のコモディティ	の他の農産物	ソフト・コモディティ及びそ	畜産及び乳製品	穀物及び油糧種子	貴金属	ガス燃料	金属・非貴金属	貨物輸送	排出権取引エネルギーのうち、電力及び	物エネルギーのうち、液体可燃	物エネルギーのうち、固体可燃	
) 受渡場所が同一で	区分に応じ、	・つパーセント	である場合 百パー	区分に応じ、当該	十五	<u>m</u> +]	十五	四十五	五十五	六十五	六十	八十	四十	九 十 五	五 十 五	(パーセント)

5 七 個 デ 内 コ 别 イ 七 0 IJ デ テ 1 コ イ ス に イ モ ク 掲 0) 合 デ イ 重 る テ に 後 IJ 当 イ ス 合 \mathcal{O} た と 感 ク 以 L 0 応 \mathcal{O} 外 て て 度 デ \mathcal{O} 認 は のル 識するも 合 タ 算 合 • 九 算 に IJ チする お ス 十 \mathcal{O} 九 いク とす て、 感 に \bigcirc 応 係 度の 次 る] に 同 そ 掲 セ れ げ バ

るケ

れコッ

ぞ

テ 同 1 間 \mathcal{O} \mathcal{O} 商 合 品 種 類 で あ ŋ か つ、 受渡場 所 が 異 な る コ 七 デ

るコ バ モ ケ ツ デ 1 \vdash 番 テ イ 号 \mathcal{O} 3 合 に 算 該 当 す る場 合 は、 次 \mathcal{O} イ 又 は 口 に 掲 げ

口 間 別 帯 電 が 力 Þ 異 供 \mathcal{O} 給 地 な 域 る 時 コ 間 で モ 帯 発 電 デ 又 1 は さ テ れ 金 た 電 イ 融 間 市 力に の合 場 で · 係る 算 締 結 コ さ モ れ デ た イ 電 テ 力 契 イ 約 間 \mathcal{O} 時

る コ バ モ ケ ツ デ イ \vdash テ 番 イ 号 \mathcal{O} 4 合 に 該 当 す る場 合 は、 次 \mathcal{O} 1 又 は 口 に 掲 げ

合算

口 貨 運 物 輸 \mathcal{O} 種 受 別 渡 又 は 週 が 運 異 用 なるコ 航 路 が モディ 異なるコ テ イ モ 間 デ \mathcal{O} イ 合 テ イ 間 0 合

間 当 0) コ 該 相 七 関デ 号 係 イ 数テ に !定め イ IJ はスク b 次の のデ 各 ル タ 号 に IJ 掲 げげ ス クに る 場 合 用 のい 区る 分 バ にケ 応じ ツ \vdash

る

6

0) 合 ず れ す かに該当 る バ ケ 当 ツ す \vdash る場合 0) 双方 がバ 二十パー ケ ツ 1 セン 番 号 1 か 5 10 ま で

セント

る

1

 \mathcal{O}

方

がバケッ

۲

番

号

11

に

該

当

す

る

外

玉

為

替

IJ

ス

ク

 \mathcal{O}

バ

ケッ

ļ

IJ

ス

ク

ウ

エ

イ

1

及

てド

相

関

- 492 -

類 玉 に す 诵 9 百 るも 貨 V 兀 て、 と + \mathcal{O} 六 とす IJ 条 通 ス 貨 ク 十 لح 八 フ \mathcal{O} \mathcal{O} 間 ア 0 ク 為 タ 替] 玉 は] 替 IJ \vdash 商 ・ごとに 品ス クク が 表の 各 示デ さル ケ れ タ ツ て いリ 1 る ス に 分 外 ク

2 る。 1 は 国 |為替リ 全 て \mathcal{O} 為 スク 替 \mathcal{O} レ デ ル \vdash \mathcal{O} タ 感 • 心応度に IJ Ź クに 対 L 用 +11 五. る パ IJ] ス セ ク • ン \vdash ウ と エ す イ

3 デン通貨 民共和国 州 ニュージー とすることが 経 前 (CHF), オー ウ 0 済 項 <u>ニ</u>っ 通貨 \mathcal{O} ス ノルウェ 1 \vdash 規 (香 \vdash \vdash \mathcal{O} メ 統 ル 定 ラリ -を 二 港特 間 ラン 合 丰 コ に で \mathcal{O} 通 参 カュ ア きる。 ド \mathcal{O} 為 1 南 貨 別 コ 加 カュ 通 通貨 通貨 通貨 平 替 アフリカ共 行政区) 通貨 玉 わ 貨 , 6 方 通貨 レ (AUD)] ず、 根 (NOK) (MXN)(NZD), トの で (EUR), 除 大韓民国通貨 アメリ 場合は、 和国通貨 カナダ して得た値 及び 口 中華人民共和国 本 シア通 力 ブラジル通貨 邦 合 通貨 通 前 衆 (ZAR), 貨、 をリ 項に シンガポ 貨 玉 (KRW) 通 (RUB), 英国 規定 スク・ 貨 通 通貨)貨 ンド するリ ス] ス イス通 ウ ウ 中 ル 工 通 エ通 華 スの 1 貨 貨

関 係数 外国 為替リ ハスク は、 六十 \mathcal{O} デル . パ タ] • セ リス ントとする。 クに 用 11 る バ ケ ツ 1 間 \mathcal{O} 相

4

五. 目 スび IJ 力 ス ク ウ ベ 感 チ 応 度方式 ヤ ト及] IJ に 相 ス 係 ク る ベ 0) ガ バ ケ IJ ツ ス ク IJ 及

第

ラス 兀 ガ IJ 区 + . 分 に ス IJ 六 ク・ ス 条 応 ク 0 ファ じ、 \mathcal{O} + 九 ケッ ク タ 該 各 ١,] IJ 号 はス ク・ に定めるところ IJ ス 次 *ク* クラ \mathcal{O} 各 ウ 号 ス エ に \mathcal{O} イ 掲 ベ 1 げ ガ るリ 及 び IJ スス 相 ク 関 ク

に

ックつ

ク」とあ を準 般 用 金 並利リス る す る。 \mathcal{O} こ の ク 「べ 場合に 第二 ガ . У 百 お 兀 ス ク 十六 11 て、 と 読 条 同 \mathcal{O} み項 十 替 中 八 こえるも の 二 「デ ル 第 タ \mathcal{O} لح 項 IJ す \mathcal{O} るス規

に

分類

するも

 \mathcal{O}

す 当

る。

各

により

各

ケ

六 非 条 لح 証 同 読 の券 み 項 十化 替 中 八商 えるも の 三 「デ 品 に ル 第 係 タ・ のとする る 項 信 リスク」 \mathcal{O} 用 規定 ス プレ を とあるの 準 ツ 用 K す る。 IJ は、「ベ ス ク \mathcal{O} ガ 場 第 合 IJ に 百 スお四

IJ に 百 ス お 兀 証 · ク」と 十六 券 11 て、 化 条 商 品 読同の . み 替 項 中 十 (CTP) に係る信用 八 こえるも 「デ \mathcal{O} 兀 ルタ・リスク」と 第一 のとする。 項の規定を準 スプ ツ あ 用 ド るの す る。 IJ ス この ク 「べ 場 ガ

二百 IJ 証 Ź お 兀 券 ク 十 化 11 て、 六 商 条 لح 品 読 同 \mathcal{O} (非 CTP)に 項中 み +替えるも 八 \mathcal{O} 「デルタ・リスク」とあるの 五. 第 係る信用 のとする。 項の 規定を準 スプレ ツ 用 ド す : У رِّ چ は、「ベ ス この ク ガ場第

る 用 株式 コ す \mathcal{O} は、 رِّ چ 定 デ IJ イテ ス この場 準 ク 用 1 ガ 第二 す ・リスク」と読み替えるも 合において、 る。 リスク 百四十六条の 0) 場合に 第二百 同 項中「デ 十八の 四十六条の お て、 六 ル 第 同 タ 0 十八の 項 とする。 中 項 リスク」 0) 七 規 ル 第 定 タ لح

Ŧī.

2 同 七 1 び 係 る 用 非 証 証 は、 各リス ・リス 合に とする。 表 ・リスク」とあ モ 信 玉 そ 式 イ 式 ス る 券 券 ス 証 般 外国 0 IJ 信 券化 為 \mathcal{O} IJ 化 IJ 用 化 金 お 下 次 ス 替リス 利リ デ 商品 イテ 他ス ス 用スプレ 商 ス ク・ ク」と読 |為替リ ク 欄 \mathcal{O} 11 ッ ッド · 商 品 \mathcal{O} ク ク 品 プ 表の上 て、 イ セ ク レ ス (CTP) 非 小 定め クラ クラス (大型株 ス) クタ ッド に 同 ス CTP) リス IJ ッド 係る信 型株 み替 るのは、 項 ス 欄 る ス に 中 ŧ に 0) ク ク 及 及 に IJ 係 えるも · 掲 げ ベガ 「デ \mathcal{O} 前 とする。 条 「べ ライズ性 ル 第 るリスク・ 百二十 百二十 百二十 百二十 タ・リスク」とあるのは、 二 十 六十 リスクに用い のとする。 ガ・ 六 項 ++ 0) リスク」と読み替えるも ホ 規 定 クラスの を準 七 ス る + ク 用する。 IJ 七 区分に応じ、 ス 百百 百 百 百 百 百 セ ウ

ク •

ウェ

「べ

ガ場

 \mathcal{O}

エ <u>ا</u>

イ

 \vdash

3

各リスク・クラスの

ベ

ガ

リスクに

用

71

るリ

、スク・

ファ

ク

七

八

のとする。 スの区分に応じ、当該各号に定めるところにより算出するもター間の相関係数(pkl)は、次の各号に掲げるリスク・クラ

一 一般金利リスク 次の算式によるものとする。

$$\rho_{kl} = \min \left[\rho_{kl}^{(option~maturity)} \cdot \rho_{kl}^{(underlying~maturity)}; 1 \right]$$

$$\rho_{kl} = \min \left[\rho_{kl}^{(DELTA)} \cdot \rho_{kl}^{(option\ maturity)}; 1 \right]$$

該各号に定めるところにより算出するものとする。ρκι ρ(DELTA)の値は、次の各号に掲げる相関係数の区分に応じ、当 前項各号の算式中ρ(option maturity)、 (underlying maturity)及び

 $ho_{kl}^{(option\ maturity)} = \exp\left(-\alpha \cdot \frac{|T_k - T_l|}{\min\{T_k; T_l\}}\right)$

alt、ーパーセント

 T_k は、オプション商品kのオプション権利行使日までの年数 T_l は、オプション商品lのオプション権利行使日までの年数 $\exp(x)$ は、自然対数の底をx乗した値

 $ho_{kl}^{(underlying\ maturity)}$ 次の算式によるものとする $ho_{kl}^{(underlying\ maturity)} = \exp\left(-\alpha \cdot \frac{|T_k^U - T_l^U|}{\min\{T_k^U; T_l^U\}}\right)$

aは、 -パーセント

 T_k^U は、オプション商品kの原資産となる金利派生商品の契約

期間の年数

Luは、オプション商品Iの原資産となる金利派生商品の契約期間の年数

 $\exp(x)$ は、自然対数の底をx乗した値

わら 16 第二百四 三 ρkl ベガ・リスク・ファクターkとベガ・リス -内のリ 第二百 される相関係数を用いるものとする。 ァクター1に対応するデルタ・リスク・ファクター ず、 第二百四十 + 各リ スク加重後 兀 -六 条 十六条 スク・クラスの の十八の三第一項第一号の表中バ 六条の十八の四第一項第一号の 0) 0) 十五の四第四項及び前 感応 度の合算につ ベガ・リスクに ٧١ て 係 項 表中 、るバ同 \mathcal{O} ケ 規 ケーッバ バ ツ 定 間 ケット \vdash に ク \vdash ケ 番 カゝ 適 用フ 号 が

5

 $K_{b(other\ bucket)} = \sum_{k} |WS_k|$

ット

- 番号

25

又は

第二百四

+

六条の十

中バケット番号

11に該当する場合には、

次の算式に

により

するものとする。

番

号

16

第二百

四十六条の十八の五

第

八の六第一項第一号の表も

一 中 号 バ

のケ

6

応じ、当該各号に定めるところによるものとする。関係数(γρc)は、次の各号に掲げるリスク・クラスの区分に関・各リスク・クラスのベガ・リスクに用いるバケット間の相

ク」とあるのは、「ベガ・リスク」と読み替えるも 定を準用する。 一般金利リスク この 場合において、 第二百四十六条の十八 同項中 の二第 「デル 0) タ 七 項 IJ \mathcal{O} ス規

非証 券 化 商 品 に 係る 信 用 スプレ ツ ド IJ ス ク 第 百

兀

六 場 合に \mathcal{O} おい + ガ 八の三第 て、 リスク」と読 同 七 条 第 項 七 及 項 び み替えるも 第 中 八 「デ 項 ル 0) タ・ 規 定 IJ を 、スク」 準用する。 とあ る

るの この場合において、 四十六条の十八の四第五項及び第六項の 証 は、 化 「ベガ・リスク」 商品 (CTP) に係る信用スプレッド・リス 同 条第五項中「デル と読み替えるものとする。 , タ・リスク」と 規定を準 用 でする 第二

二百四 合にお パ 号 \mathcal{O} IJ] 号 証 ロ四十六条のよい 規 、スク」と読 セントとする。 25 以外 定に て、 よる分類に \mathcal{O} 同項中「デルタ・リスク」とあるのは、「ベ バ (非 CTP) に ケット 十八の五第六項の み 替えるものとする。 番号との おけるバケット番号 係る信用スプレッド・リス 間の相関 規定を準 ただし、 関係数 用する。 25 と バ 第一 ヘケット この は、 項 第 ガ 兀 百

五. るの 甪 株 力する。 式リス は、 この場 「べ ク ガ・リスク」と読み替えるも 第二 合におい 百四四 + て、 - 六条 同 0 項 中 人の 六第五 ル タ・ のとする。 IJ 項 ソスク」 0) 規定 と を

とする。 IJ コモディティ ハスク」 規定を準用する。この とあ るのは、「ベガ・リスク」と読み替 ・リスク 場合に 第二百四十六条 おいて、 0 司 十八の 項中「デル えるも 七第 タ

七 IJ 外 国 スク」と読 為替リ て、 同 ス 項中 み替えるも 「デル 前 条 第 タ・リ のとする。 匹 項 0 スク」 規 定 を لح 準 あ 用 るの がする。 は、 べ 0 ガ場

チ ヤ IJ ス ク 0) バ ケ ツ ļ IJ ス ク ウ エ 1 1 及 び

相関)

ス ス 百 ク ク 兀 ケ +に ットに 六 ク ラス 11 条 て \mathcal{O} 0) 分 + 類 区 IJ 九 す 分に応じ、 ス \mathcal{O} るもの ク ・ファ 各 リス とする。 クター 当 該 ク・クラス 各号に は、 に定めるところによ次の各号に掲げる 力 チ ょ る

定を準 ク」とある とする。 般 用 金 す 利 る。 。 \mathcal{O} IJ は、 ス この ク 「カーベチ 場合に において、同で日四十六条の-ヤー IJ ス ク 項 十 中 八 と 読 の 二 「デ 4 ル 第 替 タ え 項 IJ る \mathcal{O} ス規

] 11 - 六条 非証 て、 IJ 司 ス \mathcal{O} 券 ク 項 十化 中 八 商 と読み替えるものとする。 の 三 品 「デルタ・ に 第 係 る 項の 信 リスク」 用 パスプレ 規定を準用す とある ッド 0) る。 IJ は、「カ ス ک ク \mathcal{O}] 場 第 ベ 合に チ 百 ヤお四

チ に 百 ヤ お 兀 証 十六条の 券 11 て、 化 • IJ 商 ス同 品 十八 ク」と読み替えるものとする。 項中 (CTP) に係る信用 「デ \mathcal{O} 、四第一 ル タ・リスク」とある 項の規定を準用 スプレッド す 0) る。 IJ は、「カー ス この ク 場合 第 ベ

二百 チャ 証 匹 お 券] 1 十 化 て、 六条の十 商 品 IJ 同 ス (非 CTP)に 項中 ク」と読 -八の五: - 「デル 第 み替えるものとする。 係る信用スプレッド・ タ・リスク」とあるの 一項の規定を準用する。 IJ は、「 ス この 力 場 1

五. るの 用 株式 す る。 IJ ス この 「カーベチャー・リスク」と読み替えるも ク 場 第二 合 百四 お 1 + て、 六 条の 同 項 十八の 中 六 ĺ 第 タ・リ 項 0) ス ク 規 لح 定 لح を

モ デ イ テ イ IJ ス ク 第二百 兀 + 六 条 0 + 八 \mathcal{O} 七

第

七 えるも 項 外 国 IJ を準用する。 0 、スク」 規 為替リス 定 とす を とあ 準 用 この る す \mathcal{O} る。 。 場合に 第二 は、「カ この 百 お 場 兀] 十六 合に 11 ベチ て、 条 お ヤ 同 \mathcal{O}] 項中 て、 + 八 IJ 0) 同 ス デ ク 八 項 ル 第 中 タ 読 デ 項 IJ みル \mathcal{O} 替 タ

ク」とあるの とする。 は、「カーベチ ヤー . IJ ス ク と読 み 替 īえるも ス規

2 ウェイト 各リスク・ 当該各 号に は、 ク ラス 定次 \otimes \mathcal{O} るところに 各 \mathcal{O} 号 力 に] 掲 ベ げ チ による。 るリ ヤ] ス ク IJ ス ク ク ラ に ス用 0) V 区 る 分に IJ ス 応ク

般

金

利リ

ス

ク

次に

· 掲 げ

こるカ

1

ブの

区

分に

応

じ、

当

該

号に定め - 八の二第二 IJ スク 大の フ るところ IJ l 項 0) 1 表 に ょ \mathcal{O}] る。 下 ル - 欄に定 ド 力 \emptyset] るリ ブ ス 第 ク • 百 ウェ 兀 + イ 六 条 1 Ø Ø

ベ 1 1 第三 ・ンフレ シ ス 項 $\widehat{\mathcal{O}}$ 0 率 規 フラット \mathcal{O} フラッ 定 を 準 用する。 \vdash カー 力 ブ] ブ 第二百 及 び ク 兀 口 一十六条 ス 力 レ 0 +八

口

うち

最

値

とする。

を二 0 表 特 0 \mathcal{O} 定 平下 通 方 欄 貨 根 に \mathcal{O} で 定力 除 8] るリ L ブ た値ス 第二百四 ´ク・ とする。 ウ 1十六条 工 1 1 \bigcirc \mathcal{O} う + ち八 最 \mathcal{O} 大 の第 ŧ の項

非 同 ス 券 ク 十化 八 商 と 読 の 三 「デ 品 に み 第 係 タ・ 替えるものとする。 る 項 信 IJ \mathcal{O} 用 スク」 規定 スプレッド を準 とある 用す \mathcal{O} る。 IJ は、「カ ス この ク] 場 第 合に チ 百 ヤお四

化

商

品

(CTP)

に係る信用スプレッド

IJ

ス

ク

第二

- 500 -

チ に ヤ お 兀 1 十 て、 六 IJ 条 同の ス ク 項 + 中 八 と 読 「デ \mathcal{O} 兀 み替 ル 第 タ・ えるも 項 IJ の規 スク」とある 0 定 を準 とする。 甪 す \mathcal{O} る。 は、 この 「 カ 1 場 べ合

二百四 合にお チャー 証 券 +71 化 . У て、 六条の十 商 品品 スク」と読み替えるものとする。 同 (非 CTP) に 項中 八 の五第二項の規定を準用する。 「デルタ・リスク」とあるのは、「 係る信用スプレッド・リ ス この ク 力 場 第

五. ク」とあるの 式 とする。 株式リスク を準用する。 この現物 価 は、 格 第二 この に 「カーベチャー に係るリ 百四四 場合に ス +ク・ウェイトに係る部、六条の十八の六第二項 お ・リスク」と読み替えるも、て、同項中「デルタ・リス 分 0) に規定 る

えるも ・リスク」とあるの 項 コモディテ 0 規定を準 のとす る。 十用す 1 リス る。 は、「カーベチャ ク \mathcal{O} 場合に 第二百 おい 兀 十六] て、 . У 条 同の スク」と読 項中 + 八 0 デ 七 みル 第 タ 替

第三項 と 読 外 国 「デルタ・リスク」とあるの み替 \mathcal{O} 為 規定を準用する。 替リスク えるも のとする。 第二百 この場 四十六 は、「カ の合にお 条の + 1 い八 ベ て、 チ \mathcal{O} 八 ヤ 同 第] 条 IJ 第 項 ス 及 項び

とする。 各リス アク クラ タ ク ス] 0) - 間の相に 区 分 に 応じ、 関 0) 係 カーベチャー 数 当該各号に $(
ho_{kl})$ は、 定め IJ 次 ス \mathcal{O} た 各 ク に を二 に用 掲 V 乗 げ る した値になっている。リスク ス

3

定 を 準 般 用 金 L 利 て算出 IJ ス ク L た相 第 関 百 係 兀 s数p_{kl}の 六 条 値とす 0) + 八 る。 の 二 この 第 五. 場 項 合 \mathcal{O}

に規

て、 IJ 同 ス ク 項 と読 ル 4 タ・ 替 え IJ るもの ス ク」とあ とす る \mathcal{O} は、 力] ベ チ

百 イ 口 兀 証 区 第 非 0 十六条 一分に応 に バ バ 第 ケ ケ 掲 第 ッ 兀 げ る第 0 品 \vdash 項 1 +号 第 品 (CTP) に係る信用スプレ 番 番 の 規 当 号 に 号 \mathcal{O} 号 該 項 係 16 1 四第 定を準 第二 0) イ る か 又 規 又 は 信 は 5 兀 定 号 用 15 17用 項第一号 を 口 \mathcal{O} ス 進用 ま プレ 規定 \mathcal{O} 第二百 で て算 場 して 合 ッド に 第二百 より 出 0 に 規 算 几 応じた値 ッド L $\uparrow \sim
ho_{kl}^{(name)}$ 出 +定 分 IJ 六条 兀 し を 類 ス $\rho_{kl}^{(name)}$ 準 IJ 十 ĺ 0 ・六条の ス 用 た L ク バ 次 る。 ケ 7 \mathcal{O} O + ッ 1 算 第 値 出 1 又

兀 二百四十 $\bigcirc
\uparrow$ $\rho_{kl}^{(name)}$ 証 券化 六条の十 商 \mathcal{O} 品 値とする。 (非 CTP) 人の 五. に 第 係 匹 ふる信 項 第一 用 ス 号 の プ レ 規 ツ 定 ド を準 IJ 用 ス 算 第

Ŧī. い項 て、 \mathcal{O} 株式リスク 規 IJ 定を準 同 ス ク 条中 と 読 · 用 し 「デ 第二百四十六条の ルタ・リスク」とある 4 て算出したρκιの 替えるものとする。 値とす +八 \mathcal{O} \mathcal{O} る。 六 は、「カ 第 こ三の項] 場 又 合 べ は チ に 第 ヤお四

出

した $ho_{kl}^{(tranche)}$ の値とする。

L

7

規同ら 第二百 項 定 バ 第 コ 一号 モ ょ 号 1) ツ IJ 兀 デ イテ \mathcal{O} \vdash 分 ス + \mathcal{O} 規 表 六 内 ク 条 定 \mathcal{O} イ た IJ ク \mathcal{O} を ス ラ 準 IJ ケ + ス ス ケ ク 五. 用 \vdash 加 \mathcal{O} L ク \mathcal{O} \vdash て 重 力 五. 算出 第二百 が 後 1 第 五 16 第 のベ ゴ項及び前で Iしたρ^(cty)(チ項 感 第二百 百 応 四十六条 ヤ] 兀 度 + o \mathcal{O} 兀 合 IJ 項 六 + 条 算 ス \mathcal{O} 値 \mathcal{O} 六 ク 規 は + íz 条 十 定 す 八 \mathcal{O} に 八 第お る \mathcal{O} 0) + V カコ 七 項てか 第 の第の わ

六 八 四 0) る場合に 条 第 元の十第 項 八の項 第一 は、 六十第一 号の表中バ 第 次の算式によるものとする。 一号の 項第一号 表中バケット番号 ケット番号 0) 表中バケット 25 又 は 百 番号 兀 第二百 11 に 兀 該 \mathcal{O}

$K_{b(other\ bucket)} = \max\left(\sum_{k} \max(CVR_{k}^{+}, 0), \sum_{k} \max(CVR_{k}^{-}, 0)\right)$

5 \mathcal{O} 1 た値とする。 区分に応じ、 間 各リスク・クラスのカーベチャー・リスクに用いるバ 0 相関係数 当該各号に定める相関係数 (γ_{bc}) は、 次の各号に掲げ (γ_{bc}) るリスク・クラス の値を二 ケ 乗

一般

金利リスク

第二

百

四十六

条の

+

八

の 二

第

七

項

した値とする。この場合において、十六条の十八の三第七項及び第八項 中 ・リスク」とあるのは、「カーベチャー 定 を準 非証 と読み替えるも 「デルタ・リスク」とあるのは、「カー 券化商品 用して算出 に係る信用スプレ のとする。 L た値とする。この ッド 0) 同 場合 規定 条第 ・ リ ・ベチ IJ を準 七 ス に スク」と読 項中 ヤー お ク 用 11 て、 「デ L IJ て ル 算 ス同の 百 み タ 出 項 規

百 出 兀 証 ́. 券化 1十六条の十八の 「した値とする。 るも 商品 スク」とある とする。 (CTP) に係 この場合にお 四第 0 は、「カー 五. る信 場合において、同名ユ項及び第六項の切 用スプレ ベチャー ツ ド 条 第 規 ・ リ 流定を準 IJ スク」と読 五. ス 項 ク 中 用 して デ

えるものとする。

証 匹 化 六 商 、条の十 品 (非 CTP) に係る信 八の五第六項及び第七 用 ス 項 ツ 0) K 規定を準 IJ ス 用

バ ット ケ 出 ット L 間 IJ た ス 値とす ク と 読 ケ ツ る。 。 み 替えるも 1 る \mathcal{O} 号 0) 25 は 場 のとする。 を除 「 カ 合に] お べ チ て、 ヤ 間] 同 ・ リ 条第 とあるの ス 六 項 中 は

Ŧī. デ 4 ル 用 株 替 タ・リ L 式 て算出 えるも IJ ス ス ク ク」とある のとする。 第二 た 値とする。 百 四 0) +は、 六 こ の 条の 「カ 十八の 場 1 合 べ に チ お 六 ヤ 第] 11 て、 五. IJ 項 ス 同 \mathcal{O} ク 項 規 中 定 کے を

IJ 項 ス 同 \mathcal{O} コ 規 項 モ 中 定 デ と イテ を 「デ 読み替り 準 ル 用 イ タ・ L IJ え て るも リスク」 算出 ス ク 。 と L た値 第二百 しする。 とある とす 几 る。 \mathcal{O} 十六 は、 条 「カ \mathcal{O} \mathcal{O} 場 +] 一ベチ 八 0) お 七 ヤ 第 て

中 定 と 読 を準 「デ 国 ル 4 用 為 替 タ・ 替リ て算 えるも IJ ス ス 出 ク ク のとする。 L た値 第二 とあ とする。 百 る 四十六条の 0) は、 こ の 「 カ 場 + 1 合 八 チ にの t お八 第 11 て 兀 IJ 項 ス 同の ク 項 規

玉 為 替 IJ ス クに 係 る 力] ベ チ ヤ IJ ス ク 0 感 応 度 \mathcal{O} 調

を 項 原 百 IJ に 資 兀 お産 ス + とし ク 六 11 を条 て 算 た計の 出商測十 品 す L 九 る た に \mathcal{O} つ組 感 三 応 い合 ては、 度 玉 0 値を一 為 報 告 替 IJ 通 四貨十以 ス ク 五. で六外 に 除 条の係 す の通 る る 十貨カ こと 五の] 組べ \mathcal{O} が五合 チ で第せ

2 合 は 玉 行 為 政 庁 IJ ス 届 ク け に 出係 た 場 る 力 合に 1 ベ 限 チ り、 ヤ] 報 告 IJ 通 ス 貨 ク へを含 を 計 む 測 全 す て る の組

の通 ることができる。 十 貨 五. 0 の組 五合 五第二項によっせを原資産 産 お とし 11 て 第出した商品に した につい 感応度 て、 \mathcal{O} 第二百 値 を 兀 + 五. で 六 除条

款 るマ 準 的] 方式 ケ ット に係るデフォ IJ ス ク 相 ル 当 卜 額 IJ ス ク に 対

第 目 総 則

出 フ 0 概 オ ル \vdash IJ ス ク ĺZ 対 す Ś 7 ケット IJ ス ク 相 当 額 0

第二百 する。 . У IJ Ź 匹 ハスク相当 クを + ハク相当額は、-六条の二十 捕 捉 し、 次に定めるところにより リスク デフ オ 感応 1 度方式では IJ ス クに は捕捉できない。に対するマーケ 算出するもの

次にこ 非 証 掲 券 げ 化商商 化 品品 \mathcal{O} (ハに分類される商 区分に 分 類して算 品を除く。 出 する。

証 券化 商品 (非 CTP)

商品 (CTP)

Iする。 失が生ず 工 (商 (商品の)が る可] 現 在ジ 任価値のうち、 能 性の あ る グロ 部 分をい 債 スの 務者等の . う。 デフ IJ 以 下 ス ク・ オ 同 ľ ルトにより ポ ジ シ を

グロ の 対 額とを す ス るロン \mathcal{O} 相殺 グ・ IJ ス ネット ポ ク ジショ ポ ジ ンの \exists IJ 額 ン とシ ス \mathcal{O} ク • う ち、 彐 ポ] 同 彐 ポ \mathcal{O} ジ 債 · ショ 者 を

兀 口 前 当 号 グ たの 0 口 7 ポ ン グ は シ ョデ ポ フ ジ オ シ す ル 3 る。 。 卜 ンとシ 時 に 彐 損 失が \vdash 生 • ず ポ ジ る ポ シ ジ 彐 シ ン \mathcal{O} 彐 ン区

五. ネッ ١ 0) IJ ス ク ポ ジシ 彐 ン を 各 バ ケ ツ \vdash に 分 類 す

カゝ に 0 ネッ 除 5 お ľ シ 間 て、 す 1 $\hat{\delta}_{\circ}$ \exists のて \vdash] は同 \sim \mathcal{O} ツ \vdash ジ ケ ポ 効 ン IJ 果 グ ツ ジ ス を シ \vdash ク 彐 勘 ポに ジショ ン 案 属 ポ 介する がする に ジ ヘッジ シ ため、 ンとシ ŧ \exists のン 効果 を に 合算 彐 口 IJ] 比 ン ス グ・ ኑ • 率 す ク る。 を ゥ 乗 ポポ じ ジ ジ エ た シ シの 彐 場 額 彐 \vdash ン を 合

七 1 単 前 IJ 純 号 ス 合 で ク 算 算 相 L 出 当 た L 額額 た と を 各 す デフ バ 9 る。 ケ オ ツ \vdash ル \vdash \mathcal{O} 7 IJ] ス ケ ク ツ に 1 対 する IJ ス ク 7 Ì 相 当 ケ ッ額

算 出 デ フ オ お ル て 1 は、 IJ 次 ス クに に 掲 げ 対 る す 要件 Ś 7 \mathcal{O} 1 全てを ケ ツ 1 満 • たす IJ ス ŧ ク 相 \mathcal{O} لح 当 す 額 るの

2

IJ 体 \mathcal{O} バ 非 前 テ 証 分 項 イ 券 散 第 ブ 効 IJ 化 商 果 ス及 号 品 ク び を イ 株 認 で カコ ポ 式 あ 識 ら ジシ デ る L IJ な ま バ 彐 バ ス いこと。 で ケット テ に ン 0 イ 掲 算 ブ げ 出に 型 る は、係ス \mathcal{O} ポ る 上 ル構場 1 ツ 成ク フ ク 銘 才 ス柄 ジ IJ \mathcal{O} ル ツ オ 各 1 \vdash \mathcal{O} 発 間 ア行デ で

証 出 フ を オ 化 商 品 1 な (CTP) N ハスクに お 対 け する る 非 7 証 券 ケ 化 ツ 商 1 品 に IJ ょ ス る ク 相 ツ ジ 当

額は

口

1

チ

を

用

るこ

兀 信 ては、 第二 用 ウ IJ エ ス IJ ク 1 七 ス ク • カコ ス ら ウ パク 第 エ] 1 セ ア + \vdash ン セ 九 ツ 条ま を 1 零パ -とす 1 で \mathcal{O}] る 額及 工 セントとすること \mathcal{O} び ク 算 第 ス出三 ポに十 1 お ジい 7 ヤ 1 がにリ項 つスの

五. より 0) フ 出 第二百 資 ア 1 は、 兀 無 ツ + \mathcal{O} 格 1 運 六 用 付 条 基 \mathcal{O} IJ \mathcal{O} 準 株 ス + 式 に ク 七 関 お 相 \mathcal{O} 11 連 五 商品、 額 第二 を とす 算 項 的 出 第 ,ること、 三号 て 11 に るフ は 掲 財 げ ア る 方 K 法 振 に

平 定さ 柄 彐 均 れのンド ンに 該 IJ 0) 実 ス る より ク • 間 効 最 資 平 大 を 相 生均ウの許 殺 じ IJ エ IJ 容 1 及 た ス ス す トクをに る び 工 ク 場 分 ク 散 ス ウ 算 係 合 出 ポ エ るには投 \mathcal{O} 勘案 1 すること。 ジ \vdash 想 は ヤ \mathcal{O} ポ 当 該格 行] 算 ジ わ لح 出 シ運付 な $\sum_{}$ 他の ョ用又 11 0) た ン \mathcal{O} 工 \otimes 場 を 淮 ク \mathcal{O} 合 用に務 ス仮 に いお不 ポ想 おて ポい実ての

第 目 に 非 対 証 す 券 る 化 7 商] 品 ケット に 係 るデフ IJ ス オ ク ル 相 1 当 額 IJ ス ク

とす ス ク 兀 証 + 券 ポ 六 化 ジ 条 商 \mathcal{O} 品 3 \mathcal{O} + グ はの 口 ス 0 次 JTD に非 に定めるところに非証券化商品に気 リスク・ ポ に 係 より るグ \exists 算 口 出 ス 0 す る Ł

次 工 に ク 算式 ス 9 V ポ 7 1 より ヤ 算 グ 1 出 ごとに、 I する。 ポジシ グ \exists ン 口 とシ ス \mathcal{O} JTD 彐 1 IJ ス ポ ク シポ 彐

 $JTD(ショート) = \min[LGD imes$ 想定元本 + P&L, 0] $JTD(ロング) = \max[LGD × 想定元本 + P&L, 0]$

LGDは、デフォルト時損失率(ただし、商品の価格が参照す には、LGDは用いない。) る債務者のデフォルト時の回収率に連動していない場合

P&Lは、時価評価損益(債券の市場価額に相当 想定元本を差し引いたもの) 4 る価額から

する。 に掲げる変数の区分に応じ、当該イ又は口に定めるも 前号の算式中想定元本又はP&Lの符号は、 次 \mathcal{O} 1 又 は 0) لح

想定元本 ショート・ポジション ・ポジションの場合にあっては負の値ロング・ポジションの場合にあっては 正

にあっては負の値 評価益の場合にあ っては正 0) 値、 評 価 損 \mathcal{O} 場 合

口

の区分に応じ、当該イからハまでに定める値とする。 第一号の算式中LGDは、 次のイからハまでに掲げる

商

を除く。) 株式関連商品及び負債性商品 百パーセント (ロ及びハに掲げる商

ーセント シニア債務商品(ハに掲げる商品を除く。 七十 五.

カバード・ボンド 二十五パーセント

る想定元本及び に掲げる商品 一号の算式 の区分に応じ、 中想定元本及びP&Lの額は、 同 表の第四欄に定めるP&Lとする。 それぞれ同 表の第二 次の表 一欄に定 0 第

グ・クレジット ポジションに係るJTDの算出の構 成

<u>.</u> т			T			_
TD リスク・ポ な限り分解し に定める満期 対する JTD リ 対する JTD リ	ション コール・オプ	ション ポープ 産	CDS	债 券	商品	要素の例
第一欄に掲げる場 はでの残存期 はでの残存期 をおりますが一年未 が、マーケット	委令	の想定元本	本 本 を 記定元	価額の額面	想定元本	
い値に出まれた。	の M t M 額	額 お オプシ 本利行使価	CDS の想定元 時価評価 (Mt	価額の市場	額のおおりて、おります。 おうまい おうしょ はいい はい	
に分類できない J での残存期間を年 がでの残存期間を年 がでの残存期間をに、満 がでの残存期間をに、満 がでの残存期間を がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。	の MtM 額	元本 (権利行使 (権利行使	M 額 Mt	額面価額 —	P&L	

ただし、 下こ ル 調 0 整 を満 号 行 期 わま 次 な で いの に ŧ 残 存 \mathcal{O} お とす 期い 間 て うる。 「ス が 年リンプ 以 ル 上 調 \mathcal{O} 場 合に とい は う。 ス ケ

1 又 は 株 式 月 等 \mathcal{O} \mathcal{O} 残 現 存 物 期 ポ 間 ジ シ 3 ン 0 場 合 年 以 上 0 残 存 期 間

口 下 る 場 5 派 な 合 生 V 商 当 品 期 間 該 取 に 派引 限 生 \mathcal{O} る 商 工 品 ク 取ス 引ポ \mathcal{O} 1 契ジ 約 t 上 \mathcal{O} \mathcal{O} 残 相 存 殺 期の 間基 準 を 月 定 をめ

非 証 券 化 商 品 \mathcal{O} ネ ツ 1 JTD

口 次 に ス 百 を 定め JTD 兀 相 + 殺 るところ 六 額 条 \mathcal{O} て \mathcal{O} 口 三 十 算 グに 出 す ょ \mathcal{O} るも ŋ 三 ポ ジ 同 \mathcal{O} 非 と ョの証 こする。 券 工 ン ク化 額 ス商 ポ シ 品 彐] \mathcal{O} ジネ ヤ ツ 1 卜 ポ に ジ 対 シ す 額 る 彐 は

デフ ること シ 彐 オ が ル 1 で 1 き 時 ポ る \mathcal{O} ジ 弁 シ 彐 済 順 ン 位 は が 同 口 ング・ 又 は 劣後 ポ ジ す シ んる場 彐 ン 合 لح に 比 相 較 殺

満 期 ヤ \mathcal{O} とする。] ーは、 ま で ポ \mathcal{O} ジ 残 シ 存 彐 期 ン 間 額 が を ス年 ケに] 満 ルた 調な 整い 複 L た数 上の で 工 相ク 殺 ス す ポ る

未殺 満 12 前 お 項 場 いの て、 合 口 に ン は双 グ 方 ス のポ ケ ポ ジ] ジ シ ル 彐 調 彐 ン 整 ン 及 \mathcal{O} び L た 満 シ 上 期 彐 で ま 相 で 卜 \mathcal{O} 殺 す 残ポ る 存 ŧ 期 シ 間 0 3 が す \mathcal{O} る年相

2

3

化

商

品

 \mathcal{O}

びネ

JTD 十四

額

 \mathcal{O}

算

出

に

当

て、

用た

削保

手 付

法 債

が

第 証

九 券

+

条

及

第 ツ

九 卜

条に

定

 \Diamond

る

信

IJ 0

ス

ク

減 証

- 510 -

` K ポ 債 係 ジ 務 る ヤ 条 者] に とみ 対 に す 適 なし る 合 す て、 ク る ス 場 前 ポニー 合 に 項 ジ は 0) ヤ 規] 定 該 を を 保 債 適 証 券 用 人の保 す 対 証 す 割 る 合 12 工 応じ ク ス

4 負 いが るネ るネットJTDリスク・ポジションとする。 正 前 値となった場合はこれをショート・ポジションとなっ \mathcal{O} \equiv ットJTDリスク・ 値 項 となった場合はこれをロング・ポジションとなって 0 規 定 に より 算 ポジションとし、 出 さ れた債務者ごとのネットJTD 当該ネットJTD額が て

1 非 IJ 証 ス 券 ク 化 相 商 当 品 額 に \mathcal{O} 係 算 る 出 デ フ オ ル 1 IJ ス クに 対 する 7 ケ ツ

 \mathcal{O} IJ ź。 区 ス 百 . 分 に ク 兀 • + ポ六 応 ジシ 条 の 二 3 該 各号 はの 兀 に次 定 \mathcal{O} 非 各号に \Diamond 証 るバ 券 化 ケット 掲 商 げ 品 る に に エ 係 分類 ク る ス ネ ポ す ツ る] \vdash ジ ŧ \mathcal{O} ヤ \mathcal{O} لح

第二十 第三十 十五条に 第三十 ヤーその ヤ ヤ ジ ヤ 第三十 第三十 七 八 兀 条に 他こ 定め 第二十 条 条 に 定 れ 定 六 定 五 る + 八 8 ら 80 条 条 \Diamond 第 る中 か 二 条 に に る る 類 に 適 定 条 種 金 に 定 央 す 格 \otimes に 金 融 定め る 定 8 政 中 る 融 機 3 8 堅 法 る府 商 関 及 \mathcal{O} る 玉 中 人 る 品 向 等 際 び 玉 小 保 取 け 際 決 中事 企 険 引 向 工 業 業 業 開 済 会 央 け ク 法 等 発 銀 銀 社 者 ス 工 人向 銀 行 行 ク 向 向 ポ 等 行 向 け ス け け] 向向け \mathcal{O} 工 ポ 工 け け バ ク ク 工 1 ク ヤ ケ ス ジ ス ス ク 工 工 ツ ス ポ ポ ク ク t ポ \vdash ス ス ポ

ポポ

ヤ

十二条

定

8

が

玉

 \mathcal{O}

政

府

関

関

白

ス

ポ

1

ヤ

そ

0)

他に

これ

らる

に我

類

ず

る

中係

央 機

政

2 じ ままる める 地 るリ 等 公 共団: 門 第二十 \mathcal{O} 向 ヤ スク・ウェイ-好化商品に係る 地方公共日 体 ケ け ツ 金 エ 九 融機 条に ク ス 構 ポー 定 る 4 条に 1 け] 80 向 表の、ない等 る 工 け ジ 等 ク 定 我 工 t \mathcal{O} ス ク] めが のの バ ポ ス る 玉 ケット 表の JTD ポ ージ 第 外 \mathcal{O} 三十] 国 地 上リオス ヤ ジ 方 \mathcal{O} 欄] ヤ 一中公条央共 その ク • の政団 の他これらに類すの二に定める地方の二に定める地方の二に定める地方の二に定める地方の公共の公共のの公共のである。

区 分 分に 応じ、 同 下次下 定 \emptyset るも もにの掲 がる信用がおジショ とす る。 IJ スに ク 乗

勘案するために用いる係数は、・ポジションとショート・ポジネットの JTD リスク・ポジショキエ訴訟を	デフォルト	無格付	8 7	8 6	8 5	8 4	8 - 3	8 2	8 1		信用リスク区分	
、次の算式により得た値とするジションとの間のヘッジ効果をヨンの合算に当たって、ロングケットに属するリスク加重後の	百	十五・〇	五十・〇	=+.0	十五・〇	六・〇	=: • 0		〇 五	(パーセント)	イト	デフォルトのリスク・ウェ

3

 $\sum_{i \in long} net JTD_i$

 $HBR_b = \frac{1}{\sum_{i \in long} net |TD_i|} + \sum_{i \in short} |net| |TD_i|$

 HBR_b は、バケットbにおける<ッジ効果の係数(次項の算式に おいく回じ。)

iは、バケットbに属する商品

 $\Sigma_{ ext{ielong}}$ $netJTD_i$ は、バケットbにおけるロング・ポジションとな っている商品iのネットの JTD リスク・ポジションの合計額 いて同じ。) (次項及び第二百四十六条の二十二の二第三項の算式にお

 $\Sigma_{ieshort}$ $|netJTD_i|$ は、バケットbにおけるショート・ポジション の算式において同じ。) 値の合計額(次項及び第二百四十六条の二十二の二第三項 となっている商品iのネット JTD リスク・ポジションの絶対

のネットの JTD リスク・ポジションの合算は、次の算式によ るものとする。 非証券化商品に係る同一バケット内に属するリスク加重

 $= \max \left[\left(\sum_{i \in long} RW_i net JTD_i \right) - HBR_b \cdot \left(\sum_{i \in short} RW_i \cdot | net JTD_i | \right), 0 \right]$

 DRC_b は、バケットbにおけるデフォルト・リスクに対するマ ケット・リスク相当額

iは、バケットbに属する商品

RWiは、第二項に定めるリスク・ウェイト 非証券化商品に係るデフォルト・リスクに対するマーケッ

1 1 IJ IJ ス ス ク ク 相 相 当 額額 は、 を 単 純合算して得た額とする。 前 項 で算出 した各バケット 0) 7] ケ ツ

第三目 証券化商品(非CTP)に係るデフォルト・

額

ノン(証券化商品(非 CTP)に係るネットの JTD リスク・ポジショー

第二百四十六条の二十一 Dリスク・ポジションについ · 間 に おいて相殺 ないものとする。 証 券化商! ては、次に掲げ 品 非 CTP) るエ 0 クスポ グ 口 ス] \mathcal{O} ジ ヤ

異なる原資産

を参

照する証券化エ

クスポ

]

ヤ

]

等

証 引 資 タッチ 、 う。 おい 券化 をいう。 当てる信用損失が 産に係る信用 第二百四十 て エ クスポ メ 同 ント 以 下 ľ 一同じ。) 1 IJ • 六条の二十二第三項にお スクを第三者に が ポ ジ 元本全体に及ぶポイントをいう。 ャーに最初に損失が生ずるポ 同 イント 0) \mathcal{O} 間 証券化エクスポ (証 (アタッ 券化エクスポージ 移転する チメ 1 性質を 1 、ト・ポ て同じ。) ジャー ヤー イントを 有 イント する 間 及び に を 同 割 項 取

シェ 司 から 0) 生ずる一 原 資 産 証 を 券 参 化 照 エク す る ス 証 ポ 券 ージ 化 商 品 ヤ 1 に 等 係 \mathcal{O} る 異 間 な るト ・ラン

る。 化 るエ 商 クスポ 品 (非 CTP) S ージャー デフ 間におい オ ル 1 て相殺をすることができ IJ ス クに 0 て は、 次

0) 間 満 期 以 外 \mathcal{O} 条 件 が 同 で ある証 券化 工 ク ス ポ] ジ ヤ] 等

工 クス ることで得た 口 ン ポ グ] ジ ポ ジ ヤ 同 シ 等 彐 \mathcal{O} \mathcal{O} 個別 原 及 資 び \mathcal{O} 産 シ を 参 彐 照資 参 1 照 卜 産 す る 間 ポ 個 ジ 別シ \mathcal{O} 彐 資 ン 産 \mathcal{O} に 証 分 解化

る。 商 る。 品 第二百四十 るの (非 この場合において、 CTP) © は、 六条の二 証 券化 JTD リス]商品 リスク・ポジシュー十の二から前々 (非 これらの CTP) 条まで 規 3 と 読 定との 「 算の 非 出規 み 替えるも 証に定 券 0 は 化い 商 \mathcal{O} 7 証 とす 品 準 券 化

3

百 ケ ッ 兀 券 十六条 \vdash 化 商 IJ 品 水の二十 ス (非 ク 相 当 の 二 額 \mathcal{O} 係るデフ 算出 オ 商 ル 品 1 (非 IJ ス クに 0) デ 対 フ する 7

分及 . У トに分類するもの び 同 ス クについ 表 0 下 欄 に て 掲げる とする。 は、 次 地 \mathcal{O} 証域の区: 欄に掲げるセ 分に応じ、 匹 +ク 六の タ バのオ 区ル

3	2	1	- 番 ツ
資産担保コマーシャルペーパー		エアドを除く。) を担保とする証券及び CDO スクを担保とする証券及び CDO スクを担保とする証券及び CDO スクーパー、中小企業向け債権等を担保とす	セクター
欧州	アジア	全 地 域	地域

29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4
	る証券)	CDO スクエアド (CDO を担保とす			日子之封伪記券(CEC)				南美月才重選打付記券 (cmbs)				する証券	クレジットカード債権を担保と			信字中一等的代表 (AMDS)	ノ旦民正斧			とする証券	自動車ローン及びリースを担保			(ABCP)
その他地域	北米	欧州	アジア	その他地域	北米	欧州	アジア	その他地域	北米	欧州	アジア	その他地域	北米	欧州	アジア	その他地域	北米	欧州	アジア	その他地域	北米	欧州	アジア	その他地域	北米

2																	
分類に基	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30
づくとともに、次に定めるところ分類に当たっては、市場で一般的	さない正幹と商品) 1から 45 までのいずれにも属その他バケット(バケット番号	ドを除く。)	コーン坦呆正券及び CDO スクェー産担保コマーシャルペーパー、	担保コマーンヤレペー債権等を担保とする証券(事業担保とする証券(事業の他ホールセール向け		を除く。)(材料は、	ットカード責権を担呆とする証室ローン担保証券並びにクレジ	びリースを担保とする証券、住保とする証券(自動車ローン及	の他リテール向け債権等を		学生にしてを担保とする記券	Eューノショ 長っトる正		除く。)	ペーパー及びローン担保証券を	る証券(資産担保コマーシャル	中小企業向け債権等を担保とす
によるものとするに用いられている	全 地 域	その他地域	北米	欧州	アジア	その他地域	北米	欧州	アジア	その他地域	北米	欧州	アジア	その他地域	北米	欧州	アジア

V ず れ カコ \mathcal{O} バ ケ ツ \vdash に 分 類すること。

原 資 産 \mathcal{O} 種 類 لح 地 域 が 同 0) 証 券 化商 品 工 ク ス

は

同

 \mathcal{O}

バ

ケ

ツ

 \vdash

番

号に

分

類すること。

ポ

1

ジ

ヤ

46 個 に 分類す 別 \mathcal{O} セ クター ること。 に 分 類 で きな 1 場 合に は、 バ ケ ツ 1 番

3

証 乗 ま 合 き算 に ľ で 券 証 化 るリ 0 お 券化 期間 出 11 工 ク て、JTD リスク・ L ス商 たも ク • は、 ス 品 ポー 非 ウ \mathcal{O} CTP) 年 エ を十二・ ジ - を想定、 ヤ 1 1 \vdash 0) は、 ポ \mathcal{O} ネ するも ジ 五. IJ ツ ノスク 第六章 シ で除 \vdash 彐 \mathcal{O} ・ ウ のとする。 L て得 と 第 なる 二節 工 IJ た値 イ ス 第二 証 1 ク 券 لح \mathcal{O} す 算款ポ 化 商 る出に ジ 規 品 方 シ 式 定 \mathcal{O} に す 満 \mathcal{O} 期 場基 る

5 4 IJ \mathcal{O} ・1 相当額は、取現物ポジションに対 第 スク相当 証 現 証 ツ 券 化 \vdash 項 及 商 び IJ 品 第四 スク相 (非 CTP) N CTP) 項 当 引 対 に す 内 \mathcal{O} 規 額 公でで Ś の合 定 係 0 る同 する算式 個 算は、 準々の 価 値 <u>ー</u>の .. を 上 方式 証 第二百 に 券 バ に基 化 より 限 ケ とす ツ エ \vdash 算 兀 づ ク +る < ス 出 番 す 六 ŧ ポ 号 7 条 0 る に Ì] とす の二十 ŧ 属 ジ ケ でする 0 ッ ヤ る。 لح 卜 \mathcal{O}

証 ツ 券 化 商 IJ IJ 品 ス ス 非 ク ク CTP) 相 相 当 当 「額を単 に 私は、 係 るデフォ 純合算して得た額前項で算出した各 ル \vdash した各バケ IJ スクに とす رِّ چ ツ 対 1 す る \mathcal{O} 7

6

る

兀 目 証 ス ク 券 に 化 対 商 するマー 品 (CTP) ケット に 係るデフォ . У スク相 ル 1 当 額 IJ

第

)(証券化商品(CTP)に係るグロスの JTD リスク・ポジション

第二 2 とあ 彐 る 証 がする。 当 商 百 証 は、 るの 品の 化商品 券化· L 兀 な + こ の は、 当 商 1 グ 六 条の二 商 品 口 該 (CTP) 品のポン スの 商品 二証 場合にお (CTP) に含まれる証 券化 \mathcal{O} のうち 市 ジションの 商品 リス 場 価 て、 第二 証 ク・ (CTP)」と読み替えるものとする。 値とする。 券化 同条中 百 ポ グロスの 兀 エ ジシ 券化エクスポージャー等に ク + 証 ス 六 彐 ポ 条 券化 の 二 JTD 0) ジ 商 算出 IJ ヤ 品 スク・] につ (非 CTP)」 等 \mathcal{O} 12 規 ポジシ 該 定 . て 当 は

3 ょ ŋ 特 É 算 ポ 定 \mathcal{O} 出 順 1 とする。 ントを有 さ 位 れた 参 照 ア 型 タ す ク ツ レ る ジット \vdash チ メ ラ ン <u>۱</u> シェ分け デリバテ ポ 1 シト した証 イ 及び 一券化商 は、 デ タ 次 品 ツ \mathcal{O} チメ 算 式 に

Ø Ø BH Ç らかじめ年 4 4 × (' (ァ · 定された順位に相当する 光 人 ポイント=N÷ ∀
∃ (N-1)総銘柄 .|-- 総銘 数 桮

品 スク・ 前 (CTP) 同 条第三 ポジ 項 中 ショ 項 لح 0 証 読 規定 券化 み替 0) 止は、 算出 商 えるものとする。 品 証 に (非 CTP)」とある 券化商品 ついて準用する。 (CTP) O 0) この シネット は、「 場合 証 0 に 券 化お 商い

4

総銘柄数は、

原資産のプールにおける銘柄の総

出 証 当た 券化 0 \Diamond 商 る て 品 相殺 は (CTP) を 次 す \mathcal{O} 0) 各号に ることができる。 ネットの JTD リス 掲げる場合 ク・ 0) 区 一分に応 ポジ シ じ、 3 当 \mathcal{O} 該 算

5

イ

ンデックス参

照

型

 \mathcal{O}

証

券化

商

品

0

口

ン

グ

ポ

 \exists

び そ 含 むポ 化 \mathcal{O} 1 IJ 1 彐 ス] ポ ズポ と 並] ジ U シ 0) 相 ヤ に 彐 殺] 保 ン 等 有 が 満 参 \mathcal{O} 1 ・ラン 期 照 口 が す 異 グ シ る ハなる場 エ 1 ポ が ジ同デ 合 シ ツ で ク 12 彐 お ン あ ス け る \mathcal{O} シ 場 る 種 ョ 合 相 類 殺 及

合 ス 回ス化 ポ ポ 1 ンデ ク ジ 同] 収 商 評 ジ を • 品価 零 彐 ポのモ \mathcal{O} ヤ ツ ٤ ジ構 デ ン 個] ク لح 想 シ成 別 ル に ス 定 銘 を \mathcal{O} \exists \mathcal{O} 分 参 柄 用 相 債 解 照 L た は で 11 殺 務 型 L 場 あた 者 \mathcal{O} 合単る 分 の次 証 単解 \emptyset $\overline{}$ ロに 券 \mathcal{O} 証 ン 掲 を 化 債の す 券 グ げ 商 化 務 債 る • る 品 要 者 務 場 ポ 商 を 件 밆 の者 合 ジ 個 デのに シの別 \mathcal{O} フグ 価 あ 彐 全の 値 オ 口 0 7 債 とシ لح ルス 7 を務 市 1 \mathcal{O} 満 は 者 場 に 彐 た \mathcal{O} の慣 ょ 証] す 工 差 行 る IJ ト場ク

ポ 当 額に を た と ポ 個 す ジ シ考 2 別 て、 慮 る シ \exists \mathcal{O} 債 彐 \mathcal{O} 証 務 کے 合 分 券 者 計 解 化 \mathcal{O} JTD 貫 は L 商 性 た 品 が分 個 のリ あ解別 個 ス 前の る 別 ク é E 債 \mathcal{O} \mathcal{O} 証 \mathcal{O} 務 債ポ 者 لح 券 務 ジ す 化 に 者 シ るこ 商 係 \mathcal{O} \exists デン 品 る \mathcal{O} フに JTD オ 分 IJ ル 解 IJ ス 1 す ス ク \mathcal{O} る 影

口

従

0

た

口

収

率

を

用

1

た

場

合

 \mathcal{O}

証

券

化

商

品

 \mathcal{O}

価

値

لح

分 デ \mathcal{O} のに ツ 証 は ク 券 バ ラ ス 化 = ラ 商 シ 照 品 証 ポ 工 型 を 券 分 商 11 化 う。 シけ 品 商 彐 さ 品 \mathcal{O} うち、 ン れ 工 及 て 限 びい 丰 1 定 ゾ シな チ 彐 ラ す 11 るこ ツ 1 証ン ト券 シ ク な 化 エ ポ 分 証 ジ ク け 券 ス さ 化 ョポれ 商 ーた 品

以

1

 \mathcal{O}

ク

ス

0)

種

類

及

び

そ

IJ

]

ズ

が

同

で

あ

る

再 び 現 件 を 彐 該 ること 満] 証 た 券 す 化 よポエ う ク 、 う。 シ ス 彐 ポ 解] す 前 を ジ ることに ヤ 分 証 解 券 及 化 びの ょ エ 複 る ク 製 相 ス 前 ポ 号ポ ジ 口 ジ ヤ に シ 掲 彐 げ 等 を る及

当 ラ ンシ 照 該 ク 他 1 型 複 ス 方 ン 参 製 \mathcal{O} デ 商 工 ポ 照ポの ジ 品 後 ツ のの型 証 ジ ポ証商シ 彐 ス ジ 券 彐 品 化 ン シ に 化 ン 照 \mathcal{O} 商 彐 商 エの 品 型 0 ク ン 品 1 \mathcal{O} 11 商 ラン لح \bigcirc ス 工 て 品 \mathcal{O} ポポ ク 0 シスポ 相 ジ 口 方 殺 シ ジ ヤ 分 グ 彐] \mathcal{O} け] ジ ポ と 当 ž を複れ t ジ ポ ジ 製 該 て \mathcal{O} 彐 組 イ 11 きる ンデ な 合 \mathcal{O} V せ 複 及 ツ 場 1 に 数 び より 合 ク \mathcal{O} デ ス

五. 相 対 ま ショ 殺応 型 れ 1 商 す る ン る 밆 1 単 デ 口 を \vdash ツ 分解 ン • \mathcal{O} ク グ ポ 債 ス すること 務 参 ポ シ 者 照 型 ジ 彐 \mathcal{O} シ 構 ン 商 ョに \mathcal{O} 成 品 よ組 銘 لح ン とシ らり得 柄 1 合 せ に ン 彐 5 ょ \mathcal{O} デ れ場 る ツ た単 1 合 ク 口 ス 1 ポ グ 参 \mathcal{O} 照 シ 構 デ ポ 型 3 成 ツ 商 銘 ク 品 لح ス 柄 \exists に のに参 含

次 E 同 掲 \mathcal{O} げ る 相 デ 殺 ツ は 行 ス わ な 及 び 1 Ł 同 のとする。 0) シリー

6

ラ

シ

エ 1

間

 \mathcal{O}

相

殺

ク

ズ

に

お

け

る

異

な

同 相の 殺 1 デ ツ ク ス に お け る異 な る シ IJ ズ \mathcal{O} ポ ジ シ

異 る インデッ ク ス・ ファミリー 0) ポ ジ シ 彐 ン 間 \mathcal{O} 相 殺

ツ 証 1 化 IJ 商 ス 品 ク 相 当 額 に 係るデ 算出 フ 才 ル 1 IJ ス ク に 対 する

オと整合的なインデックスのバケットに分類するものとす化エクスポージャー等は、トランシェ分け前のポートフォリものとする。この場合において、トランシェ分けされた証券リスクについては、インデックスごとにバケットを設定する第二百四十六条の二十二の二 証券化商品(CTP)のデフォルト・

- 定めるものとする。 エイトは、次の各号に掲げる商品の区分に応じ、当該各号に2 証券化商品 (CTP) のデフォルト・リスクに係るリスク・ウ
- て得た値式に基づき算出されたリスク・ウェイトを十二・五で除し式に基づき算出されたリスク・ウェイトを十二・五で除しする証券化エクスポージャーのリスク・ウェイトの算出方トランシェ分けされた商品(第六章第二節第二款に規定)
- の値 四第二項に定める非証券化商品のリスク・ウェイトと同一四第二項に定める非証券化商品のリスク・ウェイトと同一 前号に掲げる商品以外の商品 第二百四十六条の二十の

$$\begin{split} DRC_{CTP} &= \max \left[\sum_{b} (\max[DRC_{b}, 0] + 0.5 \times \min[DRC_{b}, 0]), 0 \right] \\ &DRC_{b} \\ &= \left(\sum_{i \in Long} RW_{i} \cdot netJTD_{i} \right) - HBR_{CTP} \cdot \left(\sum_{i \in Short} RW_{i} \cdot |netJTD_{i}| \right) \end{split}$$

$\sum_{i \in Long} net JTD_i$

 $HBR_{CTP} =$ $\overline{\sum_{i \in Long} net JTD_i + \sum_{i \in Short} |net JTD_i|}$

DRC_{CTP}は、証券化商品 (CTP) のデフォルト・リスクに対す マーケット・リスク相当額

DRCbは、バケットbにおけるデフォルト・リスク ケット・リスク相当額 に対するマ

iは、バケットbに属する商品

RWiは、商品iに適用するリスク・ウ H ~ H

 $\mathit{HBR}_{\mathit{CTP}}$ は、コリレーション・トレーディング・ オに含まれる全 (CTP) のヘッジ効果の係数 てのポジションを用いて算出した証券化 兴 [7 V 4

兀 款 標 準 的 方式に 係る残余リスク・ アド オ

第

第二百四十六条の二十三 スクに対するマー スクに対するマー 度方式によるマー て「残余リスク・ 余リスク・ アド -ケット ケット ケッ アドオン」という。) オンに ・リスク相当額 ・リスク相 ・リスク相 標 準 対するマー 的 方式 当額 当額及び に お ケット を算出するものとす では (以下この条におい 1 て は、 捕捉で ジデフォ IJ IJ ス きな ル ク ス 相当 \vdash ク 1 感 IJ IJ

2 残余リス *ク* ア ド オンの 算 出 は、 次に掲 げ る 商 品 を 対 象

スク及び 複雑 な カーベチャー 原 資 産 を 有 する商品 リスクについてリスク感応度方式 **(**デ ル タ・ IJ ス べ ガ

ク 捕 前 で íc 号 き に な 対 で き 掲 す IJ げ る る ス 商 ク IJ がケ ス 品 以 含 ツ ク \vdash ま が 外 含ま 0 れ ŧ IJ る 商 Ź れ 0) 品 ク で る あっ を相 商 い当 品 、 う。 て、 額 又 は 0) 残 算 デ フ 余 出 IJ に オ ス おル クを 1 1 て 有 捕 IJ

る 商

3 ド 前 オン 項 \mathcal{O} 者 \mathcal{O} 規 取 算 定 及引出対 に カコ 清 同 象 カゝ か わ 5 5 ず、 除 外 す 次に るも 掲 対 \mathcal{O} げ とする。 る 商 品 は 残 余 IJ ス ク

第三

上

場

品

算

条 件

引

 \mathcal{O}

象とな

0

て

11

る

商

品

4 第二項 第二 商 号 に 掲 げ 集中 る 商 さの 品 はれ取 ている商 次 に 掲 品 げ る 商 品 を 含 む ŧ \mathcal{O}

 \mathcal{O} ワ デ 結 ツ イ \vdash コ ベ 合に ガ プを 1 IJ テ イ IJ よっ IJ] 単 価 ス IJ 格、 ク ス て ク \exists 相 \mathcal{O} ク 為 再 相 原 当 又 替 現 当 資 額 は 額 1 で 産 \mathcal{O} 力 き \mathcal{O} レ と 計] <u>۲</u> 算] な し 測 ベ チャ 出 デ 11 て 対象 有するプレ イ イオ で お ン 価 グに 1 格、 フを ý, てコ IJ 該 ス 有 IJ 当 か ク す つ、 す 価 に る商 る •] 格 対 商才 シ 又 株 す 3 品 品 プ は 価 る シ 金 7 彐 利 コ 1 1 スモケ

次に ギ 掲 t ツ げ るリ IJ ス ス ク ク \mathcal{O} 11 原 ず 資 れ かが 産 \mathcal{O} 含 微 ま 小 な変 れ る る化リに 商 ょ ŋ オ

デ

イ

ン

グ

を

適

切

に

ツ

ジ

する商

品

を除

彐

 \mathcal{O}

べ

ガ

パ

ラ

メ

]

タ

が

大

幅

に

変

化

す

ス

ク

を

11

う

ブ

ラ \mathcal{O} 価 コ IJ 値 タ を 0) 決 変 定 動 す IJ る た ス クを 8 IJ に ス 必 ク 要となるコ (複 数 \mathcal{O} 原 IJ 資 レ 産 を シ 有 3 す る 商 パ 品

- 524 -

り 的 生ず 行 因 るリ 等 オ \mathcal{O} ス 要 ク 因 を に 基 う。 IJ づ き ス ク 権 利 人 行 \Box 使 統 が 計 行 学 わ的 れな るこ 特 性 لح P に 社 よ会

5 な 次 í 掲 げ るリ ス ク は 残 余 IJ ス ク • ア K オ ン \mathcal{O} 算 出 は 要

一 最割安銘柄オプションによるリスク

彐 K ス 性 7 ボ 商 1 ラテ 品ル \mathcal{O} IJ イ 権 IJ 利ス 行ク テ イ 使 が の同 変 水 化準の しするリ が原 異 資 な 産 ること ス لح クを 満 期 1 に を より 有 す イ る オ プ ラ

IJ 力 彐 ス 複 ク \mathcal{O} 数 タ \mathcal{O} 次 1 原 結 プ 資 \mathcal{O} 合 産 と プ を L 有 て す Ś 表 ン さ • 彐 れ] オ えるオ プシ 口 F_{\circ} ・プシ ア \exists ン • 及 彐 ン $\mathcal{C}_{\mathcal{C}}$ タ ک カゝ イ 6 れ プ ら又のは 生 5 ず る 才 ア プ 相 メ 関シ

次 デ E IJ 原 掲 バ 資 テ げ 産 る イ が 商 ブ 配 品 商 当 品金 \mathcal{O} 11 かの ず 5 支 生 れ 払 ず カュ \mathcal{O} に る 4 該 配 で 当 リ 当する場合 構 成 ス さ ク れ て に 1 は、 る ŧ 残 \mathcal{O} で 余 IJ な ス

6

ア

K

オ

 \mathcal{O}

算

出

は

要

L

な

11

ス IJ ク ス 第 相 ク 二百 3 当 及 額び ン 兀 性 \mathcal{O} 力 + 算 を] 六 有出べ条 す がチ \mathcal{O} る さ t + 商 れ] 七 品 7 \mathcal{O} いリ 兀 を 除 る ス 12 イン ク 定 に 8 デ 対 る ッ す 方 ク る法 ス マに ょ 照ケ ŋ 型 ッデ トル 商 品 タ IJ

IJ ク 第二 ス 相 ス 及 百 ク 定 び四 相 8 が 力 +る 算] 六 方 出 額 ベ条 チの さ t れ + 出 ょ 7 1 七 が ŋ お \mathcal{O} べり、ガ さ IJ 兀 ス ガ れ に ク 定 か 7 つ、 に IJ 11 \otimes る方 る複 対 ス ク す 第 に 数 る 法 対 百 に 7 原 す 兀 ょ 資 る 十 ケ り 六 ツ 産 7 デ を 1 条 1 ル ケの 有 タ ツ十 IJ

 \mathcal{O} 7 第 出 ケ 百 ツ 兀 + 六 IJ 条 ス \mathcal{O} ク + 相七 当 \mathcal{O} 額 五 第二 \mathcal{O} 算 出項 各 が さ 号 れに 掲 T げ 11 る方法 るフ ア に K ょ

ス に 残 余リ 乗じ ク 次 \mathcal{O} て ウ 各 ス ク・ 得 号 た イ 額 1 掲 T を ド をげ 単 当 る 才 純 該 商 ン 合 商品に 商商算品の対 L の区 する たがロ 分に 7 \mathcal{O} ス 応] とす \mathcal{O} ケ 想 る 定 当 \vdash 元 該 本 各 IJ 額 号 ス \mathcal{O} に ク 単 定 相 純め 当 合る額

項 項 第二 第 号 号 に に 掲 掲 げ げ る る 品品 • \bigcirc パ 1 セ セ ン 1

兀 第 節 款 簡 易 的 易 的 方 式 方

額簡 式 に ょ る 7 ケ ツ 1 IJ ス ク 相

百 兀 易 +的 方 六 条 式 \mathcal{O} に ょ + る 兀 7 ケ 易 ツ 的 \vdash リ方式 IJ ス に ク お 相 て ゴは 額 次 に

掲

相れ 当 る ス ク • 額 オ を プ 算 力 出 \exists テ す ゴ Ź 取 IJ Ł 引 1 \mathcal{O} を لح 含 しする。 むれ簡 5 \mathcal{O} 対 す る 力] テ ケ IJ] 1 に IJ 分 ス類げ ク さる

金 利 IJ ス ク 力 テ ゴ IJ

コ外株 式 IJ ス ク 力 テ ゴ IJ

為 IJ ス ク 力 テ ゴ IJ

七

デ

イ

イ

IJ

ス

ク

力

テ

ゴ

IJ

2 前 項 簡 各 易 号 的 方式に 掲 げ ょ る IJ る ス 7 ク] ケ 力 ツ テゴ \vdash IJ IJ 1 ス ク 相 れ 当 ら額 0 0 IJ 合 ス 計 ク 額

は

力

- 526 -

て得た額とする。 したマーケット・リスク相当額を、次の算式を用いて合算しテゴリーに分類されるオプション取引を含む。)ごとに算出

CR_{IRR}は、金利リスク・カテゴリー及び当該カテゴリーのオプション取引に分類されるマーケット・リスク相当額 CR_{EQ}は、株式リスク・カテゴリー及び当該カテゴリーのオプ

CCR ex は、外国為替リスク・カテゴリー及び当該カテゴリーのオプション取引に分類されるマーケット・リスク相当額CCR commは、コモディティ・リスク・カテゴリー及び当該カテゴリーのオプション取引に分類されるマーケット・リスク

 SF_{IRR} (\$\frac{1}{2}\, $-\cdot \equiv \bigcirc$

相当額

 SF_{EQ} (1, Ξ · Ξ · Ξ · SF_{FX} (1, - · Ξ · Ξ · Ξ

 SF_{COMM} は、 $-\cdot$ 九〇

第二

款

金

利

リス

ク

カテゴ

IJ

(リスク・カテゴリー)

利

性貯金、転換 の性派 貯 百 「債券等」という。)に係る個別リスクの 四十六 生商 品 取引及 リー 条 換 権 の二十五 \mathcal{O} \mathcal{O} な 7 びこれらのオフ・バランスの V) -ケット 優先株その他 前 条第 ト・リスク相当 祭第一項第一号に 0) 金融 当号に 商 は、債券、 品並 額及び ポジション び債 一般市 た。 利 IJ れ譲 ら渡 ス

個 及に間 別 び 0 で ス ポ 第 11 ク IJ 7 ジ \mathcal{O} ス ク 百は 額 の四 彐 \mathcal{O} 額 十 関 合 及 六 連 を 条す び 相 額 のる 殺 般 す 原 L +市 資 7 る 場 五産は IJ \mathcal{O} のな ポ らの ス に ク ジ な場 定 シ \mathcal{O} 合 12 額 \otimes 彐 を る ンなお 算 要に おい 出 領 変 す 12 換 派 る 留 の生 異 ŧ 意 上 商 な \mathcal{O} L 品 る て次取通 لح す 条引貨

2 彐 シ に 彐 前 ン \mathcal{O} お 項 個 いの \mathcal{O} 別 て個 規 IJ 発 別 定 生リ ス に ク しスか \mathcal{O} 得ク カコ 額 るの わ لح 最 額 5 す 大に ず ることが の代 損え 組 失額 て、 合 は できる。 を当 当 債 該 券 該シ 等 彐 \mathcal{O}] 彐 シ 1 彐 1 1 ポ 卜 ジ ポ シポ ジ 彐

ク \mathcal{O} 相 ツ 1 デ IJ バ テ イ ブ 以 外 \mathcal{O} 派 生 商 品 取 引 \mathcal{O} ポ ジ シ 彐

る \mathcal{O} ところ 側 派 百 生 兀 \mathcal{O} 発 ポ 行 商 +ジ に 品六 者 ょ 取 条 引の二 彐 表 ン 面 いに + 利 ポ ジ 9 率 五. シ 1 \mathcal{O} 7 通 彐 は 貨 ン 0) 及 ク 現 相 レ てバ ジ 物 満 殺 \mathcal{O} 期 \mathcal{O} ツ 1 ポ が 要 ジ 領 シ はデ L ヨ い 次 IJ バ ン 同 \mathcal{O} 場 的 又 各 テ は 商 号 イ ブ 想 品 12 に定の 定 以 のよ上両 め外

相 先 L す てニ 物に る 殺 す 原 取 行 以 資 引 上 産 又 組 \mathcal{O} は 合 引がポ先 で ジ 渡 渡 き シ 取 L る。 つ が \exists 引 て 可 ン \mathcal{O} 最 能 まがポ なた、 ジ Ł 対 当 有 商 シ 利 品 L 3 て な が 物 کے 原 あ 取い 資 る 引 る 産 場 又場れ が 合は 合 6 特 に先 はの 定 お渡 取 さ い取 引 て引れに れ 7 に ら対

双 る

方 IJ ポ

2

11

7 出

外 象

す

ること

が

できる。

除対

 \mathcal{O}

ジ

彐

 \mathcal{O}

 \mathcal{O}

合

で

0

ても、

方

かず

5 れ

個 場

別

IJ

ス あ

ク

及

び

般 簡

市 易

IJ

ス 式

ク

ス

ク シ

算

す 引 る 又 ŋ とこと は \mathcal{O} 先 間 カュ が 渡に で 取 強 当 引い \mathcal{O} 相該 ポ 関 先 ジ 関 物 シ 係 取 3 が 引 ン 認又 لح めは 原 ら先 資れ渡 る 取 と 引 産 \mathcal{O} ポ きの ジ は価 シ 格 彐 当 لح ン 該 原 を 先 資 物 相 産 殺取価

る。 かは 名 同 5 目 債 様 な 価 ポ ハ 次 お、 ま \mathcal{O} \mathcal{O} 値 ジ 条 で 1 が シ \mathcal{O} 件 異 にか同 彐 派 を な 定 5 額 生 満 る \emptyset ハ で は 商 た る ま ス あ 品 で せ ワ 条 り 同 取 ば ツ 件 に 引 相プ を掲 \mathcal{O} \mathcal{O} カュ 殺 取 満 げ 原 0 口 する 引 る た 資 ン のせ取同 産 グ こと 片ば 引 に 側 \mathcal{O} 通 関 ポ が ジ の相区 貨 連 でき ポ殺 分 建 す ジ す に て る 彐 る。 ること 応 ŧ シ で ン 3 あ 又 \mathcal{O} る で は 同 が当場 あ シ で 士 該 合 ŋ 彐 ŧ き イ に

先 物 引 満 期 \mathcal{O} 差 が 七 日 以 内 で あ るこ

口

の指 ス 差 標 ス ワ が لح ワ ツ +ツ取 な プ 五. る プ ベ 及 1 \mathcal{U} シ 1 FRA ス 及 が • び 同 先ポ 変 渡 1 0) 動 ン b 取 金 1 引 の利 以 での 内 あポ 対 であ ŋ, ジシ 象 と ること。 な カュ 3 つ、 ンに る 取 引 表 0 0 面 11 て、 残 利 存 率

間 等 双双 方 方 \mathcal{O} 又又 差 はは が 次 に 方 方 \mathcal{O} 定 \mathcal{O} 残 残 \emptyset 存存 る 期 期 限 間 間 度 内 等 等 がが で あ 月 月 ること。 七以 未 上 満 \mathcal{O} _ 内年場 合 以 は 下 の同 日 場

(2) (1) 期

合

る

を

(3)残 存 (1) 期に 間規 等 定 す が لح ŧ 場 に 合 年 除 <_ 超 \mathcal{O} 場 合は は 三 日 十 以 日 以 内

り は 次 百 ツ 兀 V ジ + ジ さ 六 ツ れ条 F た \mathcal{O} デ ポ ジ + IJ シ バ 五. \mathcal{O} テ 彐 イ に ブ 関 0 ク ポ す る ジ シ 個 ツ 别 1 彐 IJ デ ス \mathcal{O} ク IJ 相 0) 殺 バ 相 テ 殺 イ ブ 0 要

に

領 ょ

0

뭉

に

定

め

るところに

ょ

る。

額 加 彐 لح す 0 減 商 る 口 彐 品 を ン は で グ 完 あ 全 が び次 ると ポ お他 ジ 相 お 方 1 シ 殺 むが] 又 彐 す ね 常 ること 同 に 口 及 じ 減ポに び 程 少 ジ 定 シ が す 度 でき 彐 で る る 3 あ場ン 場 ると 合 の合 1 で価の ポ き あ値ほ ジ は つのか て、 う 双 ちロ 彐 方 そ ン ン のの方 グ が ポ増 同 が 加増ポ

ワ 産 ツ がタ 現 完 ル プ 物 全 で \mathcal{O} にリヘ 口 同タ ツ ジ グ で ン す る あ ポ る ジ ス 場 لح ワ 合 シ ツ 彐 又 プ は ン 0) そ を \mathcal{O} 参 1 照逆 債 の タ 務場ル 及合 IJ び で 当あタ 2 該] て、 現 物 資トス

る。 定 Ì れそ 85 ツ セ なの 方 グ・ 組 る 1 た ン 増 が ス 現 11 合 だ 卜 ワ 物 を 場 کے 加増ポは لح き 加 ツ 相 合 IJ 額 ジ 殺 等 他 لح す プ は シ次 若 割 のク ク 減 る 方 \exists に グ 債 個 掲 合 制 レ \mathcal{O} 少 ン < 限 にジポ別 額 き 及 げ に ポ 9 的 支 ツ ジ IJ が び る は トシ V な 払 ス お 他 シ 要 シ 7 支 額 彐 ク お 方 ョ件 ジ 彐 考 払 をデン のむ が 1 \mathcal{O} 慮 フ 常 全 ツ 条 古 の高 ね 卜 す項がすれ \vdash を 全 同 7 V \ 12 ク 額 方 ľ 減 ポ を IJ b 存 る を \mathcal{O} 程 満 \vdash 少 ジ 相 す \mathcal{O} 条 • ポ 在 度 た لح ク ツ す 項ス殺 ジ で る 彐 す す 債 \vdash る やワ す シ あ 場 ン 場 ップスと で 場 第ッ る 合 \mathcal{O} 合 デ 合 九 ىل で 価 \mathcal{O} ツ フ +のは あ 値ほ ジ オ 九はが八 認 は 0 \mathcal{O} カコ て、 +しル 条 ク で \Diamond う そに V き ちロ た 卜

は

逆

場

合

で

ること。

彐

資

産

が

ク

デ

フ

又

ジのあ

}

IJ

クレ

債

 \mathcal{O}

決ト

済

 \mathcal{O}

た

めオ

- 530 -

ること。 債 務 及 び 信 用 事 由 判 断 \mathcal{O} た \emptyset \mathcal{O} 参 照 債 務 に 含 ま れ

イ が 1 ッジ 同 ス で ワ プ ポ 又 ジ は シ ク 3 レ ン ジ \mathcal{O} ット 資 産 と IJ ン ク ク レ 債 ジ \mathcal{O} ツ 7 卜 チ デ ユ IJ フ テ オ

て IJ 8 \mathcal{O} ク \mathcal{O} 参 ク 債 レ 照債 務 ジ ット を含 債 \mathcal{O} 務 決 に済 λ で \mathcal{O} デ フ 11 た ること ツ オ \emptyset ジ 0) ル 対 参 卜 象 照 ポ債 ス ジ 務 ワ シ 及 ツ 彐 び プ 信 ン 又 لح 用 は 同 事 ク 由 の判 ジ 断 通 ツ 貨の 1 建た

のジに IJ 基 ク 価 ツ 1 ク V 格 づ (債の信用) 変 き 動 IJ 幅 ク ン と ク 用 レ • 大債ジ 事デ きく フ ツ 由 \mathcal{O} \vdash オ 価 乖 格 決 ル 離 変デ 済 1 動 フ 方 て オ 幅 法 ス いがル そ ワ \mathcal{O} な 1 ツ ツ 11 他 プ ジ ス \mathcal{O} 又 ワ 対 主は 象 ツ 要 ク プ ポ な ジ 又 契 ジ 約 シは ツ ョ クンレ 条 \vdash 件

ショ 己 な に 組 当 資 動 V 合 、ことをな 該 本 くン は 参 賦場及 照債 課 合 び 次 除象 \mathcal{O} はシ \mathcal{O} きポ ヨ い 対 務 象 と ジ] ず 個 当 لح 第 シ 別 1 れ 3 することが 該 IJ か へ 号 ン スポに ツ ロの ク ジ 定 ジ 資 シ \mathcal{O} \mathcal{O} 8 対 条 産 高 \exists る 件 で 象 ン 場 が V きる。 ポ を 参 \mathcal{O} 合 ジ満 照 価 \mathcal{O} シた債 ポ 値 ほ 彐 す 務 ジ が か 場 に 通 \mathcal{O} 合 含 彐 常 口 資 ま ン 反 ン 産 たれ 対 グ \mathcal{O} だ みの は 7 しい 第 を方ポ

自 向

口 除 貨 グ 対 で ポ な 号い 産 イ が 彐 \mathcal{O} 条 又 及 件 は び を 満 チ \vdash 彐 た ユ] す IJ デ \vdash 場 テ フ 合 ポ オ イ が ジ シら 同 1 日 で ン ス なが ワ ツ 同

+

Ŧī.

第五

 \mathcal{O}

要

件

を

満

た

たさな

け

れ

ば

な

な

- 531 -

5 又 又 は は 務 ホ に ク ツ ま 7 ク . 含 ま レジ で チ レ に ジ 対 象 定 れ ツ な 1 資 めテ 1 産 る 11 イ こ と IJ が 全 IJ が て ン ク 同 ン を ク レ \mathcal{O} ク 除債 ジ 条 で 債 ット き、 件 な と同 \mathcal{O} 信 を V 第二号 満 用 と た 事デ \mathcal{O} を フ す 由 通 場 オ 判 除貨 イ か断ル き 建 5 \mathcal{O} 1 ホ た 二号 な ま \emptyset ス で ワ \mathcal{O} 11 イ に 参 ツ カュ

己 シ 資 彐 前] 三号 る 本 決 賦 全 1 済 課 12 \mathcal{O} て を行 た ポ 該 \mathcal{O} ジ 当 \otimes 条 ·う。 シ し \mathcal{O} 件 参 彐 な を 満 照 1 場 債 た \mathcal{O} 合に 双 務 す 方には に 場 含まれ 合。 対 ただし、 L 口 てい て 個 グ るこ 別 • IJ ポ \sim لح ジ ツ ス クに を ジ 要 彐 対 す 係 ン 象 。 る。 る 及 資 自 産定照 び

兀

利 IJ ス ク 力 テ ゴ IJ 1 0 個 別リス ク

が を 1 玉 に 券 百 とす 達さ 等 U 掲 号 兀 \mathcal{O} のに 地 て げ +ること 得 る 銘 掲 六 n 方 げ 条 た 公 た X 柄 る金 ŧ . 分 共 額 ごと \mathcal{O} が の団 に \mathcal{O} で 合 応 \mathcal{O} 利 +に体 てきる。 ついて² IJ \mathcal{O} 計 じ ネ Ŧī. ス 発 額 同 ツ \mathcal{O} 卜 ク・ 表 行 لح 兀 ける円 す は \mathcal{O} カテゴ る。 第二百 下 ポジションの 欄 IJ 建 た に ス リー ただし、 ク 定 兀 て 十六条 8 0) \mathcal{O} るリ 債 ウ 個 券 額 エ 日 別 等 ス の二十 1 本 IJ ク・ \vdash 玉 \mathcal{O} 、スク を う 政 次 ウェ 5 府 0) 兀 零 0) パ円 又 表 第 は 1 \mathcal{O} 1 建 は、 セ 7 我 1 上 項

がれ政

た 府

格 債

適 に

機

ょ

付

さ

区与

対格

する 付

信 関

用 に

IJ

ス ŋ

ク

分

零

1 付

で

あ

るも 応 格

0

債

券

等

0

種

類

IJ

ス

ク

ウ

イ

1

セ

	0
一·六〇	同 (残存期間等が二十四月超のも
-	以内のもの)
	同 (残存期間等が六月超二十四月
- - -	0)
	優良債(残存期間等が六月以内のも
八・〇〇	同 (無格付であるもの)
	1-6であるもの)
+:	た格付に対応する信用リスク区分が
	同 (適格格付機関により付与され
	1-4又は1-5であるもの)
八・〇〇	た格付に対応する信用リスク区分が
	同 (適格格付機関により付与され
	ち、残存期間等が二十四月超のもの)
- - - (1-2又は1-3であるもののう
	た格付に対応する信用リスク区分が
	同 (適格格付機関により付与され
	内のもの)
	ち、残存期間等が六月超二十四月以
-· · · · · ·	1-2又は1-3であるもののう
	た格付に対応する信用リスク区分が
	同 (適格格付機関により付与され
	ち、残存期間等が六月以内のもの)
- 3	1-2又は1-3であるもののう
	た格付に対応する信用リスク区分が
	同 (適格格付機関により付与され

た がれ 格 た 4 5 又 付 格 他 無 に 適 4 付 対 5-格 で に 格 あ対格 付 格 心する信 る応 付 格 あ 4 Ł 機 す 付 関 る で \mathcal{O} る 機 ŧ あ 用 に 信 関 るも 0) IJ ょ 用 に ス ŋ IJ ょ \mathcal{O} ク ス ŋ 付 区 ク 付 与 分 さ 区 与 がれ 分さ +=-00 0

注 $\underbrace{1}$ う。 団 体 の政 発 府 行 債 する債 と は は、中央政党 れ 府 5 又 のは 保 我 証が す国るの 債 地 券 方 を公 い共

注

 $\frac{\overline{2}}{2}$ 11 IJ 適 五た 経 社 者 行 営管理・ 債 を ス 格 ウ 条 に 準ずる。) の 二 券等 ク 格 た 工 優 債券等、 区 付 イ 良 債」 機 のの 会 分 卜 基準 うち 関 とすることが 社 外 が とは、 に 玉 4 外国銀 より に 第 保 \mathcal{O} 金 三十四 照らし 除会社 3 会 融 け与され 又は 機関 行、 共 認めらて二十 _ 条、 第一 5 及 部 第 び 門 行 ー 十パー 十パー 種金融: た格 3 持 又 れパ 以 条 は 株 上 付 て 第 玉 に セ五株 で 11 商 七 際 会 対 ント 条 品 号 あ る 開 る債 応 b 又 社 取銀口 発 す ののは 引 \mathcal{O} 行 に 銀 る IJ 第 業 券 発 持 掲 並 行 三 ス 等 信 行 者 株 げ U \mathcal{O} を用にク 十し 会 る発

百 兀 利 + IJ 六 ス 条 ク \mathcal{O} 力 + テ ゴ 五. 0) IJ] 五 0 第二百 般 市 場 兀 IJ + ス の六 条 \mathcal{O} +

額第

号に

る

利

IJ

力

テゴ

IJ

は

次

条 掲

に げ

定

 \emptyset 金

る

7

チ ス

ユ ク

IJ

/ ティ法

又

は

第

兀

六

条

百 般

十 場

市

IJ

ス 第

ク

の項

兀

続記ンし 法 た L 載 Ŧī. を別に した て 使 七 用書 い 掲 に す 類 るげ定 るも作 組る 合 もる の成はのデ し、 と のュ する 価 合 V 保格計] 存感額シ 仔するとともに感応度の計測を観とする。ただ 彐 ン んの計でを を 測た用 に方だし、 該に 通 計測方法デュレーごとに を 項シ 算 継をヨ出

債 券 等 \mathcal{O} 全 体 \mathcal{O} ネ ット • ポ ジシ 3 ン \mathcal{O} 額

追 彐 て得 ス す L 7 法チュ てい す る 同 á ら場 が合にお 間一期間 IJ 部 る 用 分を ポジ いティ いのい帯 シ場法 う。 て内に 彐 合 を で あ にン は用 以下 つ対お間次い て、 当いて \mathcal{O} る している。 同 バ 口場 ľ マー \mathcal{O} 合 表は -ケット る部分: に次 部分に · 掲 げ \mathcal{O} \mathcal{O} 額 1 るの IJ ーシデ各 表 3 イ期 ス 定 ク相 \mathcal{O} ン ス間 デ 割同ア 帯 ユ 当 \pm 口内 合 V 朝を を] で] に乗相ア対シ

セント以上 ーセント未満 表面利率三パー 表面利率三パー	期間帯(残存期間等)	イ マチュリティ法の期間帯等
イパエン	リスク・	

想定金 変動幅

表

イント) (パーセ

月三

以月

月三

以月

下 超

 \bigcirc

兀

 \bigcirc

 \bigcirc

 \bigcirc

下超下超

月六

以月

月六

以月

下超

 \bigcirc

七

 \bigcirc

.

 \bigcirc

 \bigcirc

月一

以月

下 超

三

月一

以月

下 超

 \bigcirc

 \bigcirc

 \bigcirc

月

以

下

月

以

零

 \bigcirc

- !	535	_
-----	-----	---

	- • •		一月以下
かイント)動幅	ーセント・ポイ想定金利変動	期間等)(パン	期間帯(残存期
	守	ョン法の期間帯等	ロデュレーショ
		扱うものとする。	券として扱っ
ント未満の	利率三パーセ	-ポン債は表面到	(注) ゼロ・クー
〇・六〇	十二 〇 五	二十年超	
〇・六〇	八 • ○ ○	二十年以下	
○⊁・○	六・00	十二年以下十二年超	二十年超
〇・六〇	五. · 二 五.	十・六年以下九・三年超	二十年以下
〇・六〇	四 五 〇	九・三年以下七・三年超	十五年以下
○・六五	三・七五	七・三年以下五・七年超	十年以下七年超
〇・七〇	三二五	五・七年以下四・三年超	七年以下五年超
〇·七五	二・七五	四・三年以下三・六年超	五年以下四年超
○・七五	二 二 五	三・六年以下	四年以下三年超
〇、八〇	一・七五	二・八年以下	三年以下
〇・九〇	一 二 五	一・九年以下	二年以下一年超

		。)の額	マーケット・リスク钼当額でしる音気に一定の害合を	いるの分に一三)川介当するポジション同士	のホリゾンタル・ディスア	三 次の表に掲げる期間帯の	二十年超	十二年超二十年以下	十・六年超十二年以下	九・三年超十・六年以下	七・三年超九・三年以下	五・七年超七・三年以下	四・三年超五・七年以下	三・六年超四・三年以下	二・八年超三・六年以下	一・九年超二・八年以下	一年超一・九年以下	六月超十二月以下	三月超六月以下	一月超三月以下
利率三パ ゾーン ゾーン 一・三	·) 同一 隣接 ゾーン		こ追加する部分をいう。以下 乗じて得られるものであって	はいはようにないで、対相殺する場合において、対	ローアンス(期間帯間において	間で対当しているポジション間	〇・六〇	〇・六〇	〇・六〇	〇 · 六〇	〇・六〇	〇・六五	〇・七〇	〇・七五	〇・七五	〇・八〇	〇・九〇	-· OO	-· OO	-· O O

=		ゾーン	四		三		ゾーン		+ -	-1-		======================================	_ <u>=</u>	ゾ - ー ン					パー
	五年以下	四年超	四年以下	三年超	三年以下	年超	二年以下	年超	十二月以下	六月超	以下	三月超六月	三月以下	月超	月以下			以上	パーセント
	四・三年以下	三・六年超	三・六年以下	二・八年超	二・八年以下	一・九年超	一・九年以下	一年超	十二月以下	六月超	六月以下	三月超	三月以下	一月超	一月以下				ーセント未満
	三十				- -	Ξ -						四十				<u>}</u>	セン	(パ)	内
								四十								<u>}</u>	セン		間
								百								<u>ኑ</u>	セン	(デー)	間

一 前条第二号イの表に掲げる十三又は、次の各号に定めるところによる。第二百四十六条の二十五の六 マチュリ ヘマ (注) チ ユ 表口 ーリティ 二十年以 十五年以] <u>二</u> 十 十年以一 面 デ 十五年超 七 十年超 七 五. 利率三パ 年 ア ユ 年 年 年 以 超 超 法 スの 下 下] 超 下 下 シ 額を算出す] + 九 • 七• 表に掲げる十三又は 十二年超二十 五 + 九 • 七• 十二年以下 五. 兀 セント 二十年超 年以下 三年以 三年以 六年以 三年超 三年超 七 六年 三年 七年 年 ·未満の欄を用いることとする。Iする場合においては、期間帯は基づきホリゾンタル・ディスマ 以 超 超 超 テ +イ 五. 法 に \mathcal{O} による算 期 間 帯 出 カコ 5 方

成

法

はア

ごとに 用 ロに て ス 彐 · を算 得た 十パ るた ンに 各 す ク 7 る、 ジ チ ア ン] 出 も前 間 シ作め 力 算ス す IJ セ \mathcal{O} 条 帯 \exists 成の対 テ 同第二 出の る。 ント 表 象 内 額 を、 を イ \mathcal{O} と を を 号 いな 口 う。 す 1 ラ 乗 の相 ン 7 券 る \mathcal{O} 小じて る。 チ 場 殺 \mathcal{O} グ 等 取 Ĺ • 1 合 ユ 表 の以 引 般 得 に に ポ IJ 口 下 を 市 ヘマ たお各 定 ジ テ ン 残 場 額 い期 シ グ \mathcal{O} \otimes 存 IJ るリ て、 を 間 彐 条 期ス ラ バ 帯 ン ポ に IJ 間 ク ス ダ 相 内 又 ジ お 等 0) テ ク] シ テ 殺 \mathcal{O} 1 は 11 に 額 に • イ \mathcal{O} ネ \exists 7 シ ょ を ウ 投 力 対 ツ 3 ン 同 ŋ 算 1 又 は 象 入 ル エ 分 出用 す とな 1 \vdash す うる。 デ ポ 1 • シ て L る るジシ乗 イ ヨを て ポ に ジ 計 ス 通 利 ョじ ア分 貨算使リ

兀 \mathcal{O} 条 ス る V 条 この 第三 て 相 \mathcal{O} 第 \mathcal{O} 割 合 前 場 額 合 لح を 号 を乗じる とす 場 号 1 乗 合 号 で 殺 ľ に の算 合 \mathcal{O} 出さ る。 お表いに 表 に 以 7 上 得 て お ゾ に て、 シ 定れ 得 1 定れ \mathcal{O} た 1 たゾー て、 ンご 相 \Diamond た \otimes 彐 額 相殺の対象なるところに、 る 殺 を 額 ところに、明間帯内の \mathcal{O} を 相と ホ 殺 を 額 通 IJ ンごと ホ 殺の ネ ゾンタ とする。 じ IJ \mathcal{O} 象とな て残っ ット ゾ 対 ょ \mathcal{O} ン 象 ょ • タ ル り ネ لح り る部 た 部 な ゾ ツ ル ポ 同 ジ る部 デ \vdash 表 分 1 分 ン • デ シの を スに 間ポ 分 \exists 各 1 債 ア ジ ン 同 で ス に 券 口 表 相 シ ア 同 を] 等] 表 算 に 殺 口 ン 彐 出内 \mathcal{O} ア 定 す に る。 に 全 \emptyset を 定 す ア 体スる るお前 \otimes

前

뭉

で

さ

た

各

 \mathcal{O}

ネ

ツ

1

ポ

ジ

シ

彐

を

五.

取

規

が

さ

通

ては、

まとめ

7

異の

なマ

テ

ラ

小

を

用 V

ることが 貨につい

できる。

ただし

- 540 -

る 通 貨 間 又 は 異 な る 期 間 帯 間 で 相 殺 L て は な 5 な

デ ユ] 彐

法 は 百 兀 次 + の六 各 条 \mathcal{O} 定 十 \otimes 五. るところ \mathcal{O} 七 デ 12 ユ ĵ V る。] シ 彐 ン 法 に ょ る 算 出 方

等 幅 期 を 7 に 額 \mathcal{O} 間 法を] 0 12 诵 計 を 第二 価 期 間帯ごとにいいまするため 算 ポジ 間 に 対 格 する 投 感 出用带百 ショ 入する。 応 す いか四 各にに作め てら成六に 度 る ンを を 際 券 め成の 条 乗 に 利 る 乗じ 等 し、 IJ 5 表 じ 使 デ \mathcal{O} を て のれ 用 ス 得 価 ク て た各 V す V + . う。 る、 得 格同 対 た 1 五. たも ŧ 感 表 象 力 シ \mathcal{O} 取 応の テ 五. 以 対 彐 \mathcal{O} 下 引 第二 ゴ \mathcal{O} 度 下 を 象 ン : の を、 \mathcal{O} 残 لح IJ を 欄 な ラ 号 計 に 残 存 る デ 測 存 ダ 定 号 期 \mathcal{O} 口 ユ 1 \Diamond 期 に 間 取 一 L \mathcal{O} レ る 間 お 等 引 般 表 **(**デ ۲] 等 想 1 に \mathcal{O} 市 に シ れ 定 に 7 ょ ポ場 ユ 掲 彐 に 対 ŋ ジ IJ 金 同 レ げ 各 利 応 じ ス Ì 分 シ る 債 変 ク す 類 \exists +券 動 る ラ \mathcal{O} \exists Ŧī.

・デ 前号で となる部 ポジ イ 、投入さ ス シ 分に ア 3 口 ン 1 を 五. れ パ ア 算 た 出 ン] ŧ ス セ す \mathcal{O} ント رِّ چ \mathcal{O} 同 額とする。 \pm この を乗じて得 を 相 場合に 殺 Ļ たお各 額 1 期 て、 を 間 バ 帯] 相 内 テ 殺 \mathcal{O} 1 \mathcal{O} ネ 力 対

前 タ 条第三号 ル ポ デ 1 か ス 5 0 ア 第 口 五 額 を] 号 算 ア ま でに定 出 ン スの する。 額 \otimes る方 及 び 債 法 券 に 準 等 \mathcal{O} じ 全 て、 体 のホ ネ

第 株 式 IJ ス ク 力 テゴ IJ

(株式リスク・カテゴリー)

 \mathcal{O} 生ク スンの 商 のの 1 価 額 百 す 額ポ 品 並 格 兀 は る。 個 取 及 ジ び 変 げ + 別 引びシ に 動 株 る 六 彐 性 条 IJ に 式 株 つ般ン れ ス 式 転 IJ ク い市 5 示 て 場 以 換 \mathcal{O} \mathcal{O} す ス IJ 権 ク 額 は 下 派 転 ス 生 換 及 \mathcal{O} び 関ク 株 商 証 な 力 連の式 品 券 V テ 等」 般 す額 及優 ゴ 百 取 るの 先 IJ 市 引 び 兀 原合とい 場 及 株 株 1 + び 式 IJ をの 六 **う**。 産 額 ス 売 除 条 7 と れ 買 く。 ク \mathcal{O}] 0) \mathcal{O} ポす 5 に ケ るに 額 ジ \mathcal{O} 係 + ツ を 係 才 る 1 兀 算 ョた る フ 株 だ 個 3 IJ 出 ン 式 に 別 バ す L ツ لح ス 項 る 変 IJ ラ 1 同 ク 第 様 相 も換派ス メ

す 式 百 号 シ 等 彐 兀 のに ン 彐 +同 全 掲 六 \mathcal{O} ン 士 場 7 げ 条 \mathcal{O} は 合 額 \mathcal{O} る \mathcal{O} 株 相 に \mathcal{O} 口 殺 式 +お合 グ・ IJ す 計 六 11 の 二 て、 額 ス ること に、 ジ 同 ション 力 八 パ 第二百 が テ できる。 銘 ゴ] 柄 \mathcal{O} IJ 又 セ 兀 1 額 は 十六条 ン 及の \vdash 同 \mathcal{U} 個 を 全 別 の二十 \mathcal{O} 乗 リス 7 株 じ \mathcal{O} 価 て ク 得 兀 指 \mathcal{O} 彐 た 数 第 額 \mathcal{O} 額 は、 ポ 項

な ポ た る 同 オ 前 る 取 カゴ 項 彐 価 引 \mathcal{O} b \mathcal{O} 合 成規 指 所 株 ン \mathcal{O} る で 価 定 裁指 額指に \mathcal{O} 先 定 数に 数か 取の 取か パ 引 取引先 わ] 引 を を 5 ず に行 取 セ 行 方 0 引 ン う 2 1 て 1 場 に 分 を 合 散 取 7 11 0 乗じ V 引 同 る に 度 に じ 場 T お \mathcal{O} て 異 0 日 合 い高 得 1 付 又な T 1 たは株 では \mathcal{T} る \mathcal{O} 裁同日 額 式 4 と そ 定 付 す 個 取 で若 のポ る。ネ 別 引な L] IJ を < ツ 1 ス行類 は 1 フ っ似異 オ

3

2

4 L \mathcal{O} な 額 11 を こと 算 出 が で 他 る。 方 \mathcal{O} 取 引 に 0 11 て は 個 別 < IJ ス ク \mathcal{O} 額 を を 算

出

 \mathcal{O} バ広 ス ツ 範 1 ケ な ツ 株 \vdash IJ 式 ス に ク 対 ょ 相 当 ŋ 当 L 構 額 て 成 \mathcal{O} 11 さ 算 るれ 出 場 る 合指 を 要 は数 し に な 個 基 別 づ IJ ス先 ク 物 に取 対 引 す る株 マ式

(株式リスク・カテゴリーの一般市場リスク

第 にシ額 は \exists 百 号 兀 \mathcal{O} 各 に +セ 額 取 掲 六 と引 ン げ 条 \vdash 全 所 る \mathcal{O} てに株 を 乗 つ式十 \mathcal{O} じ いリ シ 六 て 彐 7 ス \mathcal{O} 得] ク 組 た 1 合 額 力 第 が ポ保 テ テ 二 ゴ 百 \mathcal{O} 合 ジ 有 計 シ IJ す 兀 額 る 1 彐 + ン 全の六 す \mathcal{O} て 条 る 額の般の \mathcal{O} 口 市 差 ン 場 + グ IJ \mathcal{O} 兀 ス 絶 第 対ポク 値ジの項

四款 外国為替リスク・カテゴリー

第

玉 為 替 IJ ス ク 力 テ ゴ IJ \mathcal{O} 7] ケ ツ 1 IJ ス ク 相 当

ににク 定 相 に 百 80 当 掲 兀 る方 額げ +はるめ セ 六 ント 法 外 条 に 金 国 \mathcal{O} を よ及為 乗 り び 替 + じ 算外リ 七 て 出 国 ス 得 す 為 ク 第 た る替 額とす 全のカ 百 本ポテ 兀 ゴ \mathcal{O} ジ 十 ネシリ 六 ツ 彐 1 条 1 \mathcal{O} \mathcal{O} を 7 ポ対] 十 象ケ 兀 シ لح ツ 第 彐 1 項 の次 IJ 第 額条ス

0 _ 額外 玉 \mathcal{O} 算 為 出 替 方 IJ 法ス ク 力 テ ゴ IJ \mathcal{O} 全 体 \mathcal{O} ネ ツ \vdash ポ ジ シ 彐 ン

第二 百 兀 +六 条の二十 七 の 二 外 玉 為 替 IJ ス ク 力 テ ゴ IJ]

 \mathcal{O}

るところ 体 ネ ツ \vdash ポ シ 彐 ン \mathcal{O} 額 0 算 出 方 法 は 次 \mathcal{O} 各 号 に 定

ポ 上 て て が 八等及び ネ ジ 保 でき は、 通 シ 有 ツ F 5 彐 す • ること 主 ン 準 たる \mathcal{O} 的 ポ 場合 を 額 な ジ لح が事 シ 測 合 次 み で 務 \exists 定 に に 計 きる な 所 ン 単 す あ 掲 すこと る 以 \mathcal{O} 位 0 げ 外 外 額 て る 玉 \mathcal{O} を オ た は項 が 算 ン だ 事 為 目 できる ス) 替 務 出 (J 持 に 所 す つるも 高 に 金 掲 で ス ŧ \mathcal{O} 9 表 げ ク \mathcal{O} \mathcal{O} 限い 示 ポ る 管 \mathcal{O} とす ジ 度 7 と 項 理 には、 額 Ļ 目 上 る。 円に を 彐 を 必 ネ 内 連 ン 除 要 に ツ 部 結 換 < が 子 算 1 管 0 な 理法しい

含 ネ ネ む ツ 通 ツ 1 貨 \vdash ごと 先 直 物 物 ョポのポ 資 ジ ジ シ 産 シ と 日 彐 ン 負 ン 債の 額 \mathcal{O} 差 (通 未 額 貨 を収 スワ い利 う。 息 及び ツ ブ \mathcal{O} 未 払 元 本 利 息 う を

口

イ

引 5 \mathcal{O} を含 実 将 直 行 来 物 額む を受 ポ 求 取 ジ \Diamond 額 シ で 5 کے 将 あ ン れ に 0 ること 来 て、 支払 含 ま 求が額れの 償 のな額 確 して 差 実 1 な 額 ŧ b 保を \mathcal{O} いう。 を含 口 収 \mathcal{O} む 見 先 れ 込 لح 物 み類 為 が似 替 な \mathcal{O} 取の い取 引

ホ 額 そ で 口 \mathcal{O} あに 他 つ該 て、 当す 為 替 損既る に 益 ŧ \mathcal{O} 完 \mathcal{O} 額全以 に 外 \sim 0) ツ 将 ジ 来 が 発 行 生 す わ れ る 7 受 い取 る 額 Ł 又 \mathcal{O} は \mathcal{O} 支 額払

ŧ

 \mathcal{O}

 \mathcal{O}

ぞ グ のれ す 1 に ポ つい 及び ジ 7 口 合 を ンた と通シ貨 計 合 する。 計 3] 全 1 体 0 ポ ネ ジ シ ツ 1 彐 ン ポ \mathcal{O} ジ 別 シ に 分 彐 け て \mathcal{O}

前

で

算

貨ごと

 \mathcal{O}

ネ

ツ

 \vdash

ポ

ジ

シ

彐

ン

 \mathcal{O}

額

を

そロ

額

れの 金か合 前 大き額 で い又得 額はら シれ 彐 た 全 1 7 \mathcal{O} ポ通 ジ 貨 シ \mathcal{O} 彐 口 ン \mathcal{O} グ • 額 のポ 合 ジ 計 シ 額 彐 \mathcal{O} いの ず額

ツ 1 ポ ジ シ 彐 ン \mathcal{O}

口

額

第 五. 款 コ モ デ イ テ イ IJ ス ク 力 テ ゴ IJ 1

 $\widehat{\exists}$

モ

デ

イ

テ

イ

IJ

ス

ク

力

テ

ゴ

IJ

]

 \mathcal{O}

7

ケ

ツ

 \vdash

IJ

ス

ク

IJ るリモ 商 ス 簡 テ デ 品 に 百 当 便 取 ク 掲 兀 1 1 額 相 的 引 げ テ 十 な ラ イ 当 る 並 六 等」 方 ダ コ び 額 条 式 に は 七 \mathcal{O} を とそいの 方 用 式 コ イ +, う。 又 オ モ テ 11 八 は フ デ て イ 算 第 イ IJ 出 を バ テ ス ラン す 百 対 イ 百 ク・カテゴ 外象とし るも 匝 兀 **金** ス ++ \mathcal{O} \mathcal{O} 六 を除く。 六 とする。 ポジ 条 条 次 \mathcal{O} IJ] 彐 +0 定 及 八 兀 7 \mathcal{O} 8 め(びる以そ び 第] 三 ケ に \mathcal{O} 下 項 7 チ - 派 定 第 \otimes ユコ 生

あ又にめもた的っけ引にの、な は 引に \mathcal{O} な 前 とす 渡は、 各 測 項 L コ 定 \mathcal{O} る。 そ 以可 同 モ 単 7 上能 デ 位] ک 適 のな \mathcal{O} イ ケ テ バ 期 コ コ \mathcal{O} ツ 性間 モ 場 イ モ レ \vdash を のデ デ 合 等 ル IJ 価 イ 1 に 0 検 ネ 証 格 テ テ お 丰 ス ク す 変 1 1 口 V ツ る 動 等 等 て、 \vdash グ 相 / ラム、 当 体 間 \mathcal{O} \mathcal{O} の間間ポ ポ 額 制 を 相 に 又 ジ ジ 整 シ 関 お は シグ 算 出 ラ 備 い 相 彐 係 彐 す 数て Δ 互. ン す ン 等) る に間 が を る Ł ○ 直 決 円 際 で 近 済 相 に で に 九 す \mathcal{O} 殺 換 表 は る 算 以 す 示 る。 上年た る す さ 標 で間めたるれ準

2

チ IJ テ イ ラ ダ 方 式

にだンデ 日 ユ 合 投 以 し \mathcal{O} 1 IJ 計 当 コ シ 内 額 テ テ L ポ 各 入 兀 七 す を、 彐 に イ た ジ 期 現 イ のデ + 間 ン期 る 物 等 す 1 六 帯 の限 \$ O \mathcal{O} ラ 彐 7 出 テ の在チ シ内 を 方 は迎と] を ョに 庫 ユ 法 IJ グ えし が を 算 \mathcal{O} お 対 は あテ 当 る • 各 号 場 1 出 ス L る イ ポ \mathcal{O} 基 合 T 口日 コ 次ク ジ 表 に 対 て ン 次 場 モ 準 に 当 グ \mathcal{O} 合 ラ シ デ に 日お定 力 11 るポ 受 にダ 彐 イ 掲 テ \mathcal{O} \emptyset L 11 7 ポ 渡 テ ン て げ 現 7 0 いに ジ ジ 日 \mathcal{O} イ る 物 IJ ユ 1 シ シ がて 投 る 額 等 七 価 各] IJ あは、 とシ 各 彐 \exists 入 ろ テ で \mathcal{O} 格 \mathcal{O} す る 作 期 ン に モ 7 のの 市 _ 彐 成 間 よデ 1 七 る ょ ラ デ 額 額 場 月 ŧ] 帯 0 イ り ケ とす に以 7 イ \mathcal{O} 1 カコ 0 下 لح 当 5 各 1 テ イ ること す ポ 成 ョいの 該 玉 等 方 る ジ 各 て 期 る た IJ 通 \mathcal{O} シ 間 貨 \mathcal{O} トは コマ ネ額 スに 口 が・ 十帯たョモチに

一・五	三月超六月以下
一・五	一月超三月以下
一・五	一月以下
スプレッド・レート	期間帯(残存期間等)

れいデ

, う。

7

得 及

た び

額

を

算

出

す

る。 \otimes を 買 シ

1

テ

イ ス ポ

金

の除価

け

渡

す カコ •

取 6

引

で

立 日

価

れ格

成業

次を

表

定

る 受 締 3

ス

プ

ツ

 \vdash L 以 \mathcal{O}

を た 内

そ

額ン

ポ ジ

ツ

1

格

売

結

日 \vdash

二営 ジ

に

コ

をモ計

ン

 \mathcal{O}

額

لح

1

ポ

シ

彐

額

 \mathcal{O}

合

イ 簡 築 表のい をの 百 イ 年 年 年 月 にだし、 乗じ IJ 12 彐 額 等 兀 便 \mathcal{O} 前 額 7 前 前 超二 超 超 超 的 に ネ 定 又 対 の号 ス 十 三 号 に + _ めは当 ク 六 な + ッ号 は て 9 ロの \mathcal{O} 年 年 条の二・ V 方 得 Ŧī. る L 持 卜 \mathcal{O} 以 以 月 等 カ の テ 式 パ 5 隣 て グ 算 ス 彐 て 年 た 期 下 下 以 1 プ 超 額 は ポ出 い越 接 間 下 ネゴ + セ ジ る す ポ に V卜 さ \mathcal{O} を 帯 ッリ ン シ ツ 各 期 る算当ジ 八 お れ 内 期 出該シ] 1 彐 V ドポ た 間 \mathcal{O} コ モ 間 \mathcal{O} を ン 7 ポ 帯 す ポ 彐 お 7 乗 に期 レ シデ ジ を 帯る ジ 1 からこ] じ 間 1 彐 イシ Ŀ シの 簡 9 7 い帯 テ 限 7 1 ン ケ 彐 \exists 額 対 便 得 とす を ポの ツ 的 てに \mathcal{O} イン ン 又 当 は残な た 乗 等 ジ場のは \vdash な 額 \mathcal{O} との領のロは、 رِّ چ 合に 額 じ 方 存 シ 額 7 と て 当 彐 に IJ 式 す 彐 V 得 す 該る 合ン ン お〇 スに な 十 ク 五 相 る。 た計グ各 にがい ょ ネ各 トい 五. 五. 五. 五. 額額 て、 六 る コ 期 持 あ لح \vdash モ にポ間 5 る パポコ コ す デ 第 ジ帯 越 期当] 額 モ 七 ź。 ポ 一シ内 さ 間該 セシデ は デ 1 号

れ帯ポ

る〜ジ

彐 イ

テ

テ

イ

彐 に

のンお

モ

デ

イ

テ

イ

して

得

た

額

及

び

当

該 1

コ

デ ジ

イ シ

テ 彐

イ ン

等 \mathcal{O}

ポ

の額

に

パ

1

ョト各テ

1

ジセ

シン

モポ

を 0) 乗 じ 額 て得 と シ た \exists 額 1 \mathcal{O} 卜 合 • 計ポ 額 ジ とす シ 彐 る。 ン \mathcal{O} 額 \mathcal{O} 合 計 額 に三パ] セ ン

1

第 六 款 オ プ シ 彐 ン 取 引

プ 彐 取 引 \mathcal{O} 7 ケ ツ 1 • IJ ス ク 相

当

額

才

と そに 体 \mathcal{O} 定 1 掲 百 め う。 関 げ オ 兀 る プ L 連 る +法シ て、 方 IJ 六 \mathcal{O} に 法 原 ス 条 彐 を ン 次 対 資 ク \mathcal{O} 取 用 \mathcal{O} す 産 各 のカ十 引 11 る て ポテ \mathcal{O} 号 7 九 うち] 算 に ジ ゴ 出 掲 IJ ケ シ 第 オ す げ ツ 彐] る \vdash ン 百 る に プ ŧ シ 場 分 兀 议 IJ 類 彐 \mathcal{O} 合 + とす ス さ 六 ン \mathcal{O} 下 X ク 条 \mathcal{O} れ る。日分 相 オ 取 る \mathcal{O} プオ 得 に 当 プ+ 応額シ \mathcal{O} 4 は ョシ四 を ョ第 当 取ン 行 引 該 れ 取項 各 5 組 等 引各 合 号を

便

う

法を 額 化 格 価 表 小の <u>-</u>+ す な のデ を \mathcal{O} 格 予 数 対 変 価 ル \mathcal{O} す 測 ボ値化 九 格 タ た。る変ラテい対 \mathcal{O} \mathcal{O} 三 変 原 う。 類 条 該 率 に化 イ す 資 をリ を る に オ お \mathcal{O} 産 作 お プ いテ同 当 11 割 価 う。 シ 成 1 条 該 7 1 合 格 7 日 に オ 同 をの 同 ン 同才 お プ ľ 表 微 条に \mathcal{O} シ す 保 じ 11 プ 小 シ 3 ポ 存 7 数な ョ 同 す ジ お ン 値 変 ン U のシ 化 る V \mathcal{O} ガ を て同 場 計 彐 取 デ V に 引 ル う。 測 ン 7 対 方の じに及 タ す デ法市 おび \mathcal{O} 原 第 る に け 変 当 場 ベ 資 タ 関 価 \mathcal{O} る ガ化 産 百 該 す 微原 値 \mathcal{O} 価 兀 オ プ る 小 資 格 + \mathcal{O} 原割 プ ラ 資 合 事 変 な産 六 シ \mathcal{O} ス項化変価産を微条

第

百

兀

+

六

0

+

九

 \mathcal{O}

兀

第

項

 \mathcal{O}

承

認

を

受け

た

場

合

- 548 -

シナリオ法

(簡便法)

出掲

げ 取 値 す 取才 ク ス る る 組 ポ 百 を評 た ク で 為 る。 引 プ 相 個 商 ジ • 現 る場 引 は ス 4 兀 を当 き 替 シ 当 ワ 合 零 に 別 品 シ ポ 物 7 + る ウ 価 IJ 彐 額 IJ ツ わ 彐 ジ 1 合に 六 9 に \mathcal{O} 該 ス す لح す れいン エ ス 9 プ せ ン シ ケ 対 条 口 \mathcal{O} す 乗じ る ク るがで 1 ク V لح ツ 7 \mathcal{O} シ た 彐 区 す \mathcal{O} 場 1 又 で は市 る。 1 \mathcal{O} て \exists 場 グ 分 コ ン て 合 は き 場 \mathcal{O} リ は ン 12 + な 合] を 7 得 ۲ ス そ IJ に コ 合 組ポ] お な ス 価 ル 応 九 ジ ス た お モ \vdash 値 \mathcal{O} 計 ク 名 • 4 \mathcal{O} 原 場 場 合 ク ツ 額 1 デ 1 ラ を 目 他 資 オ シ 1 相 を 7 イ レ 合 残 合 乗 ウ 価 \mathcal{O} 産 プ わ 彐 当 \vdash 上は、 テ] ク に ľ ェ値 原 シ せ ン 当 該 は 存 \mathcal{O} 簡 とプ イ イ 市 彐 額 口 デ 期 お 7 を 資 た 各 IJ 便 い得 ト用 場 6 プ 間 産 場 ン \mathcal{O} 号 ス 法 簿 イ 1 ラ て、 合に IJ ン ツ な 価 等 た 及いの 価 \mathcal{O} 合 ク を る。 ス グ • 1 額 び 又 \vdash 計 定 相 1 を が 市 値 用 口 ザ ク 勘 六月 範 用 1 を 場 は 額 ス ン \otimes 当い とす 般 丰 囲い を 定 • を 7 価 グ 現オ る額る ン 、ること • ところ 市に、場場で • で 伴 に 先 超] 値 ヤ 物 プ は 7 ザ 控 物 場 Ď 含 ネ \mathcal{O} ケ が ツ ポ \mathcal{O} 合 プ、 除 取 ま] 価 オ ツ IJ 原 零 ジ 彐 次の す が 引 プ 7 1 ス 資 彐 れの 格 ン にの オ ること で 又な 市 لح シネ ク 産 な フ] ょ 各 プ \exists \mathcal{O} IJ \mathcal{O} き 場 比 \exists 1 に ŋ 口 シ はい \vdash 口 n 号 る財外 価較ンのスリ 係 得 T 算にョ

ル

オオ

3

のの

口口

ググ

ジ

ン

 \mathcal{O}

又

ポポ

シシ

ヨ ヨ

のの

 \mathcal{O}

みみ

場場

合 合

じ エ 原 イト て得 資産 を マー た 及 \mathcal{O} 額 市 び ケッ 又一は般 場 価 1 才 市 値 プ 場 に IJ シ IJ 原 ス 3 資 ス ク ク 産 相 \mathcal{O} 0) に 当額とする。 市 IJ 係 場 ス る 価 ク 個 別リス 値 ウ .. の う エ ち ク 1 0 \vdash ずれ \mathcal{O} IJ 合 ス ク・ か 計 小 を ウ 乗

(デルタ・プラス法

する るところ ス ス デ 百 ク ク ル 兀 及 相 タ + ì 当 び 六 第三 ケット 条の二十 に プラス法 額 よるも \mathcal{O} 号 合 • IJ 計 に :額とし、 定 \mathcal{O} を 九 スク相当額 とする。 用 \Diamond 0) るべ Ξ ١ ر る 、ガ・リ 場合に デ 第二百 ルタについては、 は、 スクに対するマーケッ は、 兀 第二号に定 十六条 オプション の 二 十 めるガン 第一号に 取引等 九 第二 マ・ 定 に

五. \mathcal{O} 彐 額 款までの ポ デ マジショ を算 ンとみな ル タ 出 \mathcal{O} ンにデ 各リス する 取 扱 ŧ ** \ 他の取る ルに ク \mathcal{O} タを とする。 0 いては、 力 テゴ 引と同 乗じ IJ て得たもの] 様 各 - におい に オプショ 7] て、 を、 ケ ツ \vdash 想 第 取 定 引 IJ 上 款 \mathcal{O} ス \mathcal{O} カュ 原 ポジ ク 5 資 第 相 産

出 方法 ガン は、 マ・ 次に定め IJ ス クに るところによる。 対するマ 1 ケッ 1 IJ ス ク 相 当 額 \mathcal{O}

各 イ オプシ クト 3 を算 取 引等につい 出する。 て、 次 の 算 式 に より ガ

ガンタ・インパクト=1/5×ガンタ×Ang

(VU:次の表の 下欄に 点め N 算 \vdash \mathbb{H} 欄に掲げる原資産の区分に応 拼 Ĩ1 9-5 算出した値とす <u>`</u> 回 表の

債券等	原資産の区分
原資産の市場価値×第二百四十六条の二	VU の 算 出 方 法

(3) (2) (1 か用六 外株式、通 外株式、通 場 等	で件ン る 並 ガ る 貝 同 一 で を 取 場 合 に マ ー で あ る 高 に 第 ・ た 等 に 第 ・	等人金粉	株 式 章 利	
替 通貨の組合せが同一であること。	より算出したガンマ・インパクトを原資より算出したガンマ・インパクトを原資より算出したガンマ・インパクトを原資より算出したガンマ・インパクトを原資より算出したガンマ・インパクトを原資より算出したガンマ・インパクトを原資より算出したガンマ・インパクトを原資より算出したガンマ・インパクトを原資	資産の市場価値×十五パー資産の市場価値×八パーセ	原資産の市場価値×八パーセントによる原資産の市場価値の変化額表の想定金利変動幅に相当する金利変動第二百四十六条の二十五の五第二号イの	ウェイト十五の五第二号イの表に定めるリスク・

とに に 当 対 額 べ ガを 合計 し上 は、 ガ 下に二十二原資産価は こする。 算 IJ 出 ス クに 五. ガ 格 原 0 資 パ \mathcal{O} 1 ボ IJ て 産 セ ラティリ ス が は クに ン 同 、ト変動 一 で 係 オ 7プショ テ る あ した場 イが るオ 7 算 プ ン 合に シ 出 ツ 取 基 彐 引 お 準 け リ取に 日 ス 引つ る \mathcal{O} 等ご 当 ク 水 V 準 相 該 7

シシ ナ IJ オ 法 \mathcal{O} 承 認

合

計

額

0

想

定

変動

額

を

合

計

L

7

得た額

とする

第二 場 合に、 百 兀 シ 六 ナリ 条 の 二 オ 法 十 を 九 用 \mathcal{O} 11 兀 ることが 組 合 は、 で きる。 行 政 庁 0) 承 認 を 受 け た

 \mathcal{O} を 規 継 前 定に 続 項 \mathcal{O} L 基承認 て 認を受け 用 き V るも 承 認 た \mathcal{O} が 取り と 組 うする。 合 点は、 消され 第二百 た場 場合を除 四十六 条 き の 二 ナ + IJ 九 オの 法 八

2

承 認 申 請 書 0 提 出

承 \mathcal{O} 認 承 百 申 認を受け 兀 請 +書 六 条の二十 を ようとする 行 政 庁 に 九 提 0) 出 組 五. する 合 は、 シナリ ŧ の次に 才法 とする。 · 掲 げ \mathcal{O} る 使 事 用 項に を 0 記 V 載 7 L 前 た条

名 称

2 す る。 前 項の 自 己 資 承 認 本 申 比 請 率 を 書 に 把 握 は L 次 管 E 理 する責 揭 げ 、る書類、 任 者 \mathcal{O} を 添 氏 付 名 す 及 え も び 役 職 0) 名

理 由

前 項 第 号 に 運 規 定 す 承る 認責 の任 者 \mathcal{O} 履 歴

書 類 ナリ 才 法 \mathcal{O} 用 が 基 準 に 適 合 L ていることを

示

- 552 -

兀 そ 0 他 考 となるべ き事 項 を記 載 L た 書

類

関 必 **シ**シ るもの 要 す 百 なる範 兀 ナ IJ + とする。 囲 認 六 オ 条の二十 で 法 次に \mathcal{O} 承 う十と九 掲 認 げ \mathcal{O} すると る \mathcal{O} 基 基 六 準 準 -に 適 に 適 は 庁 合 組は、 L て 合 11 のシ 業ナ る IJ か 務 ど内オ法 かに \mathcal{O} を照使 ら用 審 査しに

- لح なる取 負う部 7] ケ 引に 習が、 ット 関 わ IJ 7] ス る 部 ケ ク 署 ツ \mathcal{O} か 1 管 6 理 独 IJ \mathcal{O} <u>\f\</u> ス 過 ク L 程 相当 て 設 \mathcal{O} 設 置額計 さ を 及 算 れ び て 出 運 す 営 11 る対象
- 記 切 載 性 7 1 L に 関 ケ す ツ 類 る 1 を 検 が作証 IJ 成を ス ク L 定 て 管 期 V 的理 ること。 に 部 実施、署は、 ľ, シ そカリ らオ の法 実の 施 運 手 用 続の を適
- に 関 組 与 合 で の 理 書 L てい 事 ること。 等 7] ケ ツ \vdash IJ ス ク \mathcal{O} 管 理 手 続 に 積 極 的
- 7 シ ること。 ナリ 才 法 が 通 常 \mathcal{O} IJ ス ク 管 理 手 続 に 密 接 に 組 4 込 ま n

兀

Ŧī.

- 記 じら 載し シ ナリ た書類 才 法 ること。 を \mathcal{O} 作 運 成 用 に し、 関 そ す れらが る内 部 遵守され れ る 管 た理 め及 \mathcal{O} び 手 手 段 続 がを
- 度 ナられ で 内 オない 部 監 査 \mathcal{O} を 運 用に 行 うこと。 0 11 7 原 則 とし て 年 に 口 以 上 \mathcal{O}

更 に 係 る 届 出

二百 兀 + 六 条の二十 九 \mathcal{O} 七 ナ IJ オ 法 \mathcal{O} 使 用 に 0 11 7 \mathcal{O}

承

る。 遅 滞 を受け なく、 た その 組 合は、 旨 及 び 次 \mathcal{O} その 各号の 内 容を行 いずれ 政 かに 分庁に 該 届 当 け する場 出るものとす 合には、

- 承 認 申 請 書 \mathcal{O} 記 載 事 項 に 変 更が あ る 場 合
- 合 承 認 申 請 書 \mathcal{O} 添 付 書 類 0) 記 載事 項 に 重要 な 変 更 が あ る
- 前 条 に 規 定す る 承 認 \mathcal{O} 基 準 を 満た さ な 1 事 由 が 生 じ た 場
- 2 出合 が 前 た あ お 認 項 第 せの 三 基準 て、 号 に 又を満 基 づ たさ そ < 0) 届 な出 後 速 11 を B 事 行 か項 う場 に 提 関 合 はする改 に 出 す は、 んるも 善 組 \mathcal{O} 計 合 とする。 画 は を 当 当 該 該 届組

承認の取消し)

第 十 号 九 百 0) 判 0 兀 兀 断 届 + 当 第 L 該 出 六 たとき 紅合が を怠 条の二・ 項 \mathcal{O} 0 承 は シ た + 場 認 ナ 九 IJ を取 合 当 \mathcal{O} 該 オ・ 又 八 ŋ 組法は 合を組有行政 消 すことが 続して第三号 つ 庁 は、 11 一号に て第二百四 できる 組 用該 合 す 当 が ることが す 前 +る 条 六 場 第 条の 合 不に項 適 お第

(シナリオ法の算出要領)

め るところ 百 彐 四 $\overline{+}$ 取 引 六 に 等 条 ょ に \mathcal{O} り 対 算 +す 出 る 九 さ \mathcal{O} 7] れ 九 た ケ 額 ツ シ ١ ナリ とする。 IJ オ ス 法 ク を 相 用 当 \ \ 額る は 場 合 次 の に オ 定プ

ところに 原 資産 原 資 価 産 より 格 が 及同 設 び 定す そ で \mathcal{O} あ る 想 る 定 才 上 プ ショ \mathcal{O} ボ ラテ ン 取 引等ごとに、 イリティを次 E 想 定 定 8 上

るの

(1) び す (4) (1) る。 算 ま カュ 5 出 で 定 基 上 (4)準の 定 日 場 原 \mathcal{O} 合 る に 資 水に 範 掲 産 準 お囲 げ 価 を い内 る 格 含 て で原は む 資 ŧ 設 産 \mathcal{O} 定以の出 と す 上区基 す の分 る 準 る。 数数に日 値値応の は を じ水 等 範 準 拼 間当か \mathcal{O} 隔該ら 両 に (1) 端 設か次 及定らの

- もにいはで 利号 ま 定 7 な き と \mathcal{O} 1 \mathcal{O} 債 とす る \otimes 期の \emptyset は 5 券 た間 る 想· なが 表 等 る。 ŧ 帯 に 各 い 及 定 期 四のに掲 び こ以 金 間 を 2 げ 金 の上 利 帯 V) V) る 利 う。 ては、六以上の。以下同じの。以下同じの。以下同じの。以下同じの。以下同じの。 群場 て 変 \mathcal{O} 期 間 第二百 帯 に 応 兀 <u>-</u> じ + た 六 最 た 想 大 期 定 想 期 期 条 定間 に 間 定 \mathcal{O} の間 金帯 ま 帯 金 لح 帯 利群 ŧ 群利 + \mathcal{O} に変にめ 変 五. を応動 まる 期 動 \mathcal{O} 幅ととと 用 U 間幅 五. い同 帯 第 る表ってがを金
- (3) (2)1 外 株 ント 玉 式 為 等 替 算 及 び 出 基 金 準 算 日 出の 基 水 準 準 カュ 日 5 \mathcal{O} 水上 準 下 かに 5 八 上パ] 下 に セ ン 八 パト
- (4)想 定] コセ 上 モ セ デ \mathcal{O} ボ イ ラ テ イ 等 1 算 イ 出 基 準 算 日 出 \mathcal{O} 水 準 か 5 上 準 下 に + 5 五.

口

IJ 下 前 に二 出 で 基 設 準の十 \mathcal{O} 日 場 全 定 五 合 パ 水に 1 のれ 準 テ おセ 組 た 合 想 を V て、 含 取せ 定 1 IJ に 上む \mathcal{O} テ 0 \mathcal{O} ŧ 範 設 のい原 \mathcal{O} 定す 开 は いとする。 て、 資 内 産 る で そ 数 価 れ格 以 値 基 ぞと は 上 潍 れ想 範 の目 数 の定 拼 \mathcal{O} 場 \mathcal{O} 値 水 上 る合の 両 を 端 設 にボ カュ おラ 及 定 け テ びす 上

る

彐

引

市

場

価

値

を

算

出

す

を が 原 前 資 者 出 を 産 定基 相 が 下 上 準 同 の目 口 額 る オ \mathcal{O} で額 プ 才 す あ が シ ブ る 最 彐 シ 才 大 彐 プ لح 取 ン シ な 引取 彐 等 る 引 場 ン \mathcal{O} 等 取 合 市の に 場 引 市 等 お価場 け 値 価 لح る を値 当比と 0 該 較前 7] 下 号 L 口 で ケ る ツ 後算 ト 額 者 出

IJ

ス

ク

当

と

る

で \mathcal{O} あ シ る 計 ナ IJ 額 オ と IJ プ 才 す 法 ス る。 ク 彐 を ン 相 用 当 取 1 引 る 額 等 は 場 ごとの 合 前 \mathcal{O} 号 オ 7 で プ] 算 シ ケ 出 日 ツ L ン 1 た 取 各 引 IJ 原 等 ス 資 に ク 産 係 相 が る 同 当 7 額

五. 節 証 券 化 工 ク ス ポ ジ ヤ] に 係 る 特 例

第

三に エ は券 1 化 証 百 ウ 1 相 規 百 当 兀 百 工 エ を 殺 定 兀 該 ク +化 乗 す +1 + 六 L 証 工 ス じ 卜 た る 六 券 条 ク 兀 ポ て 後 条 を 要 化 ス \mathcal{O} 条 Ì +=-か 二 得 領 ポ \mathcal{O} 工 \equiv 0 た ネに ク 兀 ヤ 一 十 五 ス 額 基 ジ ツ 第 1 五で ポ を 1 づ ヤ 前 \mathcal{O} の 二 個 き 各 項 個 除 別ポ証 ジ 節 \mathcal{O} \mathcal{O} 別 L 一又は IJ 券 ヤ 個 ジ \mathcal{O} 規 IJ た シ化 ス] 規 别 定 ス クョのン 値 リス 第 工 に 定 を ク を っいい ク に リス 準 0 ク のス 百 額 カゝ 用 額 額ポ て 兀 カ す を 次 わ に + て算 算 る。 当 六 項 6 ジ ウ 出ず、 条 該 \mathcal{O} ヤ エ 定 す 規 IJ 0 イ L る組 定 スの 1 + た 場 に ク 銘 合 ル リ と 合 ょ 柄 五. が に証 ゥ ス

2

項

規

ょ

合

券

化

ク

ス

ポ

1

ヤ

1

 \mathcal{O}

額の

出に

場 組

は証

合

合に第

い章

及 ジ

第

節 個

条 第 別

お 六 工

は第節

百 び

+

兀

款ス

定

潍 算 定

用

る る り

項

第 を

号

中

次

款

 \mathcal{O} \mathcal{O} に が

規 場

定

لح

あ

る て、 第

 \mathcal{O}

次

款

第

七の

ク 前

 \mathcal{O}

を

目を除く。)の規定」と読み替えるものとする。

ーネド。 へくまり」。言うオンジュく。)

三百 定 証 ク は、 匹 て 券 準 + 化 用証 六 工 す 券 条 ク るのとこのこと ス ポ ク + ス ジ \mathcal{O} ポ ヤ 1 第二百 ジ \mathcal{O} ヤ シ 彐 の四 個 + 1 別 六 IJ 条 ポ スの ジ ク シ の 十 \exists 額五 ン \mathcal{O} 第 \mathcal{O} 計 個 算 項 別 にの IJ

ク ス 百 ポ ジ セ ヤ 1 1 \mathcal{O} \mathcal{O} 取 IJ 扱 ス 1 ク ウ エ イ 1 0) 適 用 と さ n た 証 券 化 工

ス場 ポ ク 合] 百 は に ジ 兀 算 9 t 71 出 六] 条 すること て に は、 百 \mathcal{O} \equiv 当] +を 該セ \mathcal{O} 要 三 証 ĺ 卜 券 化な化の 工 IJ \mathcal{O} ク ス 節 ク ス \mathcal{O} ポ • 規 ウ 定 ジ 工 に ヤ 1 ょ] り 卜 \mathcal{O} が証 適 券 般 用化 さエ 市 場 れク IJ るス

2 1 化 た \mathcal{O} 自 \mathcal{O} IJ 己 別 ク ス 節 資 IJ ス ク \mathcal{O} • 本 ス ポ 規 ク ウ 定 相 \mathcal{O} ジ 工 に 当 額 t 1 ょ لح す ŋ 1 する。 る に が 証 額 当 適 券 を 該 用 除くだ され リス エンク くも クス ク • し、 る場 \mathcal{O} ポ とす 証 ウ 合] 券 に ジ 工 うる。 化 1 9 ヤ 71 取 卜 1 引 を て に に 乗 は百 伴 じ パ 当 て] 11 得 該セ 増 加 た証ン

第 六 節 係 特 る 定 特 順 例 位 照 型 ク レ ジ ツ 1 デ IJ バ テ 1 ブに

第 ス 1 百 兀 定 順 1 +六 位 ウ 条 の 参 デ 照 型 フ 三 + オ ク ル V ジ 1 型 ツ 前 \vdash ク 各 節 デ ジ \mathcal{O} ゙ リ バ 規 ツ 定 1 テ に デリ 1 か ブ か バ わの テ 個 イブ ず、 別 IJ に フ ス ク 係 る

3 2 いポの 除 額 兀 額 三 特 バ 0 た +别 口 1 とす ショ に 次 テ テ う 六 当 IJ る 参 定 当 当 後 IJ 1 5 照 照 当 \mathcal{O} 定 順 該 百 お 該 ス 数 当 百 以デ イ 該 \mathcal{O} 条 ス る ク か 資 該 資 該 ン 80 兀 フ 位 ブ フ 兀 11 イ 下 フ ネ \mathcal{O} ク \mathcal{O} に に + て 定 \mathcal{O} 5 産 特 産 特 る +オ ア \mathcal{O} に 参 ア 11 ツ 発 順 ず 額 等 定 等 定掲 額 要 六のル 照 係] 係 1 十 額 生 位 を 条 を の順 の順 げ に 領 条 項 1 型 る ス る れ ス 五. は 契 減 Š に のに 型 1 参 バの L 位 個 位 る お ク 1 かポ \mathcal{O} 得 約 照 ľ ち 参 別 基 ク 照 ジ 小 参 額 け お 小 第 +照 IJ る 型 さ た 照 か る づ +V ジ に 1 資 さ シ イ 1 1 ス ジ お 産 五. 最 ク 11 数 あ 型 型 5 次 き 五. 7 ツ ウ ゥ 11 彐 定 百 0 第 大レ Ł に 6 ク ク ク 口 に 銘 \mathcal{O} 同 ツ \vdash VI 等 額 ン め四 \mathcal{O} ジ 等 \mathcal{O} 柄ごとに 1 て デ \mathcal{O} デ لح \mathcal{O} かレ V に 掲 じ \mathcal{O} る + ジ 又 発 す 損 カコ U 額 掲 デ 個 フ 額 要六 別項 ツ ジ げ フ L る。 生 IJ 失 6 は デ ォ 別 オ IJ \mathcal{O} \vdash VI \otimes ツ \mathcal{O} ツ げ る 条 に 領 額 順 合 る 額 に IJ バ L IJ ス 規 個 特 1 1 第 ル ル お に \mathcal{O} 得 定 デ に 数 定 計 額 相 係 バ テ ス 基 • • \mathcal{O} 1 1 け IJ 合 さ デ 額デ る \mathcal{O} を う るテ 1 型 ク づ十 のは 殺 百 型 る É, 最 IJ 計 IJ 控 \mathcal{O} バ 参 兀 個 イ ブ ク ク 次 額 れ L き五 大 額 特 テ L 照 たバ バ 除 た +別 ブ VV \mathcal{O} 銘の 0 (フ \mathcal{O} た 順 テ L に ジ \mathcal{O} 各 計 定 イ 資 テ い後 六 IJ ジ 柄 た 損 ブ 額 産 位 ず \mathcal{O} 条 ス係 ア ツ 合 号 又 算 順 イ イ ツ に ブ 額 失 計 لح 等 に ブ れ ネの ク る] \vdash に は に位 1 額 に 相に に \mathcal{O} ŧ 第 0 参 係 \mathcal{O} か ツ ス 撂 デ い照 当 係 デ る 個 係 小卜 十額の 卜 げ相 て型 契 別す る る さ 五はを IJ IJ る殺百

ク

IJ

テ

個

ク

みるに 百 合 \mathcal{O} お 兀 に 定 え は、 V + あ 順 る て、 六 0 位項 条 ŧ て 参 \mathcal{O} 照 の特 \mathcal{O} は 規 لح 定れ 型 定 す 順 ら十 そ ク に る 位 のかの V カン 規 5 個 ジ カゝ 照 定 前 別 ツ わ 型 中 条 IJ 1 5 ク ま ス ず レ 証 で ク デ ジ 0) \mathcal{O} IJ ブ 券 ツ 化 規 額 口 \vdash 工 定 \mathcal{O} テ テ ク を ク 算 イ デリ ス 準 出 ポ 用 にが 彐 バ 1 す 格 0 テ るい付を ジ イ ヤ て を 提 ブ] は有 供 \mathcal{O} に す لح لح 場 第 る 係 読あ 合 る

相 定 順 位 参 照 型 ク レ ジ ツ 1 デ IJ バ テ イ ブ \mathcal{O} ポ ジ シ 彐 \mathcal{O}

げ ク 法ちの 個 ク 場 額 百 ウ 1 る場 テ を レ 兀 額 别 ス \mathcal{O} ウ 合 当 削 لح デ ず IJ 1 う イ + 該 ジ す ち ス デ 当 ブ 減 合 ッ六 れ フ 当 に に オ ク 1 フ 該 す \vdash カュ ア 条 応 小 ル \mathcal{O} ウ 該 オ 係 1 ること \mathcal{O} デ さ 次 1 額 ル \mathcal{O} る ス \equiv IJ 号 型 デ 卜 + ょ \mathcal{O} 卜 資 参 に ク ŋ フ 資 型 産 照 が 当 バ 額 資 で お Ł オ 産 ク 0) 1 該 テ 0) き 限 11 ジ 小ル に レ 個 産 ゥ 各 1 る 度 ツ さ 1 係 ジ 别 等 • 号 ブ 7 とし \vdash 型 IJ デ に を 同 る ツ \mathcal{O} フ 11 1 う 場 ク 部 ス フ 定 保 ア デ ち て 合 レ ク オ \Diamond] 分 有 IJ ジ デ 個 は \mathcal{O} \mathcal{O} ル る す ス 別 とバ ツ 額 IJ 方 る 額 \mathcal{O} 1 \vdash を、 テ \vdash 当 バ と IJ 資 型 法 組 (当 当 ス 該 テ 産 イ • ク に合 卜 ク ブ フ デ 該 1 該 を レ ょ は ウ を IJ 額 保 れ \mathcal{O} ア ブ ジ ŋ 相 個 Ì バが \mathcal{O} ア 有 個 次デ 5 ツ の別ス テ フ 殺 当 個 別 \mathcal{O} 1 IJ \vdash 1 該 す 額 别 て 各 ス IJ オ ブ る ス フ IJ 1 いデ \mathcal{O} ス号 ル 方 う ク トの ア ス る IJ クに ト

 \mathcal{O}

- 559 -

バ لح る ī 当 す テ 場 テ 当 て相 Ś イ て 該 1 \mathcal{O} 額 ブ フ フ 4 殺 との 当 ア ア を、 個 個] 該 係 別 た ス複 別 る ス IJ IJ 1 数 1 こきに、 ス ス 照 れ \mathcal{O} ク ら ク \vdash 資 資 1 を \mathcal{O} ウ \mathcal{O} 産 産 ゥ 相相 額 う \mathcal{O} 殺さ 殺 ちデ う のデ \mathcal{O} なする方 がうちい うちい 5 フ フ う 5 オ オ ル の複ル 法 額 ずの 資 数 1 1 が れ資 型 \mathcal{O} 産 型 最か産 ク 資 \mathcal{O} ク 産レ ŧ 小に レ 個 さ係 ジ 別 小 さ 1 る ツ IJ 保 ツ 1 額 部ト ス有 1 資 を 分 限にデ \mathcal{O} 7 デ 産 に 度 相 リ 額い IJ

第 七 節 コ IJ V シ 彐 ン 1 V デ イ ン グ に 係 る 特 例

<u>_</u> _ IJ レ シ 彐 ン 1 V 1 デ イン グだ 係 る 個 別 IJ ス ク 0) 算 出

修 正 す 標 グ 四 準 に 十 方係六 式 る条 個の よ別三 0 IJ + て ス ク 算 の組 出 さ 算 合 れ出は に ` 当 コ る 個 たリ 別 IJ 0 レ ス て] ク はシ 0) 彐 額 次ン を 条 に 用 卜 定 レ \emptyset る 1 るデ

修 正 標 準 方 式 に ょ る 個 别 IJ ス ク \mathcal{O} 額

掲 げ IJ 百 第二 る レ 兀 額 1 +百 \mathcal{O} 六 シ う 兀 条 \exists 5 + \mathcal{O} 六 1 \equiv 条 ず ト 十 \mathcal{O} れ V か \mathcal{O} 大 デ + き づ 五 1 きの 11 ン修 額 グ正 殺又 とす の標 個 準 は る別 第 方 式 IJ の百 スを 口匹 ク用 + のい 六 額 7 条 算 は スポの 出 次す のシー にる

ョ 五

ンの

つに

8

る

要

領

に

額い定

前

節 に

 \mathcal{O} 基

規

定

ょ

ŋ

算

出 後

L

た

個

別 グ

IJ

ク

に相

た

ン

ジ

計

- 560 -

のシ 五. 彐 \mathcal{O} 第二 ン三にに 百 計 つ定四 いめ 額 る六 て、 要 条 前 領の に 節 + 基 \mathcal{O} づ 五 規定に、おの二又は は ょ L た第二 ŋ 算 出 の百 シ四 た 彐 + 個 六 別 卜 条 IJ 0) ポニジナ スポ

第 八 節 に 定 係 項 る 目 特 \mathcal{O} 例 う ち 調 整 項 目 に 算 入 さ れ な 1 部 分

ヤの係六 つの え る 章 +兀 は 11 兀 百 百 七 て準 百 工 0 \mathcal{O} 兀 \mathcal{O} 定 \mathcal{O} 兀 額 ク 条 規 + Ŧī. 項 1 第一 からす ス \mathcal{O} + 7 定六 目 (EAD] とする。 セント」とある パ ポ 条 は \mathcal{O} る。 ーセン ケ 1 0 節 前 う をいう。 ツ 5 ジ カュ 条 三 \vdash ら ヤ ま 1 + 調 1 第 で 整 \mathcal{O} ケ IJ 七 場 \mathcal{O} \mathcal{O} ツ 項 とあ スク 節 規 合 ト第 目 信 に 0) 用 ま 定に 百 /相当額」 とあるの は るのは「二十パーセント」と、 IJ で にお IJ 五. 算 スの かいス 入さ + 「三十二パー 規定に ク 、て、こ、 ク 兀 カュ わ 相 条 れ と、「当 は ア 5 当 \mathcal{O} な 当 かか ず」 額 \equiv セ れ ット 5 を 及 部 該 とあっ わら セント」と読 該 の算 び 分 部 に 規出 第 工 \mathcal{O} 分の額」 クスポ 額」 係 る とある 特 例]

オ \sim レ 彐 ル IJ ス ク 相 当 額 \mathcal{O} 算

第 算 出 百 兀 当 + た 七 つ 条 て は組ナ 合 標 は 準 的 才 計 \sim 測 レ 1 手 法 シ を 彐 用ナ ル る • ŧ IJ \mathcal{O} ス とす ク 相 る。 当 額 0

2 子 法 準 人等 的 計 を 測 手 う。 法 \mathcal{O} 第 対 百 は 五. +法 人単 条 に 位 お (当 て 該 同 組 ľ. 合 及 び そ よる \mathcal{O} 連

準 的 計 測 手 法)

L 兀 IJ + Μ 下 ス ク 条 В 相当額とする手法をいう Ι う 前 C 条 \mathcal{O} を V 乗じ ئ 準 て得た額をも 的 計 測 額 手 法 内 部 لح 0 損 7 は 失 才 乗 事 レ 数 業] 規 模 以 彐 要 第

> オ \sim] 彐 ル IJ ス ク 相 当 額 0 算

第 項計算 測 出 百 手 兀 法 当 + を用い た 七 0 条 て るも は組ナ 合 は、 0) 基 とす 礎 的 オ る 手 \sim 法 シ 粗 彐 利 ナ 益 配 ル 分 手 IJ ス 法 ク 相 は 先 当 進 額 的の

を加える。

礎

う。 た じ \mathcal{O} 年 \mathcal{O} う T ル 値となる 額とする。 て 間 直 は 百 得た額 リス 近 第 0) 以 兀 粗 三年 下この 協同 + 5 利 号 ク 八 を当 間 相 な 益 条 組 が 章に V \mathcal{O} 掲 当 合 平 該 年 正 額基 げ 連 正以の 均 おいて同 る 礎 は 合)値となら. の外 ŧ 値とする。 的 会にあ 値と年 の 、 手 年 法 ľ な \mathcal{O} 法 間 を 0 粗 な 第 \mathcal{O} 用 5 て しに ただ 利 粗 な 11 は 年が 益 7 1 条 利 第二 し、 第 年の \bigcirc 益 算 · 五 合計 ある場 出する 以 号に 外の 農 項第三号 直 額 近 業 掲 三年 を乗 合 年に 才 げ \bigcirc に 数 同 は、 ľ 間 る で 組 ŧ 除 て 事 合 当 う 得 五. \mathcal{O} 業 L を 該 5 て た を を あ 得乗 正

玉 他 他 信 用 債 る 業 収 常 事 用 等 に 業 総 倩 益 収 事 に を 利 付 対 益 業 券 がする であ 相 に V 益 償 及 当 う。 相 カュ び 環 0 補 す 当 6 法 益 て、 る 助 す 以信 第 に 金 下こ る 額 用 相 組 そ 額 事 条 当 ニす 合 0 \mathcal{O} 業 第 債等 信 用 他 号 が る に 相 事 法 項 額 債 当 業 事 お 第 及び 第 0 券 業 1 0 + + 売却益 費 以 反 7 号 当 入対給 用 同 外 条 に 該 \mathcal{O} \mathcal{O} ľ 第 掲 組 付 全 に 事 げ 合 部 相 項 業 る \mathcal{O} 当 に 又 に に 事 は 行 す 係 規 業 う る る る 定 部 を 事 そ そ す に除業 給

(BICの算出方法)

品 等 指 要 兀 標 素 0 + う。 自 九 IJ В 組 部 合 下 下 Ι 貯 C В 分 をい F В 0 金 Ι 務 CС Ι 要 う。 務 成 \mathcal{O} 素 لح 等 額 素 以 0) V は 0 下 В j j 規 うち、 模 Ι S С 部 利 С 0) に \mathcal{O} 分 要 構 合 素 成 融 В 計 う。 要 商 Ι 額 В う。 0 で 品 素 Ι 表さ 額 0) 以 C 引 う K 下 0 応 れ 及 \mathcal{O} 構 ľ 規 び る Ι 成 7 事 模 役 金 要 L 部 融 定 務 素 D

用 い委 う。 託さ 用 相 用 カゝ 相 る 付 このうち 当す た 5 却 当す 合 及 はも す 常 び 除 還 玉 信 \mathcal{O} る る 益 利 金 る くことが 0 \mathcal{O} 相 役 債 受 用 除 務 当 額 当 額 に 益 銭 額 等 費 T 前 入 事 き 「 する 取 ウ 相 用 該 及 かの 倩 額 項 業 他 \vdash び 玉 引 当 5 信 玉 に に 券 以信 で 当 金 債 等 す 玉 \mathcal{O} ソ 額 託 債 売 定 外用 きる。 たら 等 費 者 1 銭 る 債 運 等 却 8 産 事 用 債 額 等 用 債 損 \mathcal{O} る \mathcal{O} 経 \mathcal{O} 事 業 な 日 粗 信 費 券 に 及 債 見 券 取 ン 業 に 常 グ に 合 利 託 償 相 び 券 償 相 得 11 に係 その 売 費 還 当 却 当 的 相 に Ł 益 運 る 係 用 に 当 却 す な 組 す \mathcal{O} \mathcal{O} 用 損 係 る そ 管 す る 他 益 る に 合 計 見 に に 相 る その他 理 \mathcal{O} 合 る 相 額 経 相 当 額 部 0 算 に I費 用 業 相 分に 11 \mathcal{O} に 額 当 常 す 当する 他 経 「する 下 す 収 Ś 務 玉 て お 玉 常 \mathcal{O} · で 行 る 益 額 は \mathcal{O} に そ 債 債 限 1 費 費 て、 額 る。 0) 額 等 相 に 用 用 役 わ部 当 債 相 額 を 役 債 他 す 加 務 に に 務 れが 経 玉 券 当 券 役 る 売 え 相 相に 取 る 他 常 債 す 玉 取 償 務 こと 当 相 費 等 却 る た 当 引 \bigcirc 取 額 債 引 還 債 損 額 等 £ す 等 者 引 を 用 等 損 す 当 債の費に に券 に

利益配分手法)

粗

で、 の配得 第 彐 分 た ナ 百 及 値 額 ル \mathcal{O} 兀 ت ح 該 中 同 以 業 欄 IJ 表 九 務 ス 11 \mathcal{O} 下 条 *う*。 注 X 掲 ク 分 げ 相 粗 4 に 条 に る 当 利 をす 規 及 応 額益 定 び \mathcal{O} は 配 す 第 を 分 て る 同 手 11 う、年 あ \mathcal{O} 百 表 法 間 業 六 る \mathcal{O} を +務 上 以 \mathcal{O} 用 務 区 粗 欄 下 V 条 分 に 同 利 \mathcal{O} にに 粗 掲 益を 算 お 利 0 げ 出 しに 11 益 る V す て 7 掛 務 る 合 合 「 業 目 配 区 定 を 分 分 務 乗 た区 別 た 1 上表 も分

2

2 ILDC、SC及びFCの額は、次のめる掛目を乗じて算出するものとする。

 \mathcal{O} 平均 るも に L 値 0 お D !を合: C計 S 当 次 C た 該 及 額を用 算 び 各 式 号 F 中 \mathcal{O} С 0 算 0 るものとする。 式 額 一線部 中 は \mathcal{O} 分はそれぞ 用 次 語 \mathcal{O} لح \mathcal{O} 意 お 義 り れ は لح 直 別 す 近 表 る。 第 年 間 に

元を減じ えてて トを乗じ Ι L 算 D 出 た С た値 Z 値 れ \mathcal{O} 次 絶 る \mathcal{O} \mathcal{O} 対値又 算式 額い ず に れ は ょ か 小さ 金利収益 ŋ 資金運用収 V 値 資産 に 益 受 に二・二五 取 カコ 配当 5 資 金 金 0 調 達 値 費 セ を

2

ILDC = Min[Abs(資金運用収益 - 資金調達費用); 2.25%

(金利収益資産]+受取配当金

用 S 0 C 1 ず ず 次 カ れ 大き 算 か大き 式 ょ 値 に 値 ŋ を 役 その 務取 加えて算出される 他 引 業務収益 等 収益 又 又はその は 役 務 取 他 引 業務 等

= Max | 役務取引等収益;役務取引等費用

+Max その他業務収益;その他業務費用

三 算出 商品 F さ 定 C れる 債 0 **券勘** ネ 次 額 \mathcal{O} 定以 算 損 式 外 益 0 0 ょ 勘 絶 ŋ 定 対 商 のネ 値 品 有 ット 価 商 証 ·損益 品 券 有 勘 0 価 定 絶 証 及 対値を加 券勘 び 売 定 付 及 商 たえて 品 売

FC Abs(極 믑ㅁ 作 角 삠 券 勘 定 区 Š 売 1 柩 믑믑 嶣 券 勘

のネット損益)

Abs(商品有価証券勘定及び売付商品債券勘え

以外のネット損益)

十三条に、 零として平 均 区 値とする。 分に 配 お 11 ン 分 う。 均 \vdash す 7) 値を計 ること ただし、 て 0 掛 を合算 年 目 算するもの 間 を が 乗 年間 合 で 計 L じ き 合 値た な て 計 ŧ 得 1 と と た 値 場 \mathcal{O} す 11 額 が 以 合 رِ چ う。 負 に に次 の 下 値 こ の 項 け 0) る当 に で あ 直 条お る場 及 近 11 該 Ξ び て粗 合 年 第 一 利 間 に 配益 の百分に平六不十 はの

- 能 配 分 分不能 前項に 値 不 能値 ううち 値 が お を他 負 V 項 正 て、 0 \mathcal{O} 値 の業 規 値 定 で で あ 務区 あ 0) るも る場 業務 分 第 合に \mathcal{O} に 区 係る業 と 分 項 相殺 は、 に 規 係 することが 務 当 る業務区 区 該 業務 分配 利 分 区 分 分配 値 で 配 きる。 又は 分 分值又 つ 1 配 分スは配 て
- 用する。
 3 前条第二項の規定は、第一項に規定する粗利益について

3 う。 第 げる 項 В \mathcal{O} Ι В \mathcal{O} 額 Ι \mathcal{O} \mathcal{O} X 額に応じて定 分に 応じ 当該各号 \emptyset る掛 目 に 定 لح め は、 るも 次 0) 0 各 を

千 億 円 下 額 セ

セント 千億円 を超えて おり か 三兆円 以 下 0 額 \pm

三兆円 を超える 額] セント

4 В I 守 の算 的 な方法を用い 出に当 たっ 7 ること は が 第 できる。 項 0) 規 定 12 か かわ

Ι L Μ \mathcal{O} 算 出 方

百 五 当 + 該 各号に Ι L 定める方法により算出するも Μ 0 値 は 次 各号に 掲 げ る場 0) とす 合 \mathcal{O} る。 X 分

В

Ι

0

額が千億円を超えており、

か

つ、

第二

五を乗じ · 規 す 号に 定 間 ることが タ を用い のうち、 す \mathcal{O} 定め るネ て オ 除 得 て、 る基 た ツ で 額 特 卜 百 きる損失をいう。 殊損失 ショ 万円を 準を満たす場合 次の算式により算出する方法 \mathcal{O} 以 損失を 下この ナ ル 超える全て (第二百六十 う っ 号 IJ に ス ク お 以 損失 直近十 を \mathcal{O} 下 用 ネ 一条 7 0) 11 ツ 損失実 \mathcal{O} \vdash 0 年 年 7 章に -間の内 算出 損失 規定により除 間 平 績」 お 部 た 同 額 . 号 ト て 同 直 近

ILM/は、

K

到部損失

乗

数

Ln(x)/は、

 $\mathcal{O}_{\mathbf{X}}$

Ш

| 然対数

ILM =

Ln

 $\exp(1) - 1 +$

Ш

然対数の底

冷x乗

第二 配 配分手法を用いることがで二百五十条 組合は、行政(粗利益配分手法の承認) できる 政 庁 0) 承 認 を受けた場 合 に、 粗 利

+取り消され 前項の承認を受けた組合 六条第一 項の承認を受け た場合又は先進 なけ ればなら は、 た場合、 的 な 計 第二 測 を 手 百 で除き、粗砂井田の使用 五. 十四四 条 たっつき 利 に 益 基 配 づ 第二 分 き 手 承

一百五十 損失 -四 条 2 を五が 続 て用

趙 朱

BIC/は、 事業規模要素

- 一号に定める基準を満たす場合 В 前号に定める方法 Ι \mathcal{O} 額が千億 円以下 で あ ŋ イ か 文は 口 第 に 掲げる方法 百 五. + 兀 条第
- I L の値に一 を 用 7 . る方法
- 兀 ・る方法 В І В 号に Ι \mathcal{O} \mathcal{O} 額が千億 定 め 額 とめる基 る基 が 千 準 億円以下 億 準を満たさない を満たさない 円 を 超 え で あり、 て お 場 ŋ 場 合 か 合 カコ つ、 Ι 第二 Ι L 第二 L Μ 百 M \mathcal{O} 五. \mathcal{O} 値 百 $\overline{+}$ 値 五. に 兀 + 条第 を 兀 用 条
- 2 前項に もった値 な見 積 定 を 値 め る I いう。 Î L L 以 Μ Μ 下同じ。 算出 て — におい を用いる方法 を下限として保守 て、 次に掲 げ る項 的 目 に は 見 含 積
- な 1 £ のとする。
- 二 一 ま 有 形 固 定資産 \mathcal{O} 般 的 な 保守 契約 に 関 す うる費 用
- オペ 要 L た費 レ 1 用 シ 彐 機 ナ 能 ル 向 IJ 上 並 ス ク び 損 ij 失 ス 0 ク評価 事 象 発 0 生 実施及び強化 後に業務改 善

三 保険料

へした費用を含む。

部 0 連 結 子 法 等 又は 事 業 部 門に 係 る Ι L Μ 0 算 出 \mathcal{O} 取

一百五十 単 位に 場合に あ 条 0 お 7 1 は 前 第 条 7 第 当 百 該 項 Ŧī. 基 +0 潍 兀 規 定に を満 · 条 第 たさなな か 号 カ に定 わらず 1 \otimes る 部 基 組 \mathcal{O} 連結 合は、 準を満た 子法 法

> 承 認 申 請 書 0 提 出

第 認承 申 認 百 甲請書を行政庁に提出し認を受けようとする組合百五十一条。粗利益配分 合は、治分手法 け 法 れ次のはに使 な掲げに ない事 0 て 前 項 を 記条第 L た項 承の

 \mathcal{O} を算 又 対 は 象 出 事 \mathcal{O} は 業 す 区 ること 分次 門 に 条 を \mathcal{O} 応 が じ 除 承 認 V き 当 た を 該 受 法 各号 け 人 単 た 場 位 に 定 に 合 \otimes に あ る方 限 0 て ŋ 法 は に 次 当 より 該 \mathcal{O} 基 各 Ι 号 準 を L M 掲 満

積 該 値 を 連 結子 用 る方 法 人等 又 は 事 業 部 門 Ι L Μ \mathcal{O} 値 保 守 的 な

項 第 法 二号に 人単 号 に 定 位 めお る 前 方に同 号に じ 掲 げ る Ł 法 \mathcal{O} を 人単 除 位 に 以 お け 下 る \mathcal{O} 前 号及 条 第 び 項 次

2 る 額 項 12 \mathcal{O} 合 お け 計 る 額 オ す る Ł \mathcal{O} シ 彐 す ナ ル IJ ス ク 相 当 額 は 次に 掲

一げ た額 前項 該 第 連 結子 号 に 法 定 \otimes 等 る方法 又は 事 業部 により 門 算 を 出 対 象と した Ι す L る Μ В を Ι 乗じ С \mathcal{O} 額

法 法 に 人 単 ょ ŋ 位 出 対 L た す Ι L る В Μ を Ι 乗 C \mathcal{O} て 額 得 に た 前 項 第 号 に 定 8 る

Μ 0 条利 用 \mathcal{O} 承 認 等)

百 五. ょ Μ + 五 きる。 を ŋ 条 十 才 適 第 用 す 項 る 第 組 場 合 合 号 彐 は を含 ナ に ル 定 行 \otimes む 政 IJ 庁 る スク 方 以 \mathcal{O} 法 承 下 相 認 同 を受 当 じ 前 額 条 け 第 \mathcal{O} 算 に た 出 場 ょ 項 第一 12 ŋ 合 に、 用 算 出 号 11 るこ 第二 \mathcal{O} L た 規

2 場 兀 合 号に 合 は ナ を 含 定 ル 行 8 む 政 IJ る 庁 方 ス 0 法 ク 下 承 相 認 同 当 じ 前 を 額 条 受 第 け 0 算 た 出 ょ 場 項 り K 第 合 用 算 号 出 る L \mathcal{O} 第 た 規 لح 定 が に 五 ょ Μ + きる。 り を オ 適 第 用

2 な ら前 な項 \mathcal{O} 己称 承 資 認本 申比 率 請 を 書 に把 は握 L 次 管 に 理 掲 す る げ る責 書 任 類 者 を \mathcal{O} 添 氏 付 名 し及 なび け役 れ職 ば名

理 由い

号 に 規 定 す Ś 責 任 者 \mathcal{O} 履

テム る 生 方 L IJ オ ・ペレ・ うる が ス 並 不ク 危 適] び に険を 組 険 切 シ で 3 合 続 1 あ \mathcal{O} ナ ること う。 業 に ル 0 務 • い以 \mathcal{O} IJ て 下 又 過 ス 記 同 は ク 程 管 載 じ 外 生 し 役 理 た 的職指 のなりの書 書 類 を 象活 価 オ 及に い 動ペ う。 び よ若 V ŋ 管 L < 理 損 に 失は 彐 関がシナ 発スル す

兀 か 粗 利 細 益 を 業 記 務 区 L 分に た 書 類 配 分 す る 基 準 · 及び 手 順 に つ て

明

五. \mathcal{O} 他 参 考 とな るべ き 事 項 を 記 載 L た 類

承 \mathcal{O} 基

第 基 準 百 条に理 オペレ 及 事 9 \mathcal{O} 五五認 章に 適 + + 別 て 合 条 業 及] す 第 お 表 び Ź 第 務 11 シ かどう 項の承 担 て 3 \mathcal{O} 行 当 ナ 管 ル 注 権 理 理 • 限 事 か認は お を オ 体 IJ を を 授 制 ス 審 粗 L \sim ク 権 査よ利 7 うと を管 さ と V 同 L 益 いう。 ľ な れ 配 す シ 理 け 分 ればと す 彐 手 \mathcal{O} \mathcal{O} ナ る ば 法 なき をル た 責 \mathcal{O} 任 \Diamond らは使 う。 IJ 備 のな 用 が ス 明 体い次 以 ク 制 確 0 に 0 0) 11 下 掲い 管 て以 げて さ れの理 る第 下

4 3 五. 定 第 号に 指 基 に 算 定 百 第 項 該 彐 出 お 五. き 0 た + ナ 項 承 承 す 用 値 条 認 第 認 る場 第 を が を 第 IJ 受 Ι 号 取 る け 合 項 ŧ L ス り た 第 項 消 Μ 定 とし 第 兀 相 0 8 さ 組 する。 承 号 当 る れ 合 て 認を受け 項 額 方 た は オ 法 場 該当する場合 の承認 0 算 第二 合 に 出 を Ź を受け ŋ 12 除 百 用 算 シ 1 き 五. 1 出 彐 な + て ナ 又 る L 継 六 Ł は た 条 ル 組 続 る場 合 前 Ι 第 条第 IJ は L 7 合 す ス 第 項 M ク る 行 を 0 限 項 規 相 政 百 才

V

を を 設置 業 L 部 て 門門 カ **(**以 ること 6 下 独 立 \mathcal{O} L 条 た オ \sim お レ 1] て シ 管 彐 理 ナ 部 ル 門 IJ と ス ク う 。) \mathcal{O} 管 理

確 保さ オペレ 管 理 れ 部 てい] 門 シ / 3 . ること。 各 ナル 業 務 部 IJ 門 及 ス ク び 0) 内 管 部 理 監 \mathcal{O} 査 ため を行 に う +部 -分 な 門 に 人 お 材い がて

兀 定 され 価 管 理 て 部 門に 7 把 ること。 握 により、 し、 管 理 オ V カュ つ、 シ ョ 削ナ 減 ル 以するた IJ ス め ク を \mathcal{O} 特 方 策 定 が

五. 理 オペレ 体 制 と 密] ショ 接 に 関 ナ 連 ル IJ て 11 ス クを ること。 評 価 す る た \otimes \mathcal{O} 体 制 が

 \mathcal{O} 彐 責任 いう。 ナ オペレ ていること。 該 ル 報 彐 告 IJ ナ] 以 に ル 理 ス 下 シ ョナ 事 ク 基 同 会 \mathcal{O} ľ IJ づ 等 き 情 ス ル 適切 報 ク 及 \mathcal{O} IJ び に \mathcal{O} うち な 担 損 ス 0 失 ク 措 当 事象 て、 損 重大なも 置 理 事 失 を とる に \mathcal{O} 管 理 結 別 定 果とし 表 た 期 部 \mathcal{O} 門か を含 3第二 的 め \mathcal{O} に 5 て 報 む 体 告が 各業 生 制 オ 定 じ が \sim 8 整 行 務 レ る る わ 部 損 備 オ され門 シ失

お け 内部 る活 れ て 監 動 査 状況 を行う ること。 を 含 部 門 8 た に 管 ょ り、 理 体 管 制 に理 対 部 門 及 て 定 び 期 各 的 業 務 な 部 查 門 がに

Μ \mathcal{O} 利 用 係 る 承 認 \mathcal{O} 申 請

組 百 合 五. は + 条 次 掲 前 げ 条 る 第 項 記 は 第 載 項 た 承 0 承 申 認 請 書 け 行 ょ うと 政 庁

出

[するも 名 称

 \mathcal{O}

とする

す ず \pm カュ + に 該 条

更に 係 る 届 粗 出

及い び それ \mathcal{O} 申 内 容 請 当することとな を 行 \mathcal{O} 記 政 利 庁 載 益 事 配 届 項 分 に け 手 変 出 2 法 た 場 更 な を が け 用 あ れ 合 11 る ば は る なら 場 組 合 遅 合 な 滞は な 次 \mathcal{O} そ 各 の号 旨の

2 前 当 自 項 該 \mathcal{O} 己 各 資 承 号に 認 本 比 申 定請 率 \otimes 書 を に 把 る 書 は 握 類 し を 次 管 添付 理 \mathcal{O} す 各 る責 す る に Ł 任 掲 げ 者 \mathcal{O} とす る場 \mathcal{O} 氏 合の 名 及び 区 分に 役 職 応 名

出 「する場 百 五十 条 第 次 掲 項 げ 第 る 書類定 め る方法に ょ ŋ Ι L Μ

を

2

理 由 書

前 項 第二 뭉 に 規 定 す る 責任 者 \mathcal{O} 履 歴 書

ハロイ算 書類 I L Μ \mathcal{O} 使 用 開 始 日 対 象範 井 及 び 試 算 値 を 記 載 L た

Ι

額 及 び L 自 Μ 己 \mathcal{O} 資 試 算 本 値 比 に 率 係 \mathcal{O} 試 る 算 才 値 V を 記] 載 シ 彐 L た ナ 書 ル • IJ ス ク 相

ホ 承 認 \mathcal{O} 基準 に 適 合し 7 V ることを示 す 類 類 類

そ \mathcal{O} 他 参 考と なる き 事 ず項を記 載した 書

保 守 的 な見積 値 を用 る 方法に ょ ŋ Ι L Μ を 算 出 す る

二기미게合 理 由 書

次に

掲

げ

る書

前 項 第二 号 に 規 定 す る 責任 者 0 履 歴

保守 的 な 見 積 値 \mathcal{O} 算 出 方 び 手 · 続 規 程

保 守 的 書 類 見 積 値 0 使 用 開 始法 日 及 対 象範 囲 及 び 見 積 値 を

記 載 た 書

朩 及び 保 守 自 的 己 な 資 見 本 積 比 値 率 \mathcal{O} 係 試 る 算 才 値 を 記 Ì 載 シ 彐 た ナ 書 ル IJ ス ク 相

その 他 参考となるべ き事項を記 載した書

L Μ 四の 条 利 用 政係 る 承 認 \mathcal{O} 基 準)

 \mathcal{O} 百 承 認 五. を +よう 行に す ると 庁 は き は 第 百 次 0 五 各 十 号 条 12 掲 第 げ る場 項 又 合 は 0 第 X 項 分

> 承 認 申 請 書 \mathcal{O} 添 付 書 類 \mathcal{O} 記 載 事 項 に 重 要 な 変 更 が あ る 場

前 条 に 規 定 す る 承 認 \mathcal{O} 基 準 を 満 た さ な 11 事 由 が 生 じ た

場

明 する改 レ 項] 記 シ 三 彐 号 善 た書 ナ に 計 ル 画 掲 面 を げ IJ を 記 る 速 載 ス 事 ク 由 か \mathcal{O} た が 書 管 生 に 提 理 じ 面 出 \mathcal{O} 又 た 観 は L な 点 当 合 け カュ 該 ;ら重 れ 事 組 ば 由 合 なら 要 が は で 当 な該 当 組 該 V 旨合 事 のの由

説オに \sim 関 前

承 0

第 た 組 百 合 五認 が十 第四取 条 消 百 五 行 +政 庁 一条 各 は、 号 第 に 掲 百 げ 五. る + 基 条 準 第 に 適項 合 \mathcal{O} 承認 な を こ 受とけ

する に応じ、 ŧ 当 0 該各号に 定 め る基 準に適合して いるかどうか · を審

百 五十 合 次に 第 掲げ 項 第 る 基 号に定める方法 に よ り I L M

> き 彐

ロ 客観的 算出する場 内れ 出 び 取 客観 に 整 利用 扱い 備されて 損 失デー 的な基準 する前に検証 が行われるよう、 年 間 タ \mathcal{O} をオペ -を用い 内 ること。 部損失データを保有 され、 た内部損失デー また、 手続及びプロ ョナ 定 期的 当 ル 該 手 に監 IJ 続 タ L スク 及び。 て 査を受けて セ \mathcal{O} スが文書化さ 特 相当額の算 定 ること。 収 集及

二内部 求めに IJ 部 配 、スク 損失デー 分の基準が文書によって規定されていること。 応じて提出できるように整備されていること。 損失デー 損 失事 タが タ 象の が 包 括 種 別 的か 類に応じて配分され 表第二に で正 確に収 定 \otimes る 集されているこ オ レ 行] 政 ショ

朩 む。 計 処 生日 \mathcal{O} 処理 理 損 才 失額を会 日 日が特定できな が 発 とい 覚 特定されていること。] 日 シ う。 及 \exists 計処理した事業年 び ナ 損 ル が 失 特定されていること。 額 IJ を会計 ス ク \mathcal{O} 各 処 度 少 理 損 失事 なくとも各損 中 L た 間 日 象 事業年度を含 以 ただ つい 下 て

口 収 口 損 失を塡 ス 及 額 び 0) オ 損 口 失 収 補 する目 額 (オ 숲 ショナル・ レ 計 的 で受領 処 理 日 日 IJ ナル が ハスク損 た金 特 定され IJ 額 を スク損失につ 失 . う。 関 ること。 連 以 下 L

> となった場 c は、 ナ ・ル・リ 当該 ハスク相当気 合で 承 小認を取 あ 0 額て、 り を類粗 消すことができる。 出 利 することが 益 配 分手法 . を 用 不適当と判 V てオペ L Vたーとシ

て、 に う。 いること。 IJ 口 スク損 収 7 額 同 を控 失に お 除 する 9 及 び 同じ。 い 前 ネ 0) ツ 損 口 \vdash が損失事象ごとに計 失をい 収 0) 額を控除 損 , う。 失 へ オ 第二 L た 百 後 \mathcal{O} 五. 上さ 損失を ショ 十七七 条

じ報 情 て は、 びオペレー オペ 報 詳 が 細 オペ 収 4集され なも シ \exists \mathcal{O} とすること。 彐 7 ナ ナ 彐 ル ナ ること。 ル ル IJ リスク損 ス IJ ク この 損 ス ク損失の 失 場合に 失事 0 回 象 収 おい 額 \mathcal{O} 額 \mathcal{O} 原 大きさに応 て、 関 因 に す 関 る 当 する 情 該

IJ 用 リスク・ 信 用 IJ ス アセットとして計上されて ク 12 関連す んる内 部 損 失デ V タ るも に \mathcal{O} て は 含め は、

スク損失が含まれて 7 ケット IJ ス クに いること。 関連するオ レ 1 シ 彐 ナ ル IJ

るため 内 部損失デー のプロ セ ス タの包括性及び が 整備されて 正 ること。 確 性 を 独 立 的 に 検 証

Ι L 適切な値と認められること。 第 M 号に 保守 に 定 的 8 な る方法 見 積 値 を 用 より 算 る 場 出 L 合 た Ι 第一 L M 百 と 比 五. 十条第 較

更に 係る届 出)

には、遅滞 百 五十五 条 組 その 合は、 旨 及びその内容を行政庁 次 \mathcal{O} 各号 \mathcal{O} ず れ カ に に届 該 当 する け 出 る場合

一 第二百 のとする。 第二百 合 五十三条の 承 認申 請書の 記 載 事項 に 変更が あった

手

れ九る 彐 (先進的計測なるオペレーショー 一百五十五条 る最大の セシンョ オ ク相 ナル <u>۲</u> 先] \mathcal{O} 当 進 信 額的 頭区間 は、測 彐 リスクの ナ ル 組 手 で、 合 法 の内部 を用 IJ 計 ス期 測 ク 間 手 い 一年間と一年間と 一法に基づれて算出する 損 失の I するオペ 額 同として予想ないき、片側九られて用いらい 相 す る] さ十れシ

な 第二 変 更 百 が 五. + 条 た 場 0 承 認 申 請 書 0 添 付 書 類 0 記 載 事 項 に 重

 \equiv 前条に 規 定す ^る承認 \mathcal{O} 基 準 に 適 合し な 1 事 由 が 生 ľ た

L Μ 0 利 用 係 る 承 認 0) 取 消

一れ 準 か 承 百 ることが 第二 適 認 L に 五. を受 合 M 該 +六条 を 百 当 L 用 五. け 不 す な ると + 適当と判断 た V てオ 条 ことと 組 行 第 き 合 政 が 庁 は な レ 項 は 第] 当 0 第 ショ 第二 た 該 た 場合 号に定 場 百 承 ナ 認 合に 五.十 百 ルル を 五. め 取 兀 + お IJ ŋ 条に る方法 1 ス 消 条 て ク す 規 第 相当 12 次 定 と 0) す 項 より算 額を算出 各 又 が る で 号 承 は き 出 認 第一 \mathcal{O} る。 した V 0 ず 基 項 2 第

2 き 行 は 政 Ι 庁 IJ L 当 は ス M ク 該 0 相 組 前 値 合 項 に 額 \mathcal{O} 保守的な見 定 を 算出 L \emptyset るところにより Μ \mathcal{O} することが 値 積 を 値 指 を用 定 す 不 Ź 適当と て Ł 承 オ \mathcal{O} 認 を 取 判 لح す レ 断 る。 ŋ した 消 シ 場 彐 た

Ι

部 損 失

程 を策定するものとする 百 Ŧi 次に + 七 掲 条 げ る事 組 合 項 は E 2 内 部 V 損 詳細な定義を定め 失デ タ \mathcal{O} 収 集 及 た手 び 保 続 有 に 0 規 な

口 収 額

グ 口 ス 0) 損損失失

ネ ツ \vdash \mathcal{O}

2 組 合 は 全て 0 オ レ シ 日 ナ ル IJ ス ク 損 失事 象 13

1

彐 るク と ナ 額損 す る。 ル 失 \mathcal{O} ナル 引 0 IJ 当 額 た ス が だ \mathcal{O} IJ ク 行 期 損 ス わ 待 ク 当 失 れ値 相 0) て が該 当 額 11 適 期 額 カュ る 切間 と 場 ら に に す 当 合 把 お ることが 握 該 に け は、 期 さ る 待 オ れ 値 当 <u>~</u>° できる。 を 該 当 レ 除 最 該] 大 期 シ \mathcal{O} た 待 彐 額 才 値ナ \sim を にル Vオ 相 \sim] 当 IJ レシ す ス

先 進 的 手 法 \mathcal{O} 認

的 計 百 測 五. 手 + 六 計 条 測 法 を用 組 11 ることが 合 は承 行 できる。 政 庁 \mathcal{O} 承 認 を受けた場 合 先 進

なが け 取 前 れば り消され 項 \mathcal{O} なら 承 認 た場合 能を受け な を除 た組 き、 合 は、 先 進 第二 的 計 百 測 六 +手 法 条に を 継 . 基 づ 続 き て 用承 い認

承 認 申 請 書 0 先 提 出

第 認 承 申 認 百 配を受け 請 五. 書を行 十 七 ようとす 条 政 庁 に 進 提 る的 出 組 計 L 合 測 な は 手 け 法 れ次に \mathcal{O} 使 な掲 用 5 げ に なる事 0 項 7 前 を 記 第 載 L た項 承の

称

2 な 5 前 な 項 己 \mathcal{O} 承 資 認 本 申 比 率 請 を 書 に 把 には、 握 L 次 管 理 12 掲 す á げ る 責 書 任 類 者 を添 \mathcal{O} 氏 名 付 及 び な け役 れ職 ば名

す 口 に 記 行 ょ 収 録 政 る す 額 庁 口 る グ 収 求 額の 口 ス 8 0 保 す 応 険 る 損 ľ 金 失 7 以 及 提出できるよう び 外 0 ネ 場 ょ 合 ツ る \vdash に 口 0 お 収 損 額 失 て に を لح 管理するも 特 を 口 区 収 定 別額 で きる L は 7 記 ょ 保

3 組 とする。 合 は、 グ 口 ス \mathcal{O} 損 失に 7 掲 げ る 項 目 を 含 8 る

→ ₽ オペ レ] 彐 ナ ル IJ ス ク 損 失を もたら す 事 象 失が 直 接 \mathcal{O}

因

とな

n

財

務

諸

表

12

影

響

を与え

る

償却

又

は

損

事 連 する ス 象 オ \mathcal{O} 費 発 V 生 用 1 前 及 \mathcal{O} び 彐 ナ 状 才 態 ル 12 IJ 口 復 シ ス す 彐 ク るた 損 ナ 失を ル め に IJ もたら 生じ ス ク た修 損 す 事 失 復又は をも 象 に た 直 交換 らす 接 関

えて計 オ 上 レ 1 れ 彐 引当 ナ ル 金 IJ 準 ス 備 ク 金及び 損 失を もたら 仮 勘定 0 L 繰 得 る事 象 に 備

兀 過 オ 去 レ \mathcal{O} 財] 務 シ 情 彐 ナ 報 を ル 修 IJ 正 す ス る目 ク 損失をもたらす 的 で計 上す Ź 損 事 象に 起 因

4 発 組 生 合 日 は 発 オ 覚 日 及 び 損 彐 失 ナ 額 ル \mathcal{O} 会 IJ 計 ス ク 処 理 \mathcal{O} 日 各 損 を 失 記 事 録 するも 象 に 0 \mathcal{O} لح

5 合 は す 部 損 タ に な 7 会 計 処 理 日 を 基 準

6 件の 組 合 損 て は 複 共 通 \mathcal{O} 原 な わ 因 ょ 損 る 失額を合 財 才 務 諸 表に 計 計 7 記 す ル するも 損 IJ 失を含め ス ク 損 失

> 前理 由

項 第 規 定 する 責 任 者 0

記 方 法 IJ 載 を含 ス た ク 書 0)] む り類を シ 彐 及 1 ナ オ び ル \sim 管 IJ 理 レ に ス 関 ク シ 管 す 彐 る ナ 理 ル 方 指 • 針 針 歴 並びス オ ク に 相 レ 手 続 当] \exists 0 \mathcal{O} い算 ナ

て出ル

先 進 的 計 測 手 法 実 施 計 画

3 げ 五四 前 項第 \mathcal{O} 兀 他 | 号に掲 参 / 考とな げ る先進 るべ き 的 事 計 項 測 を 手 記 法 載 実 L 施た 計書 画 類 に は、 次

に

掲

合及び る事 号 お 先進 規定 項 同 連 彐 的 的 を ľ する 記 結 ナ 計 計 載し \mathcal{O} ル 測 測 手 範 手 なけ 法 囲 IJ 法 法 ス を を 人 に 等」 含ま れば 用 用 ク 相 11 を れ 当 る な な る V 5 額 範 う。 法人等 を算 業 務 井 な 及い 出 区び 分又は芸 を す 第 る範 う。 十 五 井 法 開 条第 以 に 人 始 . 含 ま 単す 下 位る \mathcal{O} 項 れ 章 第る オ に一組ペ

(BIの算出に係る除外特例)

百 らを除 五. + 外することができる 条 行 政 庁 組 承 は 認 を受け 処 分し た場 た 連 合に 結 子 は 法 В 等 Ι 又 \mathcal{O} は 算 事 出 業 部 か 門 第

予備計算)

て、 下こ き 及 測 該 的 設 自 \mathcal{O} 資 体 度 的 降 使 条 \mathcal{O} 条に は び 手 承 計 立 己 事 本 制 開 に に 用 第 計 の条 業 認 当 該 測 さ 資 比 計 お 法 始 予 算 先 \mathcal{O} 五 開 年 を受 れ 進 本 お 運 備 採 \bigcirc 手 率 \mathcal{O} 算 1 項 十 て、 0 用 継 組 法 る 的に 比 度 \mathcal{O} 用 日 始 \mathcal{O} 八 計 11 け て 条 限 算 組 続 織 \mathcal{O} 組 計 お 率 \mathcal{O} 状 状 カコ L 承 性 報 管 同 況 況 b 先 ょ ŋ 合 ょ 再 使 合 測 \mathcal{O} 当 認 11 らうとす ようと 告 編 用 で ľ に に 状 当 該 進 を受 又 手 て 理 に 及 先 は 関 び 書 お 重 成に 法 同 況 体 該 前 的 進 ľ け 要 が 0 当 採 す 当 事 す け的 に 制 事 計 る数組 · 関す る事 準 な 先 用 該 業 11 該 及 業 測 る \mathcal{O} ょ 計 び 影 進 運 事 ず て 組 組 年 手 日 Š 測 る 値 合 響 的 承 織 を る 用 当 項 業 度 度 法 と 合 \mathcal{O} 手 書 等 が を 計 認 事 を 再 が 作 状 該 年 \mathcal{O} \mathcal{O} に 属 す 法 類を 及 を受 に 当 測 成 況 前 度 六 基 編 行 項 記 中 す る \mathcal{O} 手 該 ぼ 月 基 成 を 及 事 載 \mathcal{O} 間 る う L づ 組 使 一づく 作 組 す 法 け 後 組 な 記 び 業 L 六 を 予 11 事 合 用 É 月 織 に ようとする 12 織 け 載 当 年 た 経 備 て 業 成することが は に 存続 書類 自己 中 のでなく、 基づく自 該 を 再 再 れ 度 過 計 年 L 0 編 間 た 事 ば 経 編 \mathcal{O} 算 度 先 L 書 業 予 資 予 成 す 成 な を 過 た 報 \mathcal{O} 進 て 備 前 る 類 年 備 告 に 5 1 L 日 本 前 的 第 た 日 う。 まで 場 計 己 組 度 計 書 比 \mathcal{O} ょ な を 事 計 資 合 先 でき 算 カコ 合 ŋ \mathcal{O} 算 率 測 11 事 百 つ、 本 う。 報 進 に が 新 末 報 以 \mathcal{O} \mathcal{O} を 手 五 る 的 比 自 管 予 告 お 先 た た 日 告 下 業 度 法 十 計 当 率い進 に だ 以の 書 己 理 年 備 書 以

項

に

掲

げ

る中

間

予

備

計

算

報

告

書

及

び

予

備

計

算

報

告

書

В Ι \mathcal{O} 出 係 る 除 特 例 係 る 承 認 \mathcal{O} 申 請

る事項 五. + を 九 記 条 載 前 た 条 承 \mathcal{O} 認申 承 認 請 を受け 書を行政庁に提 ようとす る 出 組 す 合 るも は 0) 次 とす 13 掲

一る。 前 第二 条 0) 百 規 五 定 + ょ る 第 В 項 Ι 0 第 算 出 号 及 係 び る 第 除外 号 に \mathcal{O} 特 掲 例を受け げ る事 項 ょ

四三 前 号 \mathcal{O} 連 特 結子 例 \mathcal{O} 適 用 開 又は 始 日

うとす

る

法

等

事

業

部

門

 \mathcal{O}

名

称

及

 $\mathcal{C}_{\mathcal{C}}$

概

要

В 号 0 特 例 を 適 用 L た 場 合 及 び 適 用 L な か 0 た 場 合 \mathcal{O}

五. 第 号 \mathcal{O} 特 ナ 例 ル IJ 用 ス ク た 相当額 場 合 及 及び び 適 自己 用 L 資 な 本 カ 比 率 場 0 試 合 算

2 項 0 承 申 請 書 は 次 掲 げ る 書 類 を 添 付 す る 0

一す 理 由 書

前 項 第 号 0 連 結 子 法 等 又 は 事 業 部 門 が 処 分 済 4 で

あ

行 前 政 そ 条 庁 第 提 れ 項 出 及 該 L び 第 け れ書項 ば \mathcal{O} な 対 掲 象 げ な で る あ 書 る 類 期 に 間 準 ず 0 Ś 経 書 過 類 後 を 月 添 以付 内 し 7

に

4

始 報 使 当 る 告 用 該 場 \mathcal{O} 先 合 書」とす 前 日 進 開 事 に 的 カゝ 始 業 お 5 計 け L 年 当 測 る ようとす 度 る 該 手 0) 前 事 法 中 業 \mathcal{O} 項 使 間 年 \mathcal{O} 度 用 る 予 規 日 備 \mathcal{O} を 計 定 六 開 \mathcal{O} 月 属 算 \mathcal{O} 始 報 適 を す しようと る 告 用 経 事 書 に 過 つ L する لح V 年 た あ 度 て 日 るは 0 \mathcal{O} 日 캪 中 \mathcal{O} が は、 第 日 間 事 以 業 予 項 降 備 年 中 当 で 度 計 該 算 あ開

承 認 \mathcal{O} 基 準

第 号 に ようとするとき 適合する見込みが を除く。 百 五. 十 九)に適合 条 は、行政 政 あ 定 庁 るか 性 は、 か的 どう つ、 基 準 カ 及 同 百 号 を び Ŧī. 定量 及び 審 査 第五 条第 的 L な 基 項 準 け に 項 れ (第 · 掲 げ ば \mathcal{O} なら 承 る 項 認 内 な 第 を 容

2 前 項 0 「定 性 的 基 準 لح は、 次 に 掲 げ るも \mathcal{O} を

五. 同 条第 号中 条第 二百 評 兀 二号 号 五. 十二条 中 価 す 中 評 Ś 事 各 価 とあ 号 業 部 に とあ る 門 規 定 \mathcal{O} とあ する は る \mathcal{O} 計 は る 基 測 0 潍 す 計 は (E) 、る」とする。 測 一他 L 場 \mathcal{O} と、 合に 部 門 同 お と 条

IJ 向 V各業務 ス <u>ー</u>の シ 彐 た ナ め 関 部 めに、 す ル 門 á に IJ 才 お ス け 報 る ク] 適 相 オ V に 額 彐 そ 1 活 ナ 用 0 ル L 他 彐 7 ナ 0 IJ ス ル オ ク損 る IJ レ 失 ス] , ク \mathcal{O} \mathcal{O} 額 ナ 管 ル オ 理 ~ D

オ ル IJ ス ク ナ 関 す IJ る ス ク 情 \mathcal{O} 報 計 取 測 扱 手 法 方 法 お け が 明 る 確 才 化 さ れ

ること を 示 す

第

連

結 子

法

等 又

は 事 業

> 部 門

類

似

た

務

を行う 在 予 行 定が な お ことを か 示 す 来に たって 類 似 た 務

兀 他 参考となるべき事項を記載した書類

シ

ナル

リスクの損

失事

象 \mathcal{O}

が

適 測

切

ĺZ

把

握され

て

١, オ

るこ

才

ペレ

彐

ナ

ル

IJ

スク

計

V

て、

 \sim

レ

に 整 備 さ れ行 て 庁 る が 必 要に 応じ て 検 証 することができるよう

3 兀 進 項 0) 的 「定 計 測 量 手 V 的 法 実 基 準」 施 計 لح 画 は が 合 次 理 に 的 例手法にお に掲げるもの な ŧ \mathcal{O} で 0) あ ること。

切に把 た るも ľ 各才 オペレ 額 該 てオペレ リスク シ 区 を 0 ベレ 分に 彐 握 合 を され] ナ 計 0 V -ショナ · う。 ル 応じて算出され] す 特 ること。 ショ て ショ 性、 IJ V) 以 ナ ル ス るとき ナ 下 損 失事 • ク ル 同 IJ ただし · У 相 ・リス c は、 スク 当 象 たオ 額 ス \mathcal{O} 相 ク ク 種 \mathcal{O} 当 調 該 相 相 \sim 当 業 当 類 レー 整 当 務 額 相 当 該 を 関 額 区 額 区 别 \mathcal{O} 一分に応 算出 -ショナ を算出 分そ 行うことが 関 \mathcal{O} 表 3第二 係 間 \mathcal{O} に に \mathcal{O} お 基 じ 0) 相 ル す 他 て算 んる場 7) づ 関 \mathcal{O} 上 でき 関 IJ 区 出 て 係 ス 合 分 に 内 オ さ ク に が は 掲 応げ

失 タ ク び ナ 損失に 発 IJ リスク 失デー 組組 シ ョナ . 関 オ する 分 合 析の 境 以ル 度 0) 関 タ 管理 はする情 情 下同 に 外 (組 • 重 部 IJ び 報 内 スク V に から 大 で 合 て、 な 部 資 あ 報 \mathcal{O} するも を オ · 収 内 統 て 集し 部 が 関 いう。 制 で生 適 す 門 レ 大 切 る 的] た の組 合に 才 以 下 じ に な シ を ~ た オ 用 知 彐 11 · う。 いら おけ ナ レ 同 オ 識 ľ ペレ ル] 基 及 るオ ショナ び れ づ 以 IJ V] 経 下 て \sim 3 て ス 験 同 シ ľ レー ク 3 ナ る 推 並 ル 外 ・ リ 部損 ル びに 損 ナ 計 する 失 ル IJ \mathcal{O} 及 3 スク 失デ 才 IJ ス 手 \sim び ナ 額 た シル損 レ及 ス 部 \sim れ相

与

え

える要

因

で

あ

0

7

組

合

0

環

境

及

び

内

映 統 制 \mathcal{O} 状 況 関 す る ŧ 0 を 1 う。 以 下 同 じ。 が 適 切 に 反

兀 ら以 上オ の ペ 期 レ て 間] に シ る 彐 わ ナ た り ル 組 • 合 IJ が ス 収 ク 集 相 当 L た 額 内 \mathcal{O} 部 算 損 出 失デ に お] 11 タ て、 が 三 用

い年

五. さ れ 内 れ 部 T 11 損 失デー ること。 タ 0 収 集 に 0 1 て、 次 に 掲 げ る 基 準 が 満 た

て

ること。

う し 口 整 た結 タに 収 備 額 部 果についるを業務区 . 含 ま L で てい 定める んれるオー ること て、 分ごとに、 ぱい観い 行 政] な 庁 シ 基 準 の損 3 失ナル 求 を ル 用 め に 象 V . 応 じ のリ 7 Ź 種 過 ク て 類 去 損の 提 に 次内部損害 出 できるよいできるよいできるよ

口 全 \mathcal{O} て含 閾 内 値 部 ま 以 損 失デー 上の れ てい オペ 、ること。 タに レ は、] シ 組 彐 ナ 合 ル \mathcal{O} 全 IJ て ス \mathcal{O} 、 ク 損 業 務 失の に おけ デ ĺ る タ が定

ること。 口 に 定 \otimes る閾 値 は、 百 万 円 以 下 で 組 合 が 定 8 た 値 と す

こと。 る。 した すること。 ク損 ナ 内 ル 日 部 損 失 付 損 失 IJ の当 失 が 額、指明 事 デー ス 象 損 の回失な タ 収事場 失 発 は 0 生 額 象合 額 要 及 には 各 因 び つ発 \mathcal{O} 損 大 に 11 覚 失 発 きさ 関 生 7 事 0) す た 象 12 る 因才 日が 応じて 情 ペ 付 発 とす 関 報 生 1 は す L る 詳 シ る た 情報 オペ 細 彐 日 な ナ 付 VŁ を ル が] 含 で 発 \mathcal{O} とシむリ き 生

定 IJ 0) 報 ス 業 シ ク 務 ス 損 テ を集 Δ 失 中部 0) 的門 デ 1 に そ タ 行の 及 う 他 部 び \mathcal{O} 門に 複 複 数 数 おの \mathcal{O} 業 け 業 徐務区 る務 才 区 分 ペ分 パにま レに 関 た シ係 が ョす るナる

関 ち算 合 ナ 互 11] ス 類 う。 出 す 物ス 重 ク 信 す ル 務 動 る で オ 要 に 用 る 関 区に に あ な IJ 情 お Ł IJ 際 連 分お に も の ス っぺ 該 ス 報 11 \mathcal{O} す にけ て、 クに を レ て 当 ク る お 基 分る Ì す 損 1 検 は 反 進 複 類 オ て全て ショ 索 映 る 特 該 を 失 数 す 不でき オされ 損 定 当 作 0) \mathcal{O} る たの オル す 失 成 デ 損 基 1 る 特 レ は るととも] 準シ て 失 L よう 定 \sim 1 11 て タ 事 並 彐 を さ レ IJ シ ること。 象びナ 信 11 É 1 るこ ス 3 損 かにル れ 用 ノクッ 体 ナ IJ て シ に 失 ら異 損 ス 系 彐 ル 才 事 発なリ 11 失に 的ナ ク ること。 ま \sim 象生るス た、 にル IJ し時ク V ア 種た点損 構 関 ス] IJ ク 当 オに失 成 す セ シ 類 スク損 に応 ペ発の る • L 該 ツ 彐 たも 情 デ 損 レ生デ 卜 ナ] L] 報 失 のル じ 1 てシたタ \mathcal{O} 失の タ \mathcal{O} 額 • をに集べうのリ 分ヨ相を

六 $\mathcal{C}_{\mathcal{C}}$ 生 ル ま 要 T ることの (は、 シナリオ、かつ、 が れ 因 外 IJ てい 合 及 部 損 失事 実 理 ス び 損 際的 ク 妥 状 ること。 失 相 当 況 デ 象 のに 分 当 を ĺ 性 オ 想 析 該 決 当 に関 が 定 タに \sim 定 に 規 額 を 発 はする情 す ま 判 生 レ さ お定 \mathcal{O} a た、 断 る算 は 1 が 11 す T て 定た出 た 彐 期 \otimes 外 る 報 業 は \mathcal{O} オ \mathcal{O} た 部 た 務 \sim ナ る 的 並 \emptyset ル 手 損 \Diamond レ に \mathcal{O} 損 び 失デーに必要 <u>ک</u> 。 失額 検 続 に に 規] IJ 証が 使 当 模 シ ス まが さ 体 用 該 12 3 大きいた系的に - タをオ なその ク た、 ナ 損 関 でする 損 失デ ル そ 失と \mathcal{O} 損 規件ペ他] 情 IJ る 定さ の 及び 結 失 レ \mathcal{O} タ 報 ス 果 を 事] 比 情 ク に 方シ 較 象 れ 報 参 発 損 て法 ョが照 につの 生 失 よい発 お並ナ含すのの

谪

に

シ 切

ナ行

ルわ

スい

ること。

リて

計

測

手

法に、

業

務環

及

び

因

を

反

す

る

に

当 ク

たの

て、

以

下

0

基

準

が

満 境

たさ

- 578 -

Ι \mathcal{O} 算 出 係 る 除 特 例 係 る 承 認 \mathcal{O} 基 進

ときは 百 六 + 条 次に掲 行 政 分庁は げ る 第 潍 0 全てに適 百五十八 合するかどうか 条の承 認をし ようとす を 審 査

え も 第 0 とする。 定 す

一百

五十八

条

0

規

に

ょ る除

外

O)

特

例

を 受 H

ようと

れ 7 いる

口

可 な 要 限 因 ŋ \mathcal{O} 定 オ 量 化 レ さ 1 れ シ 7 彐 ナ 11 ること。 IJ ス ク 相 当 額 0 影 響

が

務環境及 なリ 内部 ま 及 定 た、 び 量 損 ス 要 化 要 失デ する び ク 業 因 因 ごと 0 務 内 \mathcal{O} ĺ 部 増 際 オ 活 タ 12 統 大 動 \mathcal{O} 及 \mathcal{O} 重 制 \mathcal{O} は 要因 び 可 複 要] 外能 雑 性 各 要因 \mathcal{O} 部 性 化 彐 が 合 損 が 及 ナ 反 映 失 適 び 理 ル \mathcal{O} 方 デー 業 的 変 切 に 務 に 化 IJ 法 タ 勘 量 考 に ス 0 繁され 慮さ \mathcal{O} 適 0) 対 ク 使用 増 切 す 相 性 る 加 れ 当 てい 方 IJ が に 額 て 7法並びに 検証 ょ 11 ス 6る潜 ること。 るこ ク 0 感 さ 影 <u>ک</u> 。 れ 在 応 業 て 的 度

九

ること。

本 比 先進 率を 的 維 計 持 測 手 L て 法 **\ を ること。 用 11 る た \otimes に + 分 と認 \emptyset 6 れ る 自 己

4 内 過 に す を る日 算 部 わ 先 た た 進的 出 損 失デー り、 日 か なけ 以 5 計 後 先 測 - タに基 は、 手法 年 れ 進 -を 経 ば 的 なら 五. 計 採 基づいてオ。 エ年以上の知 測 過 用 な 手 組 法 た 合 \mathcal{O} 日 は \sim 期 以 使 間 用 後 レ 先] に を 進 開 シ わ 年 的 彐 た 始 間 計 り、 でする日 ナ は 測 ル 手 組 几 法 IJ 合 か 年 \mathcal{O} 5 ス が 以 使 二年 ク 収 上 用 相 集 \mathcal{O} を 当 を L 期 開 額た経間

5 が 別 進 定 的 め 計 る 測 事 手 法 項 を 採 開 用 組合 示 は、 な け 農 れ 林 ば な 水 産 6 な 大 臣 及 び 金 融 庁 長 官

変 更に 係 る 届 出

のか 内 に 百 該当す 1六十条 容 承 認申 を行 請 政 ることと 先進 庁 書 たに届 \mathcal{O} 記 的 載 け な 計 事 出 測 0 た 項 な 手 に け 場 法 変 れ 合 採 更 は、 用 ば が な 組 あ 5 遅 合 る な滞 は なく 場 0 その 各 号 旨 \mathcal{O} 及 V ず び それ

連 前 号 結 子 \mathcal{O} 法 連 結 等 子 又 法 は 等 事 業 又 部 は 門 が 業部 処 門 分 済 みで 類 似 あ ること。 た 業 務 を 現 在

予定がないこと。行っておらず、かつ、将来にわたって類似した業務を行う

(ILMの算出に係る除外特例

ことが 百 政 性 六 庁 に + 0 で は きる。 無 承 関 認を受け 係 組 合 オ は た場合 レ 内 1 部 計損失デ ショ は ナ ル] Ι タ L IJ 0 Μ 0 ス う 算 ク ち 出 損 から 失 現 E 在 除 0 外 IJ 1 す ス て

Ι L Μ \mathcal{O} 算 出 に 係 る 除 外 特 例 係 る 承 認 \mathcal{O} 申 請

一るげ る 百 事 項 + を 記 条 載 L 前 た 条 承 \mathcal{O} 認 承 申 認 請 を 書を 受 け よう 行 政 لح 庁 に す る 提 出 組 す 合 る は ŧ 次に \mathcal{O} とす 掲

始 前 第 条 0 百 規 五. 定 十 に ょ る 第 Ι L 項 第 Μ 0 算出 号 及 び に 係 第 る 除 号 外 12 0) 掲 特 げ 例 る 事 0 項 適 用

2

三 前 Μ 0 号 値 0 特 適 用 た 場 及 U 適 用 な か 0 た 場 合 0

兀 オ 第 号 シ \mathcal{O} 特 ナ 例 ル を 適 IJ 用 ス L ク た 相 場 %合及び <u>1</u>/ 額 及 U 適 用 自 \Box L 資 な 本 カゝ 比 0 率 場 0 試 合 算 \mathcal{O}

> 承 認 申 請 書 \mathcal{O} 添 付 書 類 0 記 載 事 項 に 重 要 な 変 更 が あ る

場

さ な 前 条 事 第 由 が 項 生 力 じ 6 た 第 場 五 合 項 ま で に 規 定 す る 承 認 \mathcal{O} 基 準 を 満 た

2

IJ 該 用 を 速 ス 事 組 前 ク 由 項第 合 Þ \mathcal{O} カゝ が は に 管 当 提 該 号 理 当 出 \mathcal{O} 先 に 該 観 進 事 掲 L な 点 的 由 げ か け 計 に る b 測 関 れ 事 重 す ば 手 由 要 法 る な が 5 で 採 改 生 な 用 な 善 ľ 組 11 計 た 旨 合 場 画 \mathcal{O} \mathcal{O} を 合 説 才 記 ~° 明 載 先 レ 進 を 記] た 的 書 シ 計 面 測 ナ 又 手 書 ルは 法 当 採 面

承認の取消し)

第 ク で 五. 相当額 あ 百 + 六条第一 0 て、 十 を算 先 条 出 項 進 すること 的 \mathcal{O} 行 承 計 政 認 測 庁 は、 手 を 取 が 法 ŋ 不 を 前 適 消 用 条 当 す 1 第 こと ح 7 判 才 項 が 断 \sim 第 できる。 レ L た 号] とき シ 彐 規 ナ は、 定 ル る 第 IJ 場 ス合

(先進的計測手法の適用範囲の原則)

第 5 分 な 及 百 び 法 + 人 単 条 位 先 に 進 0 い的 って、 計 測 先 手 進 法 的採 用 計 組 測 手 合 法 は を 用 す ベ 11 なけ 7 \mathcal{O} 業 れ ば務 な区

 \mathcal{O} き 場 法 務 進 る。 使 合 を 区 的 前 は 用 分ごと又 計 項 用 を開 ただ \mathcal{O} 1 測 る そ 手 規 L 0) 旨 始 法 定 は 定 を す \mathcal{O} に 先 る時 \Diamond 法 使 カコ 進 人単 進 に 用 カュ 的 点 従 的 を わ 計 計 位 開 0 6 ず、 て お 測 測 始 手 先 手 と L に 7 法 進 法 た 先 基 採 的 実 後 進 計 施 礎 才 用 \mathcal{O} 的 組 測 計 的 計 定 V 合 手 画 手 測 は 法 に 法 \mathcal{O} 手 を 期 お 又 法 んは 用 先 間 採 彐 1 進 て ナ 粗 12 用 11 定 ル 的 ること 利 0 組 8 益 計 11 合 IJ て 配 ては 測 ス 手 が 分 11 ク 法 で る 業先 手

値

2 項 \mathcal{O} 承 認 申 請 書 は 次 掲 げ る 書 類 を 添 付 する ŧ 0 لح

理 由 書

示す書 殊 損 類 失が 現 在 行 7 1 る業務 関 連 7 V な いこと

三 特 損

おら ず 殊 失を カュ . つ、 発 生 再 さ 発 す せた Ź お 業 そ 務 れ 類 が な 似 L V た業 ことを 務 示 を す 現 書 在 類 行 て

兀 彐 ナ 特 ル 殊 損 IJ 失 0 ス ク 額 損 が 失 対 0 象 年 計 間 測 平 期 均 間 額 に 生 \mathcal{O} じ 五. た] 全 7 セ ン \mathcal{O} \vdash 才 · を超 え る

五. 録さ 殊 れて 損 失が ることを示 少 なくとも す 書類 年 間 内 部 損 失 デ タ]

ス

を

示

す

その 他 参考となるべき事 項を記 載 た書

L Μ 0 算 出 に 係 る 除 特 例 係 る 承 認 \mathcal{O} 基 準

- 査 す るとき 百 Ź 六十三 Ł \mathcal{O} は とす 条 次 る。 に 行 掲 政 げ 庁 は る 基 準 第 \mathcal{O} 全てに 百 六十 適 合 条 す \mathcal{O} る 承 認 を か どう L か ようと を 審

殊 殊 損 損 失を発 失が 現 生 在 さ 行 せた業 0 7 1 務 る に類 業 務 似 関 L た業務 連 L て を 11 現在 な 行 って

5 ず カコ 再 発するおそれが

ナル 特 殊 損 失の IJ ク 額 損 が 失 対 象計 0 年 間 測 期間に生じた全て 平 均 額 0 五. セ ントを 0) オ 超 レ える 1

兀 記 特 さ 殊 れて 損 失が いること。 少 なくとも 年 間 部 損 失 テ

> ら 相 当 な 額 \mathcal{O}

相

当

部

分

を

先

進

的

計

測

手

法

. で 算

出

7

V

なけ

れ

ば

な

分 適 用

に 法務法に 手 協区分又は 次には、次に5 は、 ŋ 法 百 (業務区 すべて 採 オ + 用 利 組 0) 益 法 _ 掲 条の 的 分 合 人 部 に げ 業 は、 手 配 0 務 る基 彐 分 前 ナ 又は 区 手 部 位 先 9 V 分 法 準 進 に に 第 粗利 及 て先 的 0 V 限 適 IJ び い 計項 て先 ス 益 法 る。 \mathcal{T} 進 合 測 \mathcal{O} ク は 的 配 す 手 規 的計測手法: 進 基 相 分 単 法 定 を 位 的 当 手 礎 実 に 用 施か 額 法 に 計 的 が 手 0) 0 V 測 計か 法又はと用い 7 算 ることが 手 限 画 わ 5 出 て、 法 ず り、 V \ さ 記 れ を れ 先 用 粗 業 か 載 その 務区 でき 進 \mathcal{O} が 11 利 手 的 益 あ 進 な 法 計 配 他 分 る 的 11 場 分 に 測 \mathcal{O} 又 場 計 合手業は合測 よ手

兀 上採務 用 当 に 相 用 用 ナ 準 単 なて 彐 位務 を 管 はナ 用 先進 反 することに X 1 を 諸 該 先 占 る 先 ル 法 映 額 る 進 百 理 組 分 11 表 満 に進 IJ う。 人単 とき 体 進 \Diamond 合 配 場 的 に L 的 が 五. た つ的 十二条 制的 IJ 合 な 当 る \mathcal{O} 分 計 基 計 ス い計 L 業 ス 連 値 12 < 該 を 計 測 づ 位 は 測 ク 7 て 測 、なる 測り 務 結 は、 手に < 法 相 \mathcal{O} \mathcal{O} ょ 手 お 丰 粗 人単 区 財 割 法 0 粗 す 法 に 当 先 法 法をが 分又 務 採 利 ベ 合 重 い利 お 採 掲 額 進の 諸 要 用 そ位 が 7 益 算 て 用 げ 益 を 粗的対 な は い使発 表 組 先 \mathcal{O} が れ \mathcal{O} 出 \mathcal{O} 組 る 算 利 計 象 用 生 過 に 業 合 進 先 がオ さ 重 基 と 合 出 益 測 ること。 L L 去 基 年 務 パ あ ぺれ 要 準 が 的 進 が す な 配 手 、た業 三 ると づ 連 区 業] な 計 的 レ る 法 を る 法 分 る < 業 年 続 分 務 測] 満 手を セ 計 才 法 人 す つ、豚 単 以 粗 区 手 測 考 シ \sim 人 た 務 法 使 ベ L ン 区内利 ト ョレ単 7 年 分ごとに 法 え 用 て 手 位 L 区 を 当該 業務区 分を重 益 らナ] ごとに 間 を 以 法 位 て 分用す \mathcal{O} 重大なこれ 合 用 上 採 れル 又 る 業 シ (異 **\ 計 は 先 を 用 る 彐 る てた務 11 うなった IJ 進 異 占 法 な 異 分ごと 値 る 組 ナ 法 才 め区 に占 なる なる る] 人単 ス オ 的 \otimes 合 ル 人単 \sim の分 ク \sim 計 セ る 手 定又 \mathcal{O} ント を に に 測 8 手 法 連 位 IJ 法 手 位 1 性は レ] 手 る 法 人 結 及 適 ス を法 が シ的法 適 0 切いシ以法業 単財び切り 適を ョ基人

2 は 測 Ŧī. に利 手 基 過 進 使 < 合 的 兀 兀 用 뭉 粗 計 計 年 に 利 が 測 開 お 当 手 構 益 始 いの 該 法 て、 す + 先 を 先 る パ 進 使 進 日 1 的 用 的 か過 セ 計 L 計 6 去 ン 測 な 三 \vdash 測 手 1 手 年 年 を 法 業 法 を 超 採 務 経 لح え 用 \mathcal{O} 区 使 過 あ な 組分 用 る 合 又 L V た は を \mathcal{O} \mathcal{O} 開 日 は 連 法 始 結 以 人 す 後 先 財 単 る 進 務 位 年 的 日 諸 \mathcal{O} 間 計 表 粗

築

L

7

る

- 582 -

(除外特例の承認の取消し

当と認め は 承 事 認 + 業 を 兀 た場合 受 門 け 又 た 行 組 は 政 は 特 庁 殊 が は 当 損 該 失 当 第 を継 承認を取 該 承 百 認 五. ŋ 受 消すことができる 除 条又 け 外 た させることが 連 は 結 第 法 百 等 + 若

3 点 に ル 第 に 拡 お 大 IJ 項 ス 11 項 を て、 ク ょ 規 \mathcal{O} j 相 定 場 過 عَ す 当 に 合 L す べ 額 ょ に た て る を ŋ お日 ときは 0) 算 先 い以 重要 出 て、 進 後 す 的 は な る 計 業 業 段 測 進 階的 務 務 手 的 過 区 法 計 区 去 一分又は . 分 又 な を 測 五. 拡 用 手 は 大 い法 法 0 法 採 7 人単 期 人単 す オ 用 間 ペ 組 位 レ \mathcal{O} 位 合 に 終] を が 段 0 了 シ

階

的ナ

彐

前

 \mathcal{O}

て時

11

リスク削減)

計

測

手

法

を用

7)

て

いることを

要

す

くるも

0)

とする。

第 パを る 保険契約] 満 百 険 - セント 火業者 たす 対応 先進 シ ョ + する が 的 ナ 場 兀 ル 合 計 を 条 格 限 に 測 基 0) 適 付 格 手 IJ 度 は、 先 < とし を 格 法 ス 進 付 ク 付 採 保 オ 的 て、 与 機 険 用 相 計 さ 関 組 金 測 合 額 支] れ カュ 才 手 5 が 払 7 \mathcal{O} シ 法 4 契 削 限 V 採 1 彐 ること。 約 度 ナ 減 用 ル す を 額 シ 2 組 Ź 以 行うことが 3 \mathcal{O} 合 保険 で Ŀ ナ 範 IJ は 囲 ル \mathcal{O} 会社 • У 信 に ク 次 相 用 お 又は でき IJ ス 当 掲 ク ス て、 げ ĺZ る。 ク 外 \mathcal{O} る X 玉 オ 対 要 分保 す

- ナ 小 少 残 さくな んに応じ ル 契約 期 存 間 期 IJ が 間 当 る 初 ス 九 て が Ĵ ク オ + 保 \sim 年 相 う 日 険 当 以 に V未 満 契 額 内 適] 約 切 シ \mathcal{O} \mathcal{O} 削 場 な 彐 契 期 減 合 ナ 約 間 調 整 は ル に が 認 は を 0 8 行 IJ 年 1 て 未満 5 うこと。 ス 保 は、 険 ク れ に 相 な な ょ 当 当 額 る た 該 だし オ \mathcal{O} 残 存 削] 当 効 間 契 該 果 約 \mathcal{O} ョ残が 減
- 兀 て 71 可 社 ること。 能 な場 又 は お V て、 玉 保 先 険 進 九 者 的 +か 計 日 5 以 測 上 \mathcal{O} 手 通 法 \mathcal{O} 採 事 知 12 前 用 組 ょ 通 ŋ 合 知 期 保 が 間 行 険 政 契 が 処 設 約 分 け \mathcal{O}

外 され 受け るた 規場 定合 又又はは 保 破 険 綻 がし 制た 限場 さ 合 れに る 2 規い 定 7 が保 設 険 けの ら対 れ象 てか いら

Ŧī. 0 八等その ては、 等以 オペレ 保 スク 外 が 他 損] \mathcal{O} 保 失 者 先 険 と 先進 0 契 彐 進 \mathcal{O} 約 的 額 ナ 他計 及 に ル 定め 計 び 測 \mathcal{O} 実 IJ 測 手 発 手 質 法 生 る ス 法 的 頻 補 採 ク 採 度 な 用 償 相 用 第 と \mathcal{O} 組 当 組 合 0) 範 額 合 者 関 囲 \mathcal{O} \mathcal{O} 1が支配 子 子 係 とオペレ 削 が 減 法 人 明 額 ーを 行 人等、 等 確 \mathcal{O}] であ 及 算 び シ 出 るこ 関 関 彐 に ナ 当 とルた な除

転され 影 又 人は外国 響を与 玉 保険 者 第 て で V 保 号 は えうる者 業 険 るとき \mathcal{O} 者 な 要 11 ょ 件 者 ŋ は に を に 提 以的 より オ 満 供 外 $\stackrel{\cdot}{\sim}$ たす さ \mathcal{O} \mathcal{O} V 保 れ者 実質的 限 1 険 を て りで ショ が 1 1 ること。 · う。 提 な第三 供さ な ナ)である ル これてい ただし、 IJ 一者であ スクがさら 保 る る保 場合 険 会 実 質 険 社 で に 会 あ的又又連連 移社 っなはは法法

 \sim 間 0 それらが ては、 オペレー 当該保 関する合理的 保 険 彐 金 ショ き 遵守さ 例に よるオ 険 ナ 支 契約ませ 払 ル な方 不のル れ IJ るた 法 解 \sim 確 ス クの レー 実 約 IJ 及 性 及 ス \otimes び 損 ク \mathcal{O} 手 シ 並 び 続 失 非 相 手 彐 び 事 段 を ナ に 更 当 象 新額が 記ル 保 لح 険 講 載 \mathcal{O} \mathcal{O} 0) IJ 契糸件、 契 条 削 じ L らた 関 ス 減 ク 額れ 係 \mathcal{O} 書 てい 補 契 類 が \mathcal{O} 相 適切 算 が 償 約 当 範 出 る 作 \mathcal{O} 額 に 进 残 に 成 \mathcal{O} 考 لح 存 当 さ 削 慮オ期た れ減

七号 規 定 す る 書 類 が 開 示 さ れ 7 1 ること。

て

ること。

第七条

削除

附

則

附則

用 開 移 始 行 期 に 伴 間 中に う 所 要 お 自 け 己 る 資 内 部 本 格 付 限 手 0 法 特 又 は 則 先 進 的 計 測 手 法 \mathcal{O}

使

ち、 に 代 測 使 内 組 け セ 所 本 を を 0 七 適 格 組 なる 用を 計 部 要 え 手 定 規 用 て 合 れ \mathcal{O} 付 合 条 <u>۱</u> て、 自 は 格 又 ば 額 法 算 8 定 \mathcal{O} 手 に 法な 受 付 は 成 組 な で 己 に 採 L る に 開 平 ける 基 先 合 5 除 資 そ 次 用 て 件 始 採 る 成 手 な 組 法 進 用 組 又 は <u>-</u>+ n L 本 れ \mathcal{O} 11 づ 议 -年三月 的 て得 る き、 0 ぞ 表 合 直 組 に 又 1 合 年三 は 代 計 先 額 れ \mathcal{O} に 組 下 前 合 並 0 とす : た額 を上 進 た 先 測 同 上 な 合 組 に び え ま だだ 三十 る 月 進 旧 て、 で 手 的 表 欄 及 合 な に 平 し、 る 法 口 組 び 告 改 る 的 内 を \mathcal{O} に \mathcal{O} 平 新 採 自 る 下 掲 合 経 組 + 計 部 示 正 成 告 用 当 場 測 日 欄 げ は 成 営 前 格 己 合 と る期 +組 \mathcal{O} 該 0) 日 示 手 付 資 合 に \mathcal{O} で + 農 健 後 第 法 合 手 基 本 に 定 新 11 あ 年 前 . う。 年三 に 法 礎 80 間 告 全 業 三 九 \mathcal{O} に 比 は 0 に る 性 協 月 使 先 採 的 率 に 示 て 基 条 な 月 る 進 内 0) 率 第 を 同 先 \equiv 礎 及 用 用 当 0 三十 部 該 に +的 算 を 判 進 的 び \mathcal{O} 組 組 1 九 組 て、 ょ 第 開 合 内 合 格 式 上 乗 条 断 合 的 内 に 部 付 口 じ 及 ŋ す 法 + 始 に 0) 内 日 部 分母 関 自 る 八 格 な 手 る 7 び 日 第 部 に \mathcal{O} 旧 格 法採 額 に先 1己資 得 た 先 条 し、 付 る 第 + 付 日 所 格 進 た 要 め \mathcal{O} 以 手 組 に を 手 付 先 法 加 八 額 自 進 本 条 的 法 規 降 合 用 八 0) 手 的 に 進 採 え パ 比 定 \mathcal{O} 組 が 己 条 基 \mathcal{O} 法 内 採 的 用 う] 計 率 準 9 合 な 新 資 用

成

+

九

年期

月

+

日

以

後間

年

間

九

+

Ŧī.

1

セ

率

2 得 額 れ \mathcal{O} 定 認 内 認 内 平 上 同 す た を 前 以 を 部 を 部 成 上 る 額 表 欄 項 後 最 格 最 格 を 口 \mathcal{O} に 組 本 後 付 後 付 + 文に る 下 掲 自 合 年 に 手 に 手 場 己資 欄 げ 得 は 法 得 年 法 る期 · 規 合 に た又 た 又 本 に 定 新 定 日 日は 月 は 告 比 は \Diamond 間 す 先 以 カュ 先 Ś 示 率 る に $\overline{+}$ 進 5 後 進 当 率 0 0 第 組 的 的 算 を い九 該 合 年 計 年 計 日 条及 て、 式 上 乗 以 を 間 測 測 以 外 口 じ 0 経 手 手 後 び 分 る て 旧 \mathcal{O} 過 法 法 間 得 第 母 額 所 組 しの 年 \mathcal{O} に を た 要 + 合 た承 間 承 八 額 自 八 及 加 条 己 え が び 八 九 資に ることが] 新 同 + + 十 本代のえ 項 セ 所 パ パ 要自 こえて、 ント た 率 ただし 額 セ セ セ . で 除 己資 にそ できる。 ン 次 書 \vdash 1 れ に 本 \mathcal{O} 7 \mathcal{O} ぞ 表 規

平

成二

年三月三

 $\overline{+}$

日

以

後

年

間

九

+

パ

セ

ン

1

3 は、 あ び 要 定 調 上 自 欄 る 企 該 項 \otimes 前 あ 企 勘 業 中 己 新 る に る 合 業 定 結 資 告 所 掲 項 \mathcal{O} 0) 結 を 合 営 要 げ に 本 示 当 合に 除 自 る自 業 第 は に \mathcal{O} お 該 権 額 九 己 ょ 1 条 て、 評 伴 ŋ に 資 己 を !う再 営 第 資 価 計 相 本 第 11 う。 業 差 当 六 十 二 上さ \mathcal{O} 本 権 額 す 項 額 比 評 旧 を含 条 る 及 率 に 価 れ を 所 び に に \mathcal{O} 相 る 額 に 要 無 当 ょ 場 第 む。 お 0 自 す 合 ŋ 11 形 連 + 11 己 て 古 結 に 八 る 第 生 て、 資 十二条 額 じ 調 同 定 お 条 新 本 た ľ 第六 そ 資 整 V 所 0 て、 連 勘 評 産 要 れ 額 項 結 に 定 自 ぞ 価 営 に 12 調 お 差 に 旧 己 れ لح 整 相 業 資 11 額 相 告 規 同 は て 当す 当す 勘 権 が 定 示 本 表 第 定 同 正 及 す \mathcal{O} \mathcal{O} 次 ľ る る び 九 る \mathcal{O} 下 額 \mathcal{O} 額 連 額 条 新 相 値 欄 表 結 第 لح で 及 所 に \mathcal{O}

単体自己資本比率 旧告示第一条の算式の分母連結自己資本比率 に一定資産に相当する額並びに日告示第一条第一項に掲げる営業権に一定資産に相当する額並びに日告示第一条第一項に掲げる営業権に関係した。 連結調整勘定に相当する額がら旧告示第一条第一項に掲げる額を指合により計上される無形では、																			4
告示第一条の算式の分母 第一項に掲げる営業権に で企業結合により計上さ で企業結合により計上さ に定めるところにより計上さ となる額の合計額から旧 告示第七条の算式の分母 をなる額が登出におりました。 等一項に掲げる営業権に をなる額がら旧告示第 もにより計上される無形 るところにより控いる を表して得た額、 を表して得た額、 を表して得た額、 を表して得た額、 を表しての分母 を表してのの分母 を表してののの分母 を表してのののの分母 を表してのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	自己資本比率	体自己資本比								結自己資本比									告示第九条
並では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方	所要自己資本の額	告示第一条の算式の分母の額に四	ントを乗じて得た額、旧告示第	第一項に掲げる営業権に相当する	び企業結合により計上される無形	資産に相当する額並びに旧告示第	に定めるところにより控除される	となる額の合計額から旧告示第三	一項第二号に掲げる額を控除した	告示第七条の算式の分母の額に四	ントを乗じて得た額、旧告示第	第一項に掲げる営業権に相当する	結調整勘定に相当する額及び企	合により計上される無形固定資産	当する額並びに旧告示第十一条に	るところにより控除されることと	額の合計額から旧告示第十条第一	二号に掲げる額を控除した	及び第二項第二号並びに第

価差額が する額形 値であ する額、 合に限る。 領を含む。)及びの4評価により生じた評価 る場合の当該 (企業結 固定資産 定資産(営業権及び企業結合又は子会社)」と読み替えるものとする。 合に伴う再評 及びの 評価 れ価 差 れんに相当する温差額が正の気 左額又は子 ヘ 価 連株 に 結 式 ょ 調 \mathcal{O} 会社株 り 整 追 の値である場合の当芸会社株式の追加取得に る額 勘定加定 生じ を除く。 得により計 た評価差額 定 正の値である場の追加取得に伴い追加取得に伴 上さ 相 当れ

元 本 補 て W 信 託 契 約 に 関 す る 経 過 措

2 [略]

3

ごと る 示 元 Ź る 第 本 告 改 内 て、 場 補 又 百 示 エ 日 示 経 正 部 は 合 ク 前 て 営 前 格 +と 信 ス に 資 同 \mathcal{O} W \mathcal{O} 付 \mathcal{O} 産 月 当 信 農 用 ポ お 項 条 健 手 う。 区 た 第 該 業 法 託 全 だだ +7 分 信 契 性 協 ス ジ 採 当 約 ク t L 項 用 を 用 同 لح 書 た IJ に 1 該 日 判 組 組 に だ ア 組 前 中 ス 係 基 に 断 合 合 が セ 合 ま L ク る づ す 法 لح と \mathcal{O} で \mathcal{O} 書 信 V る 第 第 ツ 締 あ \mathcal{O} ア 用 7 た 1 \mathcal{O} 定 当 規 セ 結 る IJ X 項 \mathcal{O} 標 定 ス 該 す \mathcal{O} \mathcal{O} 定 ツ \mathcal{O} 条 額 \mathcal{O} 準 る 期 ク 内 0 は \mathcal{O} を \vdash 基 規 \mathcal{O} 算 的 期 間 準 \mathcal{O} • 部 準 元 平 定 出 間 ア 格 手 本 額 を 用 0 に لح セ 方 法 補 成 す に 付 定 規 ょ と ツ 法 て あ る 0 手 8 定 り لح + \vdash る 1 法 W る لح \mathcal{O} あ 信 \mathcal{O} て 採 件 基 0 事 読 る 託 年 は \mathcal{O} は 額 用 告 業 を 以 4 契 場 組 き 示 月 単 平 は約 新 算 替 合 合 下 成 告 組 位 出 ょ に \mathcal{O}

す

元 本 補 て λ 信 託 契 約 関 す る 経 過 措 置

間

ら日

の以先三

規後進

定

中年

以

後

年 規 承 間

間定認

と適最及び

あ用後び

る

のつ

は

以

後

لح

る。

付

又

は月

的

計 目

手

の年第

を項

に第

得

らのの

 \equiv

+

後

 \mathcal{O}

第

項

及

び

項

並

12

第

平

項項

 \mathcal{O}

内

経

過 手

し法年

間測以

 \mathcal{O}

項 法

0

0

に

いた

て日

は か 表 表

当

分年部成

のを格

れた

第八条 [同上]

2

同

上

3 ٤, と 書 信 で ツ \mathcal{O} \mathcal{O} 11 1 締 あ \mathcal{O} \mathcal{O} ア 用 T 内 0 結 る 定 規 セ IJ 当 部 標 す \mathcal{O} 定 定 ツ ス 該 格 \mathcal{O} ク 内 付 る は \mathcal{O} 期 \vdash 準 を 準 算 的 元 期 間 \mathcal{O} 部 手 平 出 手 本 間 用 額 T 法 格 لح 方 法 補 成 す に セ 採 付 と、 法 あ て る 2 ツ 手 用 一 十 二 ىل W る 法 11 1 組 لح あ 信 \mathcal{O} 7 \mathcal{O} 採 合 読 年 事 る 託 は \mathcal{O} 額 は 用 が 業 場 \mathcal{O} 契 4 を 組 第 は約 合 替 月 単 平 新 算 合 成に 告 出 え に 位 \mathcal{O} 項 + る 旧 係 お す 示 \mathcal{O} 元 と 十 第 ŧ 告 る 1 る 本 規 日 又 7 百 場 0 示 工 補 定 لح ク 前 は 年 合 に 7 す ス 同 + 信 に 資 \mathcal{O} W ょ 月 る。 ポ お 産 項 当 信 ŋ 用 条 第 三 十 た IJ 区 該 1 託 旧 だ ス ジ 7 分 信 契 告 ごと 当 L 項 ク t 用 約 示 書] 該 日 た IJ 12 だだ 中 T 組 に 前 ス 基 に 係 セ 合 ま づ る

移 行 期 間 中に お け る \mathcal{O} 他 \mathcal{O}

月 中 フ 項 失 セ 三 率 日 オ 基 \mathcal{O} $\overline{+}$ 年三 1 以 Ŧī. 礎 又 ル 規 後 年 的 は 1 定 \mathcal{O} 居 月 以 額 住 日 内 十 時 \mathcal{O} 年 三十 Ŀ パ を算 部 適 用 以 損 間] 後 0) 格 失 用 不 率 は 観 セ 出 動 付 に ン 日 年 測 す 手 0 産 とあ \vdash る 以 間 期 法 向 後 年 間 は に \mathcal{O} て け 以 る 合 0 11 は エ 年 لح V ず 0) 上 ク あ 年 は 間 て、 れ 当 お \mathcal{O} は 以 観 る カュ 分 け ポ 経 上 測 \mathcal{O} 高 る 新 \mathcal{O} 過 長 間 期 は 告 新 ジ 措 \mathcal{O} 11 兀 観 間 示 値 期 告 ヤ 」とす 平 測 平 第 年 同 示] ٤ 成 百 均 期 項 第 以 \mathcal{O} 八十 信用 上 間 + デ 中 百 る。 平 九年三月 0) フ 九十二条 長 一成二十 と、 九 オ IJ 観 期平 条 測 ル ス 平 第 期 \vdash ク

三十 る。 日 年三 以 五. 新告 後 年 月三十 日 以 示 以 年 上 第 後 間 \mathcal{O} 百 <u>一</u> 日 は 観 九 年 測 + 以間 期 条第二 は年 間 後 以 と 年 項、 上 間 年 \mathcal{O} あ 観 以 第 は る 測 上 \mathcal{O} 百 兀 \mathcal{O} 期 は 九 年 観 間 + 測 平 以 兀 ٢, 成 上 期 条 及び 間 + 0) 観測期 亚 九 と、 年三月三十 成二十年三月 第二百三 平 間 成二十 と

3

とする。

適 を 用 採 平 に 用 成 + 0 1 ようとする 九 ては、 年三月三十 次 組 0 各 合 日 号 に に 関 以 定め する 後 るところ 年 新 告 間 に 示 第 お に 百 11 よるも +て 内 Ł 条 部 0 \mathcal{O} 格 とす 規 付 定 手 法 る \mathcal{O}

に 0 組 号 V 合 · 及び て承 が 平 第 認 成 を + 号 申 九 年三 中 請 す 当 る場 月 該 合 承 + 認 に に お 日 先 11 前 <u>\frac{1}{2}</u> て、 に 内 0 て三年 新 部 告 格 示 付 第 以 手 百 法 上 + \mathcal{O} 七 採 わ 条 用

年三

兀

項

時 均

損デ

第

T

成

間

第十五条

削除

用に 百十 とする。 上にわたり」とあるの 組 とあ ついて承認 七条第一 合が平成 る \mathcal{O} 号 +は を申請、 及び第二号中 九 元年三月三· 承 認 する組 は 0) 申 平 十 請 をする 成 当 合 + \mathcal{O} 日 九年三月三十一日以 該 場 以 該承認に先立って三年以場合において、新告示第以後に内部格付手法の採 日 に」とする。 後」

抵当権付住宅ローンに関する経過措置)

行時に ることができる。 完全に保全され 定を適用する場 + て保 五条 おいて抵当権により完全に保全さ 有 する既 標準的 てい 合に 存 手 0 法 住宅口 あ 採 ること」 って 用 組 は、同なに 合が とあ 平 るの 条第二号中 9 成 1 + て新告 は、 九年三月三十一 れ 「住宅ローンの中「抵当権によ ていること」 1示第四-+条 日 とす により \mathcal{O} 0 に 実 規お

表第一(第二百四十	-九条第二項関係)		
BICの各構成要	素の用語の意義		
B I Cの構成要素	損益計算書又は 貸借対照表にお ける項目	一般的な内容	一般的な小分類
ILDC	資金運用収益	受取配当金を融資の金融金を配当ののでは、日本ののでは、日本の	・貸証及係へ用がに息の収入のでは、明一取会がののでは、リップのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、
	資金調達費用	全て係る及び講性の費係を連携の費ができませる。 (リカリカリカリカリカリカリカカリカカリカカカカカカカカカカカカカカカカカカ	・預金というでは、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番
	金利収益資産 (貸借対照表項 目)	・各事業年度末 貸出金、利付記 む。) 及びリース	E券(政府債を含
	受取配当金	配当金(非連約	ら投資に係る受助 きの子会社、関連 アントベンチャー
S C	役務取引等収益	助言・サービス 提供に係る役務 取引等収益(金 融サービスの受	役務(発行、 組成、受力

(別表第一)		
掛目	業 務 区 分	備考
12%	リテール・バンキング	リテール (中小企業等及び個人)向け預貸関連業務等
15%	コマーシャル・バンキン グ	リテール向け以外の預貸関連業 務等
18%	決済業務	決済に係る業務
12%	リテール・ブローカレッ ジ	主として小口の顧客を対象とす る証券関連業務
18%	トレーディング及びセー ルス	特定取引に係る業務及び主として大口の顧客を対象とする証券、為替、金利関連業務等
18%	コーポレート・ファイナンス	企業の合併・買収の仲介、有価証券の引受・売出・募集の取扱い等、その他顧客の資金調達関連業務等(リテール・バンキング及びコマーシャル・バンキングに該当するものを除く。)
15%	代理業務	顧客の代理として行う業務
12%	資産運用	顧客のために資産の運用を行う 業務

- (注) 粗利益配分手法においては、以下の要領に従うものとする。
- 1. 組合のすべての業務から発生する粗利益のすべてが、相互に重複することなくこの表に掲げる業務区分に配分されなければならない。(4. に規定する場合を除く。)
- 2. この表に掲げる業務区分を適用する場合において、信用リスク・ アセットの額を算出する際に用いる基準に類似の区分があるとき は、原則として、両者の区分は整合的でなくてはならない。この原 則に従わない場合には、文書により明確な理由が示されていなけれ ばならない。
- 3. この表に掲げる業務区分に含まれている業務に付随する業務(以下「付随業務」という。)の粗利益については、当該業務区分に配分されなければならない。付随業務が複数の業務区分に含まれる業務に付随している場合は、組合が自ら定める客観的な基準を用いて粗利益が配分されなければならない。

	託者として受け取った利息を含む。)	顧取係清済用ィ引務チイ券一口ト保び取にを引る算、、、、、ヤナ化ビーメ証に引係の執収算、、、、、ヤナ化ビーメ証に引係の執収算の信支トドス保ンコト供国の始め) び産ト託払ラフ、るグミ又与為役がのに 決運デ取業クア証サ、ツは並替務
役務取引等費用	助のる用スた委む金支を・け務金提と手たサった・け務金提と手たサっく・けみな機に数だーた)でに等一受すを、ス数ビに等していく。	・清済ィ係ンコト取国の費りが、、るグミ又得為役別が、のがまり、のは並替務のではが取にでいた。ののののののでは、これが、のが、のののののののののののののののののののののののののののののののの
その他業務収益	他の B I 構成要素に係るに言用事業に係る収益を係る収益を除く。)	・オナリス 横 で で で で で で で で で で で で で で で で で で

- 4. ある業務の粗利益を特定の業務区分に配分することができない場合には、十八パーセントの掛目を乗じるものとする。
- 5. 複数の業務区分に粗利益を配分するに当たって、組合は財務会計 又は管理会計に基づく適切な基準を用いなければならない。ただ し、配分した粗利益の額の合計が、基礎的手法を使用する場合に用 いられる粗利益の額と等しくなければならない。
- 6. 粗利益の配分の手順は、理事会等の承認に基づき担当理事が責任を持つものでなければならない。
- 7. 粗利益の配分の手順は、内部監査を行う部門による検証を受けなければならない。

			された非流動 資産ループから の収益(国際 財務報告基準 (IFRS) 第 5 号第 37 項)
	その他業務費用	他素信費ース損係を関いるレリるに失用用シク失る除く。所属のは、例ののでは、例のでは、例のでは、例のでは、例のでは、例のでは、例のでは、例	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
F C			さ資グの財(第項 オナ損る金未備ていョク損ぺ和をの等非該却さ資グの財(第項 定又れ産ル収務 I 5) ペル失たの引金らオナ事失ナ解受再)継当目れ産ル損務 I 5) び負た及一益報 F といをめ繰当がれペル象(ル及け調 続し的た及一失報 F 売債非びプ(告 R 号 ・リ塡の入又積てレ・に罰テびた達 事なに非びプ(告 R 号 ・ 一リ塡の入又積てレ・に罰テびた達 事なに非びプ(告 R 号 ・ 一 が で で で で で で で で で で で で で で で で で で
F C	商品有価証券勘定及び売付商品債券勘定のネット損益のネット	・商品有価証券 債券勘定の資産 ネット損益	加定及び売付商品 E又は負債に係る

損益	
商品有価証券勘定及び売付商品債券勘定以外のネット損益	 ・公正価値で測定され、損益認識する金融資産及び負債に係るネット損益 ・公正価値で測定されない金融資産及び負債に係る実現損益(貸出金、国債等有価証券及び償却原価で測定される金融負債) ・ヘッジ会計・為替差額に係るネット損益

(注1)

以下の損益項目については、いずれもBICの構成要素に関連しないものである。

- 1. 保険業務又は再保険業務に係る損益
- 2. 加入した保険契約又は再保険契約において支払った保険料及び返 戻金・受取保険金
- 3. 管理費(従業員関連費用、非金融サービスに支払った委託手数料 (ロジスティック、IT及び人事を含む。)及びその他管理費(水道 光熱費、電話代、出張費、事務用品費及び郵送料を含む。))
- 4. 回収管理費(顧客のための回収(顧客から徴求した税)を含む。)
- 5. 固定資産に係る費用(オペレーショナル・リスク損失に起因して 生じた場合を除く。)
- 6. 有形資産及び無形資産の減価償却費 (ILDCに係る費用に該当するリース投資資産に関連するものを除く。)
- 7. 引当金繰入額及び戻入額 (SCに係る収益・費用に該当するオペレーショナル・リスクに関連するものを除く。)
- 8. 適時に償還が可能な株式に関する費用
- 9. 減損額及び減損の戻入額
- 10. 損益として認識したのれんの変動
- 11. 法人所得税 (法人税等調整額及び繰延税金を含む課税所得に基づく税)

(注2)

上記項目に関しては、上記項目を含有する項目又は保守的な値となる場合には、簡便的な項目を用いることができる。

別表第二(第二百五十四条第一号ハ関係)

「表略]

(別表第二) 「同左]

備考 表中の [] の記載及び対象規定の二重傍線を付した標記部分を除く全体に付した傍線は注記である。

附 則

(適用時期)

第 一 条 この告示は、 令和六年三月三十一日から適用する。 ただし、 次条第二項並びに附則第十六条か 7ら第

十八条まで、 第二十条から第二十三条まで及び第二十五条から第二十七条までの規定は、 公布 \mathcal{O} 日 カコ ら適

用する。

(自己資本比率の算出に関する経過措置)

第二条

この告示の適用

の 日

(以 下

「適用日」という。)

自己資本比率 連 結自己資本比率 (この告示による改正後の農業協同 組合等がその経営の 健全性 を判 断 す

るため \mathcal{O} 基準 (以 下 「新告示」という。)第十条に規定する連結自己資本比率をいう。) 及び 単体, 自

本比率 (新告示第二条に規定する単体自己資本比率をいう。 をいう。 以下同じ。 の算出に 0 て は

なお従前の例による。

2 組 合は、 前項 \bigcirc 規定 の適用を受けない旨及び新告示の規定により自己資本比率の算出を行う最初の日

附則第四条を除き、 以下 「基準日」 という。) をあらかじめ行政庁に届け出ることができる。

から起算して一年を経過する日までの間における

\ \ \

(TLAC規制対象会社の同順位商品に関する経過措置)

第三条 標準 的 手 法 採用 組 合 (新告示第 条第九 号に規定する標準 的 手 法採 用 組合をいう。 以下同じ。) は

Τ L Α \mathbf{C} 規 制 対 象会 社 同 条第二 八十号に 規 定す る T L Α C規 制 対 象会社 をいう。 以下この 条 12 お 11 て 同

 \mathcal{O} そ $\overline{\mathcal{O}}$ 他 外 部 T L A C 調 達手段 (新告示第 一条第八十一号に規定するその 他 外 部 Τ L A C 調 達 手 段

をいう。 以下この項及び次条第 項におい て同じ。 と法的又は経済的 に同 順位 であ る商品 (その: 他 外部

T L A C 調 達手段に該当するものを除く。 次項におい て 国 丙 Т L A C 規制: 対象会社 \mathcal{O} 同 順位 商 とい

う。 のうち、 その T L Α C 規 制対象会社 に係る 総損失吸収 力 及び資本 再構築力に係る最低 基 潍 \mathcal{O} 適 用 \mathcal{O}

日 (以下この 条に お 1 7 \overline{T} L Α \mathbf{C} 規 制 適 用 日 という。 までに 発行され た ŧ 0) で あ 0 て、 当 該 Τ L A

C規制 適 用 日 12 お いて 保有 か つ、 そのに 保有を継続 してい るもの につ 1 7 は 当該 T L A C 規 制 適 用 日

か ら起算して五年を経過する日までの 間 は 新告示第四十七 条 Ď 匹 の二第二項の規定を適用 せず、 0 告

示 による改正前 \mathcal{O} 農業協同 組合等がその経営の健全性を判断するための基準 (以 下 旧 告示」という。

第三十四条第一 項又は第三十五条の 規定の例によることができる。

2 内 部 格付手法採用組 合 (新告示第一条第二号に規定する内部格付手法採用組合をいう。 次条第二項

附 則第十二条に お いて同じ。) は、 国内 Τ L A C 規制対象会社 (T) 同 順 位商 品 のうち、 その Т L Α C 規 制 対

象会社 に係 る T L A C規 制 適 用 日までに 発行され たもの であっ て、 当 該 Τ L A C 規 制 適 用 日 12 お 1 7 保有

Ļ か つ、 その 保 有 を 継 続 7 1 るも \mathcal{O} に つ 1 て は、 当該 Τ L A C 規 制 適 用 日 か 5 起 算 7 五. 年を経 過 す

る日ま で の間 は、 新告示第百五十四 · 条の 兀 の二第二項 $\widehat{\mathcal{O}}$ 規定を適用しないことができる。

(その 他外部T LAC関連調達手段に係るエクスポージ ヤ ーに関する経過措置

第四条 標準 的 手 法採用 組 合は、 新告示第四十七 条の 兀 の二第二項 \mathcal{O} 規定に、 か か わ らず、 平成三十一 年三月

三十一 日 (以下この条 に お 1 7 「基準 白 という。 か ら起算 して十年を経過す る日 ま で \mathcal{O} 間 は 基 潍 Ħ

に お 1 て 保有, カュ つ、 その 保 有を継 続 てい るその 他 外 部 Τ L Α C 調 達 手段 及 び 次に 掲 げ Ś ŧ \mathcal{O} ず

れ も償還 期 限 の定 つめが ある場合において保有中に当該 償還期限 ま での 期 間 が 年 に満たなくなっ た ŧ \mathcal{O} を

含み、 次に掲げるものにあっては、 基準日 12 お いて次に掲げるものであることを要しな 次項 12 お 7

経過措置対象その他外部TL Ā C 関連調達手段」 という。) に限 り、 旧告示第三十四条第 項又は第三

十五条の規定の例によることができる。

規制 金融機関 (新告示第一条第三十七号の二イ⑴に規定する規制金融機関をいう。) に適用され る総

損失吸収力及び資本再構築力に係る健全性を判断するための基準又はこれと類似の基準にお 1 その

他外部TLAC調達手段に相当すると認められているもの

特 例 外部 Τ L A C 調 達手段 (新告示第 条第八十四号に規定する特例外部 T L A C 調達手段をいう。

_

2 内 部 格付手法採用組合は、 基準日から起算して十年を経過する日までの間は、 基準日において保有し、

か つ、 その保有を継続 してい る経過措置対象その 他外部 T L A I C 関連 調達手段に限り、 新告示第百五 十四四

条の四の二第二項の規定を適用しないことができる。

(バンキング勘定とトレーディング勘定 \mathcal{O} 境界に 係 る届出に関する経 過 措 置

第五条 組合については、 当分の 間 新告示第七条の十五及び第十六条の十五の規定を適用しないことがで

きる。

(資本フロアの算出方法に関する経過措置)

第六条 適 用 日 前に旧告示第百 十四四 条の 承認を受けてい た組合に係る基準 日から起算して五 一年を経過す る日

ま での 間 に お け る新告示第九条第一 項及び第十八条第 項 の規定 \mathcal{O} が適用に つい ては、 これらの 規定中 七

+ = -五. パ] セ ン <u>|</u> とあるの は、 次 の各号に掲げ る期 間 \mathcal{O} 区 分に応じ、 当該各号に定めるものとする。

一 基準日以後一年間 五十パーセント

基 潍 日 か 5 年 を 経 過 し た 日 以 後 年 間 五 + 五 パ] セ

三 基準 日 カン ら二年を経過 L た 日 以 後 年 間 六 十パ] セ ント

ユー基準目2.0回目が発過して目状後一目間、コトペープノン

兀

基準

日

か

ら三年を経過

し

た

日

以

後

年

間

六

十五

パ

]

セ

五 基 淮 日 か 5 兀]年を経る 過 L た 日 以 後 年 間 七 十パ] セ ン 1

(暗黙 \mathcal{O} 政 府支援 を勘案し 7 V) な 1 格 付 \mathcal{O} 使 用 に 関 す Ś 経 過 措 置

第七 条 新 告示 第三十四 条第三 項 $\widehat{\mathcal{O}}$ 規 定 は、 適 用 日 か 5 起算 L て六年を経過する日 まで \mathcal{O} 間 は、 適 用 L な

(中堅中小企業等向けエクスポー

ジ

t

]

に

関する経過措置

第八条 標準 的 手法 採用 組 合が 中堅中 小 企業等 向 け 工 ク Ź ポ ージ ヤ (新告示第三十六条第四 項に規定する

中 堅中 小企業等に対するエク スポージャーをいう。 以下この条に おいて同じ。) に新告示第三十八条第一

項 の規定により七十五パー セ ン ト又は同条第三項の規定により四 一十五パ] セントのリス ク ウ 工 1 1 を適

用 しようとするときは、 適用 日 から起算 して七年 を経過する日 ま での 間 は、 新告 示第三十六条第 应 項 \mathcal{O} 規

定にか カン わ らず、 中 小 企 業等 向 け エ ク ス ポ ージ t 间 告示第三十九条第三項に 規定する中 小 企 業等

ージ ヤ

する

エ

ク

ス

ポ

ジ

Y

を

1 う。

を中

堅中

小

企

業等

向

け

工

クス

ポ

ジ

ャーとすることができる。

に

対

不 動 産 関 連 工 クスポ \mathcal{O} L Т V · 比 率 に関 する経過 措 置

第九条 適 用 日 前 に 旧告示第百 十四条の 承認を受けてい 、 た 組 合は、 適用日において保有する新告示第三十九

条 から第四 十 条 の二までに 規定するエ クスポ ジ ヤ 1 \mathcal{O} リス ク • ウ エ イト \mathcal{O} 判 定に用 7 る L T V 比 率

新告示第三十 九条第四 項に規定するL T V 比率 をいう。 の計算につい て、 信 用 供与 \mathcal{O} 実行時 点 12 お け Ź

担 保 に 付 され た物 件 \mathcal{O} 価 値 を算出できな 1 場合に は、 適用 日 前 \mathcal{O} 直 近 \mathcal{O} 当 該 物 件 \mathcal{O} 価 値 \mathcal{O} 評 価 額 を用 る

ことができる。

(自己居住用不動産等向けエクスポージャー及び賃貸用不動産向け Ĭ クスポ ージャー の例外に関する経過

措置)

第十条 標準的手法採用組合が平成十九年三月三十一日において保有する既存 の住宅ローンのリスク・ ウェ

三十九条の二第一 イトを判定する場合における新告示第三十九条の二及び第四十条の二の規定の適用につい 項第一号及び第三項並びに第四十条の二第一項第一号及び第三項中 「抵当権 、ては、 により 新告 完全 示第

に保全されている」とあるの は 「抵当権により完全に保全されてい る又は住宅 口 ン \mathcal{O} 実行時 に お 1 て抵

新告示第三十

九条の二第

項第一

一号及び

第四十

条

O)

第

項

第二

当権

により完全に保全されている」と、

号中 「抵当権により完全に保全されていない」とあるのは 「抵当権により完全に保全されていない 又は 住

宅 口] ンの実行時において抵当権により完全に保全されていない」とする。

(劣後債権 その 他資本性 証券の エ クスポ ージャー に関する経過措置

第十一 条 基準 日 か ら起算して二年を経過する日 にまでの 間 にお け る新告示第四十 条の 六の 規定 の適 用 に . つ

1 て 同 条中 百百 五. 十パ ーセント」とあるの は 次の 各号に掲 げ る期 間 \mathcal{O} 区 分に応じ当該各号に定 \Diamond Ź

Ð のとすることができる。 ただし、自己資本比 率 の算出を行う日に おい て新告示第二十七条から第三十七

条までの規定を適用した場合において百五十パーセントのリスク・ウ エ イトが適用されるときは、 この限

りでない。

基準 日 以後 年 間 百パーセント

基準 日 から一 年を経過した日以後 年 間 百二十五パーセント

(株式) 及び株式と同等 の性質を有するものに対するエクスポ] ジ ヤ に関する経過措置)

第十二条 標準 的 手 法採 用 組合 は 株式及び株式 と同 等 \mathcal{O} 性質を有するもの (新告 示第四 十 -七条第二項 に規

ク ウ エ イトについては、 基準 日から起算して五年を経過する日までの 間 は、 同 条の 規定にか カゝ わらず、

定する株

式

と同

等

 \mathcal{O}

性

質を有するも

 \mathcal{O}

を

1

う。

第四

項に

お

1

て同じ。)

に対する

エ

ク ス

ポ

ジ

7

 \mathcal{O} リス

次の各号に掲げる投資の区分に応じ、 当該各号に定めるものとすることができる。

新告示第四十七条第三項に規定する投機的 区分に応じ、 当該 イか ホまでに定め な非上場株式に対する投資 次 0 1 からホまでに掲げる期

るリスク・

ウ

工

1

1 基 潍 日 以 後 年 間 百 パ Ì セ ン

間

 \mathcal{O}

5

口 基 淮 日 か ら一年を経過し た日以 後 年間 百六十パー セント

ハ 基準 日 か ら二年を経過した日以後 年間 二百二十パ ーセント

= 基準 日 から三年を経過し た日以後 年間 二百八十パーセント

ホ 基準 日 か ら四年を経過 し た日以 後 年間 三百四十パー セント

前号に掲げる投資以外の投資 次 \mathcal{O} 1 か 5 ホ までに掲げ `る期間 \mathcal{O} 区分に応じ、 当該イからホまでに定

8 るリス ク • ウ 工 1 1

1 基 潍 日 以 後 年 間 百 パ] セント

口 基 進 日 カ 5 年 を 経過 た 日 以 後 年 間 百三十パ] セ

ハ 基 準 日 か ら二年を経過 L た 日 以 後 年間 百六十パ] セ ント

= 基 準 日 か ら三年を経過し た日以 後 年 間 百九十パ] セ 1

ホ 基 淮 日 か 5 匹 年 を経過し た 日以 後 年 間 二百二十パー セ ント

内 部 格 付 手 法 採 用 組 合 は 株式 等 工 ク ス ポ ジ t 1 (新告) 示 第 条第八号に規定する株式等 工 ク ス ポ

2

ジ 五. 年 ヤ を 経 を 過す う。 んる日 次 まで 項 に \mathcal{O} お 間 11 は、 7 同 新告! ľ 示第百四 \mathcal{O} 信 用 + IJ Ź 条の ク 規定 ア セ に ツ か \vdash か \mathcal{O} わ 額 らず、 \mathcal{O} 算 出 前項各号に掲げる投資につ に つ 1 て、 基 潍 日 か 5 起 算 1 7 7

当 該 各号に定めるリス ク ウ 工 イトと旧 告示第百四 十 条第 項各号に掲げる方式により算 出され るリ

ク • ウ エ イト のうち 1 ずれ か大きい リス ク • ウ エ イト を用いることができる。 この場合にお いて、 同項

ス

 \mathcal{O} 規定 に より 算出されるリスク・ ウ エ イト · を 用 \ \ \ る場合には、 信 用 リスク・ ア セ ツ 1 \mathcal{O} 額 及び 期待損 失額

 \mathcal{O} 算出 並 び に適 格 引当 金 (新告示第 条第五号に規定する適格引当金をいう。 \mathcal{O} 取 扱 1 は、 な お 従 前 \mathcal{O}

例 によ るものとする。 ただし、 旧 告示 第百四 + 条第一 五. 項 第六 項 父び 第 八項 \mathcal{O} 規 定 は 適 用 L な 1 ŧ \mathcal{O} لح

旧 告示第百二十六条第 号に 規定する信 用 IJ ス ク ア セ ツ 1 \mathcal{O} 額 \mathcal{O} 合 計 額 12 ○六を乗ずる調 整 は

要しない。

3 前 項 \mathcal{O} 規定を適 用する場合にお 1 . T は、 内部 格 付手 、法採用組合は、 全ての株式等エ クスポ Ì ジ ヤ に同

項の規定を適用するものとする。

4 ジ 第 Y 項 \mathcal{O} IJ \mathcal{O} 規定は、 Ź ク ウ 次に 工 1 掲げ 1 \mathcal{O} 判定に る場合におけ 0 V て準 る株式 用 す 及び Ź. この 株式と同 場合に 等 お \dot{O} 性質を有するもの 7 て、 同 項中 「標 淮 に 対する 的 手法 採 工 クス 用 組 ポ 合

とあ る \mathcal{O} は 内 部 格 付 手 法 採 用 組 合 لح 読 4 替 える ŧ \mathcal{O} す

内 部 格 付 手 法 採用 組 合が、 新告! 示 第 九条 第三 項又は第十八条第三 項に規定する標準 的 な手 法によ り算

出した所要自己資本の額を算出する場合

内 部 格付 手法採用 組 合が、 標準 的 手法を適用する部分につき、 信用リスク・ T セ ツ \vdash \mathcal{O} 額 \mathcal{O} 合計 額 を

算出する場合

(オフ・バランス取引の与信相当額に関する経過措置

第十三条

内

部

モデ

ルを用

7)

な

** \

組

合に

お

1

ては、

任意

 \mathcal{O}

時期に無条件で取

消

L

可

能なコミットメント

(新

動

的

に

取

消

可

能

な

コミ

ツ

1

メント

のうち、

個

人

向

けの

ク

レジ

ツト

力

]

ドに

係

る

も の

 \mathcal{O}

与

信相

当額の

算

出

告示第四 + 九 条第 項 \mathcal{O} 表 \mathcal{O} 第五号に該当するものを除く。) 又は 相 手 方 \mathcal{O} 信 用 状態 が 悪化 L た場合 に 自

に 0 1 て は 基準 日 か 5 起算 して五年を経過する日 まで \bigcirc 間 は 同 表 \mathcal{O} 第 号の 規定中 <u>_</u> とある \mathcal{O} は

次の各号に掲げ る期 間 の区分に応じ、 当該各号に定めるものとする。

- 一 基準日以後一年間 零
- 一 基準日から一年を経過した日以後一年間 二
- 三 基準日から二年を経過した日以後一年間 四
- 四 基準日から三年を経過した日以後一年間 六
- 五 基準日から四年を経過した日以後一年間 八

2

前 項 \mathcal{O} 内 部 モデルを用 1 ない 組合」 とは、 次に掲げる要件の全てを満たす標準的 手法採用組合をいう

0

内 部 モデル方式採用組合 (新告示第一条第十一号の三に規定する内部モデル方式採用組合をいう。)

又は 新告示第二百四十六条 \mathcal{O} 兀 第一 項 \bigcirc 承認を受けている組合に該当しないこと。

適 用 日 前 に お 1 7 先 進 的 計 測 手法採品 用 組 合 旧 告示第 条第十二号に規定する先進的計測 手法採 用 組

合をいう。)であった組合に該当しないこと。

 $\widehat{\nu}$ ポ 形 式の 取引及び 信用取引その他これに類する海外の取引におけるボラティリティ調整率 の下 限 に関

する経過措置)

第十四条 新告示第四章第六節第三款第七目の規定は、 当分の間、 適用 しない。

(マーケット・リスク相当額の算出に関する経過措置)

第十五 条 組 合は、 次に掲げ る場合には、 商 品 有 価 証 券勘 定及び売付 商 묘 債 **券勘** 定 \mathcal{O} 資 産 又は負債とし

有 して る商品 \mathcal{O} うち 顧 客 \mathcal{O} 債 券 \mathcal{O} 販売 \mathcal{O} 目 的 トレ ーディ ング目的を除く。) で保有してい るも \mathcal{O} 12

ついては、 当分の 間 新告示第二 二百四 十六条の九第一 項の規定にかかわらず、 マーケット ・リスク相 当額

の計測対象に含めないことができる。

新告示第三条の二第一号、 第三号及び第五号に掲げる条件を満たす場合

新告示第十一条の二第一号、 第三号及び第五号に掲げる条件を満たす場合

(内部格付手法の適用日前の予備計算及び承認)

第十六条 基 礎 的 内 部格 付 手法 採 用 組 合 (新告示第 条第三十三号に規定する基礎 的 内 部格付手法採 用 組 合

を う。 以下この 条に お 1 て 同 ľ, になろうとする組合は、 適 用 日 前 12 お 1 7 Ŕ 新告示第 百 条 \mathcal{O}

規定の 例により、 自己資本比率の予備的な計算の届出をし、 自己資本比率を予 備 的に計算 中 蕳 予 備 計

算報告書 (同条に規定する中間予備計算報告書をいう。) 及び予備計算報告書 (同条に規定する予備 計算

報告書をいう。) の作成並び に行政庁 への提出を行い、 新告示第百十五条の規定 の例によりその内部 格付

手法の使用についての承認の申請をすることができる。

2 行 政 庁 は 前 項 \mathcal{O} 規 定 に ょ り 申 請 が あ 0 た場合には、 適用 日 前 に お 1 7 ŧ 新告示第百 十四四 条 \mathcal{O} 規 定 \mathcal{O}

例によ 承認を行うことができる。 この場合において、 当該1 承認は、 適用日に お į١ て同条の 規定に より

行われたものとみなす。

3

前二項の規定は、 先進的内部格付手法採用組合 (新告示第一条第三十四号に規定する先進的内部格付手

法採用組合をいう。)になろうとする組合について準用する。

(期待エクスポージャー方式の適用日前の承認)

第十七条 組合は、 適用 日 前に お į, 、ても、 新告示第五十二条の二の規定の例により、 期待 エクス ポ ージ ヤー

方式 (新告示第五 十二条に定めるところにより与信相当額を算出することをいう。 \mathcal{O} 使用 に 0 7 て \mathcal{O} 承

認の申請をすることができる。

2 行政 庁 は 適用 日前 に お 1 て、 前項 の規定により申請があ 0 た場合には、 新告 示第五十二条第 項 0 規

定 の例 により、 承認を行うことができる。 この場合において、 当該承認は、 適用 月にお į١ て同項の規 定に

より行われたものとみなす。

(SA—CVAの適用日前の承認)

第十八条 組 合は、 適 用 日 前 に お 1 7 Ŕ 新告示第二百四十六条の四 一 一 の 規定の例により、 S A | C V

を用いることについての承認の申請をすることができる。

2 行政庁は、 前 項 \mathcal{O} 規定により申 詩が あった場合には、 新告示第二百四十六条の四第 項の規定 の例 に ょ

り、 承認を行うことができる。 この場合において、 当該承認は、 適用日において同項の 規定により行 わ ħ

たものとみなす。

(簡便法の適用要件に係る取扱い)

第十九条 新告示第二百 四十六条の 匹 の三十九の規定は、 適用 日前に旧告示第二百四十六条の三又は第二百

匹 十六 条 \mathcal{O} 兀 \mathcal{O} 規 定に よりC V Α リス ク相 当額を算出 して ** \ る組み 合について は、 適 用 L ない。

(バンキング勘定とト レ ーディング勘 定 \mathcal{O} 境界に 【係る適用 用 日 前 \mathcal{O} 届 出

第二十条 組合は、 適用 日前に お いても、 新告示第七条の 十五又は第十六条の十五 の規定の例により、 バン

キ ング勘定とトレーデ ィング勘定の境界に係る届出書を提出することができる。 この場合において、 当該

届 出書は、 適用 月日にお いてこれらの規定により提出されたものとみなす。

(標準 的 方式 を用 いるトレ ーディング・デスクに係る適 用 日 前 \mathcal{O} 届 出

第二十一 前 条 \mathcal{O} 規定 は 標 進 的 方式 (新告) 示 第 条第-+ 号 \mathcal{O} 兀 に規定する標準 的 方式 をいう。 を用

1 るトレ ディング・デスクに係る届 出書を提出する組合につい て準用する。 この場合において、 前 条中

第七条の十五又は第十六条の十五」とあるのは 「第二百四十六条の九の八」と、 「バンキング勘定とト

V

ーディング勘定の境界」

とあるのは

「標準的

方式

(新告示第一条第十一

号の四に規定する標準

·的方式·

を

いう。)を用いるトレーディング・デスク」と、「これら」とあるのは 「新告示第二百四十六条の九の八

」と読み替えるものとする。

(内部モデル方式を用いるトレーディング・デスクに係る適用 日前 \mathcal{O} 承認)

新告示第二百四十六条

 \mathcal{O}

九

 \mathcal{O}

匹 の

規定

の例により、

内 部

i モ デ ル

第二十二条

組合は、

適

用

日前

においても、

方式 (新告示第 条第十一号の二に規定する内 部 モデル方式を いう。 次条において同じ。) を用

ーディング・デスクに係る承認の申請をすることができる。

2 行政庁は、 前項の規定により申請があった場合には、 新告示第二百四十六条の九の四第一項の規定

により、 承認を行うことができる。 この場合において、 当該承認は、 適用日において同項の規定により行

われたものとみなす。

(内部モデル方式に係る適用日前の承認)

前条 \mathcal{O} 規定は、 内 部 モデル方式 の承認を受けようとする組合について準用する。この場合にお

いて、 同条第一 項中 「第二百四十六条の九の四」 とあるのは 「第二百四十六条の十の二」と、 「 を 用 る

トレ ーディング・デスクに係る」とあるのは 「に係る」と、 同条第二項中 「第二百四十六条の九の四第

の例

項」とあるのは 「第二百四十六条の十」と、 同 項」とあるのは 「同条」 と読み替えるものとする。

(損 益要因分析テストに基づくマーケット・リスク相当額の算出に関する経過措 置

第二十四条 内部モデル方式採用 組合 (新告示第一条第十一号の三に規定する内部 モデル方式採用組合をい

う。 は、 新告示第二百四十六条の十二の八第三項 から の第六項 くまでの 規定に か か わ らず、 基準 日 カン 5 起 算

して一 年を経過する日 ま で \mathcal{O} 間 は、 損 益要因分析テスト (新告示 第 条第八十七号に規定する 損 益 要 因 分

析テストをいう。)において、 レ ッド・ゾーン又はアンバー・ゾーンに分類した場合には、 当該分類 をグ

(標準 的 計 測手法におけるI L M の利 用に係 る適用 日 前 \mathcal{O} 承 認 リーン

ーンに分類したものとみなして、

マーケット・

リスク相当額を算出するものとする。

第二十五 条 組合は、 適 用 日前 におい ・ても、 新告示第二百五 十三条の 規定の例により、 標準的計測 手法にお

けるILMの利用に係る承認の申請をすることができる。

2 行政 庁 は、 前項の規定により申 -請が あった場合には、 新告示第二百五十二条第一項又は第二 項 (の規: 定の

例 によ り、 承認を行うことができる。 この場合において、 当該承認は、 適用日においてこれらの規定によ

り行われたものとみなす。

3 旧告示に基づきオペレーシ ョナル ・リスク相当額の算出にお ١ ر て先進的計測手法を用 1 てい な *(*) 組 合に

係 る新告示第二百五十四条第一号イの規定の適用については、 当分の間、 同号イの規定中 「直近十年

とあるのは、「直近五年間」とすることができる。

さおそのに、「画気」を聞」と言うとことができる。

(標準 的 計 測 手法 に お け る B Ι \mathcal{O} 算 出 に係 る除 外 特 例 \mathcal{O} 適 用 日 前 \mathcal{O} 承 認認

第二十六 前条第 項 及 び 第 項 \mathcal{O} 規 定 は 新告示第二百 五. + 八 条 \mathcal{O} 規定 による 標準 的 計 測 手 法に お け Ź

В Ι 0 算 出に係る除外特例に係る承認を受けようとする組合につい て準用する。 この場合にお 1 て、 前 条

第 一項中 「第二百五十三条」とあるのは 「第二百五十九条」と、 Ī L M O 利用」 とあるのは Б Ι \mathcal{O} 算

出 に係る る除外特例」と、 同条第二項中 「第二百五十二条第一項又は 第二項」 とあるのは 「第二百五十八条

ر کر 「これら」 とあ る Oは 同 条」 と読 み替えるものとする。

(標準 的 計 測 手 法 に お け る I L Μ \mathcal{O} 算 出 12 係 る 除 外 特 例 \mathcal{O} 適 用 日 前 \mathcal{O} 承 認

第二十七条 附則第二十五条第一 項及び 第一 二項 \mathcal{O} 規定は、 新告示第二百六十一条の 規定による標準的 計 測手

法 に お ける Ī L \overline{M} の算出に係る除外特例に係る承認を受けようとする組合について準 用する。 この場合に

お 1 て、 附則第二十五条第一項中 「第二百五十三条」 とあるのは 「第二百六十二条」と、 Ī L M \mathcal{O} 利用

あるのは「第二百六十一条」と、「これら」とあるのは「同条」と読み替えるものとする。 」とあるのは「ILMの算出に係る除外特例」と、同条第二項中「第二百五十二条第一項又は第二項」と

[別葉一]

バケット番号	1 a)	1 b)	2	က	4	5	6	7	8
(パーセント) 投資適格(IG)	〇 · 五	•	五.	- 0	= .	 O	一 • 五	五 · ○	一 • 五
(パーセント) R) R) R)	左) □ (N □ □ (H X □ □ (H X □ □ (H X □	□ · ○	+11.0	0.7	八 · 五	五 · 五	五 • ○	+11.0	五 •

17	16	15	7 又 は 14	6 又 は 13	5 又 は 12	4 又 は 11	3 又 は 10	2 又 は 9	1 又 は 8	パーセント)(表に定める値はバケット番号
四 十 五	田十五.	零	十五	<u>-</u>	一二十五	<u>-</u>	+	七十五	百	は 1 又 は 8
四 十 五	四 十 五	零	+	十五	<u>-</u> +	十五	五.	百		2 又 は 9
四 十 五	四 十 五	零	五.	<u>=</u> +	十五	五.	百			3 又 は 10
四十五五	四 十 五	零	五.	二十五五	<u>-</u> +	百				4 又 は 11
四 十 五	四 十 五	零	五.	二十五五	百					5 又 は 12
四 十 五	四 十 五	零	五.	百						6 又 は 13
四十五五	四 十 五	零	百							7 又 は 14
零	零	百								15
七十五五	百									16
百										17

マーイ・リンパトウストー エク	トバ 番 ラッ 1
· #	1
五 - · · · ·	2
五 · ○	3
= .	4
= .	5
	6
一 · 五	7
- - 0	8
	9
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	10
t •	11
八 · 五	12
五 · 五	13
五 · ○	14
0 - ·	15
- - 五	16
五 • ○	17

13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	はパーセント)(表に定める値
四 十 五	四 十 五	零	十五.	十五	十五	十五.	十五.	十五	十五.	十五	十五	百	1
四 十 五	四 十 五	零	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	百		2
四 十 五	四 十 五	零	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	百			3
四 十 五	四 十 五	零	十五	十五	十五	十五	十五	十五	百				4
四 十 五	四 十 五	零	十五	十五	十五	十五	十五	百					5
四 十 五	四十五	零	十五	十五	十五	十五	百						6
四 十 五	四 十 五	零	十五	十五	十五	百							7
四 十 五	四 十 五	零	十五	十五	百								8
四 十 五	四 十 五	零	十五	百									9
四 十 五	四 十 五	零	百										10
零	零	百											11
七十五	百												12
百													13

バケット番号
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

三十年	二十年	十五年	午	五年	三年	二年	年	○ ・ 五年	○・二五年	はパーセント) (表に定める値
四 十 ·	四 十 ·	四 十 ·	四 十 ·	六五 十 六 ・	九七 十 一 ·	一八 十 一 ·	四 九 十 一 ·	〇九 十 七 ·	百	年〇 · 二 五
四 十 ·	四 十 · ○	九四 十 一 •	六五十六・	三七十六・	一八 十 六 •	四 九 十 一 •	〇九 十 七 ·	百		〇 · 五 年
九 四 十 一 ·	六五十六・	七六十五・	三七十六・	七八十八・	二九十四	〇九 十 七 ·	百			年
七六十五・	三七十六・	三八 十 二 ·	七八十八・	六九 十 五 ・	五九 十 八	百				二年
三七十六・	四八十四	七八十八・	二九十三・	〇九 十 八 ·	百					三 年
一八 十 六	四 九 十 一 •	二九 十 四 •	○九 十 七 •	百						五年
二九十四・	○九 十 七 ・	五九 十 八 ·	百							十 年
〇九 十 七 ·	○九 十 九 ・	百								十 五 年
五 九 十 八 ·	百									二十年
百										三 十 年

18	17	16	8	7 又 は 15	6 又 は 14	5 又 は 13	4 又 は 12	3 又 は 11	2 又 は 10	1 又 は 9	はパーセント)(表に定める値
四 十 五	四十五	零	+	十五	<u></u>	二十五	<u></u> +	+	七十五	百	1 又 は 9
四十五	四 十 五	零	+	+	十五五	<u>-</u>	十五五	五	百		2 10又 は
四 十 五	四 十 五	零	1+	五	11+	十 五	五	百			3 11又 は
四 十 五	四 十 五	零	五	五	二 十 五	11+	百				4 12又 は
四十五	四十五	零	十五	五	二十五	百					5 13又 は
四十五	田十田	零	<u></u> +	五	百						6 14又 は
四十五	四十五	零	五.	百							7 15又 は
四十五	四十五	零									8
零	零										16
七十五											17
											18